

所沢市高齢者福祉・介護実態調査

【結果報告書】

令和2年3月

所 沢 市

目次

第Ⅰ部 調査概要	1
1. 調査概要	3
第Ⅱ部 共通調査項目の結果	5
1. 家族や生活状況について	7
2. 介護について	9
3. 紙おむつの利用状況	10
4. 外出について	11
5. 日常生活について	13
6. 市の施策、介護保険制度について	17
第Ⅲ部 高齢者一般	19
第1章 高齢者一般 調査結果	21
1. あて名のご本人について	21
2. あなたのご家族や生活状況について	23
3. からだを動かすことについて	28
4. 食べることについて	33
5. 毎日の生活について	35
6. 地域の活動について	42
7. たすけあいについて	49
8. 健康について	51
9. 介護予防・認知症施策について	58
10. 市の施策・事業、介護保険制度について	66
第2章 高齢者一般 各機能の評価結果	73
1. 各機能の評価項目	73
2. 各機能の評価結果	75
第3章 高齢者一般 クロス集計でみる傾向	84
1. 地区別の傾向	84
2. 個別クロス集計の結果	91
第4章 高齢者一般 調査結果のまとめ	97

第IV部 要支援高齢者	101
第1章 要支援高齢者（本人） 調査結果	103
1. あて名のご本人について	103
2. あなたのご家族や生活状況について	105
3. からだを動かすことについて	112
4. 食べることについて	117
5. 毎日の生活について	119
6. 地域の活動について	126
7. たすけあいについて	132
8. 健康について	134
9. 介護予防・認知症施策について	140
10. 市の施策・事業、介護保険制度について	147
第2章 要支援高齢者 各機能の評価結果	154
1. 各機能の評価項目	154
2. 各機能の評価結果	156
第3章 要支援高齢者 クロス集計でみる傾向	165
1. 地区別の傾向	165
2. 個別クロス集計の結果	172
第4章 要支援高齢者（介護者） 調査結果	178
1. 調査票を記入される方について	178
2. 介護をしている方について	179
3. 主に介護している方の生活状況について	182
4. 介護保険サービスについて	188
5. 市の施策・事業について	193
第5章 要支援高齢者 調査結果のまとめ	196
第6章 要支援高齢者（介護者） 調査結果のまとめ	199
第V部 要介護高齢者	201
第1章 要介護高齢者（本人） 調査結果	203
1. あて名のご本人について	203
2. あなたのご家族や生活状況について	205

3. からだを動かすことについて	213
4. 食べることについて	218
5. 毎日の生活について	220
6. 地域の活動について	224
7. たすけあいについて	229
8. 健康について	231
9. 認知症施策について	237
10. 市の施策・事業、介護保険制度について	242
第2章 要介護高齢者 各機能の評価結果	249
1. 各機能の評価項目	249
2. 各機能の評価結果	251
第3章 要介護高齢者 クロス集計でみる傾向	257
1. 地区別の傾向	257
2. 個別クロス集計の結果	263
第4章 要介護高齢者（介護者） 調査結果	268
1. 調査票を記入される方について	268
2. 介護をしている方について	269
3. 主に介護している方の生活状況について	272
4. 介護保険サービスについて	278
5. 市の施策・事業について	283
第5章 要介護高齢者 調査結果のまとめ	286
第6章 要介護高齢者（介護者） 調査結果のまとめ	289
第VI部 施設入所高齢者	291
第1章 施設入所高齢者 調査結果	293
1. 調査の対象となった方について	293
2. 介護保険施設での生活について	295
第2章 施設入所高齢者 調査結果のまとめ	300
第VII部 ケアマネジャー	301
第1章 ケアマネジャー 調査結果	303
1. あなた自身について	303

2. 業務の状況について	304
3. ケアプランについて	308
4. 介護保険サービスについて	313
第2章 ケアマネジャー 調査結果のまとめ	322
第VIII部 高齢者福祉・介護実態調査結果のまとめ.....	325
第1章 高齢者福祉・介護実態調査結果のまとめ	327
第IX部 資料編（使用した調査票）	331

第 I 部 調査概要

1. 調査概要

(1) 調査の目的

本調査は、「第7期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しに際し、「第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の策定に資するために実施するものであり、高齢者の健康状態や日常生活の状況及び福祉サービス等における利用状況等を把握し、これからの施策の改善及び展開、充実を図ることを目的としています。

(2) 調査対象者

調査区分	対象
①高齢者一般	介護保険の認定を受けていない65歳以上の方
②要支援高齢者	要支援1・2の認定を受けている方
③要介護高齢者	要介護1から要介護5の認定を受けている方
④施設入所高齢者	介護保険の施設サービスを利用している方
⑤ケアマネジャー	市内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャーの方

(3) 調査方法と調査期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

※施設入所高齢者は、施設より直接回収

※ケアマネジャーは、直接配布、郵送回収

調査期間：令和2年1月15日～令和2年2月17日

(4) 回収結果

調査区分	配布件数（人）	回収件数	回収率
①高齢者一般	3,260	2,435	74.7%
②要支援高齢者	240	189	78.8%
③要介護高齢者	600	366	61.0%
④施設入所高齢者	100	71	71.0%
⑤ケアマネジャー	50	47	94.0%
合計	4,250	3,108	73.1%

(5) 報告書を見る際の注意点

- 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- 図表中の「n」とは、その設問の回答者数を表しています。
- 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- 設問の選択肢は、表記を省略している場合があります。
- 各設問において、末尾に「★」が表記されている設問は、本調査に対して国が示した「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査票」より採用した調査項目となっています。なお、「★」の表記がないものは、本市が独自に設けた設問となっています。

第II部 共通調査項目の結果

1. 家族や生活状況について

① 家族構成

家族構成についてみると、「高齢者一般」「要介護高齢者」では『夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上）』の割合が最も高くなっています。

『1人暮らし』の結果をみると、「高齢者一般」が 23.5%、「要支援高齢者」が 37.0%、「要介護高齢者」が 13.9%と、「要支援高齢者」の割合が最も高くなっています。また、「要介護高齢者」では『1人暮らし』の割合は低いものの、『その他』が 18.3%と、他の区分と比べて最も高い割合を示していることから、多世帯で暮らしている割合が高い傾向にあると考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
1人暮らし	573	23.5%	70	37.0%	51	13.9%
夫婦2人暮らし(配偶者 65 歳以上)	858	35.2%	49	25.9%	101	27.6%
夫婦2人暮らし(配偶者 64 歳以下)	135	5.5%	1	0.5%	3	0.8%
息子・娘との2世帯	442	18.2%	44	23.3%	99	27.0%
その他	332	13.6%	14	7.4%	67	18.3%
無回答	95	3.9%	11	5.8%	45	12.3%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

② 居住種別

居住種別についてみると、すべての区分で『持家（一戸建て）』の割合が最も高く、区分での大きな差はみられない結果となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
持家(一戸建て)	1,662	68.3%	124	65.6%	242	66.1%
持家(集合住宅)	388	15.9%	29	15.3%	34	9.3%
公営賃貸住宅	58	2.4%	5	2.6%	10	2.7%
民間賃貸住宅(一戸建て)	39	1.6%	3	1.6%	3	0.8%
民間賃貸住宅(集合住宅)	215	8.8%	18	9.5%	30	8.2%
借間	13	0.5%	3	1.6%	3	0.8%
その他	22	0.9%	3	1.6%	14	3.8%
無回答	38	1.6%	4	2.1%	30	8.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

③経済状況

経済状況についてみると、すべての区分で『ふつう』の割合が最も高くなっています。

『大変苦しい』と『やや苦しい』の合計値をみると、「高齢者一般」が28.7%、「要支援高齢者」が26.5%、「要介護高齢者」が35.5%と、「要介護高齢者」は他の区分と比べて、経済状況において苦しいと感じている割合が高い傾向がみられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
大変苦しい	177	7.3%	16	8.5%	30	8.2%
やや苦しい	520	21.4%	34	18.0%	100	27.3%
ふつう	1,354	55.6%	109	57.7%	170	46.4%
ややゆとりがある	271	11.1%	14	7.4%	21	5.7%
大変ゆとりがある	45	1.8%	1	0.5%	4	1.1%
無回答	68	2.8%	15	7.9%	41	11.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

④幸福感

幸福感について『5点』～『10点』の合計値でみると、「高齢者一般」が90.7%、「要支援高齢者」が89.9%、「要介護高齢者」が67.8%と、「高齢者一般」と「要支援高齢者」での大きな差はみられないものの、「要介護高齢者」では約7割と、他の区分と比べて幸福感が低い傾向がみられます。また、『0点』～『4点』の合計値では、すべての区分で同様の結果となっています。

なお、「要介護高齢者」では、『無回答』の割合が他の区分と比べて高いことから、幸福感に対して点数を付けること自体に、難しさを感じていることがうかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
0点	9	0.4%	0	0.0%	8	2.2%
1点	7	0.3%	3	1.6%	5	1.4%
2点	26	1.1%	3	1.6%	5	1.4%
3点	50	2.1%	5	2.6%	15	4.1%
4点	61	2.5%	4	2.1%	13	3.6%
5点	440	18.1%	51	27.0%	93	25.4%
6点	236	9.7%	24	12.7%	28	7.7%
7点	415	17.0%	21	11.1%	33	9.0%
8点	596	24.5%	35	18.5%	45	12.3%
9点	215	8.8%	10	5.3%	12	3.3%
10点	306	12.6%	29	15.3%	37	10.1%
無回答	74	3.0%	4	2.1%	72	19.7%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

2. 介護について

①介護の状況

介護の状況についてみると、『現在、何らかの介護を受けている』は「高齢者一般」が1.8%、「要支援高齢者」が40.2%、「要介護高齢者」が74.6%となっています。

また、「高齢者一般」では、『介護・介助は必要ない』が89.0%と、「高齢者一般」では約9割の方が自立した日常生活を送れている状況となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護・介助は必要ない	2,167	89.0%	68	36.0%	22	6.0%
何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	110	4.5%	35	18.5%	23	6.3%
現在、何らかの介護を受けている	43	1.8%	76	40.2%	273	74.6%
無回答	115	4.7%	10	5.3%	48	13.1%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

②介護が必要となった原因

介護が必要となった原因について最も高い割合を示している項目をみると、「高齢者一般」では『骨折・転倒』が20.9%、「要支援高齢者」では『高齢による衰弱』が40.8%、「要介護高齢者」では『認知症（アルツハイマー病等）』が31.9%と、区分により異なる傾向がみられます。

また、介護度があがるにつれて増加する項目は、『脳卒中（脳出血・脳梗塞等）』となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
脳卒中(脳出血・脳梗塞等)	4	9.3%	9	11.8%	64	23.4%
心臓病	2	4.7%	10	13.2%	28	10.3%
がん(悪性新生物)	2	4.7%	4	5.3%	14	5.1%
呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)	1	2.3%	8	10.5%	12	4.4%
関節の病気(リウマチ等)	7	16.3%	13	17.1%	11	4.0%
認知症(アルツハイマー病等)	4	9.3%	2	2.6%	87	31.9%
パーキンソン病	0	0.0%	1	1.3%	14	5.1%
糖尿病	4	9.3%	1	1.3%	28	10.3%
腎疾患(透析)	1	2.3%	0	0.0%	8	2.9%
視覚・聴覚障害	8	18.6%	6	7.9%	23	8.4%
骨折・転倒	9	20.9%	18	23.7%	60	22.0%
脊椎損傷	5	11.6%	6	7.9%	18	6.6%
高齢による衰弱	8	18.6%	31	40.8%	83	30.4%
その他	8	18.6%	13	17.1%	39	14.3%
不明	0	0.0%	0	0.0%	2	0.7%
無回答	1	2.3%	5	6.6%	10	3.7%
総回答数	64	148.8%	127	167.1%	501	183.5%
合計	43	100.0%	76	100.0%	273	100.0%

③主な介護者

主な介護者について『配偶者』『息子』『娘』の合計値でみると、「高齢者一般」が65.2%、「要支援高齢者」が32.9%、「要介護高齢者」が49.8%と、「要支援高齢者」は他の区分と比べて低い傾向がみられ、家族構成において1人暮らしの割合も高いことが影響していると考えられます。このような状況から、「要支援高齢者」では他の区分と比べて『介護サービスのヘルパー』の割合が高く、家族からの介護・介助ではなく、介護サービスのヘルパーの介護・介助を受けながら日常生活を送っている割合が高い傾向がみられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
配偶者(夫・妻)	8	18.6%	7	9.2%	78	28.6%
息子	6	14.0%	4	5.3%	17	6.2%
娘	14	32.6%	14	18.4%	41	15.0%
子の配偶者	0	0.0%	3	3.9%	11	4.0%
孫	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%
兄弟・姉妹	1	2.3%	2	2.6%	3	1.1%
介護サービスのヘルパー	3	7.0%	29	38.2%	45	16.5%
その他	3	7.0%	3	3.9%	30	11.0%
無回答	8	18.6%	13	17.1%	48	17.6%
合計	43	100.0%	76	100.0%	273	100.0%

3. 紙おむつの利用状況

紙おむつの利用状況についてみると、すべての区分で『現在、紙おむつは利用していない』が最も高い割合となっていますが、介護度があがるにつれて割合は減少し、「要介護高齢者」では約3割となっています。

また、「要介護高齢者」では『昼用と夜用を使い分けて、常時使用している』が23.2%と、紙おむつが日常生活において必需品となっている方が約4人に1人となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
現在、紙おむつは利用していない	2,104	86.4%	109	57.7%	110	30.1%
念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)	54	2.2%	15	7.9%	64	17.5%
寝ている間だけ、使用している	7	0.3%	4	2.1%	11	3.0%
寝たきり状態であり、常時使用している	3	0.1%	0	0.0%	18	4.9%
昼用と夜用を使い分けて、常時使用している	10	0.4%	11	5.8%	85	23.2%
その他	31	1.3%	12	6.3%	22	6.0%
無回答	226	9.3%	38	20.1%	56	15.3%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

4. 外出について

①主な外出先

主な外出先についてみると、「高齢者一般」では、各項目に対して回答がみられる状況であることから、活動的に外出をしている状況がみられます。一方で、「要介護高齢者」では、上位3位に挙げられている項目以外への回答が少数であることから、外出先はある程度限定されている状況がうかがえます。

また、「要支援高齢者」では、『病院、診療所』が54.7%と、他の区分と比べても割合が高いことから、自身が抱える傷病の治療ということもありますが、自立した日常生活を継続するため、自身の健康管理に気をつける意識も、他の区分に比べても高いのではないかと考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
買い物をする場所	1,798	79.4%	106	65.8%	84	35.9%
会合・サークル活動・学習のための施設	502	22.2%	30	18.6%	5	2.1%
体操等、地域の通いの場	185	8.2%	16	9.9%	8	3.4%
病院、診療所	598	26.4%	88	54.7%	108	46.2%
飲食店	303	13.4%	9	5.6%	21	9.0%
公園、遊歩道	444	19.6%	14	8.7%	20	8.5%
家族・親戚や友人・知人の家	235	10.4%	9	5.6%	14	6.0%
文化・娯楽施設	148	6.5%	3	1.9%	1	0.4%
行楽地、観光地	132	5.8%	0	0.0%	1	0.4%
スポーツ施設	302	13.3%	7	4.3%	1	0.4%
宗教的な施設・場所	50	2.2%	3	1.9%	3	1.3%
農園	145	6.4%	2	1.2%	2	0.9%
職場	488	21.5%	3	1.9%	1	0.4%
入浴施設	55	2.4%	0	0.0%	2	0.9%
デイサービスなどの通所施設	-	-	61	37.9%	164	70.1%
その他	200	8.8%	12	7.5%	13	5.6%
無回答	10	0.4%	3	1.9%	0	0.0%
総回答数	5,595	247.0%	366	227.3%	448	191.5%
合計	2,265	100.0%	161	100.0%	234	100.0%

②外出時の移動手段

外出時の移動手段についてみると、「高齢者一般」では、自身の動作（徒歩・自転車・自動車）及び公共交通機関（電車・路線バス）を利用する割合が高く、これらの項目は介護度があがるにつれて減少する傾向がみられます。一方で、介護度があがるにつれて、増加傾向がみられる項目としては、『自動車（人に乗せてもらう）』となっています。

また、ある程度の身体機能が維持できる状態にある「要支援高齢者」では、『病院や施設のバス』『歩行器・シルバーカー』『タクシー』の割合が、他の区分に比べて高くなっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
徒歩	1,871	76.8%	117	61.9%	96	26.2%
自転車	1,008	41.4%	14	7.4%	11	3.0%
バイク	87	3.6%	4	2.1%	0	0.0%
自動車(自分で運転)	1,193	49.0%	8	4.2%	3	0.8%
自動車(人に乗せてもらう)	342	14.0%	68	36.0%	186	50.8%
電車	1,453	59.7%	57	30.2%	33	9.0%
路線バス	733	30.1%	49	25.9%	38	10.4%
病院や施設のバス	60	2.5%	50	26.5%	88	24.0%
車いす	3	0.1%	2	1.1%	64	17.5%
電動車いす(カート)	1	0.0%	0	0.0%	2	0.5%
歩行器・シルバーカー	14	0.6%	31	16.4%	43	11.7%
タクシー	289	11.9%	68	36.0%	103	28.1%
その他	14	0.6%	5	2.6%	11	3.0%
無回答	78	3.2%	8	4.2%	52	14.2%
総回答数	7,146	293.5%	481	254.5%	730	199.5%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

5. 日常生活について

① どなたかと食事をする機会

どなたかと食事をする機会についてみると、『毎日ある』は「高齢者一般」が50.4%、「要支援高齢者」が37.6%、「要介護高齢者」が54.1%と、「要支援高齢者」は他の区分に比べて低く、家族構成において1人暮らしの割合も高いことが影響していると考えられます。

また、『年に何度かある』『ほとんどない』の合計値でみると、「高齢者一般」が17.3%、「要支援高齢者」が24.4%、「要介護高齢者」が16.4%と、『毎日ある』の割合が最も低い「要支援高齢者」が最も高い割合を示す結果となっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
毎日ある	1,227	50.4%	71	37.6%	198	54.1%
週に何度かある	248	10.2%	19	10.1%	38	10.4%
月に何度かある	470	19.3%	45	23.8%	29	7.9%
年に何度かある	252	10.3%	27	14.3%	11	3.0%
ほとんどない	171	7.0%	19	10.1%	49	13.4%
無回答	67	2.8%	8	4.2%	41	11.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

②日常生活で困ったこと

日常生活で困ったことについてみると、「高齢者一般」では『特に困っていることはない』が54.1%と、約半数の方は日常生活における困りごとではなく生活できている状況がみられますが、困りごととして上位に挙げられている項目としては、『日常の力仕事(家具の移動等)』『庭の手入れ』となっています。

日常生活における困りごとは、介護度があがるにつれて割合は増加する傾向がみられますが、『日常の力仕事(家具の移動等)』『庭の手入れ』『掃除』については、「要支援高齢者」に比べて「要介護高齢者」の割合は低く、介護保険サービス等の利用により、自身が行う機会が減ることが影響しているのではないかと考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
税金の支払いや公共機関の手続き	199	8.2%	45	23.8%	110	30.1%
財産やお金の管理	125	5.1%	27	14.3%	101	27.6%
近くに買い物をする場所がない	84	3.4%	23	12.2%	68	18.6%
買い物に行くのが困難(行けない)	36	1.5%	46	24.3%	132	36.1%
日々のゴミ出し	83	3.4%	43	22.8%	105	28.7%
日常の力仕事(家具の移動等)	478	19.6%	111	58.7%	138	37.7%
庭の手入れ	288	11.8%	65	34.4%	111	30.3%
掃除	184	7.6%	71	37.6%	127	34.7%
洗濯	119	4.9%	37	19.6%	105	28.7%
食事の準備	152	6.2%	35	18.5%	125	34.2%
外出の際の移動手段	111	4.6%	63	33.3%	135	36.9%
電化製品の扱い方	264	10.8%	61	32.3%	121	33.1%
ペットの世話	28	1.1%	7	3.7%	28	7.7%
その他	62	2.5%	13	6.9%	26	7.1%
特に困っていることはない	1,314	54.0%	26	13.8%	51	13.9%
無回答	149	6.1%	8	4.2%	67	18.3%
総回答数	3,676	151.0%	681	360.3%	1,550	423.5%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

③今後の生活で心配なこと

今後の生活で心配なことについてみると、上位3位に挙げられている項目は、すべての区分で『経済的なこと』『自分の健康に関すること』『自分が認知症になること』となっています。

『自分が認知症になること』については、「要支援高齢者」では50.8%と、他の区分に比べて割合が高く、関心が高い状況がうかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
経済的なこと	850	34.9%	45	23.8%	116	31.7%
お金の管理のこと	96	3.9%	21	11.1%	46	12.6%
自分の健康に関すること	1,283	52.7%	142	75.1%	180	49.2%
自分が認知症になること	826	33.9%	96	50.8%	110	30.1%
家族の健康に関すること	696	28.6%	43	22.8%	71	19.4%
家族が認知症になること	270	11.1%	14	7.4%	25	6.8%
家族との不和	57	2.3%	1	0.5%	12	3.3%
近所との付き合い	53	2.2%	5	2.6%	4	1.1%
将来、一人で生活することになったときのこと	354	14.5%	26	13.8%	56	15.3%
何かあったときにどこへ相談していいかわからない	141	5.8%	11	5.8%	20	5.5%
住まいに関すること	175	7.2%	14	7.4%	10	2.7%
その他	34	1.4%	3	1.6%	8	2.2%
特に心配していることはない	382	15.7%	13	6.9%	30	8.2%
無回答	65	2.7%	5	2.6%	51	13.9%
総回答数	5,282	216.9%	439	232.3%	739	201.9%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

④地域との関わり

地域との関わりについてみると、すべての区分で『いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい』の割合が最も高く、「高齢者一般」が41.2%、「要支援高齢者」が46.6%、「要介護高齢者」が30.6%となっています。

また、『お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい』は、「高齢者一般」が36.7%と、他の区分と比べて高くなっています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい	290	11.9%	22	11.6%	41	11.2%
いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい	1,004	41.2%	88	46.6%	112	30.6%
お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい	893	36.7%	53	28.0%	98	26.8%
かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい	124	5.1%	10	5.3%	44	12.0%
無回答	124	5.1%	16	8.5%	71	19.4%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

6. 市の施策、介護保険制度について

①介護保険料の負担感

介護保険料の負担感に『多少負担を感じる』と『負担を感じる』の合計値でみると、「高齢者一般」が62.8%、「要支援高齢者」が51.3%、「要介護高齢者」が46.2%と、介護保険料に対して負担感を感じている割合が高いのは「高齢者一般」で、他の区分に比べて高い要因としては、介護保険サービスを利用していないことが負担感につながっていると考えられます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
負担とは感じない	105	4.3%	13	6.9%	19	5.2%
それほど負担とは感じない	251	10.3%	26	13.8%	35	9.6%
多少負担を感じる	653	26.8%	48	25.4%	72	19.7%
負担と感じる	877	36.0%	49	25.9%	97	26.5%
どちらともいえない	215	8.8%	21	11.1%	32	8.7%
わからない	223	9.2%	21	11.1%	53	14.5%
無回答	111	4.6%	11	5.8%	58	15.8%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

②介護サービスと介護保険料の相関関係

介護サービスと介護保険料の相関関係についてみると、すべての区分で『どちらともいえない』の割合が最も高く、「高齢者一般」が51.5%、「要支援高齢者」が47.1%、「要介護高齢者」が46.2%と、介護サービスと介護保険料の相関関係に対する考え方として、明確に回答することは難しいと考える方が多い状況がうかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い	485	19.9%	41	21.7%	78	21.3%
介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い	564	23.2%	43	22.8%	57	15.6%
どちらともいえない	1,255	51.5%	89	47.1%	169	46.2%
無回答	131	5.4%	16	8.5%	62	16.9%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

③紙おむつ給付事業

紙おむつ給付事業についてみると、『介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい』は、「要介護高齢者（介護者）」が47.8%と、他の区分と比べて高く、要介護高齢者の介護者としては、必要な事業と考えられている結果となっています。

一方で、『紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い』の割合は低いものの、『介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい』『寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい』の合計値は、現行通りの内容を希望する割合を上回ることから、何かしらの見直しが必要だと考えられている状況にあるとかがえます。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要支援高齢者 (介護者)		要介護高齢者		要介護高齢者 (介護者)	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい	478	19.6%	46	24.3%	21	31.3%	108	29.5%	108	47.8%
介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい	800	32.9%	48	25.4%	27	40.3%	94	25.7%	71	31.4%
寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい	715	29.4%	42	22.2%	17	25.4%	53	14.5%	37	16.4%
紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い	128	5.3%	7	3.7%	2	3.0%	9	2.5%	10	4.4%
無回答	314	12.9%	46	24.3%	-	-	102	27.9%	-	-
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	67	100.0%	366	100.0%	226	100.0%

④低所得者助成金制度

低所得者助成金制度についてみると、すべての区分で『今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う』の割合が最も高く、「高齢者一般」が52.0%、「要支援高齢者」が51.3%、「要介護高齢者」が47.5%と、制度を継続する必要があると考える方は多い状況ではあるものの、「高齢者一般」では、『助成金制度の見直しを行う必要があると思う』が26.1%と、約4人に1人は制度の見直しを行う必要があると考えられています。

項目	高齢者一般		要支援高齢者		要介護高齢者	
	回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う	1,267	52.0%	97	51.3%	174	47.5%
助成金制度の見直しを行う必要があると思う	636	26.1%	27	14.3%	52	14.2%
税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う	98	4.0%	3	1.6%	13	3.6%
その他	64	2.6%	6	3.2%	9	2.5%
無回答	370	15.2%	56	29.6%	118	32.2%
合計	2,435	100.0%	189	100.0%	366	100.0%

第III部 高齡者一般

第1章 高齢者一般 調査結果

1. あて名のご本人について

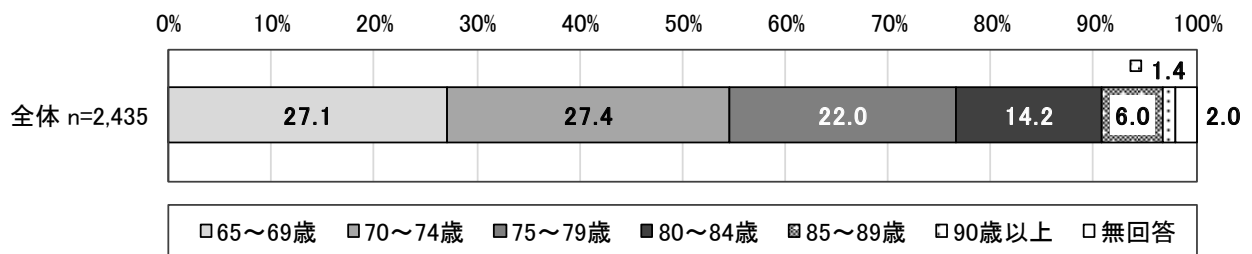
「1. あて名のご本人について」は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。(令和2年1月1日現在)

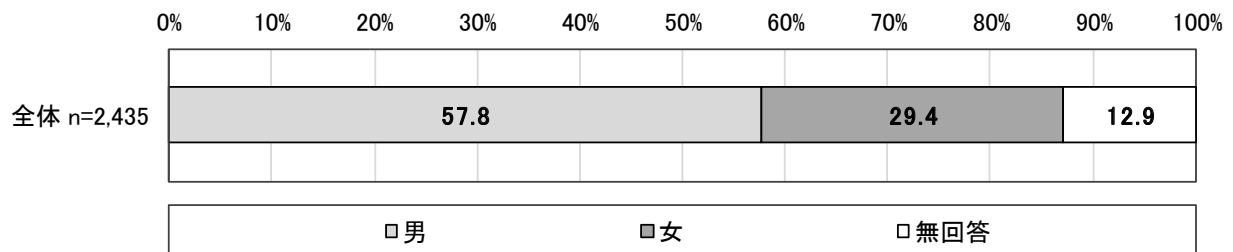
年齢については、「70～74歳」が27.4%で最も高く、次いで「65～69歳」が27.1%、「75～79歳」が22.0%となっています。

性別については、「男」が57.8%、「女」が29.4%となっています。

【年齢】

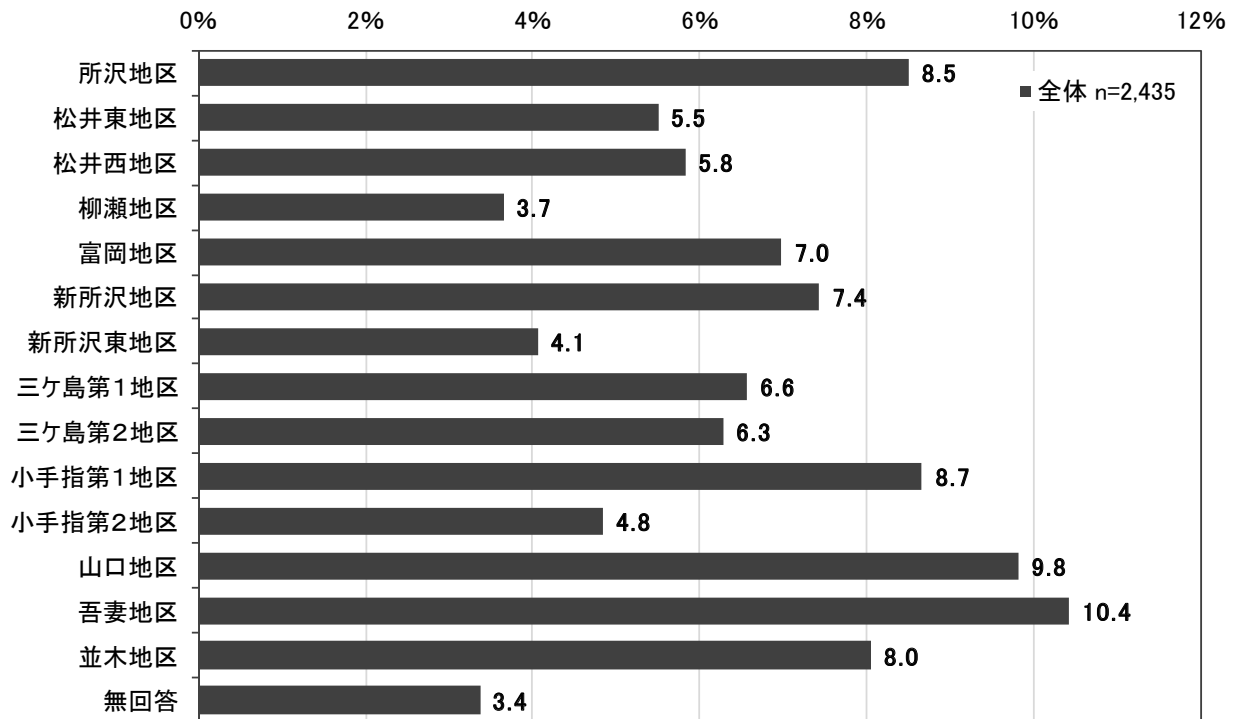


【性別】

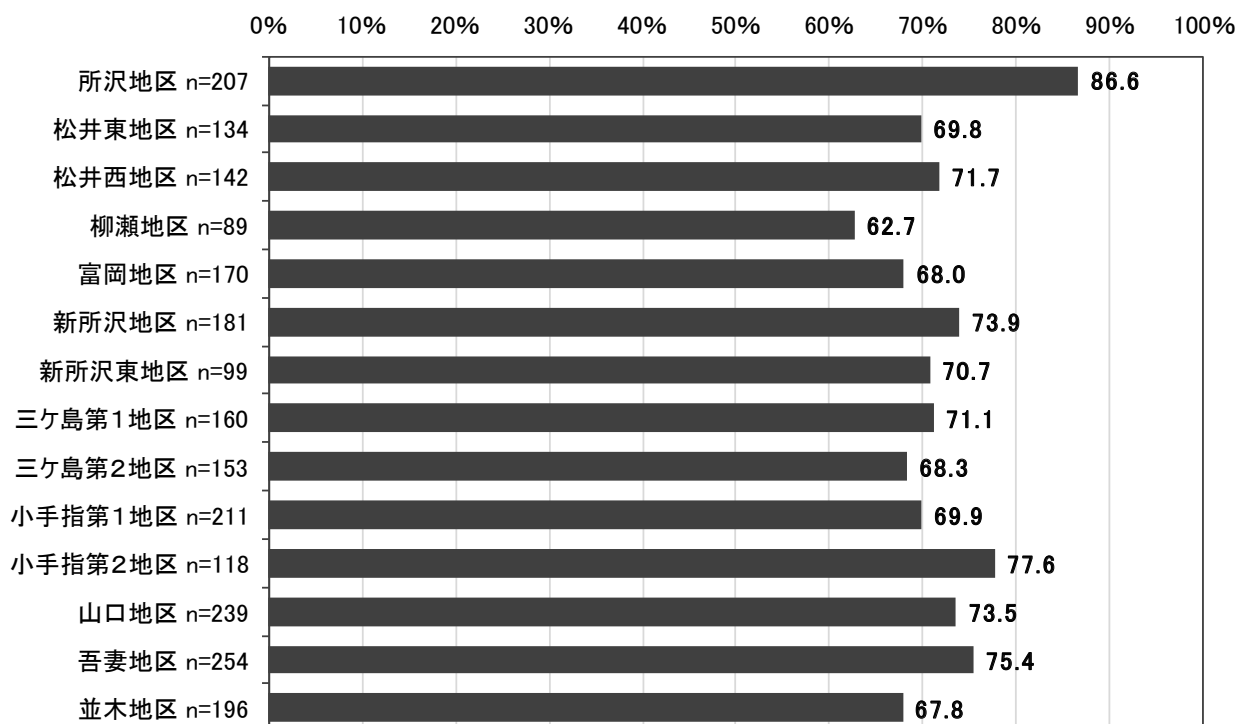


問2. お住まいの地区についてお答えください。

居住地区については、「吾妻地区」が10.4%で最も高く、次いで「山口地区」が9.8%、「小手指第1地区」が8.7%となっています。



居住地区別の発送数から回答率をみると、「所沢地区」が86.6%で最も高く、次いで「小手指第2地区」が77.6%、「吾妻地区」が75.4%となっています。

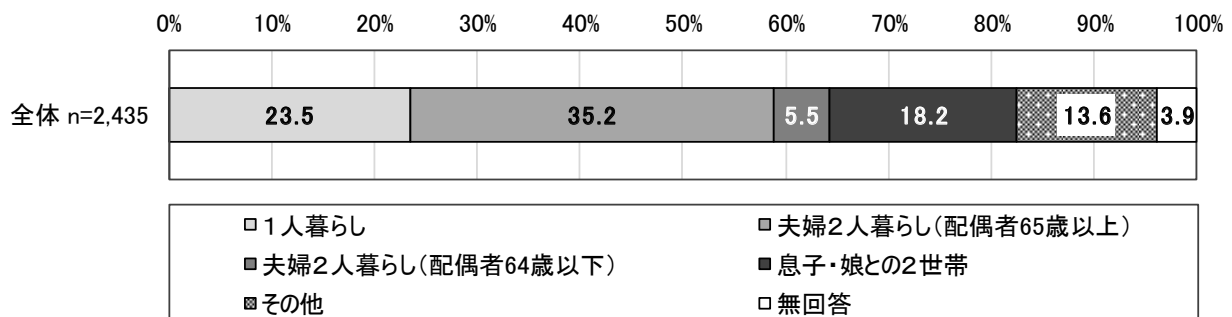


2. あなたのご家族や生活状況について

「2. あなたのご家族や生活状況について」は、家族構成や居住状況、普段の生活において介護・介助が必要な状況、暮らしの経済状況、紙おむつの利用状況を把握するための項目となっています。

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

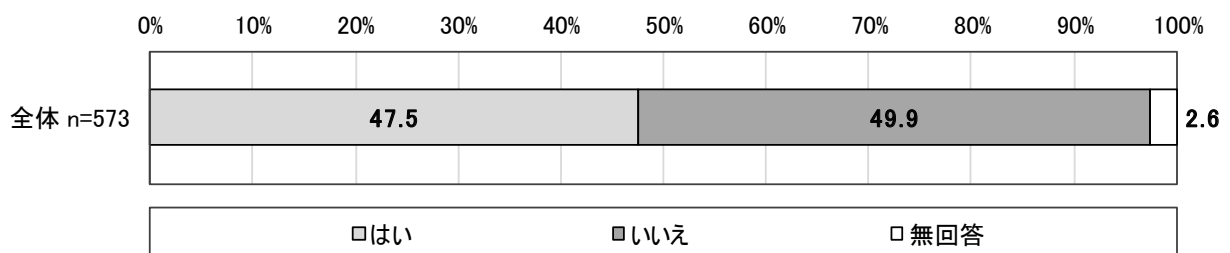
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が35.2%で最も高く、次いで「1人暮らし」が23.5%、「息子・娘との2世帯」が18.2%となっています。



問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

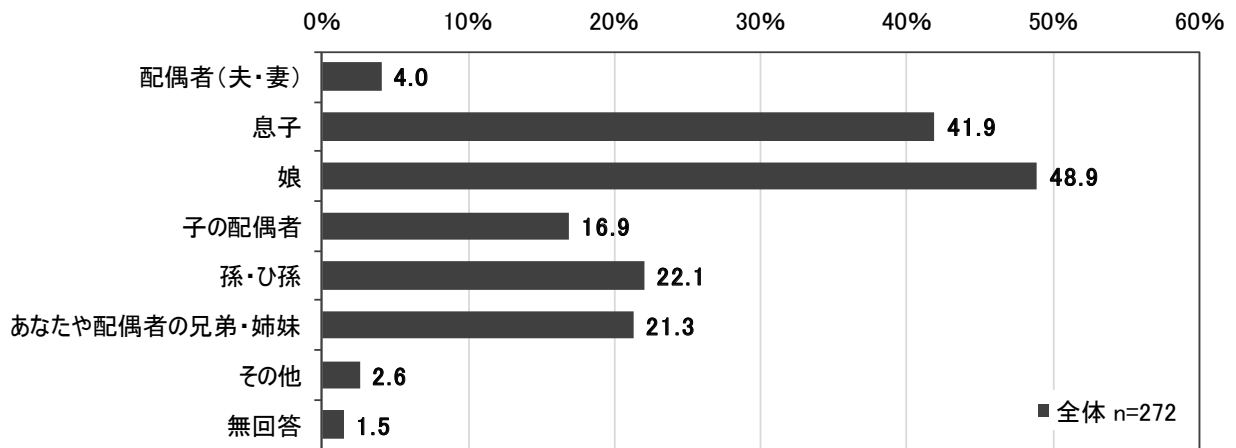
市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

市内又は住まいの近くに家族がいるかについては、「はい」が47.5%、「いいえ」が49.9%で、「いいえ」が2.4ポイント上回っています。



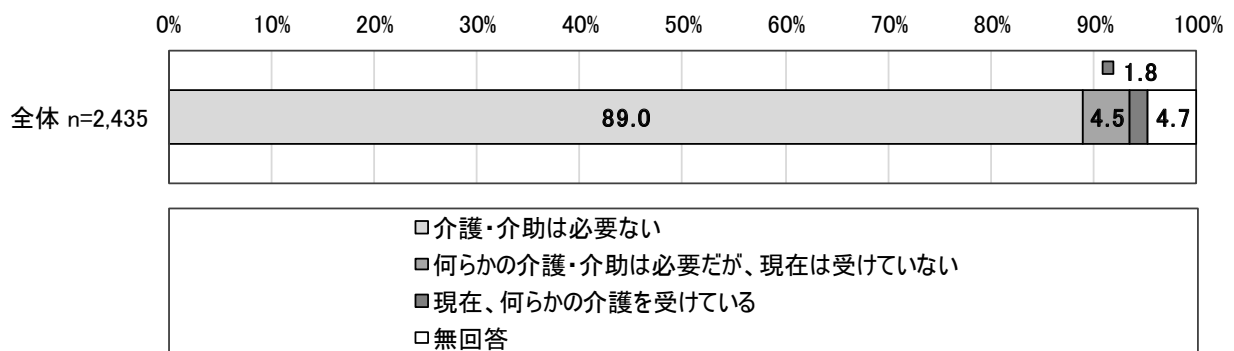
問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】
それはどなたですか。（あてはまるものすべてに回答）

市内又は住まいの近くにいる家族については、「娘」が48.9%で最も高く、次いで「息子」が41.9%、「孫・ひ孫」が22.1%となっています。



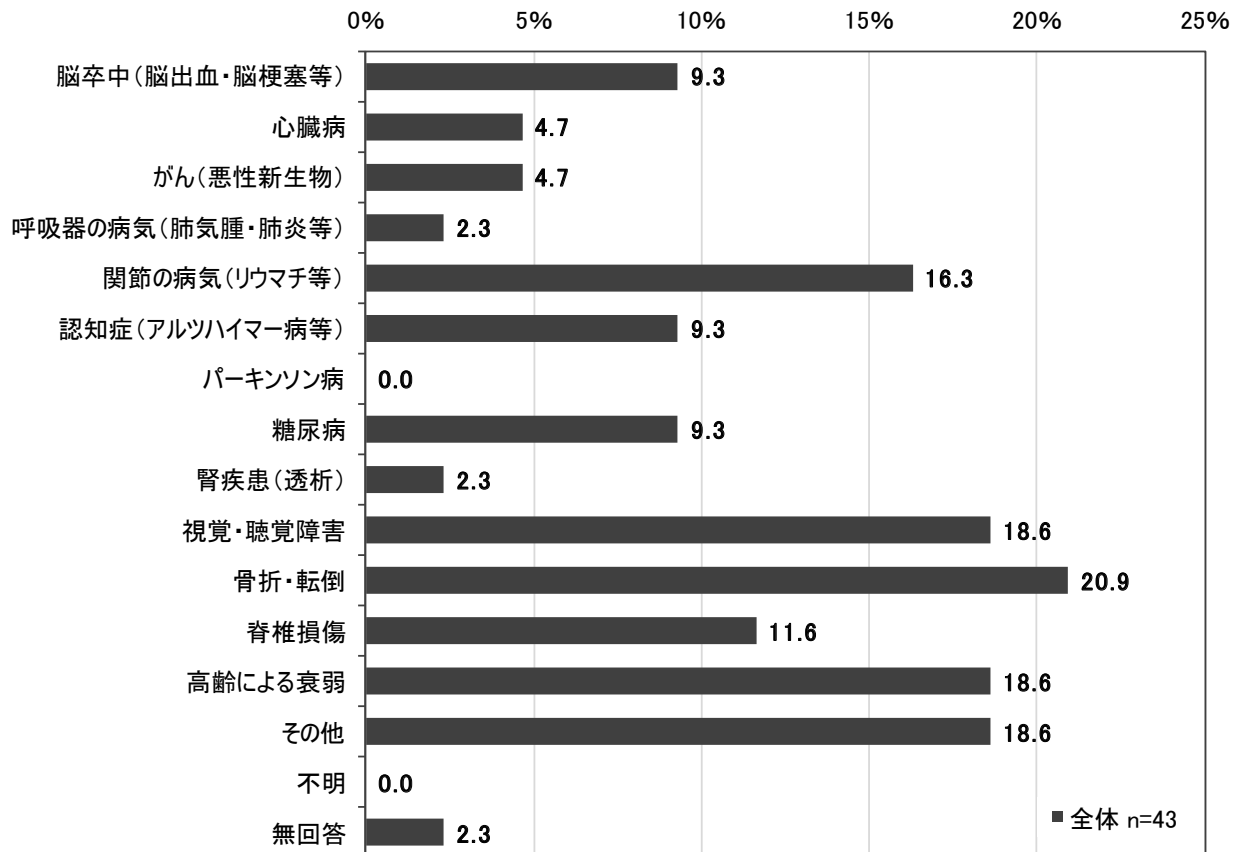
問4. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。（回答は1つ） ★

普段の生活での介護・介助の必要性については、「介護・介助は必要ない」が89.0%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が4.5%、「現在、何らかの介護を受けている」が1.8%となっています。



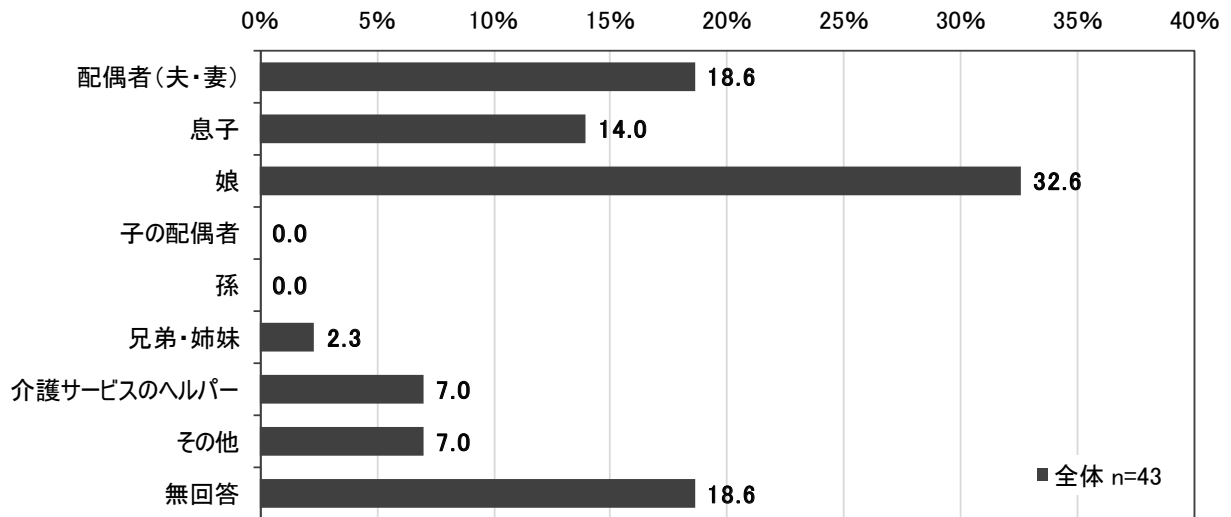
問4-1.【問4で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

介護・介助が必要になった主な原因については、「骨折・転倒」が20.9%で最も高く、次いで「視覚・聴覚障害」「高齢による衰弱」「その他」がともに18.6%、「関節の病気(リウマチ等)」が16.3%となっています。



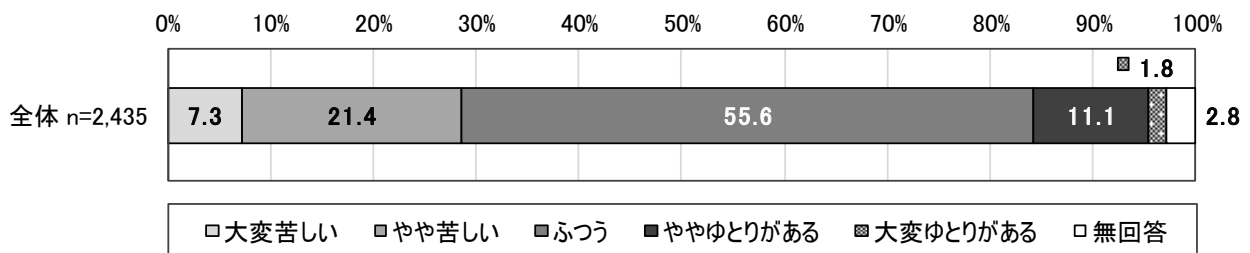
問4-2.【問4で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
主にどなたの介護を受けていますか。(回答は1つ) ★

主にどなたの介護を受けているかについては、「娘」が 32.6%で最も高く、次いで「配偶者（夫・妻）」が 18.6%、「息子」が 14.0%となっています。



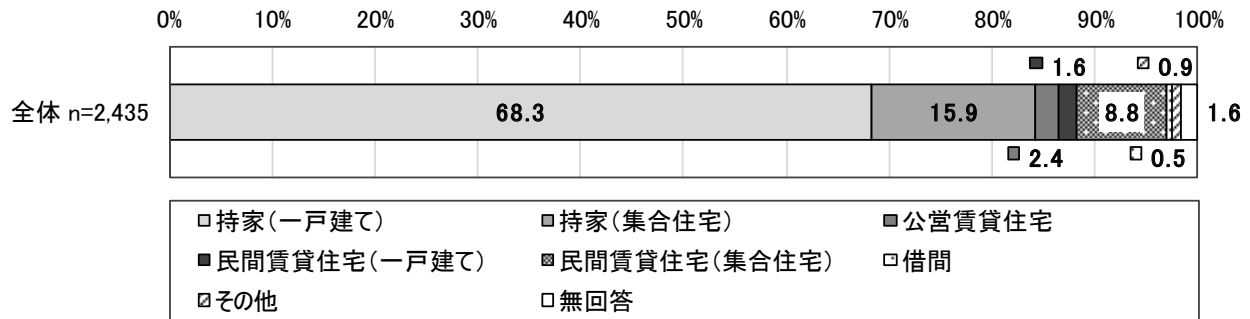
問5. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が 55.6%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 21.4%、「ややゆとりがある」が 11.1%、「大変苦しい」が 7.3%となっています。



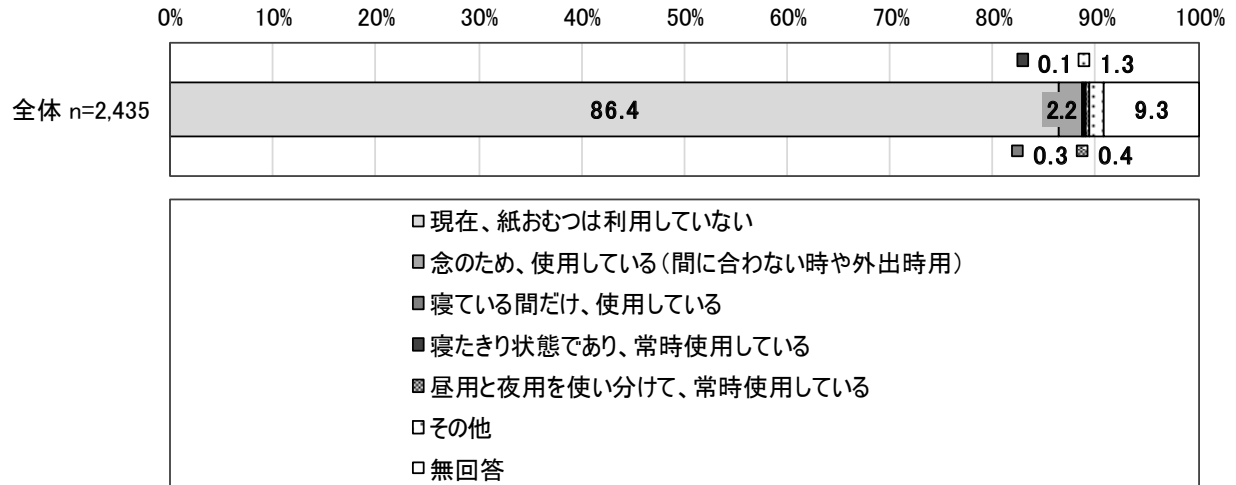
問6. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ) ★

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が68.3%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が15.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.8%となっています。



問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

大人用紙おむつの利用状況については、「現在、紙おむつは利用していない」が86.4%で最も高く、次いで「念のため、使用している（間に合わない時や外出時用）」が2.2%、「その他」が1.3%となっています。

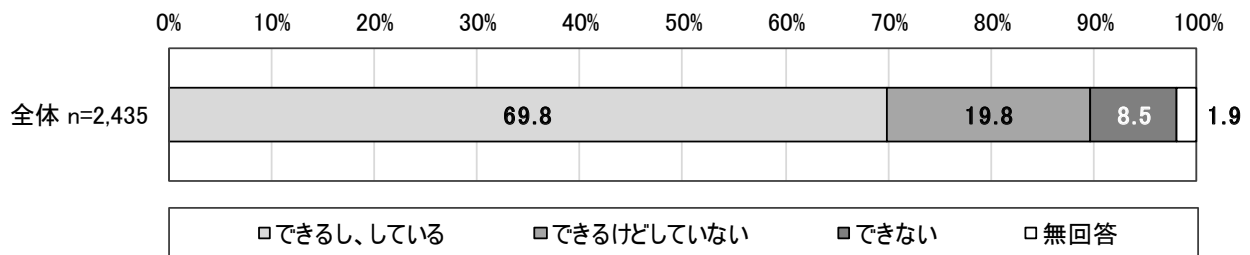


3. からだを動かすことについて

「3. からだを動かすことについて」は、日常生活動作の状況から運動機能の評価を行うための設問が設けられています。また、外出状況、外出時の移動手段を把握するための項目となっています。

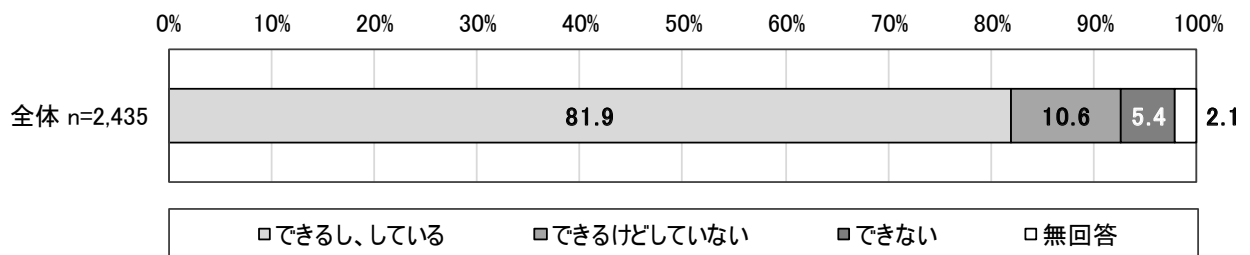
問8. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ) ★

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できるし、している」が69.8%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が19.8%、「できない」が8.5%となっています。



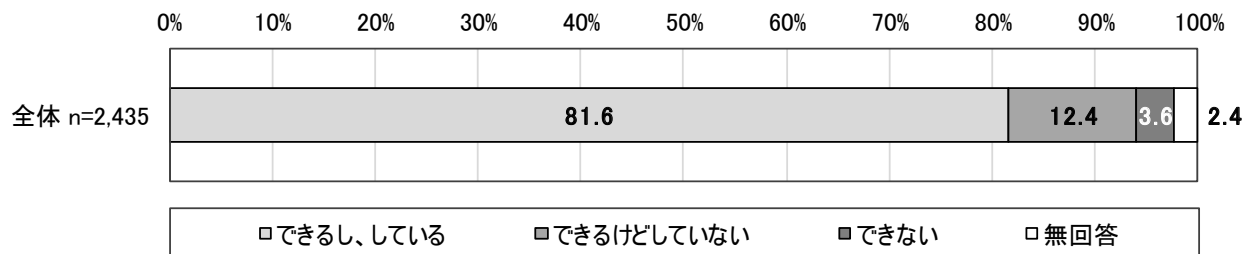
問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ) ★

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できるし、している」が81.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が10.6%、「できない」が5.4%となっています。



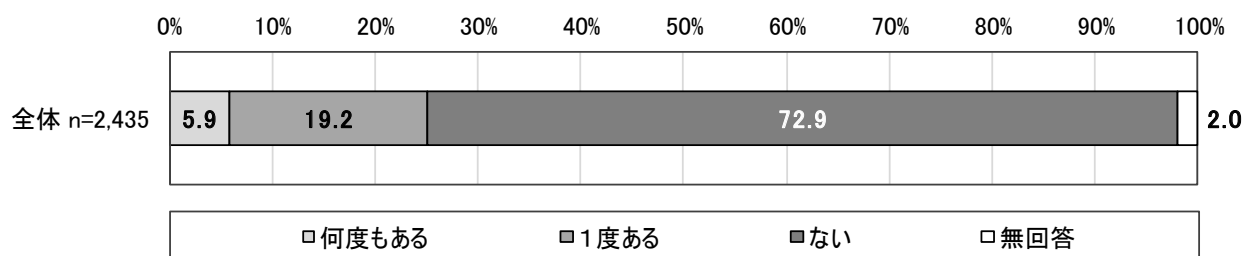
問 10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ) ★

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が81.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が12.4%、「できない」が3.6%となっています。



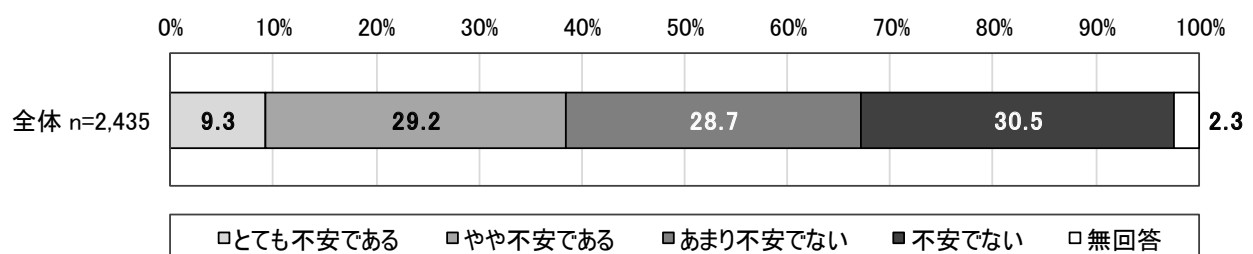
問 11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ) ★

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が72.9%で最も高く、次いで「1度ある」が19.2%、「何度もある」が5.9%となっています。



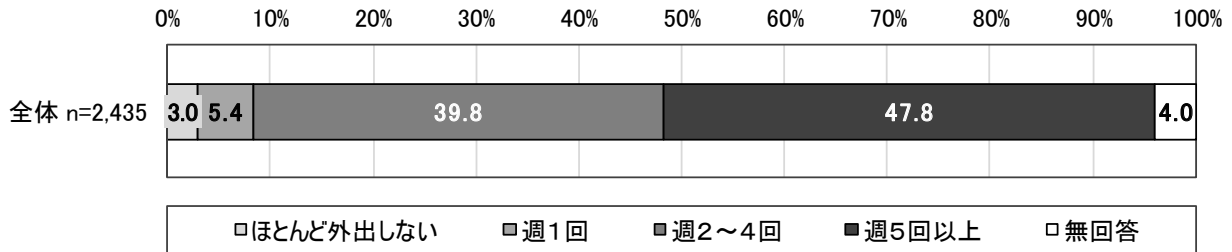
問 12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ) ★

転倒に対する不安は大きいかについては、「不安でない」が30.5%で最も高く、次いで「やや不安である」が29.2%、「あまり不安でない」が28.7%、「とても不安である」が9.3%となっています。



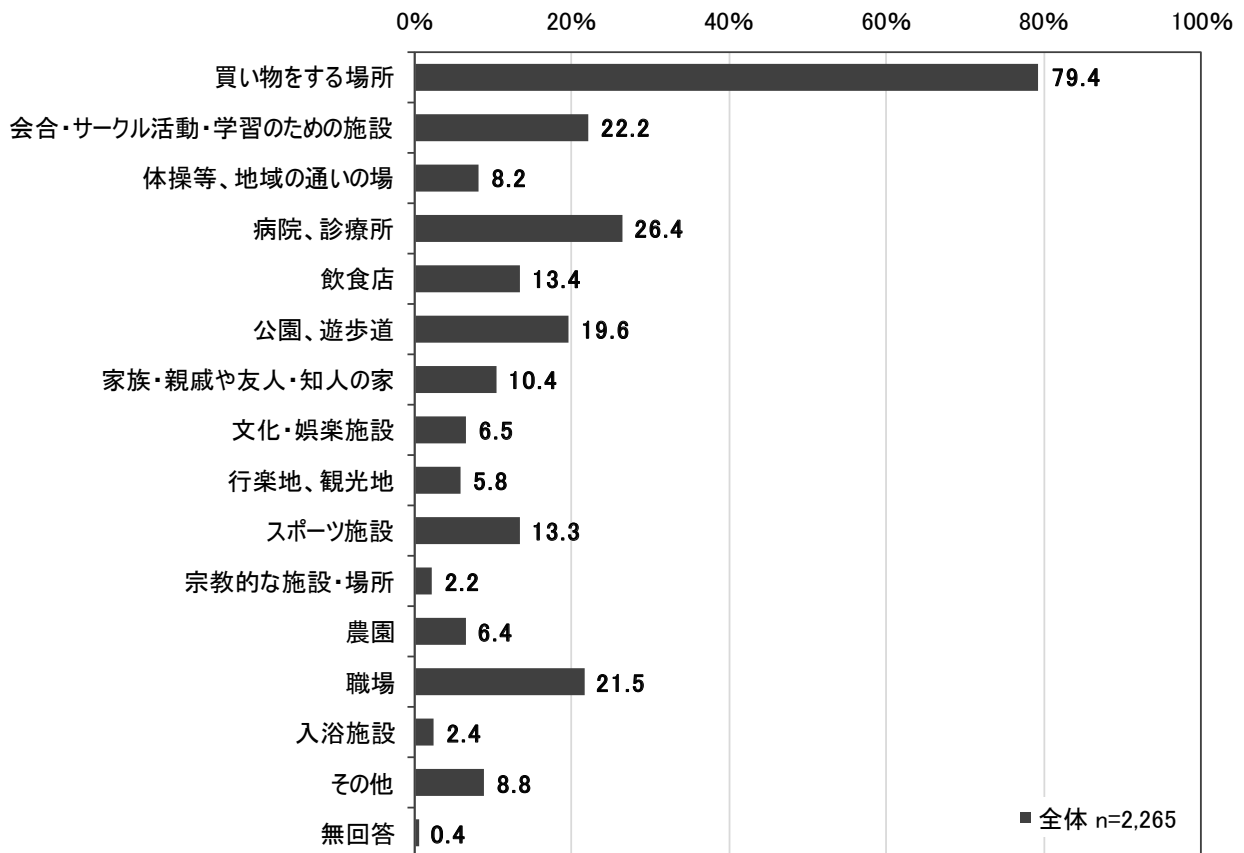
問 13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★

週に1回以上は外出しているかについては、「週5回以上」が47.8%で最も高く、次いで「週2～4回」が39.8%、「週1回」が5.4%、「ほとんど外出しない」が3.0%となっています。



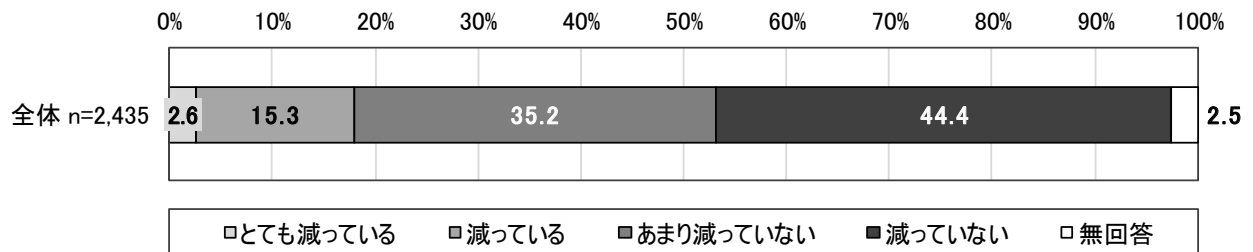
**問 13-1. 【問 13で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】
外出をする際の主な行き先は、次のどれですか。(回答は3つまで)**

外出する際の主な行き先については、「買い物をする場所」が79.4%で最も高く、次いで「病院、診療所」が26.4%、「会合・サークル活動・学習のための施設」が22.2%となっています。



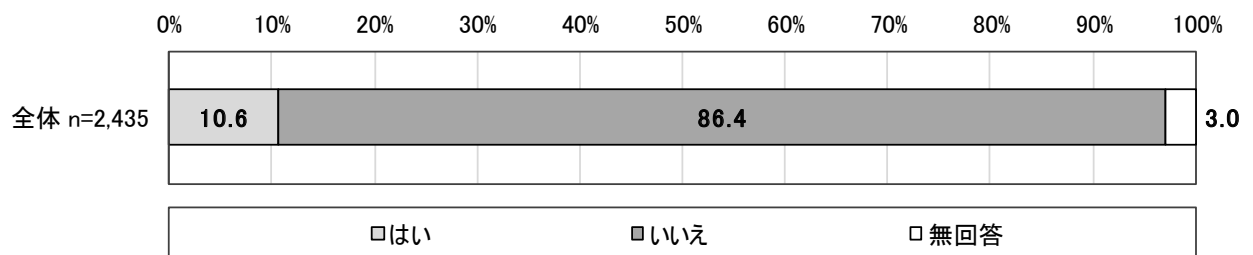
問 14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っていない」が 44.4%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が 35.2%、「減っている」が 15.3%、「とても減っている」が 2.6%となっています。



問 15. 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★

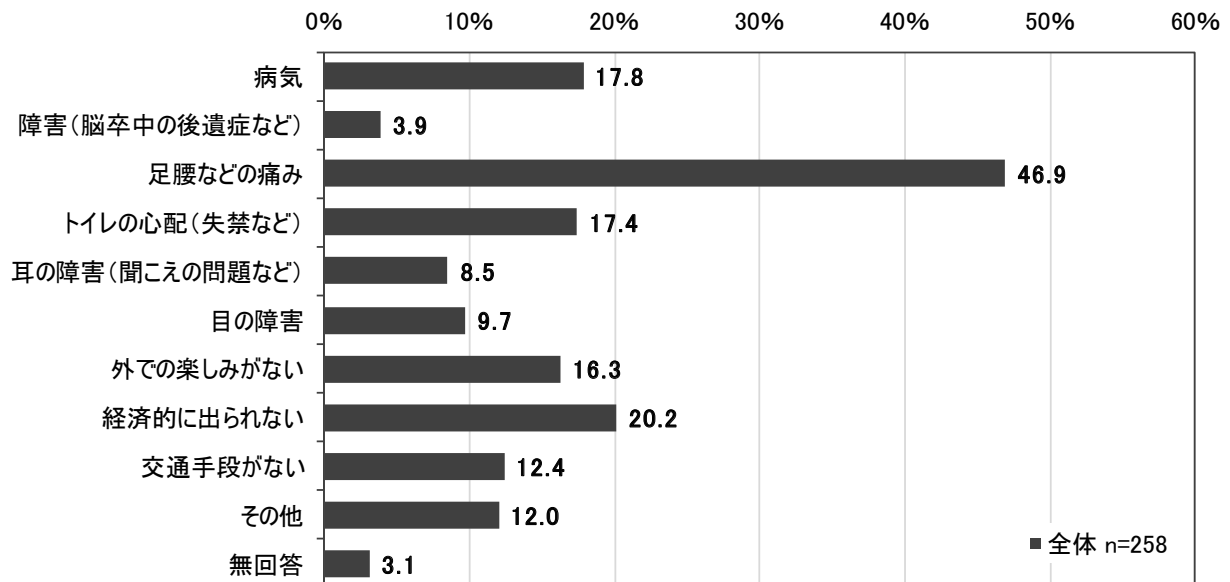
外出を控えているかについては、「はい」が 10.6%、「いいえ」が 86.4%で、「いいえ」が 75.8ポイント上回っています。



問 15-1. 【問 15 で「はい」と回答した方におたずねします。】

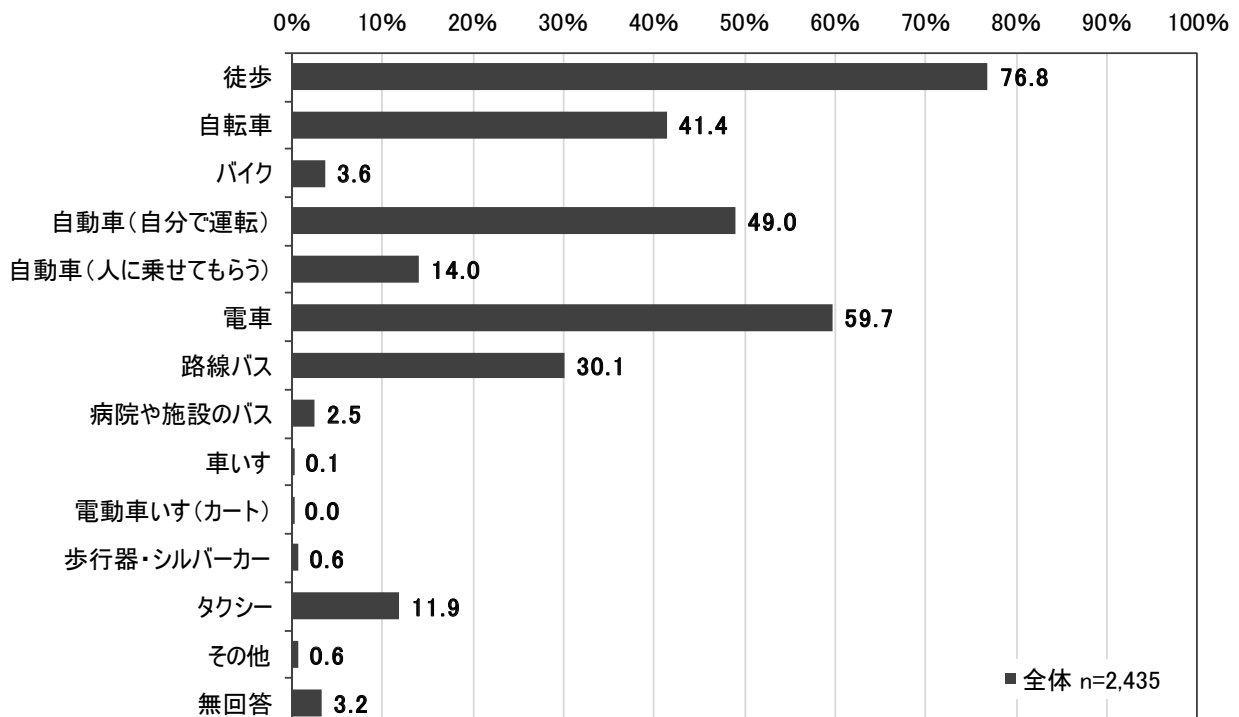
外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 46.9%で最も高く、次いで「経済的に出られない」が 20.2%、「病気」が 17.8%となっています。



問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「徒歩」が 76.8%で最も高く、次いで「電車」が 59.7%、「自動車(自分で運転)」が 49.0%となっています。

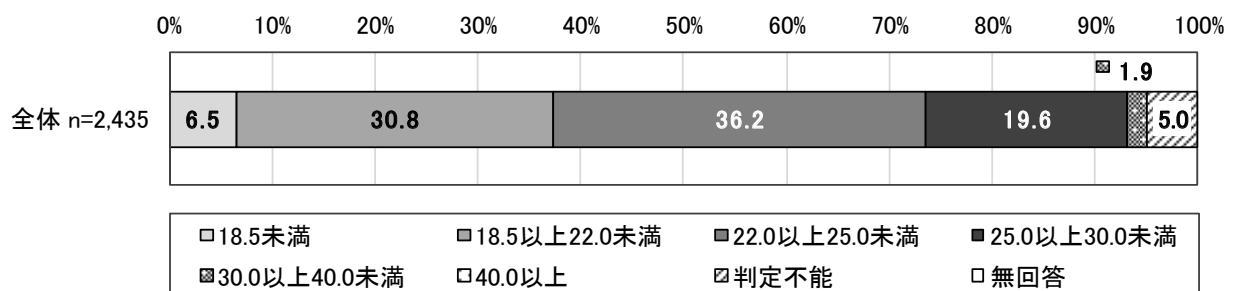


4. 食べることについて

「4. 食べることについて」は、身長・体重からBMIを算出し、肥満度の構成を把握するとともに、口腔機能の状況、歯の数と入れ歯の利用状況、だれかと食事をする機会を把握するための項目となっています。

問 17. 身長・体重を記入してください。 ★

身長・体重から算出されるBMIについてみると、「22.0以上25.0未満」が36.2%で最も高く、次いで「18.5以上22.0未満」が30.8%、「25.0以上30.0未満」が19.6%となっています。



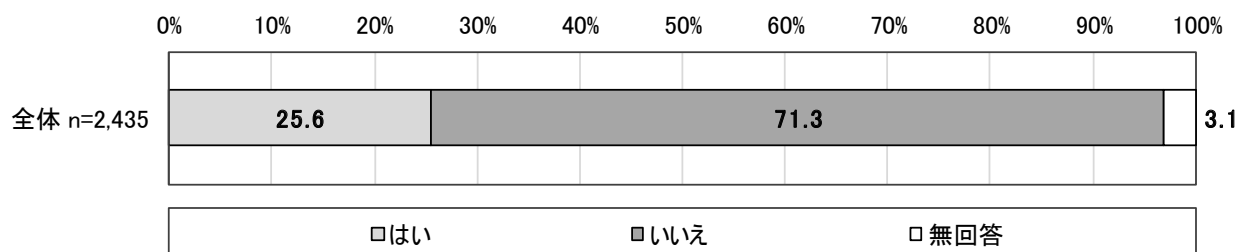
※BMIとは、体重と身長の関係から肥満度を示す体格指数であり、下記の計算式で算出します。

【計算式】 $BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

- ◆「18.5未満」……………『低体重』
- ◆「18.5以上25.0未満」……………『普通体重』
- ◆「25.0以上」……………『肥満』

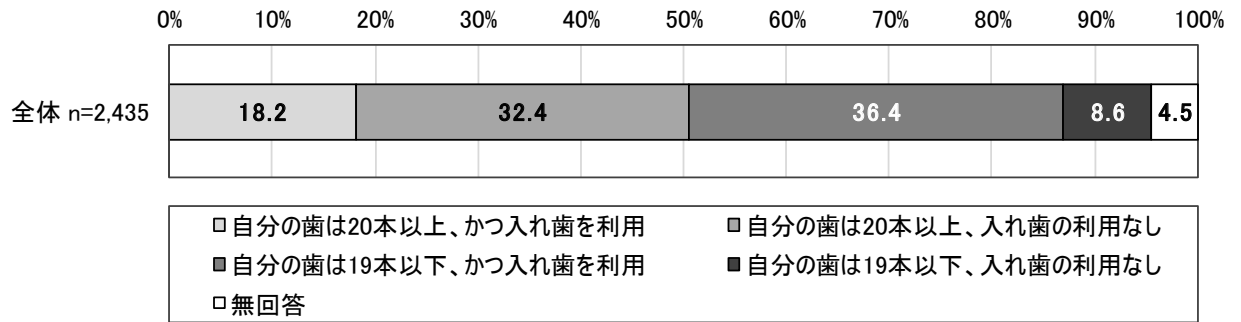
問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ) ★

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が25.6%、「いいえ」が71.3%で、「いいえ」が45.7ポイント上回っています。



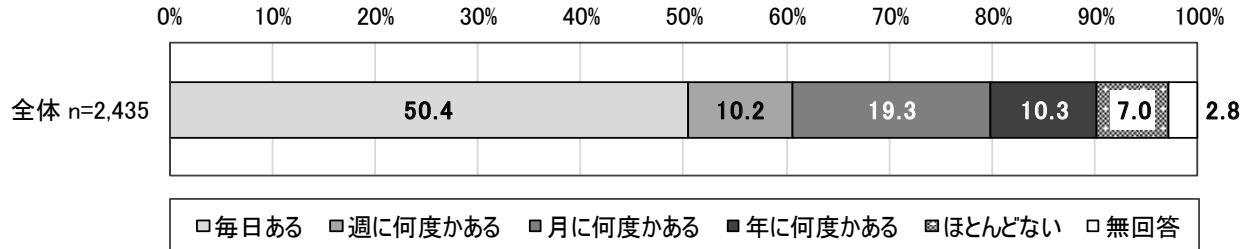
問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(回答は1つ) ★

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が36.4%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が32.4%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が18.2%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が8.6%となっています。



問 20. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ) ★

どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が50.4%で最も高く、次いで「月に何度かある」が19.3%、「年に何度かある」が10.3%となっています。

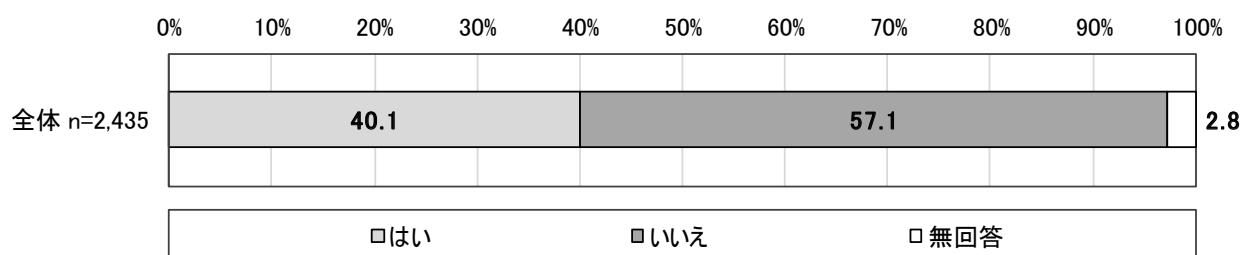


5. 毎日の生活について

「5. 毎日の生活について」は、物忘れの状況から認知機能を評価する設問が設けられているとともに、日常生活動作の設問から、手段的自立度（IADL）・知的能動性・社会的役割の評価により、生活機能を総合的に評価する設問が設けられています。また、日常生活において困ったことや今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

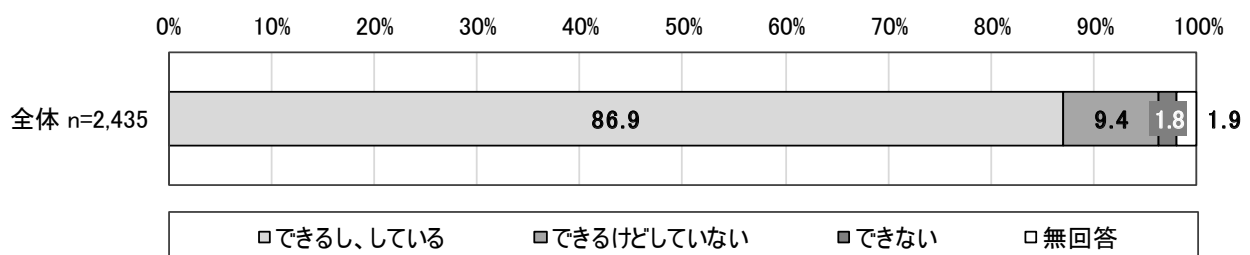
問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ) ★

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が40.1%、「いいえ」が57.1%で、「いいえ」が17.0ポイント上回っています。



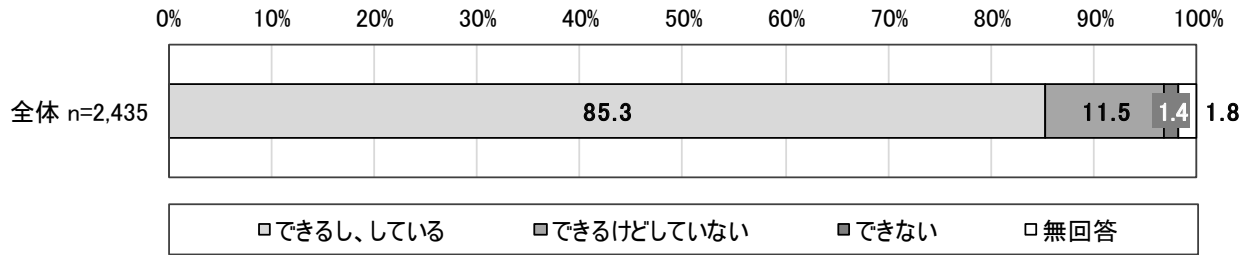
問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ) ★

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が86.9%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が9.4%、「できない」が1.8%となっています。



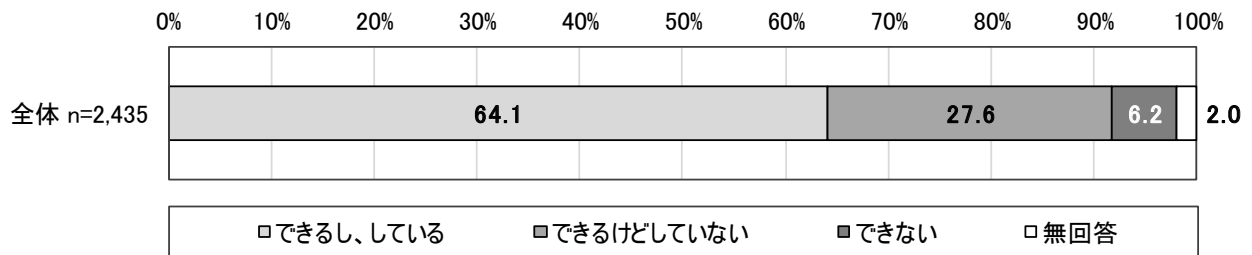
問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できるし、している」が 85.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 11.5%、「できない」が 1.4%となっています。



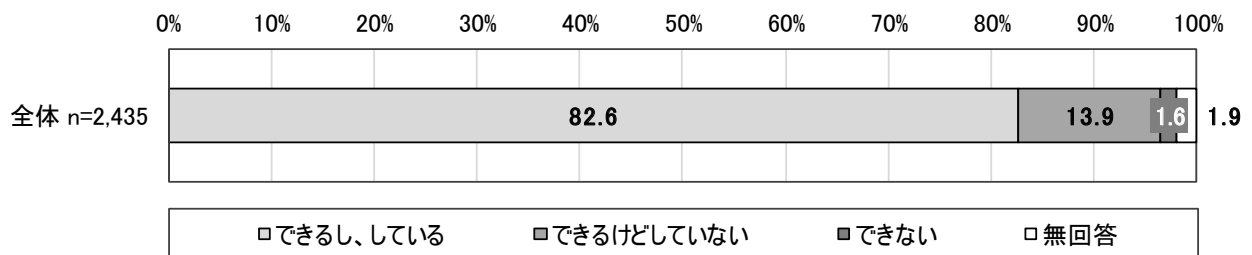
問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が 64.1%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 27.6%、「できない」が 6.2%となっています。



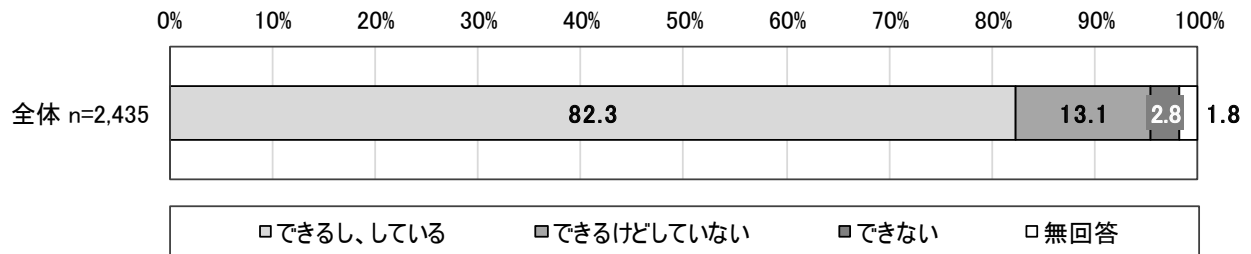
問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 82.6%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.9%、「できない」が 1.6%となっています。



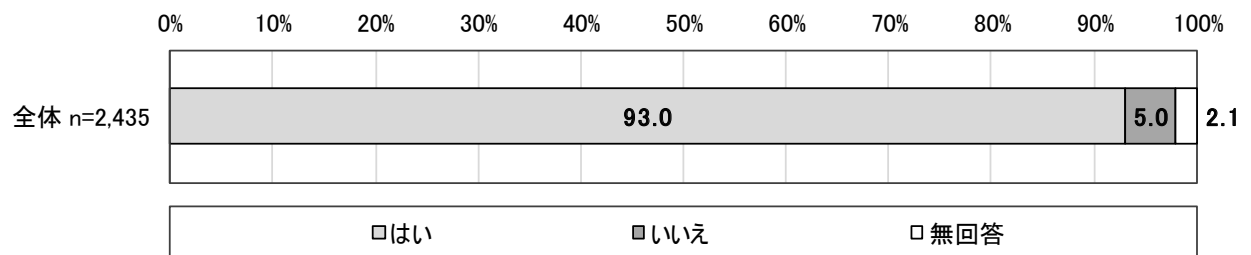
問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 82.3%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 13.1%、「できない」が 2.8%となっています。



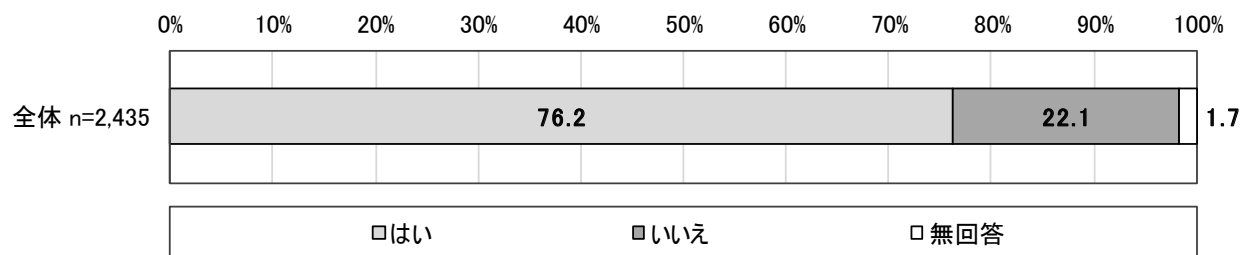
問 27. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(回答は1つ) ★

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が 93.0%、「いいえ」が 5.0%で、「はい」が 88.0ポイント上回っています。



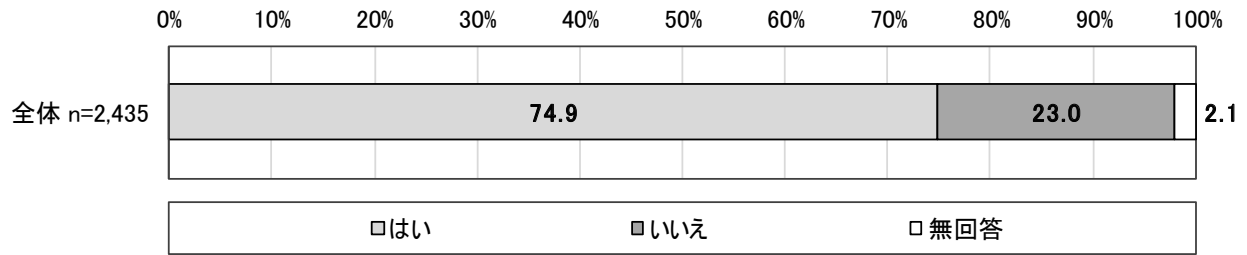
問 28. 新聞を読んでいますか。(回答は1つ) ★

新聞を読んでいるかについては、「はい」が 76.2%、「いいえ」が 22.1%で、「はい」が 54.1ポイント上回っています。



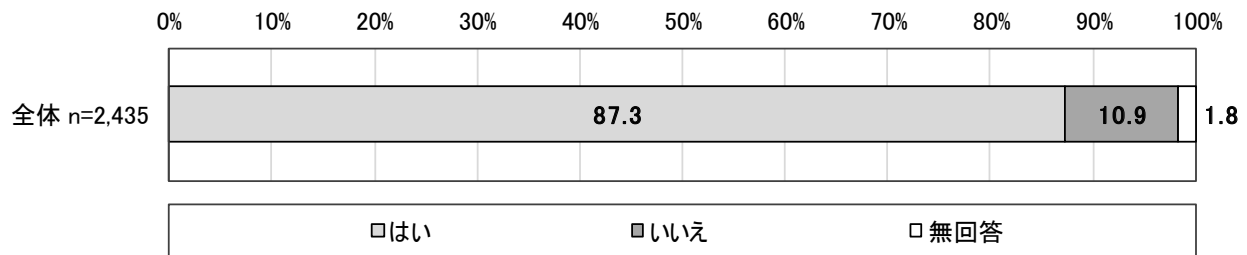
問 29. 本や雑誌を読んでいますか。(回答は1つ) ★

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が74.9%、「いいえ」が23.0%で、「はい」が51.9ポイント上回っています。



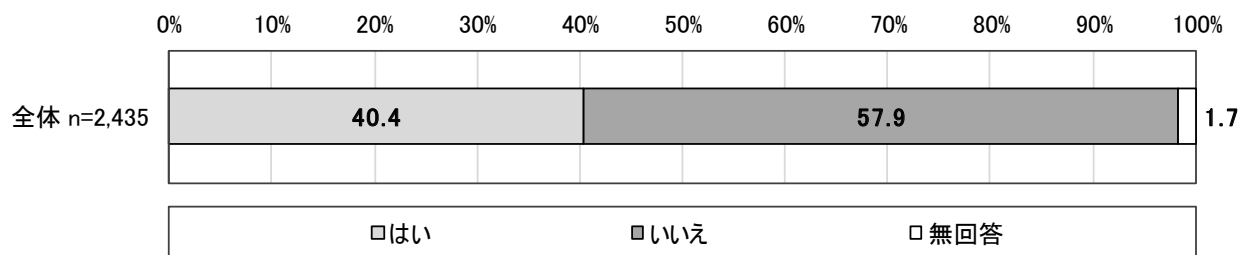
問 30. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(回答は1つ) ★

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が87.3%、「いいえ」が10.9%で、「はい」が76.4ポイント上回っています。



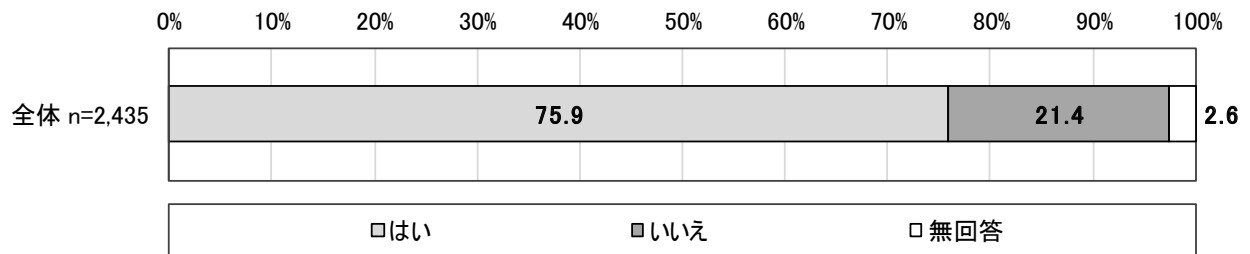
問 31. 友人の家を訪ねていますか。(回答は1つ) ★

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が40.4%、「いいえ」が57.9%で、「いいえ」が17.5ポイント上回っています。



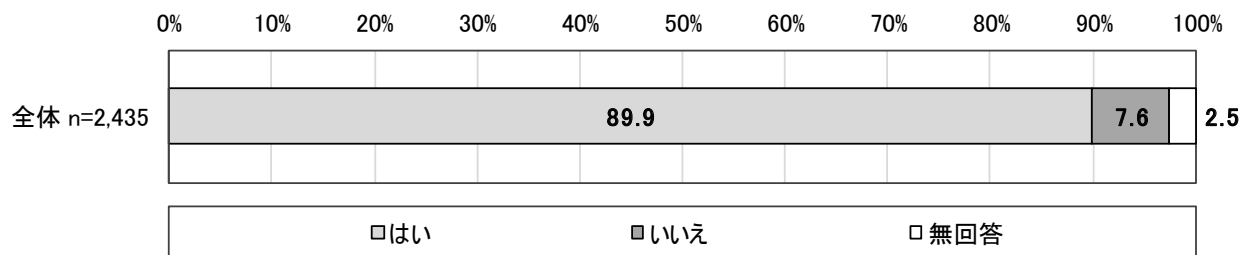
問 32. 家族や友人の相談にのっていますか。(回答は1つ) ★

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が 75.9%、「いいえ」が 21.4%で、「はい」が 54.5 ポイント上回っています。



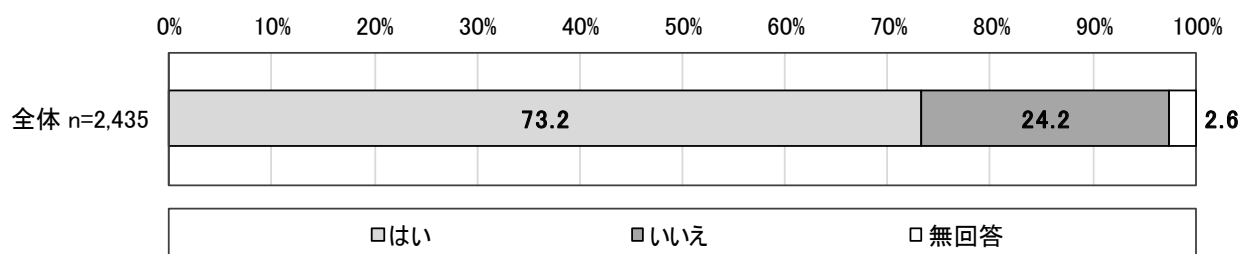
問 33. 病人を見舞うことができますか。(回答は1つ) ★

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が 89.9%、「いいえ」が 7.6%で、「はい」が 82.3 ポイント上回っています。



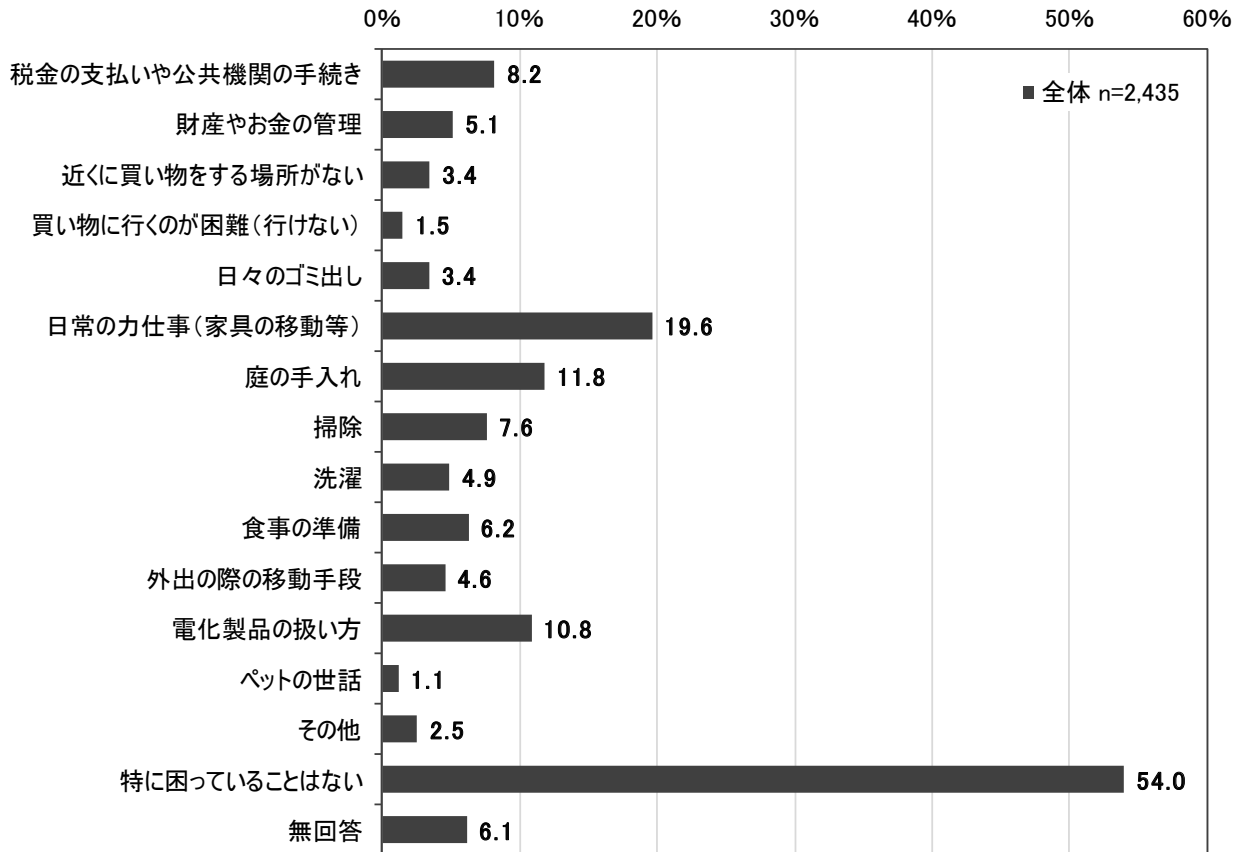
問 34. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(回答は1つ) ★

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が 73.2%、「いいえ」が 24.2%で、「はい」が 49.0 ポイント上回っています。



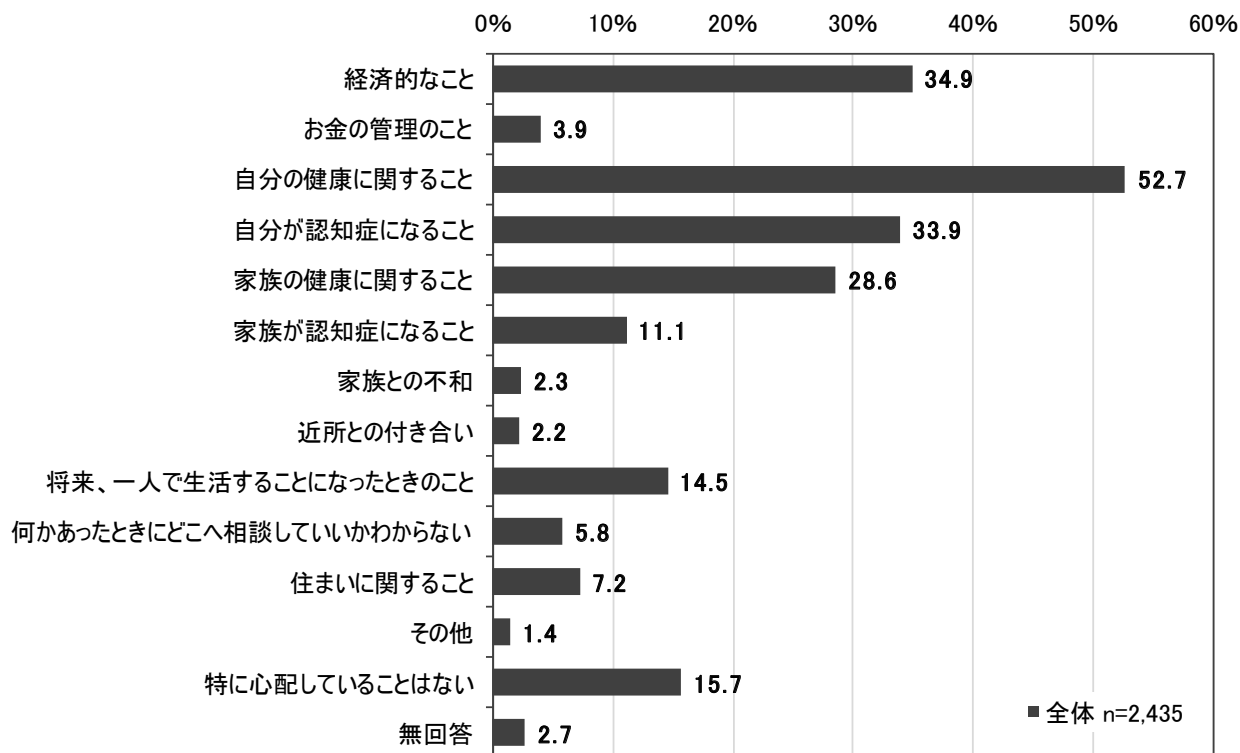
問 35. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

日常生活の中で困ったことがあるかについては、「特に困っていることはない」が 54.0%で最も高く、次いで「日常の力仕事（家具の移動等）」が 19.6%、「庭の手入れ」が 11.8%となっています。



問 36. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が52.7%で最も高く、次いで「経済的なこと」が34.9%、「自分が認知症になること」が33.9%となっています。



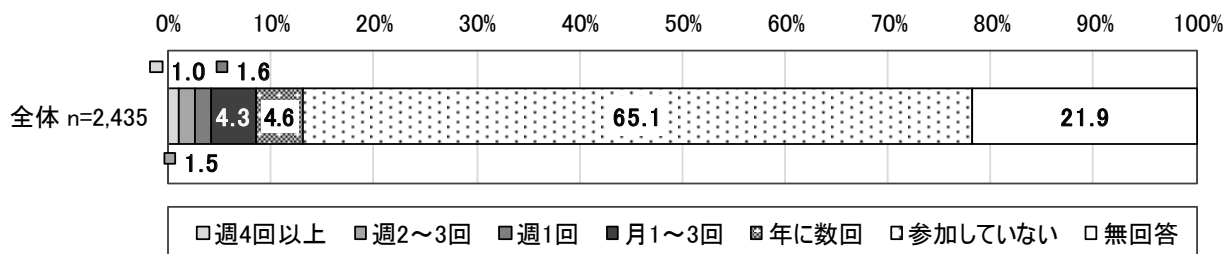
6. 地域の活動について

「6. 地域の活動について」は、地域の活動への参加状況、今後希望する地域の活動、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域の活動へ企画・運営として参加する意向、地域との関係に対する考え方、手助けが必要な高齢者に対してできること、介護の現場に対する就労意向を把握するための項目となっています。

問 37. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ★

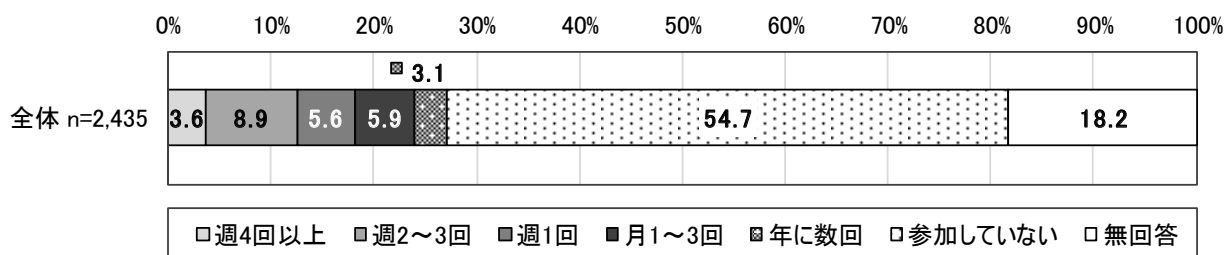
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、「参加していない」が 65.1%で最も高く、次いで「年に数回」が 4.6%、「月 1～3 回」が 4.3%となっています。



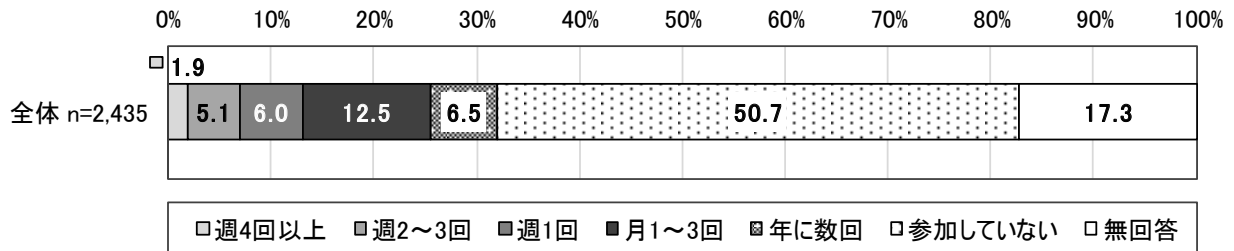
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、「参加していない」が 54.7%で最も高く、次いで「週 2～3 回」が 8.9%、「月 1～3 回」が 5.9%となっています。



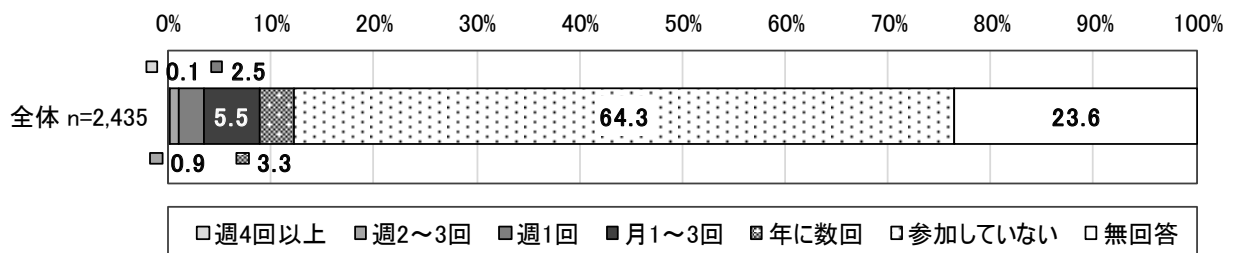
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、「参加していない」が50.7%で最も高く、次いで「月1～3回」が12.5%、「年に数回」が6.5%となっています。



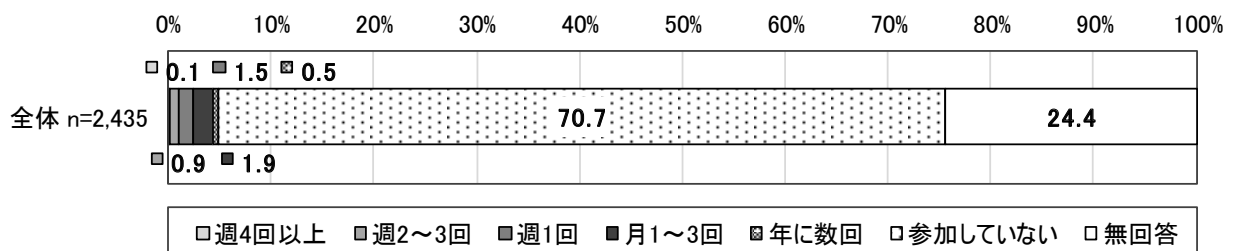
④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、「参加していない」が64.3%で最も高く、次いで「月1～3回」が5.5%、「年に数回」が3.3%となっています。



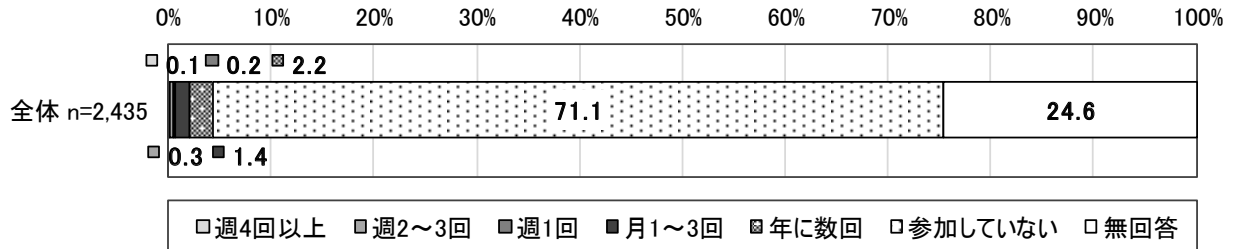
⑤介護予防のための通いの場（ところん元気百歳体操、お達者倶楽部など）

介護予防のための通いの場への参加状況については、「参加していない」が70.7%で最も高く、次いで「月1～3回」が1.9%、「週1回」が0.9%となっています。



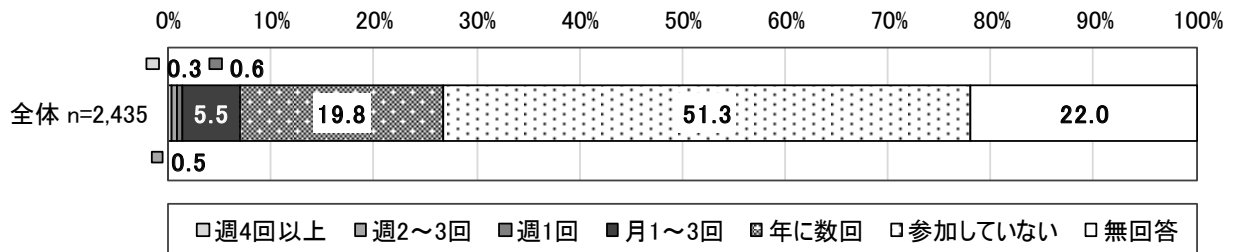
⑥長生クラブ

長生クラブへの参加状況については、「参加していない」が71.1%で最も高く、次いで「年に数回」が2.2%、「月1～3回」が1.4%となっています。



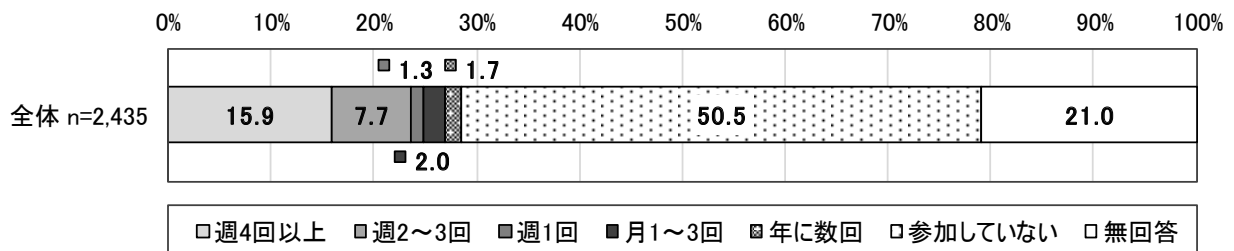
⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、「参加していない」が51.3%で最も高く、次いで「年に数回」が19.8%、「月1～3回」が5.5%となっています。



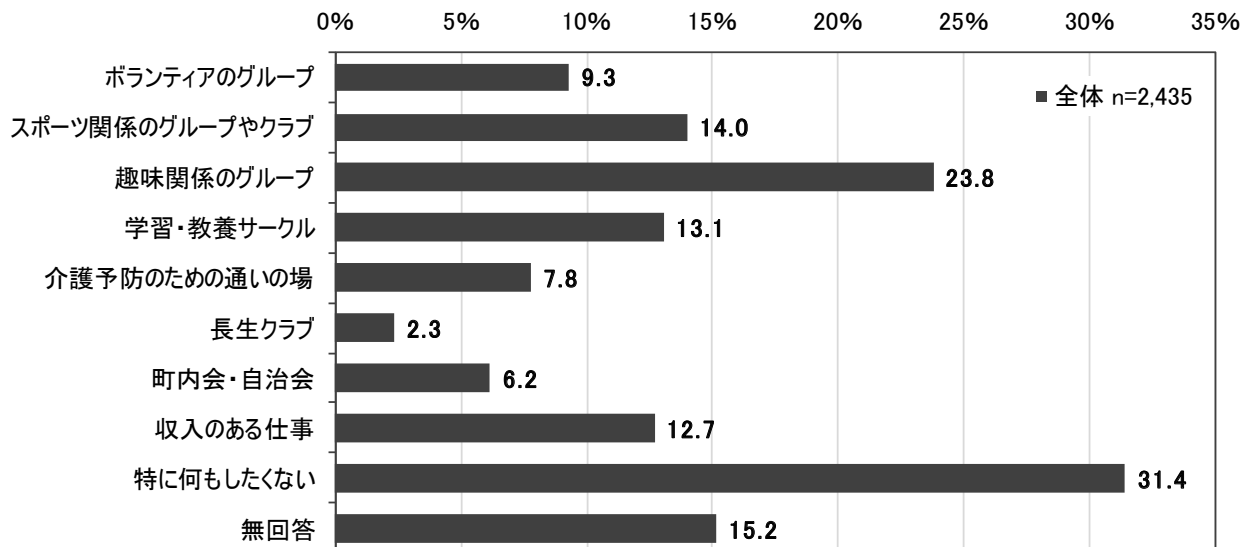
⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況については、「参加していない」が50.5%で最も高く、次いで「週4回以上」が15.9%、「週2～3回」が7.7%となっています。



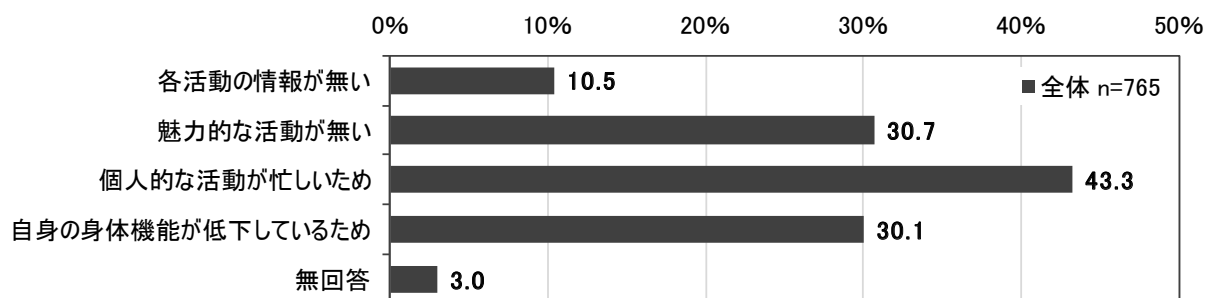
**問 38. あなたが、今後、希望する社会参加（すでに参加しているものを除く）をお答えください。
（あてはまるものすべてに回答）**

今後、希望する社会参加については、「特に何もしたくない」が 31.4%で最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が 23.8%、「スポーツ関係のグループやクラブ」が 14.0%となっています。



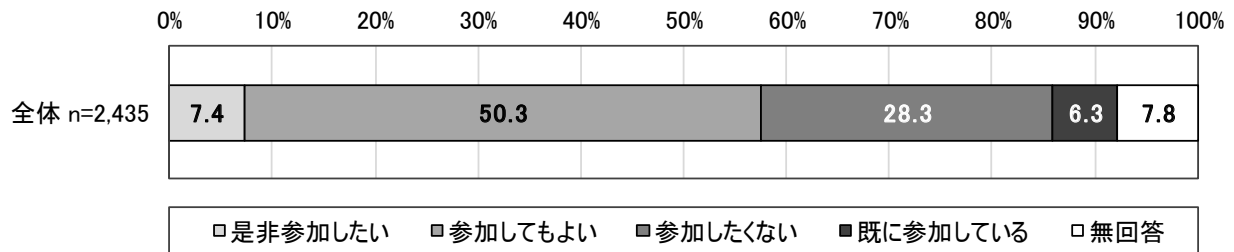
**問 38-1. 【問 38 で「特に何もしたくない」と回答した方におたずねします。】
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）**

特に何もしたくない理由については、「個人的な活動が忙しいため」が 43.3%で最も高く、次いで「魅力的な活動が無い」が 30.7%、「自身の身体機能が低下しているため」が 30.1%となっています。



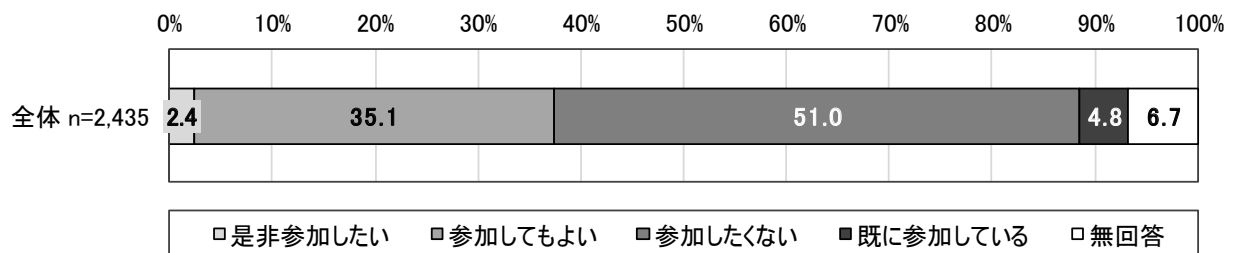
問 39. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
 (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加してもよい」が50.3%で最も高く、次いで「参加したくない」が28.3%、「是非参加したい」が7.4%となっています。



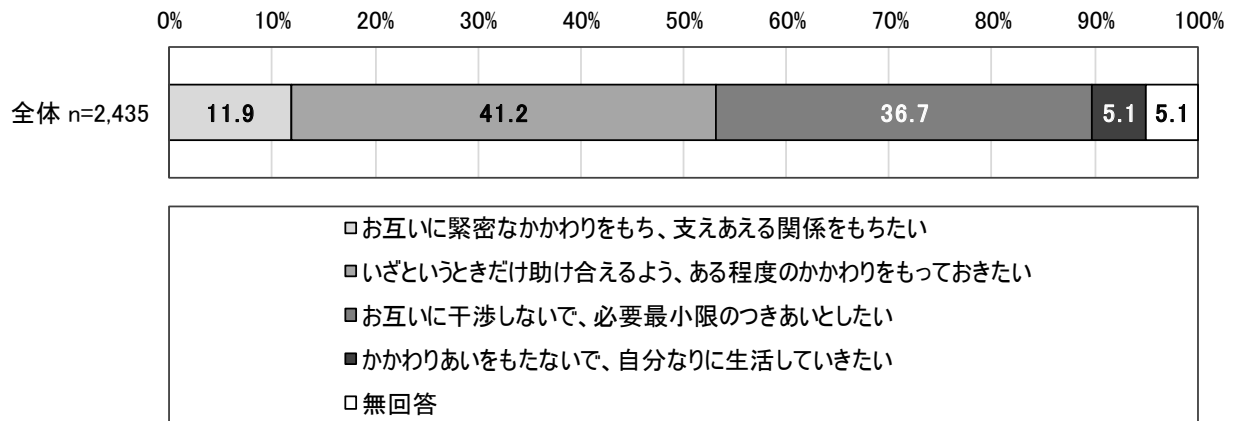
問 40. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。 (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が51.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が35.1%、「既に参加している」が4.8%となっています。



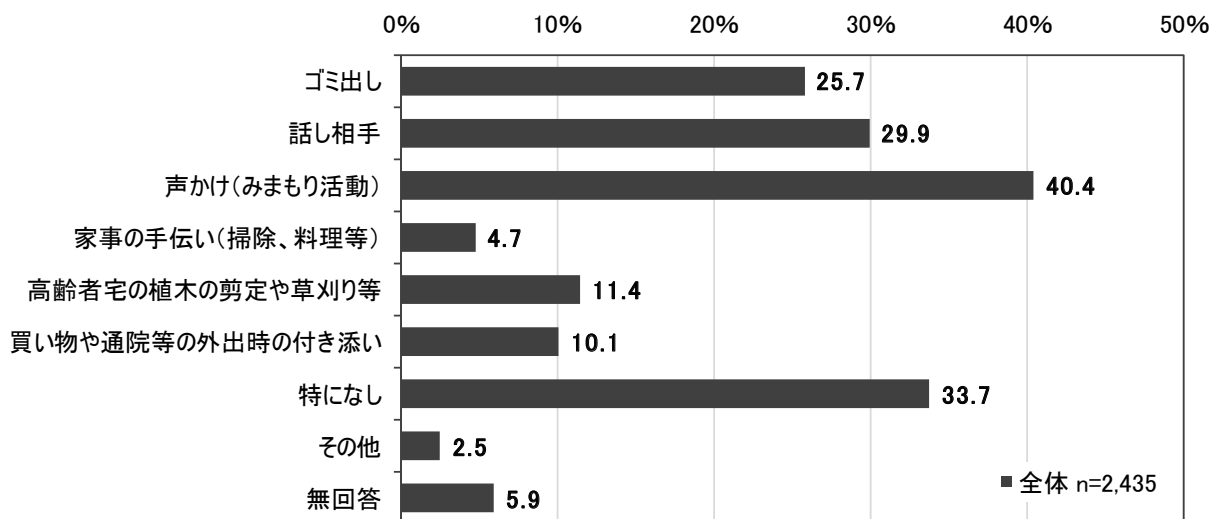
問 41. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

地域との関係性については、「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が 41.2%で最も高く、次いで「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が 36.7%、「お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい」が 11.9%となっています。



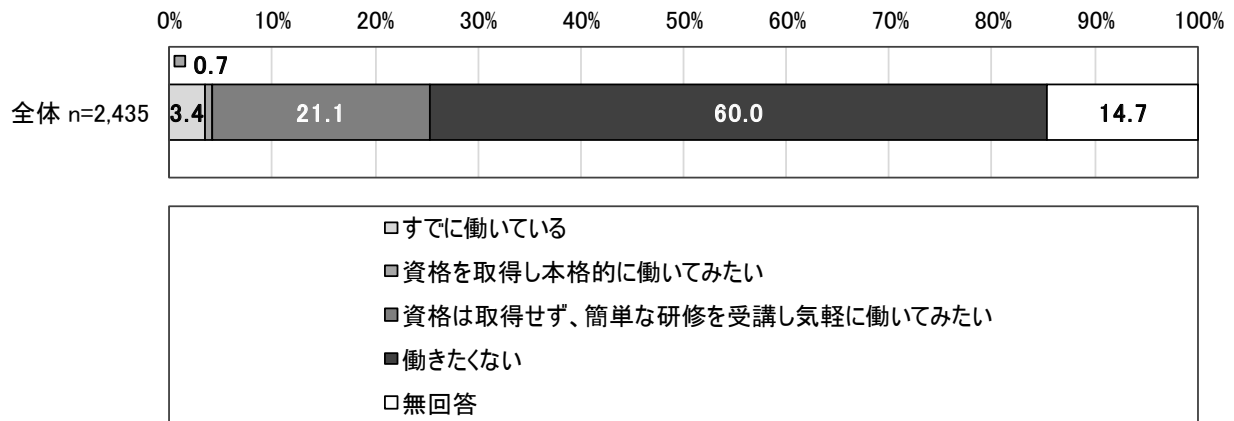
問 42. あなたがお住まいになられている地域において、手助け等が必要な高齢者に対して、どのようなボランティア活動ができますか。(あてはまるものすべてに回答)

手助け等が必要な高齢者に対して、できるボランティア活動については、「声かけ(みまもり活動)」が 40.4%で最も高く、次いで「特になし」が 33.7%、「話し相手」が 29.9%となっています。



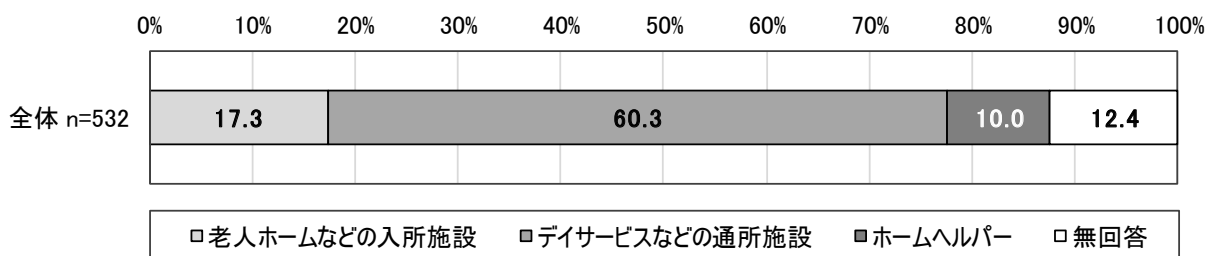
問 43. 現在、介護の現場では介護人材の確保が課題となっています。介護の現場で、あなたの生活状況に応じた働き方ができるとしたら、どのように思いますか。（回答は1つ）

介護の現場で働くことについては、「働きたくない」が 60.0%で最も高く、次いで「資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい」が 21.1%、「すでに働いている」が 3.4%となっています。



**問 43-1. 【問 43 で「資格を取得し本格的に働いてみたい」、「資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい」と回答した方におたずねします。】
どのような現場で働いてみたいですか。（回答は1つ）**

どのような現場で働いてみたいかについては、「デイサービスなどの通所施設」が 60.3%で最も高く、次いで「老人ホームなどの入所施設」が 17.3%、「ホームヘルパー」が 10.0%となっています。

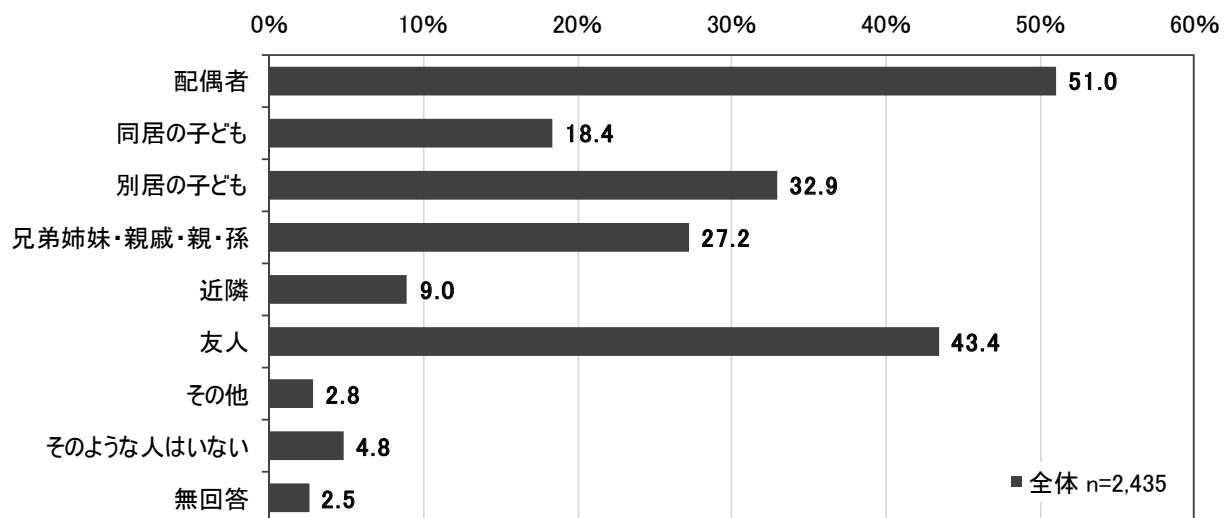


7. たすけあいについて

「7. たすけあいについて」は、心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、してあげる人を把握するための項目となっています。

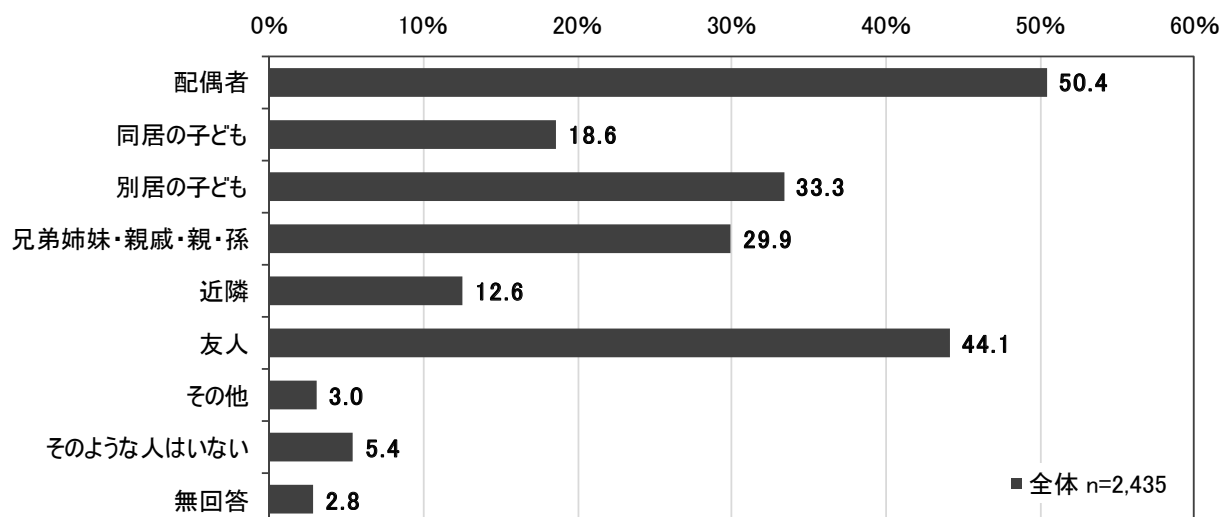
問 44. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、どのような人ですか。
（あてはまるものすべてに回答） ★

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 51.0%で最も高く、次いで「友人」が 43.4%、「別居の子ども」が 32.9%となっています。



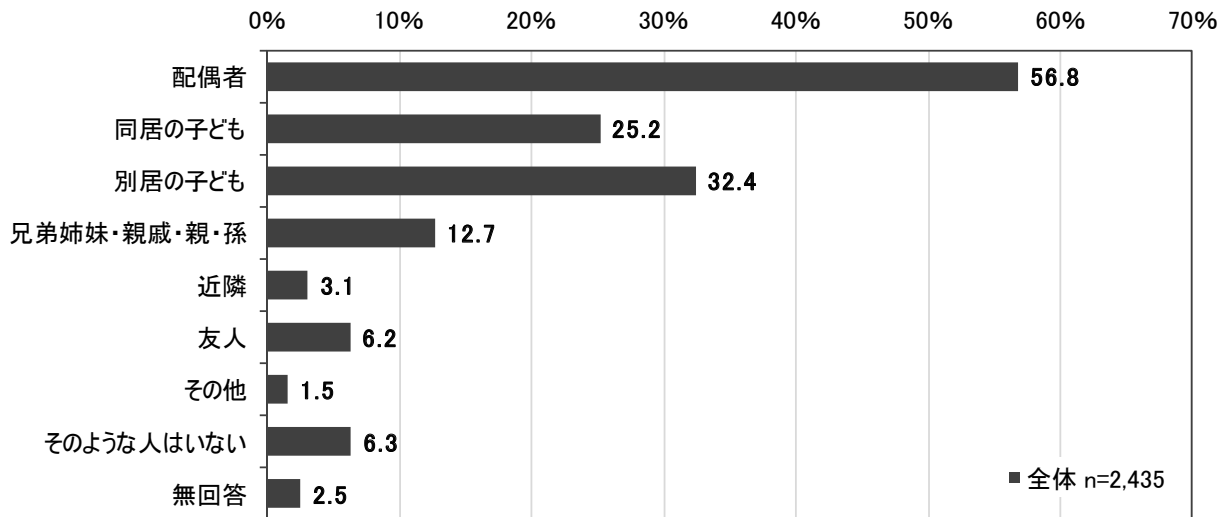
問 45. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、どのような人ですか。
（あてはまるものすべてに回答） ★

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 50.4%で最も高く、次いで「友人」が 44.1%、「別居の子ども」が 33.3%となっています。



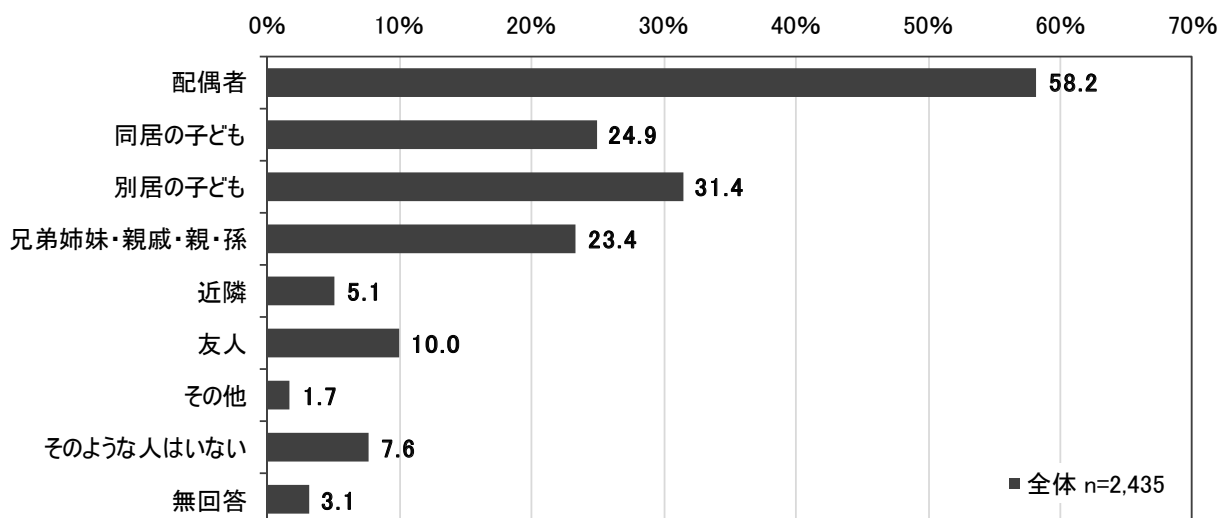
問 46. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が56.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が32.4%、「同居の子ども」が25.2%となっています。



問 47. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★

あなたが看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が58.2%で最も高く、次いで「別居の子ども」が31.4%、「同居の子ども」が24.9%となっています。

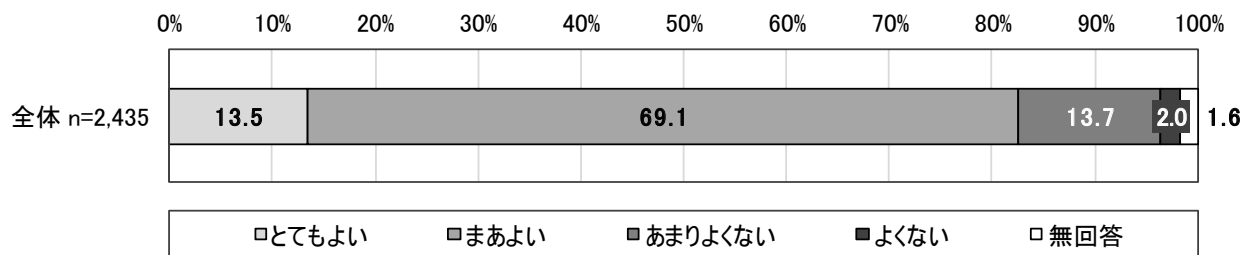


8. 健康について

「8. 健康について」は、現在の健康状態や健診などの受診状況、現在の幸福感、現在の心の状況、喫煙状況、病気の有無、かかりつけ医等の有無、介護に対する意向、終末期の意向を把握するための項目となっています。

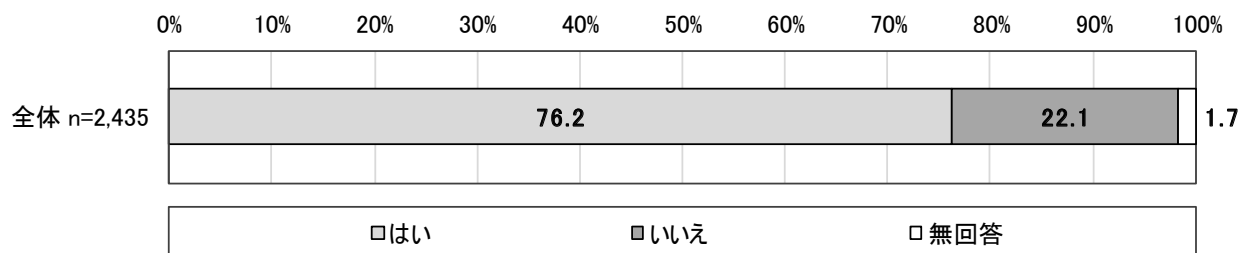
問 48. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ) ★

現在の健康状態については、「まあよい」が 69.1%で最も高く、次いで「あまりよくない」が 13.7%、「とてもよい」が 13.5%、「よくない」が 2.0%となっています。



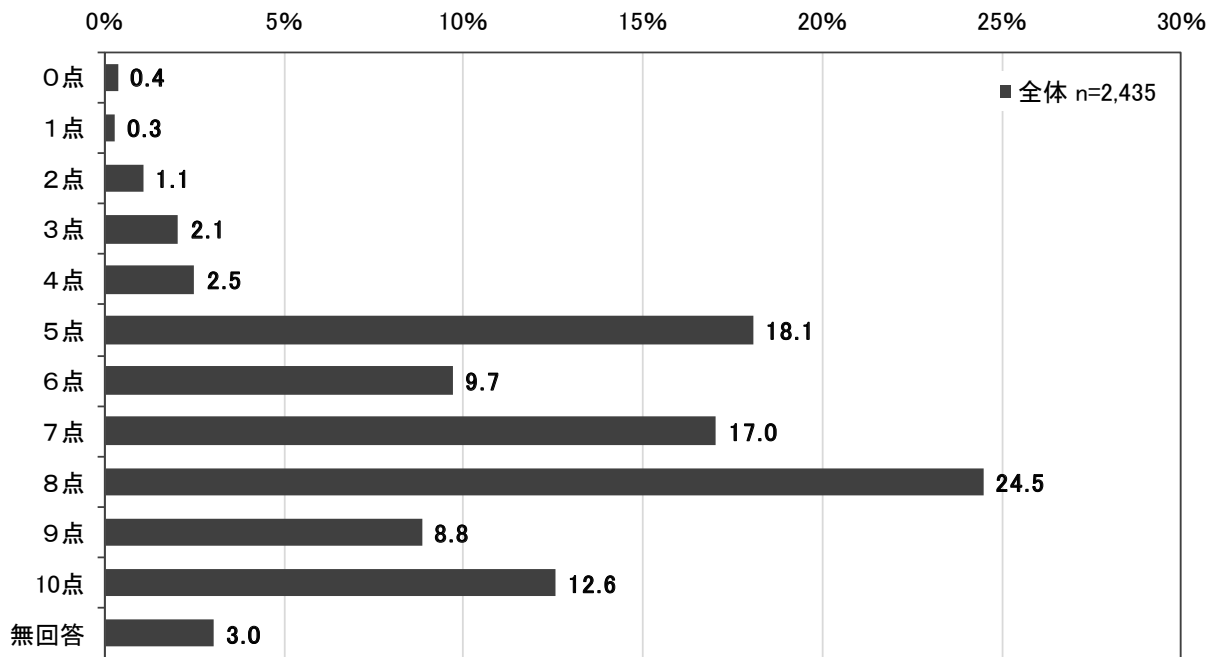
問 49. 過去1年間に健診（健康診断や健康診査）、人間ドックを受けましたか。(回答は1つ)

過去1年間に健診、人間ドックを受けたかについては、「はい」が 76.2%、「いいえ」が 22.1%で、「はい」が 54.1ポイント上回っています。



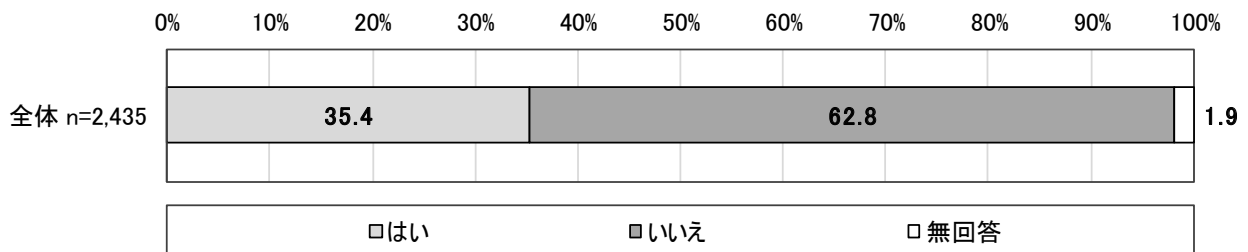
問 50. あなたは、現在どの程度幸せですか。(回答は1つ) ★

現在の幸福感については、「8点」が24.5%で最も高く、次いで「5点」が18.1%、「7点」が17.0%、「10点」が12.6%、「6点」が9.7%となっています。「5点」～「10点」の合計値で90.7%の割合を占めています。



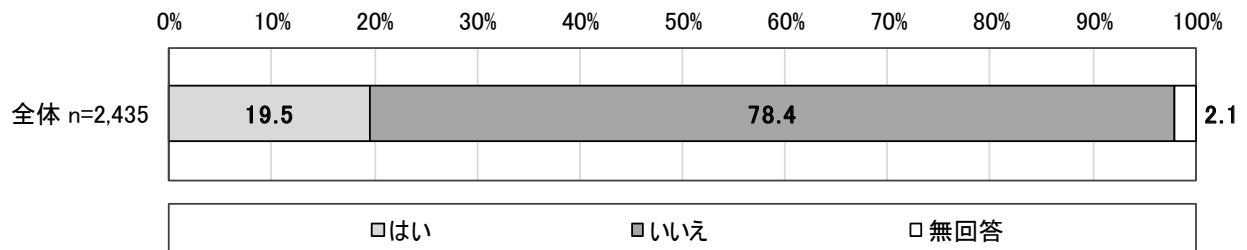
問 51. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(回答は1つ) ★

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が35.4%、「いいえ」が62.8%で、「いいえ」が27.4ポイント上回っています。



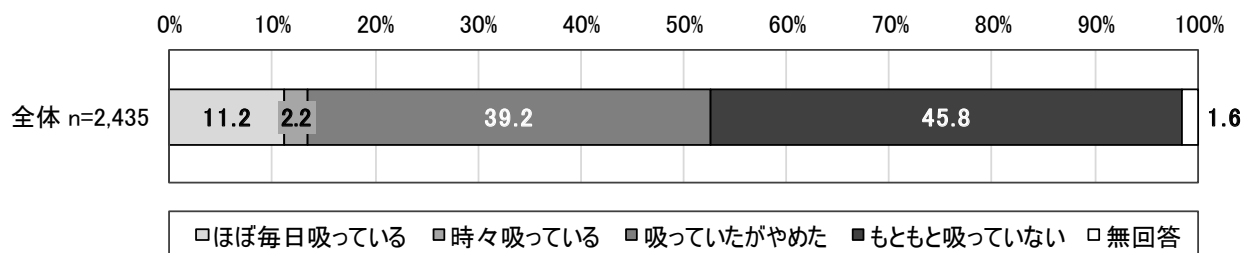
問 52. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ) ★

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、「はい」が19.5%、「いいえ」が78.4%で、「いいえ」が58.9ポイント上回っています。



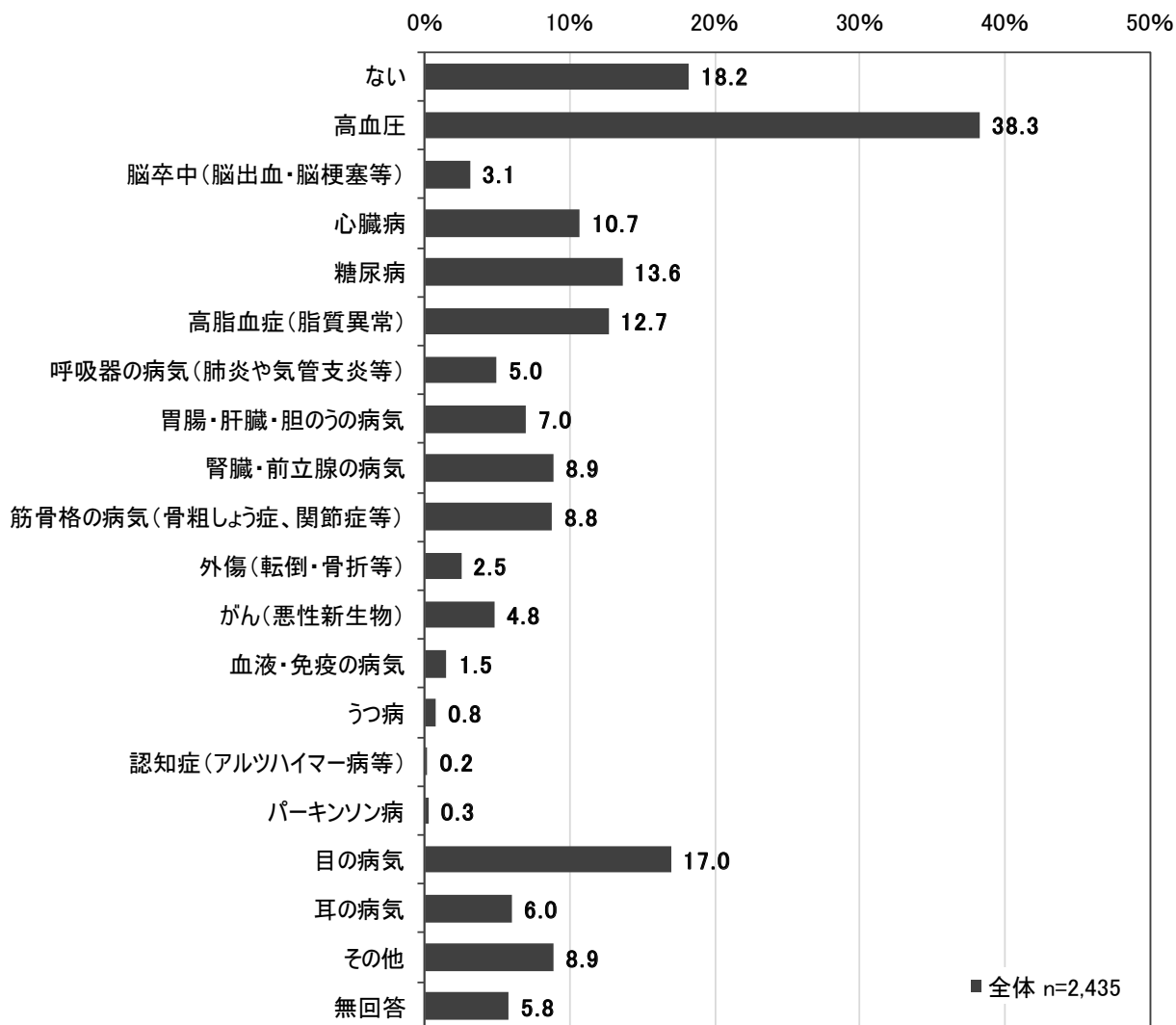
問 53. タバコは吸っていますか。(回答は1つ) ★

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が45.8%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が39.2%、「ほぼ毎日吸っている」が11.2%、「時々吸っている」が2.2%となっています。



問 54. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答) ★

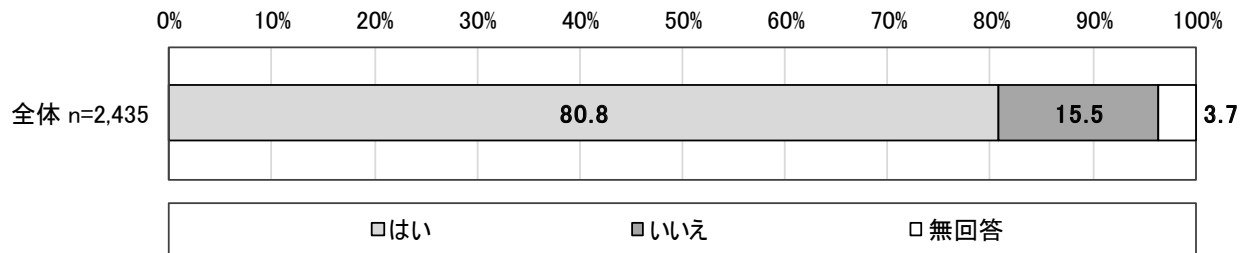
現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、「高血圧」が 38.3%で最も高く、次いで「ない」が 18.2%、「目の病気」が 17.0%となっています。



問 55. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

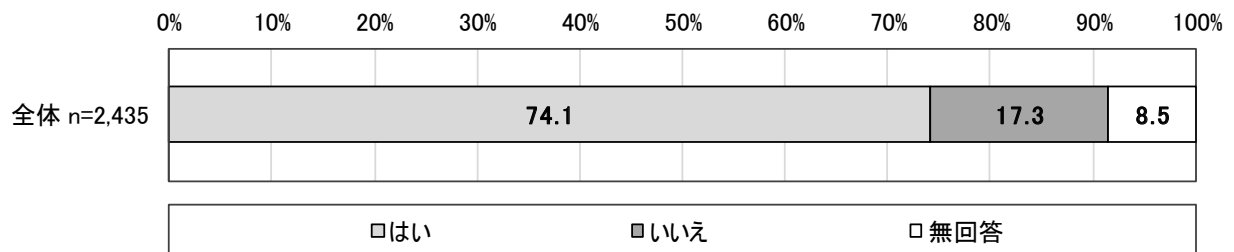
①かかりつけの医師はいますか

かかりつけの医師がいるかについては、「はい」が80.8%、「いいえ」が15.5%で、「はい」が65.3ポイント上回っています。



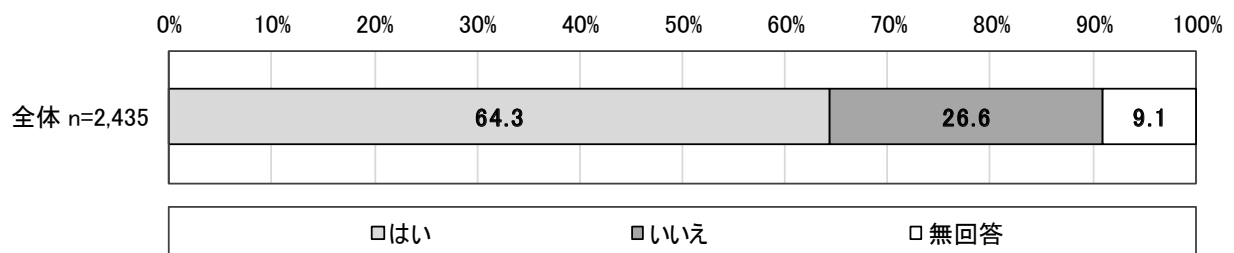
②かかりつけの歯科医はいますか

かかりつけの歯科医がいるかについては、「はい」が74.1%、「いいえ」が17.3%で、「はい」が56.8ポイント上回っています。



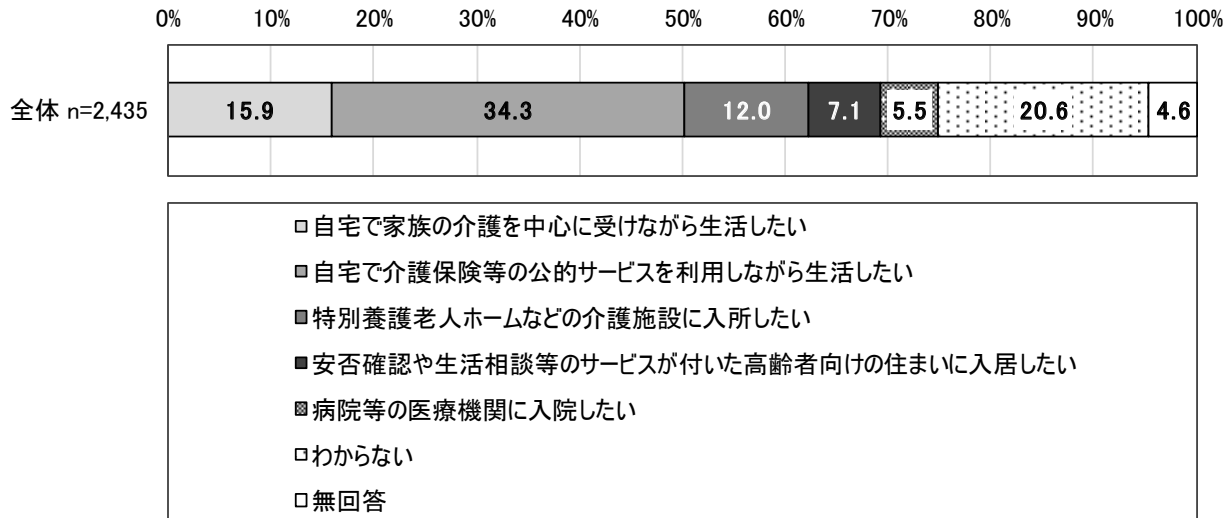
③かかりつけの薬局はありますか

かかりつけの薬局があるかについては、「はい」が64.3%、「いいえ」が26.6%で、「はい」が37.7ポイント上回っています。



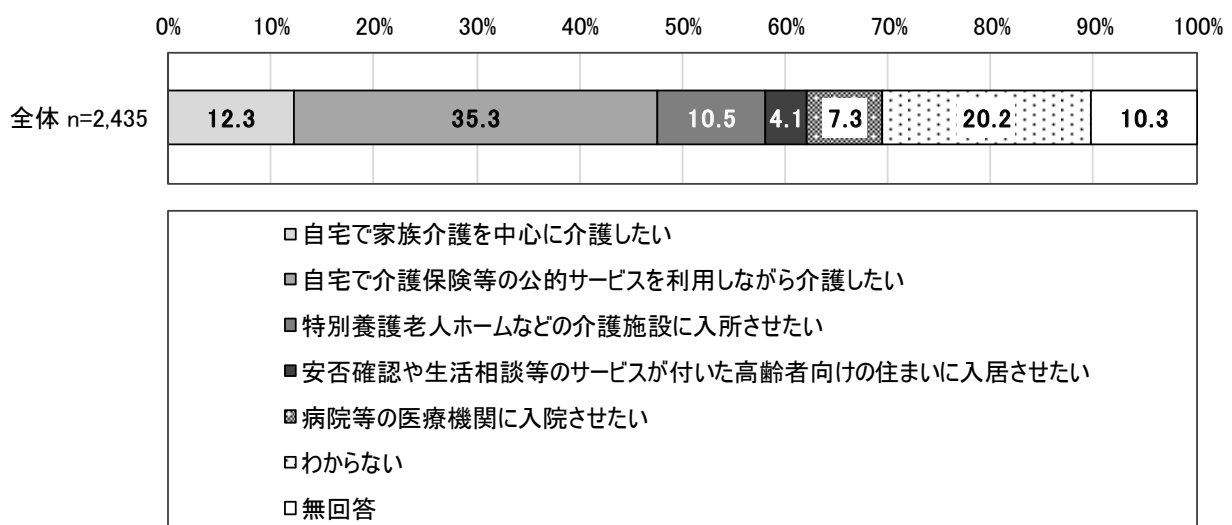
問 56. あなた自身が介護を必要とする状態となった場合に、どのようにしたいですか。(回答は1つ)

自身が介護を必要とする状態になった場合の生活については、「自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら生活したい」が34.3%で最も高く、次いで「わからない」が20.6%、「自宅で家族の介護を中心に受けながら生活したい」が15.9%となっています。



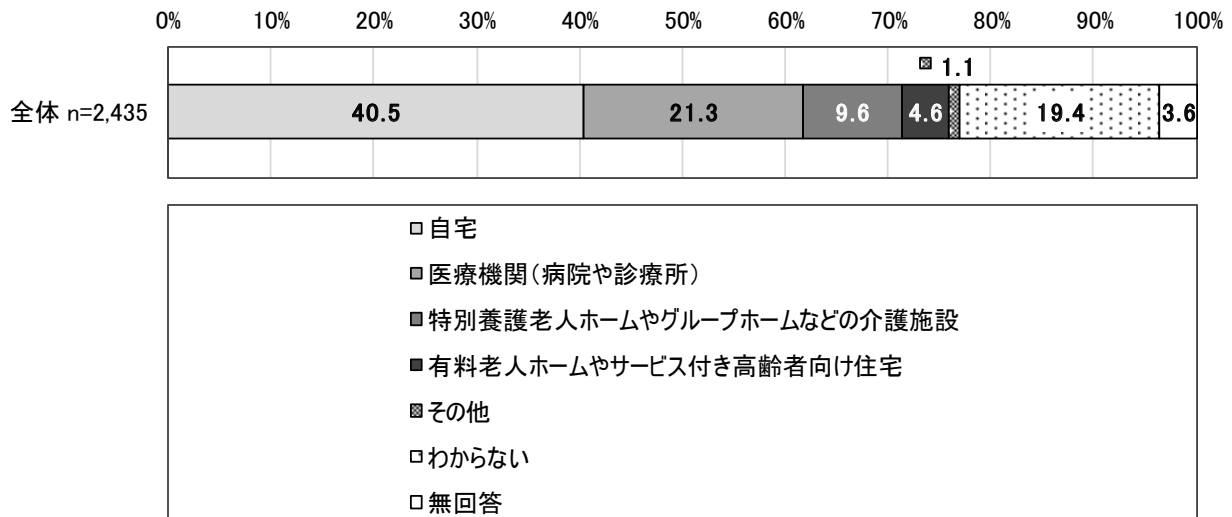
問 57. ご家族が介護を必要とする状態になった場合に、どのようにしたいですか。(回答は1つ)

家族が介護を必要とする状態になった場合の生活については、「自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら介護したい」が35.3%で最も高く、次いで「わからない」が20.2%、「自宅で家族介護を中心に介護したい」が12.3%となっています。



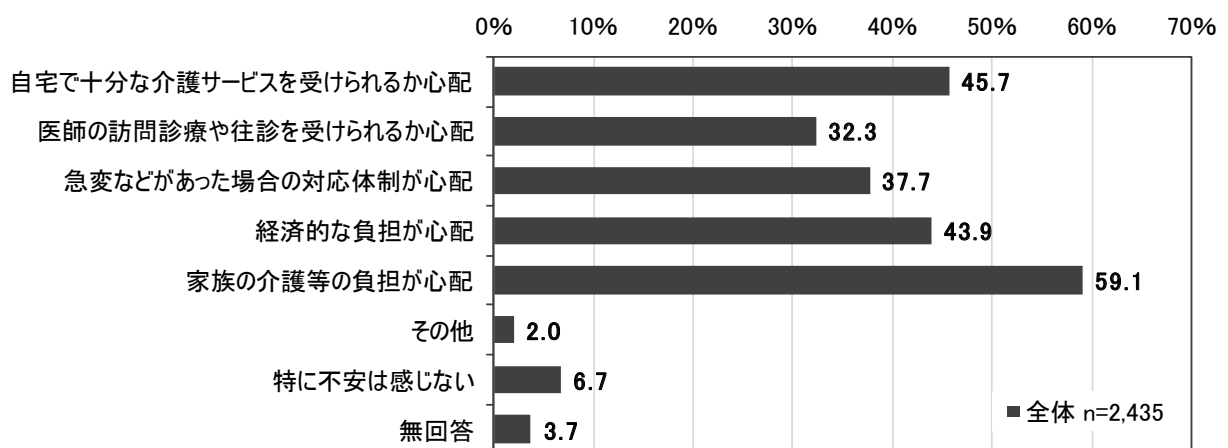
問 58. あなたは、終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。（回答は1つ）

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が 40.5%で最も高く、次いで「医療機関（病院や診療所）」が 21.3%、「わからない」が 19.4%となっています。



問 59. 終末期の在宅での生活について、どのようなことに不安を感じますか。（あてはまるものすべてに回答）

終末期について、どのようなことに不安を感じるかについては、「家族の介護等の負担が心配」が 59.1%で最も高く、次いで「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が 45.7%、「経済的な負担が心配」が 43.9%となっています。

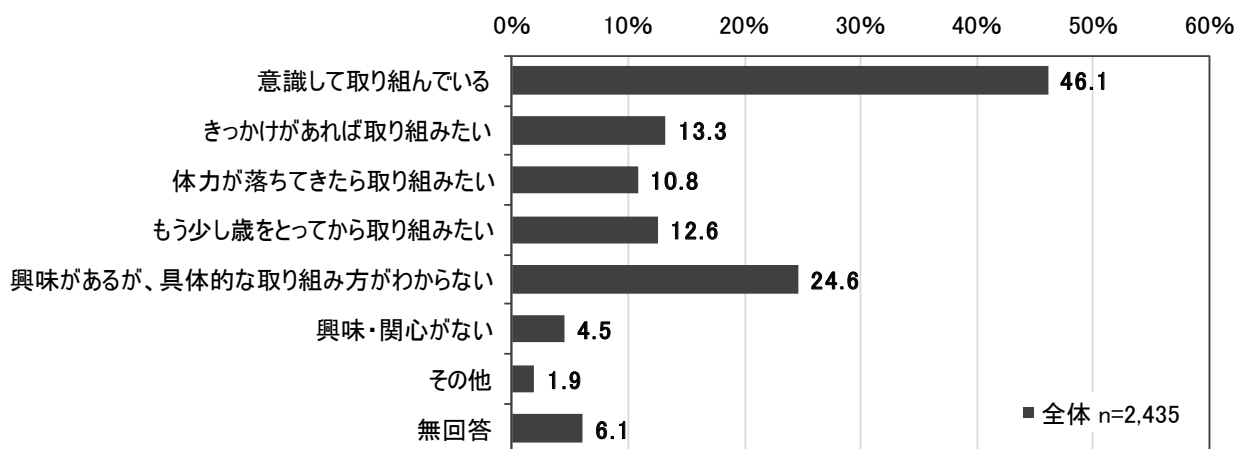


9. 介護予防・認知症施策について

「9. 介護予防・認知症施策について」は、介護予防への取り組み状況等、各種認知症施策等に係る認知度や認知症の状況を把握するための項目となっています。

問 60. 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。
(あてはまるものすべてに回答)

介護予防に取り組んでいるかについては、「意識して取り組んでいる」が 46.1%で最も高く、次いで「興味があるが、具体的な取り組み方がわからない」が 24.6%、「きっかけがあれば取り組みたい」が 13.3%、「もう少し歳をとってから取り組みたい」が 12.6%となっています。

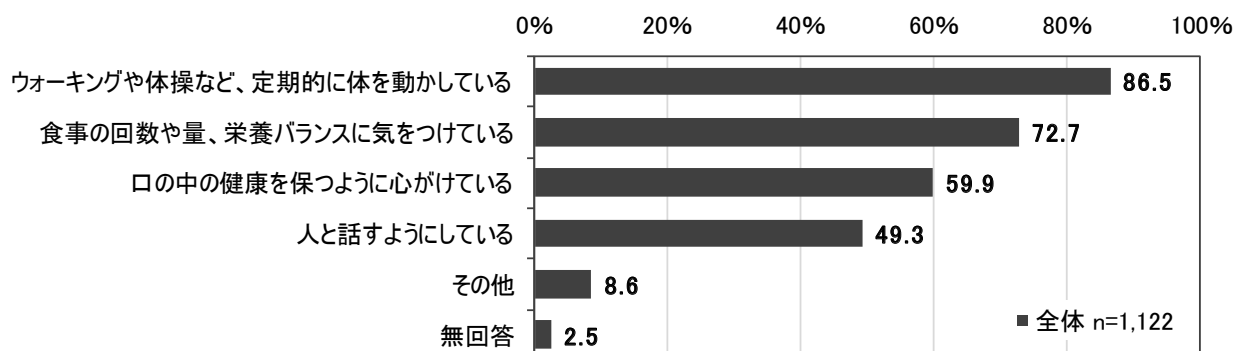


問 60-1. 【問 60 で「意識して取り組んでいる」と回答した方におたずねします。】

介護予防として、どのようなことに取り組んでいますか。また、取り組んでいる項目について、意識して取り組み始めた年齢をご記入ください。

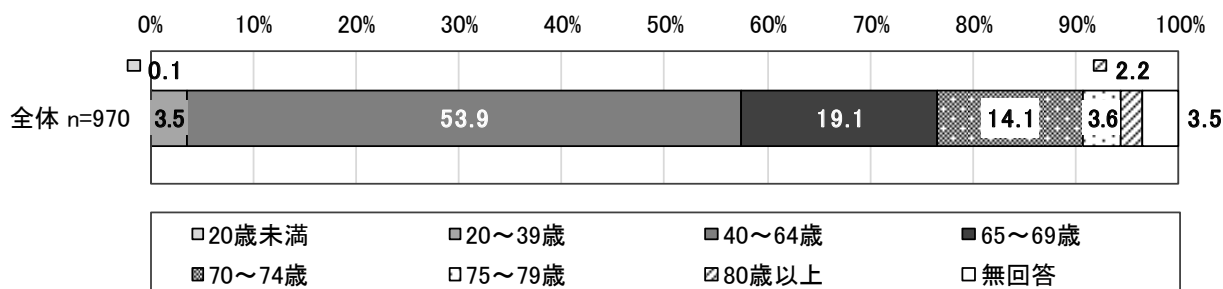
(あてはまるものすべてに回答、該当する口内に数字をご記入ください)

取り組んでいる介護予防については、「ウォーキングや体操など、定期的に体を動かしている」が 86.5%で最も高く、次いで「食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている」が 72.7%、「口の中の健康を保つように心がけている」が 59.9%となっています。



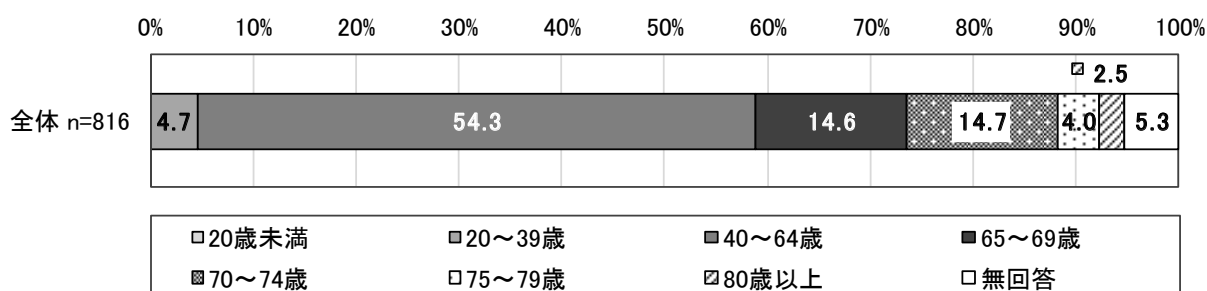
①ウォーキングや体操（ストレッチ）など、定期的に体を動かしている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が53.9%で最も高く、次いで「65～69歳」が19.1%、「70～74歳」が14.1%となっています。



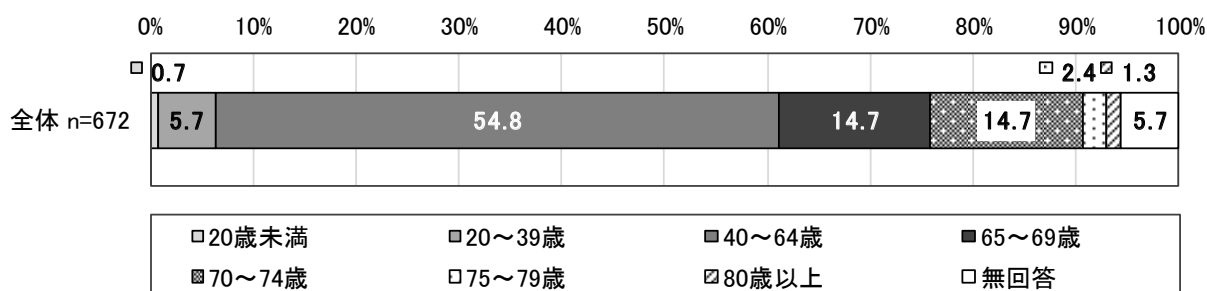
②食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が54.3%で最も高く、次いで「70～74歳」が14.7%、「65～69歳」が14.6%となっています。



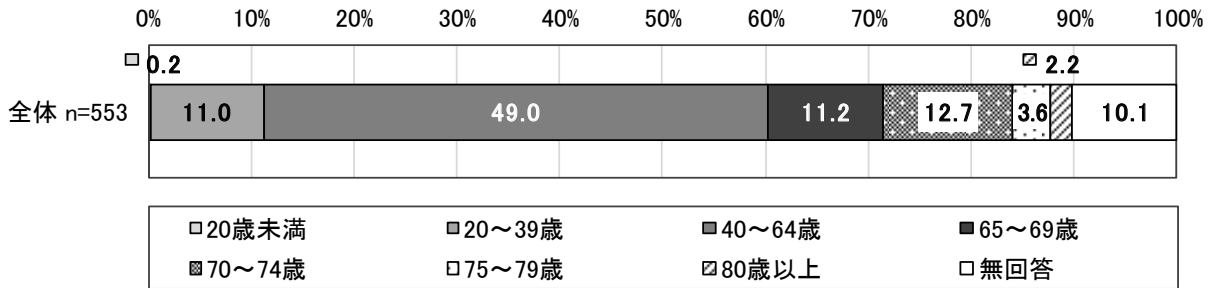
③口の中の健康を保つように心がけている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が54.8%で最も高く、次いで「65～69歳」「70～74歳」がともに14.7%、「20～39歳」が5.7%となっています。



④人と話すようにしている（取り組み始めた年齢）

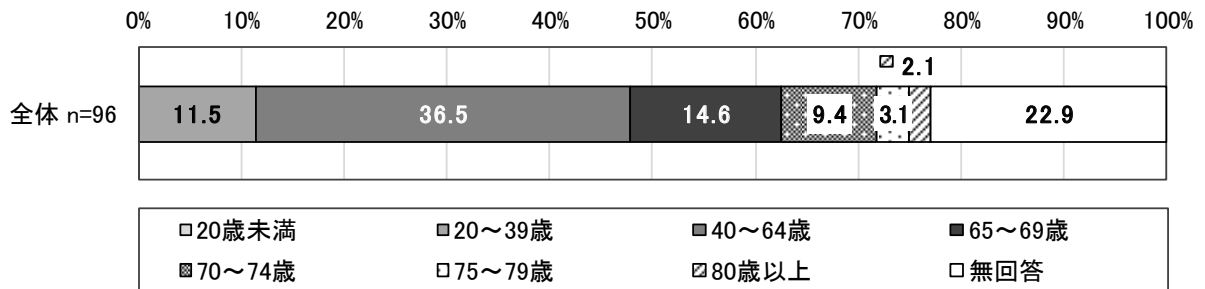
取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が49.0%で最も高く、次いで「70～74歳」が12.7%、「65～69歳」が11.2%となっています。



⑤その他（取り組み始めた年齢）

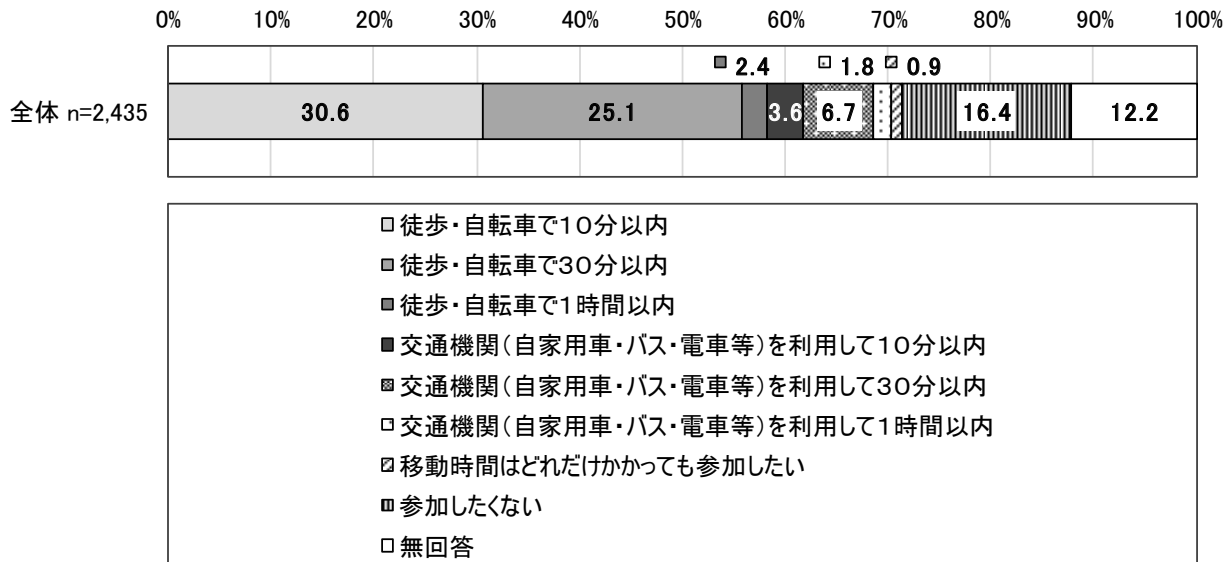
取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が36.5%で最も高く、次いで「65～69歳」が14.6%、「20～39歳」が11.5%となっています。

その他の取り組みとしては、『仕事をしている』『読書』などの回答がみられます。



問 61. 介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思いますか。(回答は1つ)

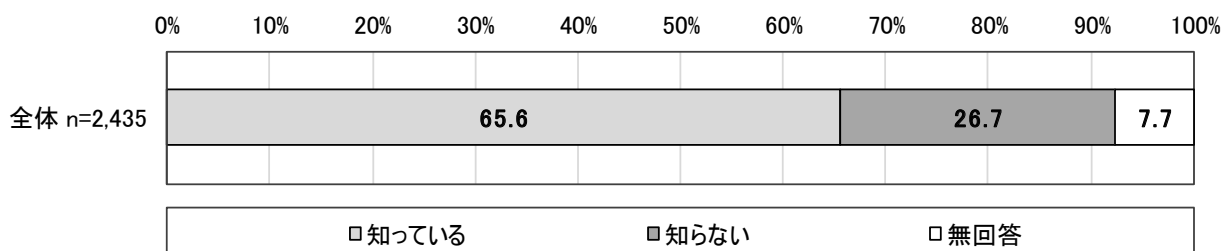
介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいかについては、「徒歩・自転車で10分以内」が30.6%で最も高く、次いで「徒歩・自転車で30分以内」が25.1%、「参加したくない」が16.4%となっています。



問 62. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

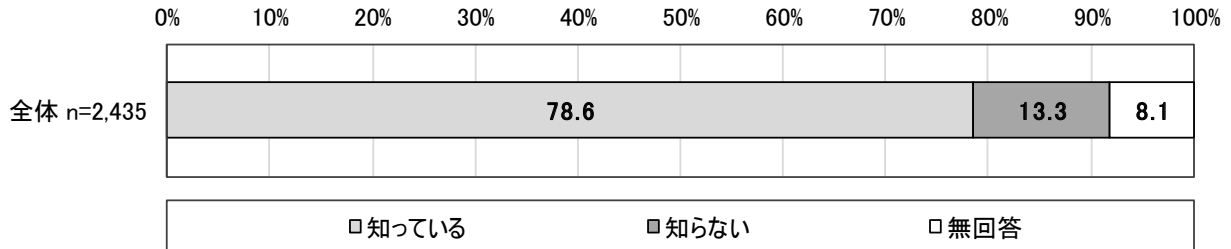
①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること

自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができることについては、「知っている」が65.6%、「知らない」が26.7%で、「知っている」が38.9ポイント上回っています。



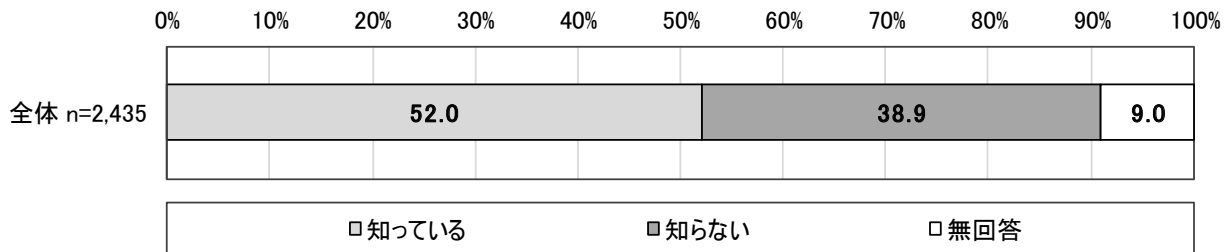
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと

認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いことについては、「知っている」が78.6%、「知らない」が13.3%で、「知っている」が65.3ポイント上回っています。



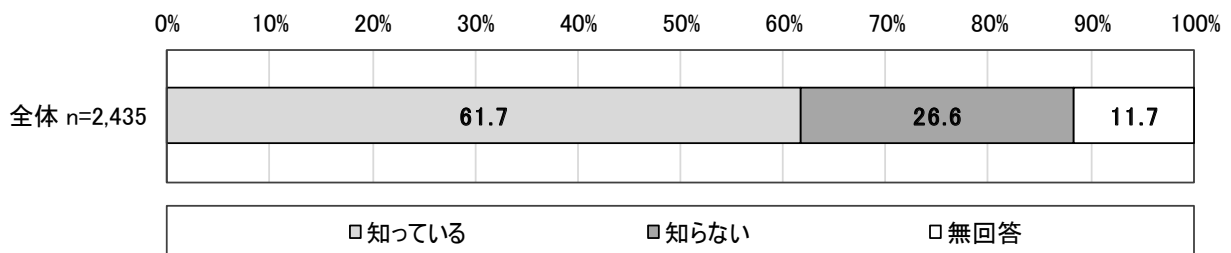
③認知症の方が入所する介護施設があること

認知症の方が入所する介護施設があることについては、「知っている」が52.0%、「知らない」が38.9%で、「知っている」が13.1ポイント上回っています。



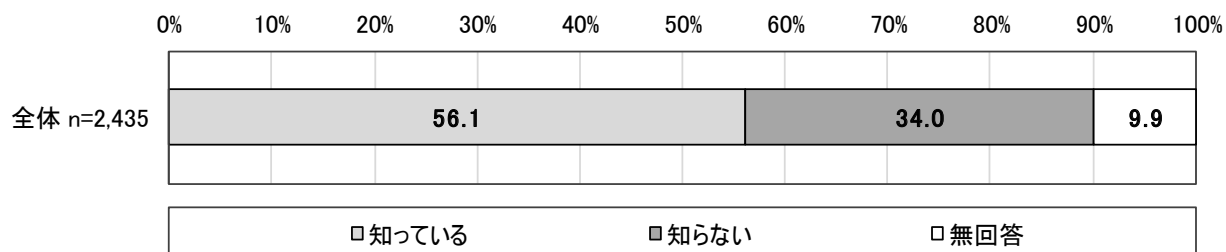
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと

家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なことについては、「知っている」が61.7%、「知らない」が26.6%で、「知っている」が35.1ポイント上回っています。



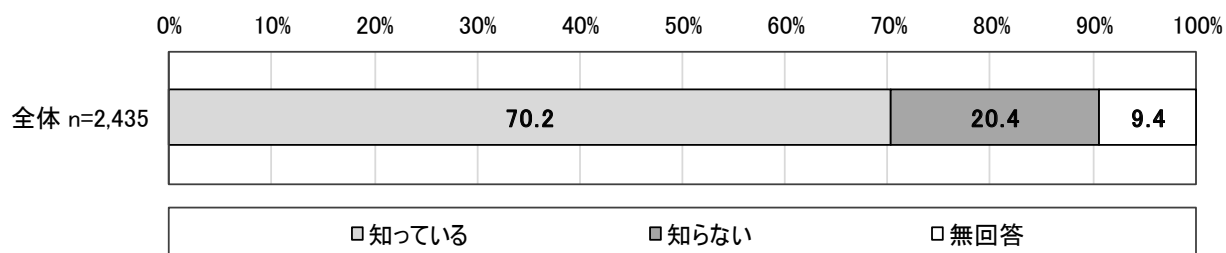
⑤消費者被害に関する相談窓口があること

消費者被害に関する相談窓口があることについては、「知っている」が56.1%、「知らない」が34.0%で、「知っている」が22.1ポイント上回っています。



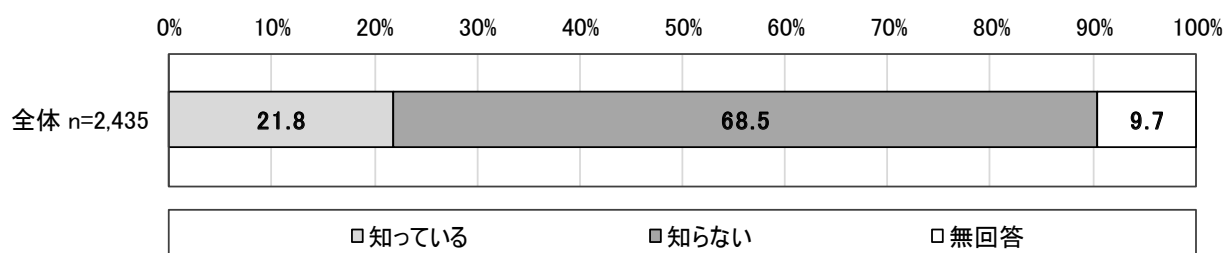
⑥「成年後見制度」

成年後見制度については、「知っている」が70.2%、「知らない」が20.4%で、「知っている」が49.8ポイント上回っています。



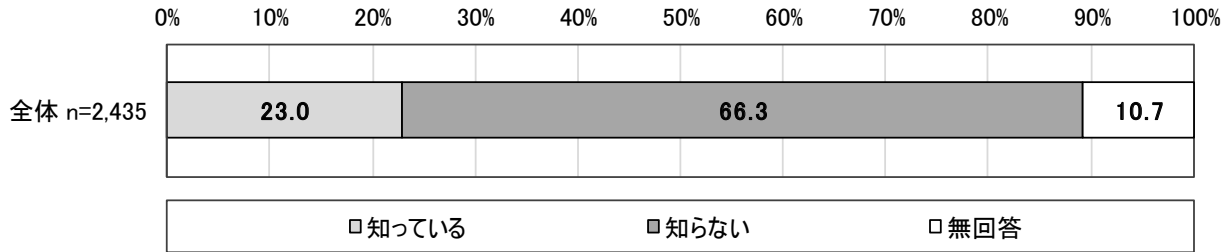
⑦「みんなのカフェ（認知症カフェ）」

みんなのカフェ（認知症カフェ）については、「知っている」が21.8%、「知らない」が68.5%で、「知らない」が46.7ポイント上回っています。



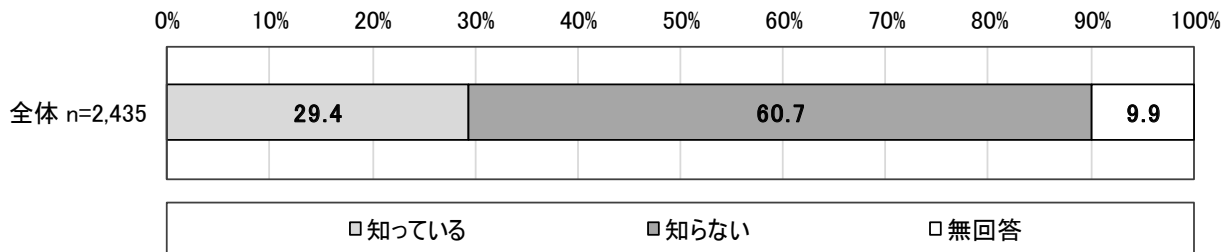
⑧ 「認知症サポーター」

認知症サポーターについては、「知っている」が23.0%、「知らない」が66.3%で、「知らない」が43.3ポイント上回っています。



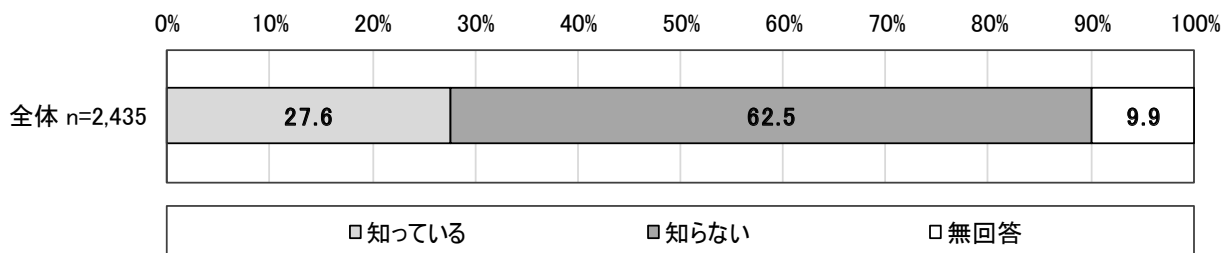
⑨ 「GPSの貸出」

GPSの貸出については、「知っている」が29.4%、「知らない」が60.7%で、「知らない」が31.3ポイント上回っています。



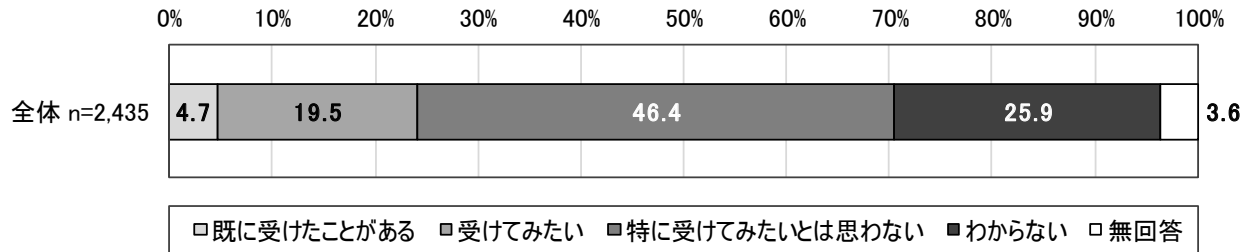
⑩ 「もの忘れ相談医」

もの忘れ相談医については、「知っている」が27.6%、「知らない」が62.5%で、「知らない」が34.9ポイント上回っています。



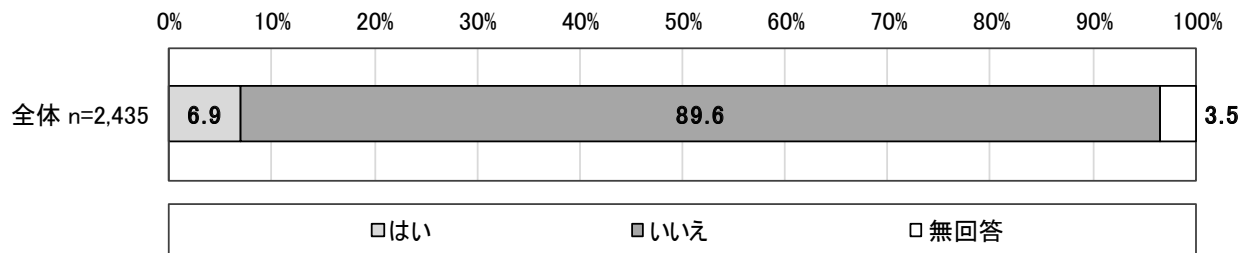
問 63. あなたは、認知症サポーター養成講座を受けてみたいと思いますか。(回答は1つ)

認知症サポーター養成講座を受けてみたいかについては、「特に受けてみたいとは思わない」が46.4%で最も高く、次いで「わからない」が25.9%、「受けてみたい」が19.5%となっています。



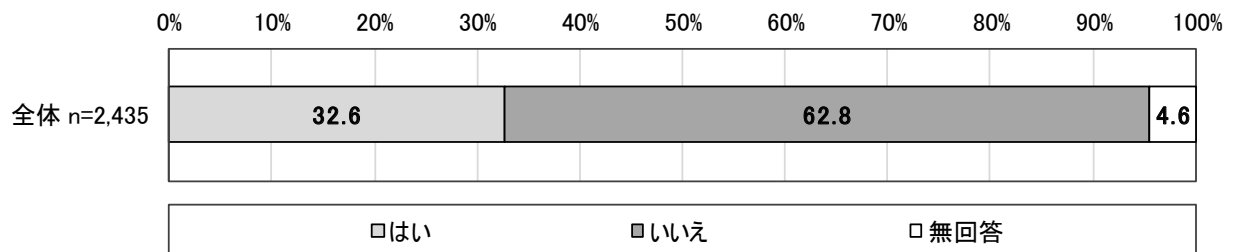
問 64. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいますか。(回答は1つ) ★

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が6.9%、「いいえ」が89.6%で、「いいえ」が82.7ポイント上回っています。



問 65. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ) ★

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が32.6%、「いいえ」が62.8%で、「いいえ」が30.2ポイント上回っています。

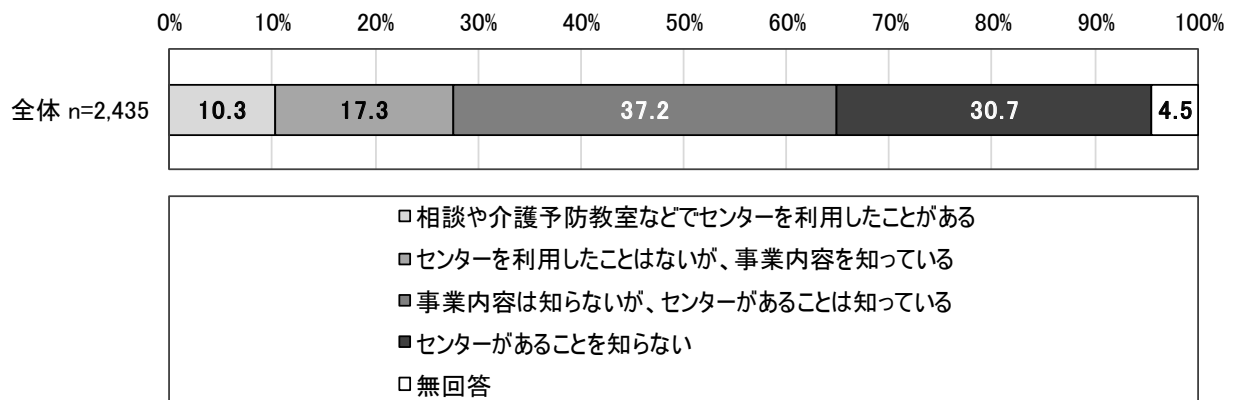


10. 市の施策・事業、介護保険制度について

「10. 市の施策・事業、介護保険制度について」は、地域包括支援センターの認知度、避難行動要支援者支援事業の認知度、健康や福祉の相談先、介護保険施設への意向、介護保険料の段階、介護保険料への負担感、市が行っている高齢者福祉サービスへの利用意向、市の独自制度に対する意向を把握するための項目となっています。

問 66. 高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存知ですか。(回答は1つ)

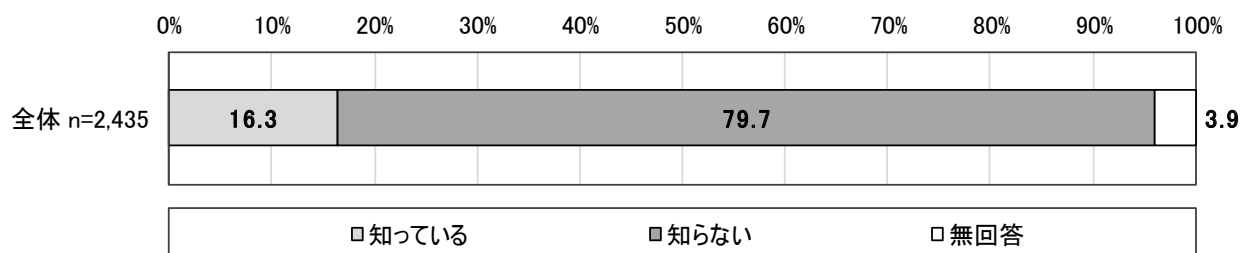
地域包括支援センターの認識状況については、「事業内容は知らないが、センターがあることは知っている」が37.2%で最も高く、次いで「センターがあることを知らない」が30.7%、「センターを利用したことはないが、事業内容を知っている」が17.3%となっています。



問 67. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

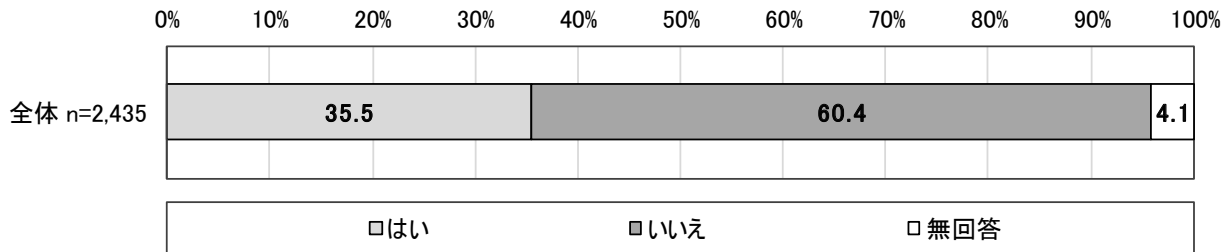
あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が16.3%、「知らない」が79.7%で、「知らない」が63.4ポイント上回っています。



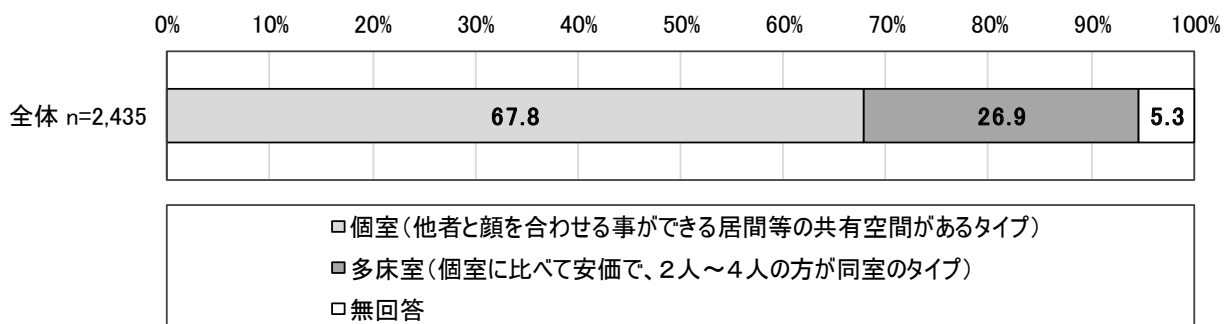
問 68. 健康や福祉について心配になったときの主な相談先はありますか。(回答は1つ)

健康や福祉について、心配になったときの相談先があるかについては、「はい」が 35.5%、「いいえ」が 60.4%で、「いいえ」が 24.9 ポイント上回っています。



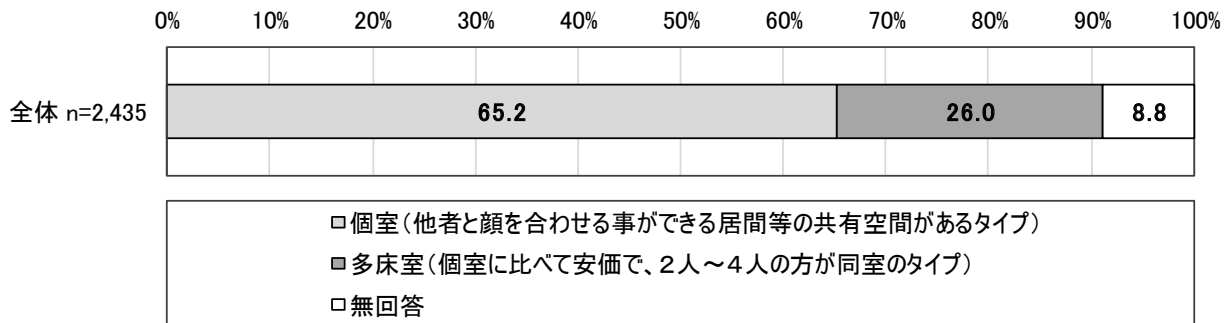
問 69. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせることのできる居間等の共有空間があるタイプ）」が 67.8%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 26.9%で、「個室（他者と顔を合わせることのできる居間等の共有空間があるタイプ）」が 40.9 ポイント上回っています。



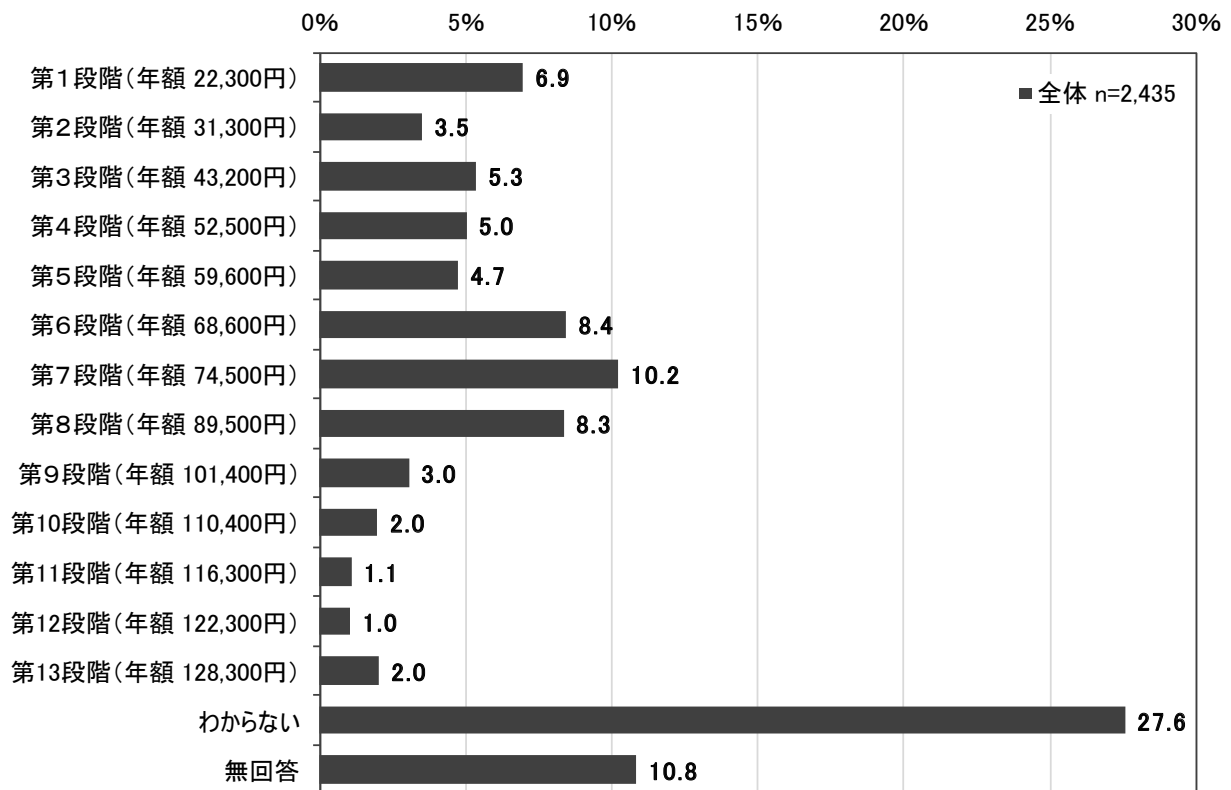
**問 70. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。
(回答は1つ)**

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 65.2%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 26.0%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 39.2 ポイント上回っています。



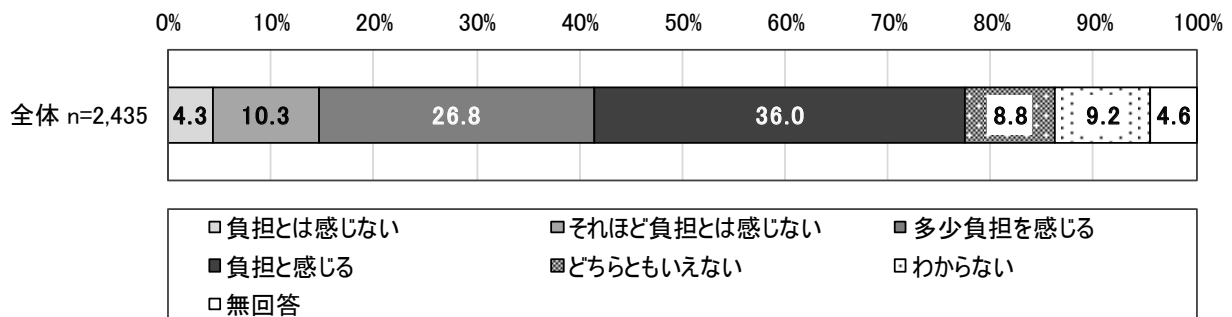
問 71. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

介護保険料の段階については、「わからない」が 27.6%で最も高く、次いで「第7段階（年額 74,500 円）」が 10.2%、「第6段階（年額 68,600 円）」が 8.4%となっています。



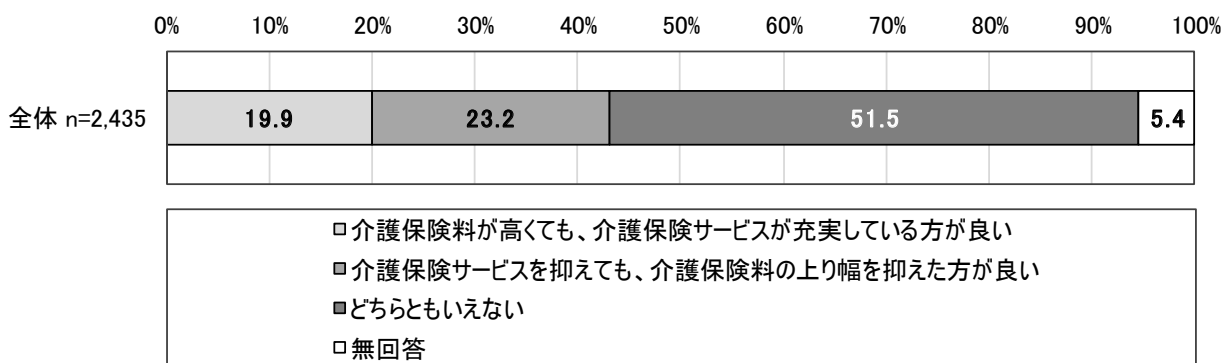
問 72. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

介護保険料に対する負担感については、「負担と感じる」が 36.0%で最も高く、次いで「多少負担を感じる」が 26.8%、「それほど負担とは感じない」が 10.3%となっています。



問 73. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

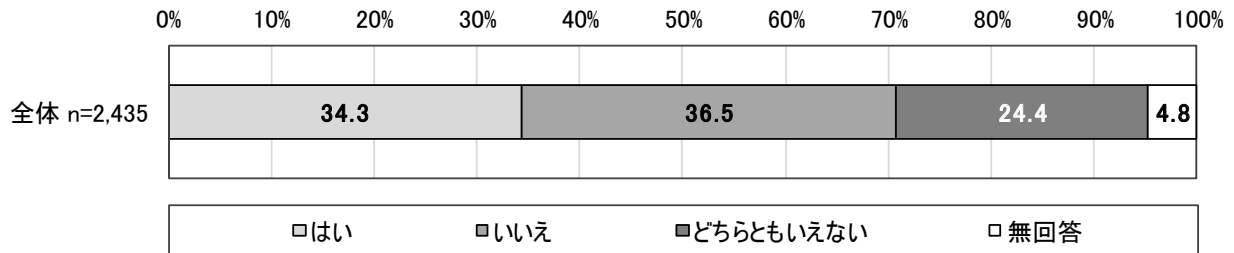
介護保険サービスと介護保険料について、どのように考えているかについては、「どちらともいえない」が 51.5%で最も高く、次いで「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い」が 23.2%、「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い」が 19.9%となっています。



**問 74. 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)**

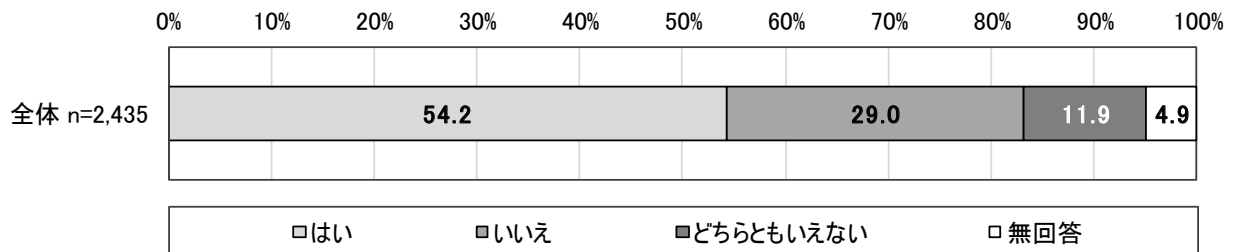
①介護保険の仕組みを知っていますか

介護保険の仕組みを知っているかについては、「いいえ」が 36.5%で最も高く、次いで「はい」が 34.3%、「どちらともいえない」が 24.4%となっています。



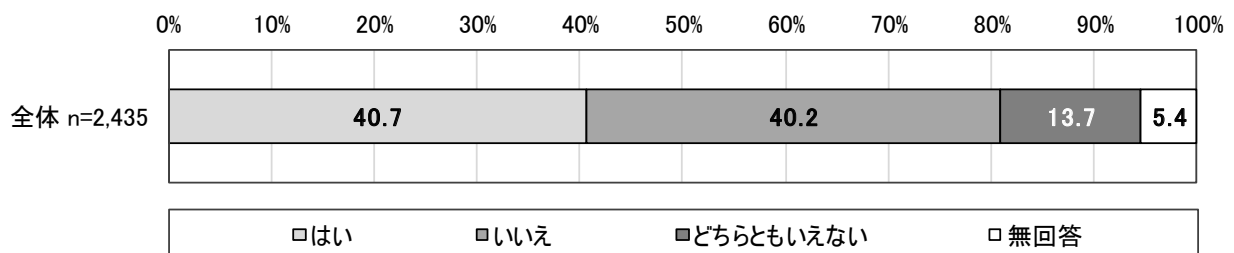
②要介護の状態によって、さまざまなサービスを利用できることを知っていますか

要介護の状態によって、さまざまなサービスを利用できることを知っているかについては、「はい」が 54.2%で最も高く、次いで「いいえ」が 29.0%、「どちらともいえない」が 11.9%となっています。



③サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が 40.7%で最も高く、次いで「いいえ」が 40.2%、「どちらともいえない」が 13.7%となっています。

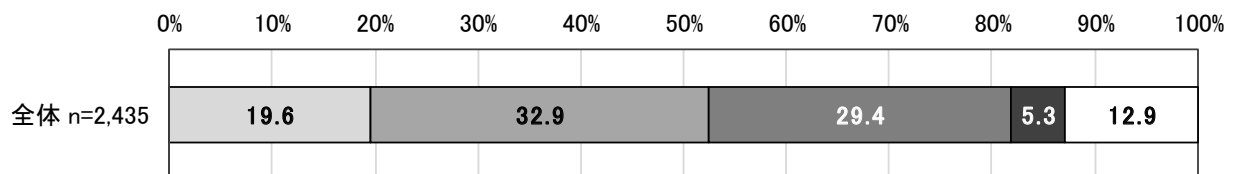


問 75. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。

今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

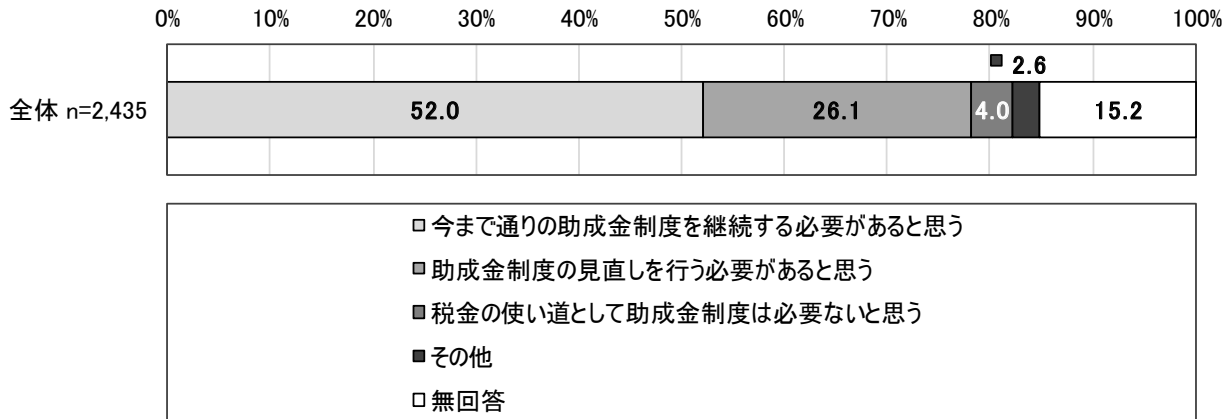
紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい（軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない）」が 32.9%で最も高く、次いで「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が 29.4%、「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が 19.6%となっています。



- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い
- 無回答

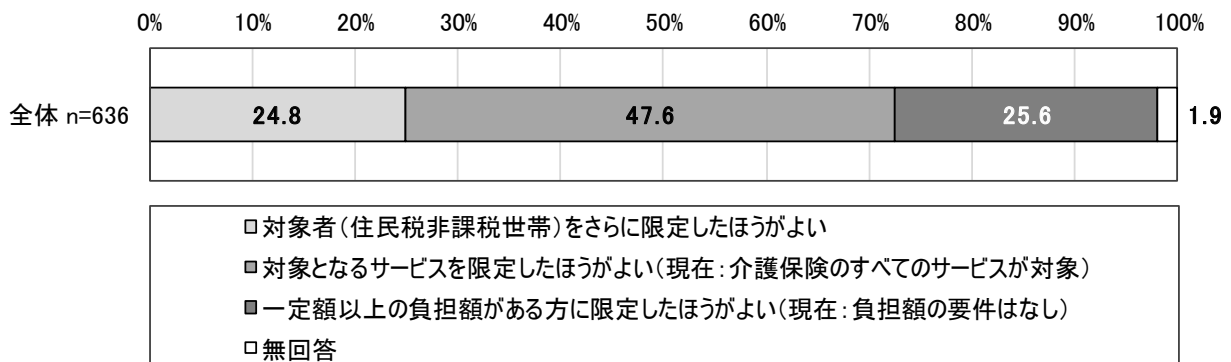
問 76. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後もこの助成金制度が必要だと思いますか。（回答は1つ）

低所得者助成金制度が今後も必要だと思うかについては、「今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う」が 52.0%で最も高く、次いで「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」が 26.1%、「税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う」が 4.0%となっています。



**問 76-1. 【問 76 で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】
どのような観点から見直しが必要だと思いますか。（回答は1つ）**

低所得者助成金制度は、どのような観点から見直しが必要だと思うかについては、「対象となるサービスを限定したほうがよい」が 47.6%で最も高く、次いで「一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい（現在：負担額の要件はなし）」が 25.6%、「対象者（住民税非課税世帯）をさらに限定したほうがよい」が 24.8%となっています。



第2章 高齢者一般 各機能の評価結果

1. 各機能の評価項目

本調査には、各機能の評価する設問が設けられており、回答結果をもとに、各機能の評価することができます。

①運動機能の評価

以下の5項目のうち、3項目以上に該当した場合、運動機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
問10	15分位続けて歩いていますか。	できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

②転倒リスクの評価

以下の項目に該当した場合、転倒リスクに高い傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある

③閉じこもりの評価

以下の項目に該当した場合、閉じこもりの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問13	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

④認知機能の評価

以下の項目に該当した場合、認知機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問21	物忘れが多いと感じますか。	はい

⑤うつの評価

以下の2項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問51	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい
問52	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい

⑥手段的自立度（IADL）の評価

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度（IADL）については、各設問について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 22	バスや電車を使って、1人で外出していますか。
問 23	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。
問 24	自分で食事の用意をしていますか。
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。

⑦知的能動性の評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 27	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。
問 28	新聞を読んでいますか。
問 29	本や雑誌を読んでいますか。
問 30	健康についての記事や番組に関心がありますか。

⑧社会的役割の評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 31	友人の家を訪ねていますか。
問 32	家族や友人の相談にのっていますか。
問 33	病人を見舞うことができますか。
問 34	若い人に自分から話しかけることがありますか。

⑨生活機能総合評価

手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目で評価を行い、11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」と評価します。

2. 各機能の評価結果

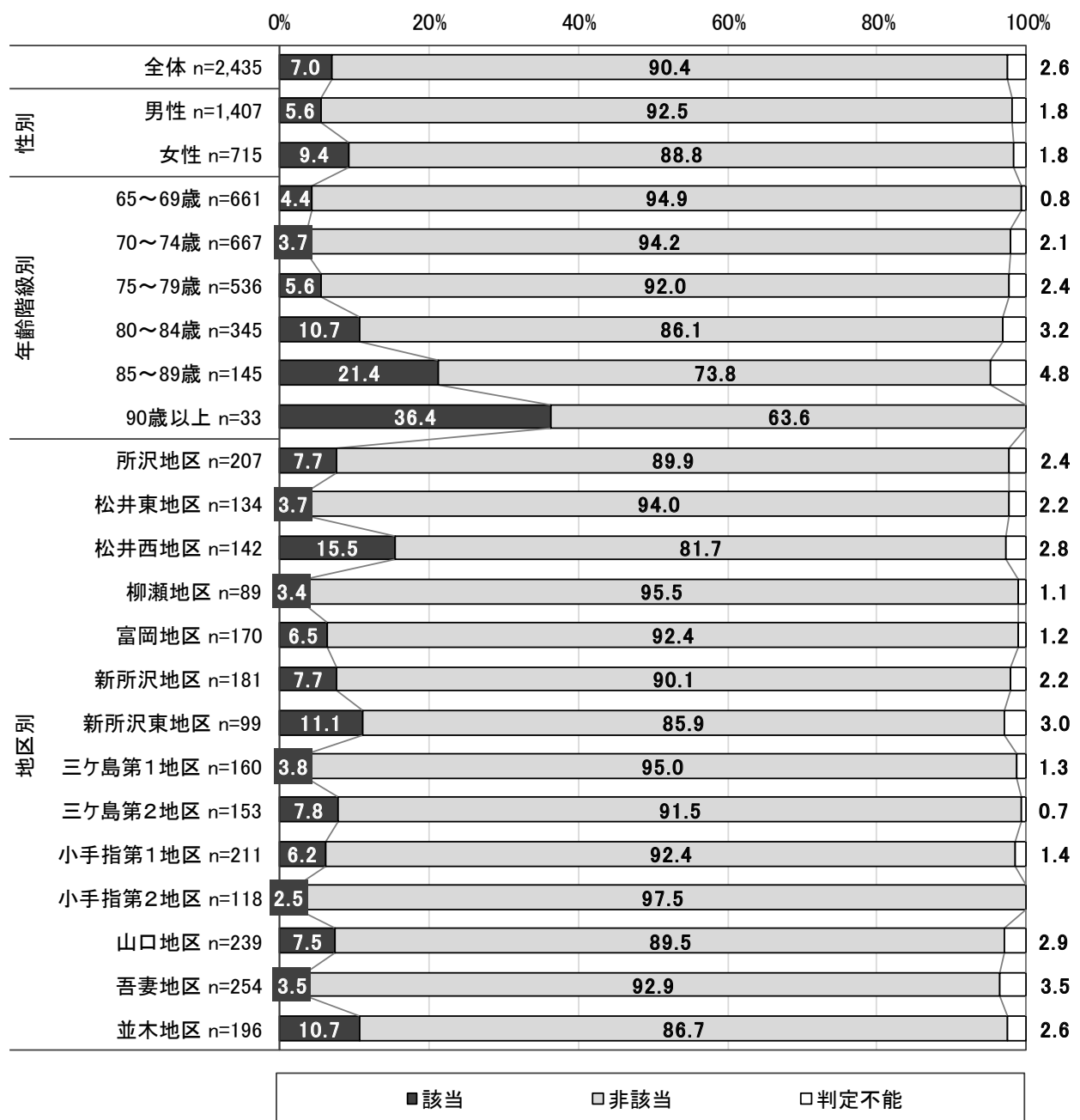
①運動機能の評価結果

運動機能についての結果をみると、運動機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で7.0%となっています。

性別では、男性が5.6%、女性が9.4%で、女性が3.8ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、85～89歳では該当者が2割を超え、90歳以上では3割を超える結果となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、松井西地区で15.5%、次いで新所沢東地区が11.1%、並木地区が10.7%となっています。



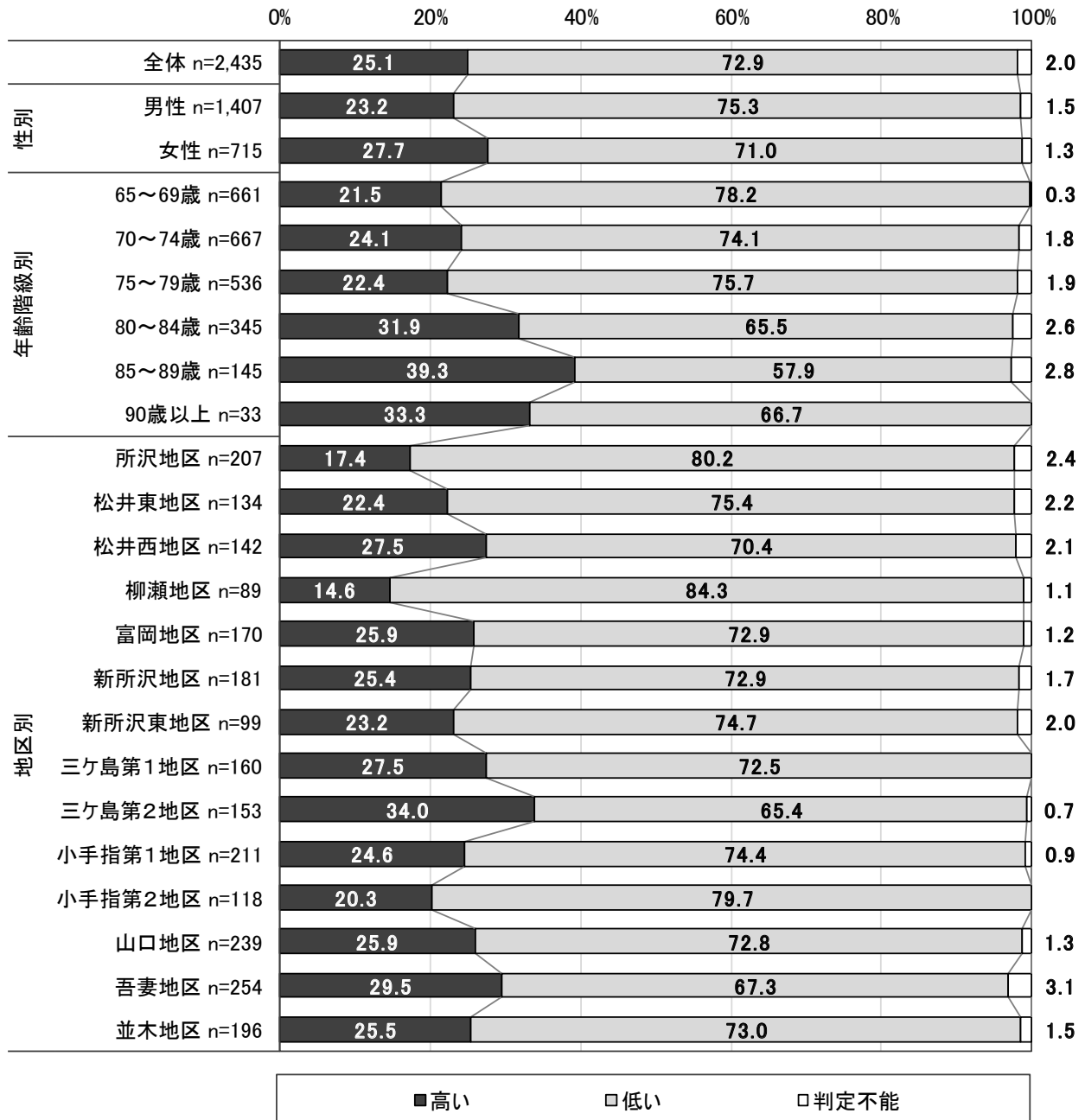
②転倒リスクの評価結果

転倒リスクについての結果をみると、転倒リスクが高い傾向があると判定された方は、全体で25.1%となっています。

性別では、男性が23.2%、女性が27.7%で、女性が4.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～79歳は約2割である一方で、80歳以上では約3割～4割となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、三ヶ島第2地区で34.0%、次いで松井西地区及び三ヶ島第1地区が27.5%、吾妻地区が29.5%となっています。



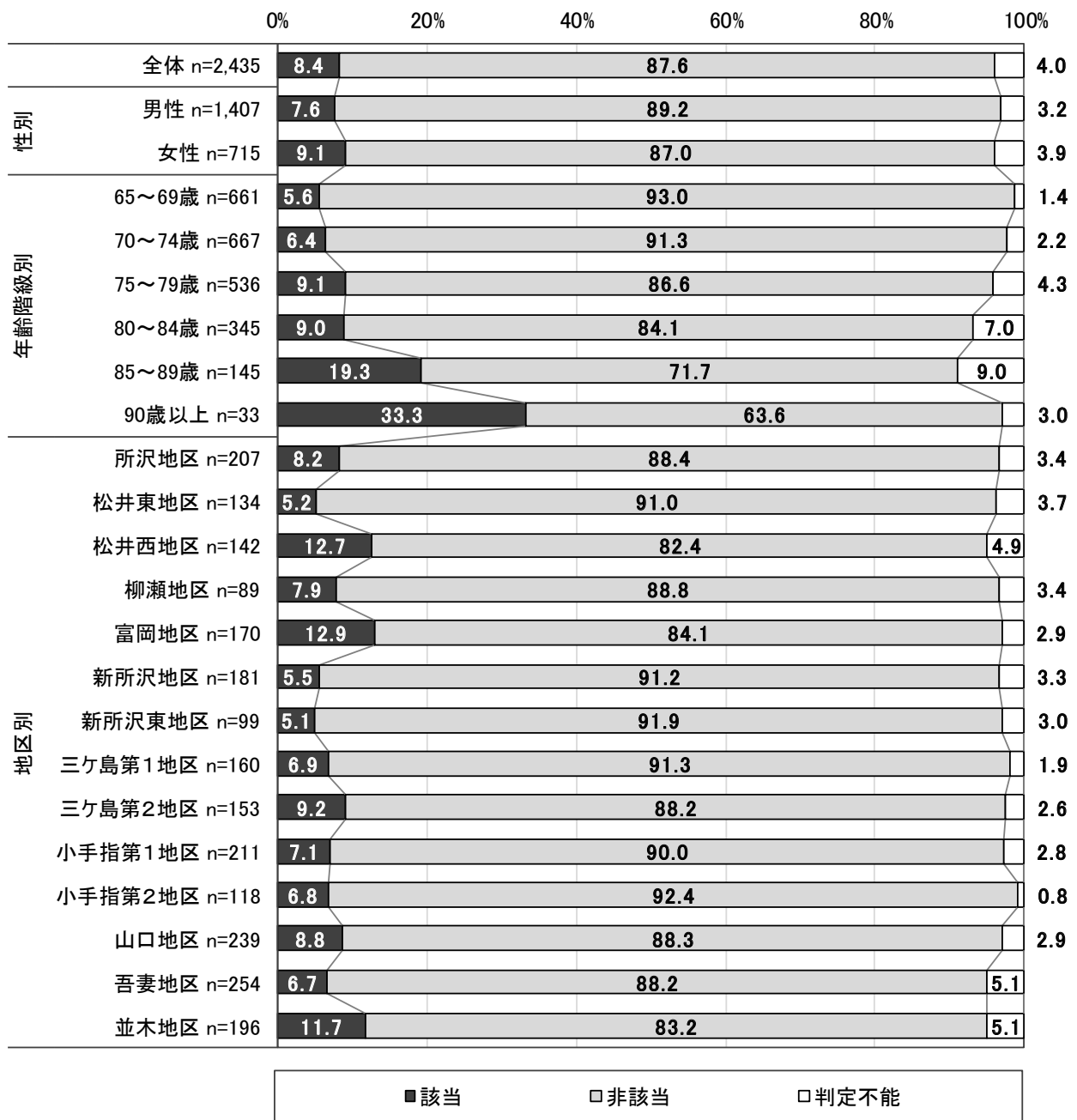
③閉じこもりの評価結果

閉じこもりについての結果をみると、閉じこもりの傾向がみられると判定された方は、全体で8.4%となっています。

性別では、男性が7.6%、女性が9.1%で、女性が1.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加し、85～89歳では該当者が約2割、90歳以上では3割を超える結果となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、富岡地区で12.9%、次いで松井西地区が12.7%、並木地区が11.7%となっています。



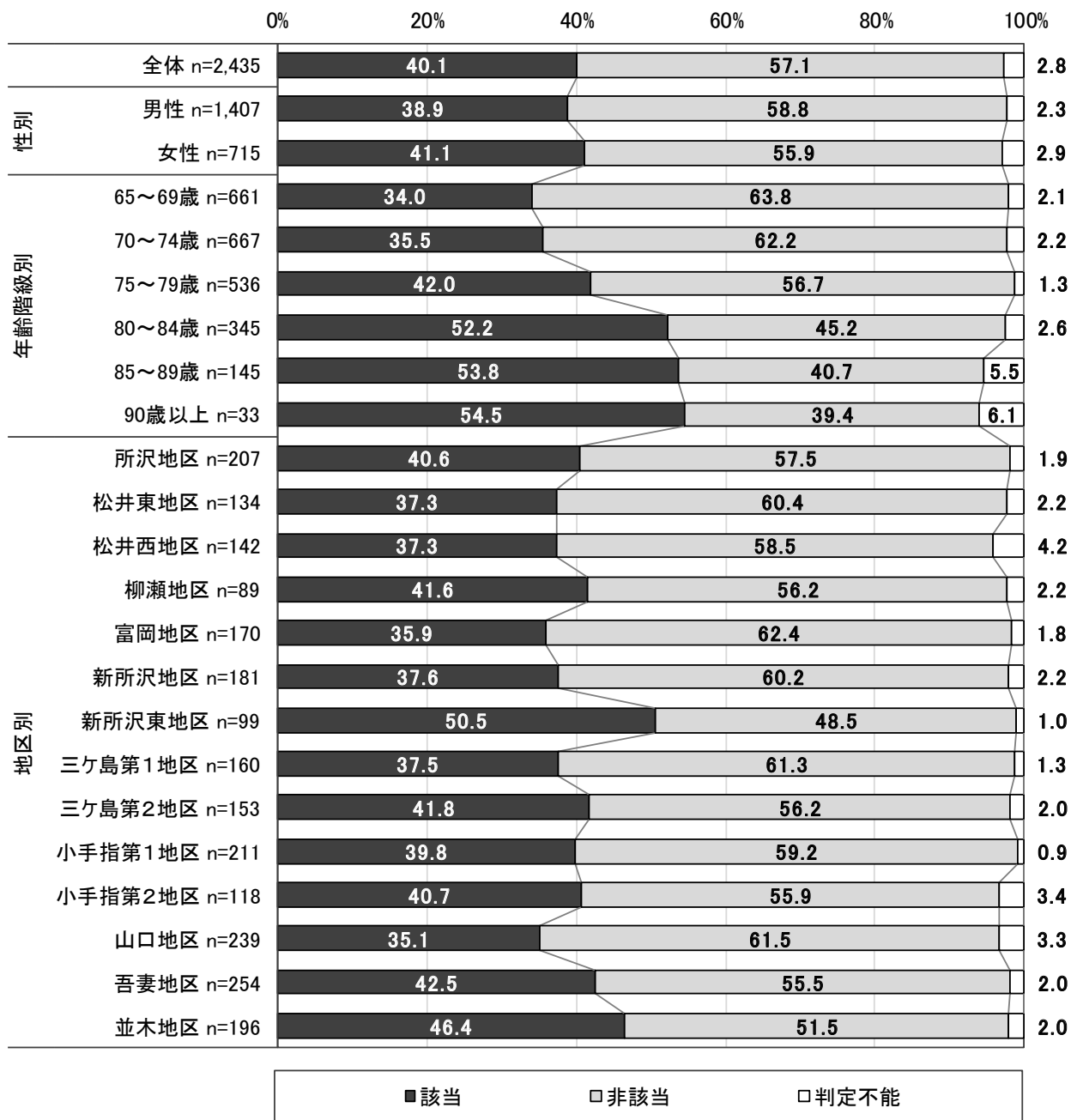
④認知機能の評価結果

認知機能についての結果をみると、認知機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で40.1%となっています。

性別では、男性が38.9%、女性が41.1%で、女性が2.2ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに該当者の割合が増加する傾向にあり、80歳以上で5割を超えています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、新所沢東地区で50.5%、次いで並木地区が46.4%、吾妻地区が42.5%となっています。



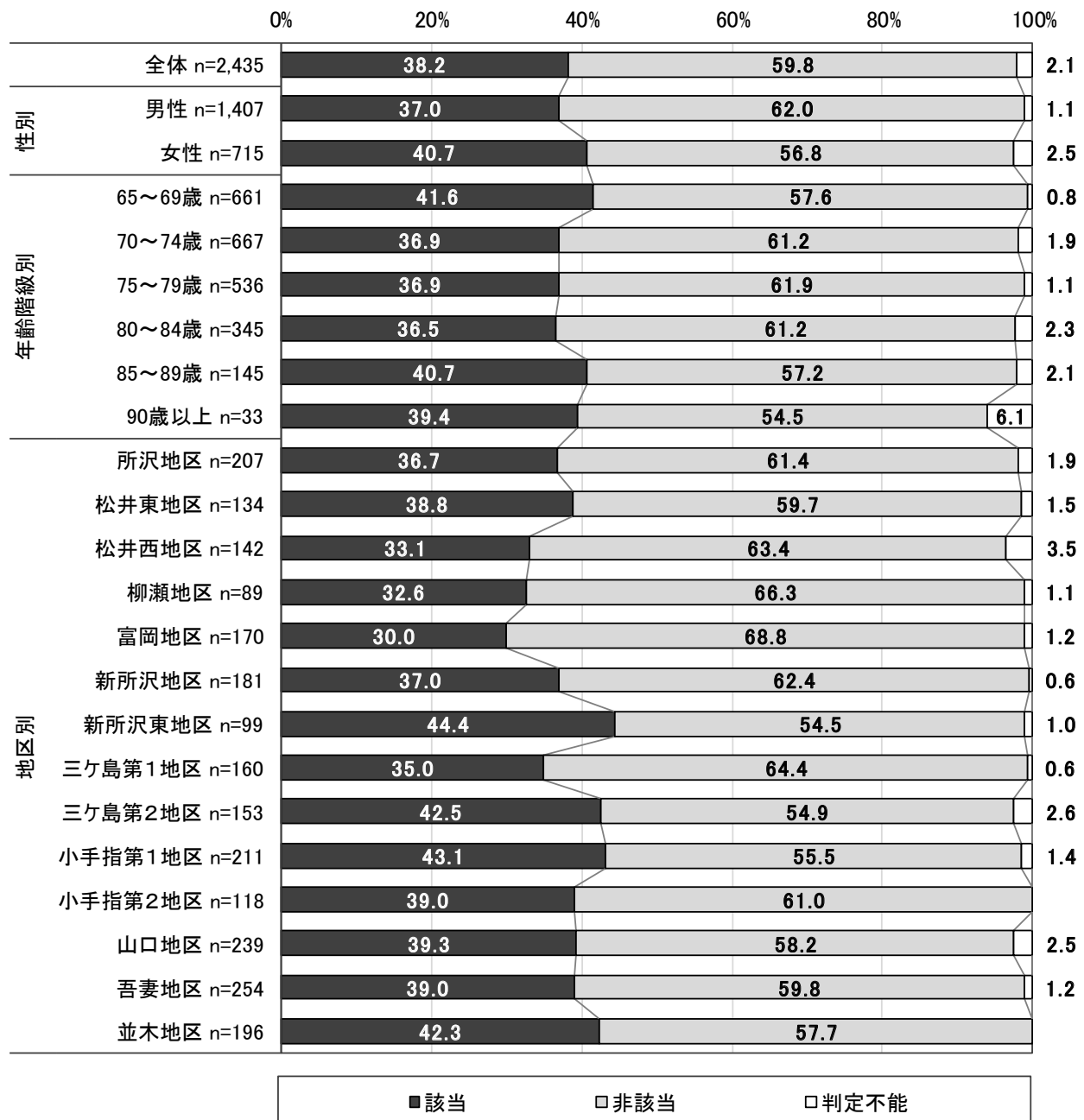
⑤うつの評価結果

うつについての結果をみると、うつの傾向がみられると判定された方は、全体で38.2%となっています。

性別では、男性が37.0%、女性が40.7%で、女性が3.7ポイント上回っています。

年齢階級別では、大きな差はみられず、すべての階級で約4割程度の割合を示す結果となっています。

地区別では、該当者割合が最も高いのが、新所沢東地区で44.4%、次いで小手指第1地区が43.1%、三ヶ島第2地区が42.5%となっています。



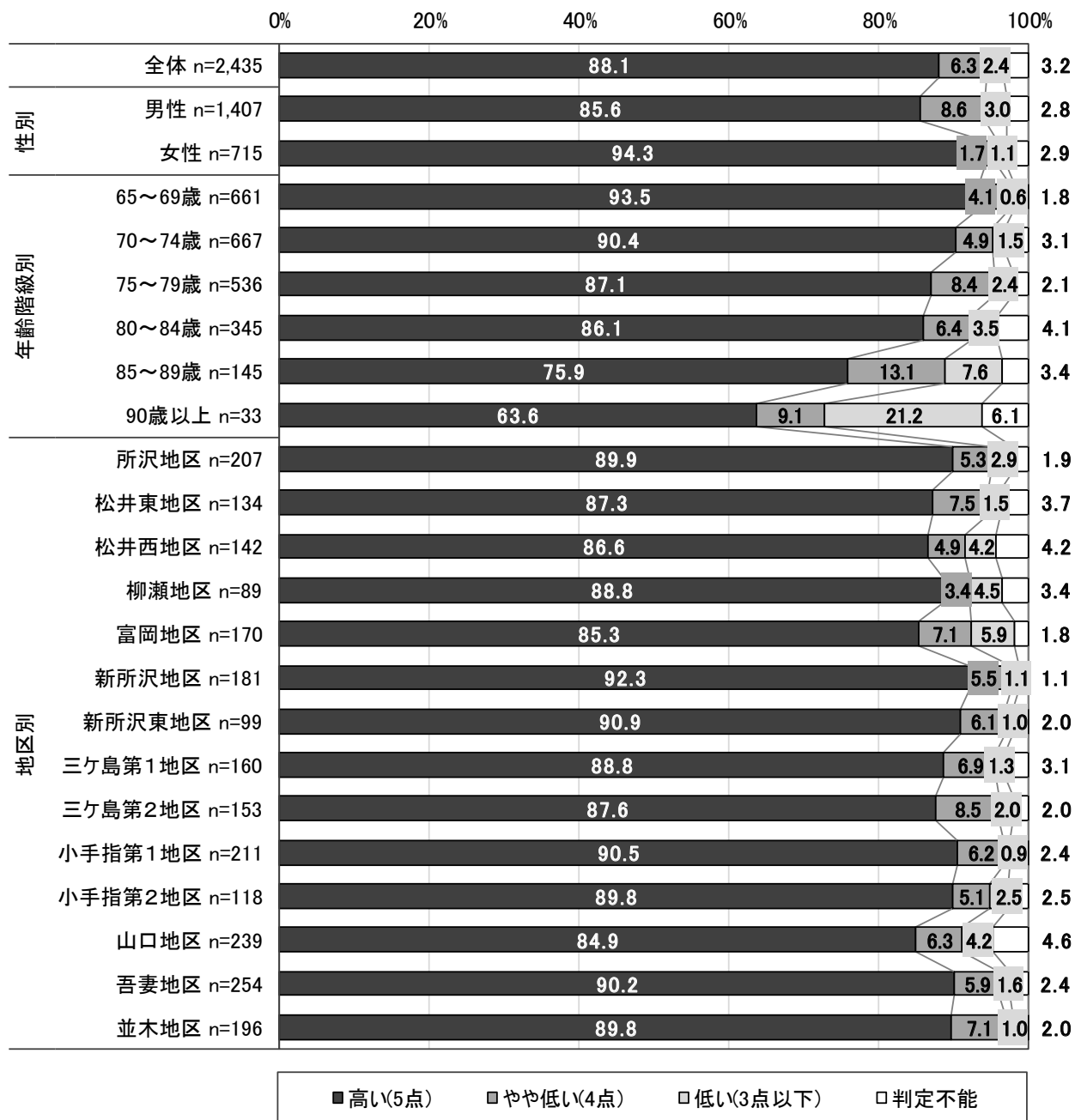
⑥手段的自立度（IADL）の評価結果

手段的自立度（IADL）についてみると、手段的自立度が「高い」と判定された方は、全体で88.1%となっています。

性別では、男性が85.6%、女性が94.3%と、女性が8.7ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85歳以上では8割を切る結果となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、新所沢地区で92.3%、次いで新所沢東地区が90.9%、小手指第1地区が90.5%となっています。



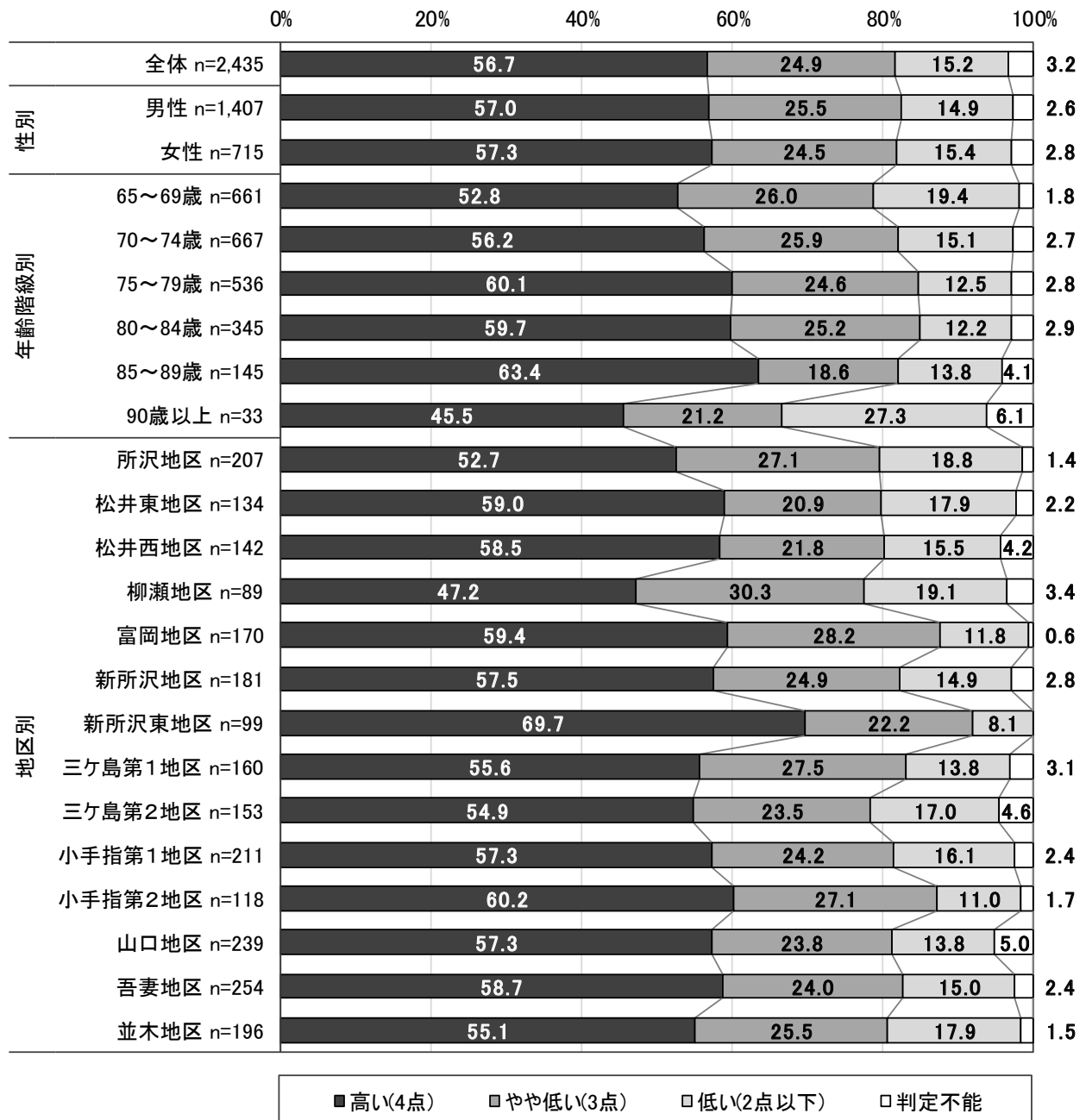
⑦知的能動性の評価結果

知的能動性についてみると、知的能動性が「高い」と判定された方は、全体で56.7%となっています。

性別では、男性が57.0%、女性が57.3%と、女性が0.3ポイント上回っています。

年齢階級別では、90歳以上を除いた階級は約5割～6割となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、新所沢東地区で69.7%、次いで小手指第2地区が60.2%、富岡地区が59.4%となっています。

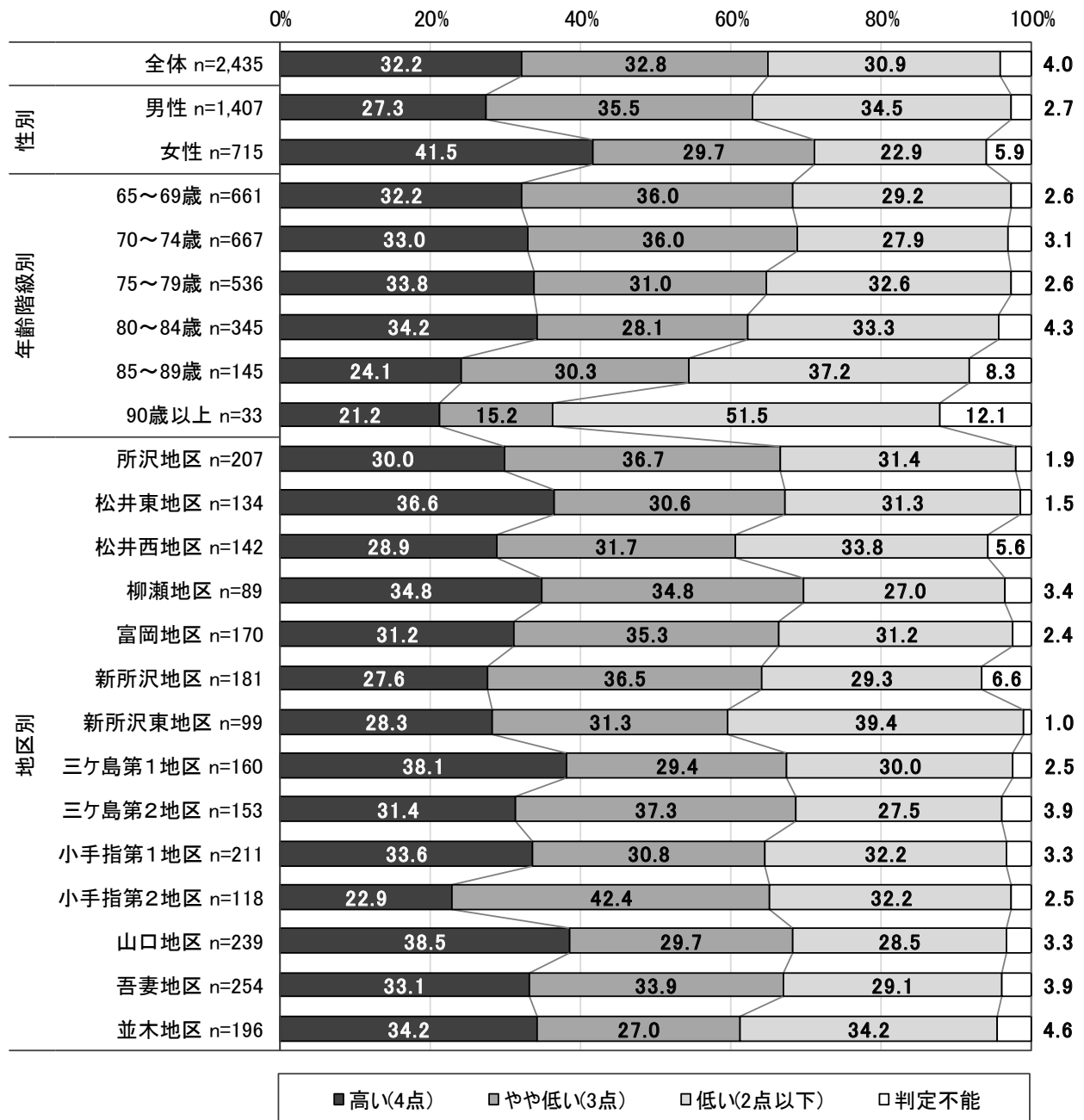


⑧社会的役割の評価結果

社会的役割についてみると、社会的役割が「高い」と判定された方は、全体で32.2%となっています。性別では、男性が27.3%、女性が41.5%と、女性が14.2ポイント上回っています。

年齢階級別では、65～84歳までは約3割、85歳以上では約2割となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、山口地区で38.5%、次いで三ヶ島第1地区が38.1%、松井東が36.6%となっています。



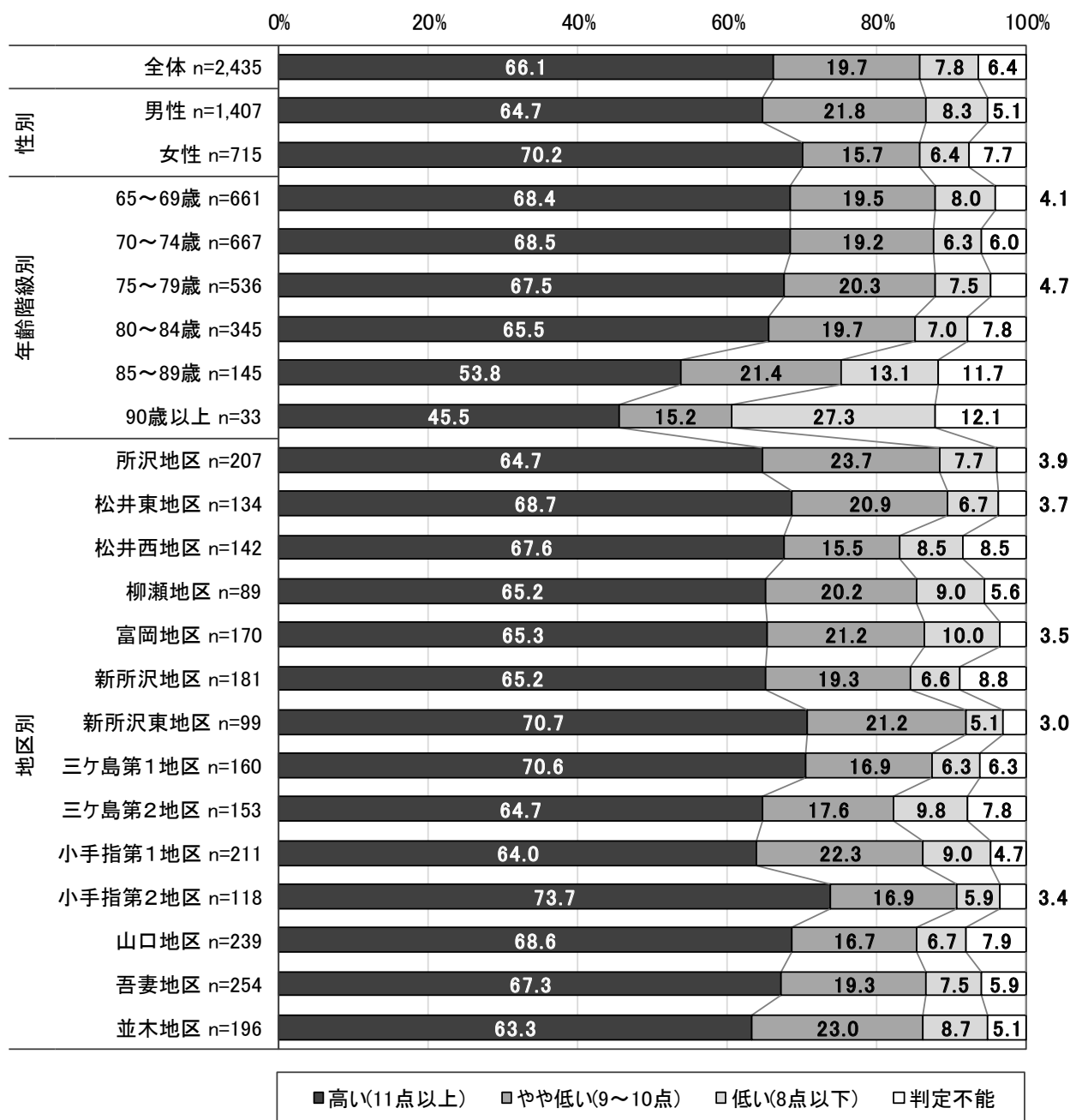
⑨生活機能総合評価結果

生活機能総合評価についてみると、生活機能総合評価が「高い」と判定された方は、全体で66.1%となっています。

性別では、男性が64.7%、女性が70.2%と、女性が5.5ポイント上回っています。

年齢階級別では、年齢が上がるとともに「高い」の割合は減少し、85歳以上では約5割となっています。

地区別では、「高い」の割合が最も高いのが、小手指第2地区で73.7%、次いで新所沢東地区が70.7%、三ヶ島第1地区が70.6%となっています。



第3章 高齢者一般 クロス集計でみる傾向

1. 地区別の傾向

①家族構成について

・問3 選択肢：1人暮らし

	1人暮らしの割合が高い傾向にある地区	1人暮らしの割合が低い傾向にある地区
1位	並木地区	山口地区
2位	小手指第2地区	柳瀬地区
3位	新所沢地区	富岡地区／小手指第1地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
26.1%	25.4%	21.8%	15.7%	19.4%	28.2%	25.3%	25.6%	24.2%	19.4%	31.4%	13.8%	21.7%	34.7%
4	6	9	13	11	3	7	5	8	11	2	14	10	1

②経済状況について

・問5 選択肢：大変苦しい／やや苦しい(合計値)

	経済状況で苦しいと感じている割合が高い傾向にある地区	経済状況で苦しいと感じている割合が低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第2地区	吾妻地区
2位	並木地区	小手指第2地区
3位	新所沢地区	松井東地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
29.4%	24.6%	30.3%	30.3%	25.9%	31.0%	29.3%	28.1%	36.0%	29.8%	24.5%	25.5%	23.2%	32.1%
7	12	4	4	10	3	8	9	1	6	13	11	14	2

③外出の状況について

・問 15 選択肢：はい（外出を控えている）

	外出を控えている割合が高い傾向にある地区	外出を控えている割合が低い傾向にある地区
1位	松井西地区	松井東地区
2位	並木地区	柳瀬地区
3位	富岡地区	所沢地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
7.2%	6.0%	16.2%	6.7%	13.5%	12.2%	12.1%	11.3%	11.8%	8.1%	8.5%	7.9%	9.4%	13.8%
12	14	1	13	3	4	5	7	6	10	9	11	8	2

④外出時の移動手段について

・移動手段別の上位3位（黒の塗りつぶし／白抜き文字）

単位：％

	所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n 値	207	134	142	89	170	181	99	160	153	211	118	239	254	196
徒歩	86.5	72.4	76.8	67.4	67.6	85.1	85.9	71.9	83.7	73.9	89.0	73.2	76.4	78.1
自転車	35.3	40.3	46.5	47.2	42.9	49.7	37.4	51.3	50.3	42.7	30.5	30.1	44.1	41.8
バイク	2.4	4.5	2.1	3.4	2.4	2.8	2.0	3.1	3.3	6.6	4.2	5.9	4.3	1.5
自動車(自分で運転)	37.7	50.0	45.8	62.9	62.4	38.7	42.4	60.6	47.1	61.1	34.7	59.0	49.2	40.3
自動車(人に乗せてもらう)	11.1	11.2	16.2	18.0	14.7	14.9	9.1	15.0	15.0	15.2	12.7	15.1	13.4	16.3
電車	65.2	57.5	52.1	50.6	55.3	72.4	66.7	50.6	62.7	53.1	78.8	57.3	63.0	63.8
路線バス	16.9	44.0	34.5	28.1	43.5	18.2	22.2	20.0	20.3	28.4	24.6	23.4	35.4	61.7
病院や施設のバス	2.4	1.5	4.9	2.2	0.6	3.3	2.0	3.8	3.3	2.8	0.8	1.3	1.2	4.6
車いす	0.0	0.0	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.8	0.0	0.0
電動車いす(カート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歩行器・シルバーカー	1.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	1.0	0.6	0.7	0.0	0.0	0.4	1.6	1.0
タクシー	15.0	8.2	14.1	11.2	11.8	10.5	12.1	9.4	11.8	10.0	11.0	7.5	11.4	19.9
その他	0.5	0.0	0.7	1.1	1.2	0.6	0.0	0.0	0.7	0.9	0.8	0.4	1.2	0.0
無回答	2.9	3.7	4.9	2.2	2.9	3.9	3.0	1.3	0.7	0.9	0.0	2.5	4.7	1.5

※「車いす」「電動車いす(カート)」「歩行器・シルバーカー」「その他」については、割合が低いため地区別順位の色付けはしてありません。

⑤地域との関係に対する考え方

・問 41 選択肢：かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい

	自分なりに生活していきたいと考える割合が 高い傾向にある地区	自分なりに生活していきたいと考える割合が 低い傾向にある地区
1位	柳瀬地区	松井東地区
2位	新所沢地区	松井西地区／吾妻地区
3位	三ヶ島第2地区	三ヶ島第1地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
3.9%	3.0%	3.5%	7.9%	4.1%	7.2%	6.1%	3.8%	6.5%	5.7%	4.2%	5.0%	3.5%	6.1%
10	14	12	1	9	2	4	11	3	6	8	7	12	4

⑥健康状態について

・問 48 選択肢：あまりよくない／よくない(合計値)

	健康状態がよくないと感じている割合が 高い傾向にある地区	健康状態がよくないと感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第2地区	柳瀬地区
2位	松井西地区	小手指第2地区
3位	新所沢地区	新所沢東地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
15.4%	13.4%	20.4%	10.1%	13.5%	18.2%	12.1%	16.2%	21.0%	16.1%	11.9%	15.1%	16.2%	16.3%
8	11	2	14	10	3	12	5	1	7	13	9	5	4

⑦幸福感について

・問 50 選択肢：8点／9点／10点（合計値）

	幸福感を感じている割合が 高い傾向にある地区	幸福感を感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	富岡地区	三ヶ島第2地区
2位	小手指第2地区	小手指第1地区
3位	所沢地区	三ヶ島第1地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
50.7%	46.9%	47.2%	48.3%	55.3%	45.8%	46.5%	43.1%	36.0%	38.8%	50.9%	47.7%	48.1%	44.9%
3	8	7	4	1	10	9	12	14	13	2	6	5	11

⑧介護予防への取組状況について

・問 60 選択肢：意識して取り組んでいる

	介護予防の取組を意識的に取り組んでいる 割合が高い傾向にある地区	介護予防の取組を意識的に取り組んでいる 割合が低い傾向にある地区
1位	新所沢東地区	松井西地区
2位	小手指第2地区	三ヶ島第2地区
3位	吾妻地区	小手指第1地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
46.4%	48.5%	36.6%	42.7%	43.5%	50.3%	54.5%	45.6%	39.2%	39.3%	54.2%	49.8%	51.2%	47.4%
8	6	14	11	10	4	1	9	13	12	2	5	3	7

⑨認知症サポーター養成講座の受講意向について

・問 63 選択肢：既に受けたことがある／受けてみたい（合計値）

	認知症サポーター養成講座を受けたことがある・受けてみたいと考える割合が高い傾向にある地区	認知症サポーター養成講座を受けたことがある・受けてみたいと考える割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	柳瀬地区
2位	所沢地区	所沢地区
3位	三ヶ島第2地区	松井西地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
20.3%	29.1%	20.4%	19.1%	25.3%	23.2%	23.2%	25.0%	28.8%	22.7%	31.3%	22.6%	24.8%	24.0%
13	2	12	14	4	8	8	5	3	10	1	11	6	7

⑩運動機能について

・運動機能に低下の傾向がみられる割合

	運動機能に低下の傾向がみられる割合が高い傾向にある地区	運動機能に低下の傾向がみられる割合が低い傾向にある地区
1位	松井西地区	小手指第2地区
2位	新所沢東地区	柳瀬地区
3位	並木地区	吾妻地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
7.7%	3.7%	15.5%	3.4%	6.5%	7.7%	11.1%	3.8%	7.8%	6.2%	2.5%	7.5%	3.5%	10.7%
5	11	1	13	8	5	2	10	4	9	14	7	12	3

⑪手段的自立度（IADL）について

・手段的自立度（IADL）が高い割合

	手段的自立度（IADL）の高い割合が高い傾向にある地区	手段的自立度（IADL）の高い割合が低い傾向にある地区
1位	新所沢地区	山口地区
2位	新所沢東地区	富岡地区
3位	小手指第1地区	松井西地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
89.9%	87.3%	86.6%	88.8%	85.3%	92.3%	90.9%	88.8%	87.6%	90.5%	89.8%	84.9%	90.2%	89.8%
5	11	12	8	13	1	2	8	10	3	6	14	4	6

⑫生活機能総合評価について

・生活機能総合評価が高い割合

	生活機能総合評価の高い割合が高い傾向にある地区	生活機能総合評価の高い割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	並木地区
2位	新所沢東地区	小手指第1地区
3位	三ヶ島第1地区	所沢地区／三ヶ島第2地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=207	n=134	n=142	n=89	n=170	n=181	n=99	n=160	n=153	n=211	n=118	n=239	n=254	n=196
64.7%	68.7%	67.6%	65.2%	65.3%	65.2%	70.7%	70.6%	64.7%	64.0%	73.7%	68.6%	67.3%	63.3%
11	4	6	9	8	9	2	3	11	13	1	5	7	14

2. 個別クロス集計の結果

①今後希望する社会参加×年齢（前期高齢者・後期高齢者）

今後希望する社会参加については、前期高齢者は後期高齢者に比べて、「ボランティアグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「町内会・自治会」「収入のある仕事」の割合が高くなっています。一方で、後期高齢者は前期高齢者に比べて、「介護予防のための通いの場」「長生クラブ」の割合が高くなっています。

また、「特に何もしたくない」は、前期高齢者、後期高齢者ともに約3割となっています。

	前期高齢者 n=1,328	後期高齢者 n=1,059
ボランティアのグループ	11.7%	6.4%
スポーツ関係のグループやクラブ	16.0%	11.8%
趣味関係のグループ	26.5%	20.9%
学習・教養サークル	16.2%	9.6%
介護予防のための通いの場	6.3%	9.8%
長生クラブ	1.6%	3.4%
町内会・自治会	6.3%	5.9%
収入のある仕事	18.1%	5.9%
特に何もしたくない	30.3%	33.3%
無回答	9.5%	20.8%

②外出頻度×外出する際の移動手段

外出頻度による外出する際の移動手段については、外出頻度が多いほど、「徒歩」「自転車」「自動車（自分で運転）」の割合が高くなる傾向があります。

また、ほとんど外出しないでは、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が、他の区分に比べて高い傾向がみられます。

	ほとんど 外出しない n=72	週1回 n=132	週2～4回 n=969	週5回以上 n=1,164
徒歩	47.2%	73.5%	81.1%	79.1%
自転車	27.8%	28.0%	41.6%	45.1%
バイク	1.4%	2.3%	2.7%	4.9%
自動車(自分で運転)	15.3%	34.8%	45.9%	57.8%
自動車(人に乗せてもらう)	31.9%	20.5%	15.8%	10.9%
電車	29.2%	55.3%	61.9%	63.3%
路線バス	23.6%	32.6%	34.6%	27.7%
病院や施設のバス	5.6%	4.5%	2.8%	1.8%
車いす	2.8%	0.0%	0.1%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%
歩行器・シルバーカー	2.8%	1.5%	0.6%	0.2%
タクシー	31.9%	22.7%	12.9%	8.9%
その他	1.4%	1.5%	0.7%	0.3%
無回答	6.9%	2.3%	1.5%	0.9%

③主な外出先×外出する際の移動手段

主な外出先への移動手段について回答者が多い項目である「買い物をする場所」では、『徒歩』が82.5%で最も高く、次いで『電車』が64.5%、『自動車（自分で運転）』が50.4%となっています。

「病院、診療所」では、『徒歩』が80.1%で最も高く、次いで『電車』が61.4%、『自動車（自分で運転）』が41.3%となっています。

	買い物をする場所 n=1,798	会合・サークル活動・学習のための施設 n=502	体操等、地域の通いの場 n=185	病院、診療所 n=598	飲食店 n=303
徒歩	82.5%	86.3%	87.0%	80.1%	81.2%
自転車	43.8%	47.2%	50.3%	40.6%	42.9%
バイク	3.5%	4.6%	3.2%	2.5%	4.6%
自動車(自分で運転)	50.4%	47.2%	40.5%	41.3%	54.1%
自動車(人に乗せてもらう)	14.6%	15.7%	20.5%	17.4%	16.8%
電車	64.5%	71.9%	63.2%	61.4%	70.3%
路線バス	32.4%	41.8%	38.9%	35.1%	34.3%
病院や施設のバス	2.6%	3.4%	2.2%	6.5%	1.7%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
電動車いす(カート)	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.4%	0.6%	0.0%	0.7%	0.3%
タクシー	11.7%	14.7%	13.0%	20.2%	17.2%
その他	0.7%	0.8%	1.1%	1.2%	0.3%
無回答	1.1%	1.4%	1.1%	1.3%	1.0%

	公園、遊歩道 n=444	家族・親戚や友人・知人の家 n=235	文化・娯楽施設 n=148	行楽地、観光地 n=132	スポーツ施設 n=302
徒歩	91.7%	83.0%	82.4%	82.6%	83.8%
自転車	44.4%	40.0%	43.2%	48.5%	54.3%
バイク	3.6%	3.8%	0.7%	5.3%	7.0%
自動車(自分で運転)	54.3%	52.8%	47.3%	59.1%	66.2%
自動車(人に乗せてもらう)	12.6%	23.4%	8.8%	15.2%	8.9%
電車	68.0%	62.6%	75.7%	74.2%	66.2%
路線バス	31.5%	32.3%	34.5%	35.6%	27.8%
病院や施設のバス	3.4%	0.9%	0.7%	2.3%	0.7%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.3%
タクシー	8.1%	14.9%	9.5%	13.6%	8.6%
その他	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.3%
無回答	1.8%	0.9%	1.4%	0.8%	0.7%

	宗教的な施設・ 場所 n=50	農園 n=145	職場 n=488	入浴施設 n=55	その他 n=200
徒歩	88.0%	69.7%	73.0%	65.5%	83.5%
自転車	40.0%	57.2%	40.4%	45.5%	43.5%
バイク	0.0%	6.2%	6.1%	1.8%	3.5%
自動車(自分で運転)	42.0%	78.6%	66.4%	50.9%	62.0%
自動車(人に乗せてもらう)	20.0%	9.7%	8.2%	9.1%	8.5%
電車	76.0%	46.9%	65.0%	67.3%	61.5%
路線バス	42.0%	24.8%	29.5%	27.3%	26.5%
病院や施設のバス	8.0%	0.0%	0.6%	1.8%	4.0%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
タクシー	22.0%	4.1%	9.2%	10.9%	9.5%
その他	0.0%	0.7%	0.6%	0.0%	0.5%
無回答	0.0%	0.7%	1.2%	0.0%	1.5%

④生活機能総合評価×地域活動へ参加者として参加する意向

生活機能総合評価による地域活動への参加意向については、生活機能総合評価が高い方は、地域活動へ参加者として「参加してもよい」の割合が高い傾向にあります。

また、生活機能総合評価の低い方は、地域活動へ参加者として「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。

	高い n=1,610	やや低い n=479	低い n=190	判定不能 n=156
是非参加したい	8.5%	6.1%	3.2%	4.5%
参加してもよい	56.2%	45.1%	28.4%	31.4%
参加したくない	22.3%	37.6%	55.3%	28.8%
既に参加している	7.4%	5.0%	3.7%	2.6%
無回答	5.6%	6.3%	9.5%	32.7%

第4章 高齢者一般 調査結果のまとめ

【1. 本人について】

回答者の構成において、年齢階級では、65～69歳が27.1%、70～74歳が27.4%と、前期高齢者で約5割を占め、年齢があがるとともに割合は減少していく傾向がみられます。

性別では、男性が57.8%、女性が29.4%と、男性からの回答が多い状況となっています。

【2. 家族や生活状況について】

家族構成においては、1人暮らしの割合は23.5%と約4人に1人の割合となっています。普段の生活において、介護・介助は必要ないが約9割を占め、自立した日常生活を送る高齢者が多い状況がうかがえますが、少数ではあるものの日常生活において何らかの介護・介助が必要と回答している方もみられます。

経済状況を見ると、苦しい（大変苦しい、やや苦しい）と感じている割合は約3割と約3人に1人の割合となっています。

普段の生活において、紙おむつの利用状況を見ると、利用していない方が約9割と紙おむつの利用傾向は低くなっていますが、念のため使用している、寝ている間だけ使用していると回答している方も少数みられる状況であります。

【3. からだを動かすことについて】

日常生活状況から判定する運動機能の評価では、全体の7.0%が該当者と判定され、割合としては低い傾向がみられます。また、閉じこもりの傾向をみる評価では、全体の8.4%が該当者と判定され、運動機能と同程度の割合となっています。一方で、転倒リスクの評価では、全体の25.1%が転倒リスクで高いと判定され、約4人に1人の割合となっています。

週に1回以上外出している方の主な外出先は、買物をする場所が最も高く、また、病院、診療所、職場、会合・サークル活動・学習のための施設や公園、遊歩道の割合も2割程度と、活動的に外出している状況もみられます。

現在、外出を控えていると回答した方の外出を控えている理由については、身体的な理由である足腰などの痛みが約5割という結果が出ており、外出をする上で、自身の身体機能が維持されていることが重要であるということがうかがえます。また、トイレの心配（失禁など）についても約2割と、外出時の軽失禁への対策も外出をする上で重要であることがうかがえます。

外出をする際の主な移動手段は、徒歩、自転車、自動車（自分で運転）、電車、路線バスが上位に挙げられており、外出の用途などにより移動手段を選択できる状況にある方が多いことがうかがえます。

【4. 食べることについて】

自身の身長と体重から肥満度を図る指数であるBMIでは、肥満と判定される「BMI=25.0以上」の割合は21.5%と約5人に1人の割合となっています。

だれかと食事をする機会においては、日常的に機会（毎日ある、週に何度かある）がある割合は、60.6%と高い結果となっている一方で、機会が少ない（年に何度かある、ほとんどない）は17.3%と、約6人に1人は日常的に1人で食事をしている状況であります。

【5. 毎日の生活について】

毎日の生活において、物忘れが多いと感じている（認知機能該当）割合は、40.1%と他の評価項目に比べると高い割合で該当と判定されています。年齢があがるとともに認知機能の低下がみられ、65～69歳でも約3割が該当と判定されている状況であります。

毎日の生活状況から判定する手段的自立度（IADL）は、全体の88.1%が高いと判定され、生活機能総合評価（手段的自立度・知的能動性・社会的役割）では、66.1%が高いと判定されていることから、自立した日常生活を送っている方が多い状況がうかがえます。

日常生活の中で困ったことについては、特に困っていることはない方が54.0%で最も多いが、日常の力仕事（家具の移動等）、庭の手入れが上位に挙げられており、年齢があがるとともに力仕事などに対して困難を感じる方が多くなる傾向となっています。また、電化製品の扱い方も上位に挙げられており、家電の操作に困難を感じている方も比較的多い状況であります。

今後の生活で心配なことについては、自分の健康に関することが52.7%と、約2人に1人は自分の健康に対して心配している状況となっており、その他、経済的なこと、自分が認知症になること、家族の健康に関することが上位に挙げられています。

【6. 地域の活動について】

地域の活動への参加状況では、趣味関係のグループへの参加割合が最も高く、その他、スポーツ関係のグループやクラブ、町内会・自治会活動、収入のある仕事への参加割合も高い状況がみられます。今後、希望する社会参加では趣味関係のグループの割合が最も高く、自分の趣味を通じた地域活動へ参加したい意向が高くなっています。

地域との関係に対する意向は、何かしらの関わりをもちながら地域と関わっていきたいと考える割合は約9割を占めている一方で、少数ではあるものの地域との関わりをもたずに、自分なりに生活していきたいと回答している方もみられます。

手助け等が必要な高齢者に対してできるボランティア活動としては、声かけ（みまもり活動）、話し相手、ゴミ出しが上位に挙げられていることから、日常生活のなかで気軽にできることの割合が高くなる傾向がみられます。一方で、植木の剪定や外出時の付き添いについては、相互の関係性にも影響すると考えられることから割合は低いものの、それぞれ約1割はボランティア活動としてできると回答している状況であります。

介護の現場で働くことに対しては、6割の方は働きたくないという結果が出ていますが、約2割の方は資格を取得しないで気軽に働きたいという意向をもっていることから、高齢者の就労の場として、介護の現場もひとつの選択肢である状況がうかがえます。

【7. たすけあいについて】

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人では、配偶者、友人が上位に挙げられており、身近な人との交流が高い傾向にあります。また、病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人、看病や世話をしあげる人では、配偶者、別居の子どもが上位に挙げられており、家族が看病や世話をする傾向が高くなっています。

【8. 健康について】

現在の健康状態では、よい（とてもよい、まあよい）と感じている割合は82.6%、よくない（あまりよくない、よくない）と感じている割合は15.7%と、よいと感じている割合が大きく上回っています。

うつの傾向をみる評価では、全体の38.2%が該当と判定され、認知機能と同様に高い該当率となっています。

現在、治療中または後遺症のある病気では、高血圧、目の病気、糖尿病が上位に挙げられています。

自身が介護を必要とする状態になった場合、自宅で家族の介護を中心に受けながら生活したい（15.9%）、自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら生活したい（34.3%）という回答が多く、自宅で介護を受けたい割合が約5割の状況であります。

終末期をどこで過ごしたいかでは、自宅が約4割と最も多く、自宅でと考える方が多い傾向がみられます。また、特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設が9.6%、有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅の割合が4.6%となっていることから、住み慣れた自宅で終末期を過ごしたいと思っている方は多い状況であります。

【9. 介護予防・認知症施策について】

介護予防への取り組みでは、意識して取り組んでいる方が46.1%と、約5割の方が日頃から介護予防に取り組んでいる状況がみられます。また、興味があるが取り組み方がわからないという回答は約2割と、介護予防に取り組みたいと思っているが取り組めていない方もいる状況であります。

介護予防の取組内容としては、ウォーキングや体操、食事の回数や量、栄養バランスに気をつけているが上位に挙げられており、ともに取り組み始めた年齢は40～64歳が最も高い割合を占めています。

介護予防の活動へ参加するとした場合、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思うかでは、徒歩・自転車で10分以内が30.6%で最も高く、次いで徒歩・自転車で30分以内が25.1%と、30分以内で約6割を占めており、自宅に近い場所での活動を望んでいる方が多くなっています。

認知症に対する認識については、認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いと知っている割合が約8割と、多くの方が早期受診を認知している状況がうかがえます。

認知症サポーター養成講座の受講意向については、受けてみたいが約2割と、認知症サポーターを周知していくことで、認知症サポーター養成講座を受講する方も増えるのではないかと考えられます。

【10. 市の施策・事業、介護保険制度について】

地域包括支援センターの認識状況では、センターがあることを知らないが30.7%と、約3人に1人が知らない状況であります。

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知らないが約8割と、多くの方が本事業について認知していない状況であります。

介護保険料への負担感では、負担と感じている割合は約4割の状況であり、介護保険サービスと介護保険料の関係については、どちらともいえないと回答している方が約5割と、介護保険サービスと介護保険料の関係について、明確な考えを出すことが難しい状況がうかがえます。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが19.6%とやや低い割合で、見直しを必要とする意見の割合のほうが高く、介護度の高い方や寝たきりの方などに限定した方がよいと考えている割合が約6割を占めています。今後、何らかの見直しが必要

であると考えている方が多い傾向にあります。

低所得者助成金制度では、今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思うが 52.0%と、高い傾向にある一方で、見直しが必要であると思うが 26.1%で、見直しが必要であると思うと回答した方の見直しの観点としては、対象となるサービスを限定したほうがよいが約5割を占めています。

第Ⅳ部 要支援高齢者

第1章 要支援高齢者(本人) 調査結果

1. あて名のご本人について

「1. あて名のご本人について」は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

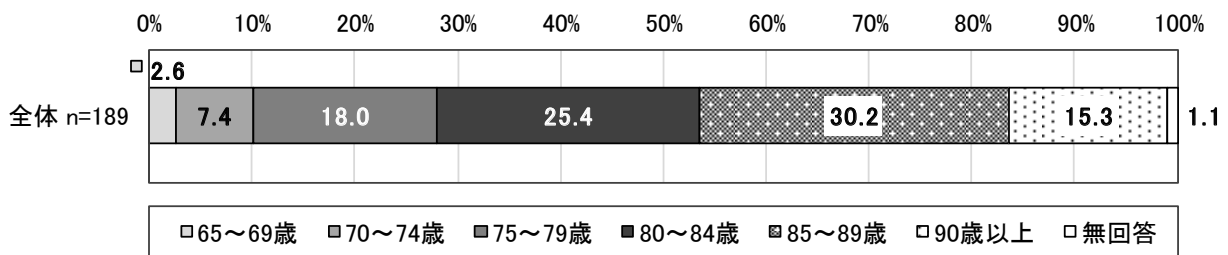
問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。(令和2年1月1日現在)

年齢については、「85～89歳」が30.2%で最も高く、次いで「80～84歳」が25.4%、「75～79歳」が18.0%となっています。

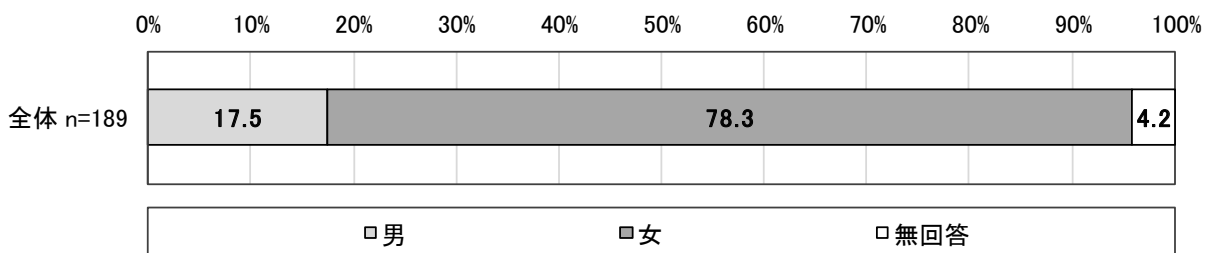
性別については、「男」が17.5%、「女」が78.3%となっています。

介護度については、「要支援1」が51.3%、「要支援2」が36.0%、「その他」が1.6%となっています。

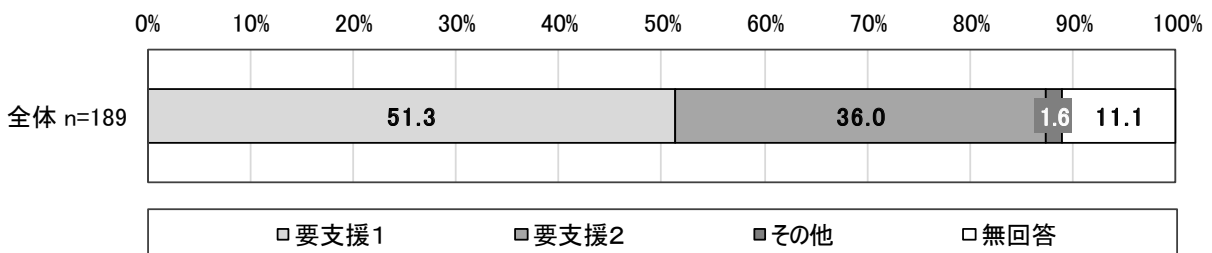
【年齢】



【性別】

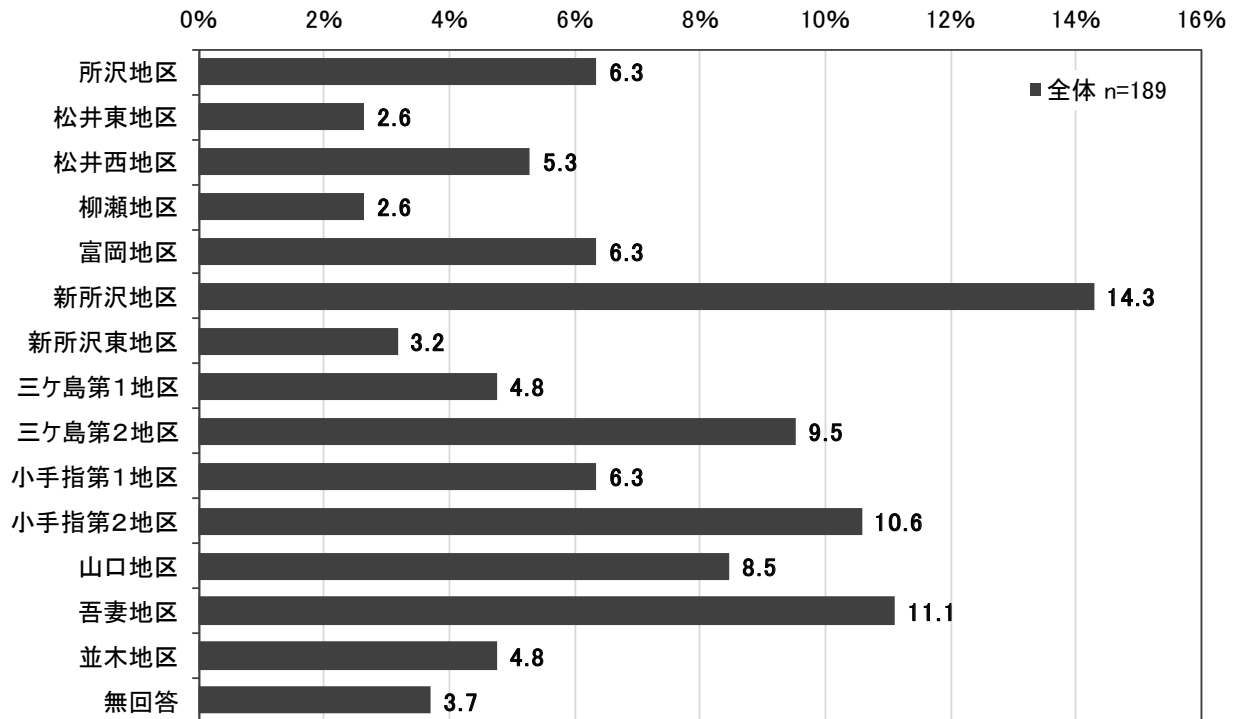


【介護度】

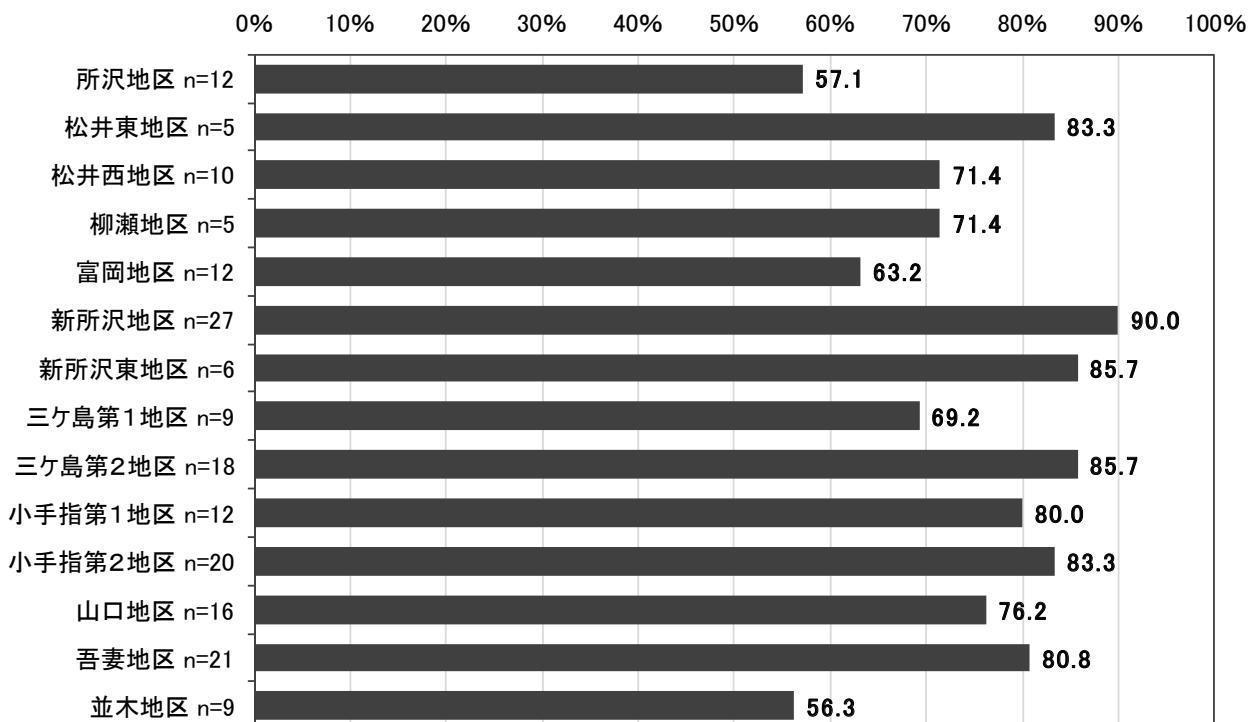


問2. お住まいの地区についてお答えください。

居住地区については、「新所沢地区」が14.3%で最も高く、次いで「吾妻地区」が11.1%、「小手指第2地区」が10.6%となっています。



居住地区別の発送数から回答率をみると、「新所沢地区」が90.0%で最も高く、次いで「新所沢東地区」「三ヶ島第2地区」がともに85.7%、「松井東地区」「小手指第2地区」がともに83.3%となっています。

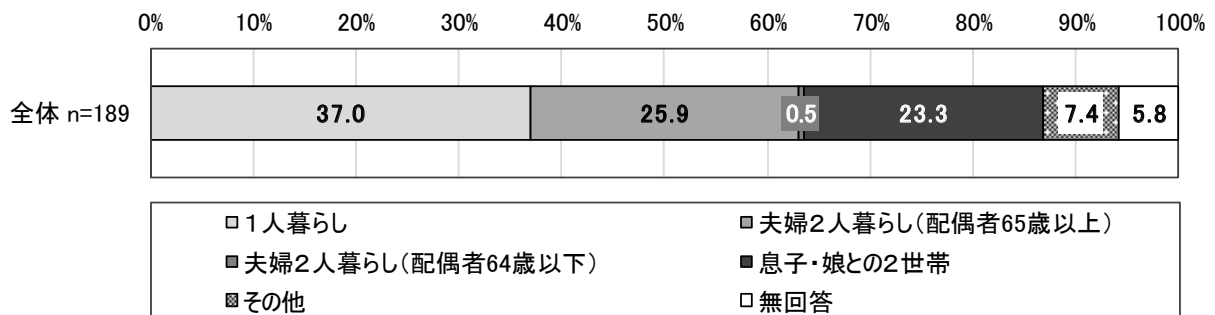


2. あなたのご家族や生活状況について

「2. あなたのご家族や生活状況について」は、家族構成や居住状況、普段の生活において介護・介助が必要な状況、暮らしの経済状況、紙おむつの利用状況を把握するための項目となっています。

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

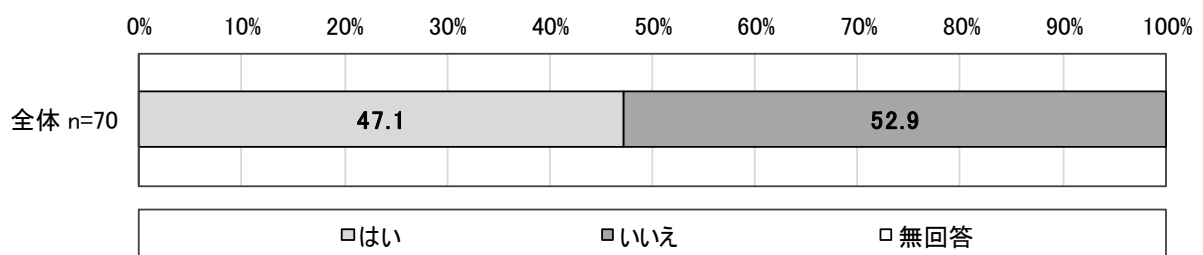
家族構成については、「1人暮らし」が37.0%で最も高く、次いで「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」25.9%、「息子・娘との2世帯」が23.3%となっています。



問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

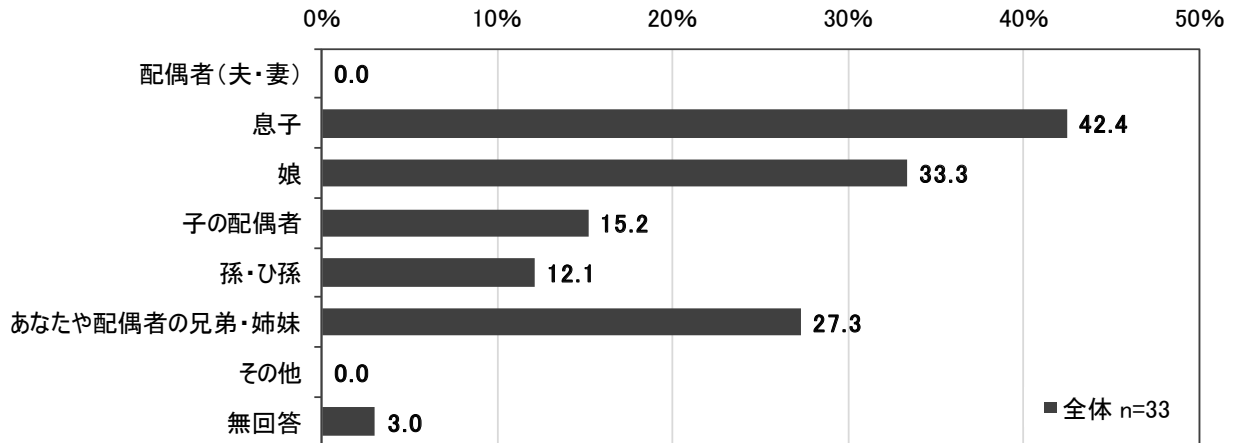
市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

市内又は住まいの近くに家族がいるかについては、「はい」が47.1%、「いいえ」が52.9%で、「いいえ」が5.8ポイント上回っています。



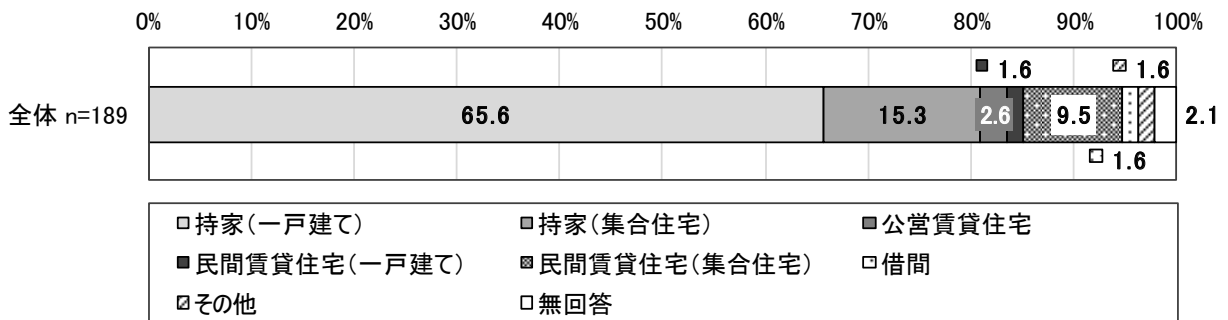
問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】
それはどなたですか。（あてはまるものすべてに回答）

市内又は住まいの近くにいる家族については、「息子」が42.4%で最も高く、次いで「娘」が33.3%、「あなたや配偶者の兄弟・姉妹」が27.3%となっています。



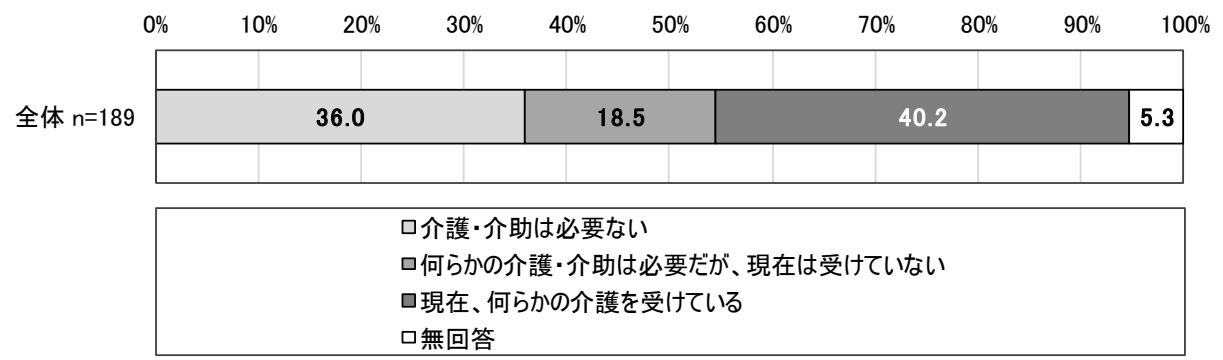
問4. お住まいは一人建て、または集合住宅のどちらですか。（回答は1つ） ★

住まいの種類については、「持家（一人建て）」が65.6%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が15.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が9.5%となっています。



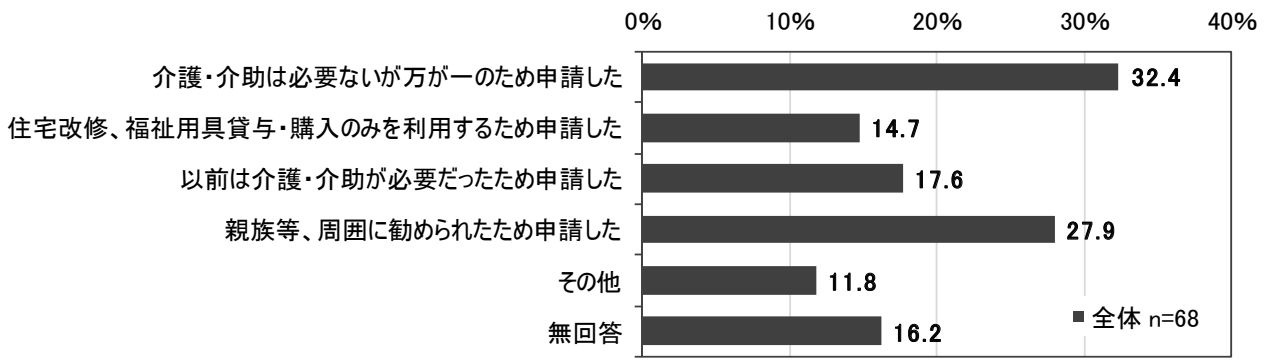
問5. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ) ★

普段の生活での介護・介助の必要性については、「現在、何らかの介護を受けている」が40.2%で最も高く、次いで「介護・介助は必要ない」が36.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が18.5%となっています。



**問5-1. 【問5で「介護・介助は必要ない」と回答した方におたずねします。】
要介護認定の申請をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)**

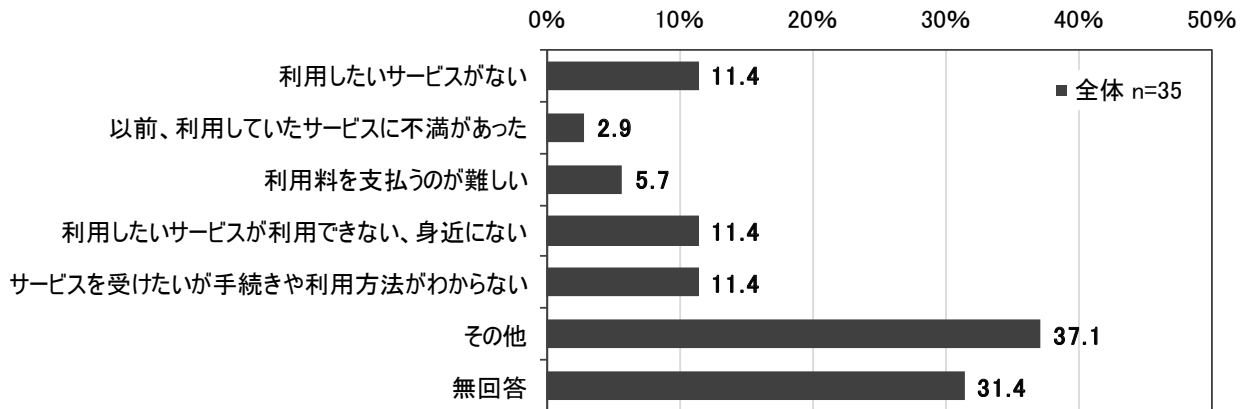
要介護認定の申請をした理由については、「介護・介助は必要ないが万が一のため申請した」が32.4%で最も高く、次いで「親族等、周囲に勧められたため申請した」が27.9%、「以前は介護・介助が必要だったため申請した」が17.6%となっています。



問5-2.【問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した方におたずねします。】

介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答） ★

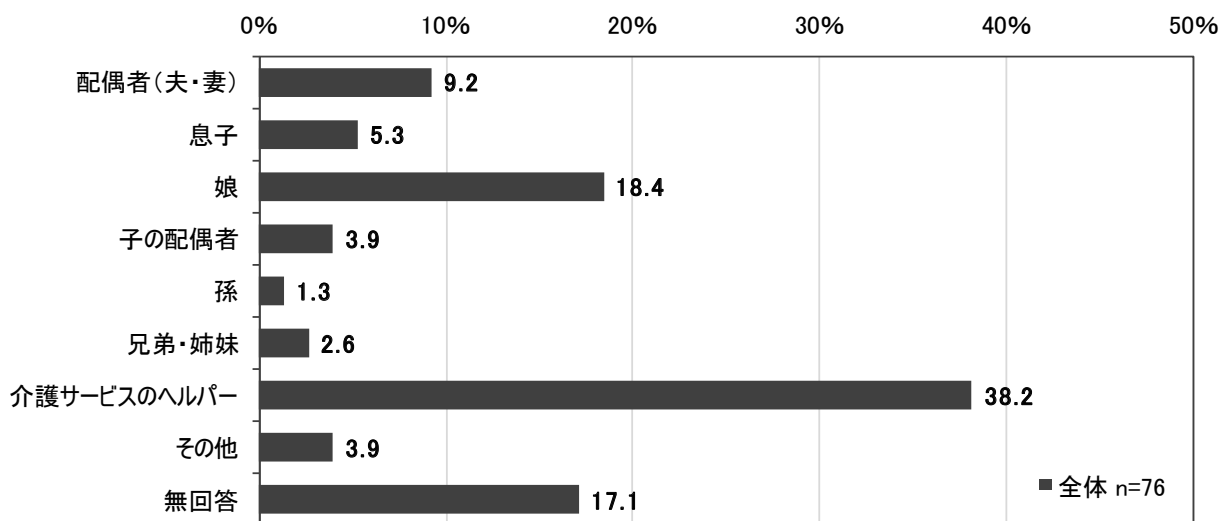
介護保険サービスを利用していない理由については、「その他」が 37.1%で最も高く、次いで「利用したいサービスがない」「利用したいサービスが利用できない、身近にない」「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」がともに 11.4%となっています。



問5-3.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

主にどなたの介護を受けていますか。（回答は1つ） ★

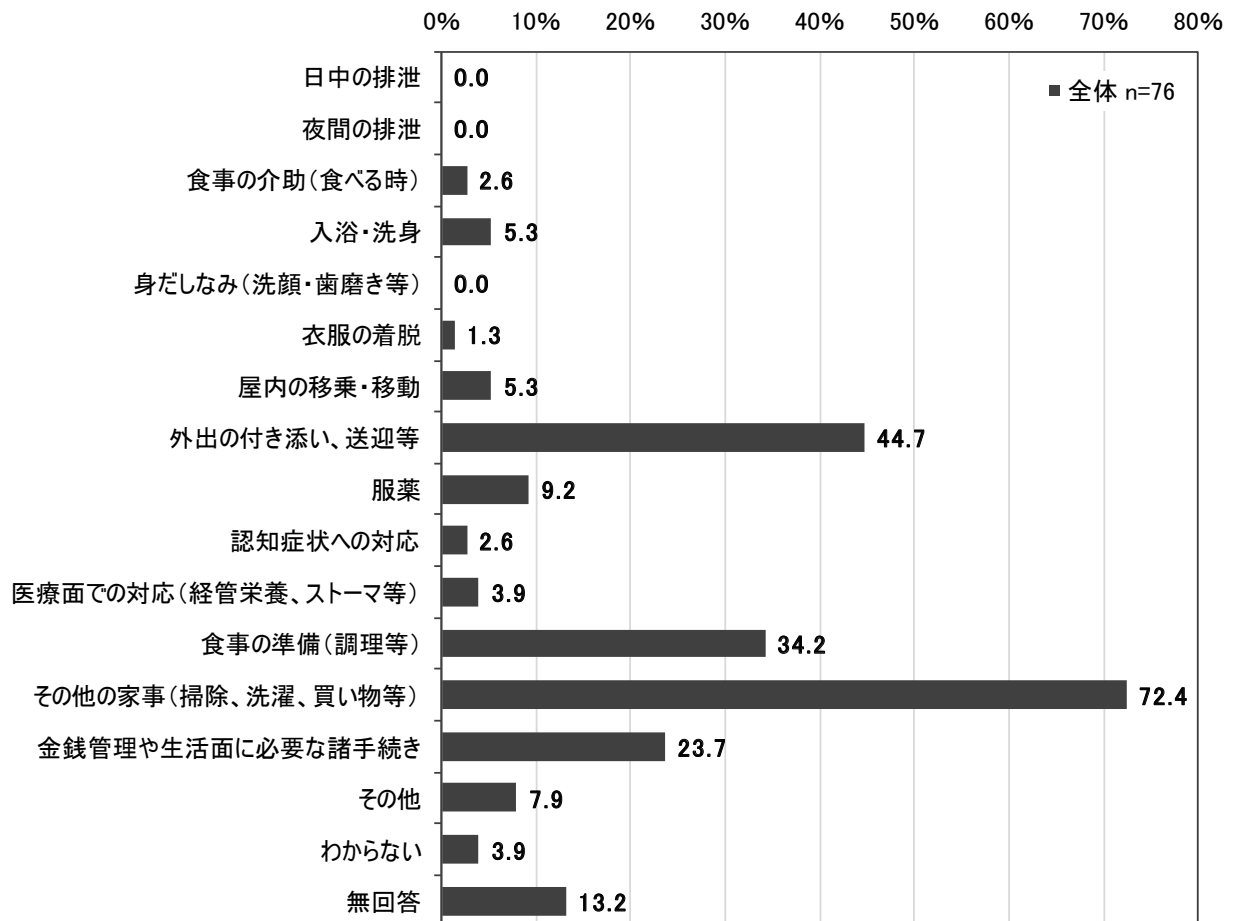
主にどなたの介護を受けているかについては、「介護サービスのヘルパー」が 38.2%で最も高く、次いで「娘」が 18.4%、「配偶者（夫・妻）」が 9.2%となっています。



問5-4.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください。(あてはまるものすべてに回答) ★

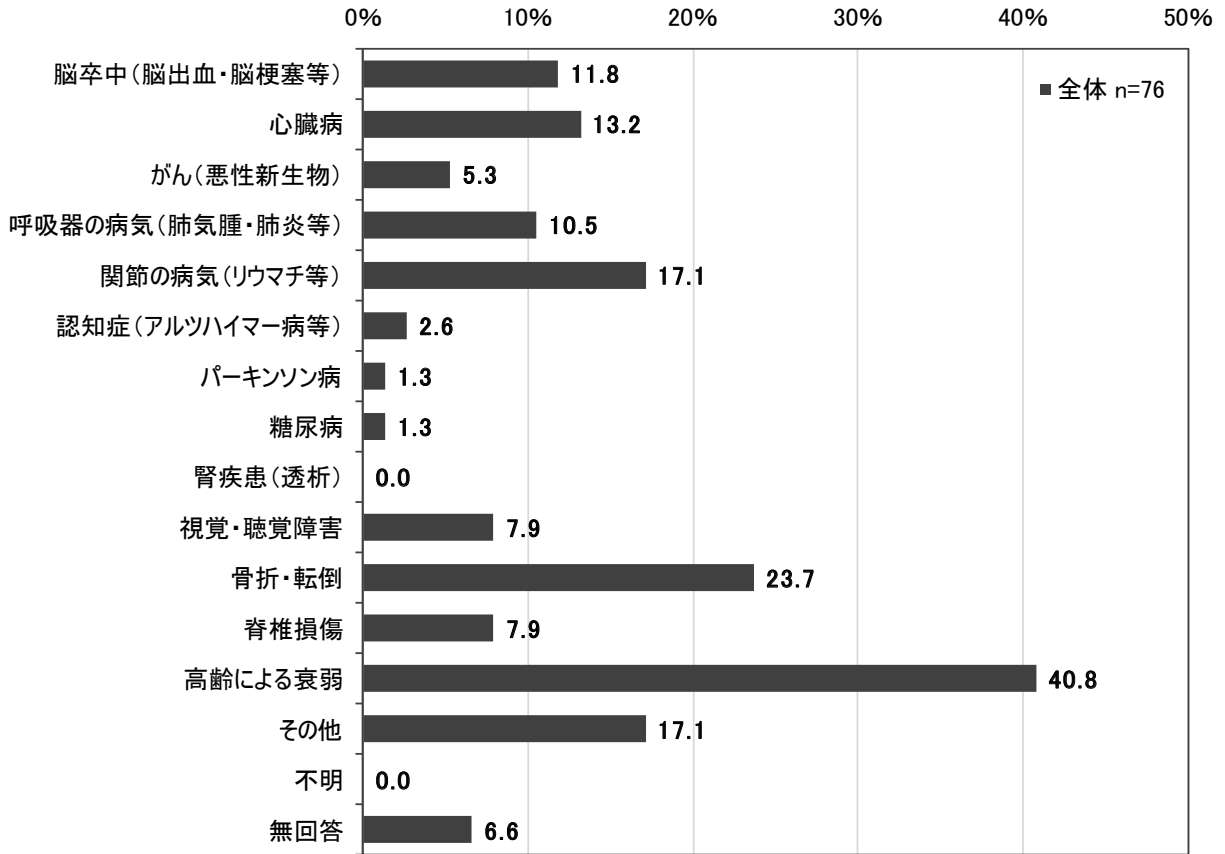
主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が72.4%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が44.7%、「食事の準備（調理等）」が34.2%となっています。



問5-5.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

介護・介助が必要になった主な原因については、「高齢による衰弱」が 40.8%で最も高く、次いで「骨折・転倒」が 23.7%、「関節の病気（リウマチ等）」「その他」がともに 17.1%となっています。

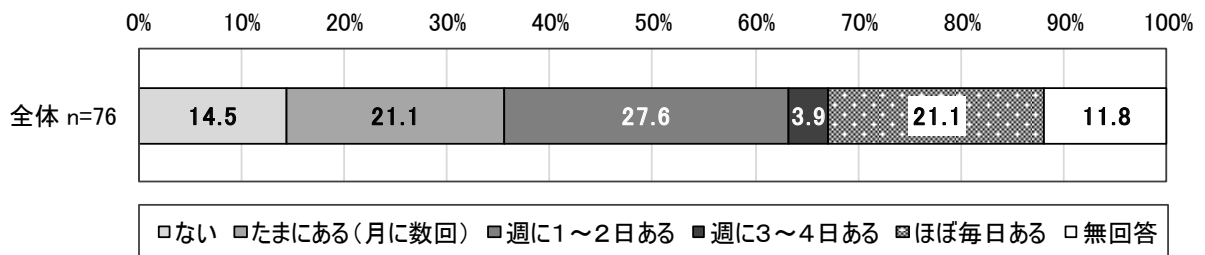


問5-6.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

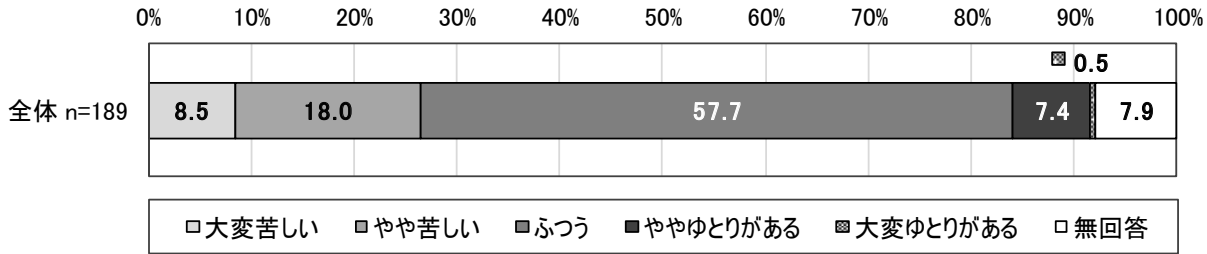
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(回答は1つ) ★

家族や親族の方からの介護の頻度については、「週に1～2日ある」が 27.6%で最も高く、次いで「たまにある(月に数回)」「ほぼ毎日ある」がともに 21.1%、「ない」が 14.5%となっています。



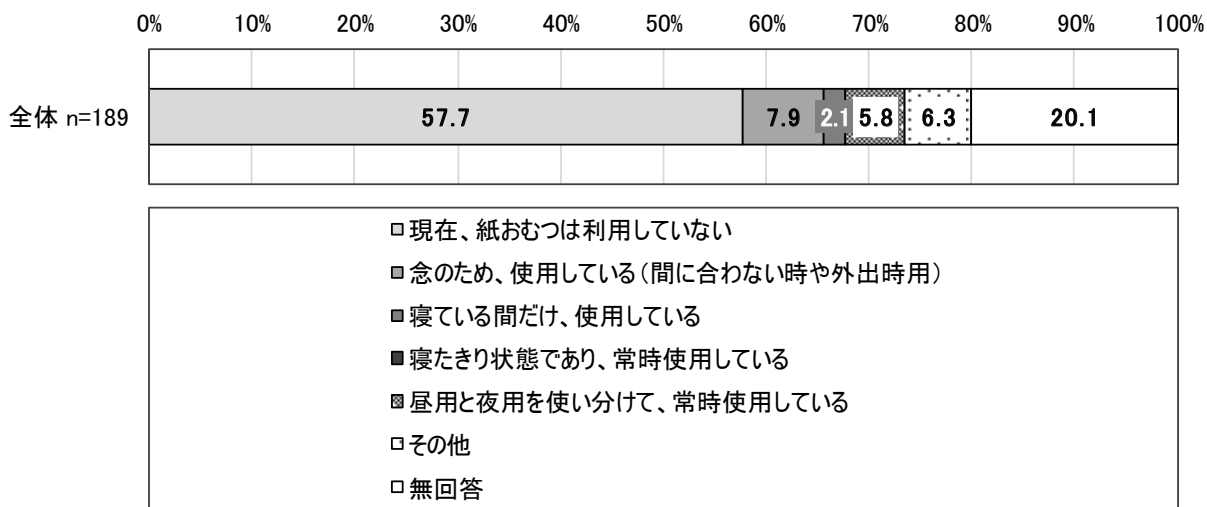
問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が 57.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が 18.0%、「大変苦しい」が 8.5%、「ややゆとりがある」が 7.4%となっています。



問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

大人用紙おむつの利用状況については、「現在、紙おむつは利用していない」が 57.7%で最も高く、次いで「念のため、使用している（間に合わない時や外出時用）」が 7.9%、「その他」が 6.3%となっています。

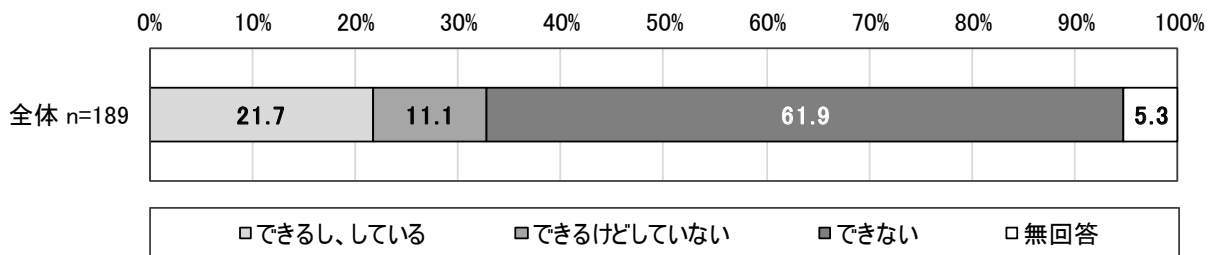


3. からだを動かすことについて

「3. からだを動かすことについて」は、日常生活動作の状況から運動機能の評価を行うための設問が設けられています。また、外出状況、外出時の移動手段を把握するための項目となっています。

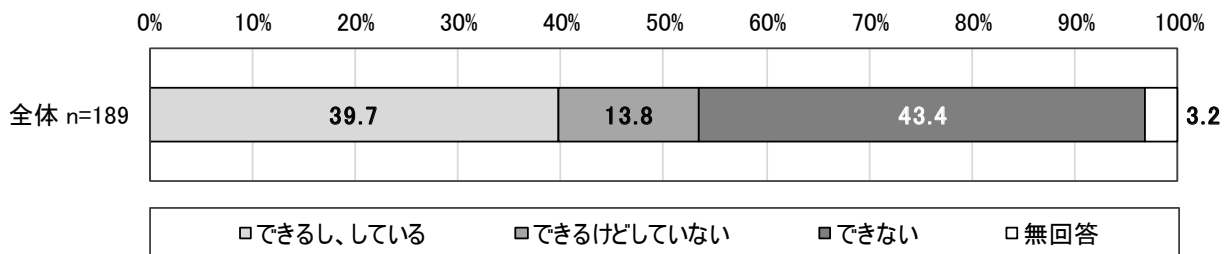
問8. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ) ★

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できない」が 61.9%で最も高く、次いで「できるし、している」が 21.7%、「できるけどしていない」が 11.1%となっています。



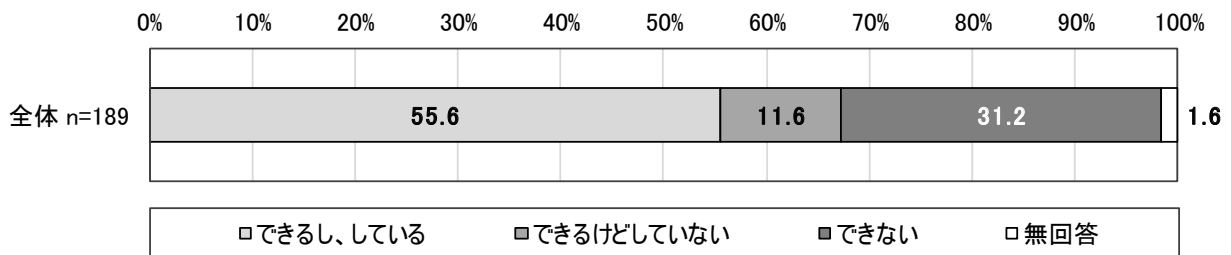
問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ) ★

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できない」が 43.4%で最も高く、次いで「できるし、している」が 39.7%、「できるけどしていない」が 13.8%となっています。



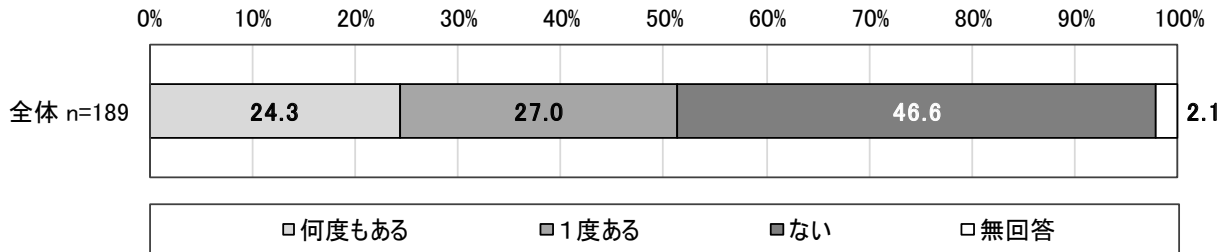
問10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ) ★

15分位続けて歩いているかについては、「できるし、している」が 55.6%で最も高く、次いで「できない」が 31.2%、「できるけどしていない」が 11.6%となっています。



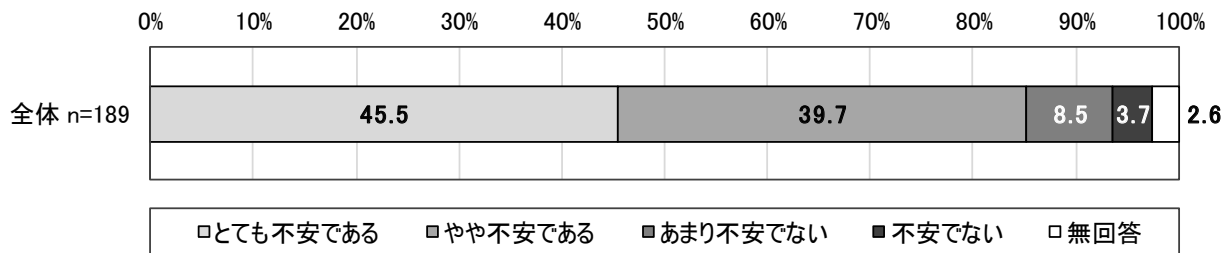
問 11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ) ★

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が46.6%で最も高く、次いで「1度ある」が27.0%、「何度もある」が24.3%となっています。



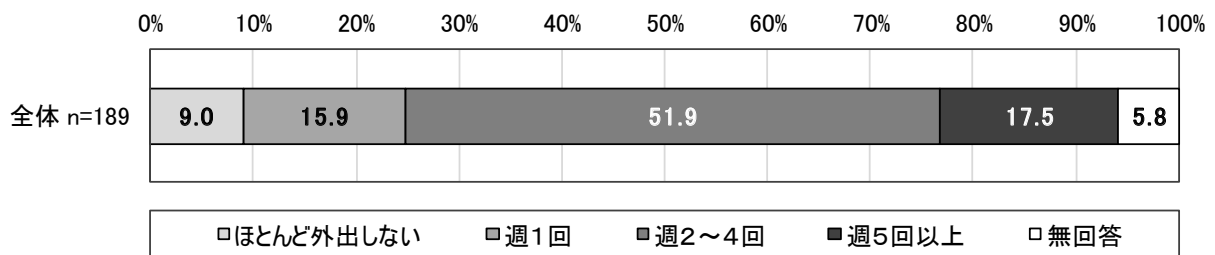
問 12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ) ★

転倒に対する不安は大きいかについては、「とても不安である」が45.5%で最も高く、次いで「やや不安である」が39.7%、「あまり不安でない」が8.5%、「不安でない」が3.7%となっています。



問 13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★

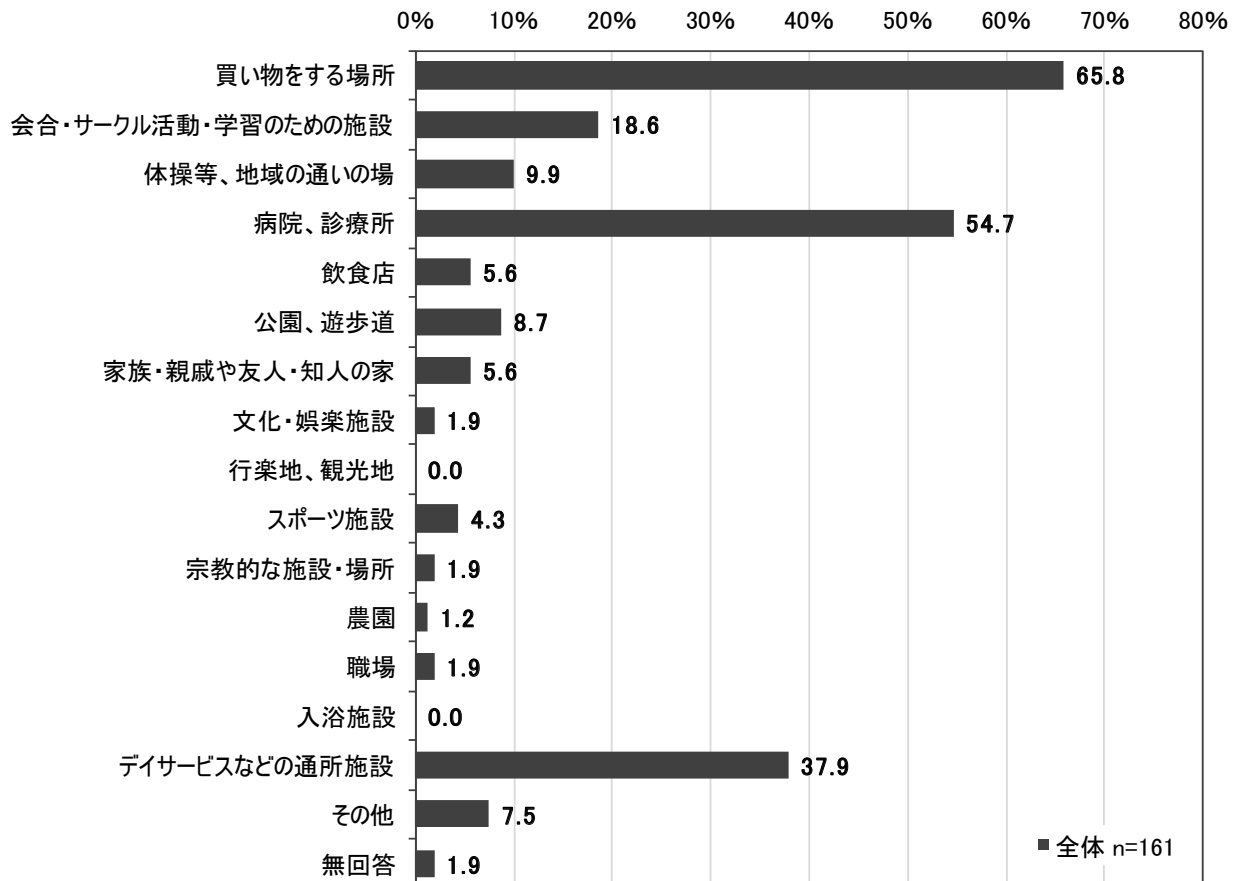
週に1回以上は外出しているかについては、「週2～4回」が51.9%で最も高く、次いで「週5回以上」が17.5%、「週1回」が15.9%、「ほとんど外出しない」が9.0%となっています。



問 13-1. 【問 13 で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】

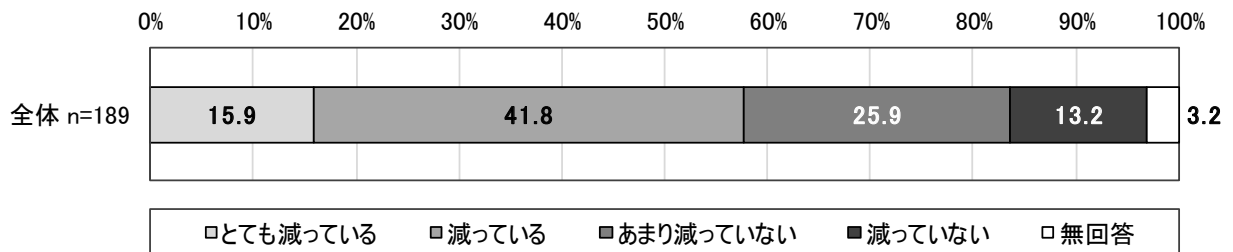
外出をする際の主な行先は次のどちらですか。（回答は3つまで）

外出する際の主な行き先については、「買い物をする場所」が 65.8%で最も高く、次いで「病院、診療所」が 54.7%、「デイサービスなどの通所施設」が 37.9%となっています。



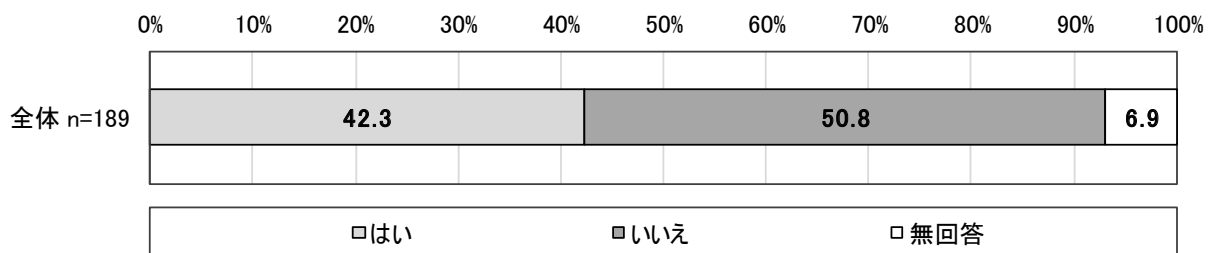
問 14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っている」が41.8%で最も高く、次いで「あまり減っていない」が25.9%、「とても減っている」が15.9%、「減っていない」が13.2%となっています。



問 15. 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★

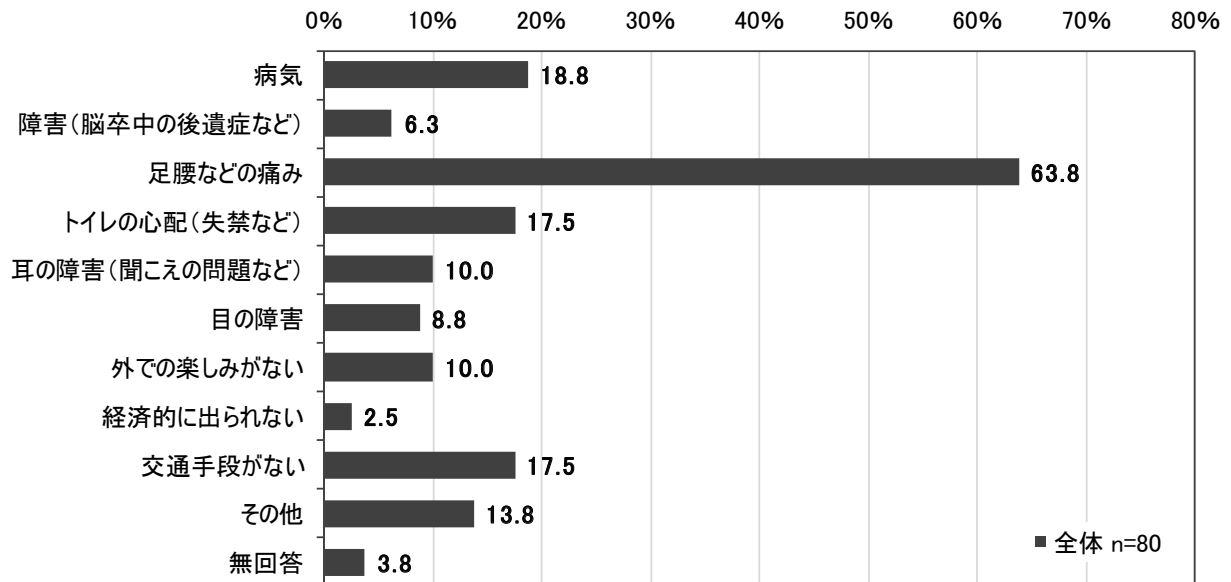
外出を控えているかについては、「はい」が42.3%、「いいえ」が50.8%で、「いいえ」が8.5ポイント上回っています。



問 15-1. 【問 15 で「はい」と回答した方におたずねします。】

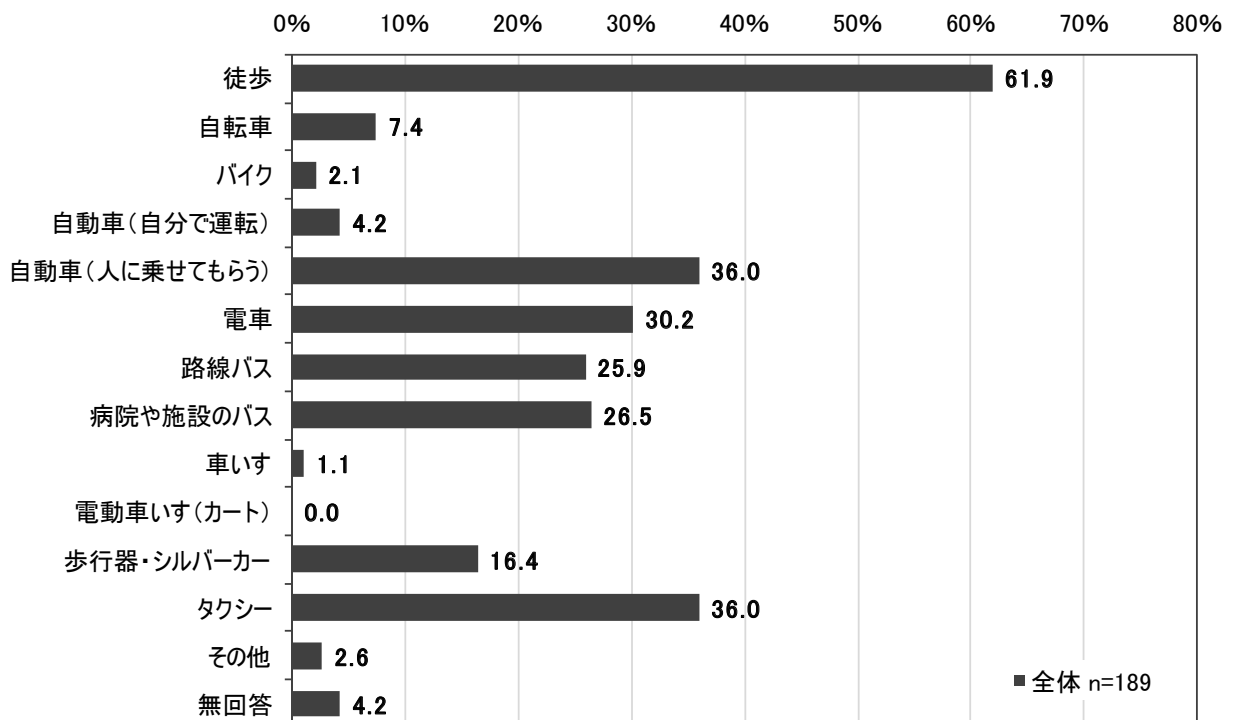
外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が63.8%で最も高く、次いで「病気」が18.8%、「トイレの心配(失禁など)」「交通手段がない」がともに17.5%となっています。



問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「徒歩」が61.9%で最も高く、次いで「自動車(人に乗せてもらう)」「タクシー」がともに36.0%、「電車」が30.2%となっています。

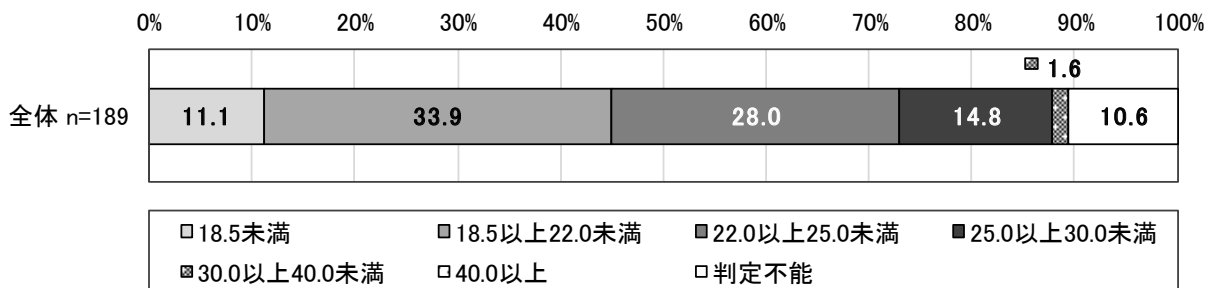


4. 食べることについて

「4. 食べることについて」は、身長・体重からBMIを算出し、肥満度の構成を把握するとともに、口腔機能の状況、歯の数と入れ歯の利用状況、だれかと食事をする機会を把握するための項目となっています。

問 17. 身長・体重を記入してください。 ★

身長・体重から算出されるBMIについてみると、「18.5以上22.0未満」が33.9%で最も高く、次いで「22.0以上25.0未満」が28.0%、「25.0以上30.0未満」が14.8%となっています。



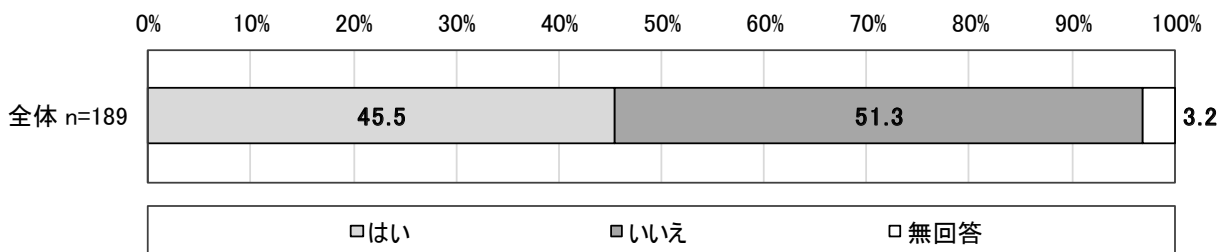
※BMIとは、体重と身長の関係から肥満度を示す体格指数であり、下記の計算式で算出します。

【計算式】 $BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

- ◆「18.5未満」……………『低体重』
- ◆「18.5以上25.0未満」……………『普通体重』
- ◆「25.0以上」……………『肥満』

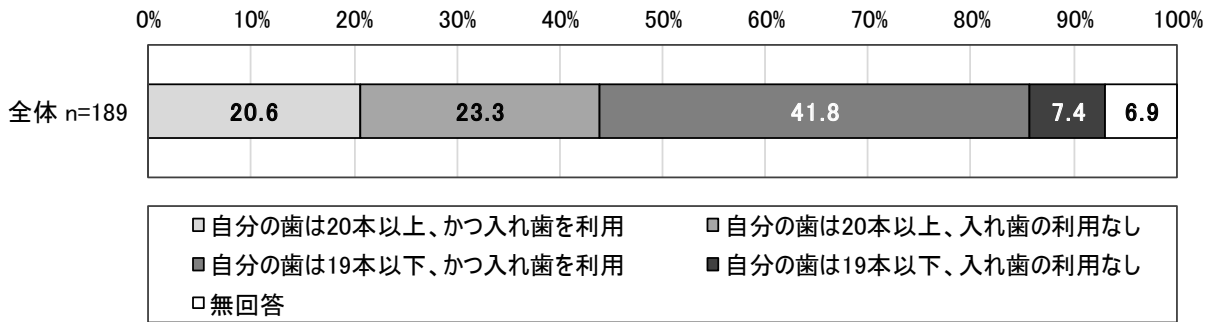
問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ) ★

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が45.5%、「いいえ」が51.3%で、「いいえ」が5.8ポイント上回っています。



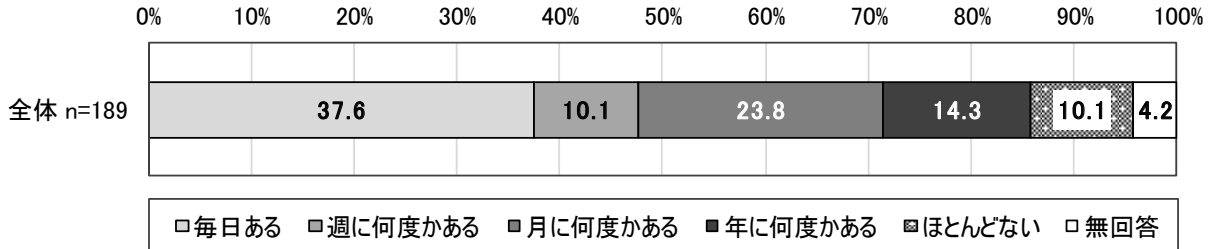
問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(回答は1つ) ★

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.8%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が23.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が20.6%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が7.4%となっています。



問 20. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ) ★

どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が37.6%で最も高く、次いで「月に何度かある」が23.8%、「年に何度かある」が14.3%、「週に何度かある」が10.1%、「ほとんどない」が10.1%、「無回答」が4.2%となっています。

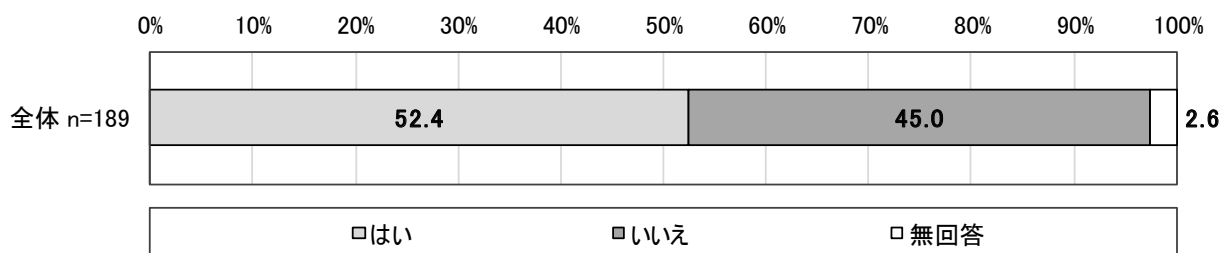


5. 毎日の生活について

「5. 毎日の生活について」は、物忘れの状況から認知機能を評価する設問が設けられているとともに、日常生活動作の設問から、手段的自立度（IADL）・知的能動性・社会的役割の評価により、生活機能を総合的に評価する設問が設けられています。また、日常生活において困ったことや今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

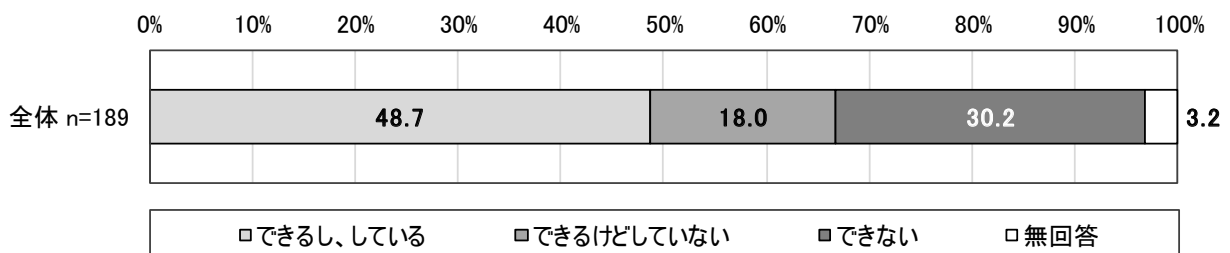
問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ) ★

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が52.4%、「いいえ」が45.0%で、「はい」が7.4ポイント上回っています。



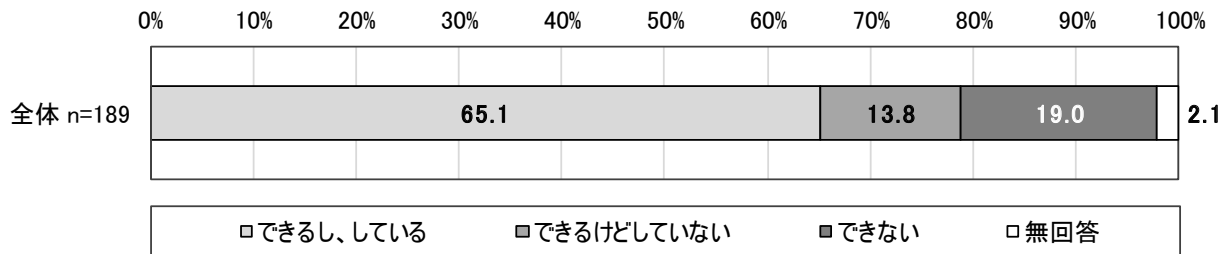
問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ) ★

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できるし、している」が48.7%で最も高く、次いで「できない」が30.2%、「できるけどしていない」が18.0%となっています。



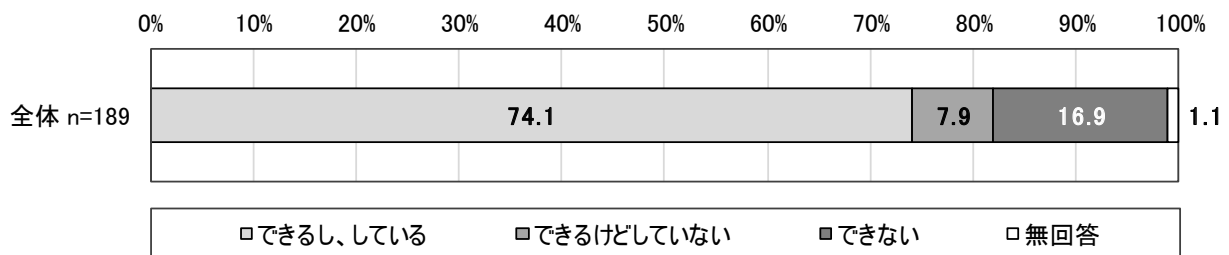
問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できるし、している」が 65.1%で最も高く、次いで「できない」が 19.0%、「できるけどしていない」が 13.8%となっています。



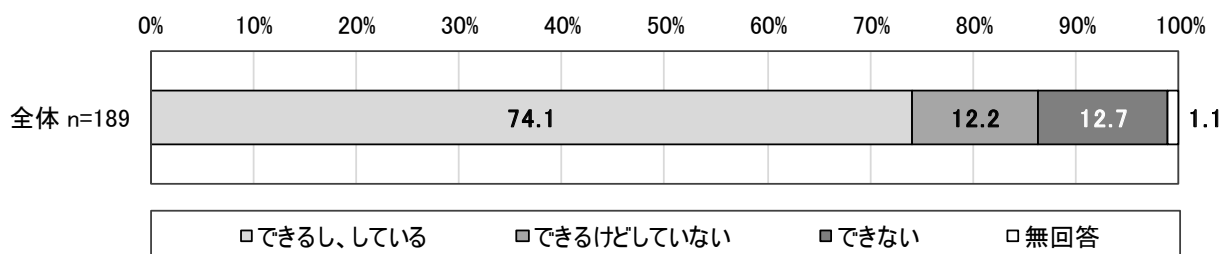
問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食事の用意をしているかについては、「できるし、している」が 74.1%で最も高く、次いで「できない」が 16.9%、「できるけどしていない」が 7.9%となっています。



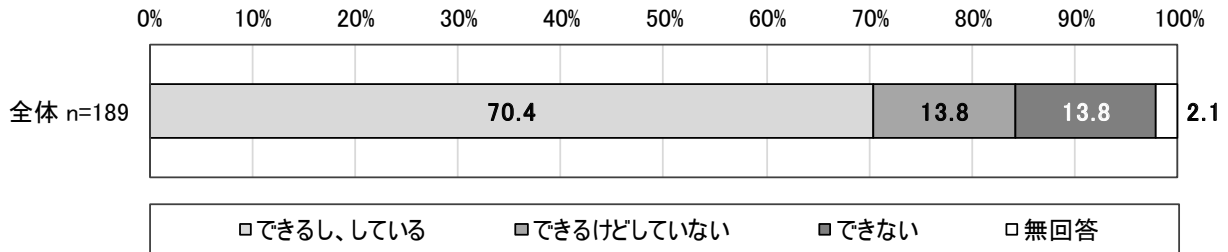
問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できるし、している」が 74.1%で最も高く、次いで「できない」が 12.7%、「できるけどしていない」が 12.2%となっています。



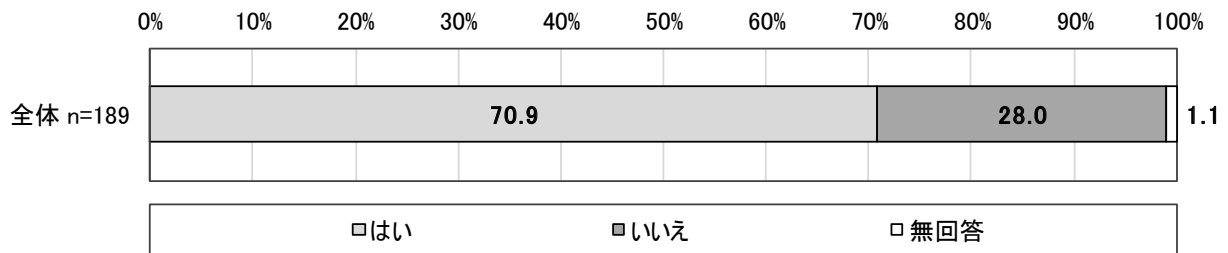
問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できるし、している」が 70.4%で最も高く、次いで「できるけどしていない」「できない」がともに 13.8%となっています。



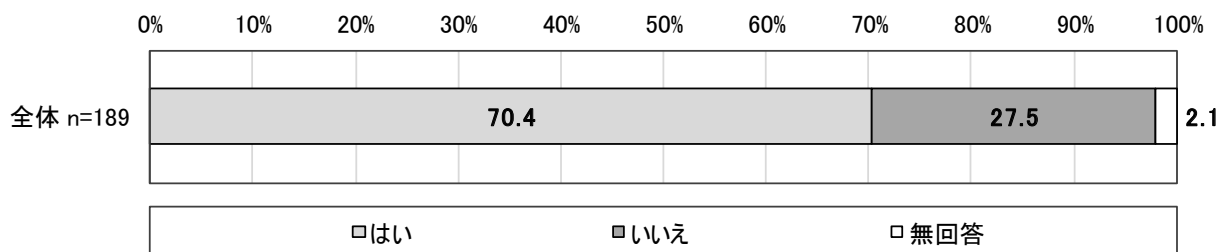
問 27. 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。(回答は1つ) ★

年金などの書類が書けるかについては、「はい」が 70.9%、「いいえ」が 28.0%で、「はい」が 42.9ポイント上回っています。



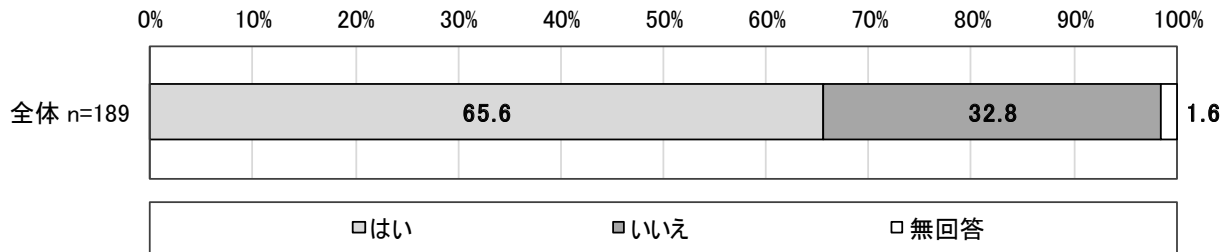
問 28. 新聞を読んでいますか。(回答は1つ) ★

新聞を読んでいるかについては、「はい」が 70.4%、「いいえ」が 27.5%で、「はい」が 42.9ポイント上回っています。



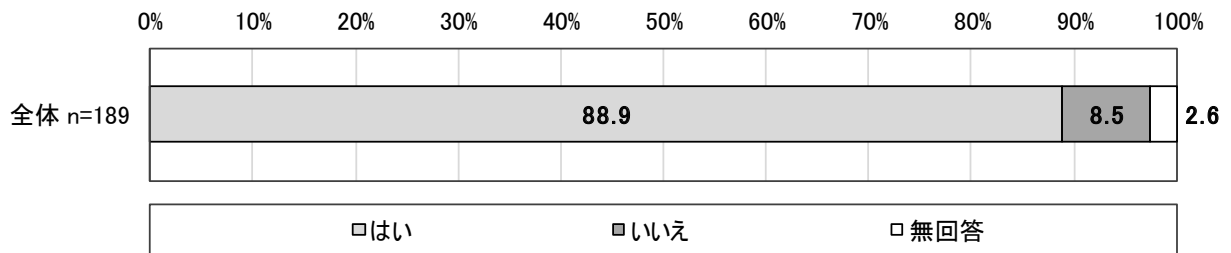
問 29. 本や雑誌を読んでいますか。(回答は1つ) ★

本や雑誌を読んでいるかについては、「はい」が 65.6%、「いいえ」が 32.8%で、「はい」が 32.8 ポイント上回っています。



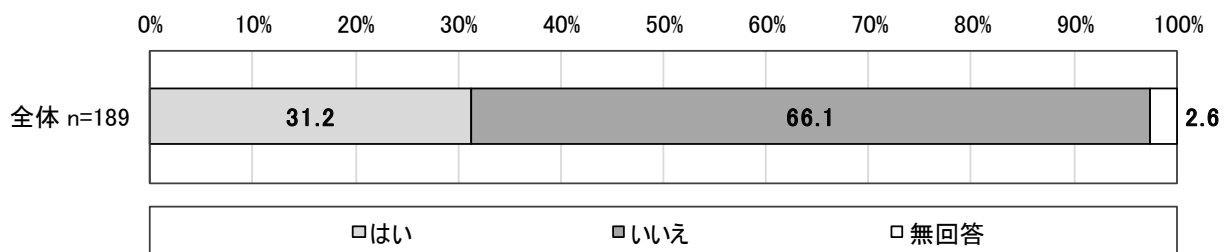
問 30. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(回答は1つ) ★

健康についての記事や番組に関心があるかについては、「はい」が 88.9%、「いいえ」が 8.5%で、「はい」が 80.4 ポイント上回っています。



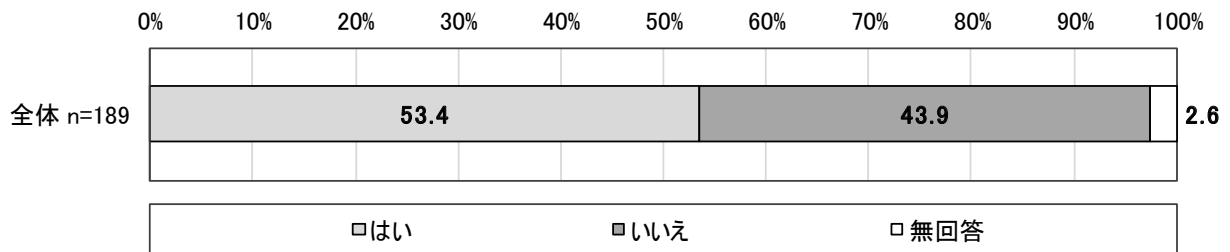
問 31. 友人の家を訪ねていますか。(回答は1つ) ★

友人の家を訪ねているかについては、「はい」が 31.2%、「いいえ」が 66.1%で、「いいえ」が 34.9 ポイント上回っています。



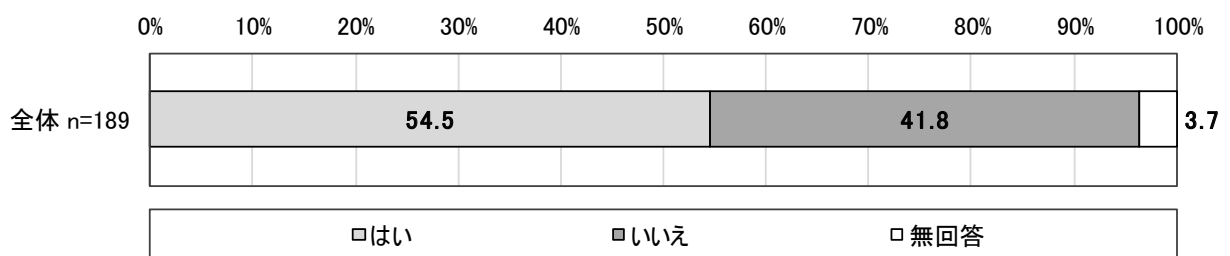
問 32. 家族や友人の相談にのっていますか。(回答は1つ) ★

家族や友人の相談にのっているかについては、「はい」が 53.4%、「いいえ」が 43.9%で、「はい」が 9.5 ポイント上回っています。



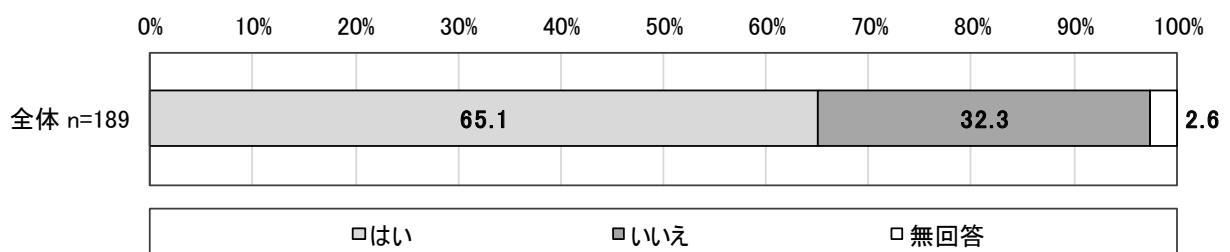
問 33. 病人を見舞うことができますか。(回答は1つ) ★

病人を見舞うことができるかについては、「はい」が 54.5%、「いいえ」が 41.8%で、「はい」が 12.7 ポイント上回っています。



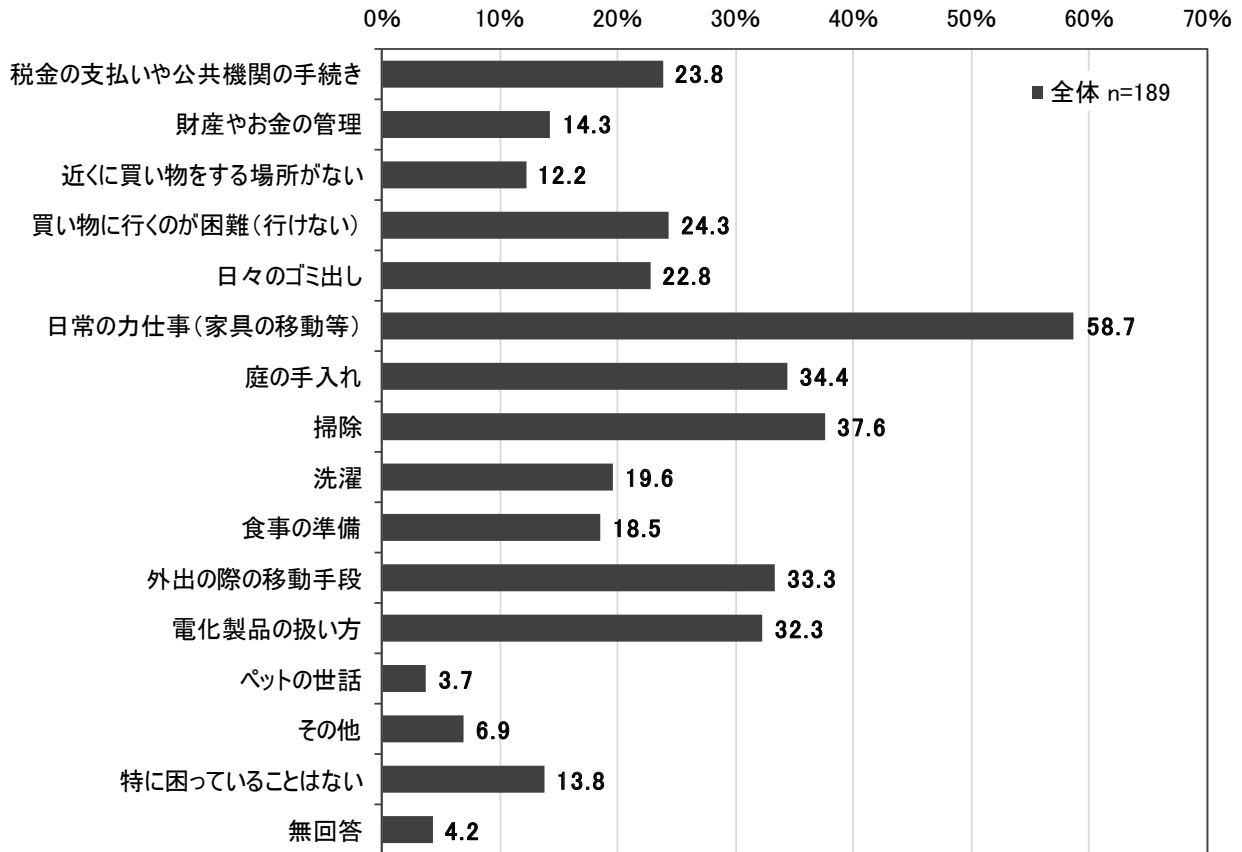
問 34. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(回答は1つ) ★

若い人に自分から話しかけることがあるかについては、「はい」が 65.1%、「いいえ」が 32.3%で、「はい」が 32.8 ポイント上回っています。



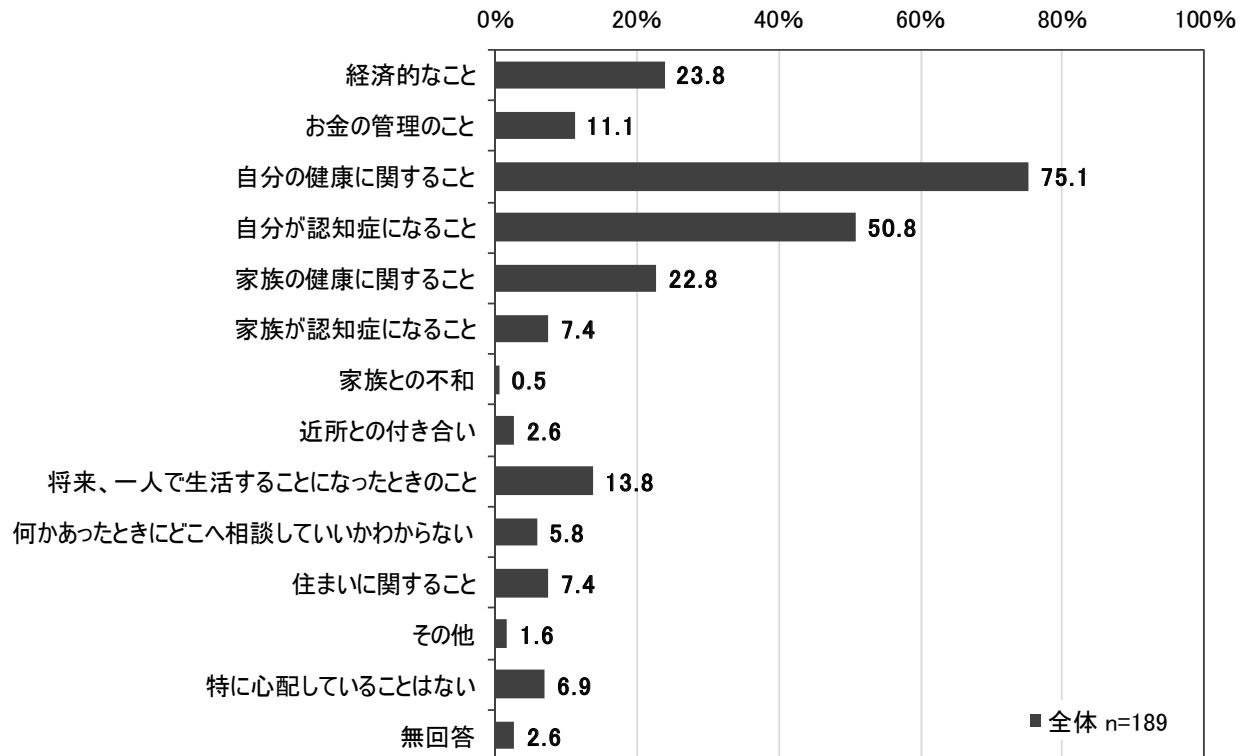
問 35. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

日常生活の中で困ったことがあるかについては、「日常の力仕事(家具の移動等)」が58.7%で最も高く、次いで「掃除」が37.6%、「庭の手入れ」が34.4%となっています。



問 36. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が75.1%で最も高く、次いで「自分が認知症になること」が50.8%、「経済的なこと」が23.8%となっています。



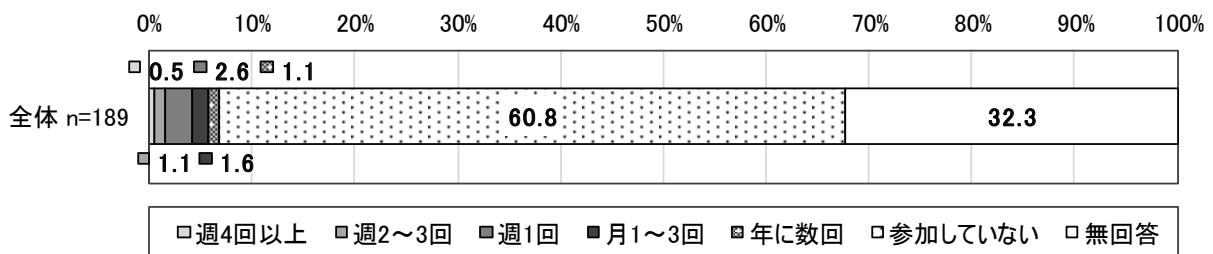
6. 地域の活動について

「6. 地域の活動について」は、地域の活動への参加状況、今後希望する地域の活動、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域の活動へ企画・運営として参加する意向、地域との関係に対する考え方、手助けが必要な高齢者に対してできることを把握するための項目となっています。

問 37. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ★

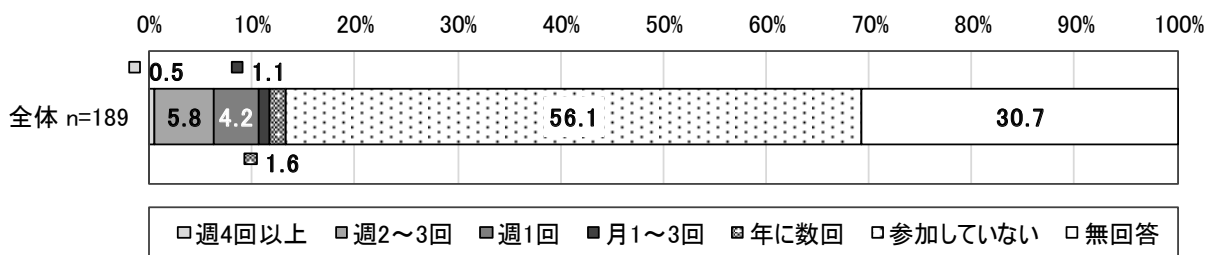
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、「参加していない」が 60.8%で最も高く、次いで「週1回」が 2.6%、「月1～3回」が 1.6%となっています。



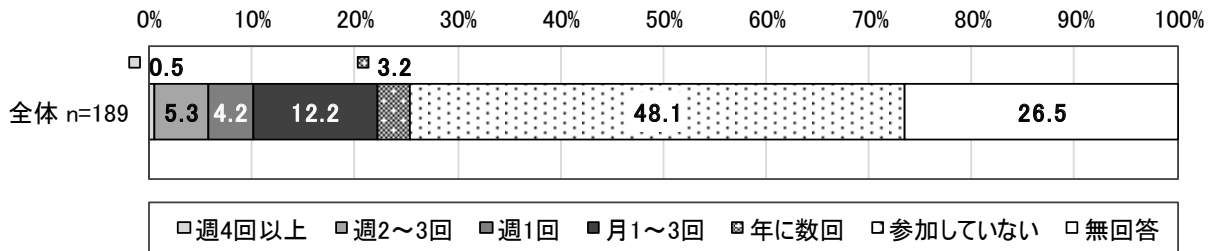
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、「参加していない」が 56.1%で最も高く、次いで「週2～3回」が 5.8%、「週1回」が 4.2%となっています。



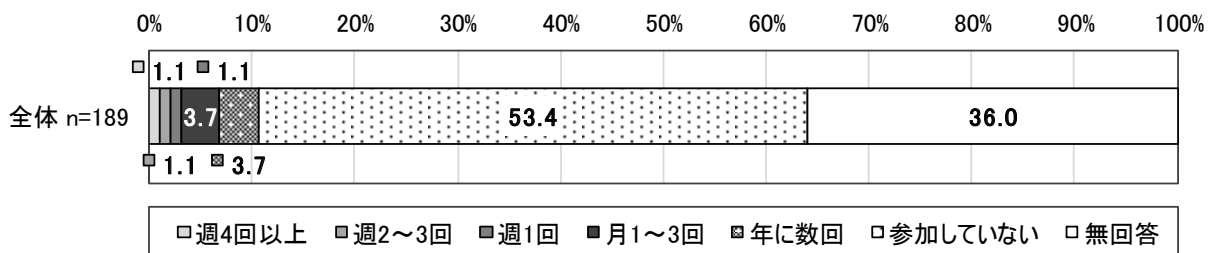
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、「参加していない」が48.1%で最も高く、次いで「月1～3回」が12.2%、「週2～3回」が5.3%となっています。



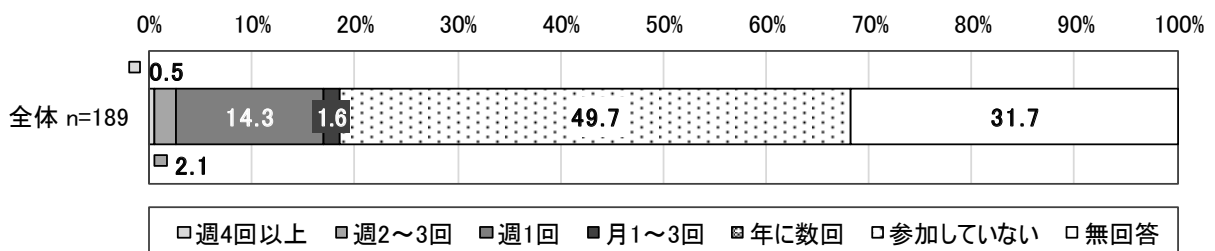
④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、「参加していない」が53.4%で最も高く、次いで「月1～3回」「年に数回」がともに3.7%となっています。



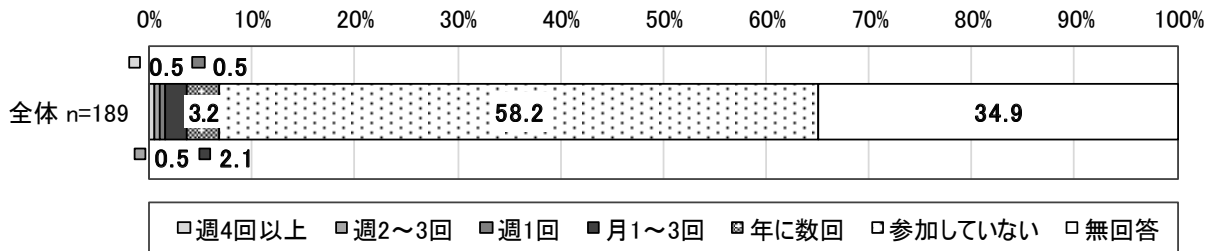
⑤介護予防のための通いの場（ところん元気百歳体操、お達者倶楽部など）

介護予防のための通いの場への参加状況については、「参加していない」が49.7%で最も高く、次いで「週1回」が14.3%、「週2～3回」が2.1%となっています。



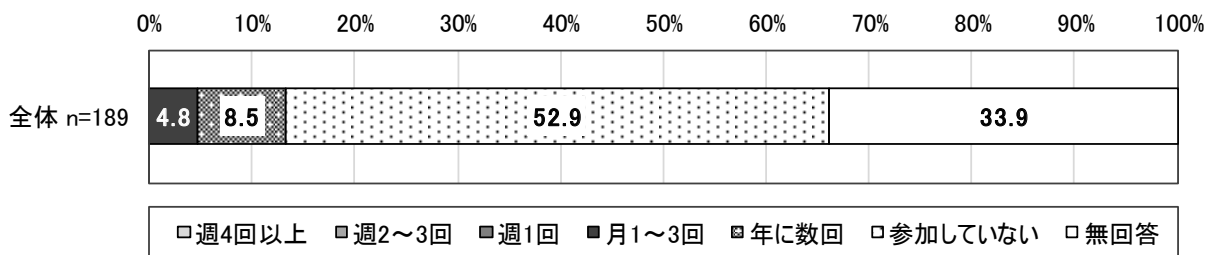
⑥長生クラブ

長生クラブへの参加状況については、「参加していない」が58.2%で最も高く、次いで「年に数回」が3.2%、「月1～3回」が2.1%となっています。



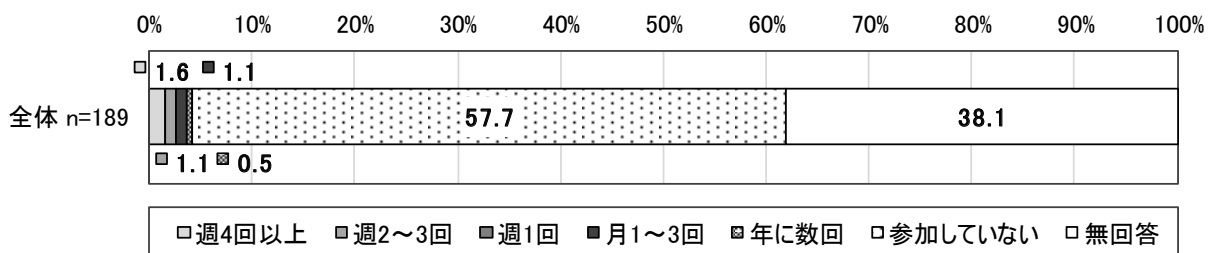
⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、「参加していない」が52.9%で最も高く、次いで「年に数回」が8.5%、「月1～3回」が4.8%となっています。



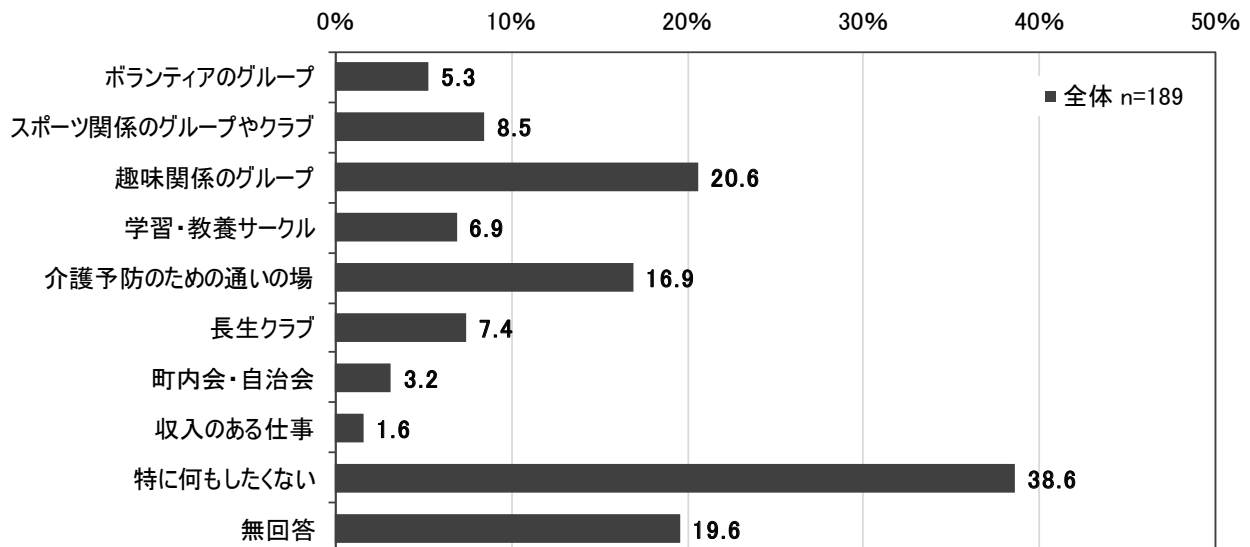
⑧収入のある仕事

収入のある仕事への参加状況については、「参加していない」が57.7%で最も高く、次いで「週4回以上」が1.6%、「週2～3回」「月1～3回」がともに1.1%となっています。



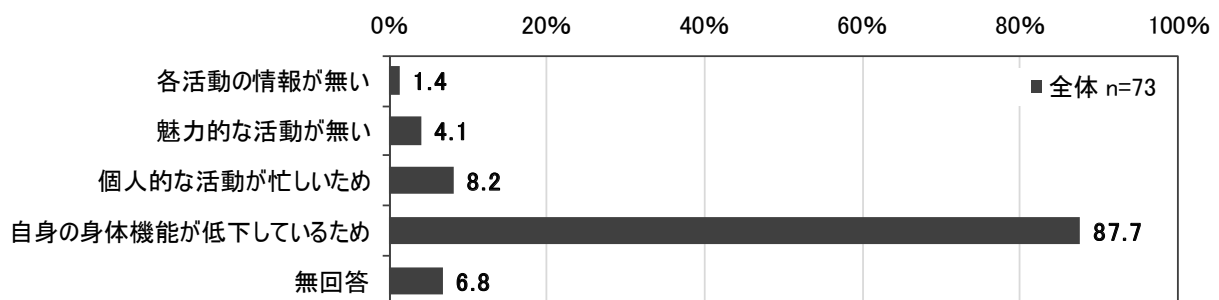
**問 38. あなたが、今後、希望する社会参加（すでに参加しているものを除く）をお答えください。
（あてはまるものすべてに回答）**

今後、希望する社会参加については、「特に何もしたくない」が 38.6%で最も高く、次いで「趣味関係のグループ」が 20.6%、「介護予防のための通いの場」が 16.9%となっています。



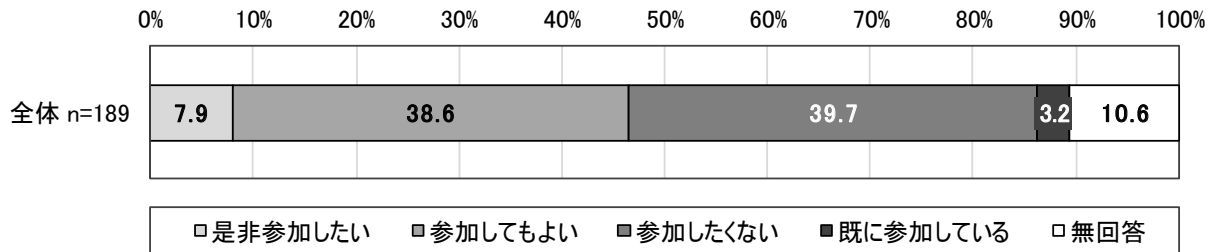
**問 38-1. 【問 38 で「特に何もしたくない」と回答した方におたずねします。】
その理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）**

特に何もしたくない理由については、「自身の身体機能が低下しているため」が 87.7%で最も高く、次いで「個人的な活動が忙しいため」が 8.2%、「魅力的な活動が無い」が 4.1%となっています。



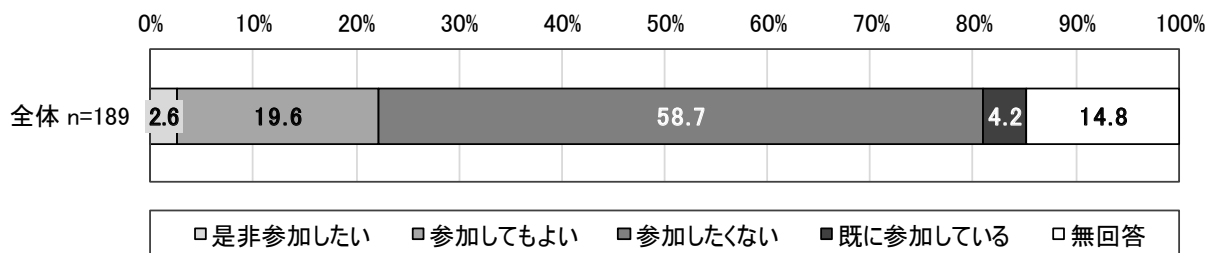
問 39. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。
 (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が39.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が38.6%、「是非参加したい」が7.9%となっています。



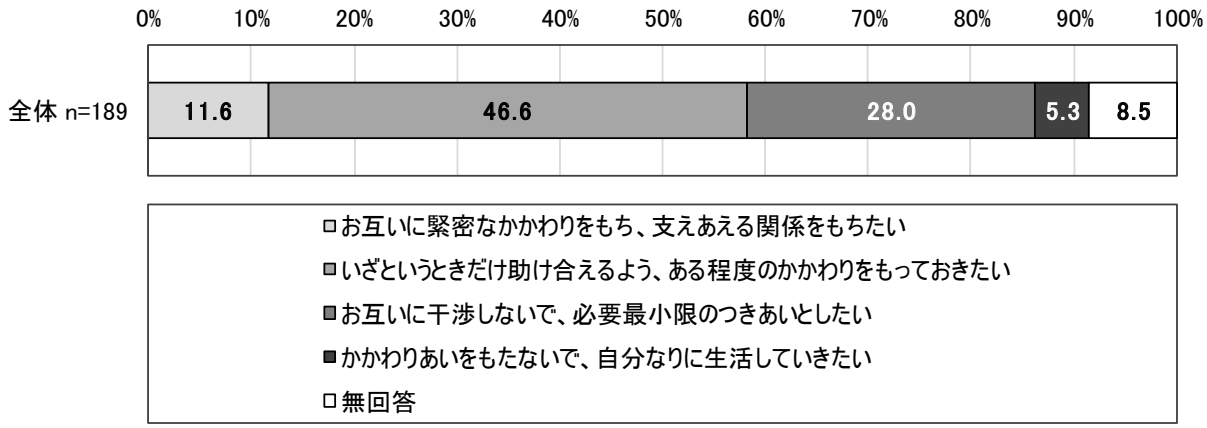
問 40. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。 (回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が58.7%で最も高く、次いで「参加してもよい」が19.6%、「既に参加している」が4.2%となっています。



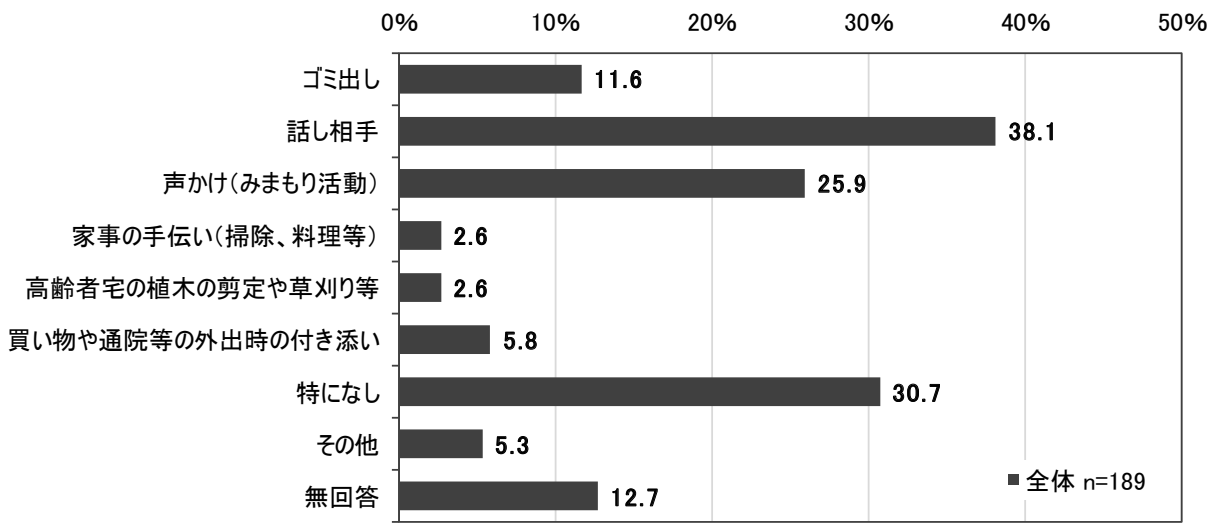
問 41. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

地域との関係性については、「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が46.6%で最も高く、次いで「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が28.0%、「お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい」が11.6%となっています。



問 42. あなたがお住まいになられている地域において、手助け等が必要な高齢者に対して、どのようなボランティア活動ができますか。(あてはまるものすべてに回答)

手助け等が必要な高齢者に対して、できるボランティア活動については、「話し相手」が38.1%で最も高く、次いで「特になし」が30.7%、「声かけ(みまもり活動)」が25.9%となっています。

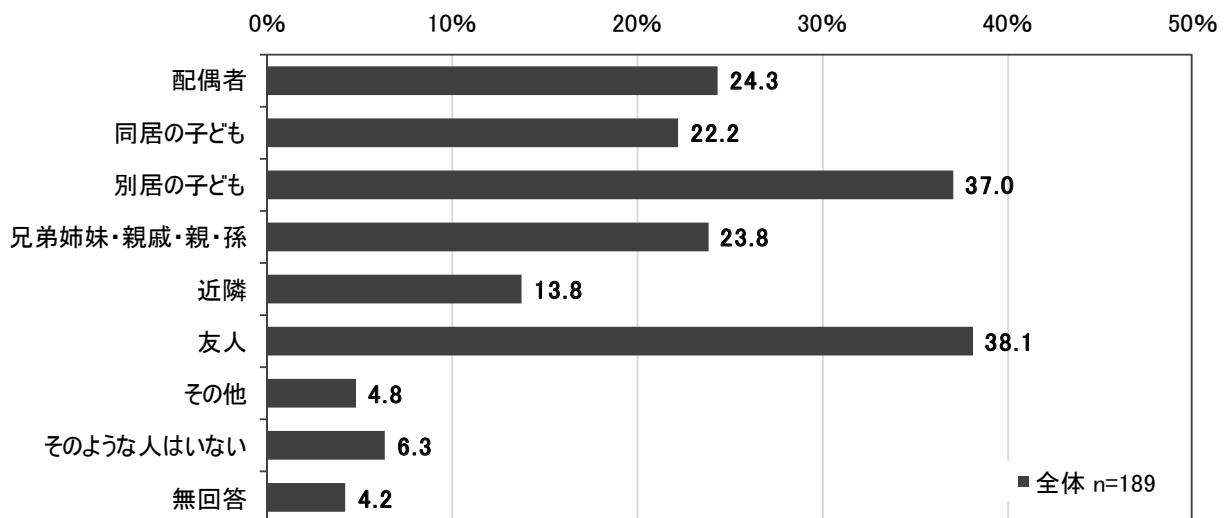


7. たすけあいについて

「7. たすけあいについて」は、心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、してあげる人を把握するための項目となっています。

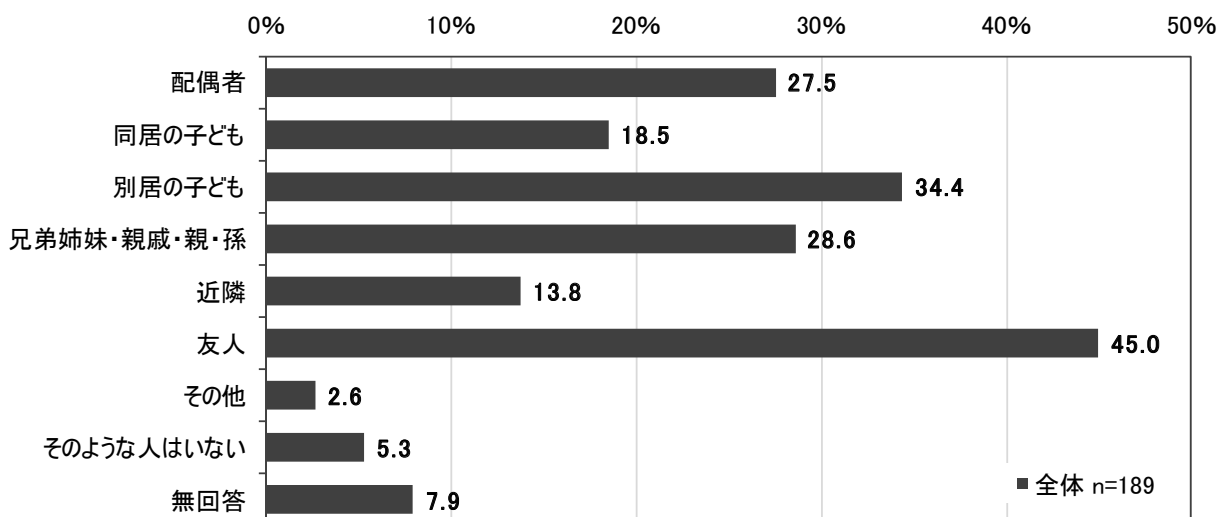
問 43. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、どのような人ですか。
 （あてはまるものすべてに回答） ★

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「友人」が 38.1%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 37.0%、「配偶者」が 24.3%となっています。



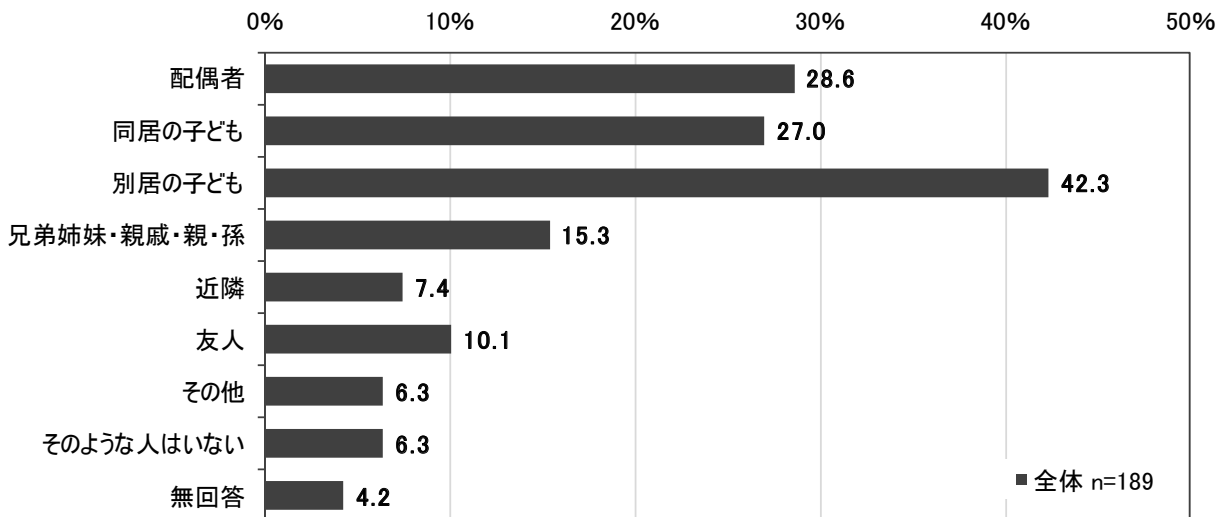
問 44. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、どのような人ですか。
 （あてはまるものすべてに回答） ★

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「友人」が 45.0%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 34.4%、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が 28.6%となっています。



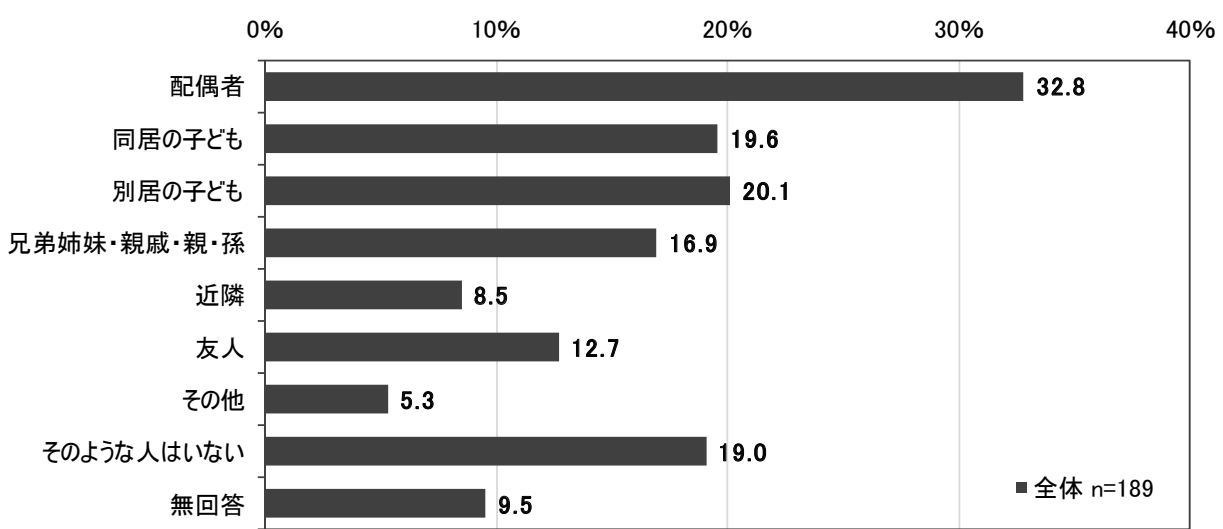
**問 45. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★**

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「別居の子ども」が42.3%で最も高く、次いで「配偶者」が28.6%、「同居の子ども」が27.0%となっています。



**問 46. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★**

あなたが看病や世話をしてあげる人については、「配偶者」が32.8%で最も高く、次いで「別居の子ども」が20.1%、「同居の子ども」が19.6%となっています。

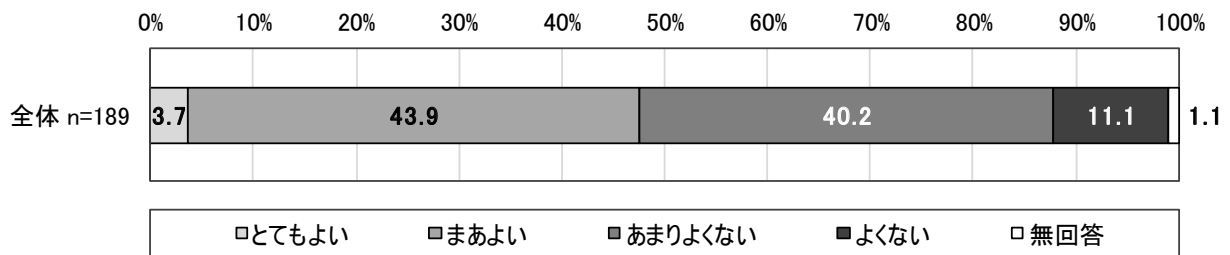


8. 健康について

「8. 健康について」は、現在の健康状態、現在の幸福感、現在の心の状況、喫煙状況、病気の有無、かかりつけ医等の有無、終末期の意向を把握するための項目となっています。

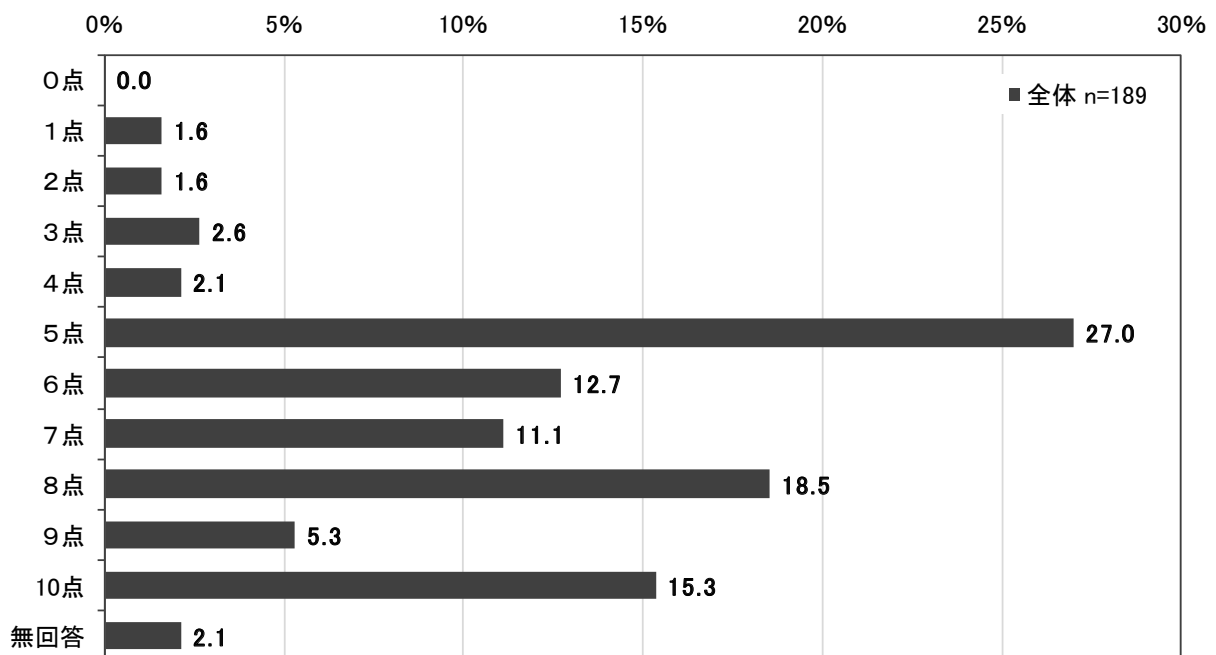
問 47. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ) ★

現在の健康状態については、「まあよい」が43.9%で最も高く、次いで「あまりよくない」が40.2%、「よくない」が11.1%、「とてもよい」が3.7%となっています。



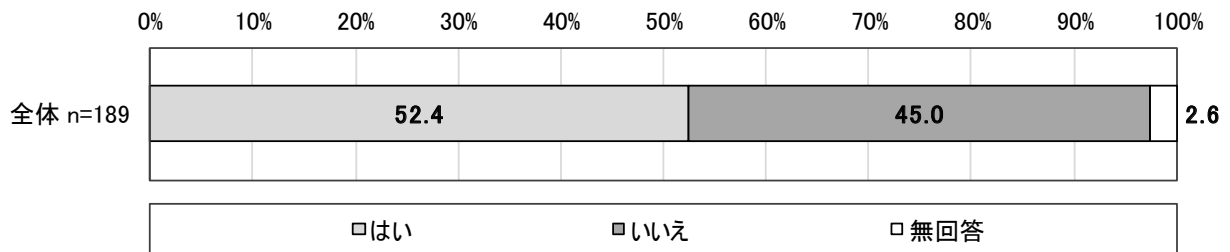
問 48. あなたは、現在どの程度幸せですか。(回答は1つ) ★

現在の幸福感については、「5点」が27.0%で最も高く、次いで「8点」が18.5%、「10点」が15.3%、「6点」が12.7%、「7点」が11.1%となっています。「5点」～「10点」の合計値で89.9%の割合を占めています。



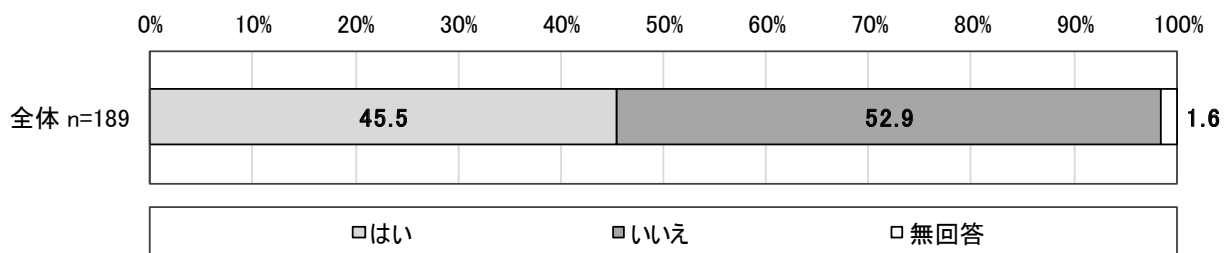
**問 49. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(回答は1つ) ★**

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が52.4%、「いいえ」が45.0%で、「はい」が7.4ポイント上回っています。



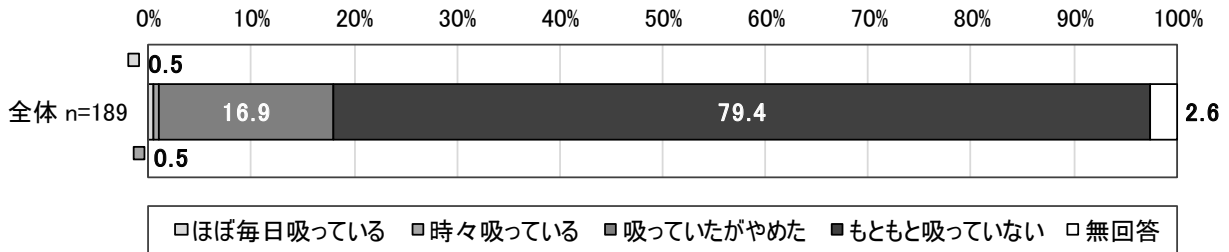
問 50. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ) ★

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、「はい」が45.5%、「いいえ」が52.9%で、「いいえ」が7.4ポイント上回っています。



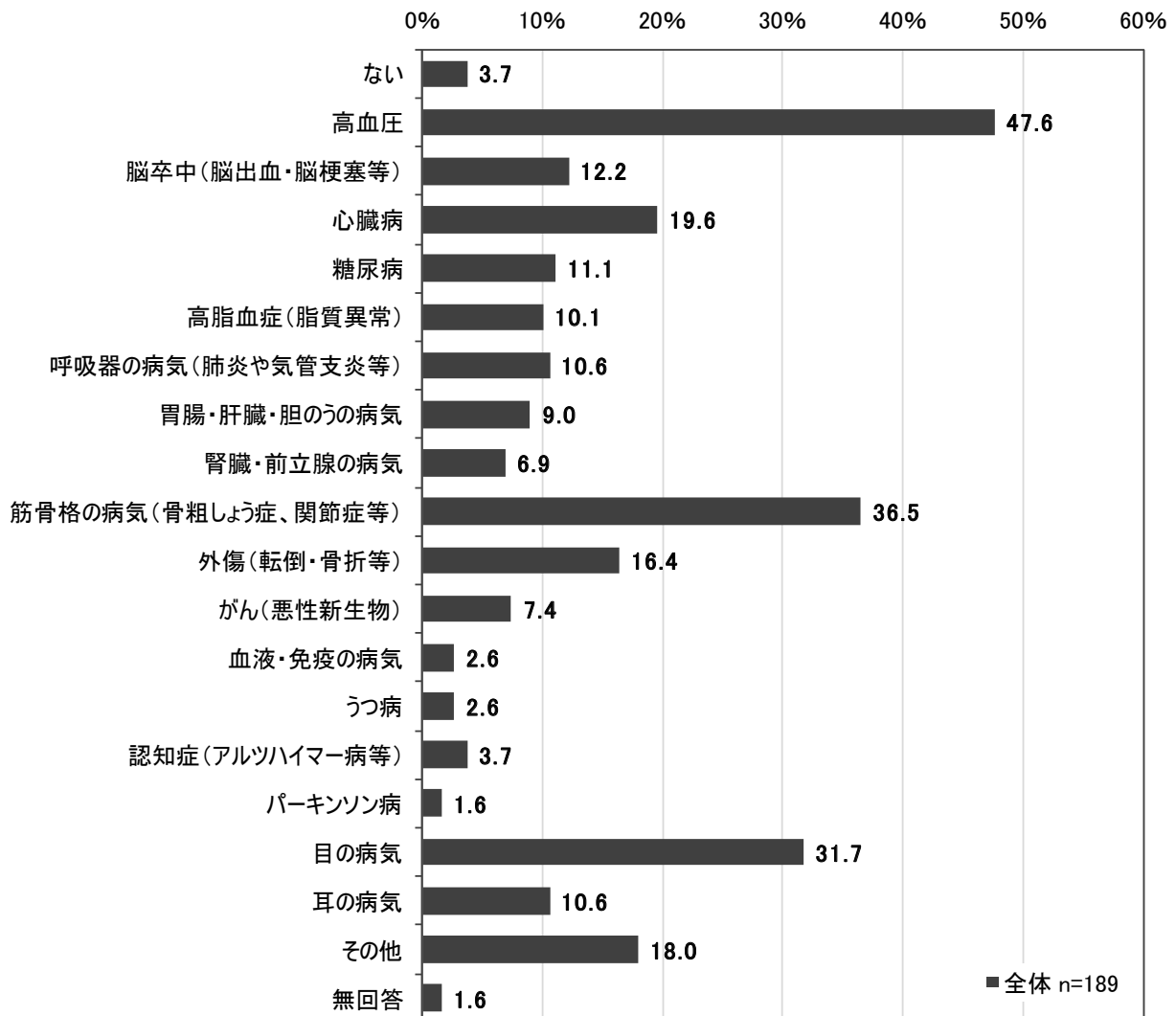
問 51. タバコは吸っていますか。(回答は1つ) ★

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が 79.4%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が 16.9%、「ほぼ毎日吸っている」「時々吸っている」がともに 0.5%となっています。



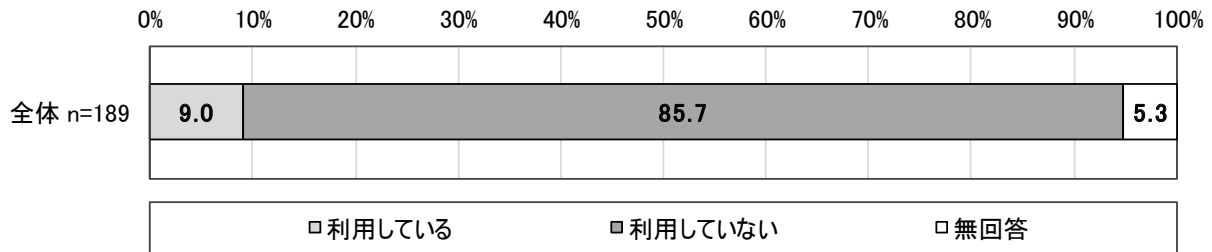
問 52. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答) ★

現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、「高血圧」が 47.6%で最も高く、次いで「筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等)」が 36.5%、「目の病気」が 31.7%となっています。



問 53. 現在、訪問診療を利用していますか。(回答は1つ) ★

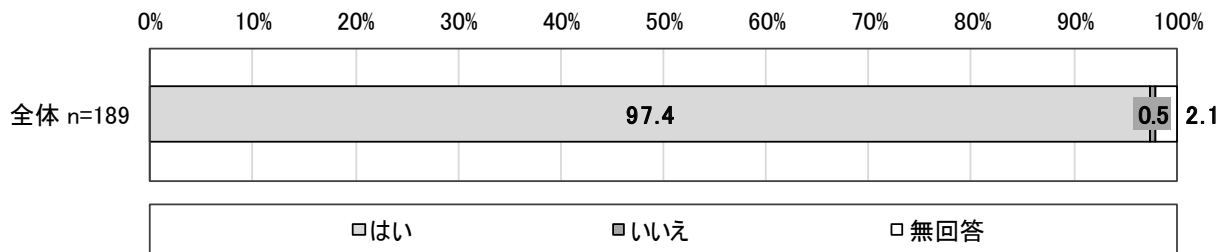
訪問診療の利用状況については、「利用している」が9.0%、「利用していない」が85.7%で、「利用していない」が76.7ポイント上回っています。



問 54. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

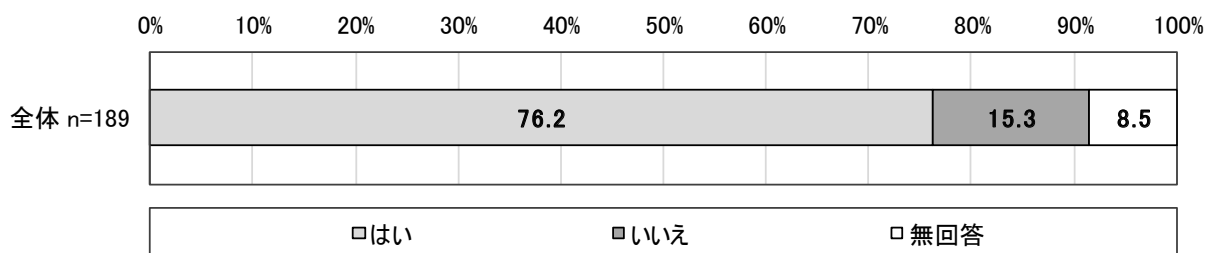
①かかりつけの医師はいますか

かかりつけの医師がいるかについては、「はい」が97.4%、「いいえ」が0.5%で、「はい」が96.9ポイント上回っています。



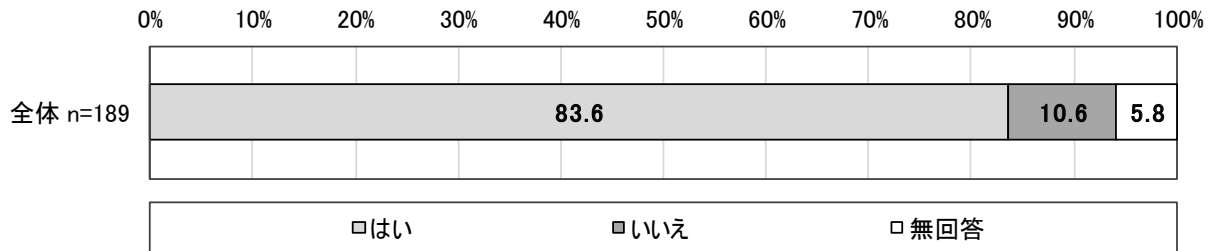
②かかりつけの歯科医はいますか

かかりつけの歯科医がいるかについては、「はい」が76.2%、「いいえ」が15.3%で、「はい」が60.9ポイント上回っています。



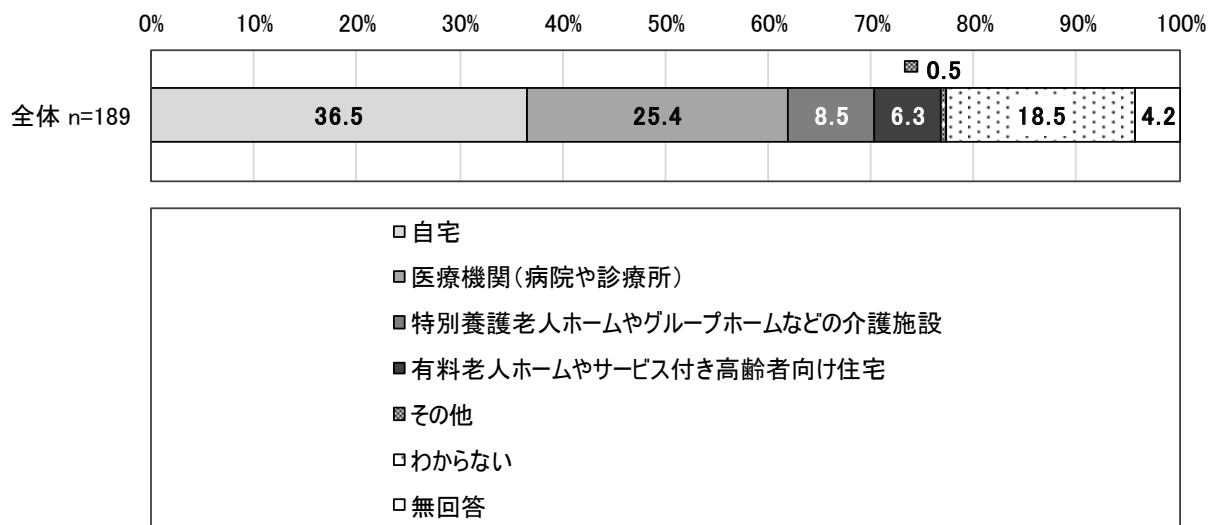
③かかりつけの薬局はありますか

かかりつけの薬局があるかについては、「はい」が83.6%、「いいえ」が10.6%で、「はい」が73.0ポイント上回っています。



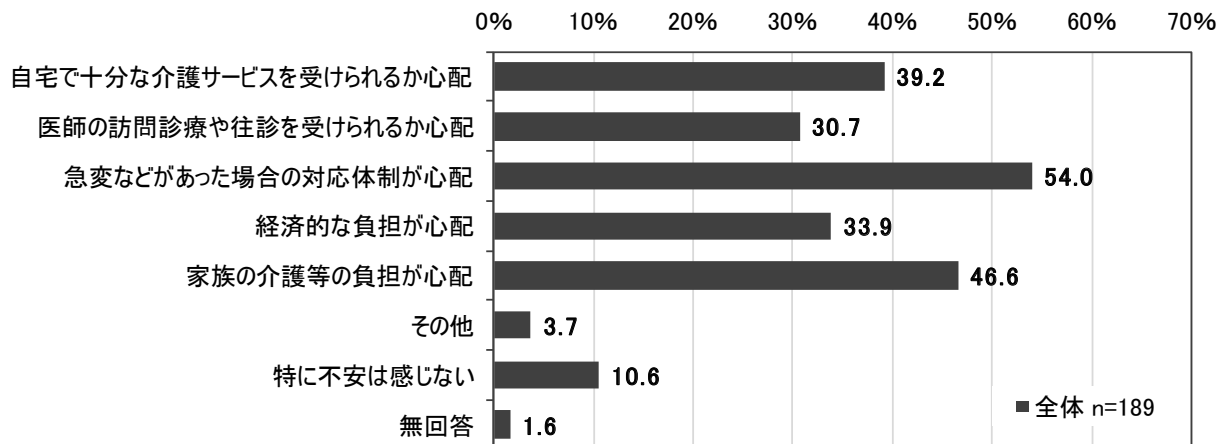
問 55. あなたは、終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。（回答は1つ）

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が36.5%で最も高く、次いで「医療機関（病院や診療所）」が25.4%、「わからない」が18.5%となっています。



問 56. 終末期について、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに回答)

終末期について、どのようなことに不安を感じるかについては、「急変などがあった場合の対応体制が心配」が54.0%で最も高く、次いで「家族の介護等の負担が心配」が46.6%、「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が39.2%となっています。

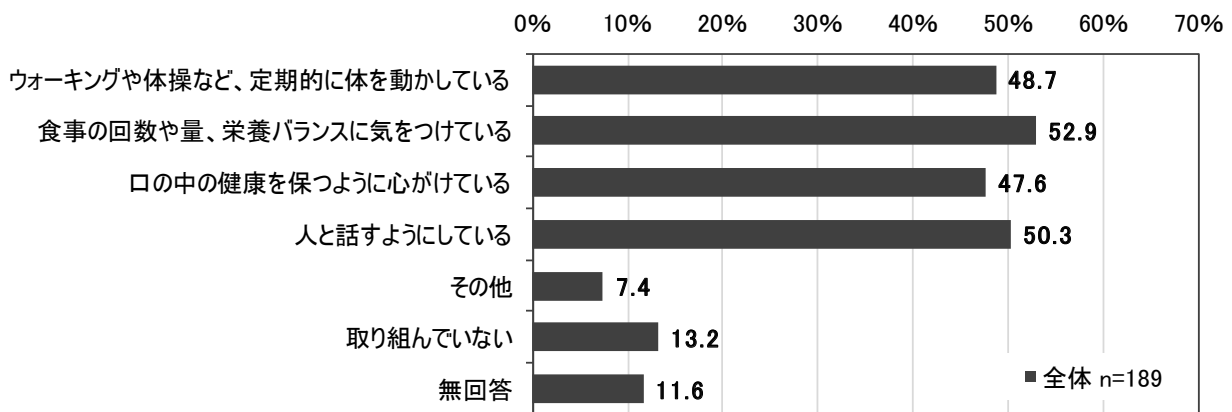


9. 介護予防・認知症施策について

「9. 介護予防・認知症施策について」は、介護予防への取り組み状況等、各種認知症施策等に係る認知度や認知症の状況を把握するための項目となっています。

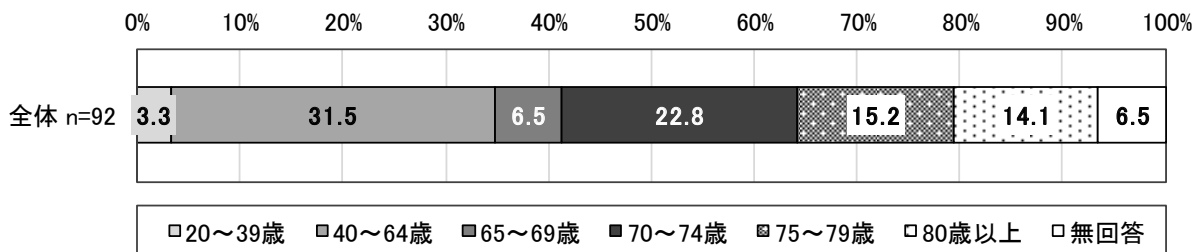
**問 57. 介護保険サービス以外で、介護予防としてどのようなことに取り組んでいますか。また、取り組んでいる項目について、意識して取り組み始めた年齢をご記入ください。
(あてはまるものすべてに回答、該当する口内に数字をご記入ください)**

取り組んでいる介護予防については、「食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている」が52.9%で最も高く、次いで「人と話すようにしている」が50.3%、「ウォーキングや体操（ストレッチ）など、定期的に体を動かしている」が48.7%となっています。



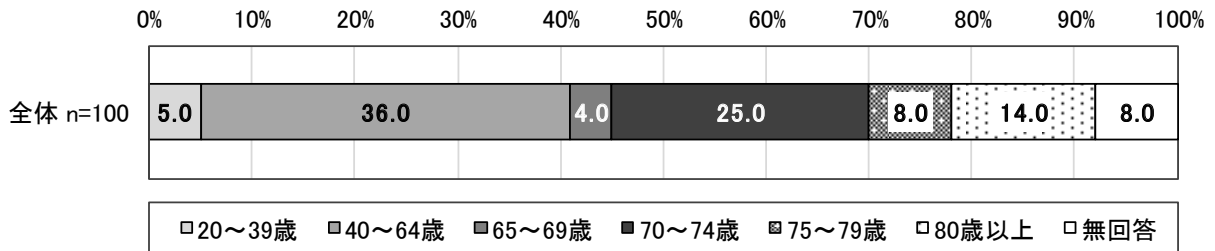
①ウォーキングや体操（ストレッチ）など、定期的に体を動かしている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が31.5%で最も高く、次いで「70～74歳」が22.8%、「75～79歳」が15.2%となっています。



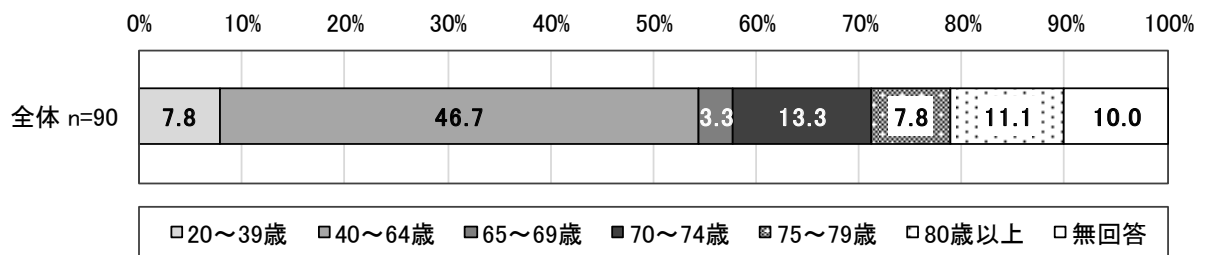
②食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が36.0%で最も高く、次いで「70～74歳」が25.0%、「80歳以上」が14.0%となっています。



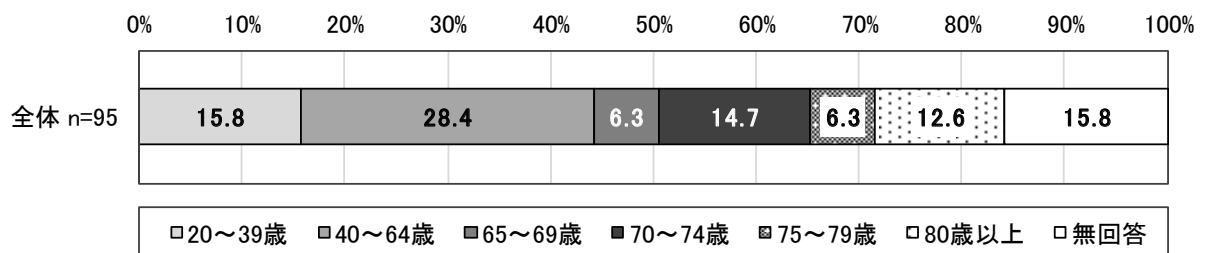
③口の中の健康を保つように心がけている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が46.7%で最も高く、次いで「70～74歳」が13.3%、「80歳以上」が11.1%となっています。



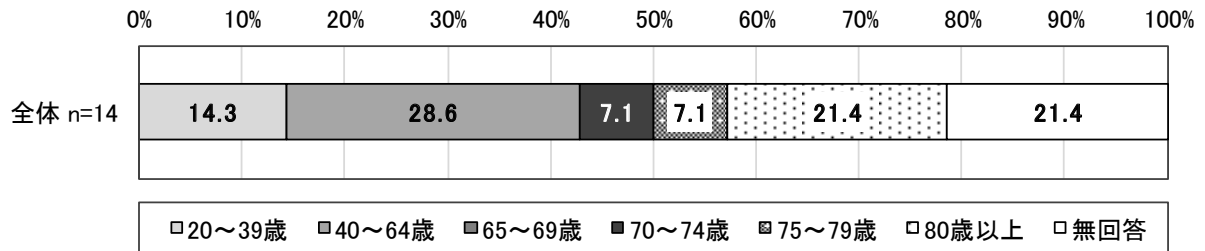
④人と話すようにしている（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が28.4%で最も高く、次いで「20～39歳」が15.8%、「70～74歳」が14.7%となっています。



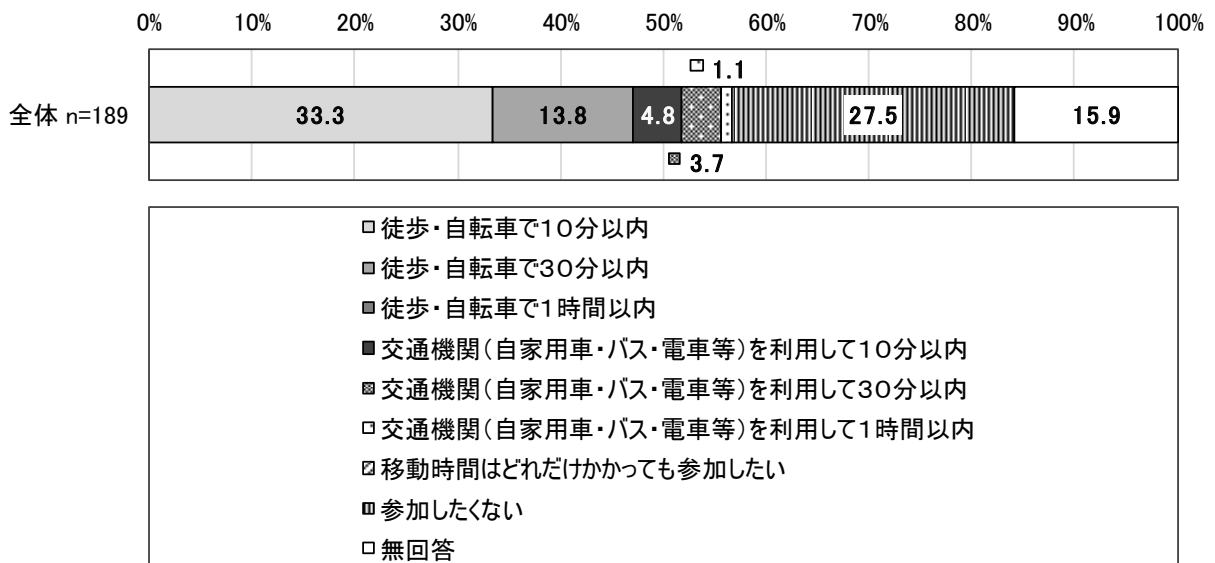
⑤その他（取り組み始めた年齢）

取り組み始めた年齢については、「40～64歳」が28.6%で最も高く、次いで「80歳以上」が21.4%、「20～39歳」が14.3%となっています。



問 58. 介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思いますか。（回答は1つ）

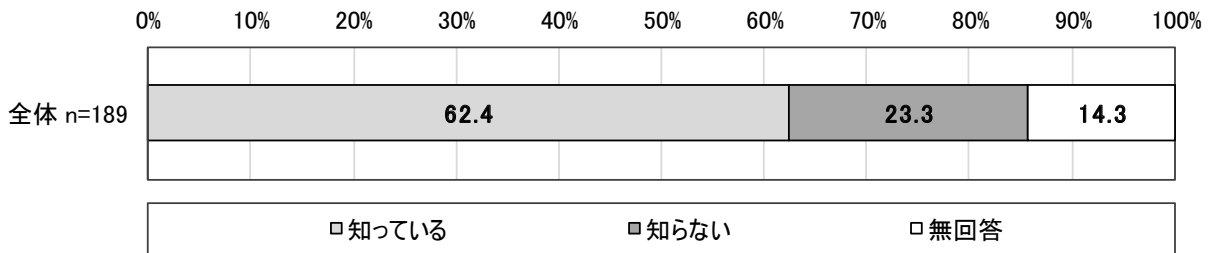
介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいかについては、「徒歩・自転車で10分以内」が33.3%で最も高く、次いで「参加したくない」が27.5%、「徒歩・自転車で30分以内」が13.8%となっています。



問 59. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)

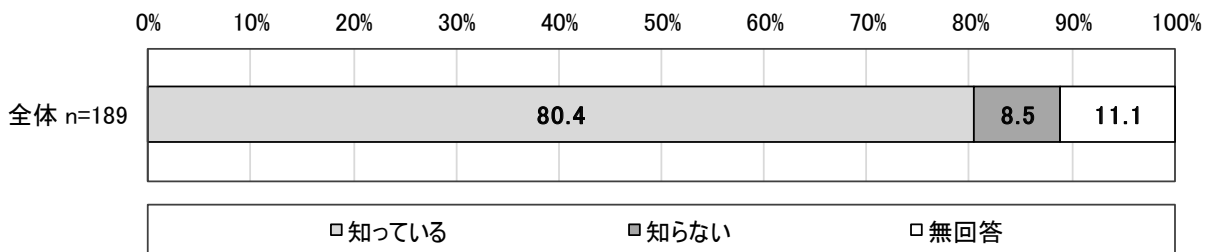
①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること

自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができることについては、「知っている」が 62.4%、「知らない」が 23.3%で、「知っている」が 39.1 ポイント上回っています。



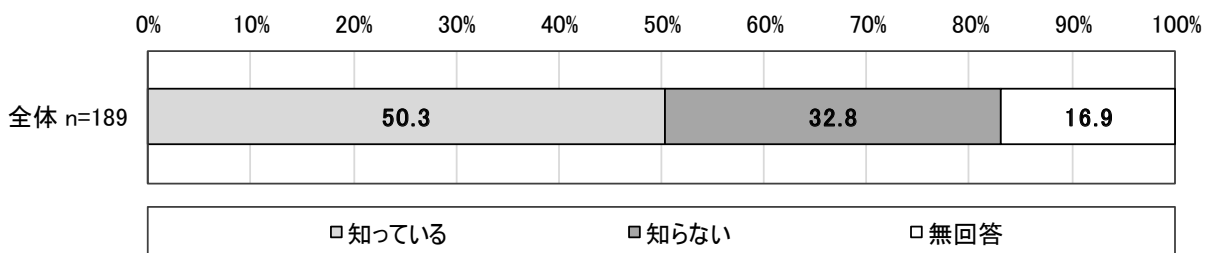
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと

認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いことについては、「知っている」が 80.4%、「知らない」が 8.5%で、「知っている」が 71.9 ポイント上回っています。



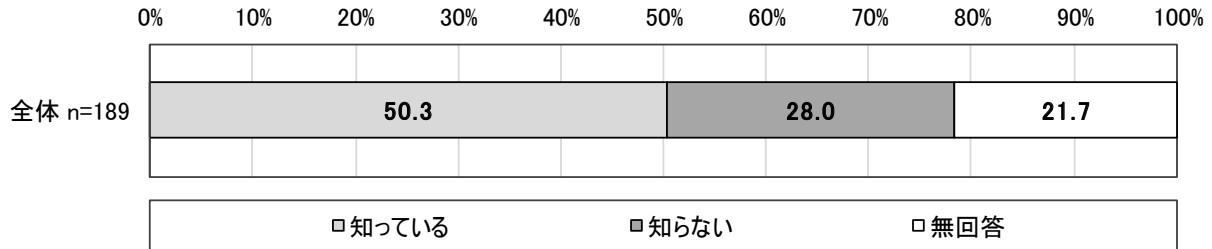
③認知症の方が入所する介護施設があること

認知症の方が入所する介護施設があることについては、「知っている」が 50.3%、「知らない」が 32.8%で、「知っている」が 17.5 ポイント上回っています。



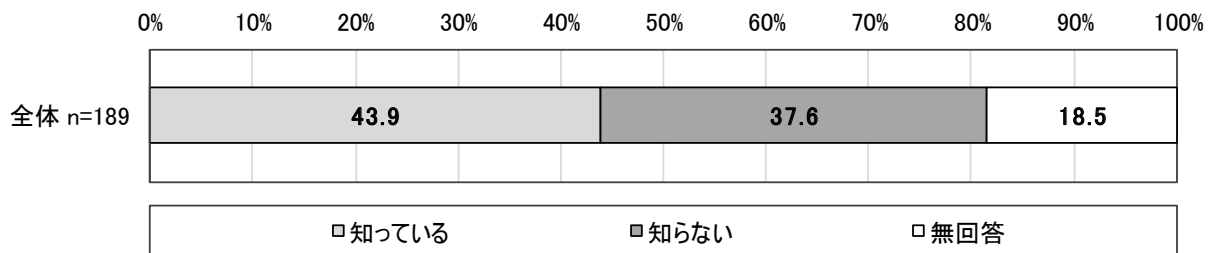
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと

家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なことについては、「知っている」が 50.3%、「知らない」が 28.0%で、「知っている」が 22.3 ポイント上回っています。



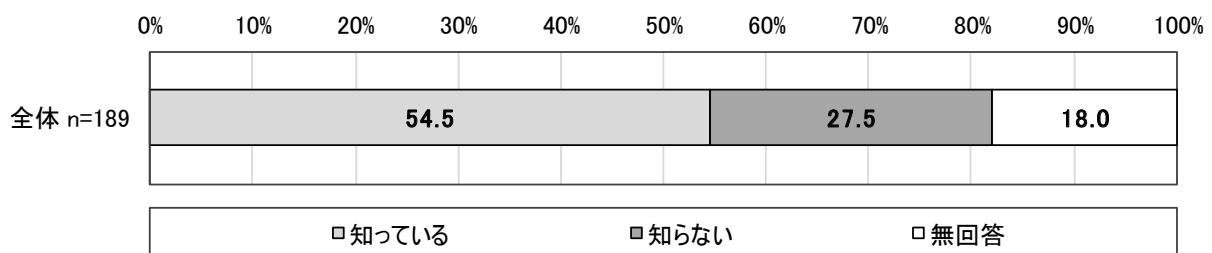
⑤消費者被害に関する相談窓口があること

消費者被害に関する相談窓口があることについては、「知っている」が 43.9%、「知らない」が 37.6%で、「知っている」が 6.3 ポイント上回っています。



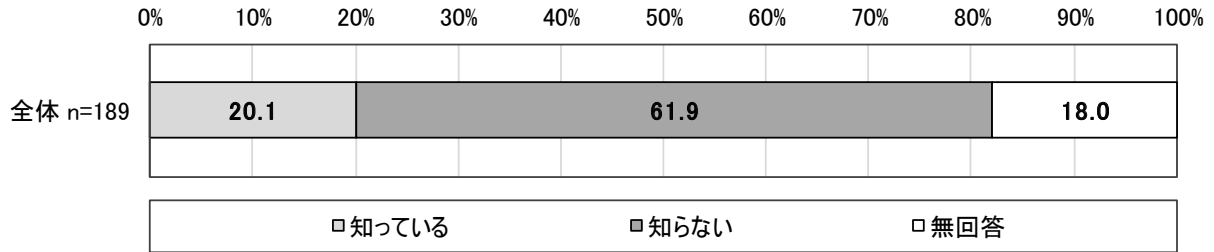
⑥「成年後見制度」

成年後見制度については、「知っている」が 54.5%、「知らない」が 27.5%で、「知っている」が 27.0 ポイント上回っています。



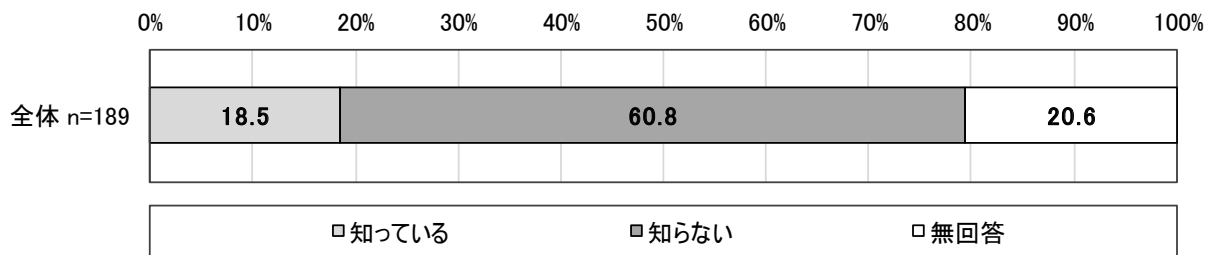
⑦ 「みんなのカフェ（認知症カフェ）」

みんなのカフェ（認知症カフェ）については、「知っている」が20.1%、「知らない」が61.9%で、「知らない」が41.8ポイント上回っています。



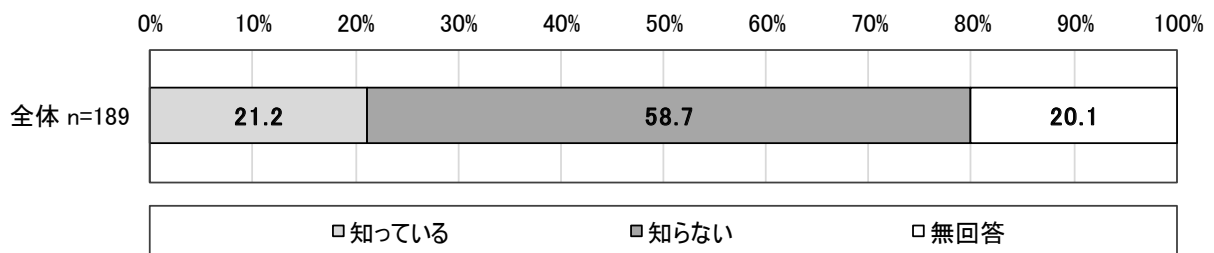
⑧ 「認知症サポーター」

認知症サポーターについては、「知っている」が18.5%、「知らない」が60.8%で、「知らない」が42.3ポイント上回っています。



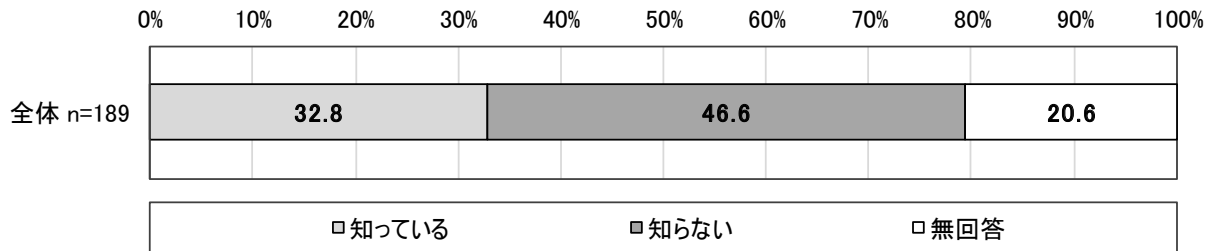
⑨ 「GPSの貸出」

GPSの貸出については、「知っている」が21.2%、「知らない」が58.7%で、「知らない」が37.5ポイント上回っています。



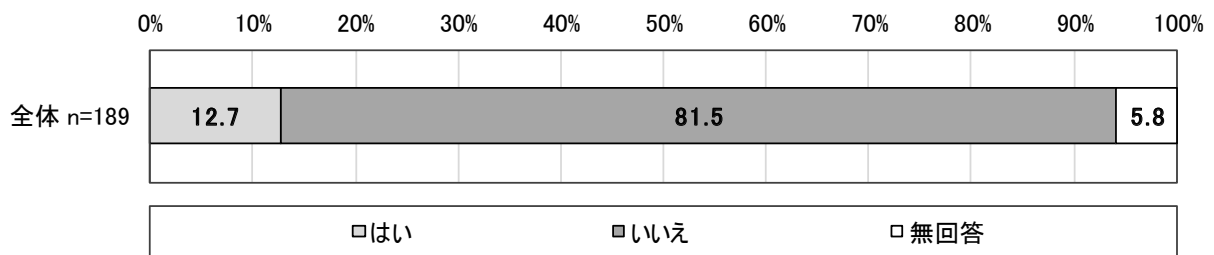
⑩ 「もの忘れ相談医」

もの忘れ相談医については、「知っている」が32.8%、「知らない」が46.6%で、「知らない」が13.8ポイント上回っています。



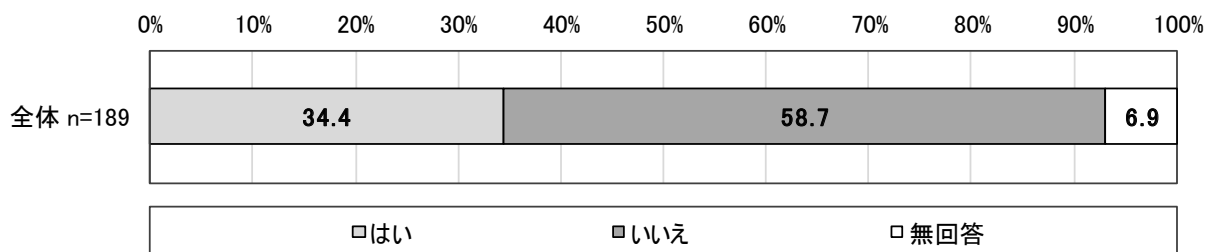
問 60. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいますか。(回答は1つ) ★

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が12.7%、「いいえ」が81.5%で、「いいえ」が68.8ポイント上回っています。



問 61. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ) ★

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が34.4%、「いいえ」が58.7%で、「いいえ」が24.3ポイント上回っています。



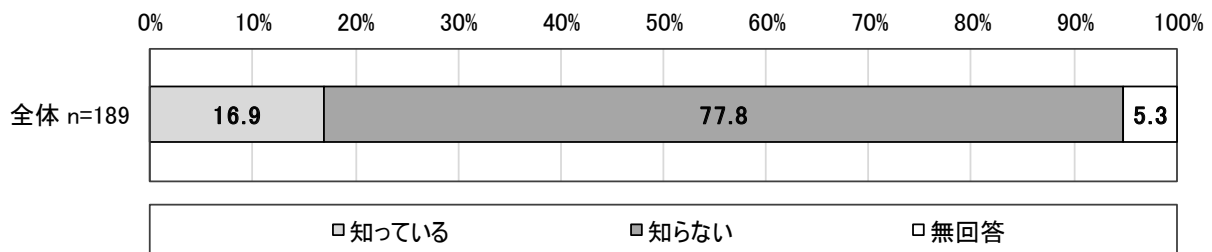
10. 市の施策・事業、介護保険制度について

「10. 市の施策・事業、介護保険制度について」は、避難行動要支援者支援事業の認知度、介護保険施設への意向、介護保険料の段階、介護保険料への負担感、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況、在宅生活の継続に必要な支援・サービス、市の独自制度に対する意向を把握するための項目となっています。

問 62. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

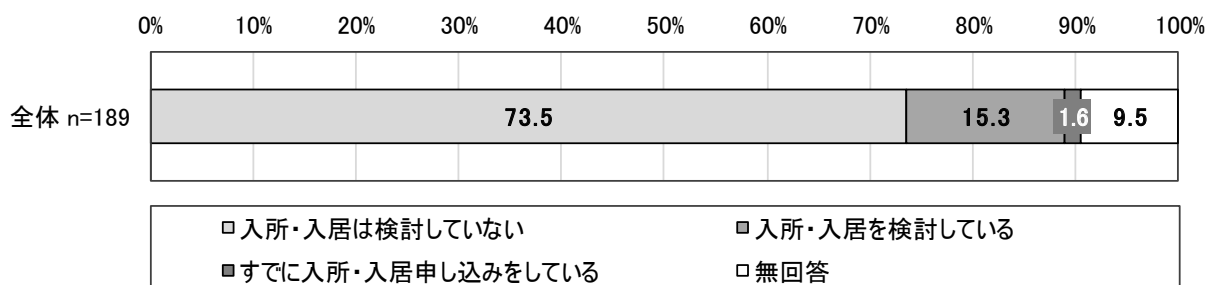
あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。（回答は1つ）

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が 16.9%、「知らない」が 77.8%で、「知らない」が 60.9 ポイント上回っています。



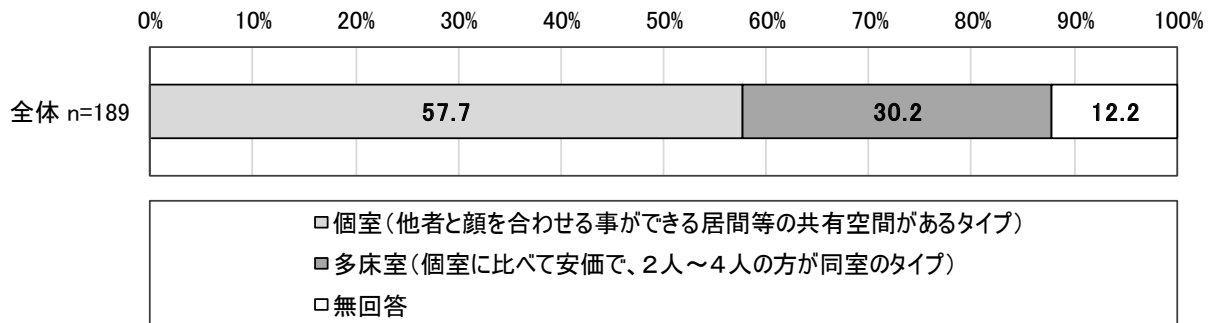
問 63. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてお答えください。（回答は1つ） ★

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 73.5%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 15.3%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 1.6%となっています。



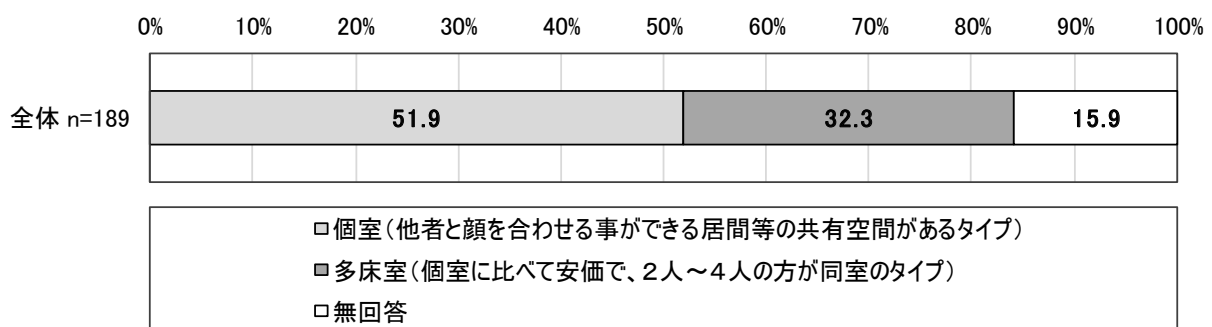
問 64. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 57.7%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 30.2%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 27.5 ポイント上回っています。



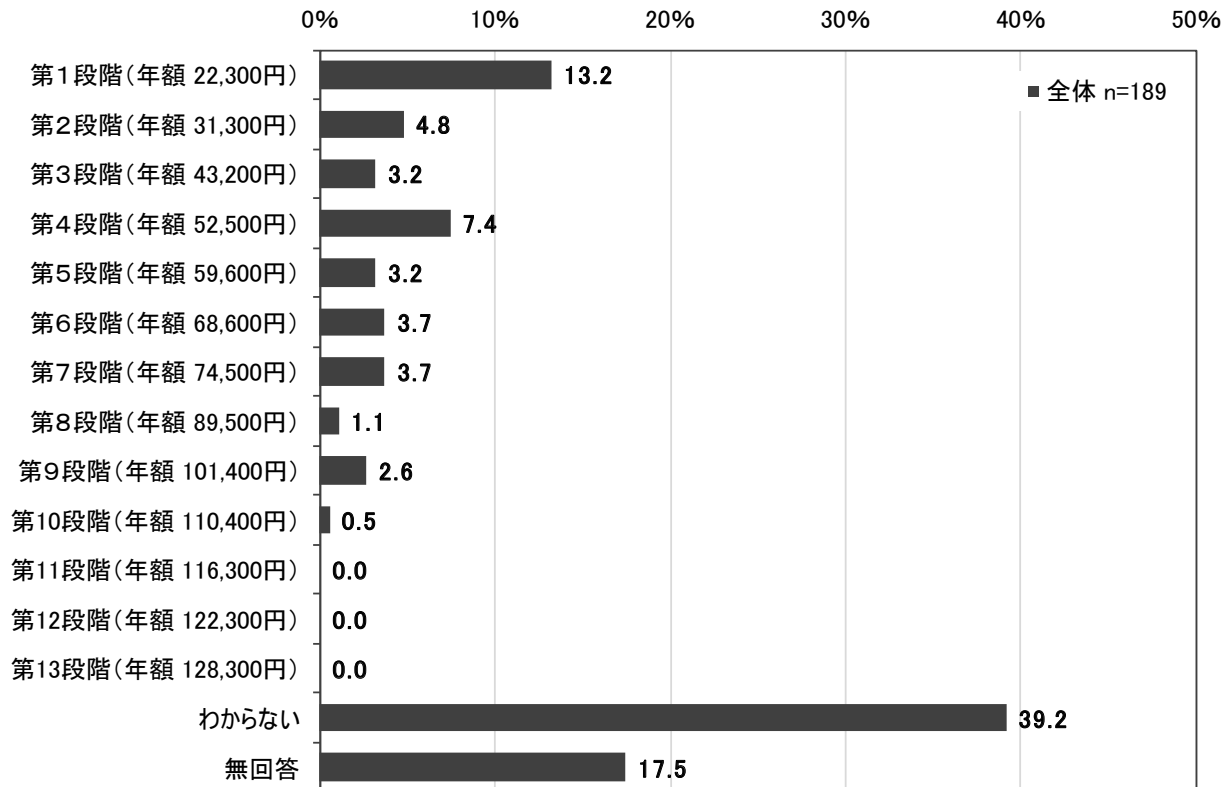
問 65. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 51.9%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 32.3%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 19.6 ポイント上回っています。



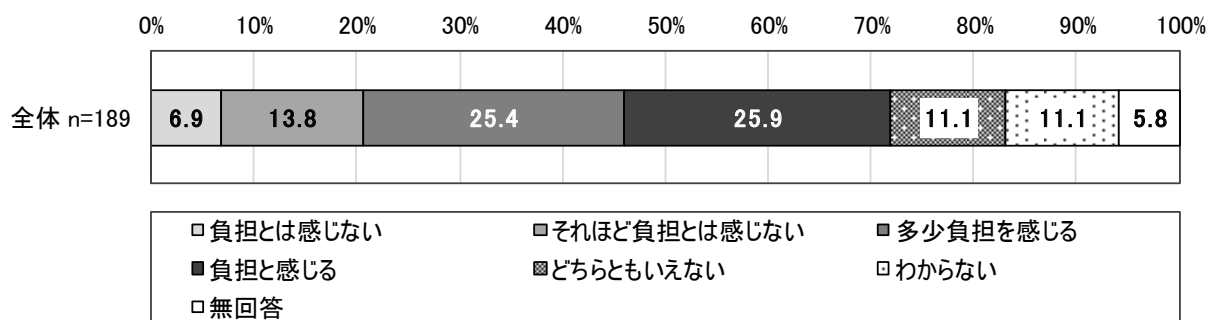
問 66. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

介護保険料の段階については、「わからない」が39.2%で最も高く、次いで「第1段階(年額 22,300円)」が13.2%、「第4段階(年額 52,500円)」が7.4%となっています。



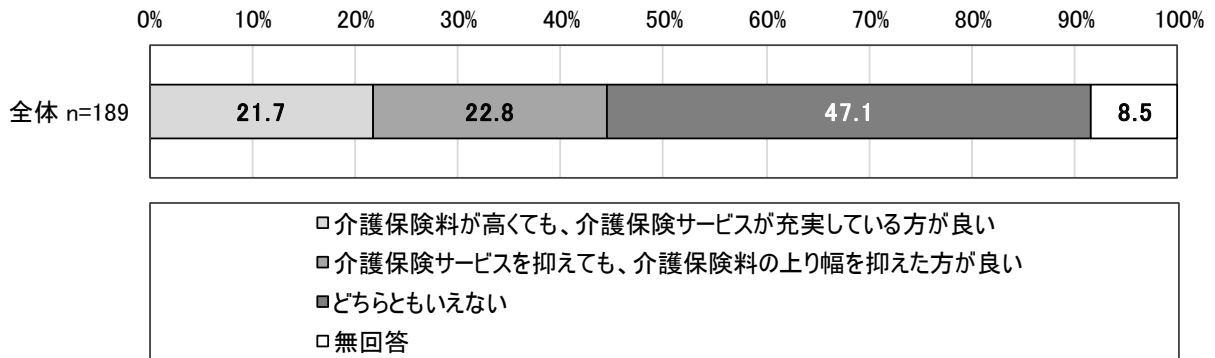
問 67. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

介護保険料に対する負担感については、「負担と感じる」が25.9%で最も高く、次いで「多少負担を感じる」が25.4%、「それほど負担とは感じない」が13.8%となっています。



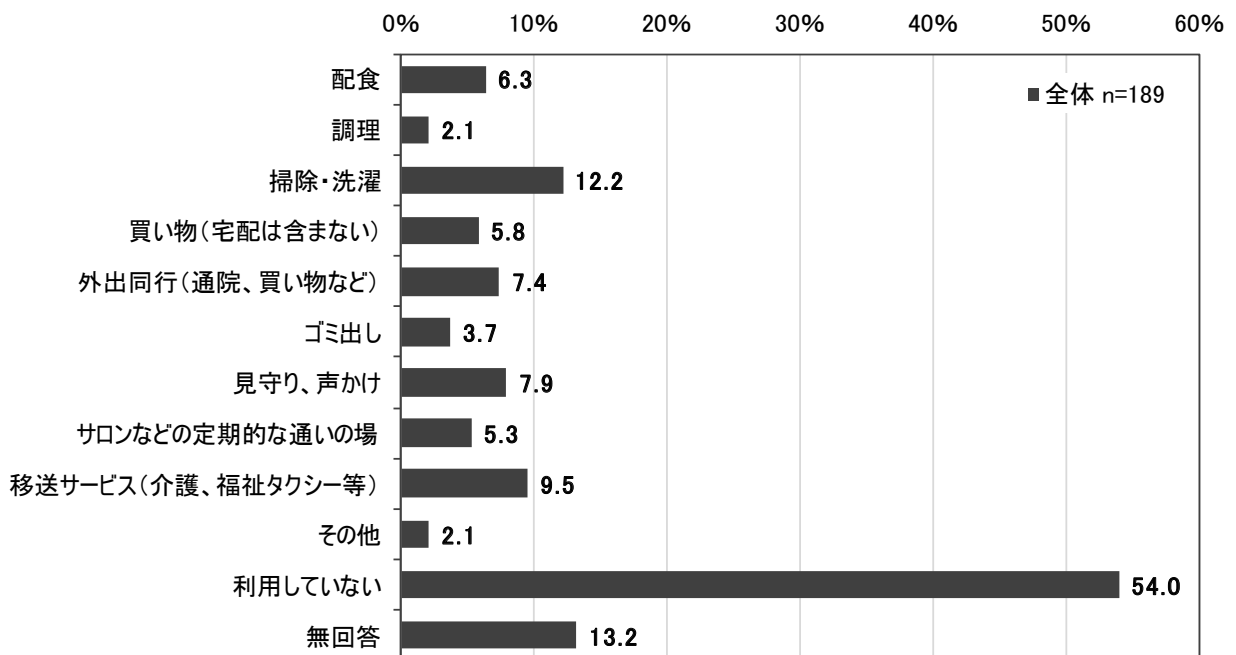
問 68. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

介護保険サービスと介護保険料について、どのように考えているかについては、「どちらともいえない」が47.1%で最も高く、次いで「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い」が22.8%、「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い」が21.7%となっています。



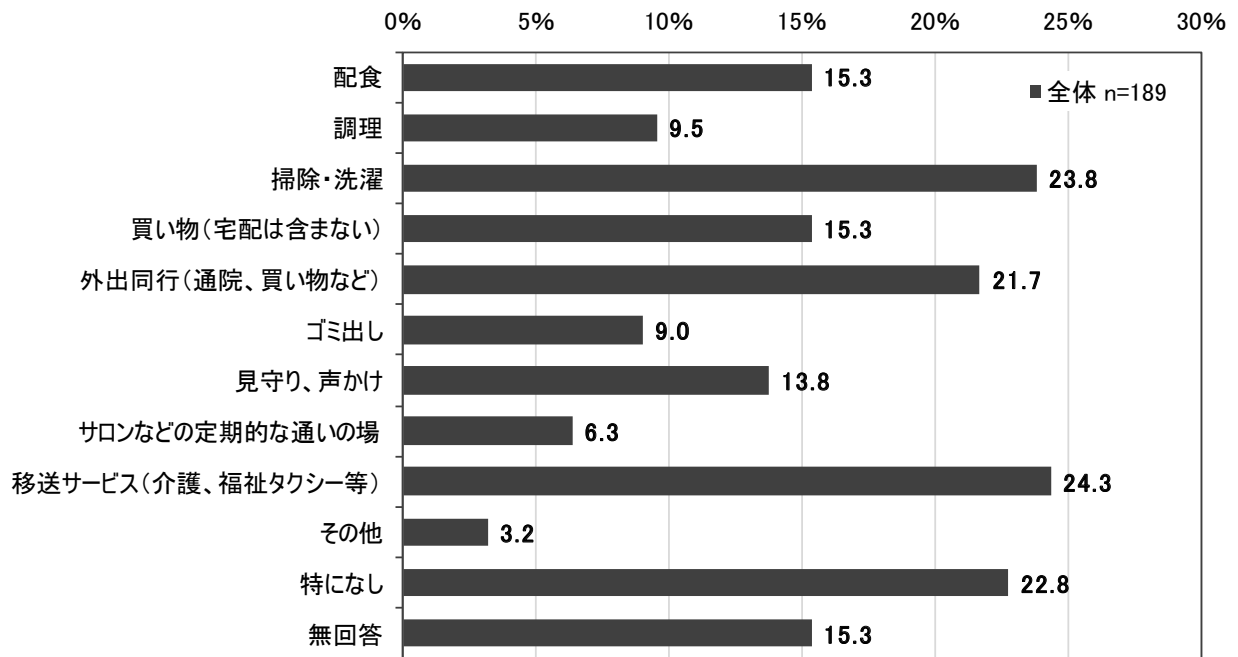
問 69. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(あてはまるものすべてに回答) ★

現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「利用していない」が54.0%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が12.2%、「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が9.5%となっています。



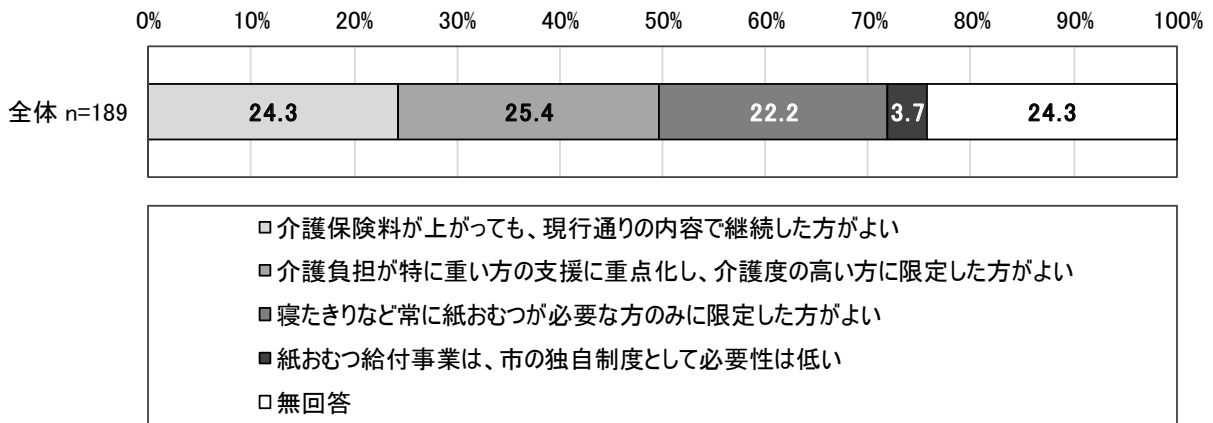
問 70. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで） ★

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が24.3%で最も高く、次いで「掃除・洗濯」が23.8%、「特になし」が22.8%となっています。



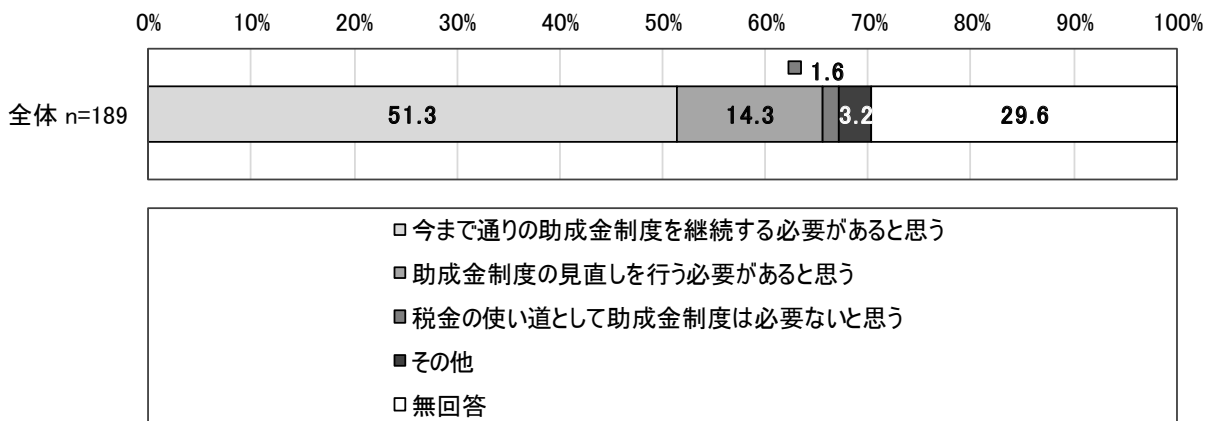
問 71. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。
 平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。
 今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい」が25.4%で最も高く、次いで「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が24.3%、「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が22.2%となっています。



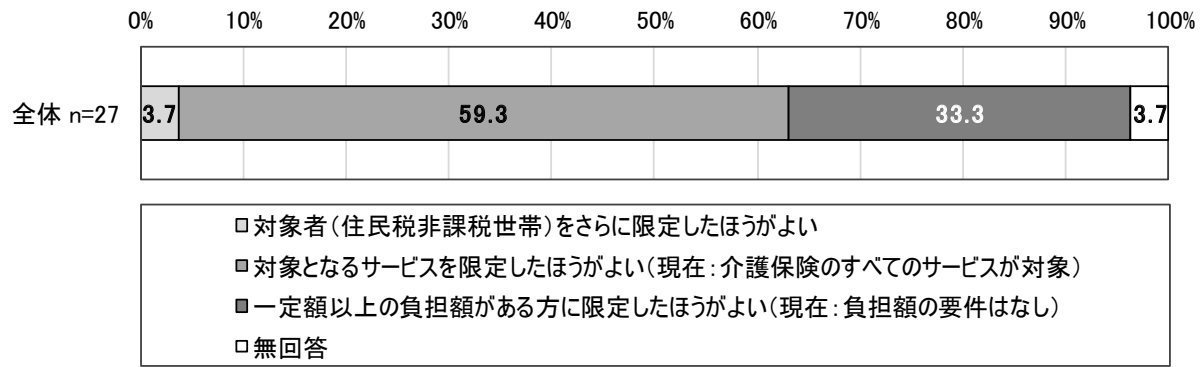
問 72. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後もこの助成金制度が必要だと思いますか。（回答は1つ）

低所得者助成金制度が今後も必要だと思うかについては、「今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う」が51.3%で最も高く、次いで「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」が14.3%、「その他」が3.2%となっています。



**問 72-1.【問 72 で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】
 どのような観点から見直しが必要だと思いますか。（回答は1つ）**

低所得者助成金制度は、どのような観点から見直しが必要だと思うかについては、「対象となるサービスを限定したほうがよい」が 59.3%で最も高く、次いで「一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい」が 33.3%、「対象者（住民税非課税世帯）をさらに限定したほうがよい」が 3.7%となっています。



第2章 要支援高齢者 各機能の評価結果

1. 各機能の評価項目

本調査には、各機能の評価する設問が設けられており、回答結果をもとに、各機能の評価することができます。

①運動機能の評価

以下の5項目のうち、3項目以上に該当した場合、運動機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
問10	15分位続けて歩いていますか。	できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

②転倒リスクの評価

以下の項目に該当した場合、転倒リスクに高い傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある

③閉じこもりの評価

以下の項目に該当した場合、閉じこもりの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問13	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

④認知機能の評価

以下の項目に該当した場合、認知機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問21	物忘れが多いと感じますか。	はい

⑤うつの評価

以下の2項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問49	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい
問50	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい

⑥手段的自立度（IADL）の評価

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度（IADL）については、各設問について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 22	バスや電車を使って、1人で外出していますか。
問 23	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。
問 24	自分で食事の用意をしていますか。
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。

⑦知的能動性の評価

老研式活動能力指標には、高齢者の知的活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 27	年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか。
問 28	新聞を読んでいますか。
問 29	本や雑誌を読んでいますか。
問 30	健康についての記事や番組に関心がありますか。

⑧社会的役割の評価

老研式活動能力指標には、高齢者の社会活動に関する設問が4問設けられています。各設問に「はい」と回答した場合を1点とし、4点満点を「高い」、3点を「やや低い」、2点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 31	友人の家を訪ねていますか。
問 32	家族や友人の相談にのっていますか。
問 33	病人を見舞うことができますか。
問 34	若い人に自分から話しかけることがありますか。

⑨生活機能総合評価

手段的自立度に、知的能動性、社会的役割を加えた老研指標13項目で評価を行い、11点以上を「高い」、9～10点を「やや低い」、8点以下を「低い」と評価します。

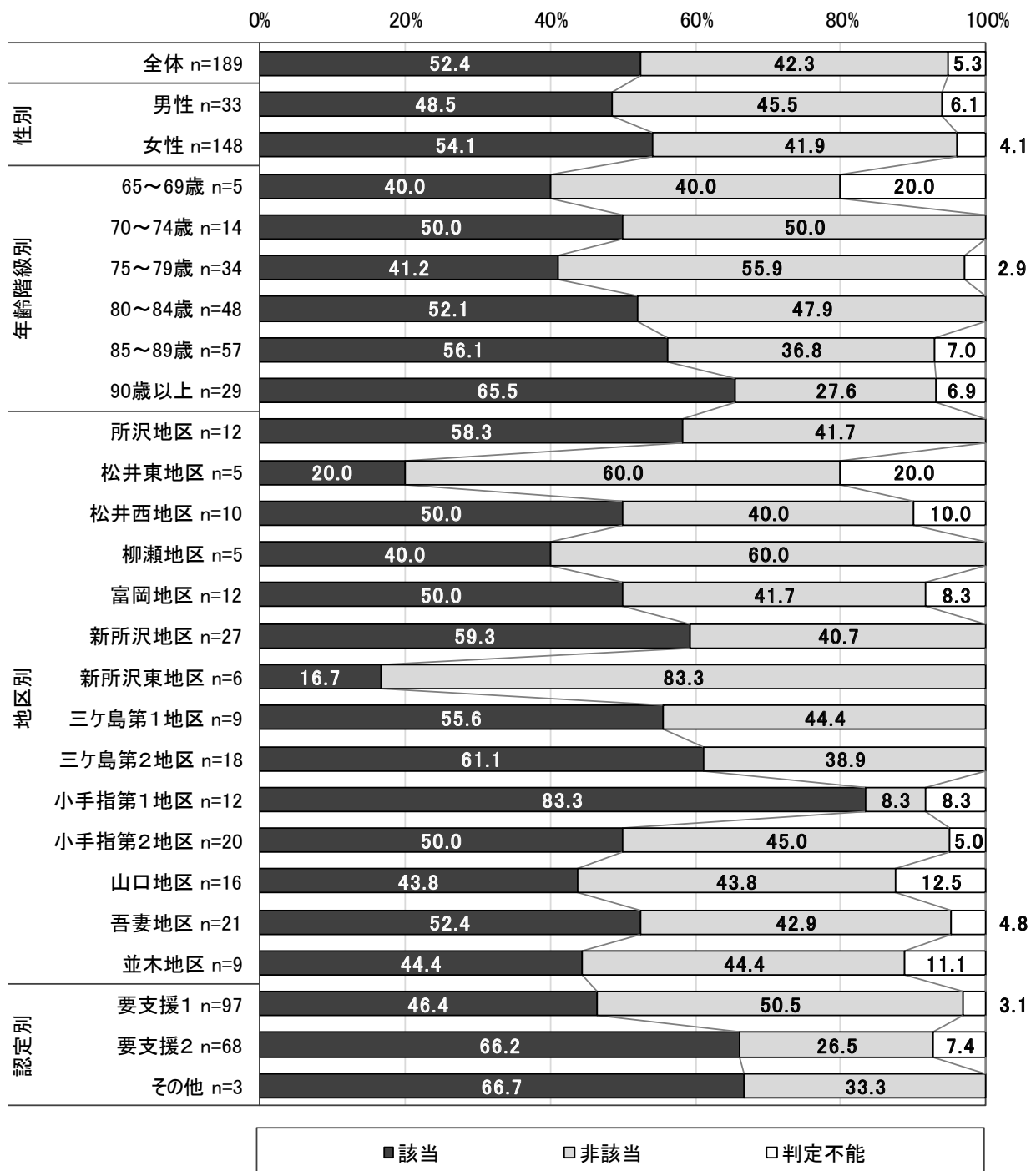
2. 各機能の評価結果

各機能の評価結果について、年齢階級別、地区別、認定別は、回答者数が少数のため、本文中では触れていません。

①運動機能の評価結果

運動機能についての結果をみると、運動機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で52.4%となっています。

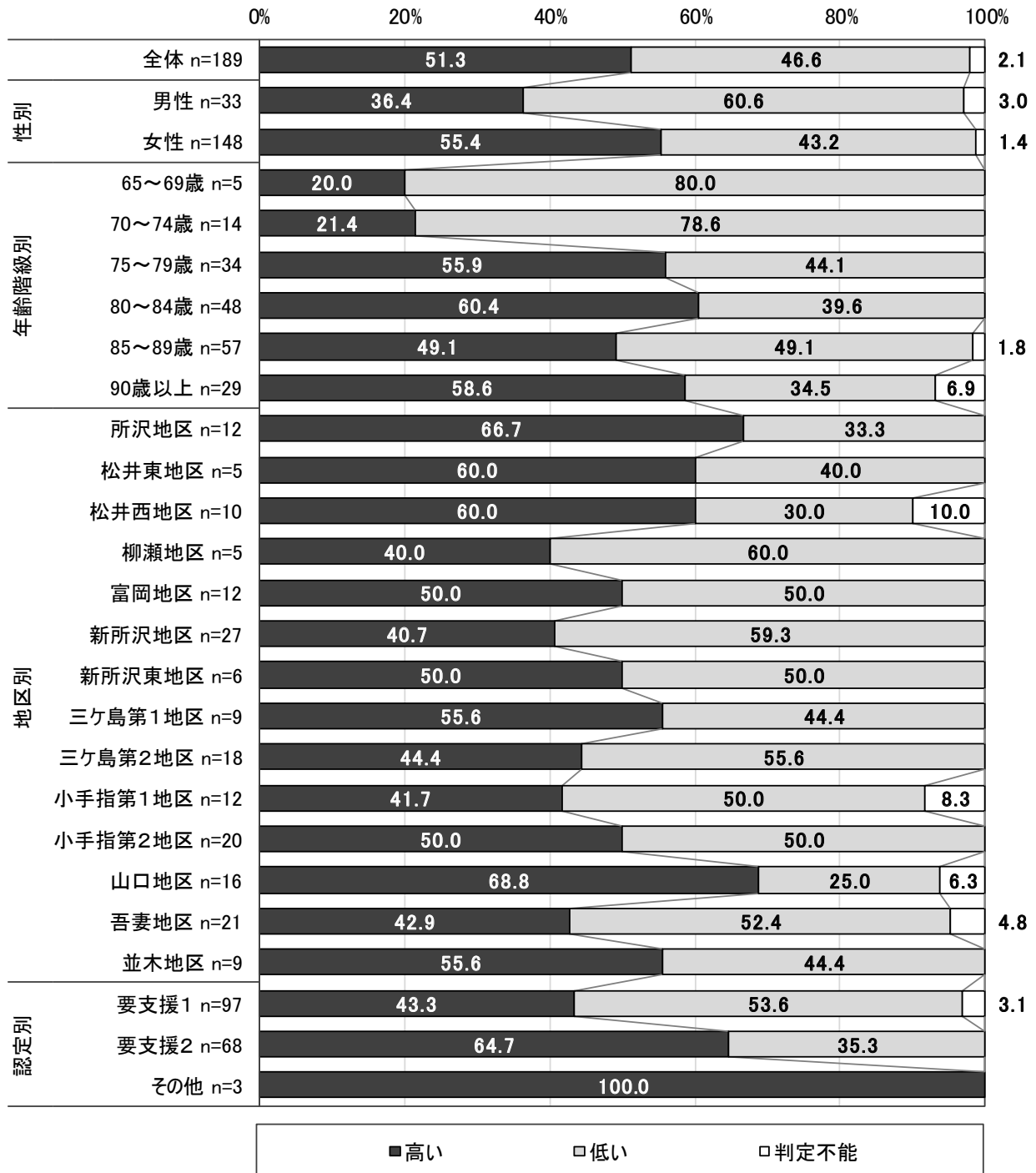
性別では、男性が48.5%、女性が54.1%で、女性が5.6ポイント上回っています。



②転倒リスクの評価結果

転倒リスクについての結果をみると、転倒リスクが高い傾向があると判定された方は、全体で51.3%となっています。

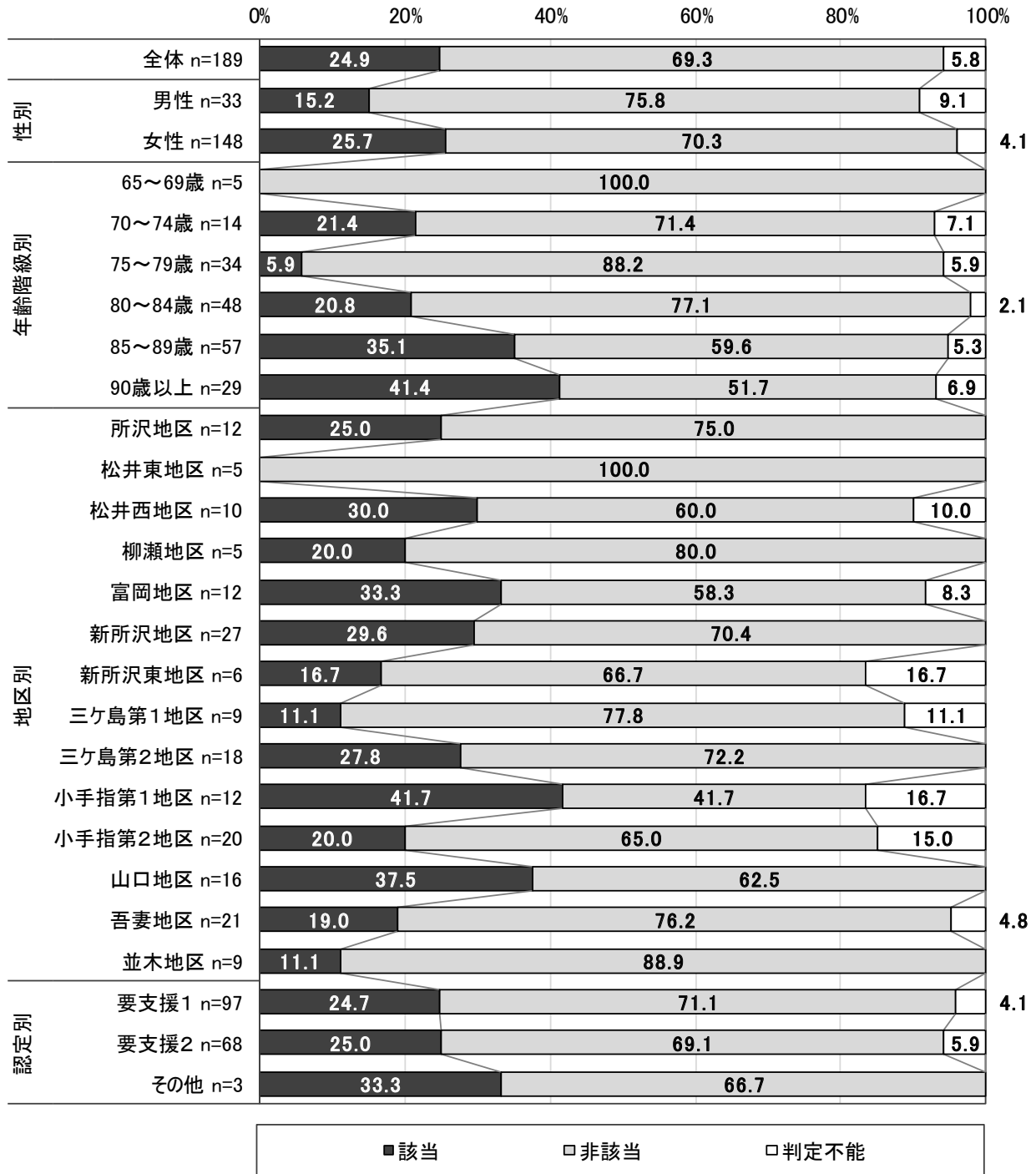
性別では、男性が36.4%、女性が55.4%で、女性が19.0ポイント上回っています。



③閉じこもりの評価結果

閉じこもりについての結果をみると、閉じこもりの傾向がみられると判定された方は、全体で24.9%となっています。

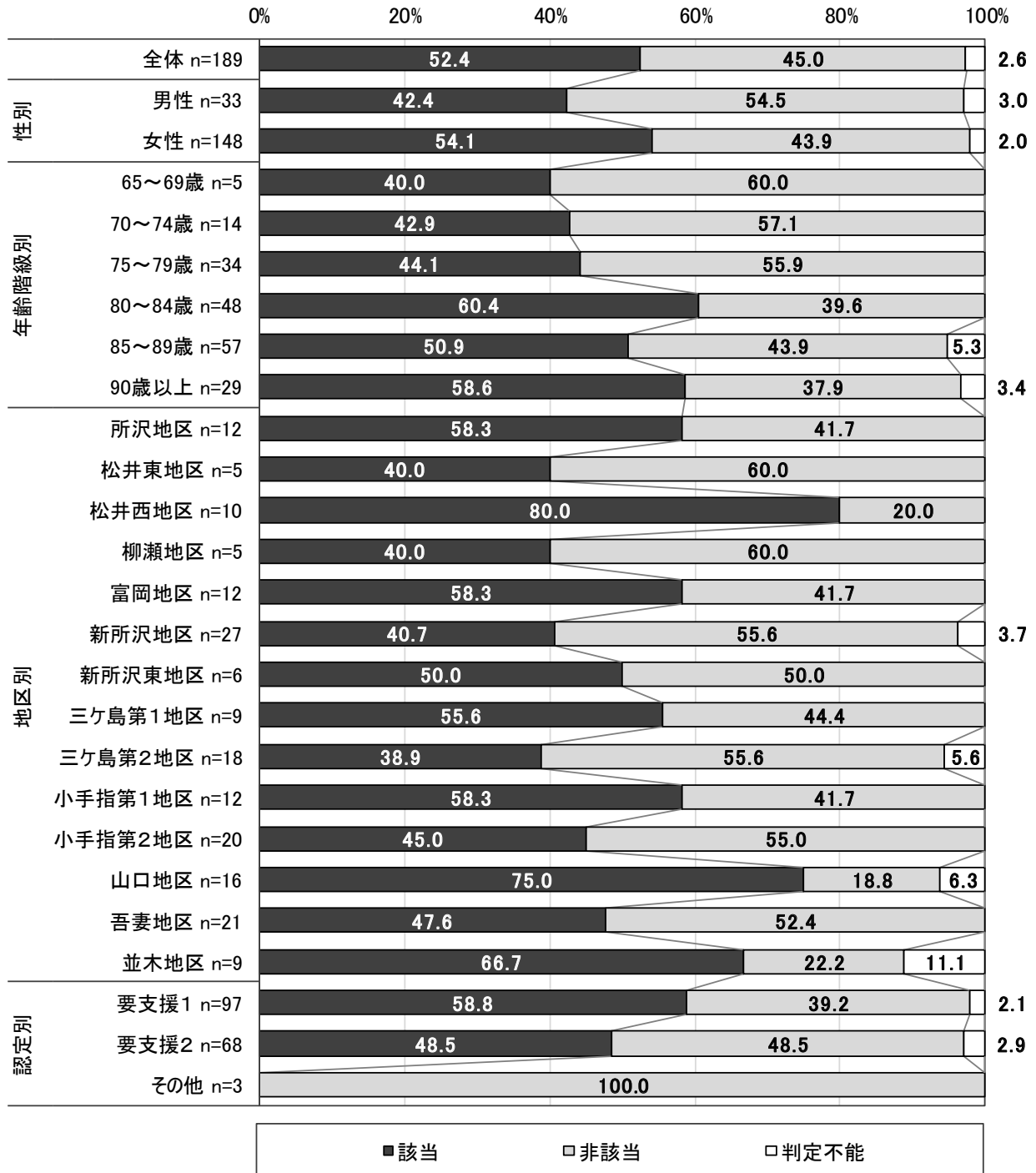
性別では、男性が15.2%、女性が25.7%で、女性が10.5ポイント上回っています。



④認知機能の評価結果

認知機能についての結果をみると、認知機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で52.4%となっています。

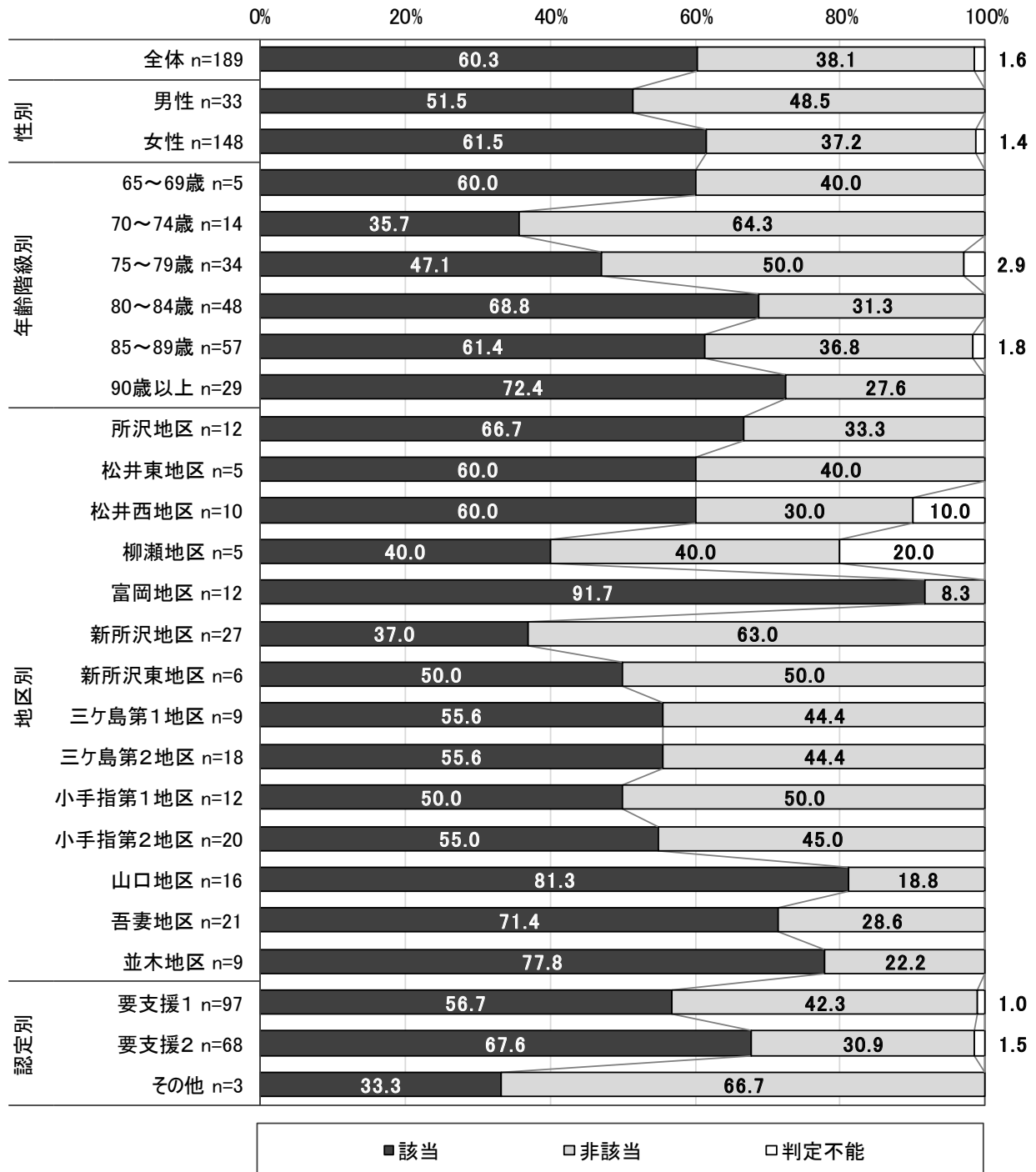
性別では、男性が42.4%、女性が54.1%で、女性が11.7ポイント上回っています。



⑤うつの評価結果

うつについての結果をみると、うつの傾向がみられると判定された方は、全体で60.3%となっています。

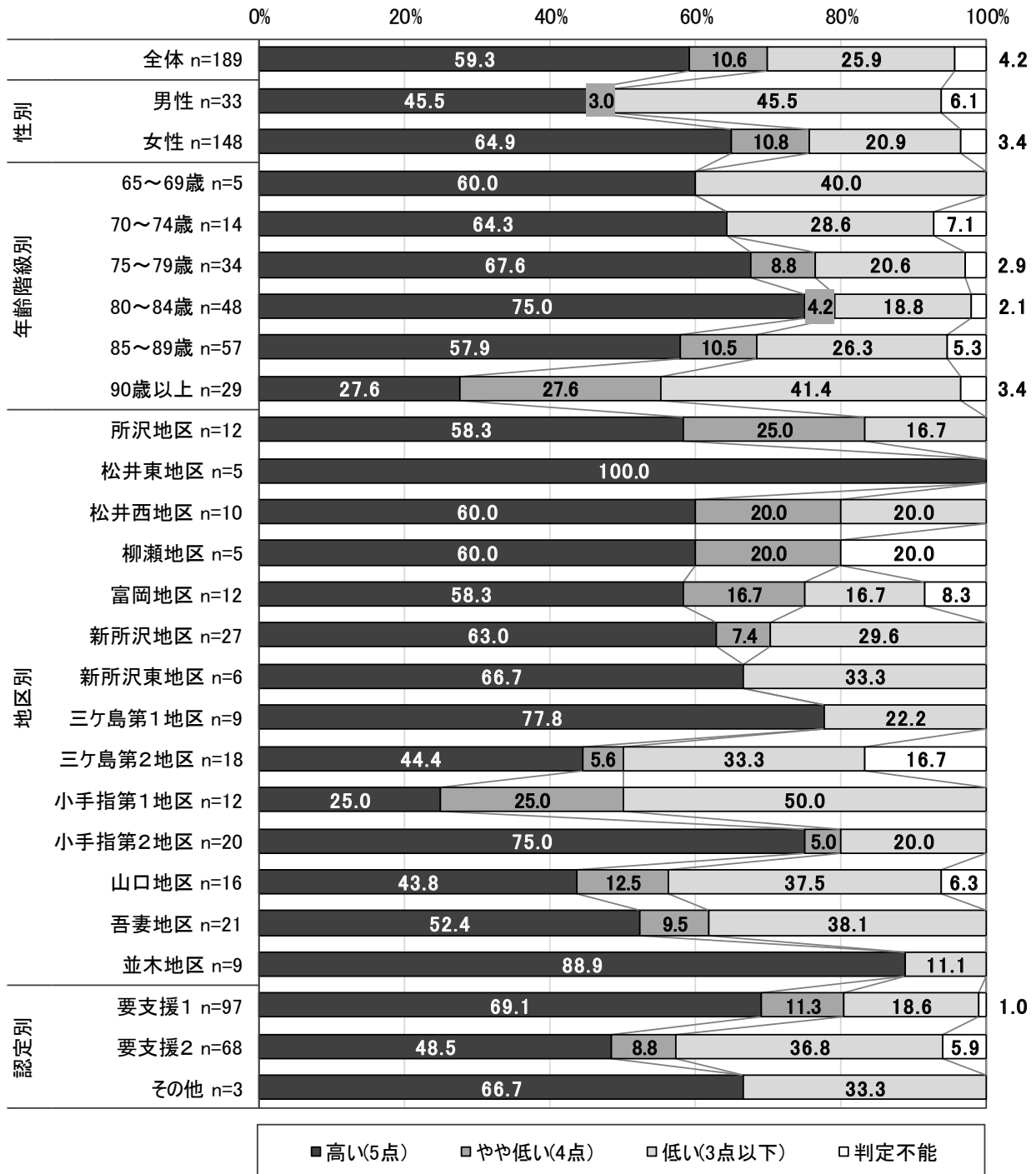
性別では、男性が51.5%、女性が61.5%で、女性が10.0ポイント上回っています。



⑥手段的自立度（IADL）の評価結果

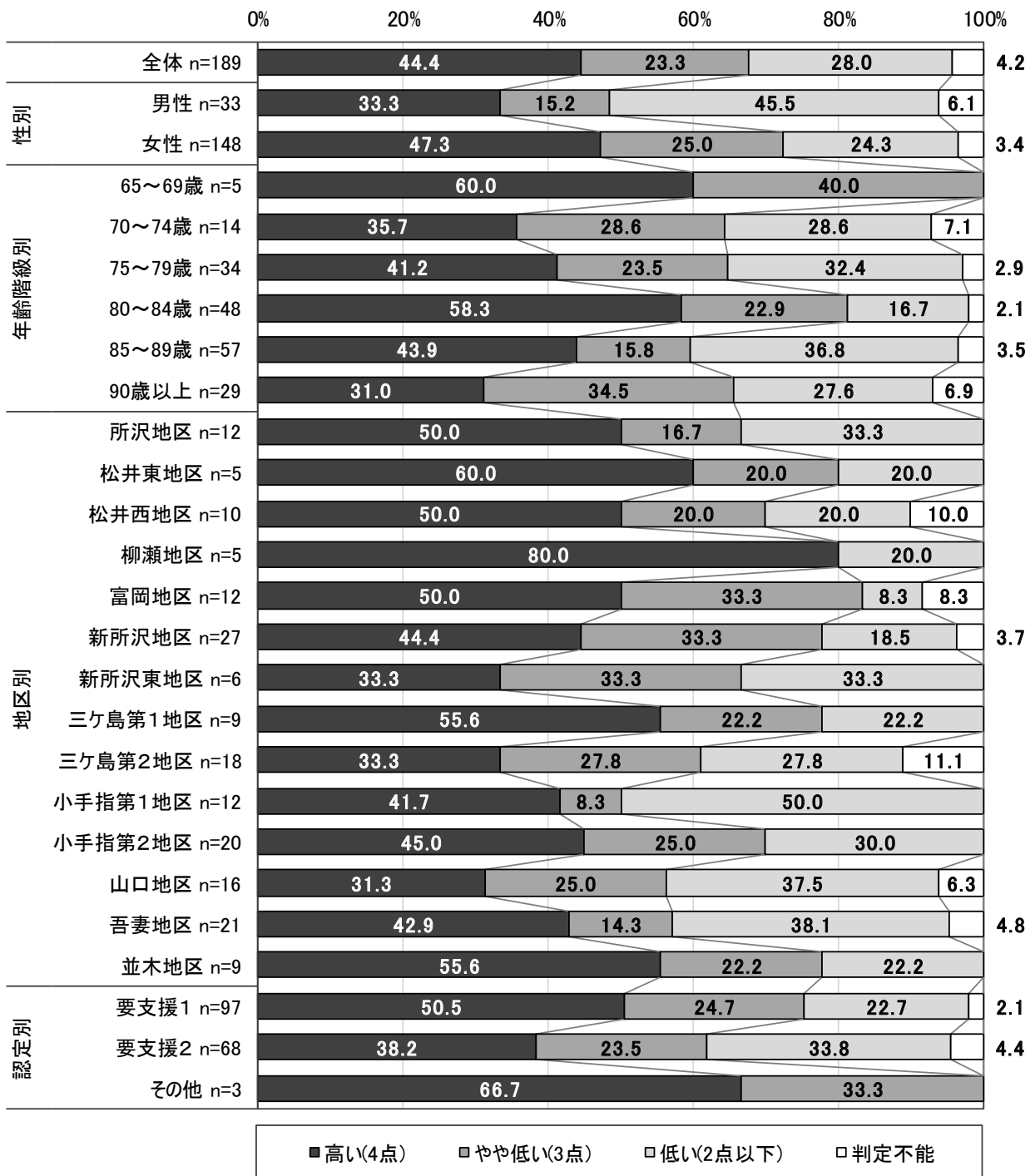
手段的自立度（IADL）についてみると、手段的自立度が「高い」と判定された方は、全体で59.3%となっています。

性別では、男性が45.5%、女性が64.9%と、女性が19.4ポイント上回っています。



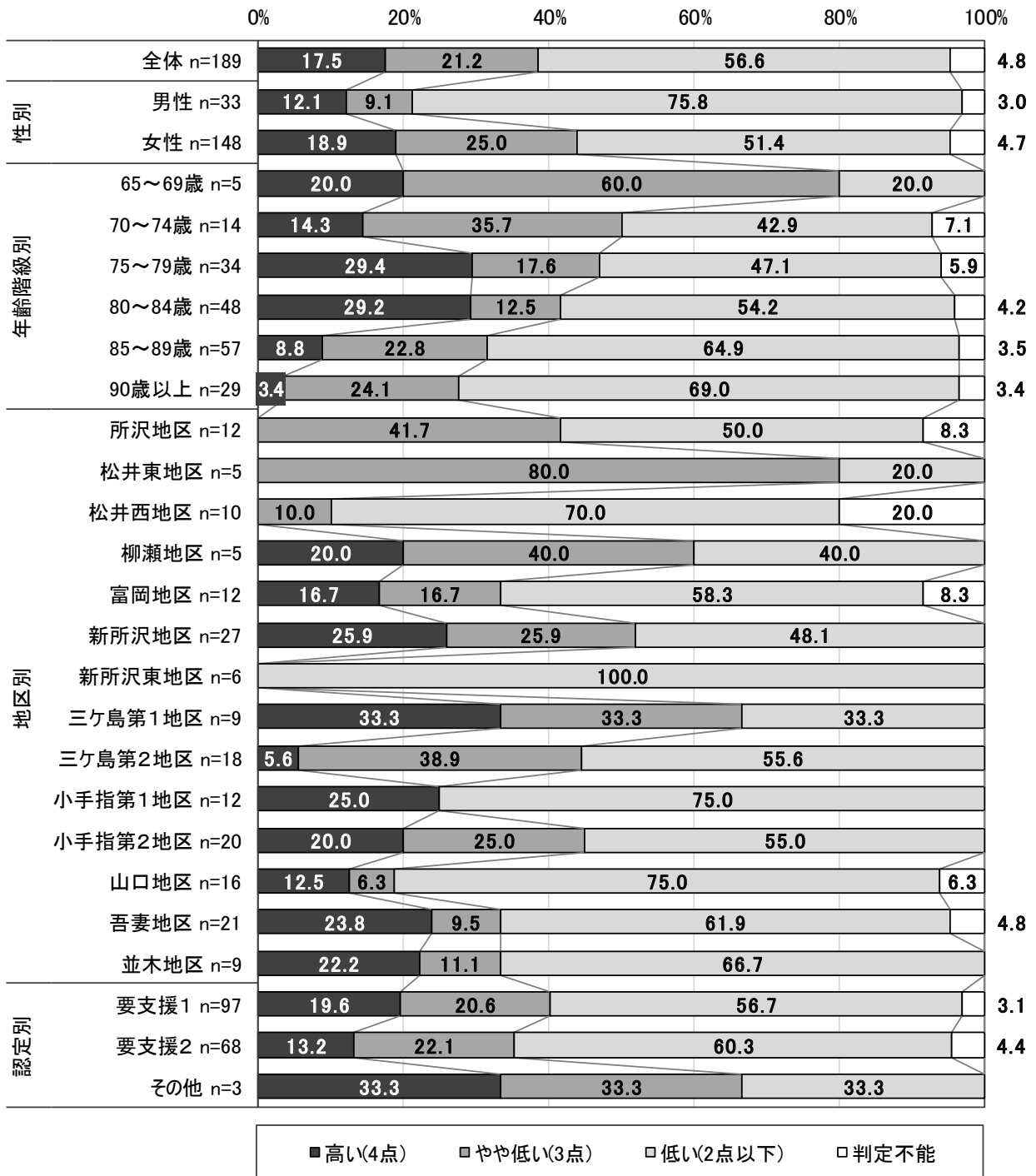
⑦知的能動性の評価結果

知的能動性についてみると、知的能動性が「高い」と判定された方は、全体で44.4%となっています。性別では、男性が33.3%、女性が47.3%と、女性が14.0ポイント上回っています。



⑧社会的役割の評価結果

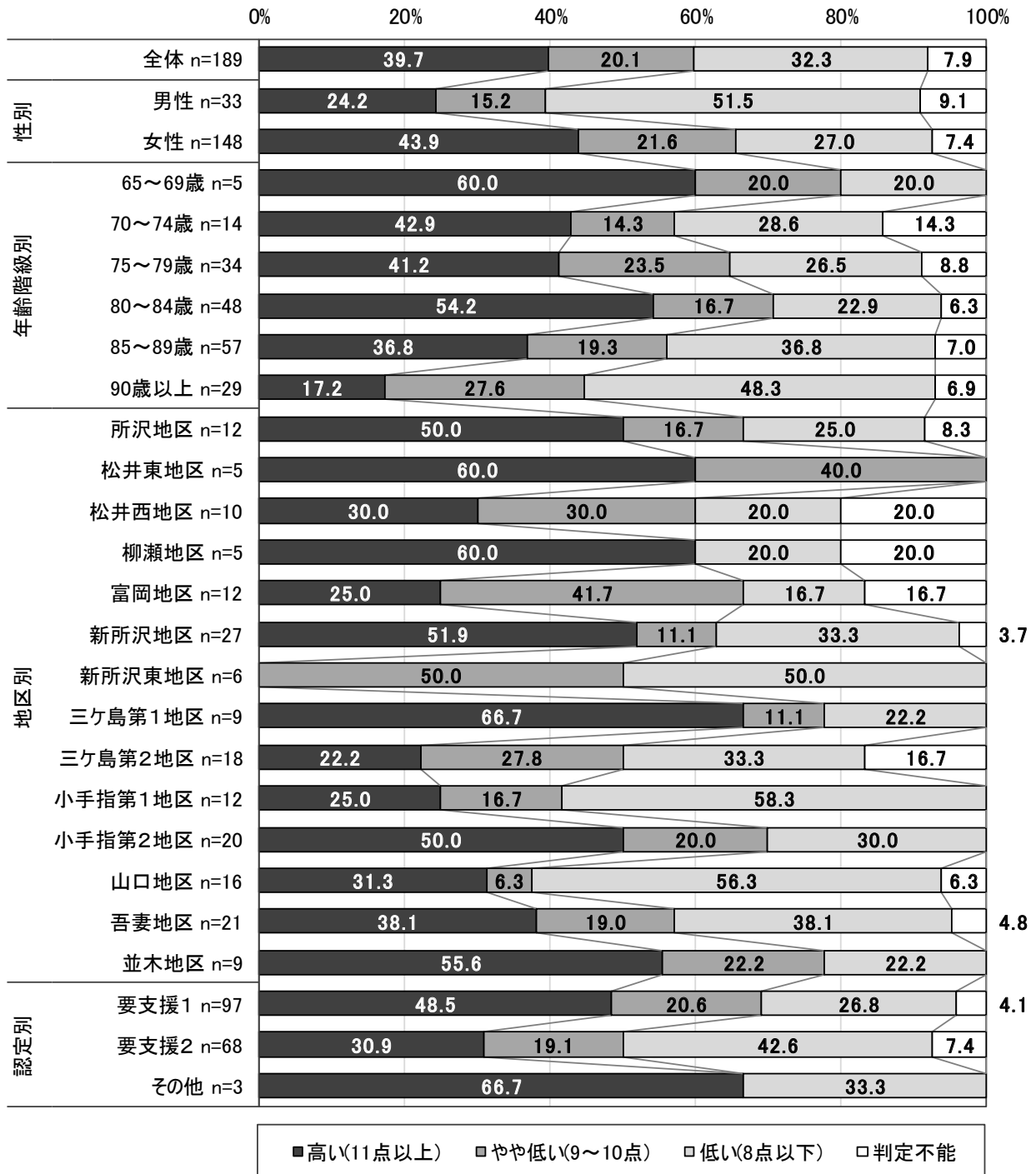
社会的役割についてみると、社会的役割が「高い」と判定された方は、全体で17.5%となっています。性別では、男性が12.1%、女性が18.9%と、女性が6.8ポイント上回っています。



⑨生活機能総合評価結果

生活機能総合評価についてみると、生活機能総合評価が「高い」と判定された方は、全体で39.7%となっています。

性別では、男性が24.2%、女性が43.9%と、女性が19.7ポイント上回っています。



第3章 要支援高齢者 クロス集計でみる傾向

1. 地区別の傾向

①家族構成について

・問3 選択肢：1人暮らし

	1人暮らしの割合が高い傾向にある地区	1人暮らしの割合が低い傾向にある地区
1位	松井西地区	小手指第1地区
2位	所沢地区／富岡地区／新所沢東地区	山口地区
3位	新所沢地区	柳瀬地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
50.0%	40.0%	60.0%	20.0%	50.0%	48.1%	50.0%	33.3%	22.2%	16.7%	35.0%	18.8%	38.1%	44.4%
2	7	1	12	2	5	2	10	11	14	9	13	8	6

②経済状況について

・問6 選択肢：大変苦しい／やや苦しい(合計値)

	経済状況で苦しいと感じている割合が高い傾向にある地区	経済状況で苦しいと感じている割合が低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	松井東地区
2位	所沢地区	小手指第1地区
3位	新所沢東地区／並木地区	山口地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
33.4%	0.0%	20.0%	20.0%	25.0%	25.9%	33.3%	44.4%	27.8%	16.7%	20.0%	18.8%	28.6%	33.3%
2	14	9	9	8	7	3	1	6	13	9	12	5	3

③外出の状況について

・問 15 選択肢：はい（外出を控えている）

	外出を控えている割合が高い傾向にある地区	外出を控えている割合が低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	柳瀬地区
2位	小手指第2地区	三ヶ島第2地区
3位	松井西地区／小手指第1地区	新所沢東地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
41.7%	40.0%	50.0%	20.0%	41.7%	44.4%	33.3%	77.8%	22.2%	50.0%	55.0%	37.5%	38.1%	44.4%
7	9	3	14	7	5	12	1	13	3	2	11	10	5

④外出時の移動手段について

・移動手段別の上位3位（黒の塗りつぶし／白抜き文字）

単位：%

	所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n 値	12	5	10	5	12	27	6	9	18	12	20	16	21	9
徒歩	50.0	80.0	70.0	80.0	41.7	51.9	100.0	66.7	72.2	58.3	60.0	62.5	71.4	44.4
自転車	8.3	20.0	10.0	0.0	8.3	3.7	0.0	44.4	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	22.2
バイク	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	11.1	0.0	8.3	0.0	6.3	0.0	0.0
自動車(自分で運転)	0.0	20.0	0.0	0.0	8.3	7.4	0.0	0.0	11.1	8.3	0.0	0.0	0.0	11.1
自動車(人に乗せてもらう)	0.0	40.0	40.0	40.0	41.7	40.7	33.3	33.3	50.0	58.3	15.0	56.3	33.3	33.3
電車	41.7	20.0	10.0	40.0	16.7	37.0	16.7	22.2	11.1	25.0	40.0	37.5	33.3	55.6
路線バス	16.7	60.0	50.0	40.0	33.3	14.8	0.0	0.0	5.6	16.7	25.0	31.3	28.6	88.9
病院や施設のバス	8.3	40.0	40.0	20.0	25.0	18.5	16.7	11.1	38.9	25.0	25.0	25.0	38.1	55.6
車いす	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0
電動車いす(カート)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
歩行器・シルバーカー	33.3	0.0	20.0	0.0	16.7	18.5	0.0	11.1	22.2	16.7	25.0	18.8	14.3	0.0
タクシー	50.0	40.0	40.0	40.0	50.0	40.7	50.0	11.1	16.7	25.0	35.0	31.3	42.9	44.4
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	0.0	0.0	0.0	5.6	8.3	0.0	0.0	9.5	0.0
無回答	8.3	0.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.6	0.0	10.0	0.0	9.5	0.0

※「バイク」「自動車(自分で運転)」「車いす」「電動車いす(カート)」「その他」については、割合が低いため地区別順位の色付けはしていません。

⑤地域との関係に対する考え方

・問 41 選択肢：かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい

	自分なりに生活していきたいと考える割合が 高い傾向にある地区	自分なりに生活していきたいと考える割合が 低い傾向にある地区
1位	柳瀬地区	
2位	新所沢東地区	
3位	山口地区	

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
0.0%	0.0%	10.0%	20.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%	5.6%	8.3%	0.0%	12.5%	9.5%	0.0%
8	8	4	1	8	8	2	8	7	6	8	3	5	8

⑥健康状態について

・問 47 選択肢：あまりよくない／よくない(合計値)

	健康状態がよくないと感じている割合が 高い傾向にある地区	健康状態がよくないと感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	松井東地区	柳瀬地区
2位	山口地区	松井西地区
3位	三ヶ島第2地区	富岡地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
50.0%	80.0%	40.0%	20.0%	41.7%	44.4%	50.0%	55.5%	61.1%	58.3%	45.0%	68.8%	52.4%	44.4%
7	1	13	14	12	10	7	5	3	4	9	2	6	10

⑦幸福感について

・問 48 選択肢：8点／9点／10点（合計値）

	幸福感を感じている割合が 高い傾向にある地区	幸福感を感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	柳瀬地区／小手指第2地区	三ヶ島第1地区
2位	山口地区	松井東地区
3位	新所沢東地区	吾妻地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
41.7%	20.0%	40.0%	60.0%	25.0%	48.1%	50.0%	11.1%	38.9%	24.9%	60.0%	50.1%	23.8%	33.3%
6	13	7	1	10	5	4	14	8	11	1	3	12	9

⑧介護保険サービス以外での介護予防への取組状況について

・問 57 選択肢：取り組んでいない

	介護保険サービス以外で介護予防へ 取り組んでいない割合が高い傾向にある地区	介護保険サービス以外で介護予防へ 取り組んでいない割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第1地区	
2位	山口地区	
3位	所沢地区／富岡地区／三ヶ島第2地区	

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
16.7%	0.0%	10.0%	0.0%	16.7%	14.8%	0.0%	0.0%	16.7%	25.0%	15.0%	18.8%	14.3%	0.0%
3	10	9	10	3	7	10	10	3	1	6	2	8	10

⑨運動機能について

・運動機能に低下の傾向がみられる割合

	運動機能に低下の傾向がみられる割合が 高い傾向にある地区	運動機能に低下の傾向がみられる割合が 低い傾向にある地区
1位	小手指第1地区	新所沢東地区
2位	三ヶ島第2地区	松井東地区
3位	新所沢地区	柳瀬地区

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
58.3%	20.0%	50.0%	40.0%	50.0%	59.3%	16.7%	55.6%	61.1%	83.3%	50.0%	43.8%	52.4%	44.4%
4	13	7	12	7	3	14	5	2	1	7	11	6	10

⑩手段的自立度 (IADL) について

・手段的自立度 (IADL) が高い割合

	手段的自立度 (IADL) の高い割合が 高い傾向にある地区	手段的自立度 (IADL) の高い割合が 低い傾向にある地区
1位	松井東地区	小手指第1地区
2位	並木地区	山口地区
3位	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
58.3%	100.0%	60.0%	60.0%	58.3%	63.0%	66.7%	77.8%	44.4%	25.0%	75.0%	43.8%	52.4%	88.9%
9	1	7	7	9	6	5	3	12	14	4	13	11	2

⑪生活機能総合評価について

・生活機能総合評価が高い割合

	生活機能総合評価の高いの割合が 高い傾向にある地区	生活機能総合評価の高いの割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	新所沢東地区
2位	松井東地区／柳瀬地区	三ヶ島第2地区
3位	並木地区	富岡地区／小手指第1地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=12	n=5	n=10	n=5	n=12	n=27	n=6	n=9	n=18	n=12	n=20	n=16	n=21	n=9
50.0%	60.0%	30.0%	60.0%	25.0%	51.9%	0.0%	66.7%	22.2%	25.0%	50.0%	31.3%	38.1%	55.6%
6	2	10	2	11	5	14	1	13	11	6	9	8	4

2. 個別クロス集計の結果

①今後希望する社会参加×年齢（前期高齢者・後期高齢者）

今後希望する社会参加については、前期高齢者は後期高齢者に比べて、「ボランティアグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「趣味関係のグループ」「学習・教養サークル」「収入のある仕事」の割合が高くなっています。一方で、後期高齢者は前期高齢者に比べて、「介護予防のための通いの場」「長生クラブ」「町内会・自治会」の割合が高くなっています。

また、「特に何もしたくない」は、前期高齢者、後期高齢者ともに約4割となっています。

	前期高齢者 n=19	後期高齢者 n=168
ボランティアのグループ	15.8%	4.2%
スポーツ関係のグループやクラブ	15.8%	7.7%
趣味関係のグループ	31.6%	19.6%
学習・教養サークル	15.8%	6.0%
介護予防のための通いの場	10.5%	17.3%
長生クラブ	5.3%	7.7%
町内会・自治会	0.0%	3.6%
収入のある仕事	5.3%	1.2%
特に何もしたくない	42.1%	38.7%
無回答	5.3%	20.8%

②外出頻度×外出する際の移動手段

外出頻度による外出する際の移動手段については、外出頻度が多いほど、「徒歩」「電車」の割合が高い傾向にあります。

また、ほとんど外出しない、週1回では、「自動車（人に乗せてもらう）」の割合が、他の区分に比べて高くなっている。

	ほとんど外出しない n=17	週1回 n=30	週2～4回 n=98	週5回以上 n=33
徒歩	41.2%	33.3%	72.4%	72.7%
自転車	5.9%	0.0%	7.1%	15.2%
バイク	0.0%	3.3%	2.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	0.0%	0.0%	2.0%	18.2%
自動車(人に乗せてもらう)	47.1%	56.7%	33.7%	24.2%
電車	11.8%	20.0%	31.6%	48.5%
路線バス	11.8%	16.7%	31.6%	24.2%
病院や施設のバス	17.6%	16.7%	31.6%	21.2%
車いす	5.9%	0.0%	1.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	17.6%	30.0%	17.3%	3.0%
タクシー	29.4%	36.7%	37.8%	33.3%
その他	0.0%	3.3%	2.0%	6.1%
無回答	5.9%	0.0%	2.0%	6.1%

③主な外出先×外出する際の移動手段

主な外出先への移動手段について回答者が多い項目をみると、「買い物をする場所」では、『徒歩』が66.0%で最も高く、次いで『電車』が41.5%、『自動車（人に乗せてもらう）』『路線バス』がともに34.0%となっています。

「病院、診療所」では、『徒歩』が63.6%で最も高く、次いで『タクシー』が46.6%、『自動車（人に乗せてもらう）』が37.5%となっています。

「デイサービスなどの通所施設」では、『徒歩』が63.9%で最も高く、次いで『自動車（人に乗せてもらう）』が45.9%、『タクシー』が44.3%となっています。

	買い物をする場所 n=106	会合・サークル 活動・学習のた めの施設 n=30	体操等、地域の 通いの場 n=16	病院、診療所 n=88	飲食店 n=9
徒歩	66.0%	80.0%	93.8%	63.6%	66.7%
自転車	9.4%	13.3%	18.8%	6.8%	11.1%
バイク	1.9%	6.7%	0.0%	0.0%	11.1%
自動車(自分で運転)	5.7%	3.3%	6.3%	4.5%	11.1%
自動車(人に乗せてもらう)	34.0%	46.7%	43.8%	37.5%	44.4%
電車	41.5%	56.7%	43.8%	31.8%	66.7%
路線バス	34.0%	50.0%	37.5%	29.5%	33.3%
病院や施設のバス	27.4%	30.0%	25.0%	28.4%	33.3%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	16.0%	10.0%	0.0%	21.6%	11.1%
タクシー	36.8%	36.7%	25.0%	46.6%	55.6%
その他	4.7%	0.0%	0.0%	3.4%	11.1%
無回答	2.8%	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%

※主な外出先で「行楽地、観光地」、「入浴施設」については、該当する回答者はいませんでした。

	公園、遊歩道 n=14	家族・親戚や友人・知人の家 n=9	文化・娯楽施設 n=3	スポーツ施設 n=7	宗教的な施設・場所 n=3
徒歩	78.6%	77.8%	66.7%	85.7%	33.3%
自転車	7.1%	0.0%	0.0%	28.6%	33.3%
バイク	7.1%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
自動車(自分で運転)	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(人に乗せてもらう)	28.6%	66.7%	0.0%	28.6%	33.3%
電車	28.6%	22.2%	66.7%	28.6%	0.0%
路線バス	35.7%	0.0%	0.0%	14.3%	0.0%
病院や施設のバス	7.1%	22.2%	0.0%	14.3%	0.0%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	7.1%	11.1%	0.0%	0.0%	0.0%
タクシー	28.6%	44.4%	0.0%	0.0%	33.3%
その他	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%

	農園 n=2	職場 n=3	デイサービスな どの通所施設 n=61	その他 n=12
徒歩	100.0%	100.0%	63.9%	66.7%
自転車	0.0%	33.3%	1.6%	16.7%
バイク	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
自動車(自分で運転)	0.0%	33.3%	0.0%	16.7%
自動車(人に乗せてもらう)	100.0%	0.0%	45.9%	25.0%
電車	50.0%	100.0%	27.9%	41.7%
路線バス	50.0%	0.0%	29.5%	25.0%
病院や施設のバス	50.0%	0.0%	39.3%	25.0%
車いす	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.0%	27.9%	8.3%
タクシー	0.0%	0.0%	44.3%	41.7%
その他	0.0%	33.3%	1.6%	8.3%
無回答	0.0%	0.0%	3.3%	8.3%

④生活機能総合評価／介護度×地域活動へ参加者として参加する意向

生活機能総合評価による地域活動への参加意向については、生活機能総合評価が高い方は、地域活動へ参加者として「参加してもよい」の割合が高い傾向にあります。

また、生活機能総合評価の低い方は、地域活動へ参加者として「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。

介護度別にみると、要支援1の方のほうが、地域活動へ参加者として「参加してもよい」の割合が高い傾向にあります。

	高い n=75	やや低い n=38	低い n=61	判定不能 n=15
是非参加したい	10.7%	5.3%	4.9%	13.3%
参加してもよい	57.3%	26.3%	26.2%	26.7%
参加したくない	20.0%	50.0%	60.7%	26.7%
既に参加している	4.0%	7.9%	0.0%	0.0%
無回答	8.0%	10.5%	8.2%	33.3%

	要支援1 n=97	要支援2 n=68	その他 n=3
是非参加したい	10.3%	5.9%	0.0%
参加してもよい	47.4%	29.4%	66.7%
参加したくない	30.9%	51.5%	33.3%
既に参加している	6.2%	0.0%	0.0%
無回答	5.2%	13.2%	0.0%

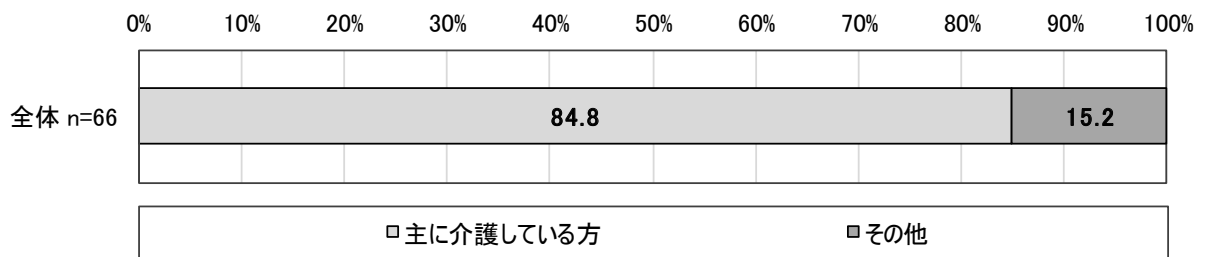
第4章 要支援高齢者(介護者) 調査結果

本調査は、調査対象者を介護している方の生活状況などを把握するために設けられた調査項目となります。

調査結果については、各設問にご回答いただいた方を母数として構成比を算出しています。

1. 調査票を記入される方について

調査票を記入される方については、「主に介護している方」が84.8%、「その他」が15.2%となっています。



2. 介護をしている方について

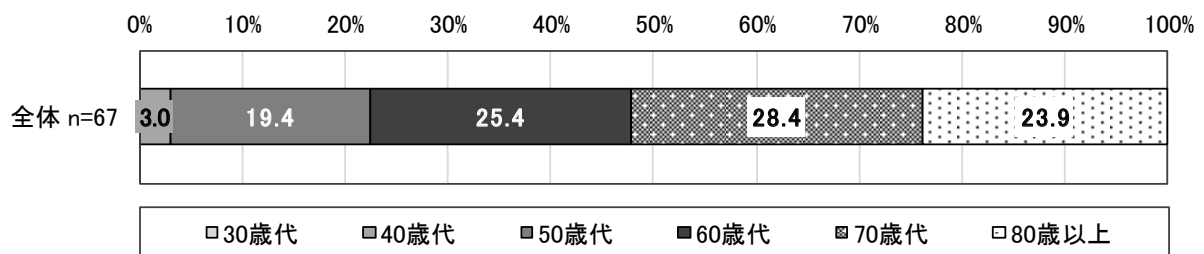
「2. 介護をしている方について」は、回答者の属性、介護の期間、介護者の要介護認定状況を把握するための項目となっています。

問1. 以下は主に介護をしている方についてお答えください。(令和2年1月1日現在) ★

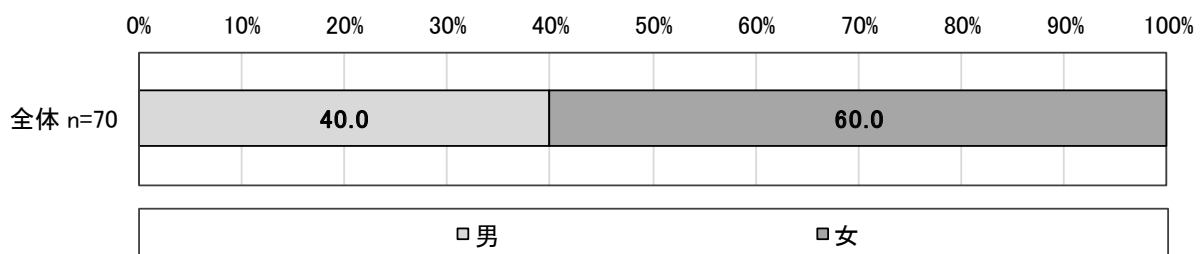
年齢については、「70歳代」が28.4%で最も高く、次いで「60歳代」が25.4%、「80歳以上」が23.9%となっています。

性別については、「男」が40.0%、「女」が60.0%となっています。

【年齢】

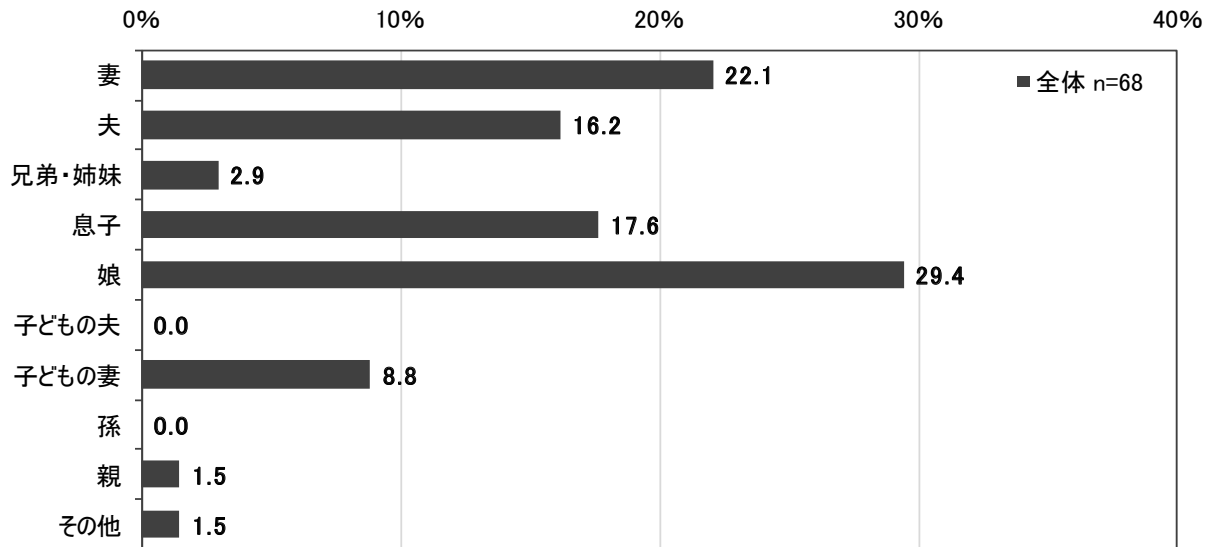


【性別】



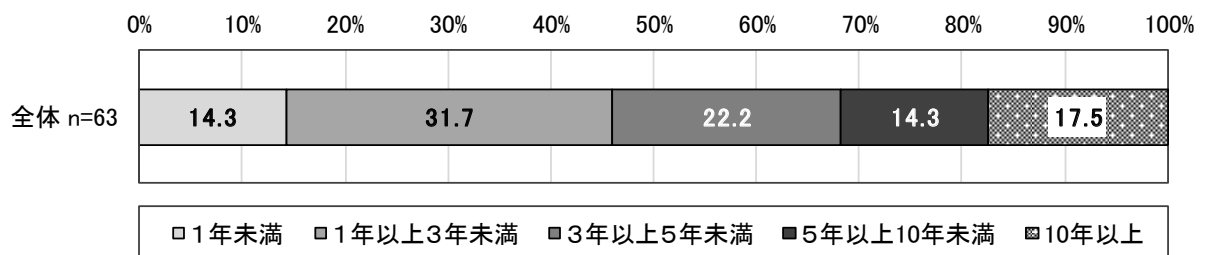
問2. 介護を受けている方からみたあなたの続柄をお答えください。(回答は1つ)

介護を受けている方からみたあなたの続柄については、「娘」が29.4%で最も高く、次いで「妻」が22.1%、「息子」が17.6%となっています。



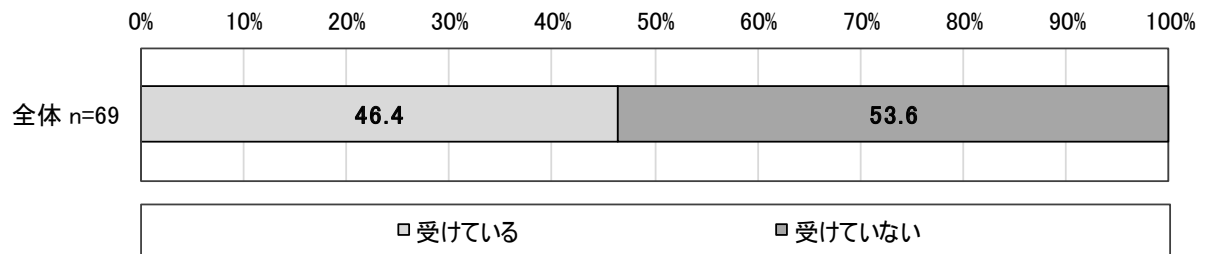
問3. どのくらいの期間、介護をしていますか。(回答は1つ)

介護をしている期間については、「1年以上3年未満」が31.7%で最も高く、次いで「3年以上5年未満」が22.2%、「10年以上」が17.5%となっています。



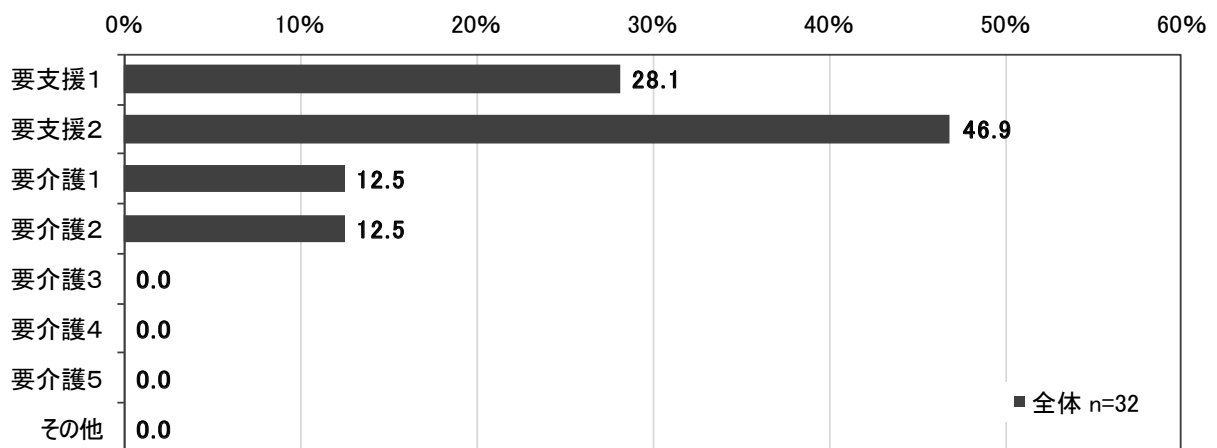
問4. あなた（介護している方）は、要介護認定を受けていますか。（回答は1つ）

介護認定の状況については、「受けている」が46.4%、「受けていない」が53.6%で、「受けていない」が7.2ポイント上回っています。



**問4-1. 【問4で「受けている」と回答した方におたずねします。】
あなた（介護している方）の要介護度についてお答えください。（回答は1つ）**

要介護度については、「要支援2」が46.9%で最も高く、次いで「要支援1」が28.1%、「要介護1」「要介護2」がともに12.5%となっています。

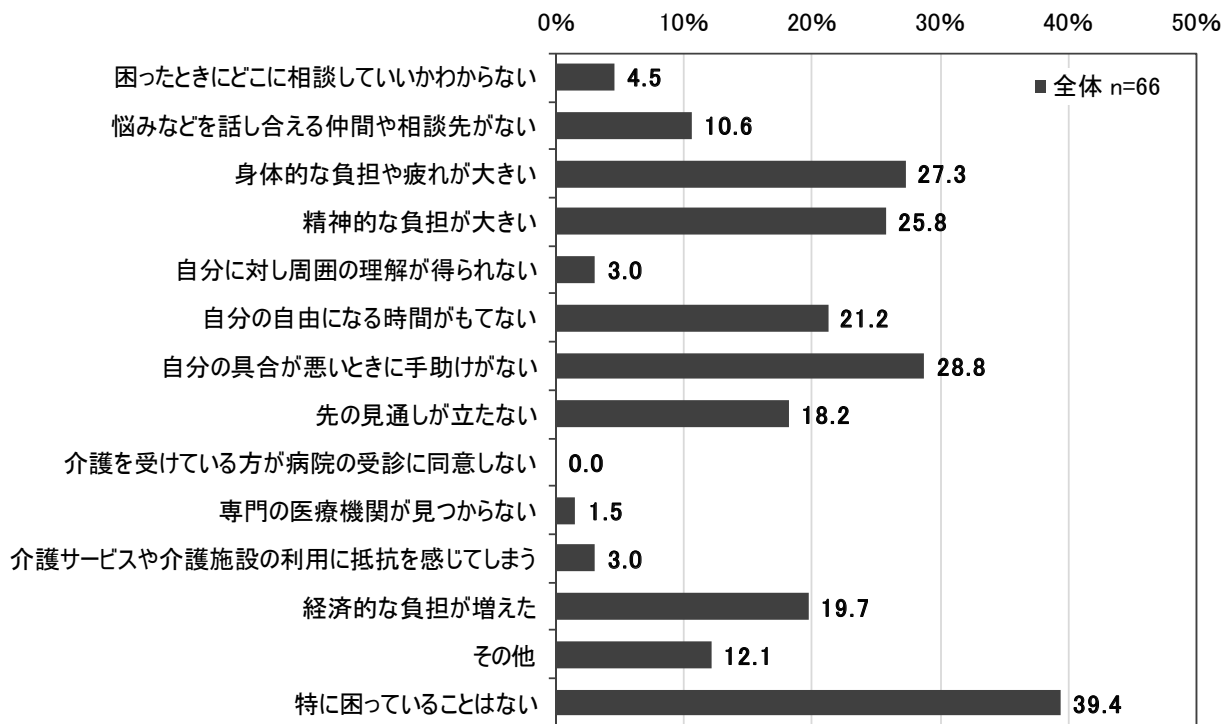


3. 主に介護している方の生活状況について

「3. 主に介護している方の生活状況について」は、介護をするうえで困っていること、介護に対する相談相手、今後の生活で心配なこと、現在の生活を継続するうえで不安に感じることに、介護への負担感、介護を行ううえでの必要な支援、家族会への参加状況等を把握するための項目となっています。

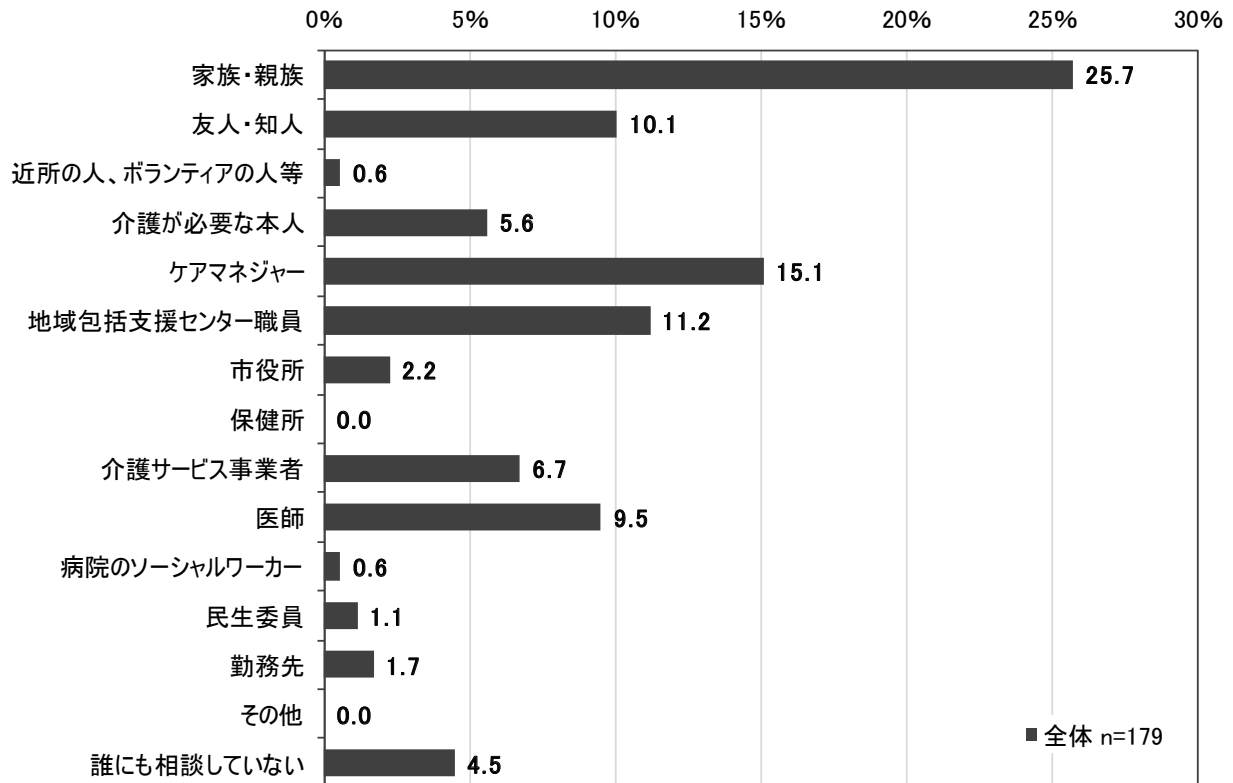
問5. 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護をするうえで困っていることについては、「特に困っていることはない」が39.4%で最も高く、次いで「自分の具合が悪いときに手助けがない」が28.8%、「身体的な負担や疲れが大きい」が27.3%となっています。



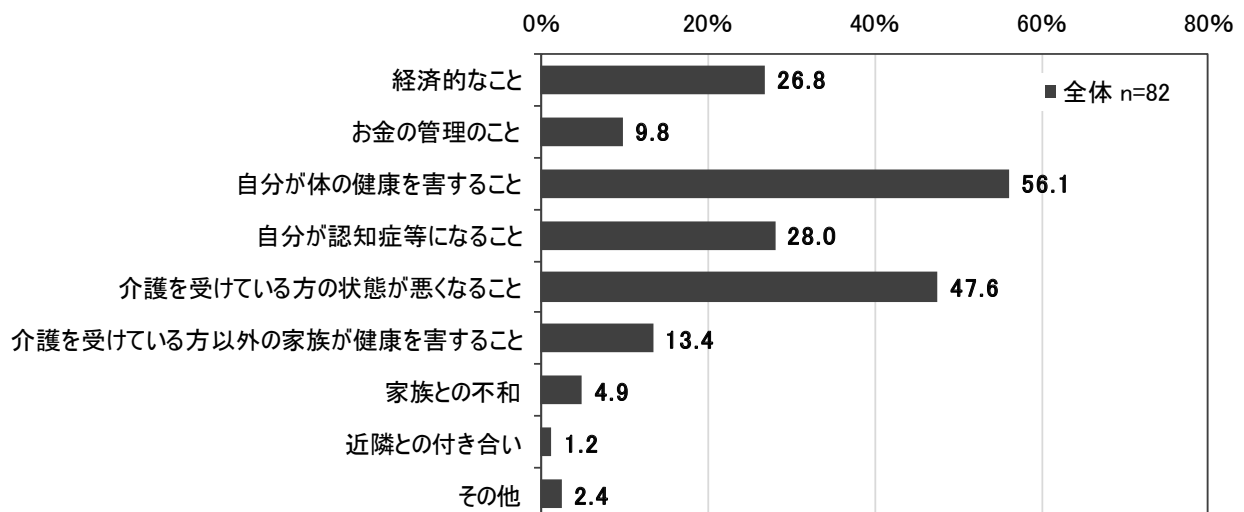
問6. あなたは、介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護の相談相手については、「家族・親族」が25.7%で最も高く、次いで「ケアマネジャー」が15.1%、「地域包括支援センター職員」が11.2%となっています。



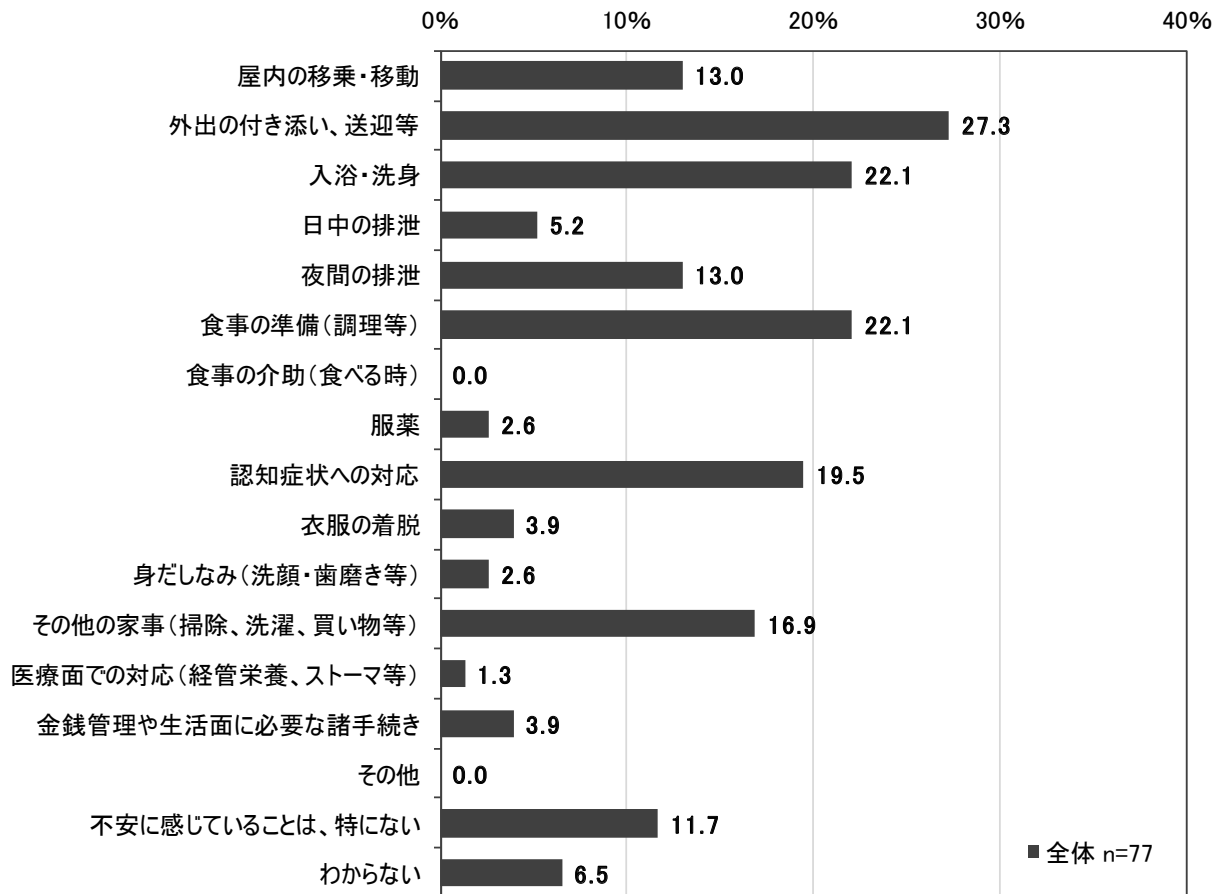
問7. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分が体の健康を害すること」が56.1%で最も高く、次いで「介護を受けている方の状態が悪くなること」が47.6%、「自分が認知症等になること」が28.0%となっています。



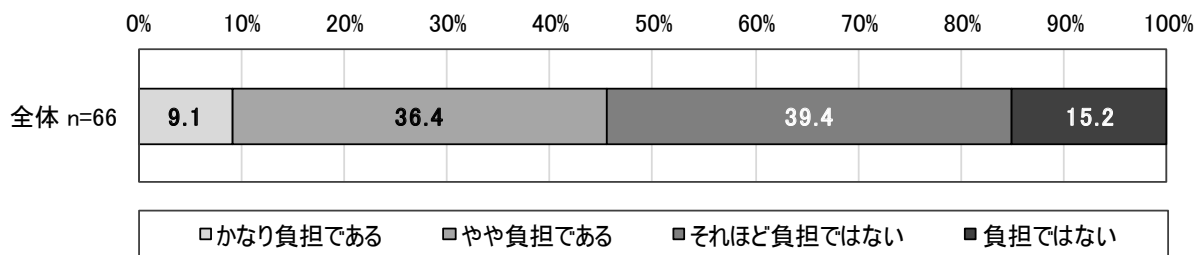
問 8. 現在の生活を継続していくにあたって、不安を感じる介護等についてお答えください。
(回答は3つまで) ★

現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等については、「外出の付き添い、送迎等」が27.3%で最も高く、次いで「入浴・洗身」「食事の準備（調理等）」がともに22.1%、「認知症状への対応」が19.5%となっています。



問 9. あなたが感じている介護の負担感はどの程度ですか。(回答は1つ)

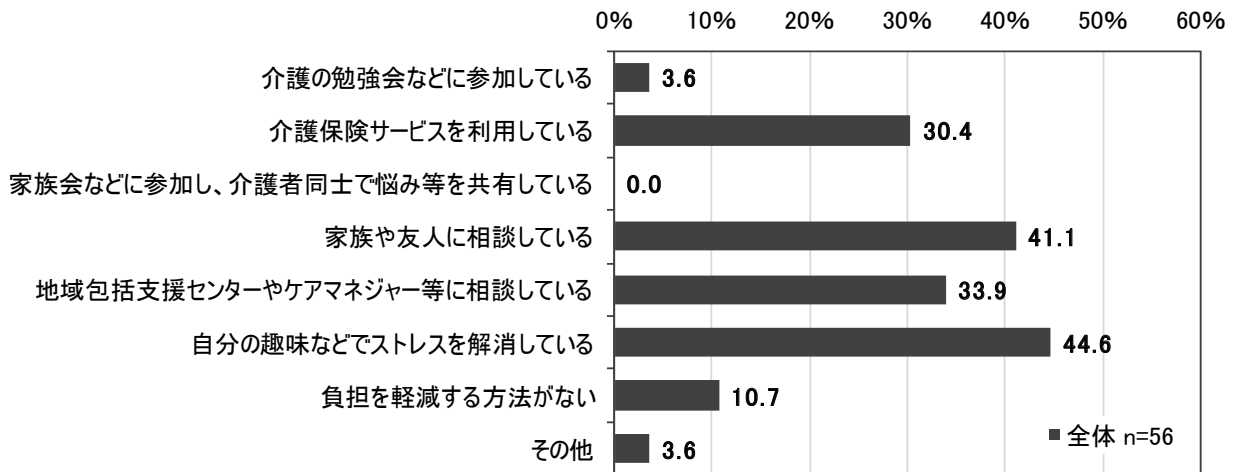
介護の負担感については、「それほど負担ではない」が39.4%で最も高く、次いで「やや負担である」が36.4%、「負担ではない」が15.2%となっています。



問9-1.【問9で「かなり負担である」、「やや負担である」、「それほど負担ではない」と回答した方におたずねします。】

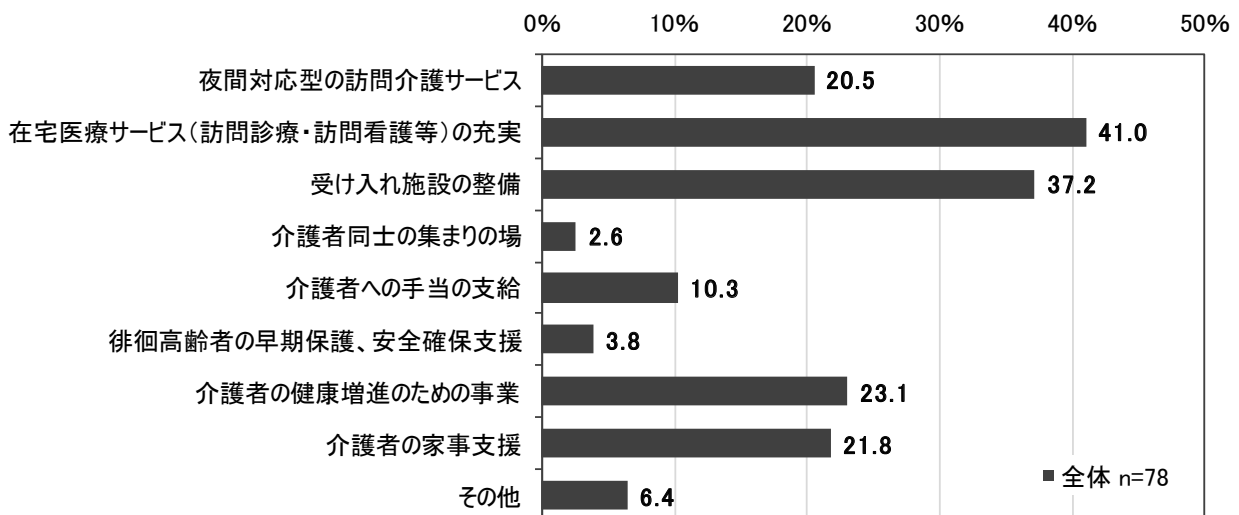
介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

介護の負担を軽減するための取組については、「自分の趣味などでストレスを解消している」が44.6%で最も高く、次いで「家族や友人に相談している」が41.1%、「地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している」が33.9%となっています。



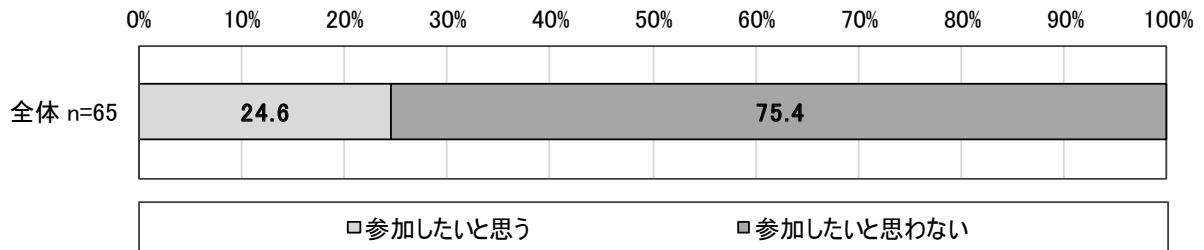
問10. 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思いますか。(回答は3つまで)

介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思うかについては、「在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護等）の充実」が41.0%で最も高く、次いで「受け入れ施設の整備」が37.2%、「介護者の健康増進のための事業」が23.1%となっています。



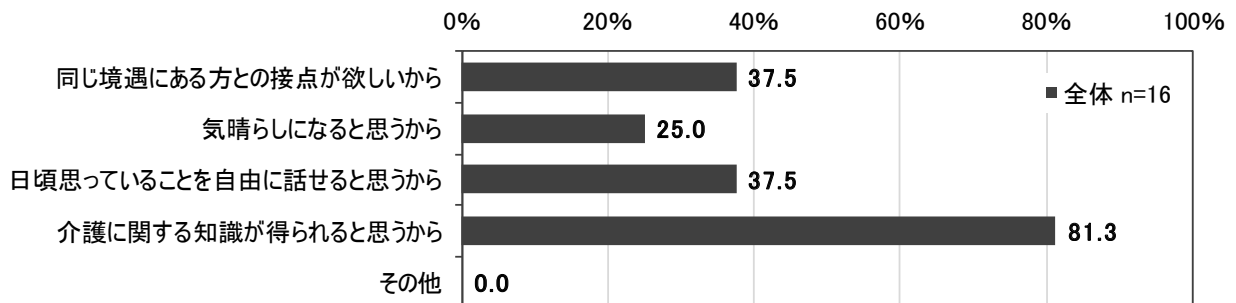
問 11. 家族会など（介護者の集いや認知症カフェなど）、同じ立場の人たちの集まりに参加したいと思いますか。（回答は1つ）

家族会などへの参加意向については、「参加したいと思う」が 24.6%、「参加したいと思わない」が 75.4%で、「参加したいと思わない」が 50.8 ポイント上回っています。



**問 11-1. 【問 11 で「参加したいと思う」と回答した方におたずねします。】
参加したいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）**

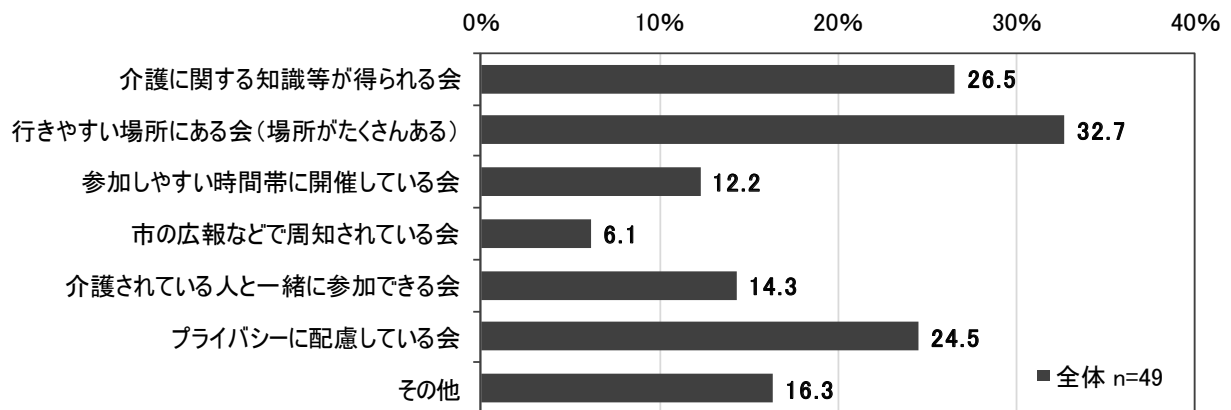
参加したいと思う理由については、「介護に関する知識が得られると思うから」が 81.3%で最も高く、次いで「同じ境遇にある方との接点が欲しいから」「日頃思っていることを自由に話せると思うから」がともに 37.5%、「気晴らしになると思うから」が 25.0%となっています。



問 11-2.【問 11 で「参加したいと思わない」と回答した方におたずねします。】

どのような会であれば参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに回答)

どのような会であれば参加したいと思うかについては、「行きやすい場所にある会（場所がたくさんある）」が 32.7%で最も高く、次いで「介護に関する知識等が得られる会」が 26.5%、「プライバシーに配慮している会」が 24.5%となっています。

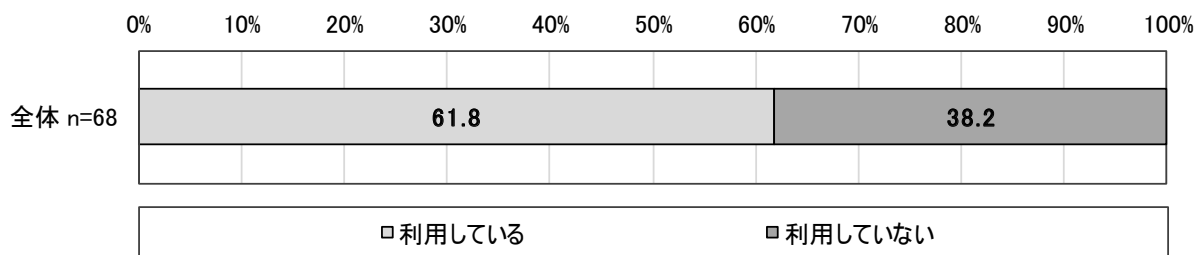


4. 介護保険サービスについて

「4. 介護保険サービスについて」は、介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスを利用した結果による状況、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス、今後の介護に対する考え方、終末期に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 12. 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ) ★

介護を受けている方の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が61.8%、「利用していない」が38.2%で、「利用している」が23.6ポイント上回っています。

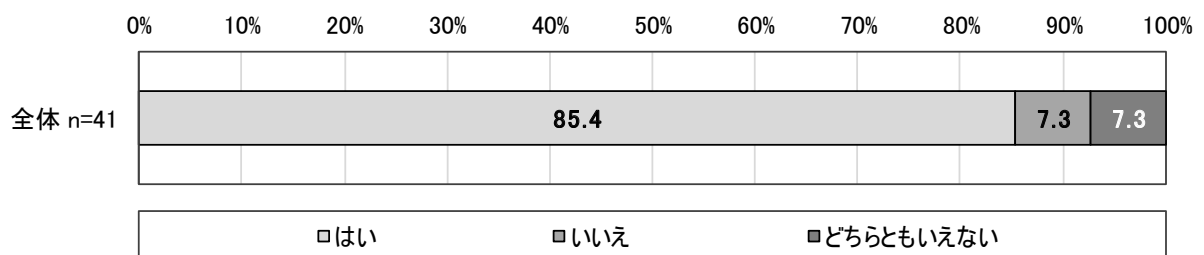


問 12-1. 【問 12で「利用している」と回答した方におたずねします。】

介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(回答はそれぞれの項目で1つ)

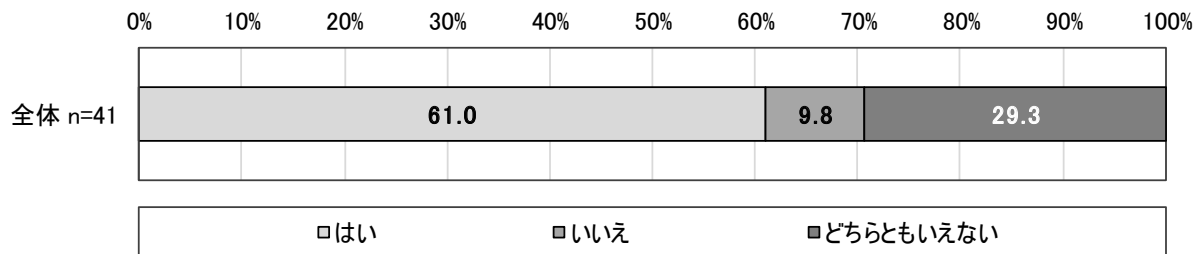
①サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が85.4%で最も高く、次いで「いいえ」「どちらともいえない」がともに7.3%となっています。



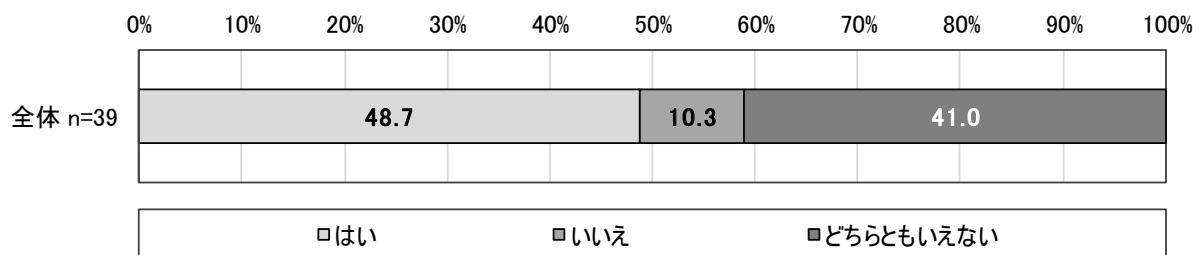
②介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思うかについては、「はい」が61.0%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が29.3%、「いいえ」が9.8%となっています。



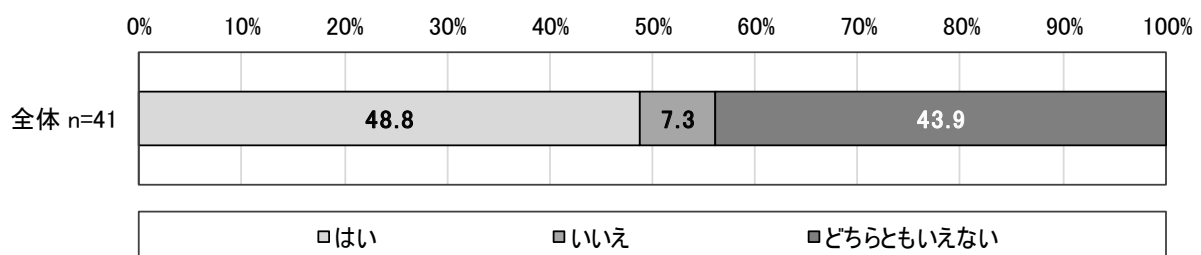
③介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思うかについては、「はい」が48.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が41.0%、「いいえ」が10.3%となっています。



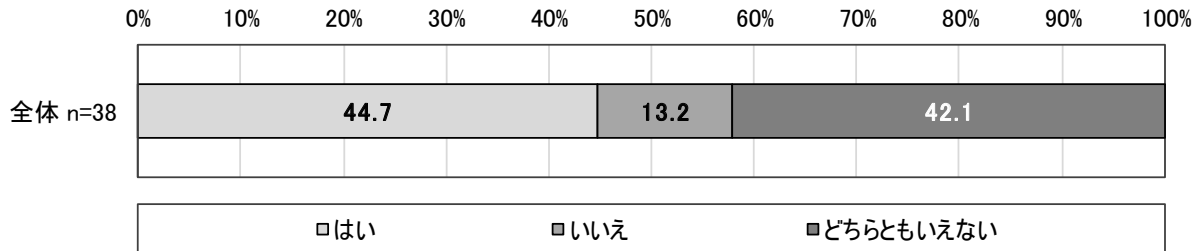
④介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか

介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善したかについては、「はい」が48.8%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が43.9%、「いいえ」が7.3%となっています。



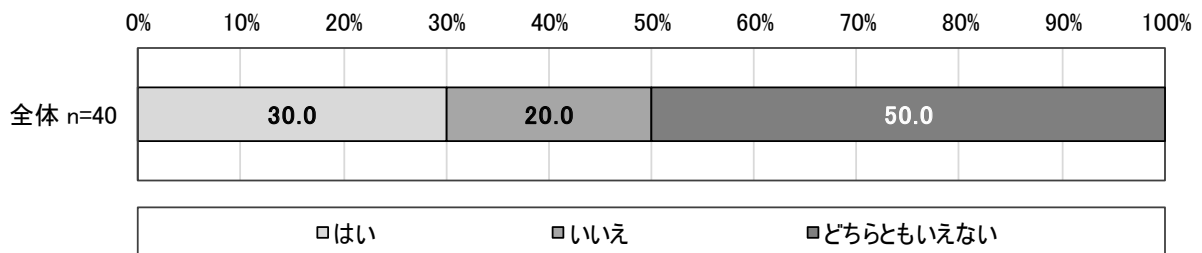
⑤介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか

介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減ったかについては、「はい」が44.7%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が42.1%、「いいえ」が13.2%となっています。



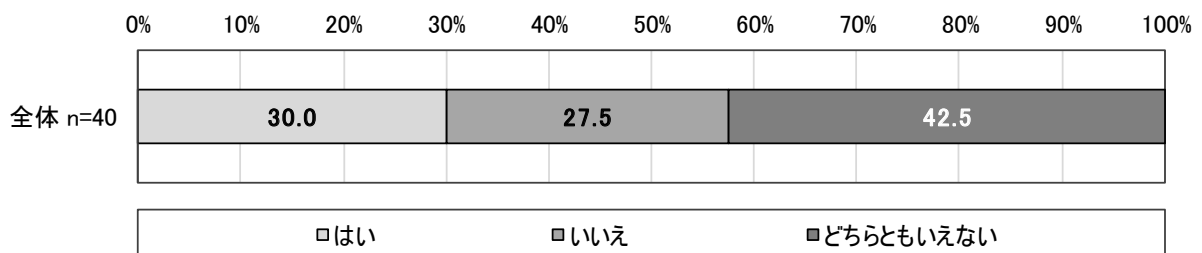
⑥仕事や家事と両立できるようになったと思いますか

仕事や家事と両立できるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が50.0%で最も高く、次いで「はい」が30.0%、「いいえ」が20.0%となっています。



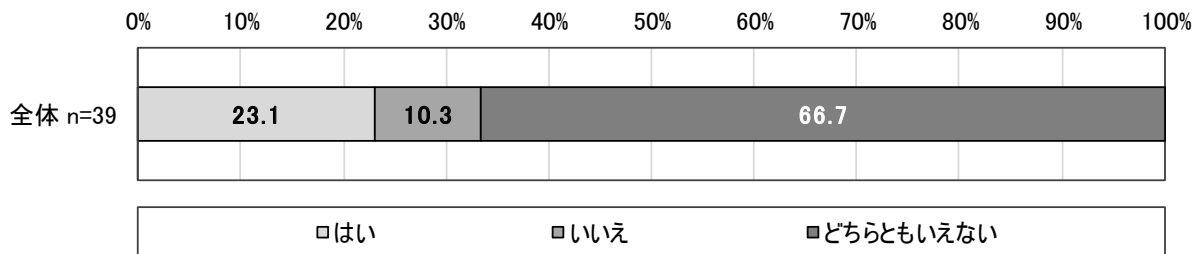
⑦外出する機会が増えたと思いますか

外出する機会が増えたと思うかについては、「どちらともいえない」が42.5%で最も高く、次いで「はい」が30.0%、「いいえ」が27.5%となっています。



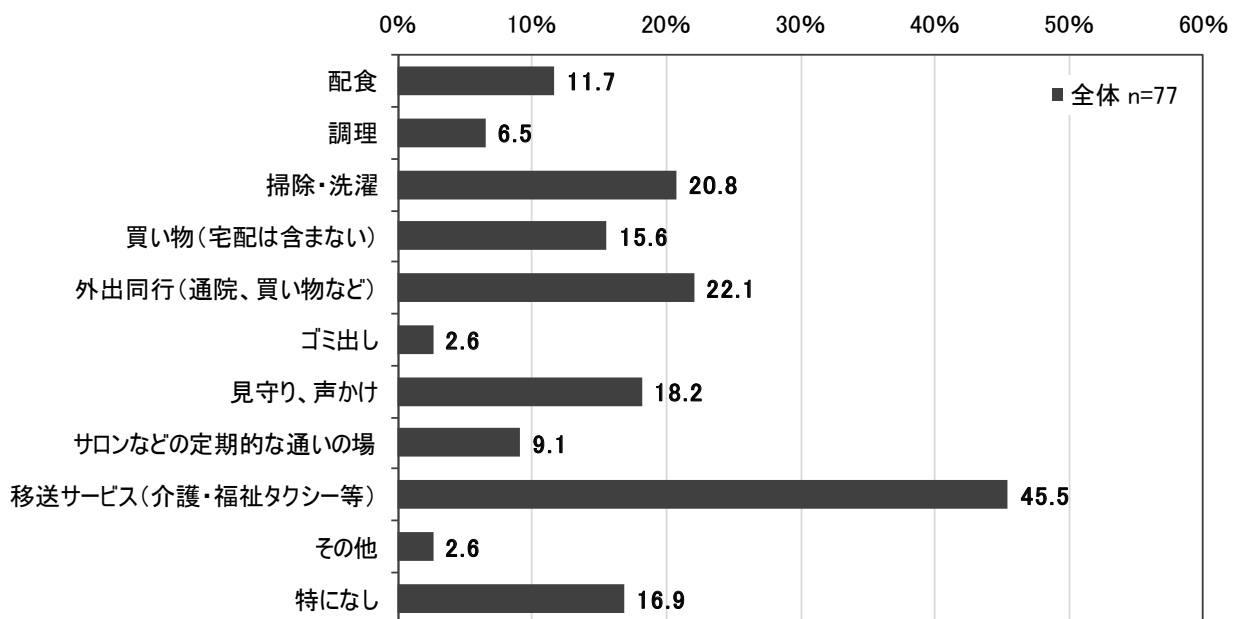
⑧介護の方法がわかるようになったと思いますか

介護の方法がわかるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が66.7%で最も高く、次いで「はい」が23.1%、「いいえ」が10.3%となっています。



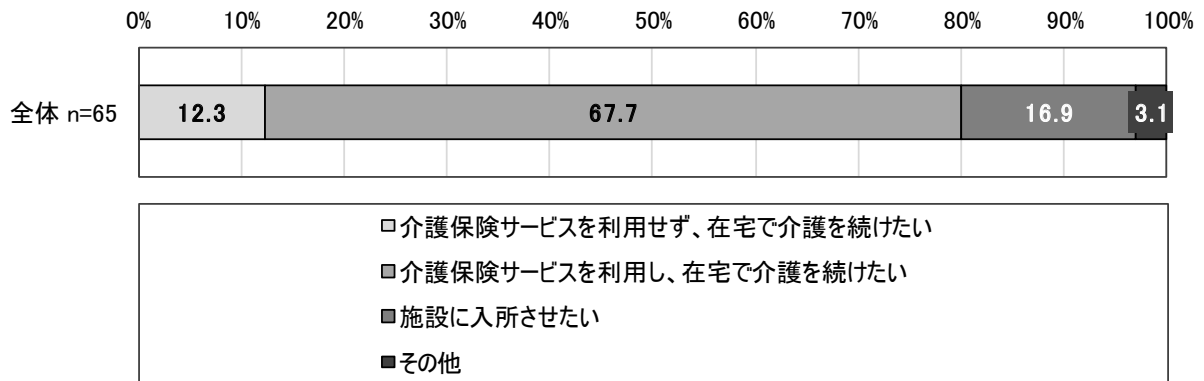
問 13. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで） ★

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が45.5%で最も高く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が22.1%、「掃除・洗濯」が20.8%となっています。



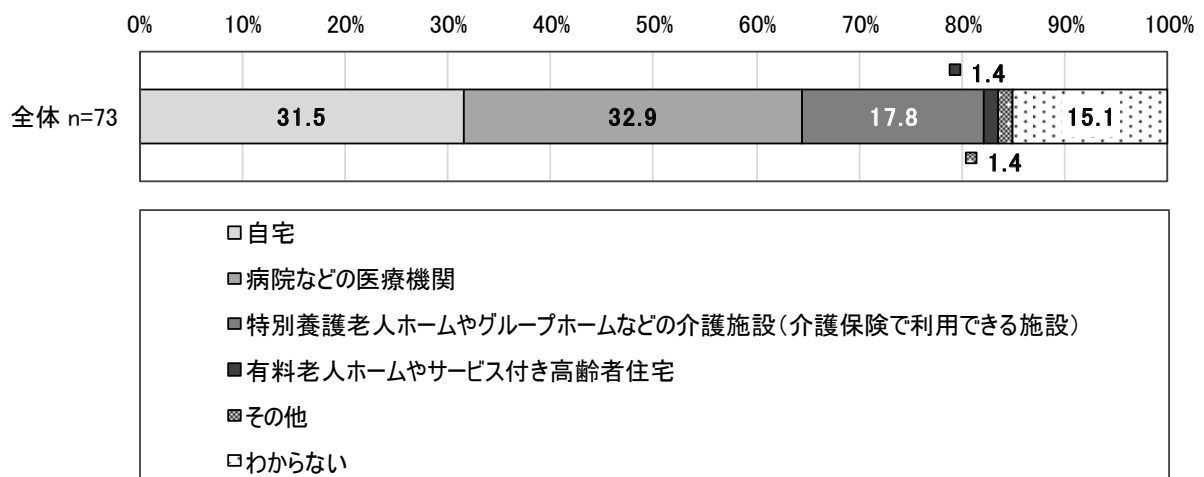
問 14. 今後の介護について、お考えをお答えください。(回答は1つ)

今後の介護についての考えについては、「介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたい」が 67.7%で最も高く、次いで「施設に入所させたい」が 16.9%、「介護保険サービスを利用せず、在宅で介護を続けたい」が 12.3%となっています。



問 15. ご家族が終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）を迎えたときに過ごしてほしい場所はどこですか。(回答は1つ)

家族が終末期を迎えたときに過ごしてほしい場所については、「病院などの医療機関」が 32.9%で最も高く、次いで「自宅」が 31.5%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が 17.8%となっています。

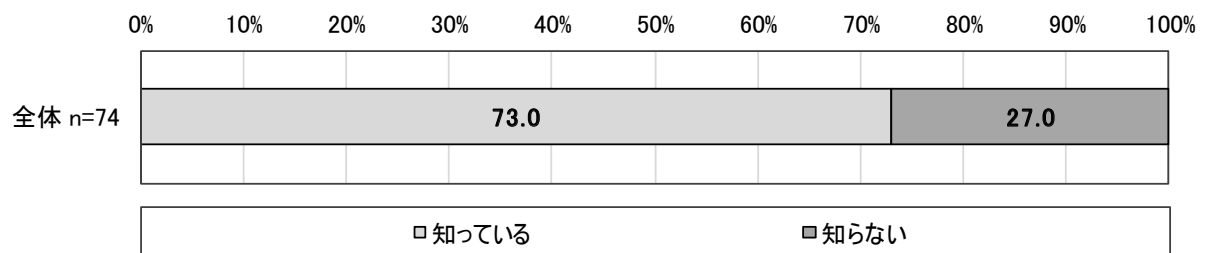


5. 市の施策・事業について

「5. 市の施策・事業について」は、成年後見制度の認知度、避難行動要支援者支援事業の認知度、市の独自制度に対する意向、介護保険施設への意向、高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要なサービスを把握するための項目となっています。

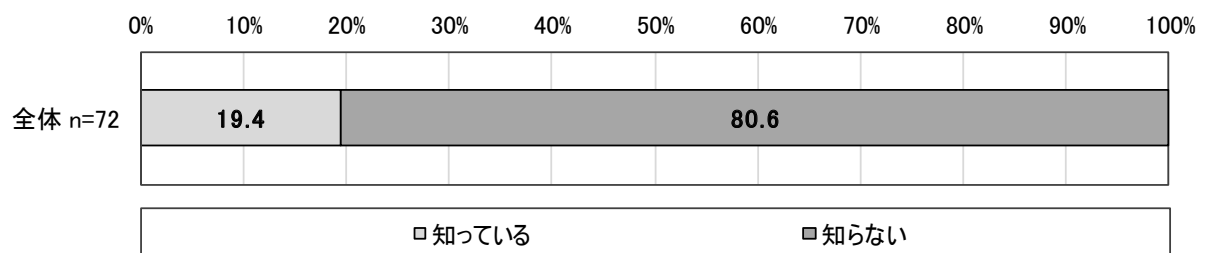
問 16. あなたは、「成年後見制度」をご存知ですか。(回答は1つ)

成年後見制度の認知度については、「知っている」が73.0%、「知らない」が27.0%で、「知っている」が46.0ポイント上回っています。



問 17. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。 あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が19.4%、「知らない」が80.6%で、「知らない」が61.2ポイント上回っています。

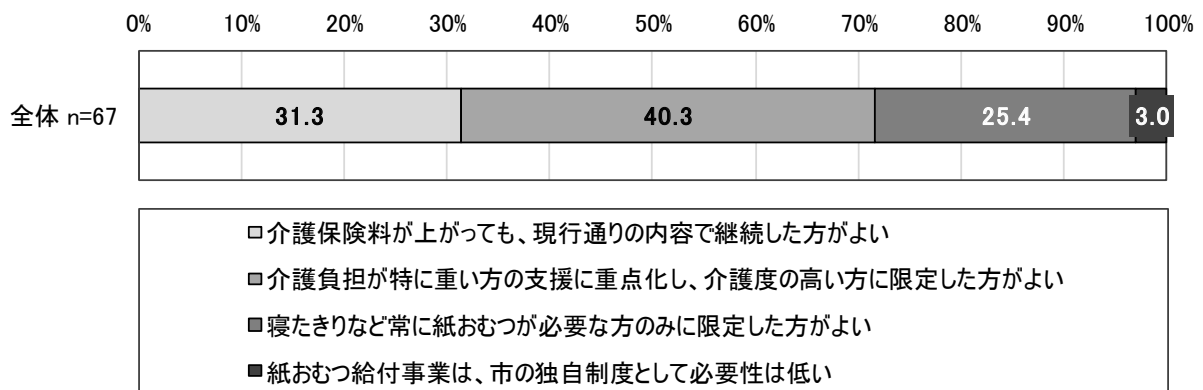


問 18. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。

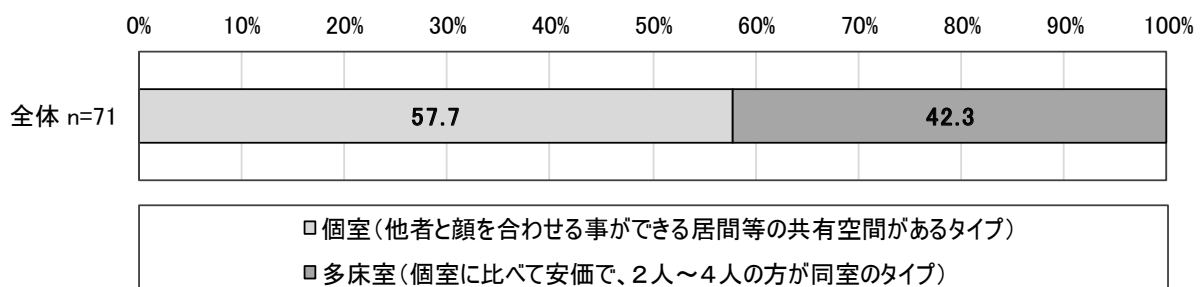
今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい」が40.3%で最も高く、次いで「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が31.3%、「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が25.4%となっています。



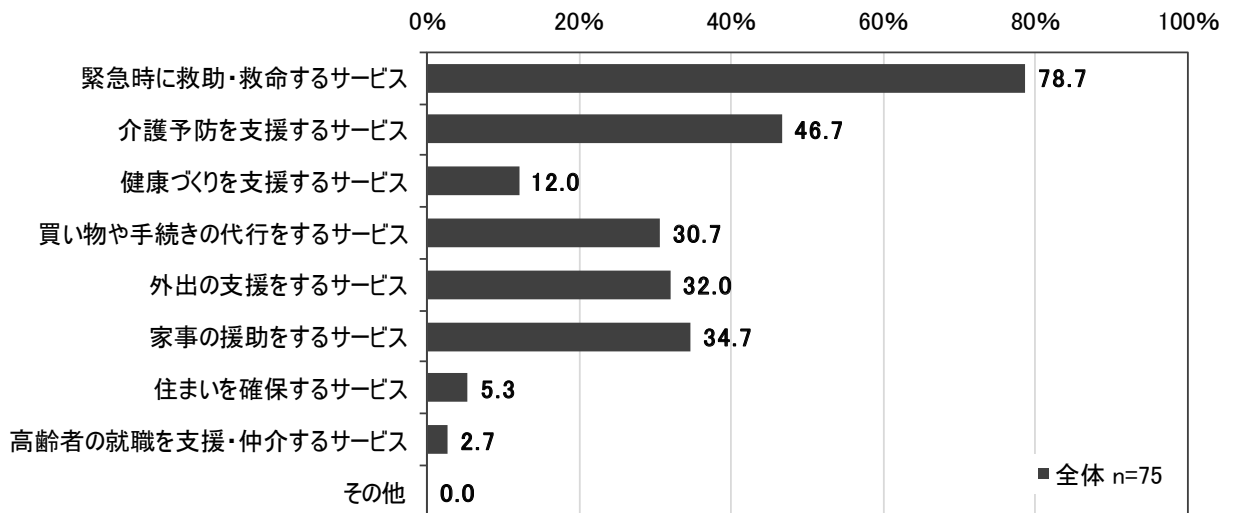
問 19. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。（回答は1つ）

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が57.7%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が42.3%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が15.4ポイント上回っています。



問 20. 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。（回答は3つまで）

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、「緊急時に救助・救命するサービス」が78.7%で最も高く、次いで「介護予防を支援するサービス」が46.7%、「家事の援助をするサービス」が34.7%となっています。



第5章 要支援高齢者 調査結果のまとめ

【1. 本人について】

回答者の構成において、年齢階級では、後期高齢者の割合が 88.9%と非常に高い状況であります。性別では、男性が 17.5%、女性が 78.3%と、女性からの回答が多い状況であります。介護度では、要支援 1 が 51.3%、要支援 2 が 36.0%と、要支援 1 からの回答が多い状況であります。

【2. 家族や生活状況について】

家族構成においては、1人暮らしの割合は 37.0%と約 3人に1人の割合となっています。普段の生活において、現在、何らかの介護を受けているのは 40.2%と、約 4割の方が日常生活を送るために介護を受けており、主に介護をしている方は、介護サービスのヘルパーが上位に挙げられています。

介護者が行っている介護等は、その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）、外出の付き添い、送迎等、食事の準備（料理等）が上位に挙げられており、介護を必要とする方が日常生活を送るうえで欠かせない支援の割合が高い状況であります。

介護・介助が必要となった主な原因では、高齢による衰弱、骨折・転倒による項目が上位に挙げられており、身体機能の低下により引き起こされる原因が高い傾向にあります。

家族や親族から介護を受けている頻度では、ほぼ毎日あるが 21.1%と、約 5人に1人は毎日の介護が必要な状況となっています。

経済状況では、苦しい（大変苦しい、やや苦しい）と感じている割合は 26.5%と約 4人に1人の割合となっています。

普段の生活において、紙おむつの利用状況をみると、利用していない方が約 6割と紙おむつの利用傾向は低くなっていますが、念のため使用していると回答している方も少数みられる状況であります。

【3. からだを動かすことについて】

日常生活状況から判定する運動器の評価では、全体の 52.4%が該当者と判定され、約 2人に1人が該当している状況であります。また、閉じこもりの傾向をみる評価では、全体の 24.9%が該当者と判定され、約 4人に1人が該当している状況であります。

週に 1回以上外出している方の主な外出先は、買い物をする場所、病院、診療所、デイサービスなどの通所施設、会合・サークル活動・学習のための施設の割合が高く、その他の項目に対する回答は少数となっていることから、外出先が限定的になっている方もいる状況がみられます。

現在、外出を控えていると回答した方の外出を控えている理由については、身体的な理由である足腰などの痛みが約 6割という結果が出ており、外出をする上で、自身の身体機能が維持されていることが重要であるということがうかがえます。また、トイレの心配（失禁など）についても約 2割と、外出時の軽失禁への対策も外出をする上で重要であることがうかがえます。

外出をする際の主な移動手段は、徒歩が約 6割となっていますが、自動車（人に乗せてもらう）、病院や施設のバス、タクシーなど、誰かに付き添われ移動する手段の割合が高くなる傾向がみられます。

【4. 食べることについて】

自身の身長と体重から肥満度を図る指数であるBMIでは、肥満と判定される「BMI=25.0以上」の割合は16.4%と約6人に1人の状況であります。

だれかと食事をする機会においては、日常的に機会（毎日ある、週に何度かある）がある割合は、47.7%と高い結果となっている一方で、機会が少ない（年に何度かある、ほとんどない）は24.4%と、約4人に1人は日常的に1人で食事をしている状況であります。

【5. 毎日の生活について】

毎日の生活において、物忘れが多いと感じている（認知機能該当）割合は52.4%と、運動機能の該当割合と同様に高くなっています。

毎日の生活状況から判定する手段的自立度（IADL）は、全体の25.9%が低いと判定され、生活機能総合評価（手段的自立度・知的能動性・社会的役割）では、32.3%が低いと判定されていることから、日頃の生活において、やはり何らかの介護・介助が必要であることがうかがえます。

日常生活の中で困ったことについては、日常生活全般に関わる項目が高くなっています。高齢者一般と同様に日常の力仕事（家具の移動等）、庭の手入れ、掃除が上位に挙げられているなか、外出に関わる項目も高く、外出時の移動手段に困難を抱えている方も多い状況であります。

今後の生活で心配なことについては、自分の健康に関することが75.1%で最も高く、次いで自分が認知症になることが50.8%と、多くの方が自身の健康面に対する心配を抱えている状況がみられます。

【6. 地域の活動について】

地域の活動への参加状況では、活動全般において参加している割合が低い傾向となっているなか、趣味関係のグループへの参加割合は他の活動と比較して若干高くなっています。また、介護予防のための通いの場へ参加している割合は約2割の状況であります。

今後、希望する社会参加でも趣味関係のグループの割合が最も高く、次いで介護予防のための通いの場が挙げられています。参加したい活動としては、やはり自身の趣味を通して活動したいと思う方が多い傾向にありますが、自身の健康づくりのために介護予防の場に参加したいと思っている方も比較的多い状況となっています。

地域との関係に対する意向は、何かしらの関わりをもちながら地域と関わっていきたいと考える割合は約9割を占めている一方で、少数ではあるものの地域との関わりをもたずに、自分なりに生活していきたいと回答している方もみられます。

【7. たすけあいについて】

心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人では、別居の子ども、友人が上位に挙げられており、高齢者一般で上位に挙げられていた配偶者の割合は減少している状況であります。

また、病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人では、別居の子どもが上位に挙げられ、看病や世話をしてあげる人では、配偶者が上位に挙げられている状況であります。

【8. 健康について】

現在の健康状態では、よい（とてもよい、まあよい）と感じている割合は47.6%、よくない（あまりよくない、よくない）と感じている割合は51.3%と、若干よくないと感じている方が上回る状況であります。

うつの傾向をみる評価では、全体の60.3%が該当と判定され、運動機能、認知機能と同様に高い該当率となっています。

現在、治療中または後遺症のある病気では、高血圧、筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）、目の病気が上位に挙げられています。

【9. 介護予防・認知症施策について】

介護保険サービス以外の介護予防の取組としては、ウォーキングや体操、食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている、口の中の健康、人と話すようにしているが、それぞれ約5割の状況であり、取り組んでいないのは約1割となっています。

介護予防の活動へ参加するとした場合、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思うかでは、徒歩・自転車で10分以内が33.3%で最も高く、次いで徒歩・自転車で30分以内が13.8%と、30分以内で約5割となっています。また、参加したくないのは約3割の状況であります。

認知症に対する認識については、認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いと知っている割合が約8割と、多くの方が早期受診を認知している状況がうかがえます。

【10. 市の施策・事業、介護保険制度について】

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知らないが約8割と、多くの方が本事業について認知していない状況であります。

施設等への入所・入居の検討状況では、検討していないが約7割、検討しているが約2割の状況であります。

介護保険料への負担感では、負担と感じている割合は約3割の状況であり、高齢者一般に比べて負担と感じている割合は減少しています。また、介護保険サービスと介護保険料の関係については、どちらともいえないと回答している方が約5割と、介護保険サービスと介護保険料の関係について、明確な考えを出すことが難しい状況がうかがえます。

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスでは、掃除・洗濯、移送サービスなど、各項目で約1割前後となっています。また、利用していないが約5割となっています。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが24.3%とやや低い割合で、見直しを必要とする意見の割合のほうが高く、介護度の高い方や寝たきりの方などに限定した方がよいと考えている割合が約5割を占めています。今後、何らかの見直しが必要であると考えている方が多い傾向にあります。

低所得者助成金制度では、今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思うが51.3%と、高い傾向にある一方で、見直しが必要であると思うが14.3%で、見直しが必要であると思うと回答した方の見直しの観点としては、対象となるサービスを限定したほうがよいが約6割を占めています。

第6章 要支援高齢者(介護者) 調査結果のまとめ

【1. 調査票への記入者について】

調査票への記入者は、主に介護している方が 84.8%、その他が 15.2%となっています。

【2. 介護をしている方について】

介護者の年齢については、70歳代が 28.4%で最も高く、次いで 60歳代が 25.4%、80歳以上が 23.9%と、60歳以上で約8割を占めています。

性別では、男性が 40.0%、女性が 60.0%と、女性からの回答が多い状況であり、介護を受けている方からみる介護者の続柄は、妻と娘の割合が高くなっています。

介護をしている期間では、3年未満が約5割を占めている状況であり、10年以上の回答は約2割となっています。

【3. 主に介護している方の生活状況について】

介護をするうえで困っていることでは、自分の具合が悪いときに手助けがない、身体的な負担や疲れが大きい、精神的な負担が大きいと上位に挙げられており、介護者自身の健康面に関する困りごとが多くなっています。一方で、特に困っていることはないは約4割となっています。

介護についての相談先では、家族・親族が最も高い割合を占め、次いでケアマネジャーとなっていることから、介護者にとってケアマネジャーが身近な相談相手となっている状況がうかがえます。

現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等では、外出の付き添い、送迎等、入浴・洗身、食事の準備(調理等)が上位に挙げられています。介護者自身の身体機能の維持が必要となる介護に対する不安が多い状況となっています。

介護の負担感では、負担ではないは約2割と、約8割の方は負担感を感じている状況であります。また、負担感を解消するための取組としては、自分の趣味などでストレスを解消している、家族や友人に相談しているが上位に挙げられ、自身の好きなことを通じてのストレス解消、誰かに話すことでストレスを解消している介護者が多い状況となっています。

家族会への参加意向では、参加したいと思うが 24.6%、参加したいと思わないが 75.4%と、参加したいと思わない方が約8割となっています。参加したいと思わない方がどのような会であれば参加したいと思うかでは、行きやすい場所にある会が最も高く、身近なところで開催されていることが介護者にとって重要だと考えられています。

【4. 介護保険サービスについて】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、移送サービスが 45.5%と、他の項目を大きく上回っています。現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等においても、外出の付き添い、送迎等が上位に挙げられていることから、移動手段の支援が求められている状況がうかがえます。

今後の介護に対する考えでは、介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたいとの回答が約7割を占め、多くの方が現在の生活を続けていきたいと考えている一方で、施設に入所させたいと回答している方は約2割と、介護への負担感などが影響していると考えられます。

【5. 市の施策・事業について】

成年後見制度の認知度では、知っているが73.0%と、認知している割合が高い傾向にあります。

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知っているが19.4%と、認知している割合が低い傾向にあります。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが31.3%とやや低い割合で、見直しを必要とする意見の割合のほうが高く、介護度の高い方や寝たきりの方などに限定した方がよいと考えている割合が約7割を占めています。今後、何らかの見直しが必要であると考えている方が多い傾向にあります。

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要なサービスでは、緊急時に救助・救命するサービスが78.7%と、他の項目を大きく上回り、介護者の立場として、緊急時に対する不安が大きいことがうかがえます。

第 V 部 要介護高齢者

第1章 要介護高齢者(本人) 調査結果

1. あて名のご本人について

「1. あて名のご本人について」は、回答者の属性を把握するための項目となっています。

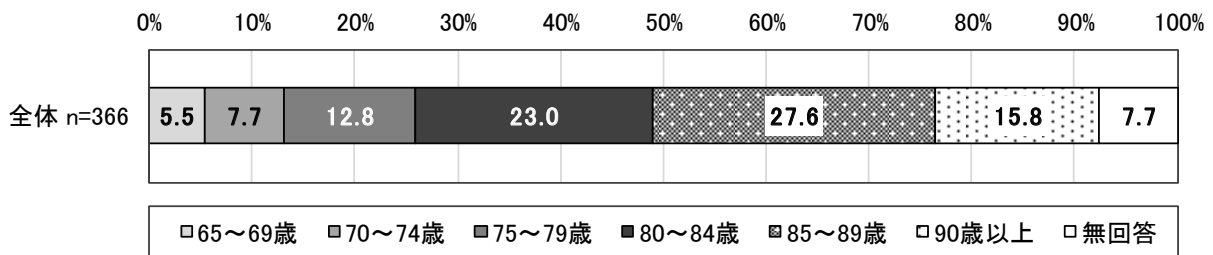
問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。(令和2年1月1日現在)

年齢については、「85～89歳」が27.6%で最も高く、次いで「80～84歳」が23.0%、「90歳以上」が15.8%となっています。

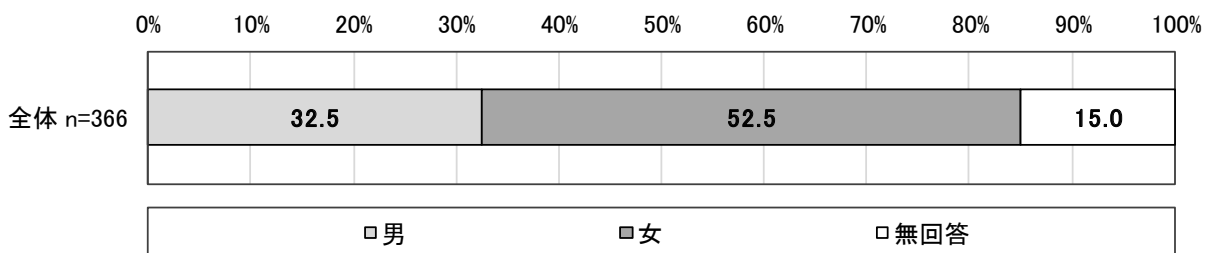
性別については、「男」が32.5%、「女」が52.5%となっています。

介護度については、「要介護1」が33.3%、「要介護2」が22.4%、「要介護3」が15.0%となっています。

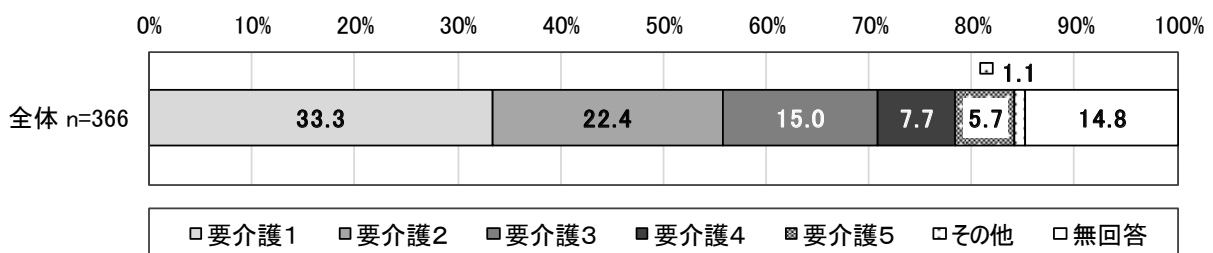
【年齢】



【性別】

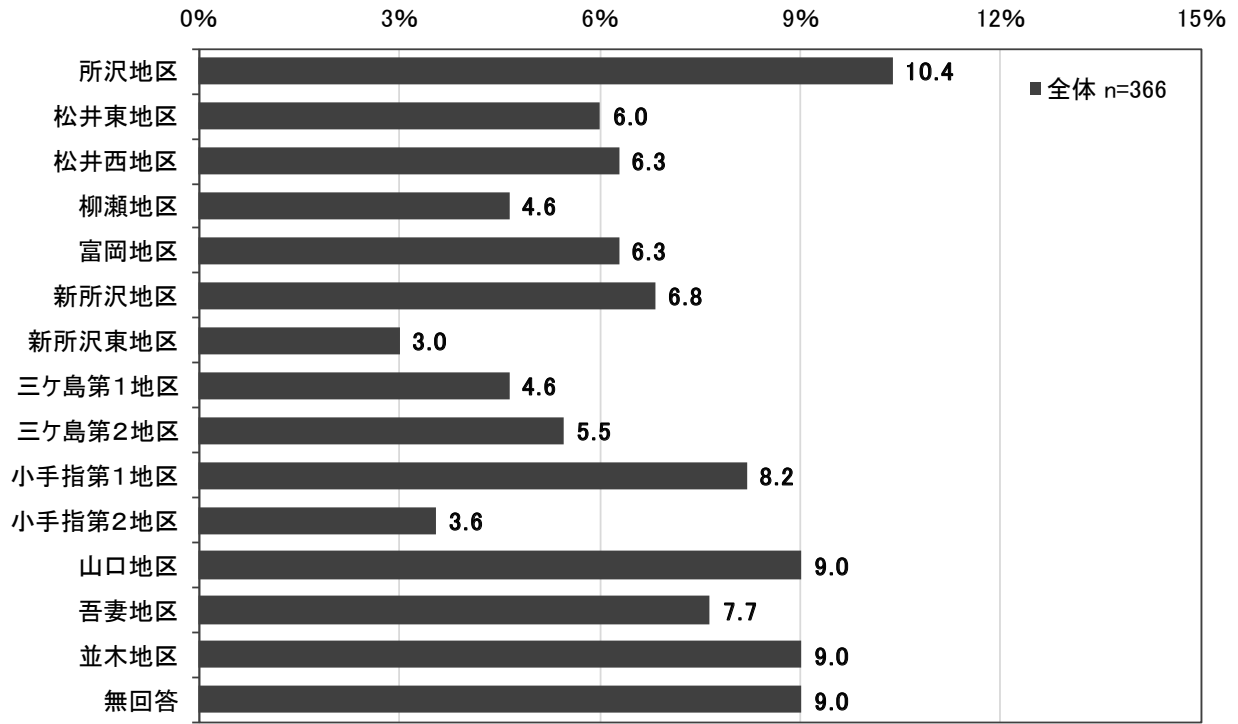


【介護度】

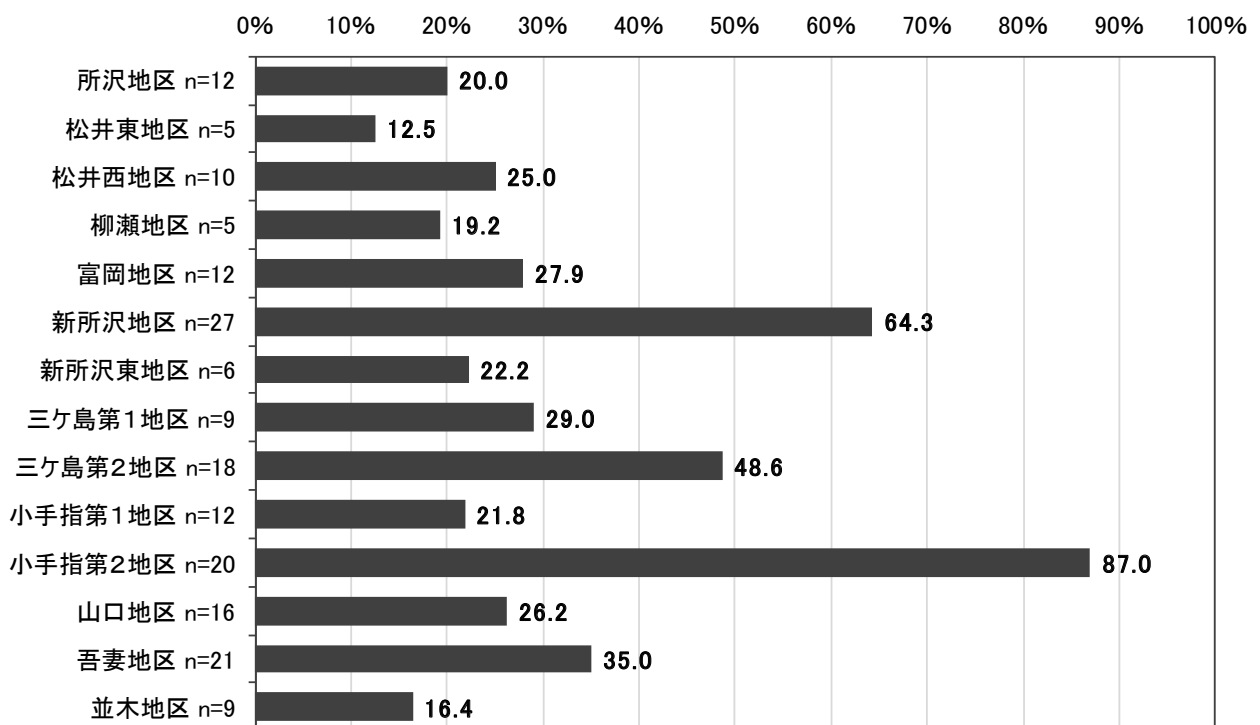


問2. お住まいの地区についてお答えください。

居住地区については、「所沢地区」が10.4%で最も高く、次いで「山口地区」「並木地区」がともに9.0%、「小手指第1地区」が8.2%となっています。



居住地区別の発送数から回答率をみると、「小手指第2地区」が87.0%で最も高く、次いで「新所沢地区」が64.3%、「三ヶ島第2地区」が48.6%となっています。

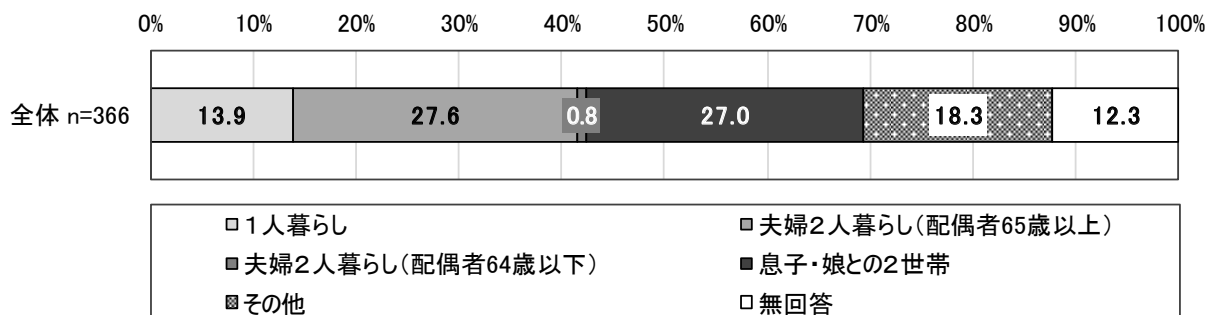


2. あなたのご家族や生活状況について

「2. あなたのご家族や生活状況について」は、家族構成や居住状況、普段の生活において介護・介助が必要な状況、暮らしの経済状況、紙おむつの利用状況を把握するための項目となっています。

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ) ★

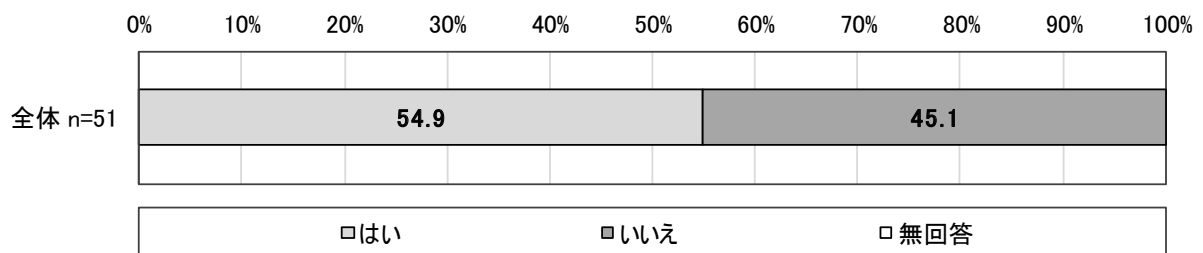
家族構成については、「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」が27.6%で最も高く、次いで「息子・娘との2世帯」が27.0%、「その他」が18.3%となっています。



問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

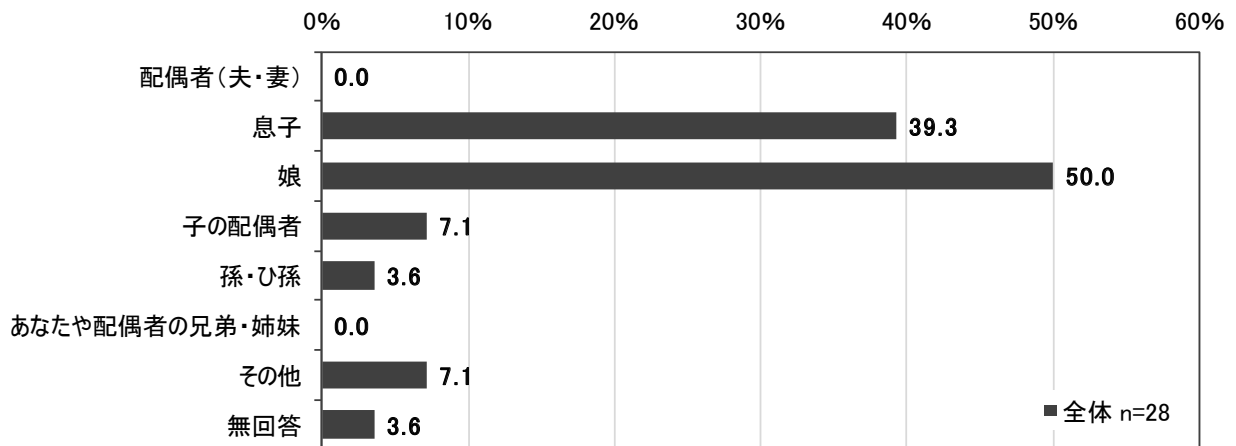
市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

市内又は住まいの近くに家族がいるかについては、「はい」が54.9%、「いいえ」が45.1%で、「はい」が9.8ポイント上回っています。



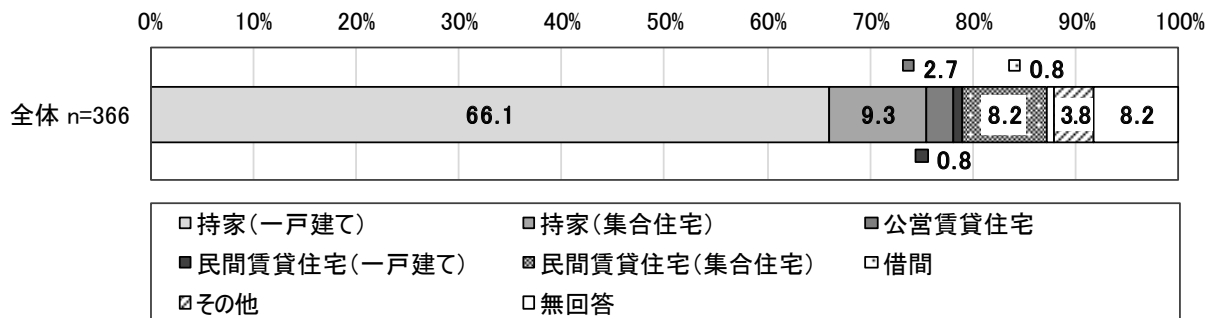
問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】
それはどなたですか。（あてはまるものすべてに回答）

市内又は住まいの近くにいる家族については、「娘」が50.0%で最も高く、次いで「息子」が39.3%、「子の配偶者」「その他」がともに7.1%となっています。



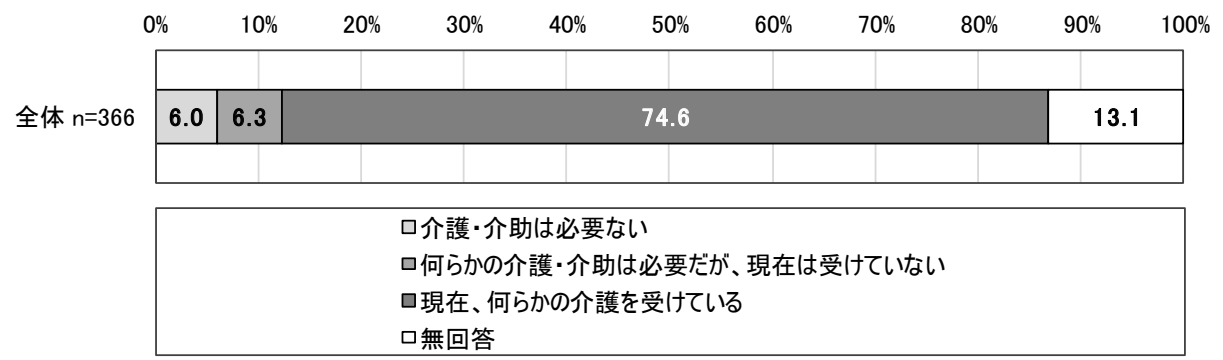
問4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。（回答は1つ） ★

住まいの種類については、「持家（一戸建て）」が66.1%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が9.3%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が8.2%となっています。



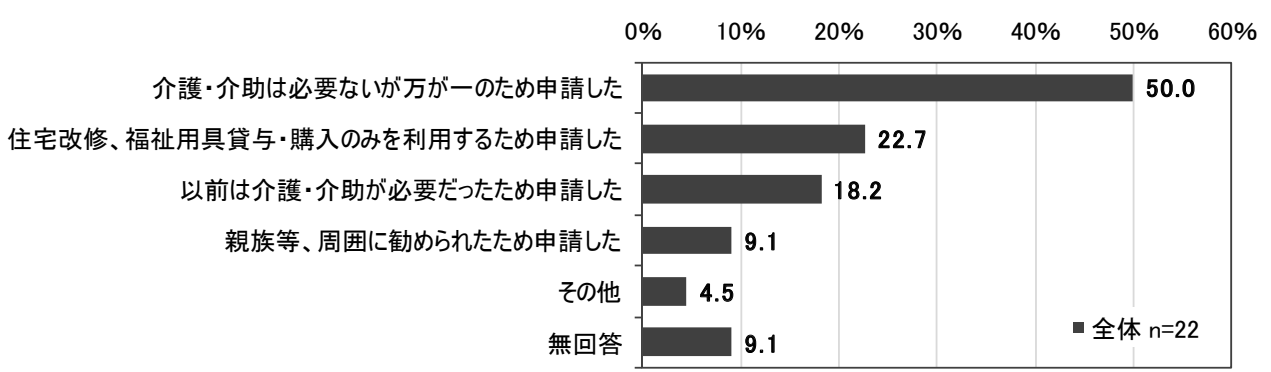
問5. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ) ★

普段の生活での介護・介助の必要性については、「現在、何らかの介護を受けている」が74.6%で最も高く、次いで「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が6.3%、「介護・介助は必要ない」が6.0%となっています。



**問5-1. 【問5で「介護・介助は必要ない」と回答した方におたずねします。】
要介護認定の申請をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)**

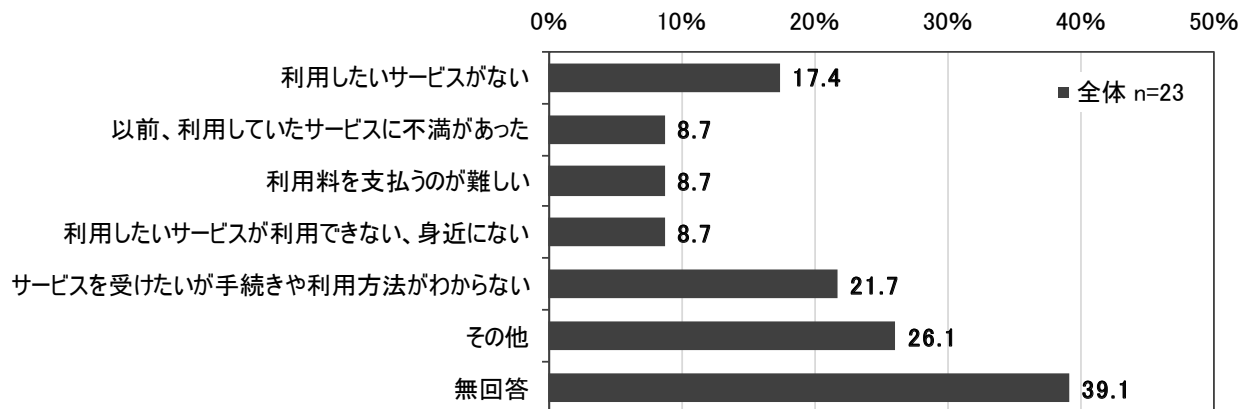
要介護認定の申請をした理由については、「介護・介助は必要ないが万が一のため申請した」が50.0%で最も高く、次いで「住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため申請した」が22.7%、「以前は介護・介助が必要だったため申請した」が18.2%となっています。



問5-2.【問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した方におたずねします。】

介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答） ★

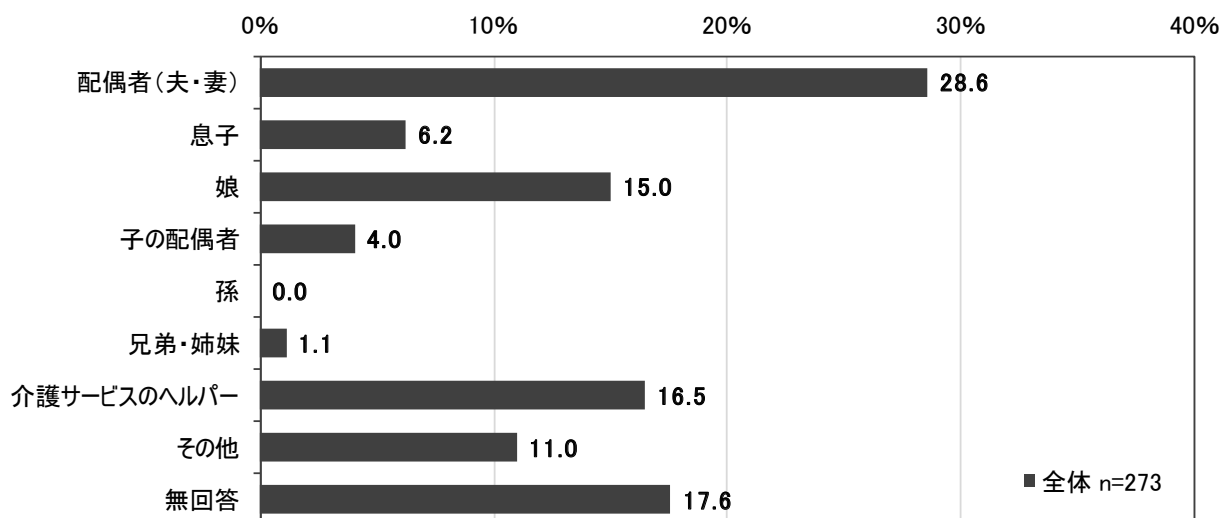
介護保険サービスを利用していない理由については、「その他」が26.1%で最も高く、次いで「サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない」が21.7%、「利用したいサービスがない」が17.4%となっています。



問5-3.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

主にどなたの介護を受けていますか。（回答は1つ） ★

主にどなたの介護を受けているかについては、「配偶者（夫・妻）」が28.6%で最も高く、次いで「介護サービスのヘルパー」が16.5%、「娘」が15.0%となっています。

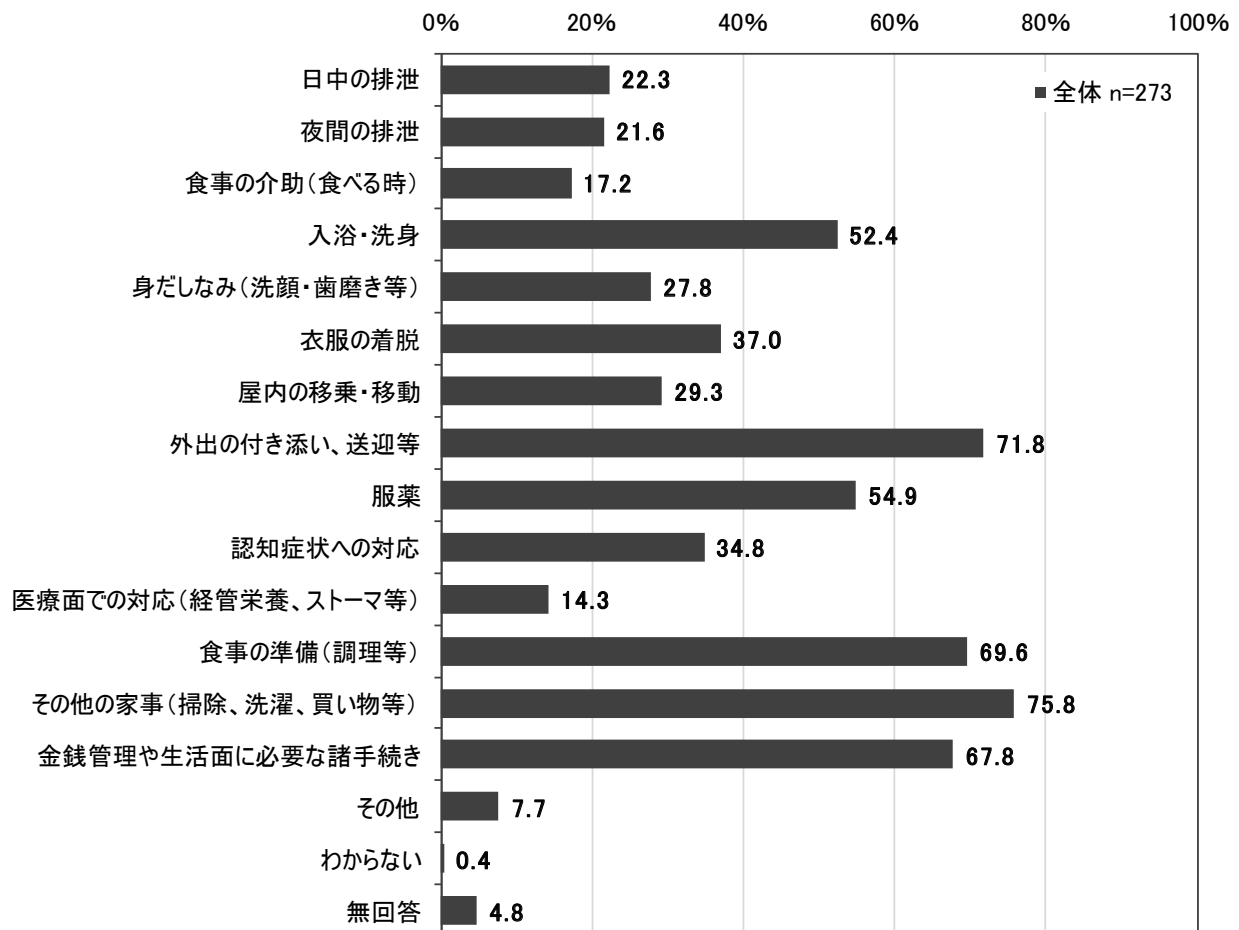


問5-4.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください。

(あてはまるものすべてに回答) ★

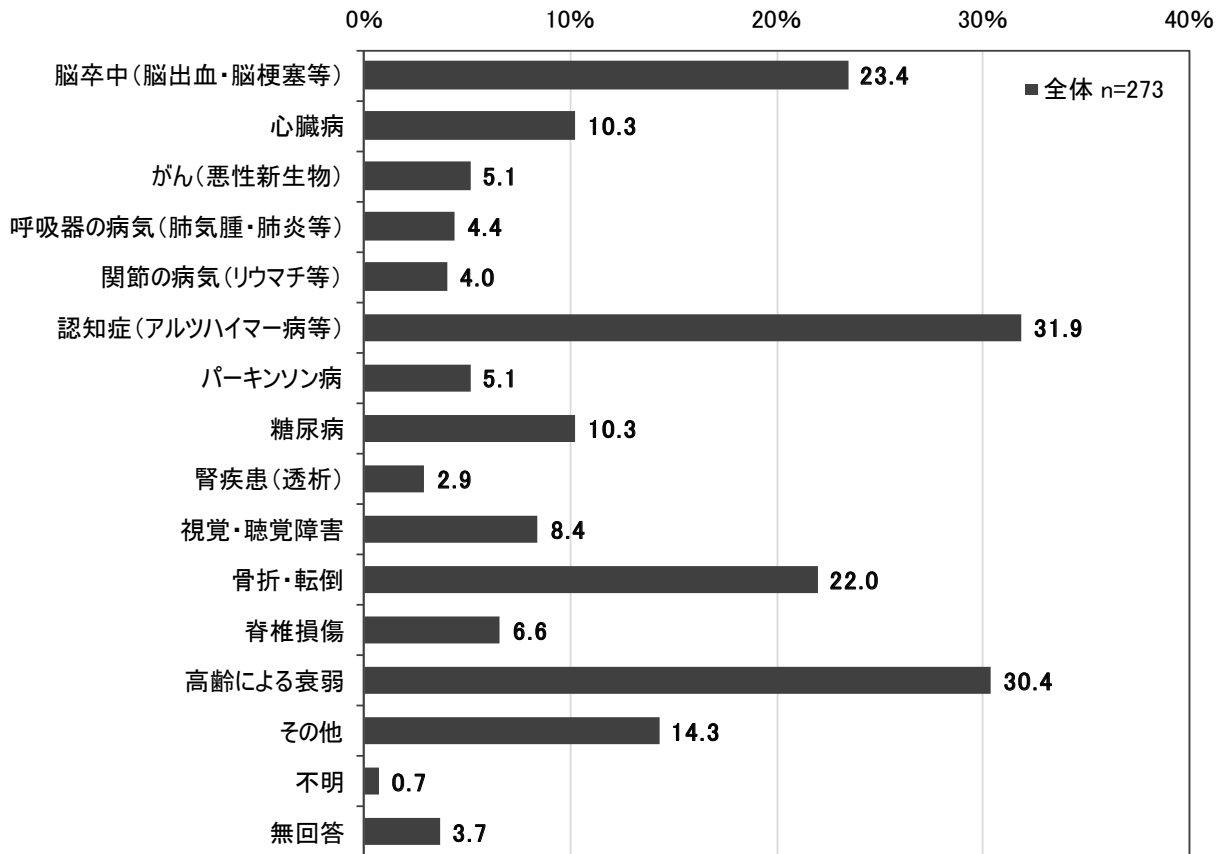
主な介護者の方が行っている介護等については、「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が75.8%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」が71.8%、「食事の準備（調理等）」が69.6%となっています。



問5-5.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

介護・介助が必要になった主な原因については、「認知症(アルツハイマー病等)」が31.9%で最も高く、次いで「高齢による衰弱」が30.4%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が23.4%となっています。

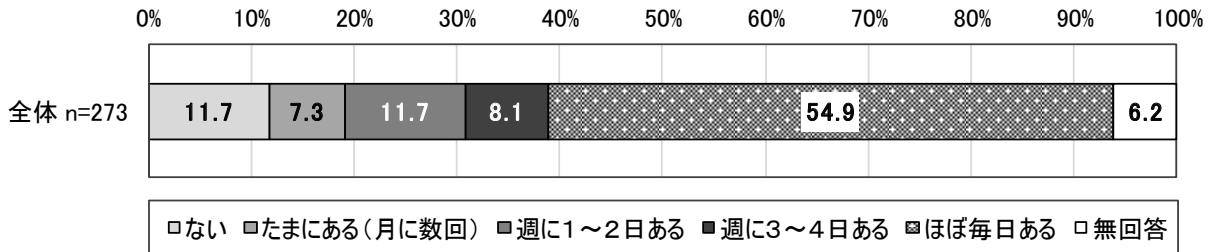


問5-6.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】

ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。

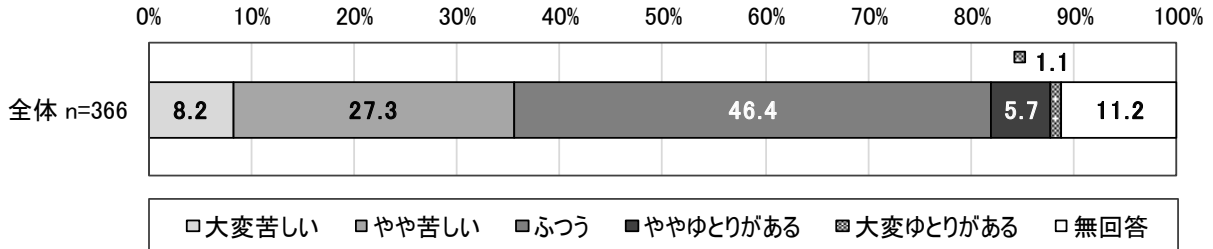
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む) (回答は1つ) ★

家族や親族の方からの介護の頻度については、「ほぼ毎日ある」が54.9%で最も高く、次いで「ない」「週に1～2日ある」がともに11.7%、「週に3～4日ある」が8.1%となっています。



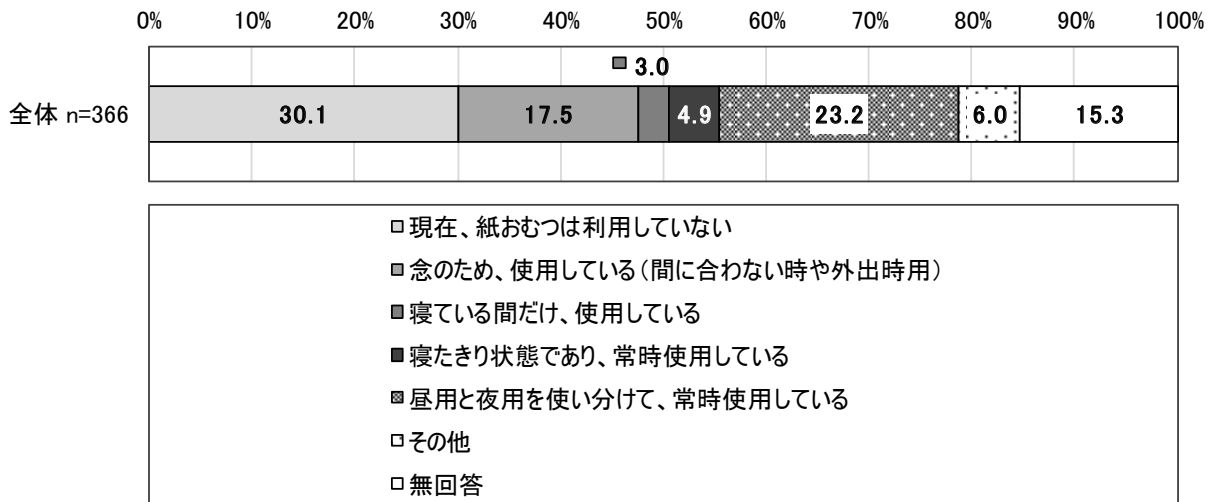
問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ) ★

現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じているかについては、「ふつう」が46.4%で最も高く、次いで「やや苦しい」が27.3%、「大変苦しい」が8.2%、「ややゆとりがある」が5.7%となっています。



問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

大人用紙おむつの利用状況については、「現在、紙おむつは利用していない」が30.1%で最も高く、次いで「昼用と夜用を使い分けて、常時使用している」が23.2%、「念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)」が17.5%となっています。

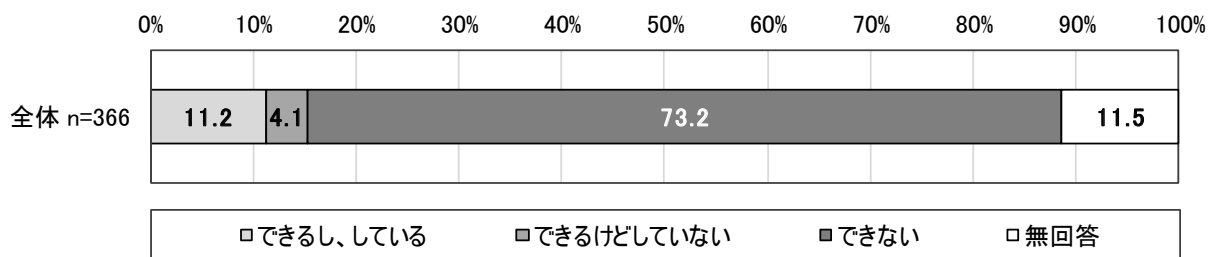


3. からだを動かすことについて

「3. からだを動かすことについて」は、日常生活動作の状況から運動機能の評価を行うための設問が設けられています。また、外出状況、外出時の移動手段を把握するための項目となっています。

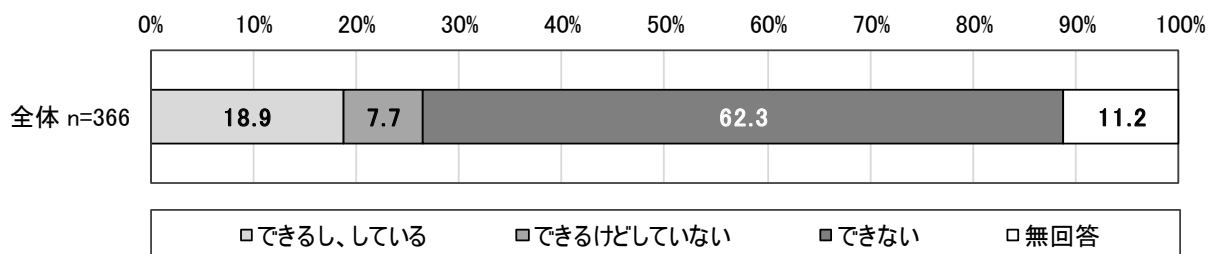
問8. 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(回答は1つ) ★

階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかについては、「できない」が73.2%で最も高く、次いで「できるし、している」が11.2%、「できるけどしていない」が4.1%となっています。



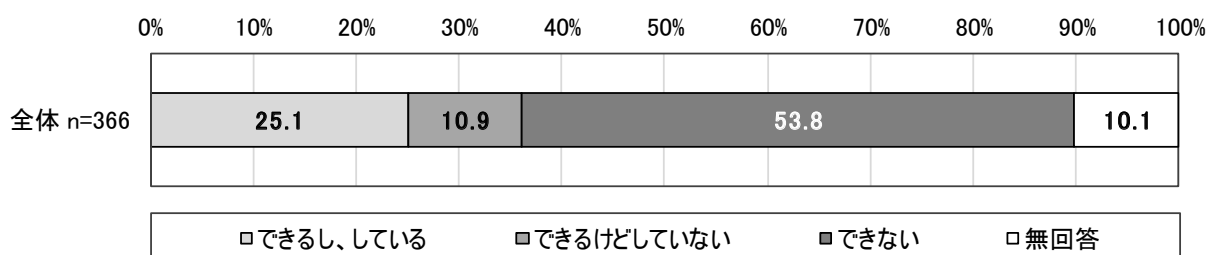
問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ) ★

椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかについては、「できない」が62.3%で最も高く、次いで「できるし、している」が18.9%、「できるけどしていない」が7.7%となっています。



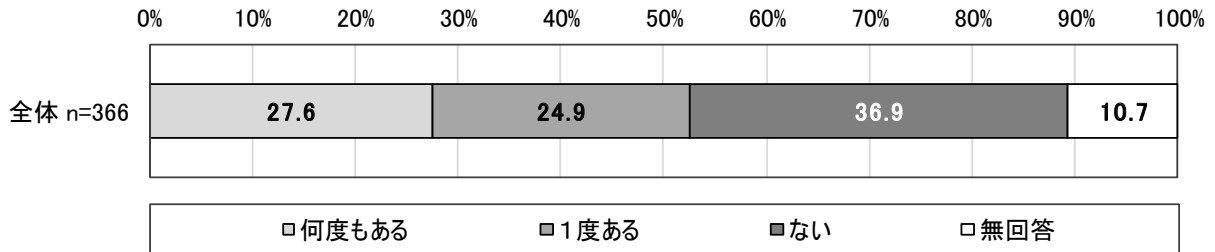
問10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ) ★

15分位続けて歩いているかについては、「できない」が53.8%で最も高く、次いで「できるし、している」が25.1%、「できるけどしていない」が10.9%となっています。



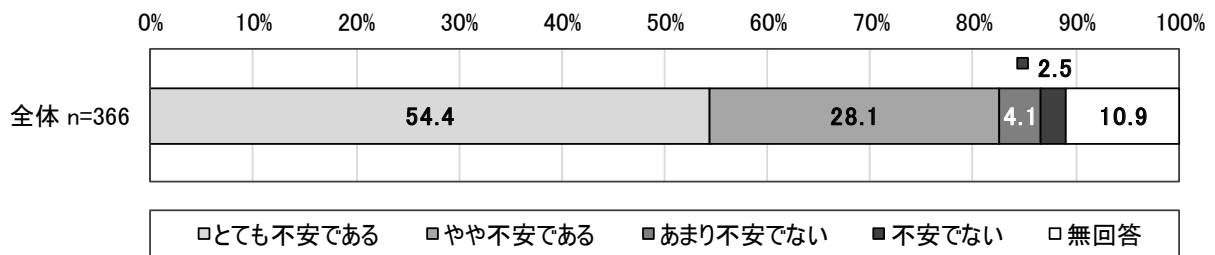
問 11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ) ★

過去1年間に転んだ経験があるかについては、「ない」が36.9%で最も高く、次いで「何度もある」が27.6%、「1度ある」が24.9%となっています。



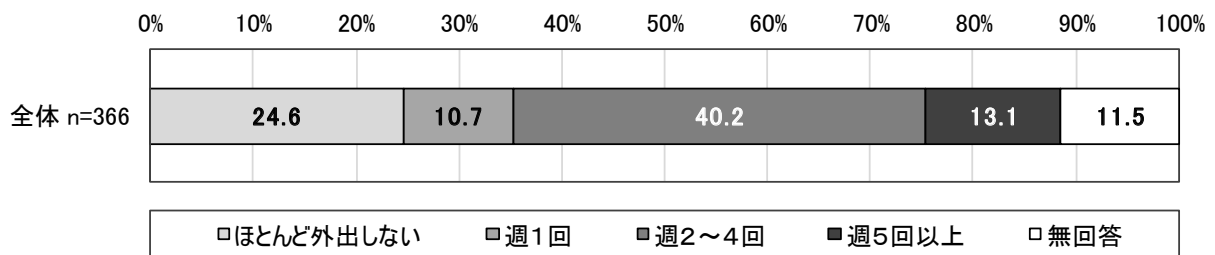
問 12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ) ★

転倒に対する不安は大きいかについては、「とても不安である」が54.4%で最も高く、次いで「やや不安である」が28.1%、「あまり不安でない」が4.1%、「不安でない」が2.5%となっています。



問 13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ) ★

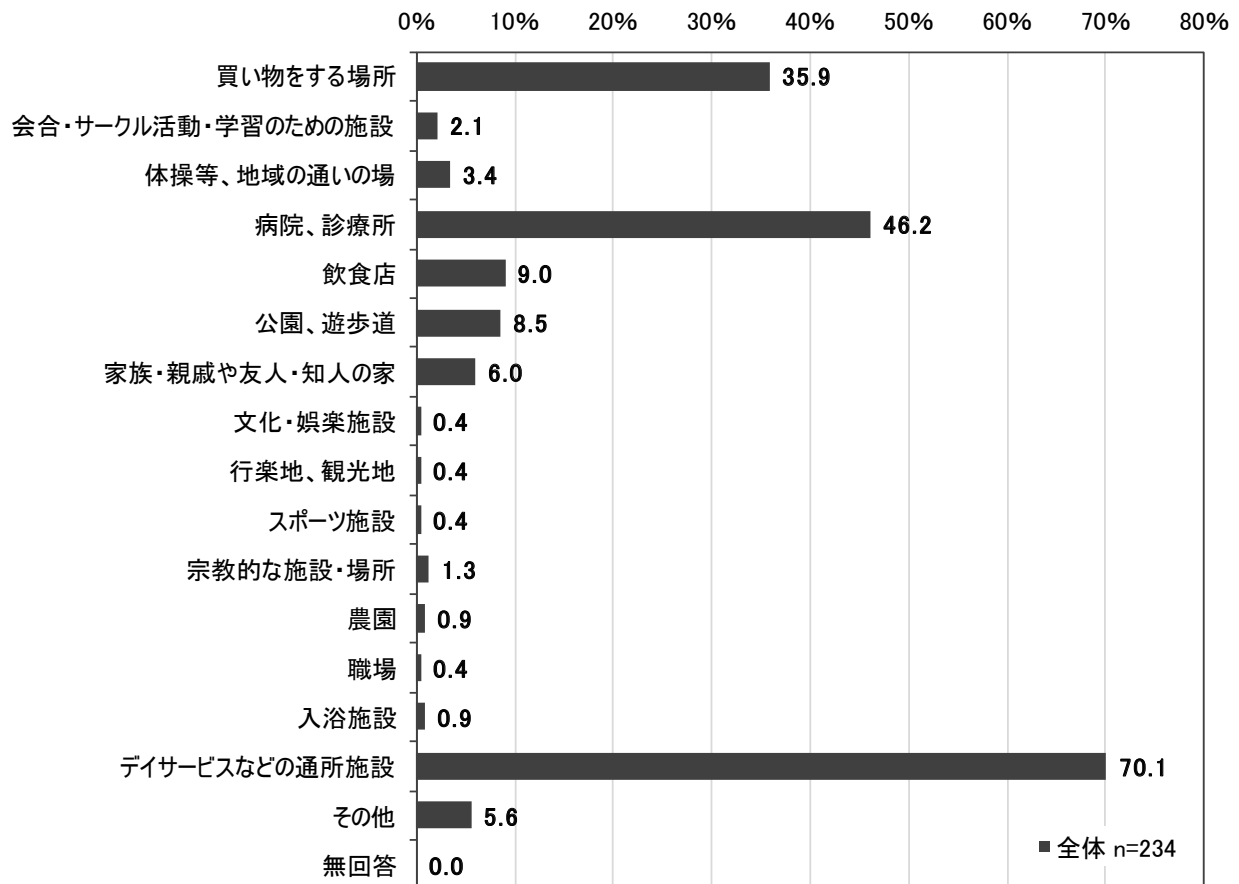
週に1回以上は外出しているかについては、「週2～4回」が40.2%で最も高く、次いで「ほとんど外出しない」が24.6%、「週5回以上」が13.1%、「週1回」が10.7%となっています。



問 13-1. 【問 13 で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】

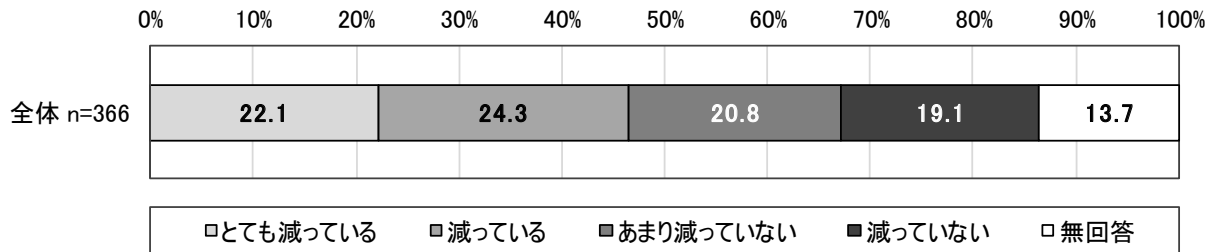
外出をする際の主な行先は次のどちらですか。(回答は3つまで)

外出する際の主な行き先については、「デイサービスなどの通所施設」が 70.1%で最も高く、次いで「病院、診療所」が 46.2%、「買い物をする場所」が 35.9%となっています。



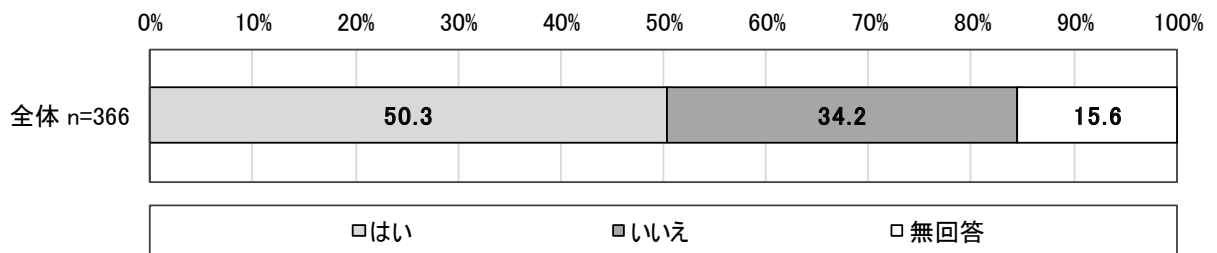
問 14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ) ★

昨年と比べて外出の回数が減っているかについては、「減っている」が 24.3%で最も高く、次いで「とても減っている」が 22.1%、「あまり減っていない」が 20.8%、「減っていない」が 19.1%となっています。



問 15. 外出を控えていますか。(回答は1つ) ★

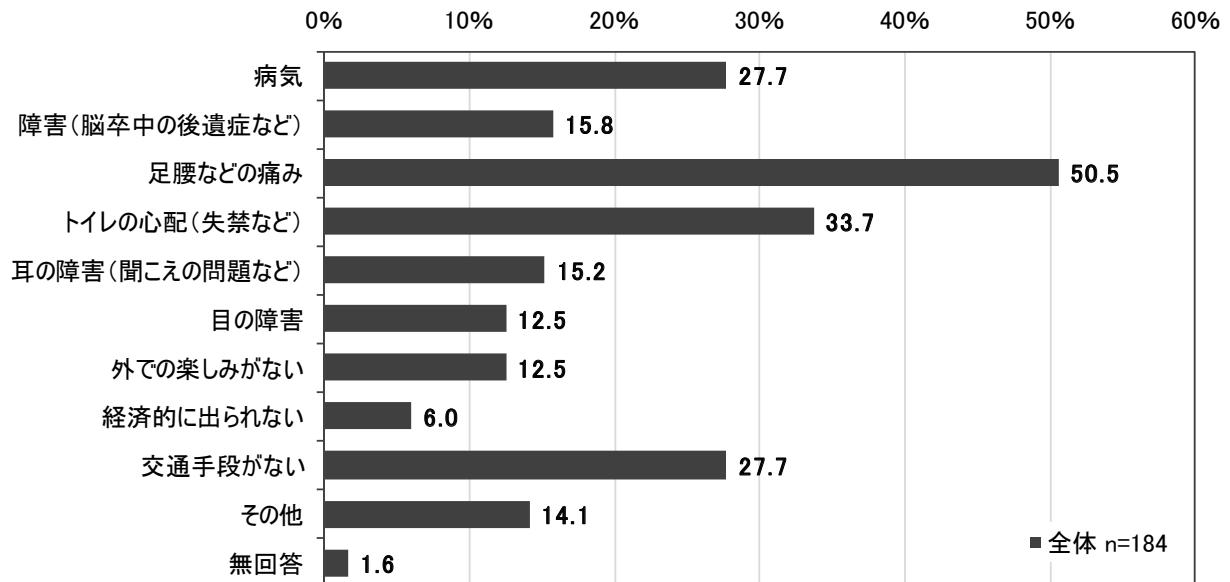
外出を控えているかについては、「はい」が 50.3%、「いいえ」が 34.2%で、「はい」が 16.1ポイント上回っています。



問 15-1. 【問 15 で「はい」と回答した方におたずねします。】

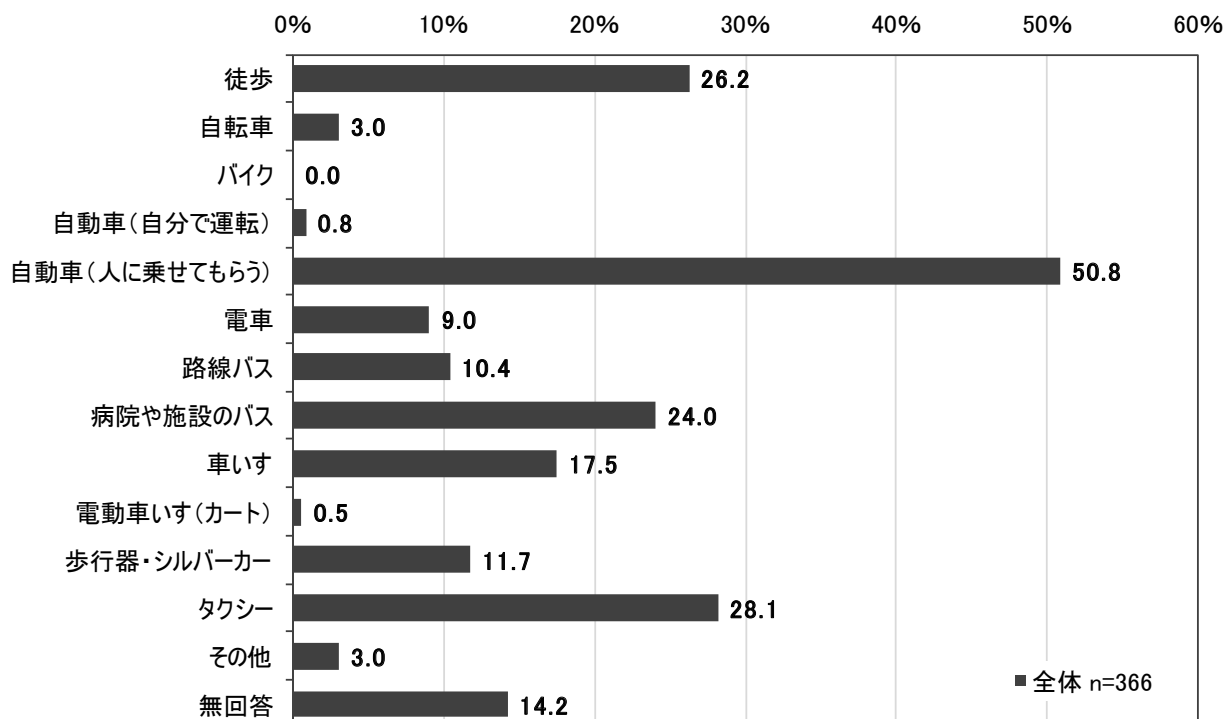
外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出を控えている理由については、「足腰などの痛み」が 50.5%で最も高く、次いで「トイレの心配（失禁など）」が 33.7%、「病気」「交通手段がない」がともに 27.7%となっています。



問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答) ★

外出する際の移動手段については、「自動車(人に乗せてもらう)」が 50.8%で最も高く、次いで「タクシー」が 28.1%、「徒歩」が 26.2%となっています。

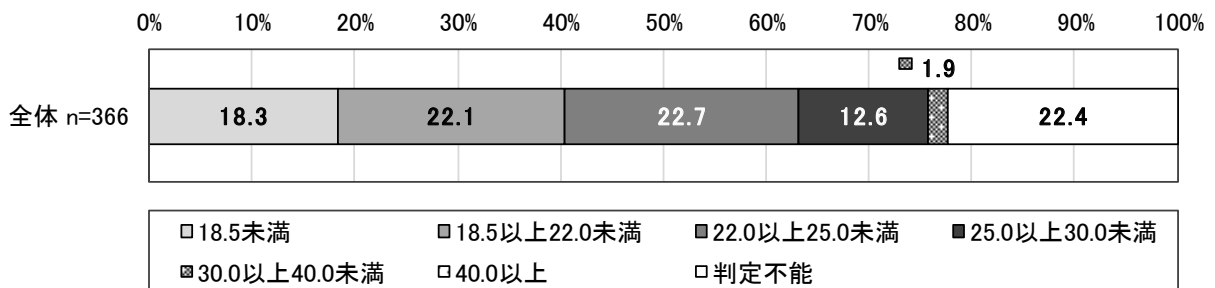


4. 食べることについて

「4. 食べることについて」は、身長・体重からBMIを算出し、肥満度の構成を把握するとともに、口腔機能の状況、歯の数と入れ歯の利用状況、だれかと食事をする機会を把握するための項目となっています。

問 17. 身長・体重を記入してください。 ★

身長・体重から算出されるBMIについてみると、「22.0以上25.0未満」が22.7%で最も高く、次いで「18.5以上22.0未満」が22.1%、「18.5未満」が18.3%となっています。



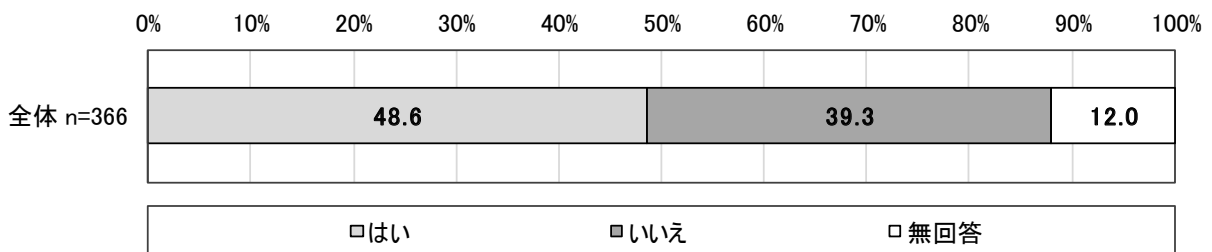
※BMIとは、体重と身長の関係から肥満度を示す体格指数であり、下記の計算式で算出します。

【計算式】 $BMI = \text{体重 (kg)} \div (\text{身長 (m)} \times \text{身長 (m)})$

- ◆「18.5未満」……………『低体重』
- ◆「18.5以上25.0未満」……………『普通体重』
- ◆「25.0以上」……………『肥満』

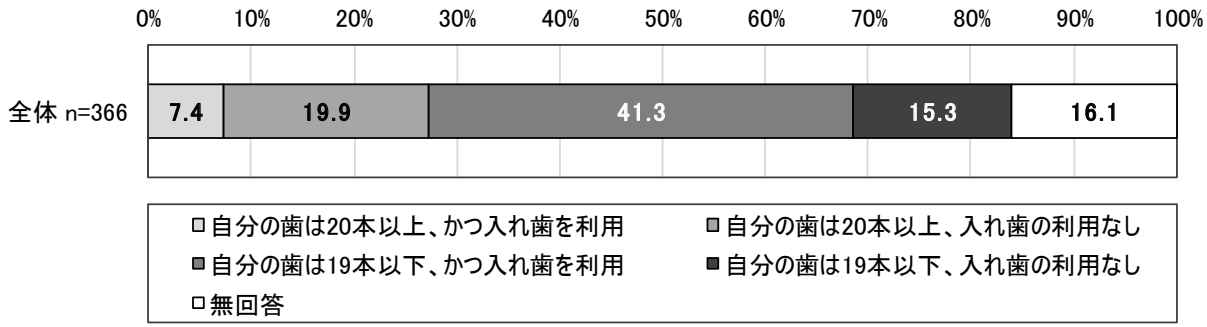
問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ) ★

半年前に比べて固いものが食べにくくなったかについては、「はい」が48.6%、「いいえ」が39.3%で、「はい」が9.3ポイント上回っています。



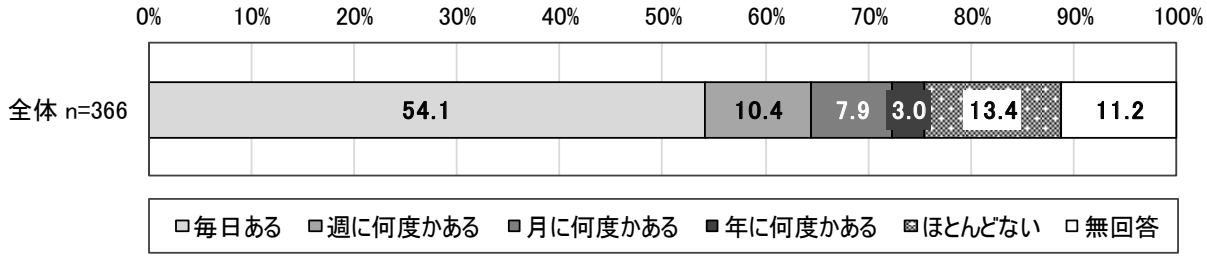
問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(回答は1つ) ★

歯の数と入れ歯の利用状況については、「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」が41.3%で最も高く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が19.9%、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」が15.3%、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」が7.4%となっています。



問 20. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ) ★

どなたかと食事をとにもする機会があるかについては、「毎日ある」が54.1%で最も高く、次いで「ほとんどない」が13.4%、「週に何度かある」が10.4%となっています。

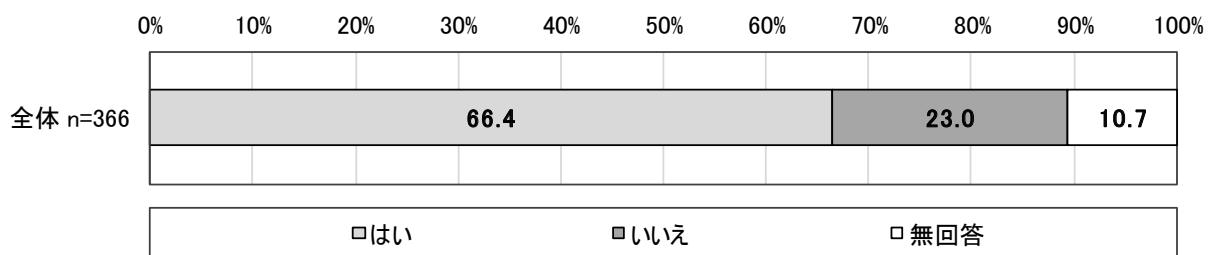


5. 毎日の生活について

「5. 毎日の生活について」は、物忘れの状況から認知機能を評価する設問が設けられているとともに、日常生活動作の設問から、手段的自立度（IADL）を評価するための設問が設けられています。また、日常生活において困ったことや今後の生活で心配なことを把握するための項目となっています。

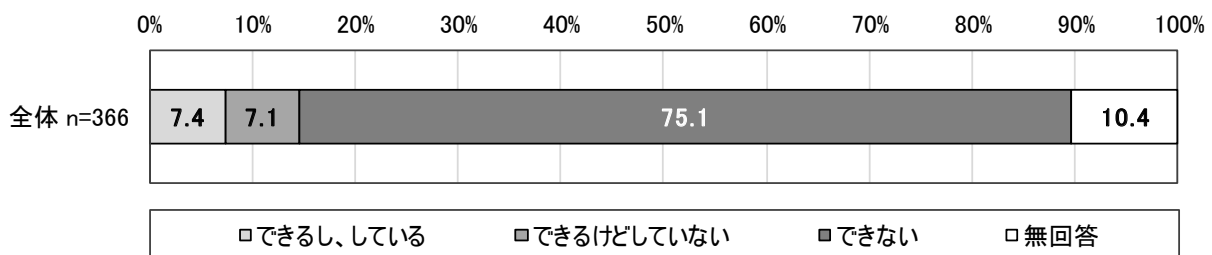
問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ) ★

物忘れが多いと感じるかについては、「はい」が66.4%、「いいえ」が23.0%で、「はい」が43.4ポイント上回っています。



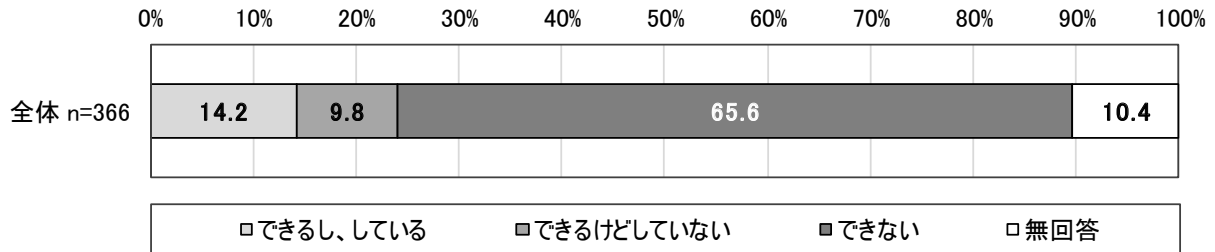
問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ) ★

バスや電車を使って1人で外出しているかについては、「できない」が75.1%で最も高く、次いで「できるし、している」が7.4%、「できるけどしていない」が7.1%となっています。



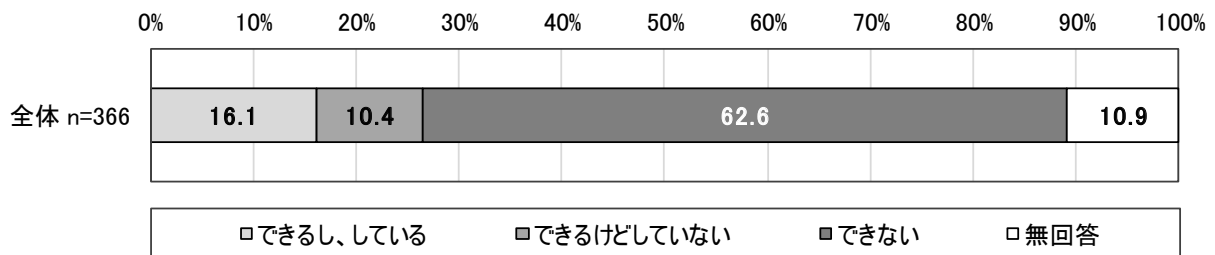
問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食品・日用品の買い物をしているかについては、「できない」が 65.6%で最も高く、次いで「できるし、している」が 14.2%、「できるけどしていない」が 9.8%となっています。



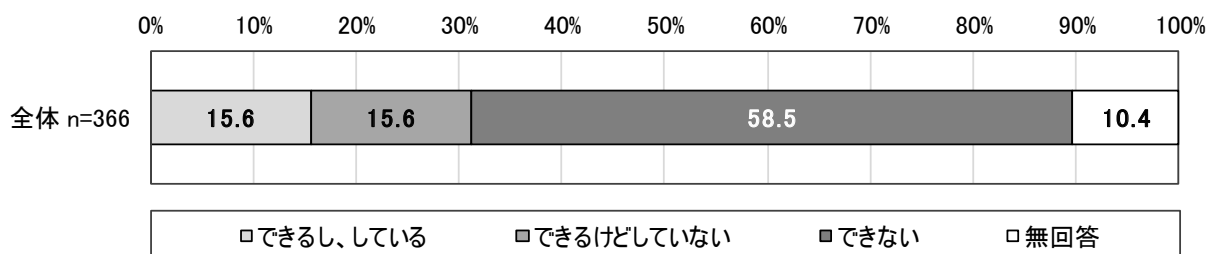
問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ) ★

自分で食事の用意をしているかについては、「できない」が 62.6%で最も高く、次いで「できるし、している」が 16.1%、「できるけどしていない」が 10.4%となっています。



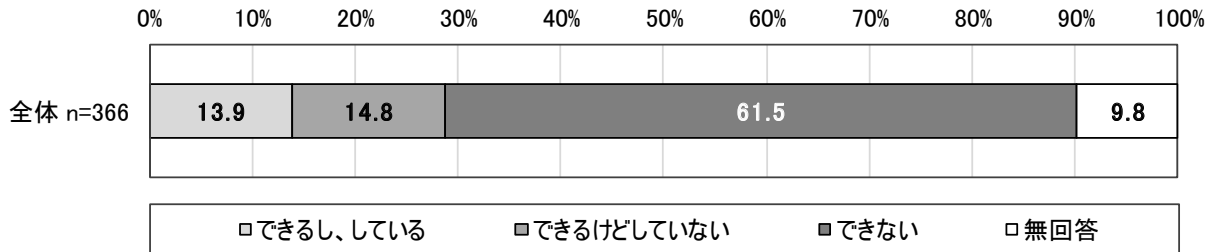
問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で請求書の支払いをしているかについては、「できない」が 58.5%で最も高く、次いで「できるし、している」「できるけどしていない」がともに 15.6%となっています。



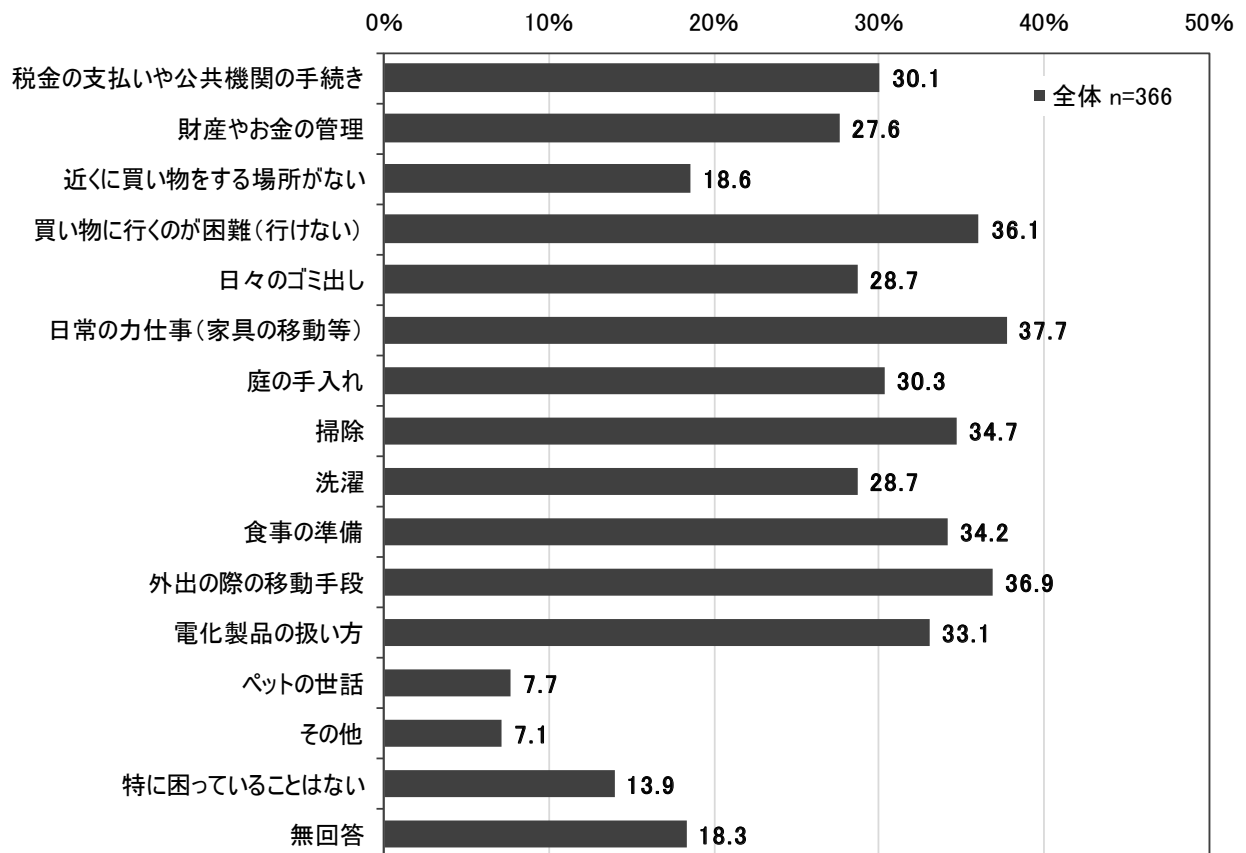
問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ) ★

自分で預貯金の出し入れをしているかについては、「できない」が 61.5%で最も高く、次いで「できるけどしていない」が 14.8%、「できるし、している」が 13.9%となっています。



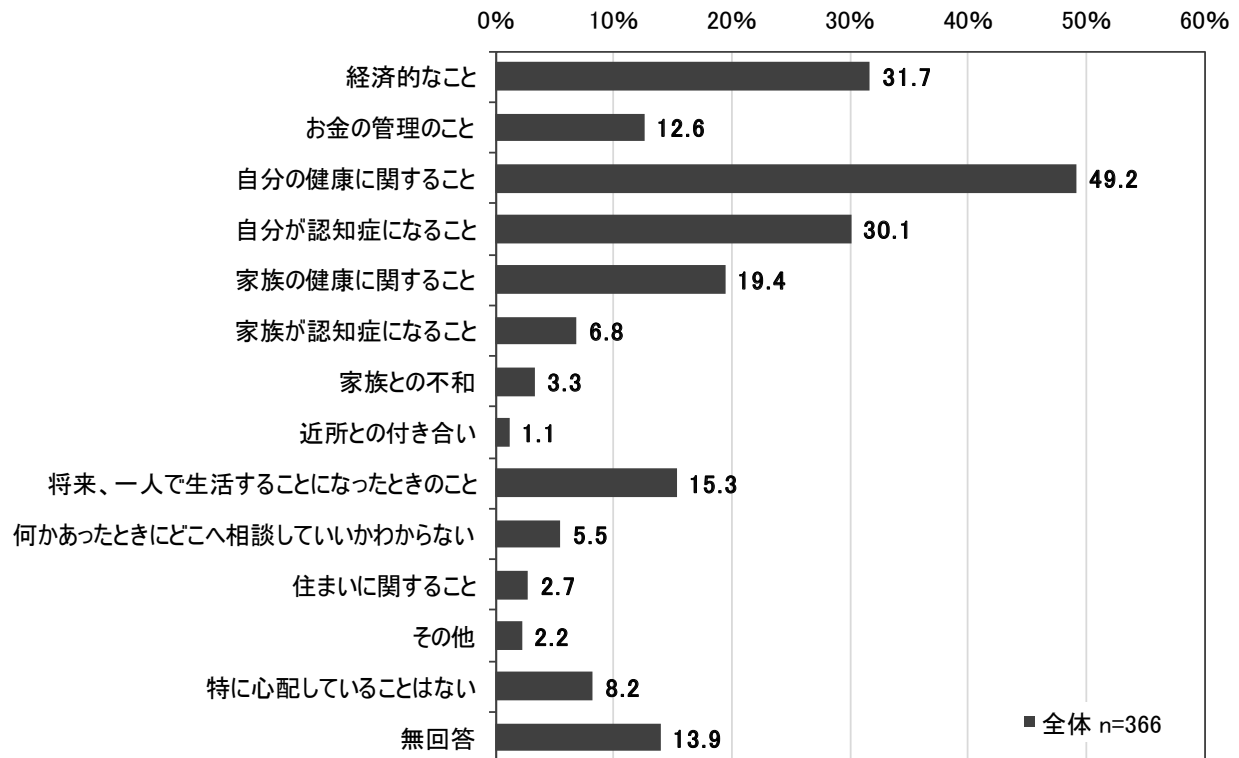
問 27. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

日常生活の中で困ったことがあるかについては、「日常の力仕事(家具の移動等)」が 37.7%で最も高く、次いで「外出の際の移動手段」が 36.9%、「買い物に行くのが困難(行けない)」が 36.1%となっています。



問 28. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康に関すること」が49.2%で最も高く、次いで「経済的なこと」が31.7%、「自分が認知症になること」が30.1%となっています。



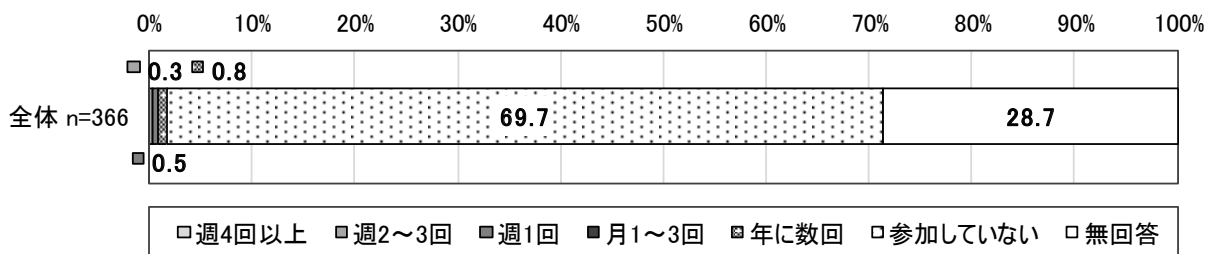
6. 地域の活動について

「6. 地域の活動について」は、地域の活動への参加状況、地域の活動へ参加者として参加する意向、地域の活動へ企画・運営として参加する意向、地域との関係に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 29. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。 ★

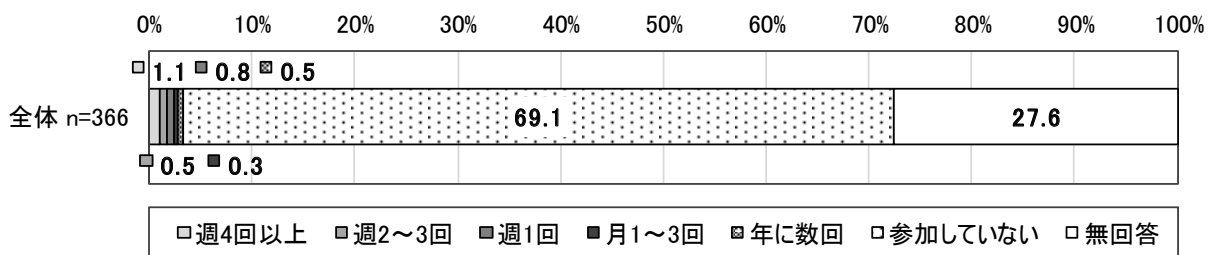
①ボランティアのグループ

ボランティアのグループへの参加状況については、「参加していない」が 69.7%で最も高く、次いで「年に数回」が 0.8%、「週1回」が 0.5%となっています。



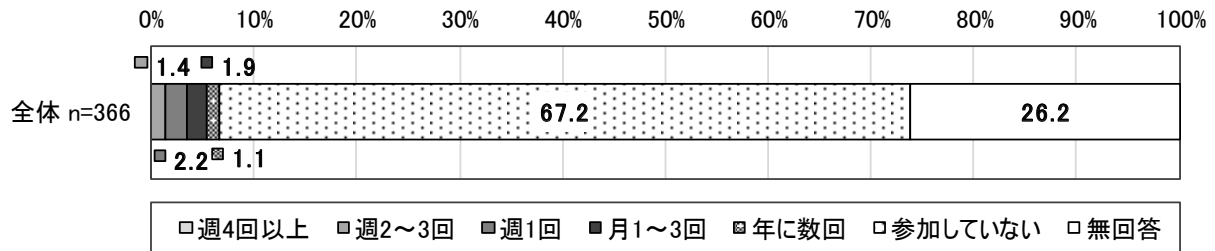
②スポーツ関係のグループやクラブ

スポーツ関係のグループやクラブへの参加状況については、「参加していない」が 69.1%で最も高く、次いで「週4回以上」が 1.1%、「週1回」が 0.8%となっています。



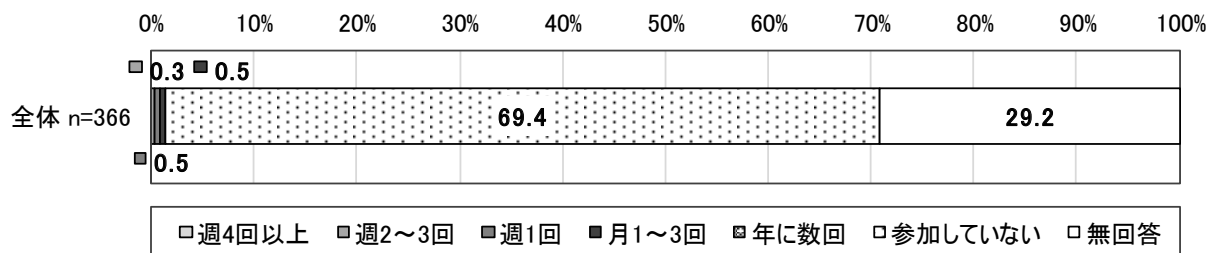
③趣味関係のグループ

趣味関係のグループへの参加状況については、「参加していない」が67.2%で最も高く、次いで「週1回」が2.2%、「月1～3回」が1.9%となっています。



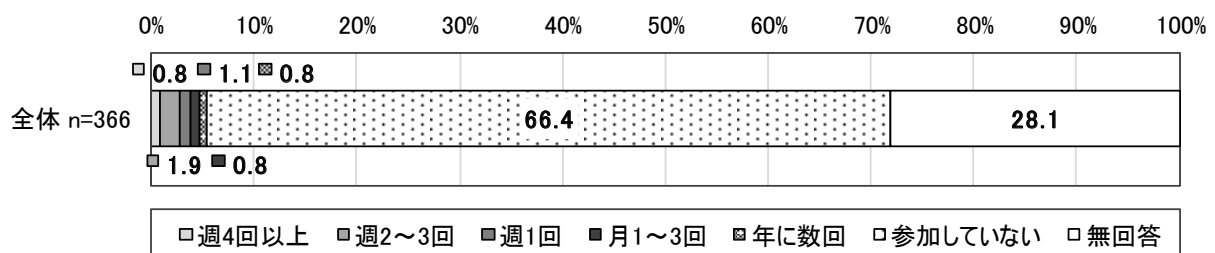
④学習・教養サークル

学習・教養サークルへの参加状況については、「参加していない」が69.4%で最も高く、次いで「週1回」「月1～3回」がともに0.5%、「週2～3回」が0.3%となっています。



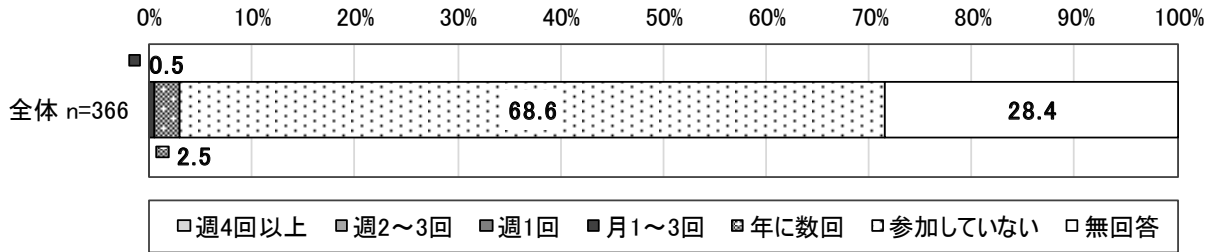
⑤介護予防のための通いの場（ところん元気百歳体操、お達者倶楽部など）

介護予防のための通いの場への参加状況については、「参加していない」が66.4%で最も高く、次いで「週2～3回」が1.9%、「週1回」が1.1%となっています。



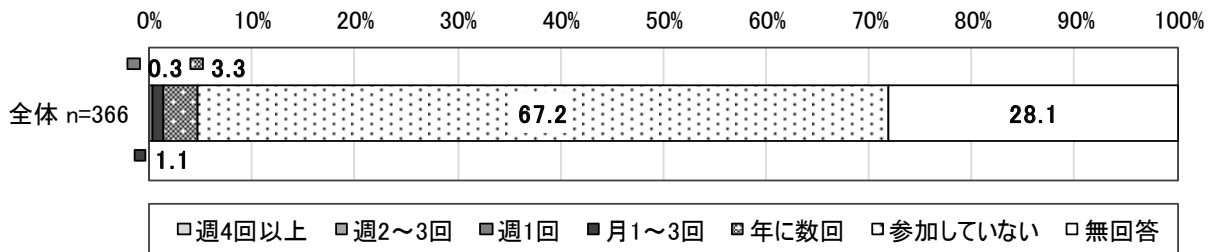
⑥長生クラブ

長生クラブへの参加状況については、「参加していない」が68.6%で最も高く、次いで「年に数回」が2.5%、「月1～3回」が0.5%となっています。



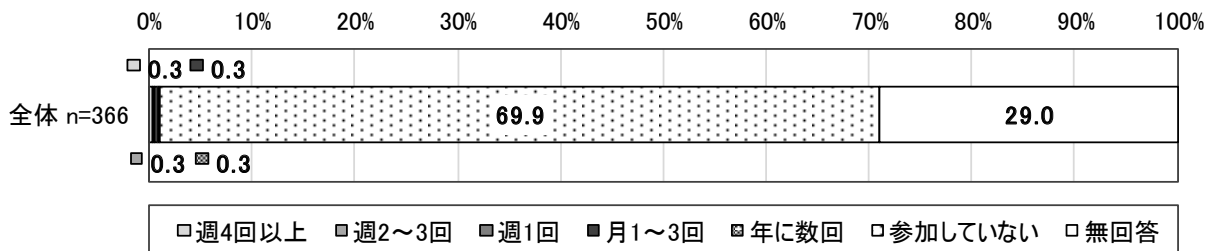
⑦町内会・自治会

町内会・自治会への参加状況については、「参加していない」が67.2%で最も高く、次いで「年に数回」が3.3%、「月1～3回」が1.1%となっています。



⑧収入のある仕事

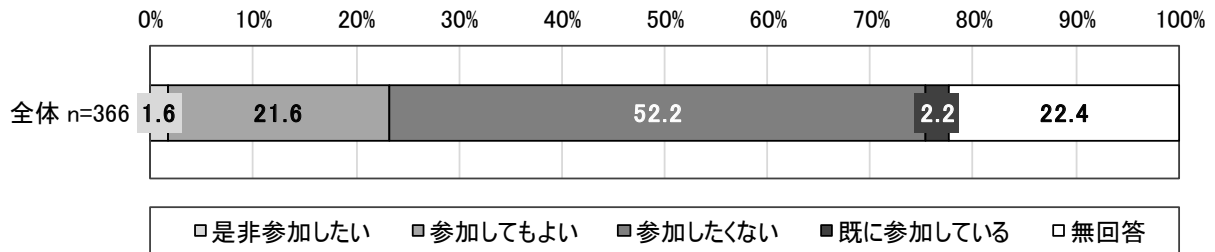
収入のある仕事への参加状況については、「参加していない」が69.9%で最も高く、次いで「週4回以上」「週2～3回」「月1～3回」「年に数回」がともに0.3%となっています。



問 30. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

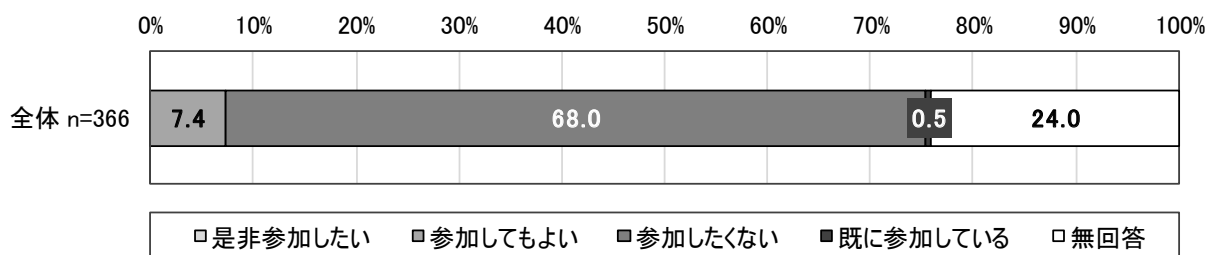
(回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に参加者として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が52.2%で最も高く、次いで「参加してもよい」が21.6%、「既に参加している」が2.2%となっています。



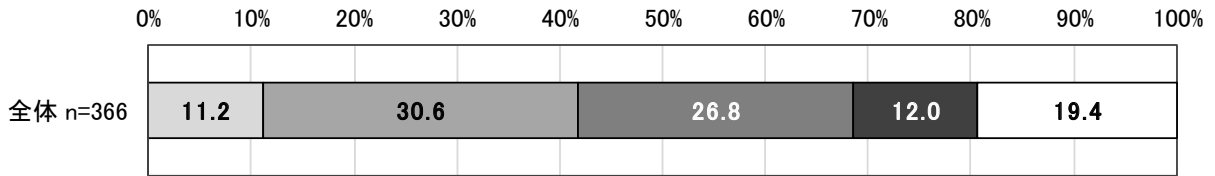
問 31. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか。(回答は1つ) ★

健康づくり活動や趣味等のグループ活動に企画・運営として参加してみたいと思うかについては、「参加したくない」が68.0%で最も高く、次いで「参加してもよい」が7.4%、「既に参加している」が0.5%となっています。



問 32. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

地域との関係性については、「いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい」が 30.6%で最も高く、次いで「お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい」が 26.8%、「かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい」が 12.0%となっています。



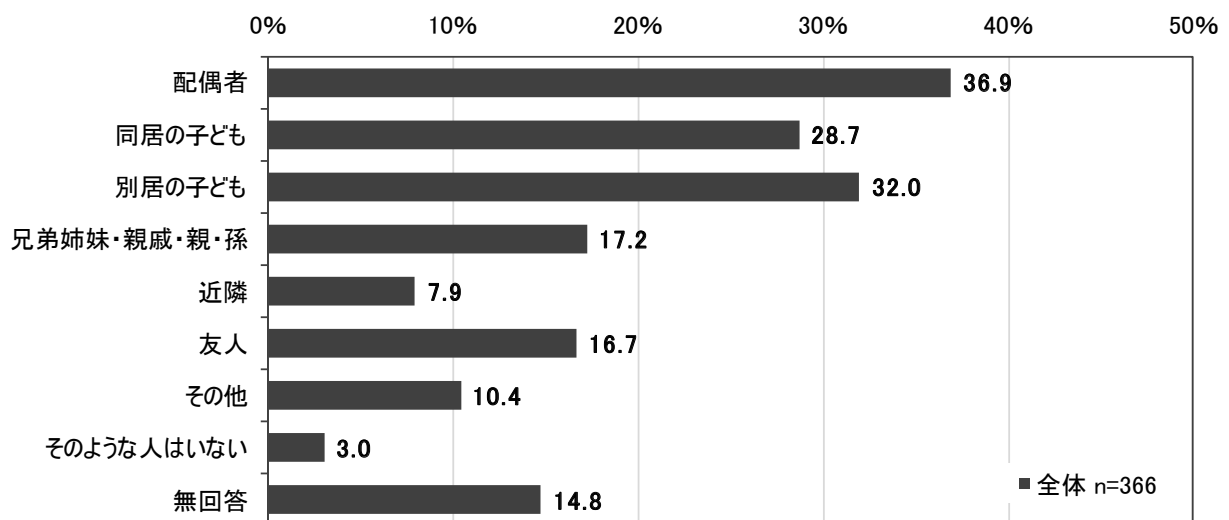
- お互いに緊密なかかわりをもち、支えあえる関係をもちたい
- いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい
- お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいとしたい
- かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい
- 無回答

7. たすけあいについて

「7. たすけあいについて」は、心配事や愚痴を聞いてくれる人、聞いてあげる人、看病や世話をしてくれる人、してあげる人を把握するための項目となっています。

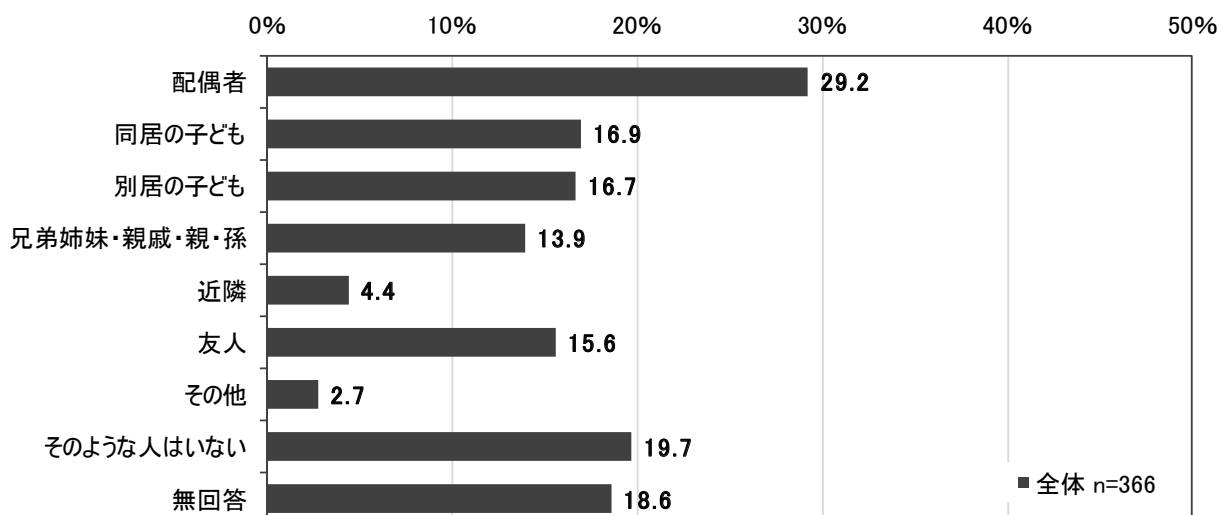
問 33. あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人は、どのような人ですか。
（あてはまるものすべてに回答） ★

あなたの心配事や愚痴を聞いてくれる人については、「配偶者」が 36.9%で最も高く、次いで「別居の子ども」が 32.0%、「同居の子ども」が 28.7%となっています。



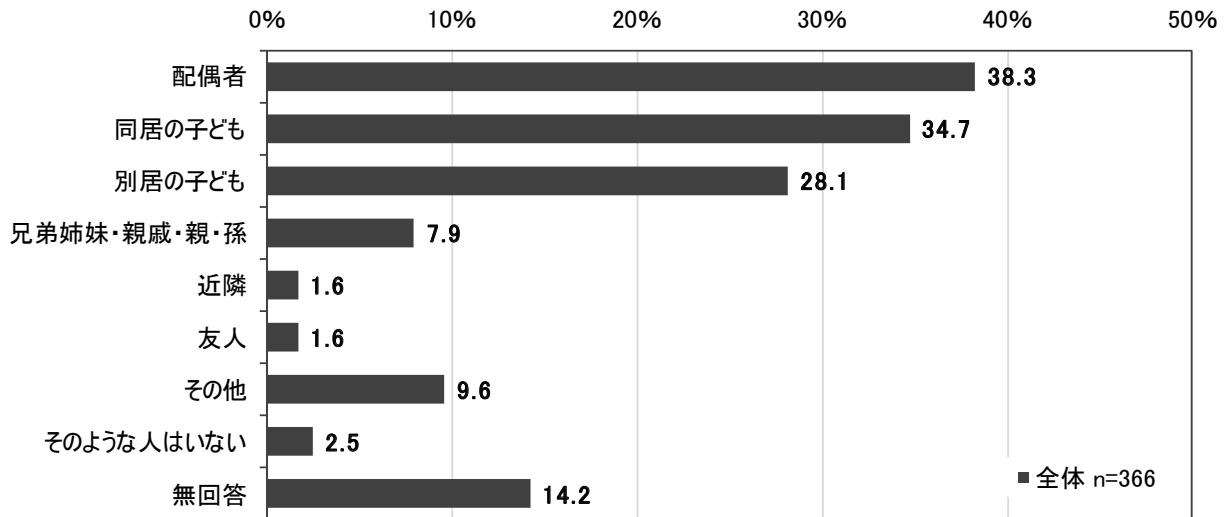
問 34. 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人は、どのような人ですか。
（あてはまるものすべてに回答） ★

あなたが心配事や愚痴を聞いてあげる人については、「配偶者」が 29.2%で最も高く、次いで「そのような人はいない」が 19.7%、「同居の子ども」が 16.9%となっています。



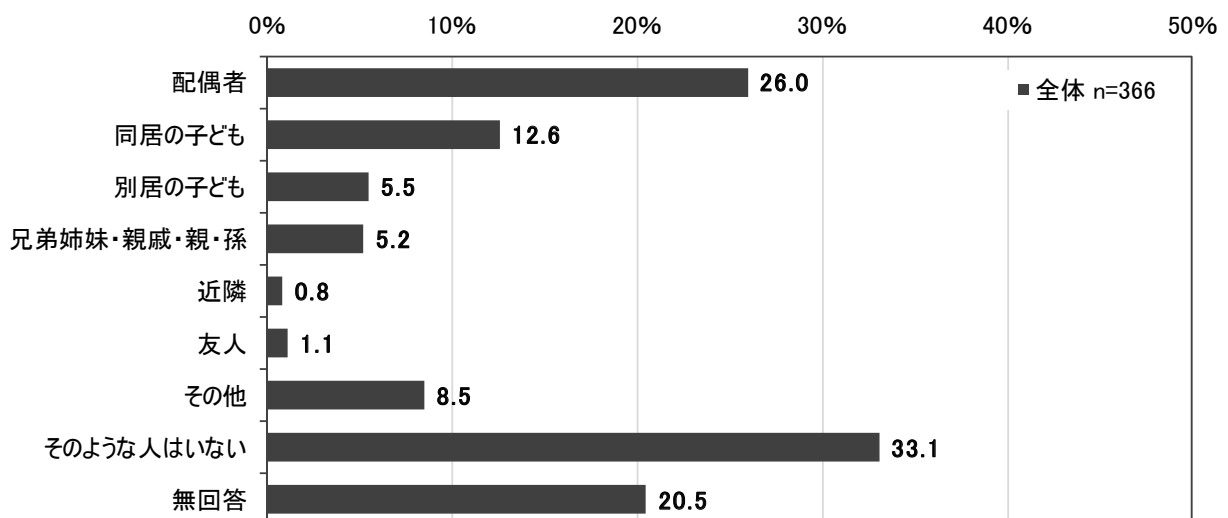
問 35. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★

あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人については、「配偶者」が38.3%で最も高く、次いで「同居の子ども」が34.7%、「別居の子ども」が28.1%となっています。



問 36. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答) ★

あなたが看病や世話をしてあげる人については、「そのような人はいない」が33.1%で最も高く、次いで「配偶者」が26.0%、「同居の子ども」が12.6%となっています。

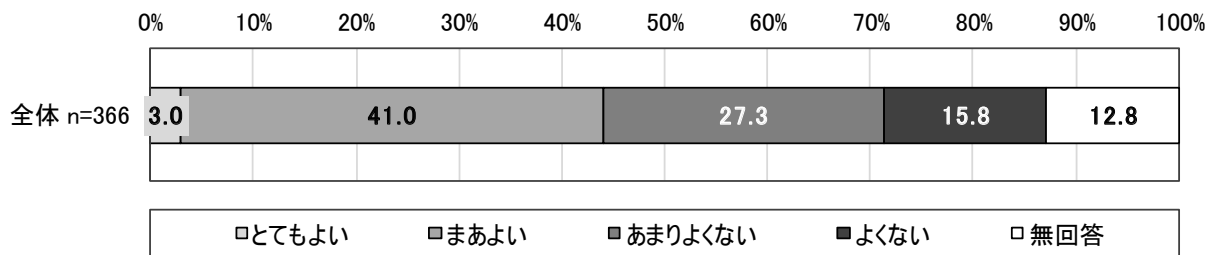


8. 健康について

「8. 健康について」は、現在の健康状態、現在の幸福感、現在の心の状況、喫煙状況、病気の有無、かかりつけ医等の有無、終末期の意向を把握するための項目となっています。

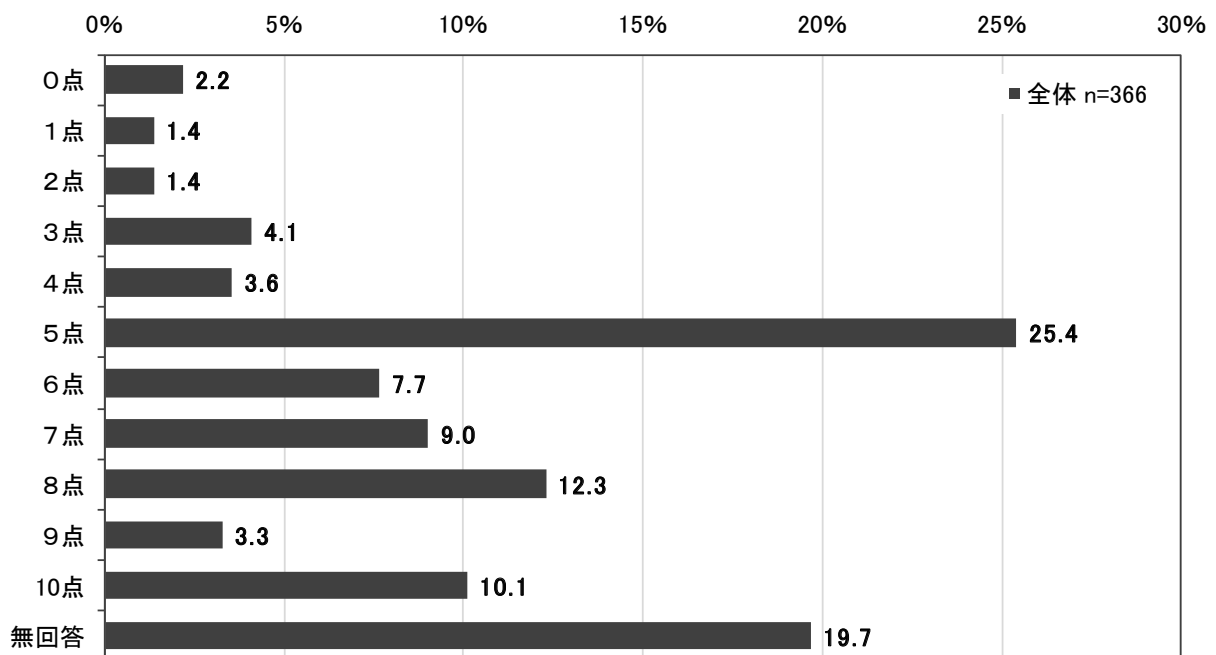
問 37. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ) ★

現在の健康状態については、「まあよい」が41.0%で最も高く、次いで「あまりよくない」が27.3%、「よくない」が15.8%、「とてもよい」が3.0%となっています。



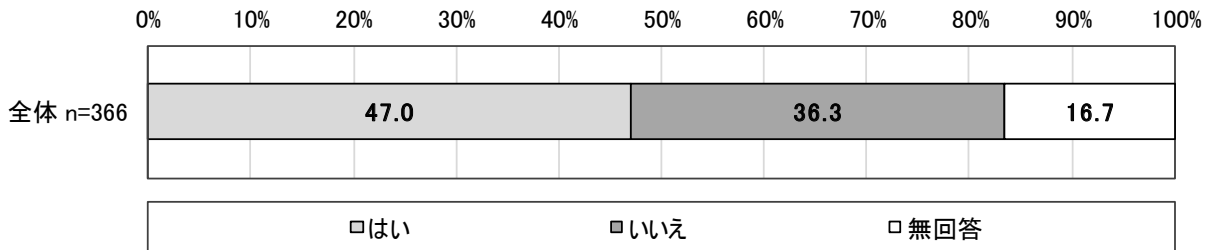
問 38. あなたは、現在どの程度幸せですか。(回答は1つ) ★

現在の幸福感については、「5点」が25.4%で最も高く、次いで「8点」が12.3%、「10点」が10.1%、「7点」が9.0%、「6点」が7.7%となっています。「5点」～「10点」の合計値で67.8%の割合を占めています。



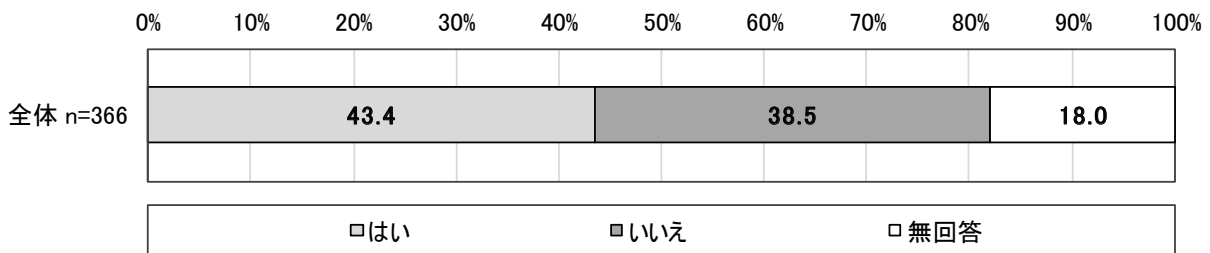
**問 39. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。
(回答は1つ) ★**

この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがあったかについては、「はい」が47.0%、「いいえ」が36.3%で、「はい」が10.7ポイント上回っています。



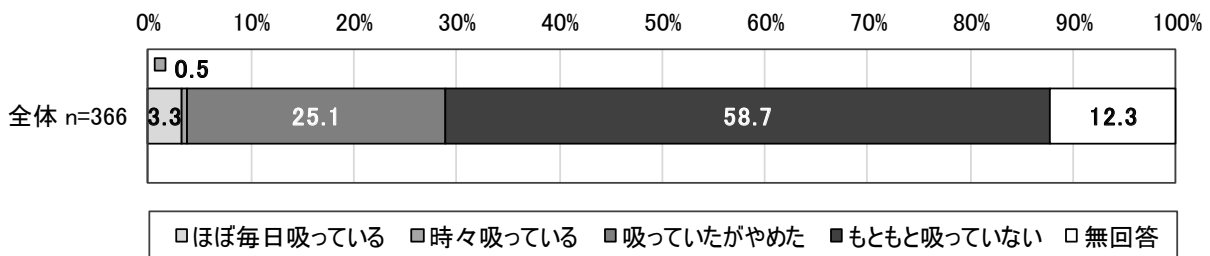
問 40. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ) ★

この1か月間、物事に対して興味がわかない、楽しめない感じがあったかについては、「はい」が43.4%、「いいえ」が38.5%で、「はい」が4.9ポイント上回っています。



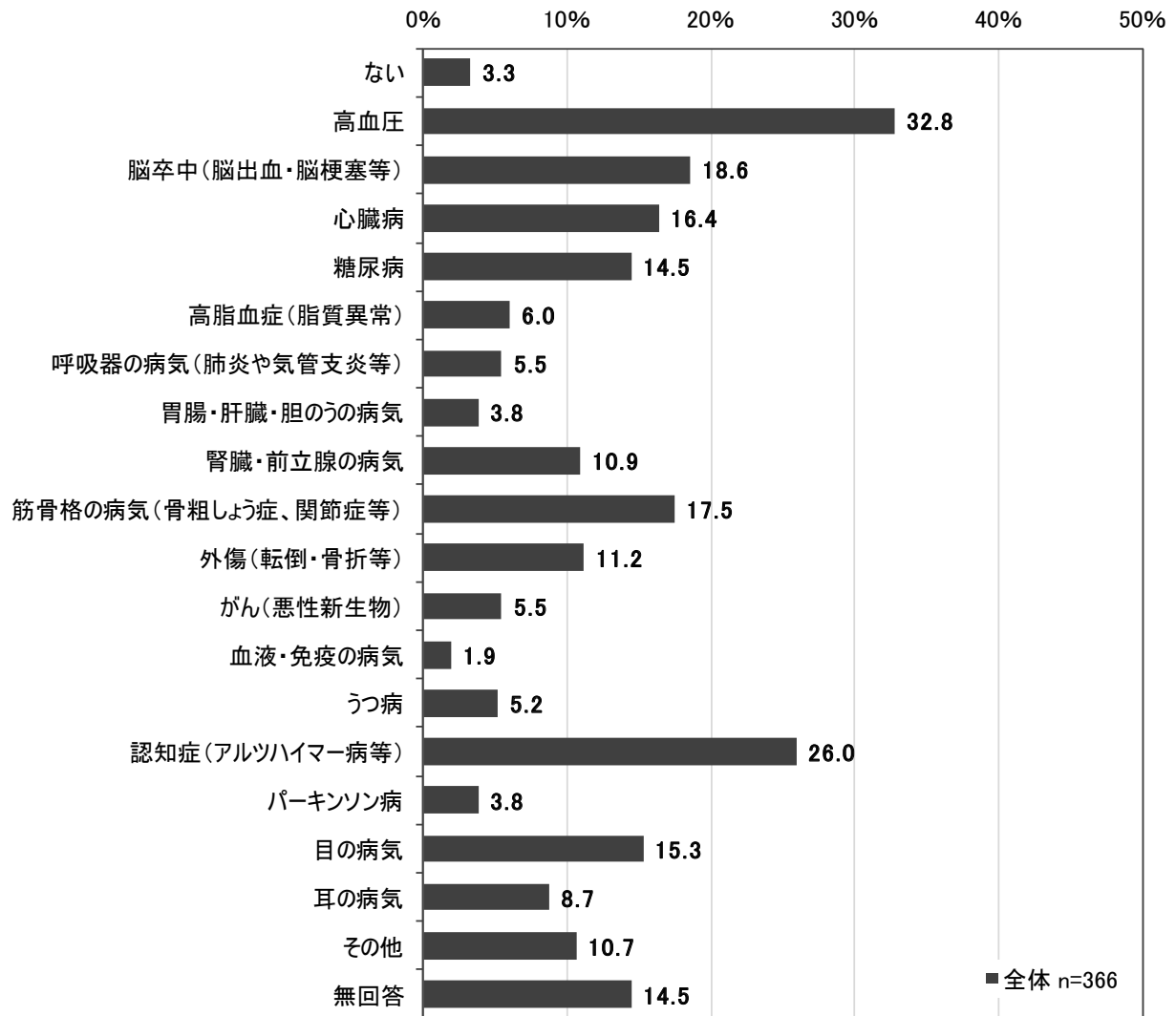
問 41. タバコは吸っていますか。(回答は1つ) ★

喫煙状況については、「もともと吸っていない」が58.7%で最も高く、次いで「吸っていたがやめた」が25.1%、「ほぼ毎日吸っている」が3.3%、「時々吸っている」が0.5%となっています。



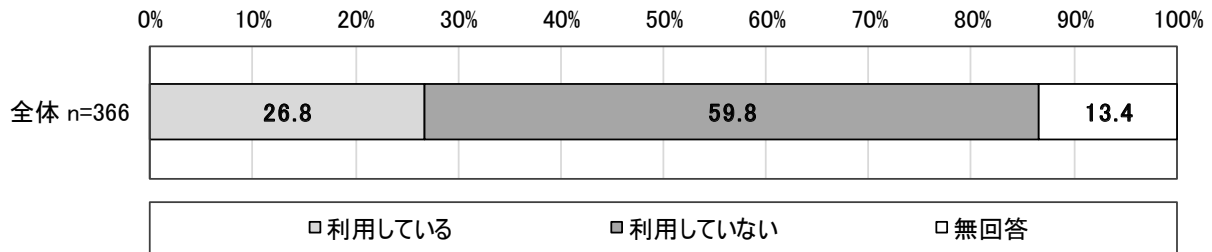
問 42. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答) ★

現在治療中、または後遺症のある病気があるかについては、「高血圧」が 32.8%で最も高く、次いで「認知症(アルツハイマー病等)」が 26.0%、「脳卒中(脳出血・脳梗塞等)」が 18.6%となっています。



問 43. 現在、訪問診療を利用していますか。(回答は1つ) ★

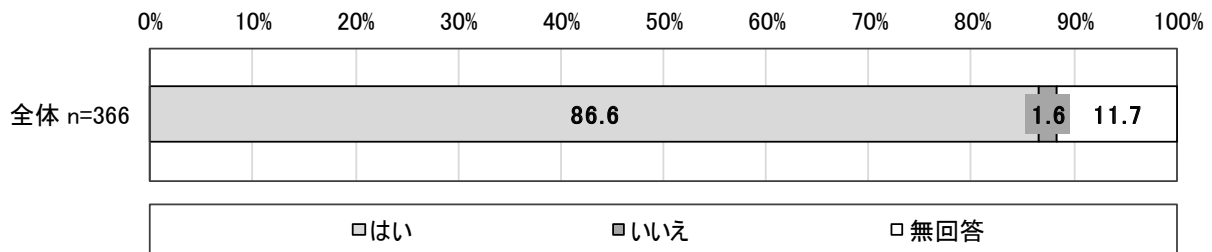
訪問診療の利用状況については、「利用している」が26.8%、「利用していない」が59.8%で、「利用していない」が33.0ポイント上回っています。



問 44. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

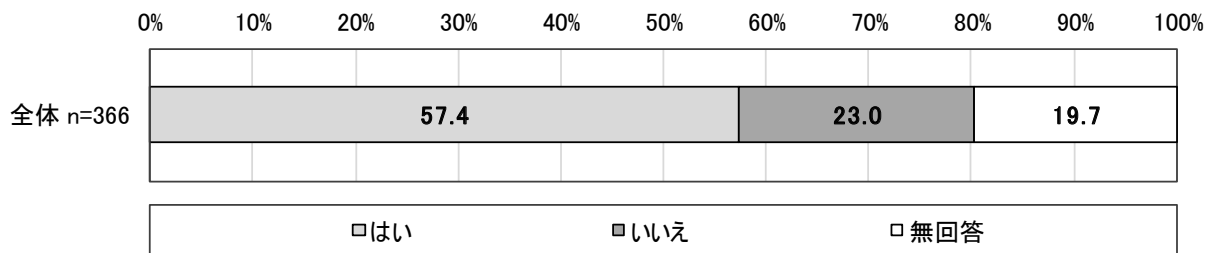
①かかりつけの医師はいますか

かかりつけの医師がいるかについては、「はい」が86.6%、「いいえ」が1.6%で、「はい」が85.0ポイント上回っています。



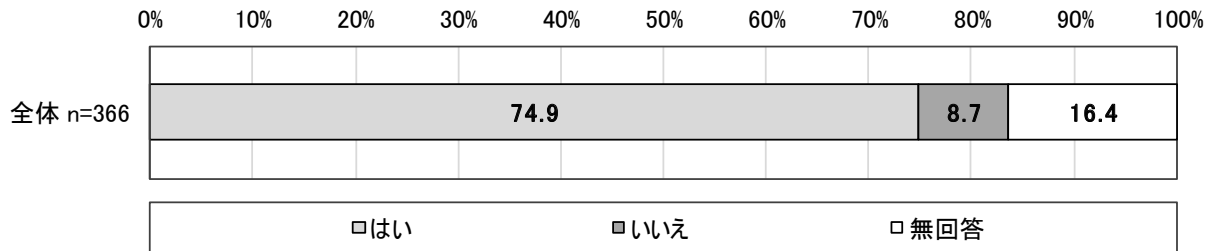
②かかりつけの歯科医はいますか

かかりつけの歯科医がいるかについては、「はい」が57.4%、「いいえ」が23.0%で、「はい」が34.4ポイント上回っています。



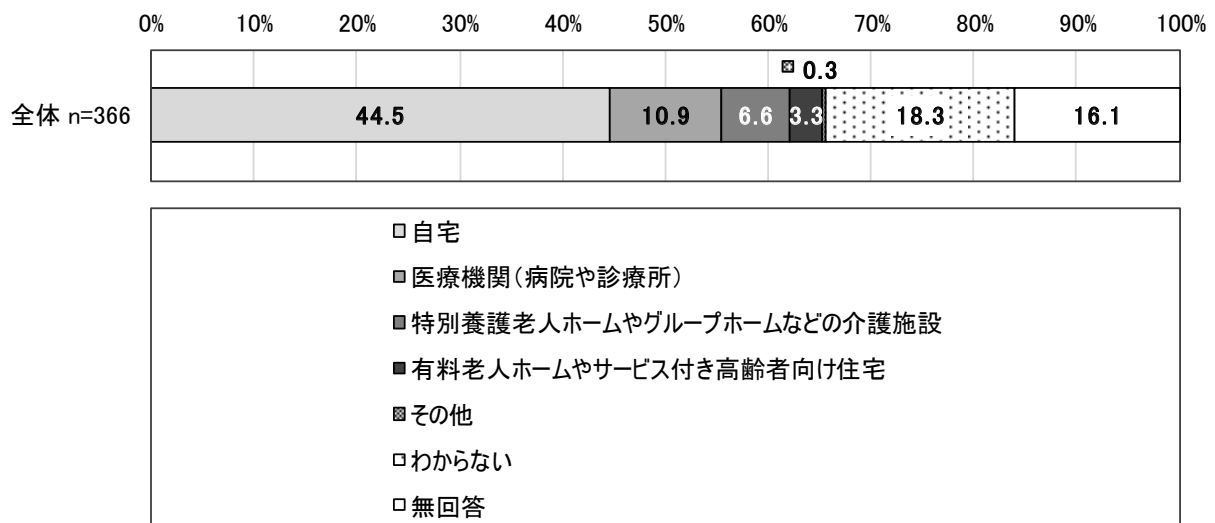
③かかりつけの薬局はありますか

かかりつけの薬局があるかについては、「はい」が74.9%、「いいえ」が8.7%で、「はい」が66.2ポイント上回っています。



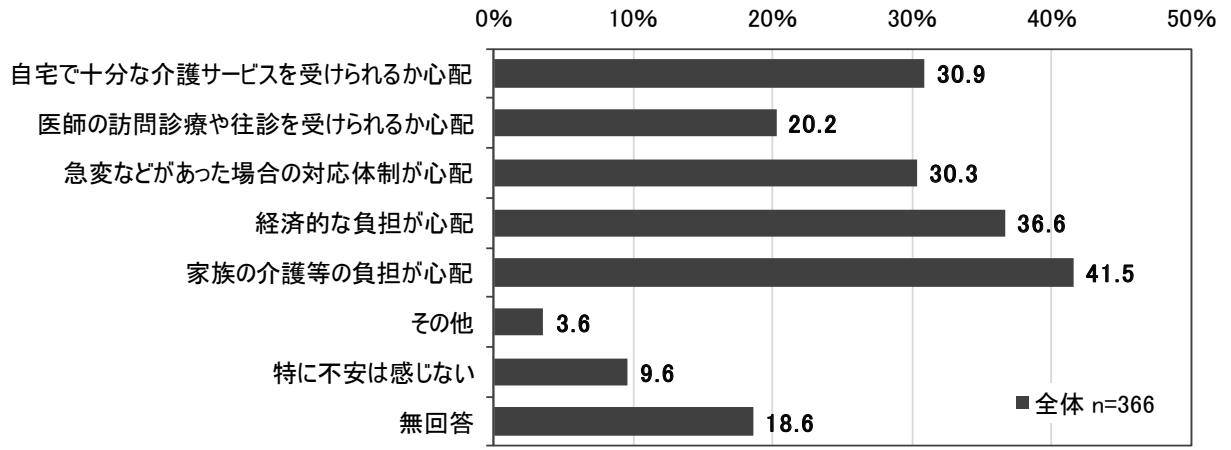
問 45. あなたは、終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）をどこで過ごしたいと思いますか。（回答は1つ）

終末期をどこで過ごしたいかについては、「自宅」が44.5%で最も高く、次いで「わからない」が18.3%、「医療機関（病院や診療所）」が10.9%となっています。



問 46. 終末期について、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに回答)

終末期について、どのようなことに不安を感じるかについては、「家族の介護等の負担が心配」が41.5%で最も高く、次いで「経済的な負担が心配」が36.6%、「自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配」が30.9%となっています。



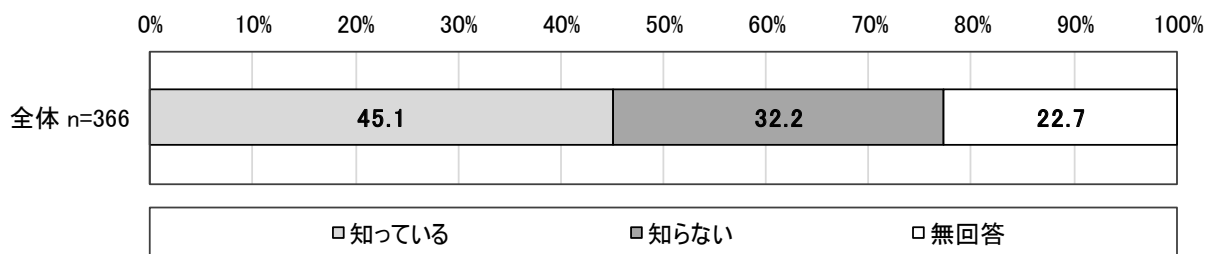
9. 認知症施策について

「9. 認知症施策について」は、各種認知症施策等に係る認知度や認知症の状況を把握するための項目となっています。

問 47. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)

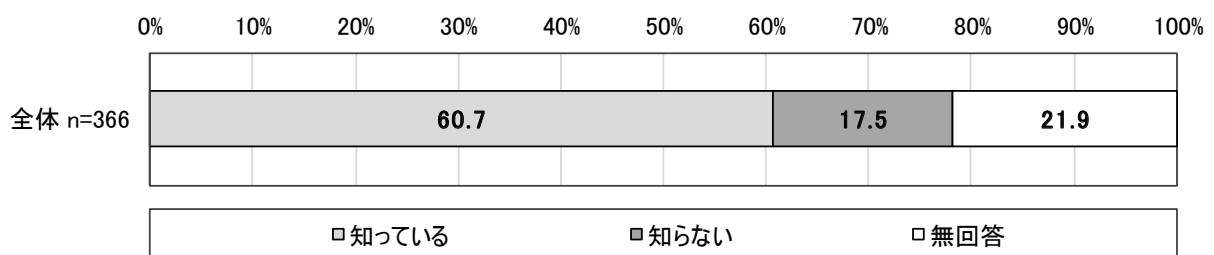
①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること

自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができることについては、「知っている」が45.1%、「知らない」が32.2%で、「知っている」が12.9ポイント上回っています。



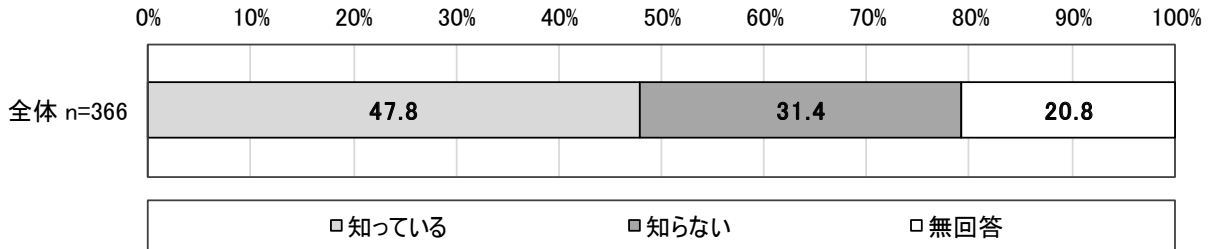
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと

認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いことについては、「知っている」が60.7%、「知らない」が17.5%で、「知っている」が43.2ポイント上回っています。



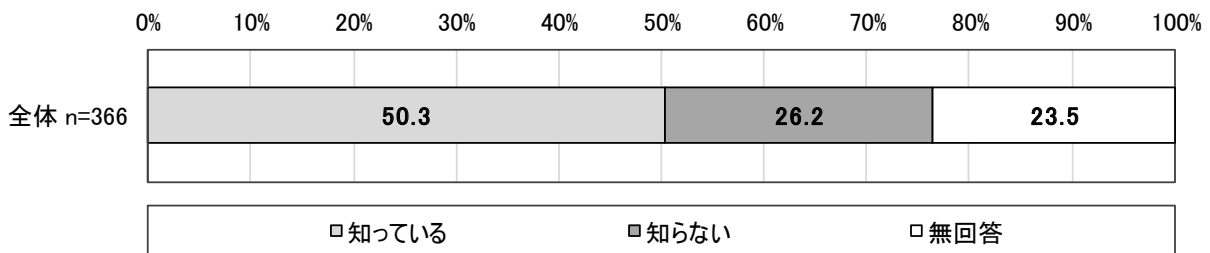
③認知症の方が入所する介護施設があること

認知症の方が入所する介護施設があることについては、「知っている」が 47.8%、「知らない」が 31.4%で、「知っている」が 16.4 ポイント上回っています。



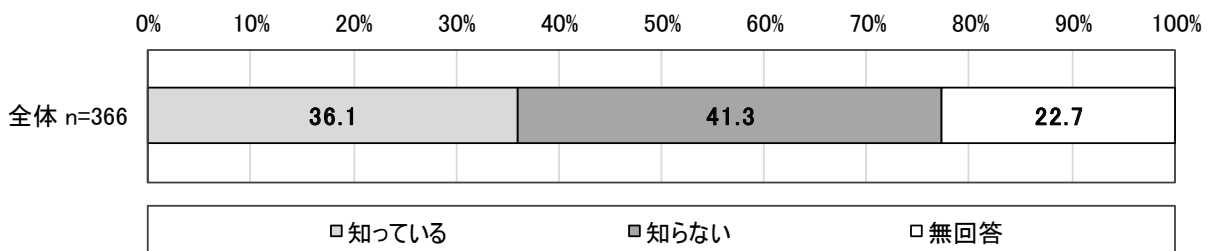
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと

家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なことについては、「知っている」が 50.3%、「知らない」が 26.2%で、「知っている」が 24.1 ポイント上回っています。



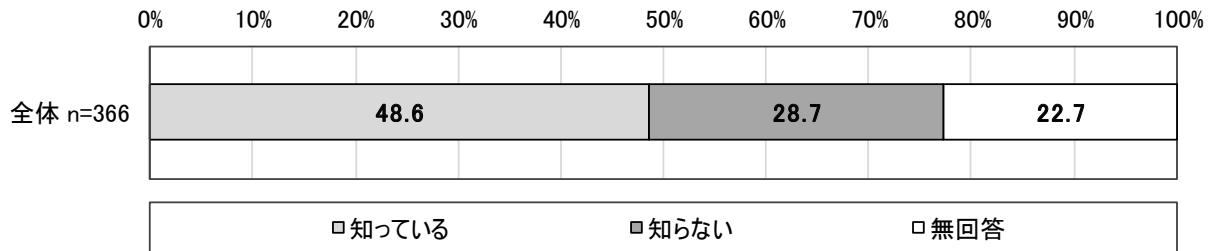
⑤消費者被害に関する相談窓口があること

消費者被害に関する相談窓口があることについては、「知っている」が 36.1%、「知らない」が 41.3%で、「知らない」が 5.2 ポイント上回っています。



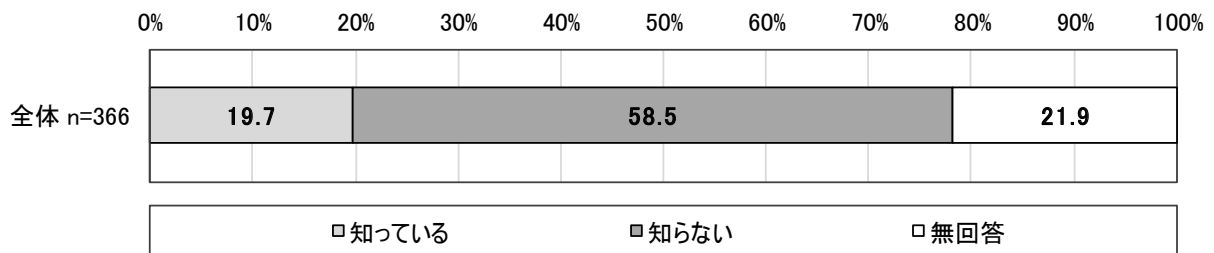
⑥ 「成年後見制度」

成年後見制度については、「知っている」が48.6%、「知らない」が28.7%で、「知っている」が19.9ポイント上回っています。



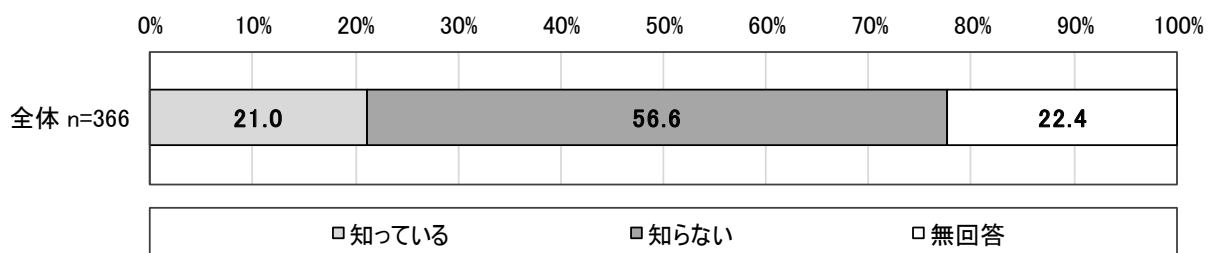
⑦ 「みんなのカフェ（認知症カフェ）」

みんなのカフェ（認知症カフェ）については、「知っている」が19.7%、「知らない」が58.5%で、「知らない」が38.8ポイント上回っています。



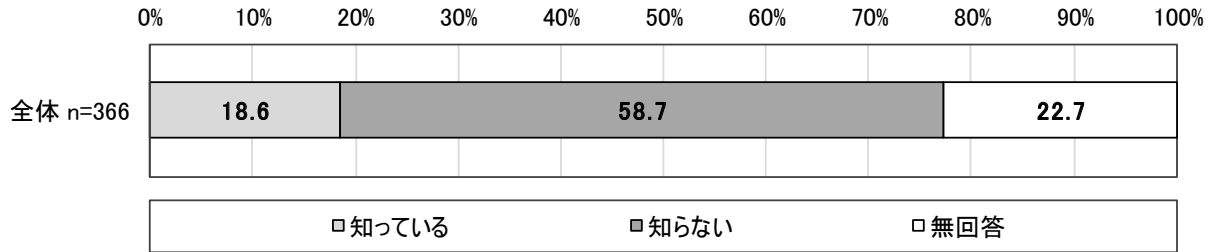
⑧ 「認知症サポーター」

認知症サポーターについては、「知っている」が21.0%、「知らない」が56.6%で、「知らない」が35.6ポイント上回っています。



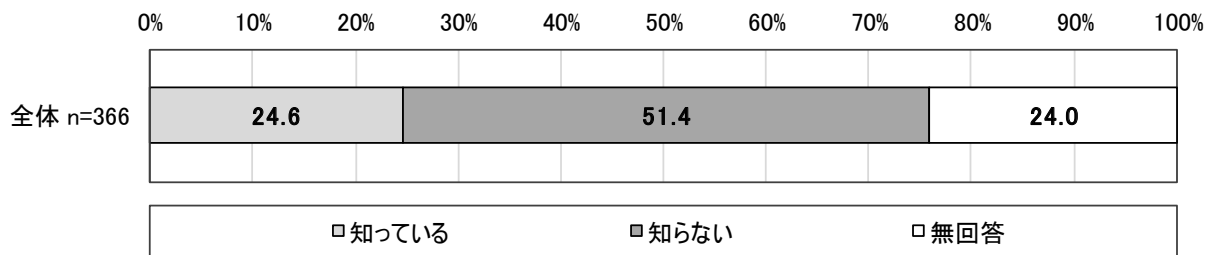
⑨「GPSの貸出」

GPSの貸出については、「知っている」が18.6%、「知らない」が58.7%で、「知らない」が40.1ポイント上回っています。



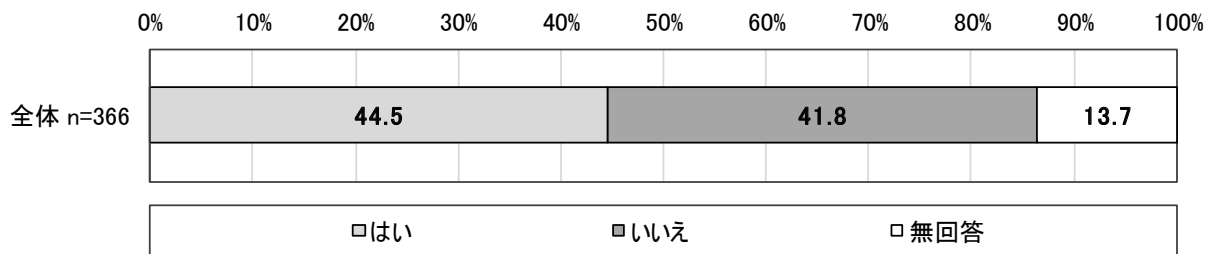
⑩「もの忘れ相談医」

もの忘れ相談医については、「知っている」が24.6%、「知らない」が51.4%で、「知らない」が26.8ポイント上回っています。



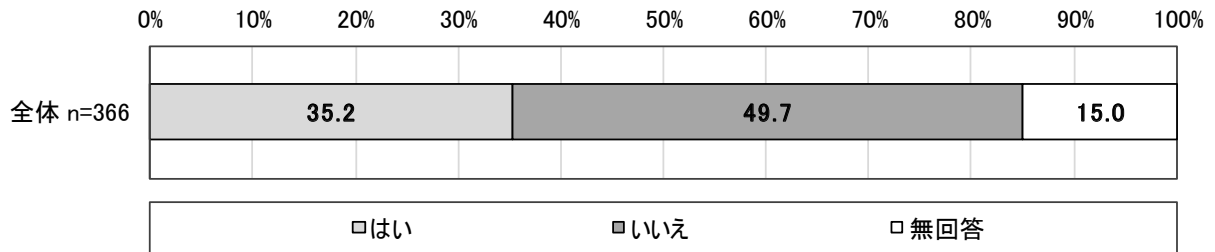
問 48. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいますか。
 (回答は1つ) ★

自身に認知症の症状又は家族に認知症の症状があるかについては、「はい」が44.5%、「いいえ」が41.8%で、「はい」が2.7ポイント上回っています。



問 49. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ) ★

認知症に関する相談窓口を知っているかについては、「はい」が 35.2%、「いいえ」が 49.7%で、「いいえ」が 14.5 ポイント上回っています。



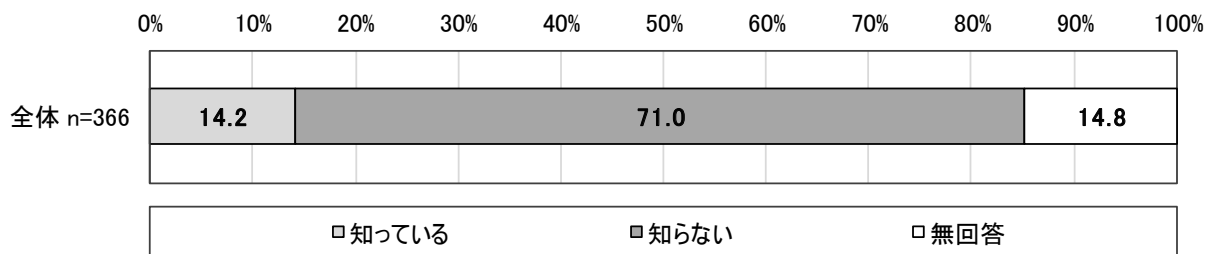
10. 市の施策・事業、介護保険制度について

「10. 市の施策・事業、介護保険制度について」は、避難行動要支援者支援事業の認知度、介護保険施設への意向、介護保険料の段階、介護保険料への負担感、介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況、在宅生活の継続に必要な支援・サービス、市が行っている高齢者福祉サービスへの利用意向、市の独自制度に対する意向を把握するための項目となっています。

問 50. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

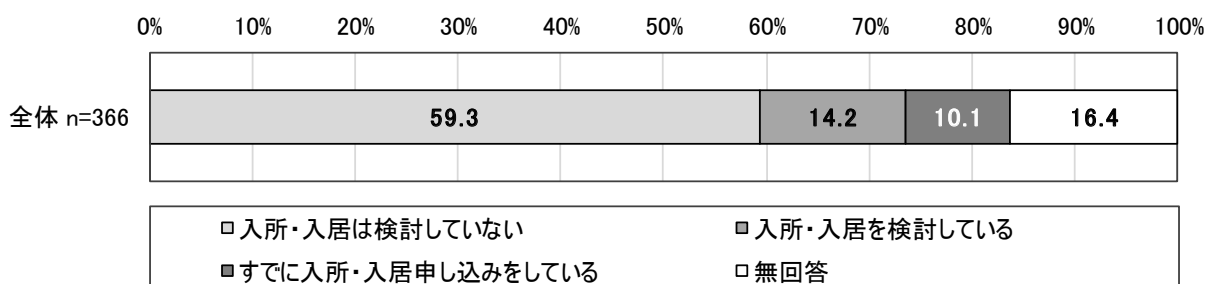
あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。（回答は1つ）

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が 14.2%、「知らない」が 71.0%で、「知らない」が 56.8 ポイント上回っています。



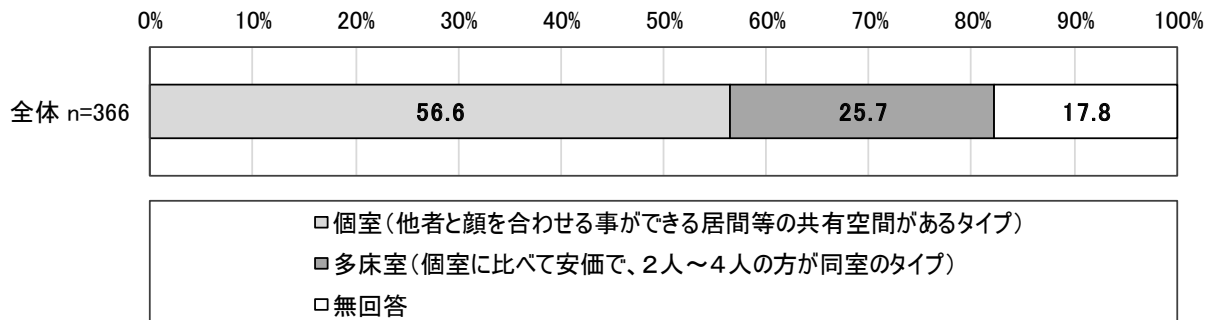
問 51. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてお答えください。（回答は1つ） ★

現時点での、施設等への入所・入居の検討状況については、「入所・入居は検討していない」が 59.3%で最も高く、次いで「入所・入居を検討している」が 14.2%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 10.1%となっています。



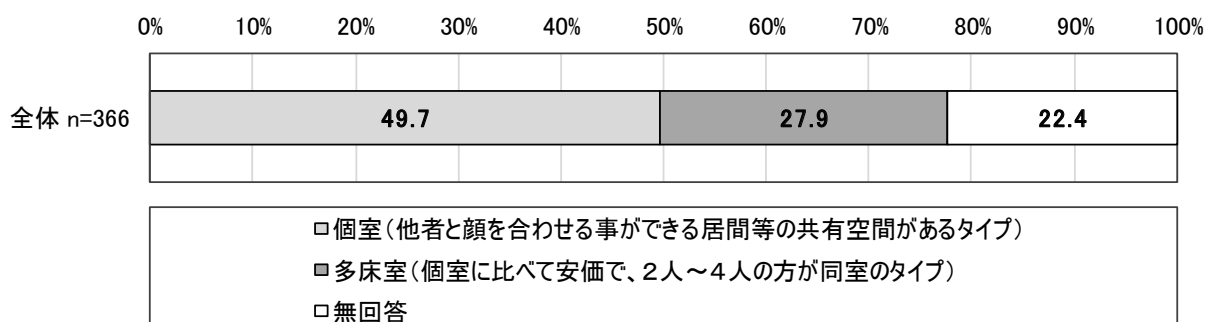
問 52. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 56.6%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 25.7%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 30.9 ポイント上回っています。



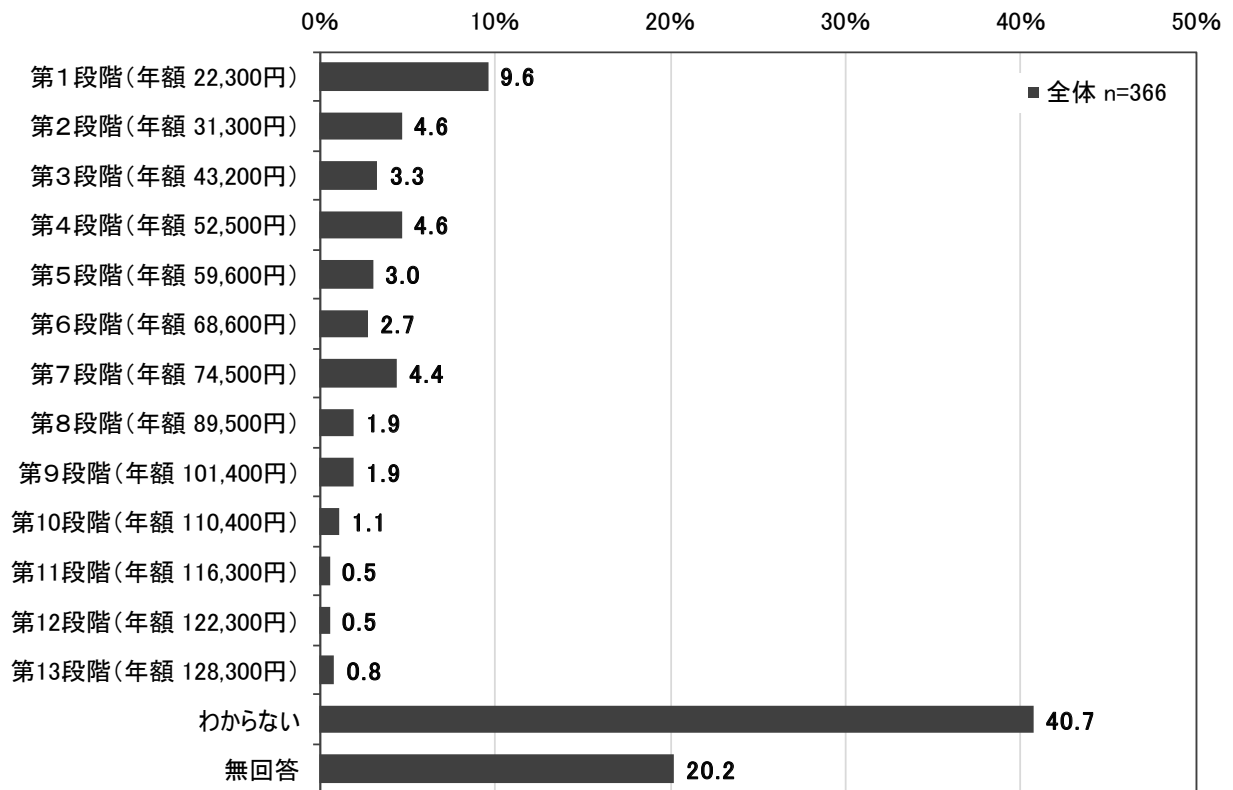
問 53. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 49.7%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が 27.9%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が 21.8 ポイント上回っています。



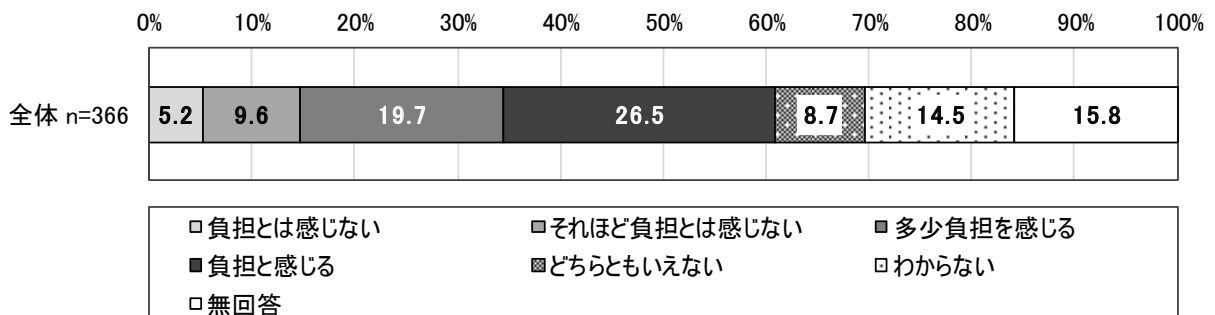
問 54. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

介護保険料の段階については、「わからない」が40.7%で最も高く、次いで「第1段階(年額 22,300円)」が9.6%、「第2段階(年額 31,300円)」「第4段階(年額 52,500円)」がともに4.6%となっています。



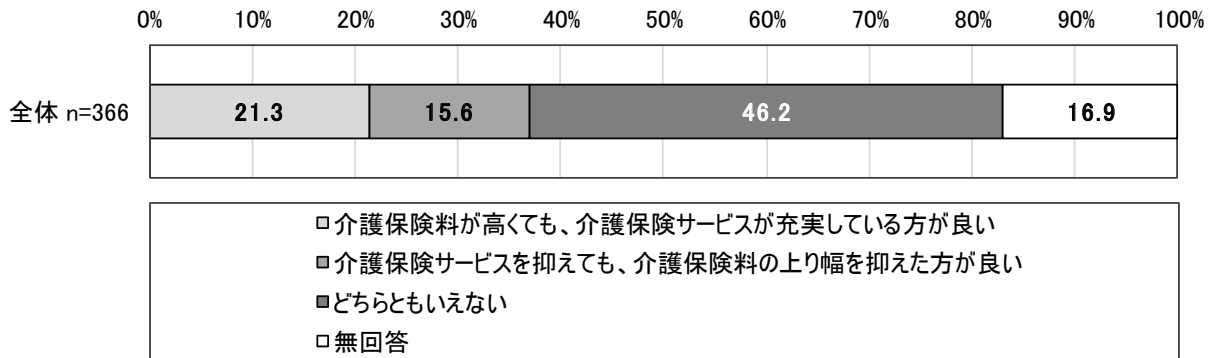
問 55. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

介護保険料に対する負担感については、「負担と感じる」が26.5%で最も高く、次いで「多少負担を感じる」が19.7%、「わからない」が14.5%となっています。



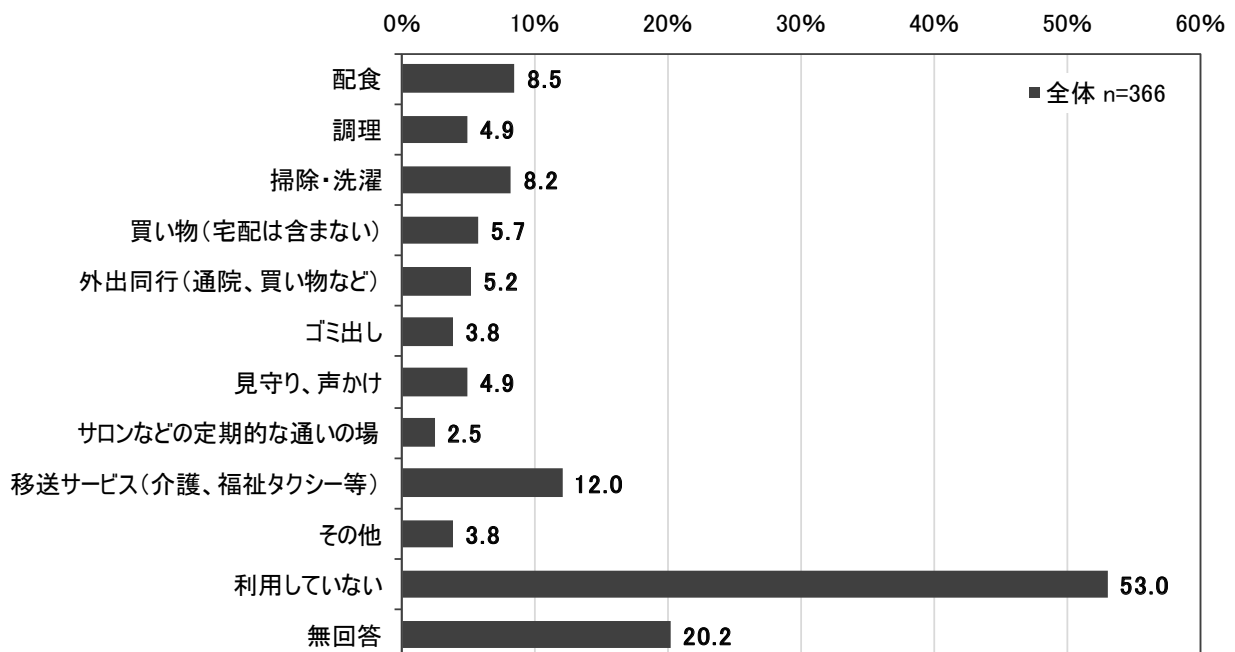
問 56. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

介護保険サービスと介護保険料について、どのように考えているかについては、「どちらともいえない」が46.2%で最も高く、次いで「介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い」が21.3%、「介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い」が15.6%となっています。



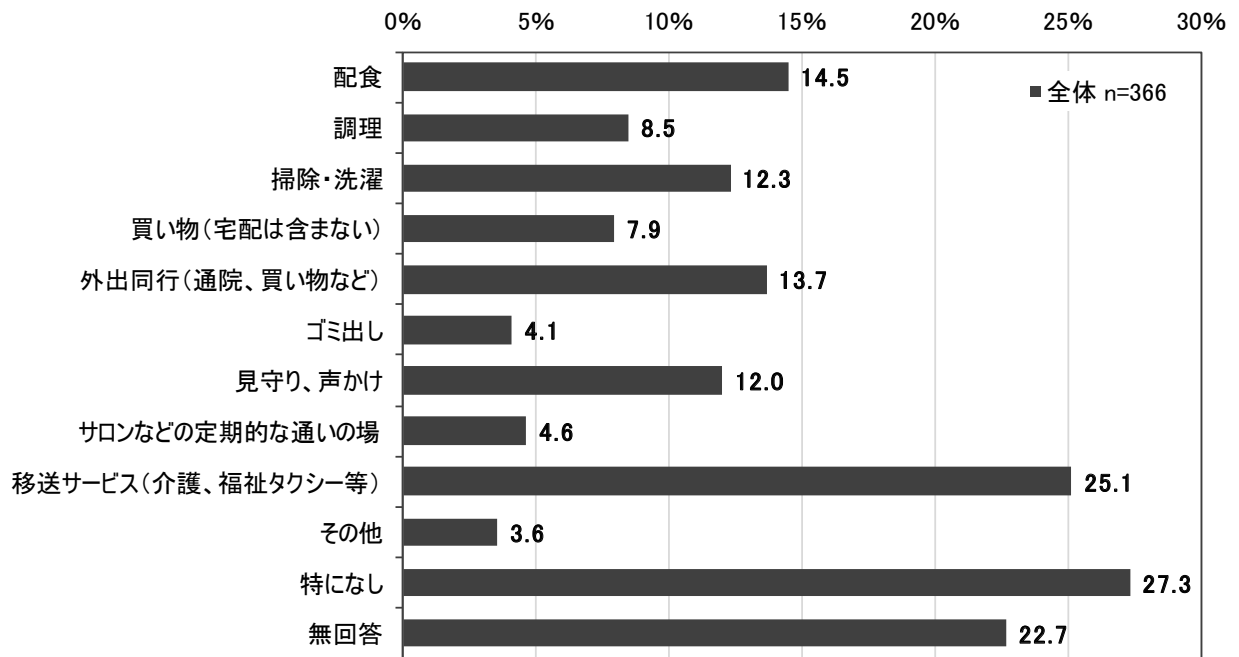
問 57. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(あてはまるものすべてに回答) ★

現在、利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについては、「利用していない」が53.0%で最も高く、次いで「移送サービス(介護、福祉タクシー等)」が12.0%、「配食」が8.5%となっています。



問 58. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで） ★

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「特になし」が27.3%で最も高く、次いで「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が25.1%、「配食」が14.5%となっています。

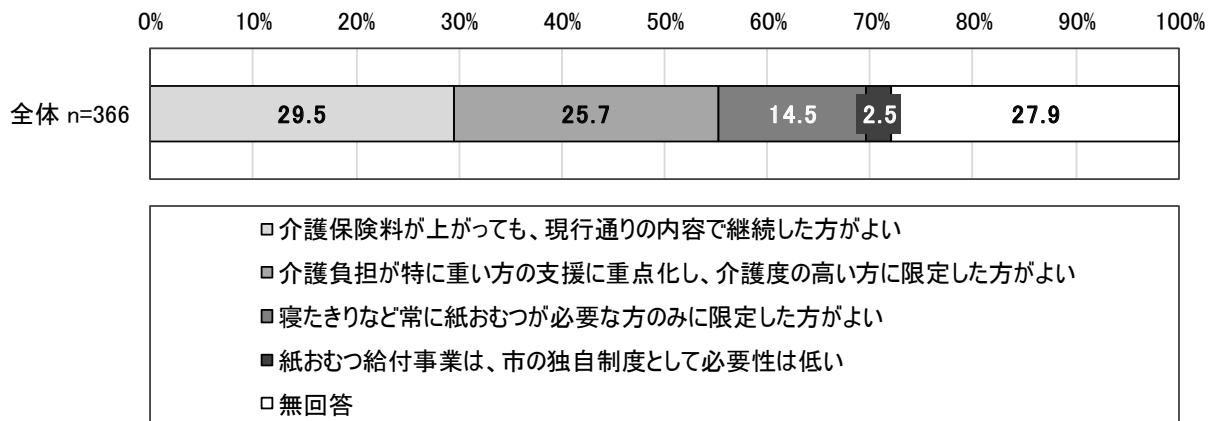


問 59. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。

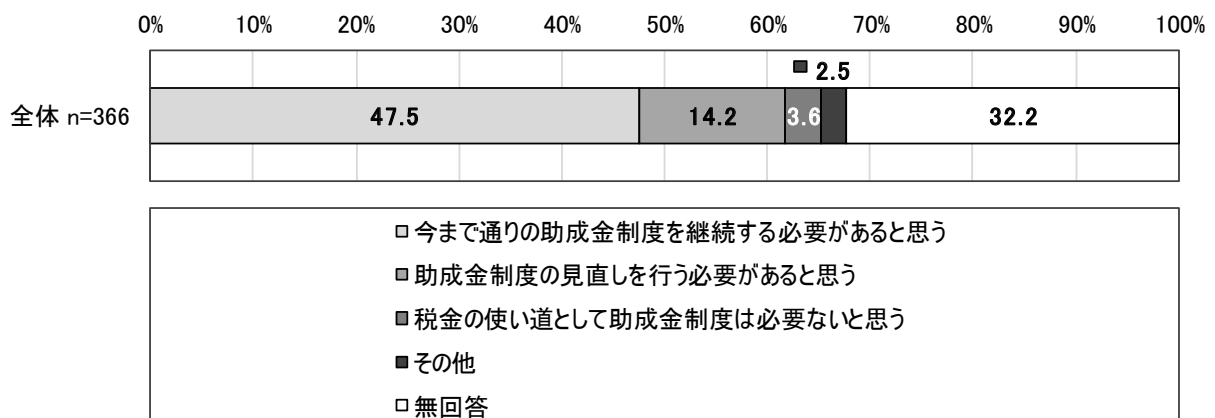
今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が29.5%で最も高く、次いで「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい」が25.7%、「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい」が14.5%となっています。



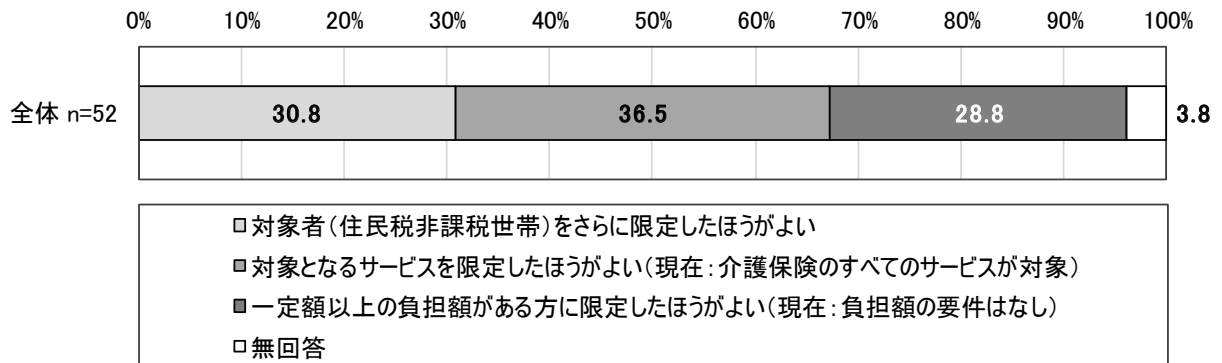
問 60. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後もこの助成金制度が必要だと思いますか。（回答は1つ）

低所得者助成金制度が今後も必要だと思うかについては、「今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う」が47.5%で最も高く、次いで「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」が14.2%、「税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う」が3.6%となっています。



**問 60-1. 【問 60 で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】
 どのような観点から見直しが必要だと思いますか。（回答は1つ）**

低所得者助成金制度は、どのような観点から見直しが必要だと思うかについては、「対象となるサービスを限定したほうがよい」が 36.5%で最も高く、次いで「対象者（住民税非課税世帯）をさらに限定したほうがよい」が 30.8%、「一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい」が 28.8%となっています。



第2章 要介護高齢者 各機能の評価結果

1. 各機能の評価項目

本調査には、各機能の評価する設問が設けられており、回答結果をもとに、各機能の評価することができます。

①運動機能の評価

以下の5項目のうち、3項目以上に該当した場合、運動機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問8	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	できない
問9	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	できない
問10	15分位続けて歩いていますか。	できない
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある
問12	転倒に対する不安は大きいですか。	とても不安である／やや不安である

②転倒リスクの評価

以下の項目に該当した場合、転倒リスクに高い傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問11	過去1年間に転んだ経験がありますか。	何度もある／1度ある

③閉じこもりの評価

以下の項目に該当した場合、閉じこもりの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問13	週に1回以上は外出していますか。	ほとんど外出しない／週1回

④認知機能の評価

以下の項目に該当した場合、認知機能に低下の傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問21	物忘れが多いと感じますか。	はい

⑤うつの評価

以下の2項目のうち、いずれかに該当した場合、うつの傾向がみられる該当者と判定します。

設問		該当する回答
問39	この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。	はい
問40	この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。	はい

⑥手段的自立度（IADL）の評価

高齢者の比較的高次の生活機能を評価することができる老研式活動能力指標に準じた設問が5問設けられています。このうち、手段的自立度（IADL）については、各設問について「できるし、している」「できるけどしていない」と回答した場合を1点とし、5点満点を「高い」、4点を「やや低い」、3点以下を「低い」と評価します。

設問	
問 22	バスや電車を使って、1人で外出していますか。
問 23	自分で食品・日用品の買い物をしていますか。
問 24	自分で食事の用意をしていますか。
問 25	自分で請求書の支払いをしていますか。
問 26	自分で預貯金の出し入れをしていますか。

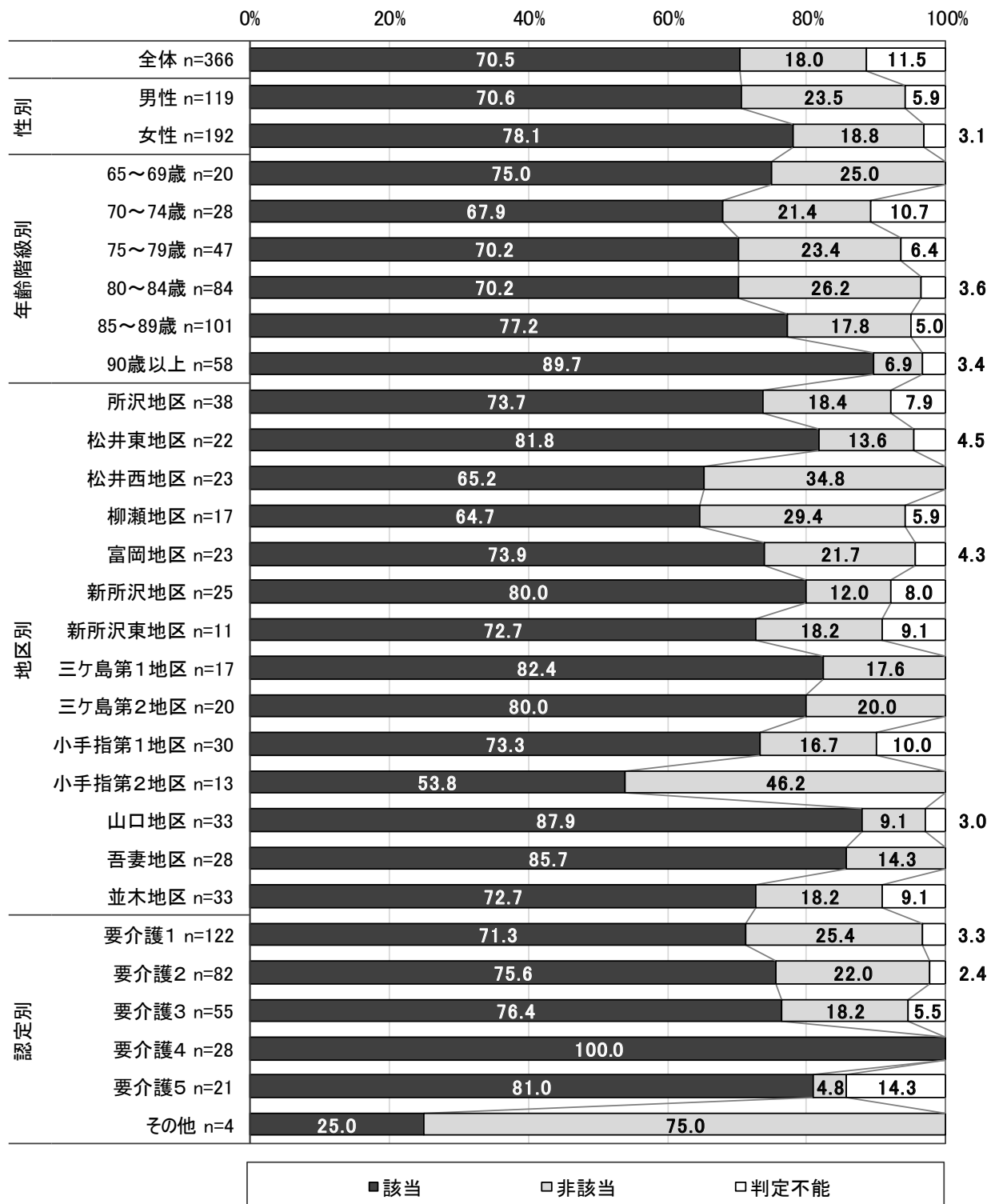
2. 各機能の評価結果

各機能の評価結果について、年齢階級別、地区別、認定別は、回答者数が少数のため、本文中では触れていません。

①運動機能の評価結果

運動機能についての結果をみると、運動機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で70.5%となっています。

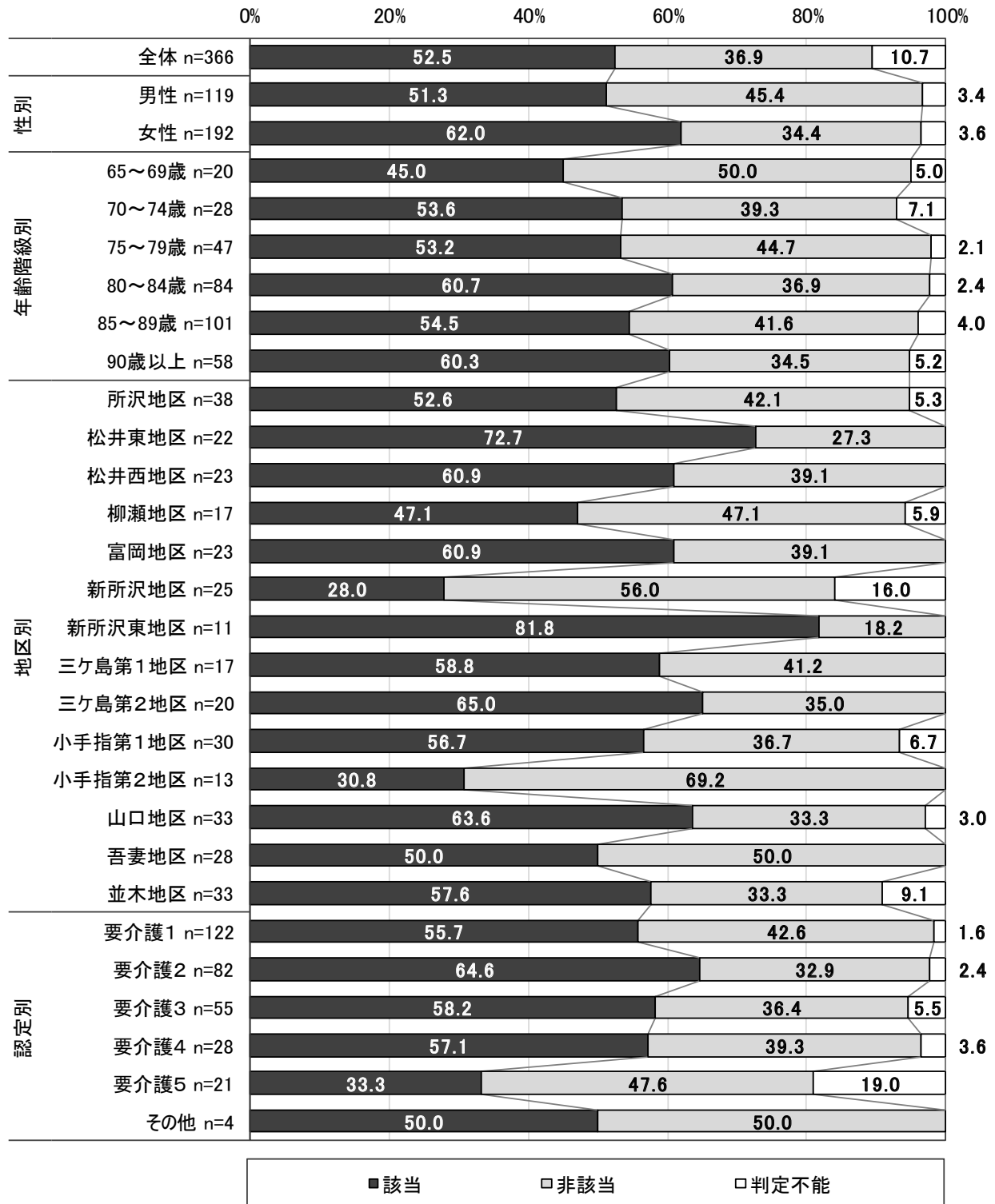
性別では、男性が70.6%、女性が78.1%で、女性が7.5ポイント上回っています。



②転倒リスクの評価結果

転倒リスクについての結果をみると、転倒リスクが高い傾向があると判定された方は、全体で52.5%となっています。

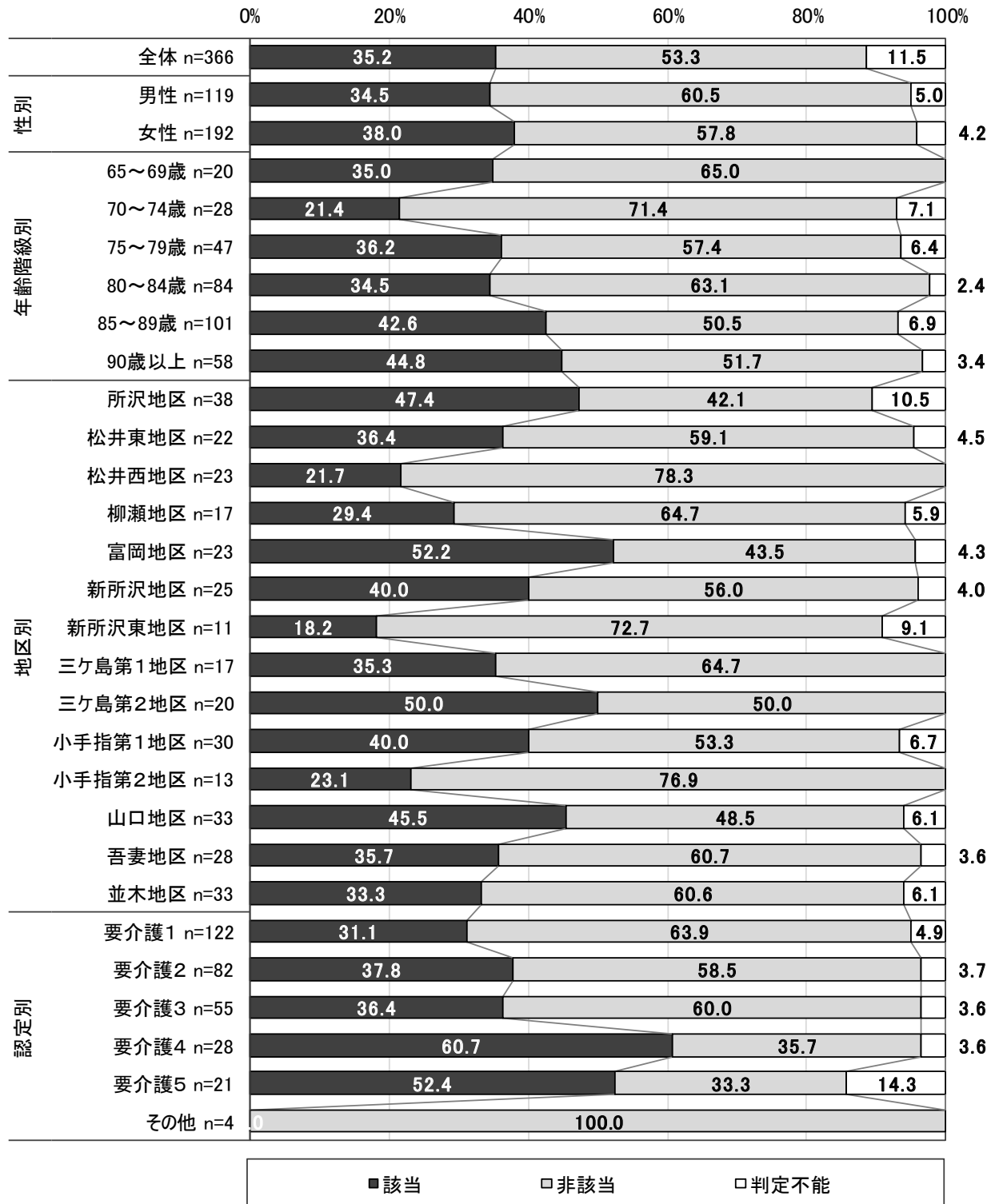
性別では、男性が51.3%、女性が62.0%で、女性が10.7ポイント上回っています。



③閉じこもりの評価結果

閉じこもりについての結果をみると、閉じこもりの傾向がみられると判定された方は、全体で35.2%となっています。

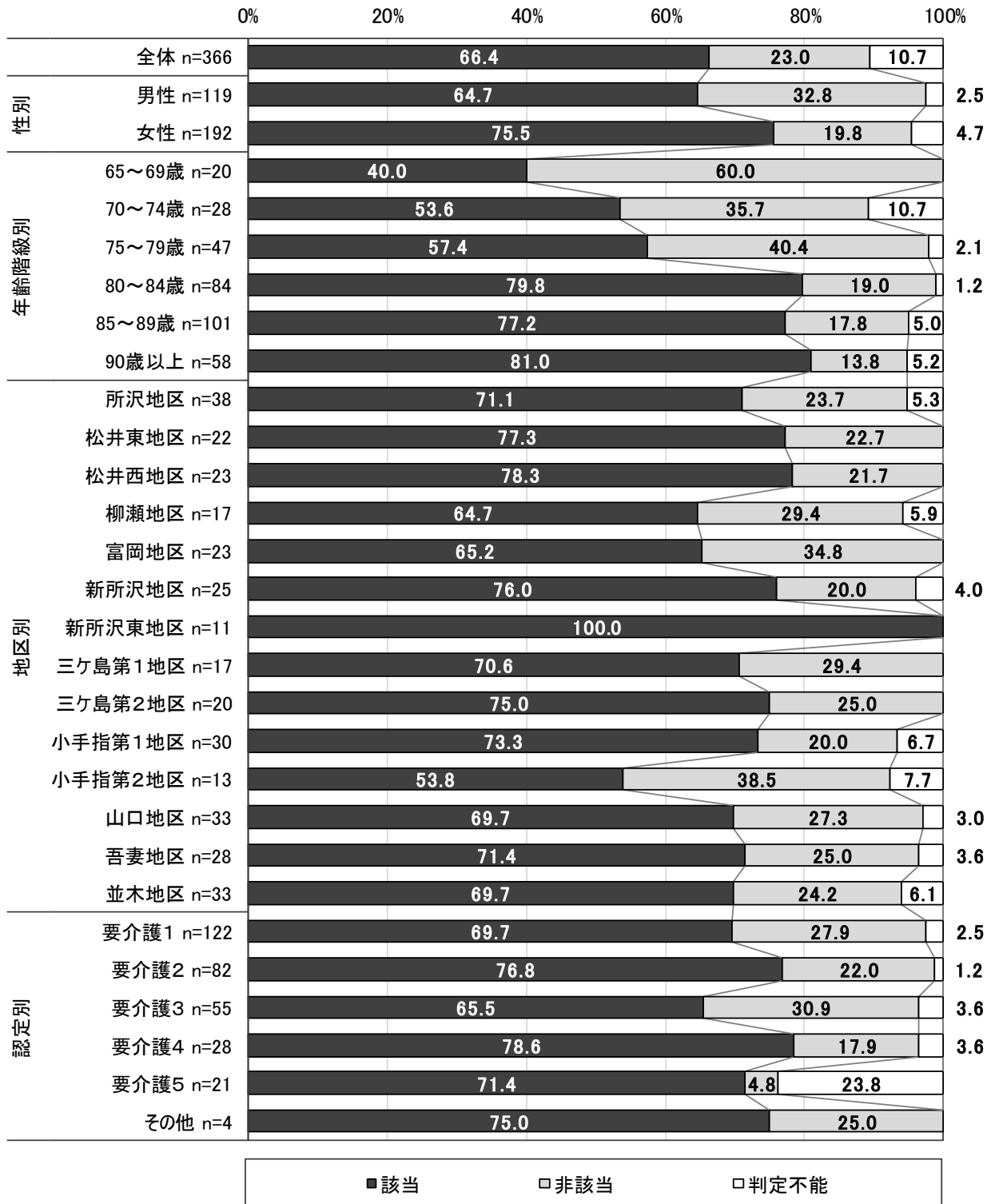
性別では、男性が34.5%、女性が38.0%で、女性が3.5ポイント上回っています。



④認知機能の評価結果

認知機能についての結果をみると、認知機能に低下の傾向がみられると判定された方は、全体で66.4%となっています。

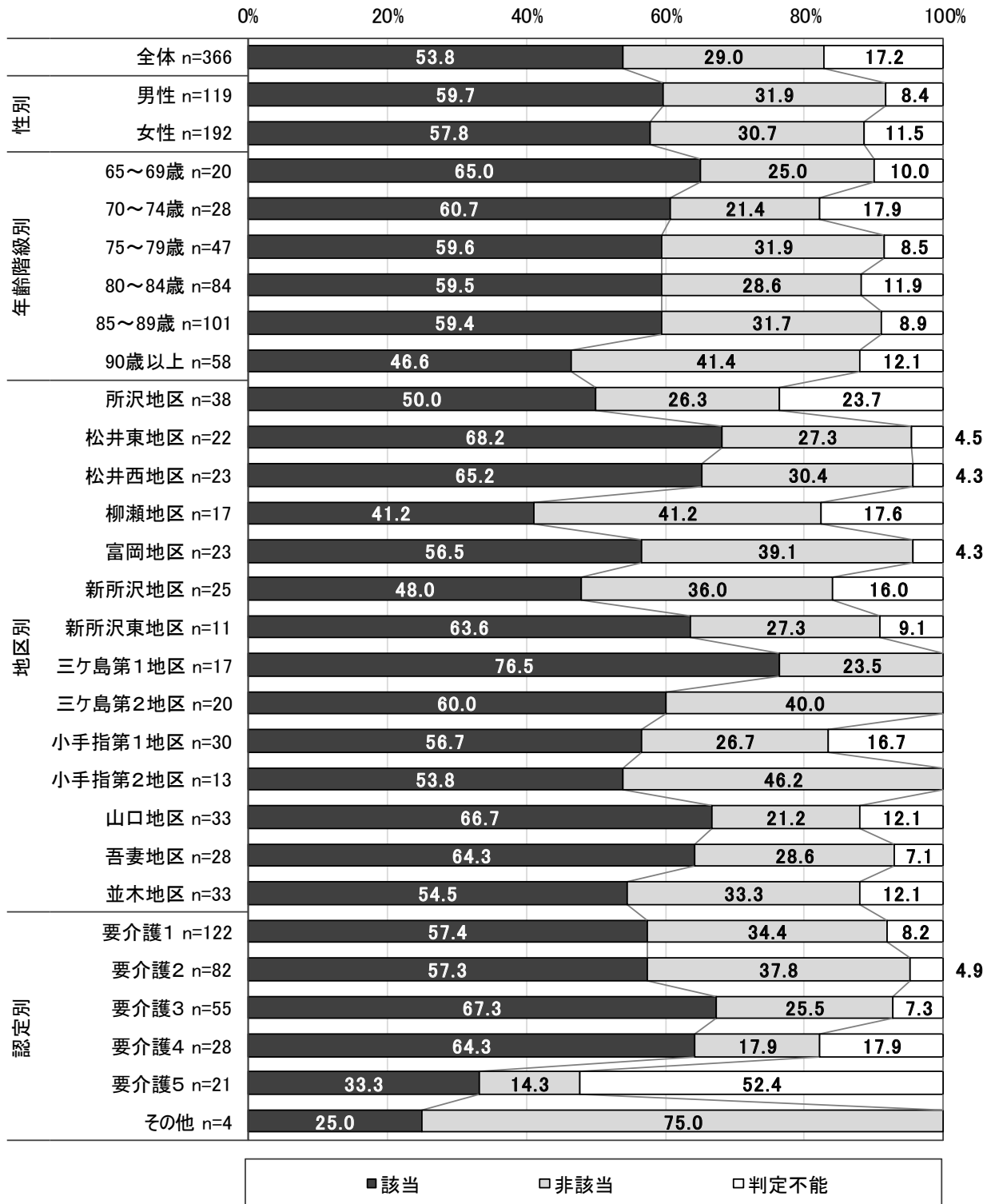
性別では、男性が64.7%、女性が75.5%で、女性が10.8ポイント上回っています。



⑤うつの評価結果

うつについての結果をみると、うつの傾向がみられると判定された方は、全体で53.8%となっています。

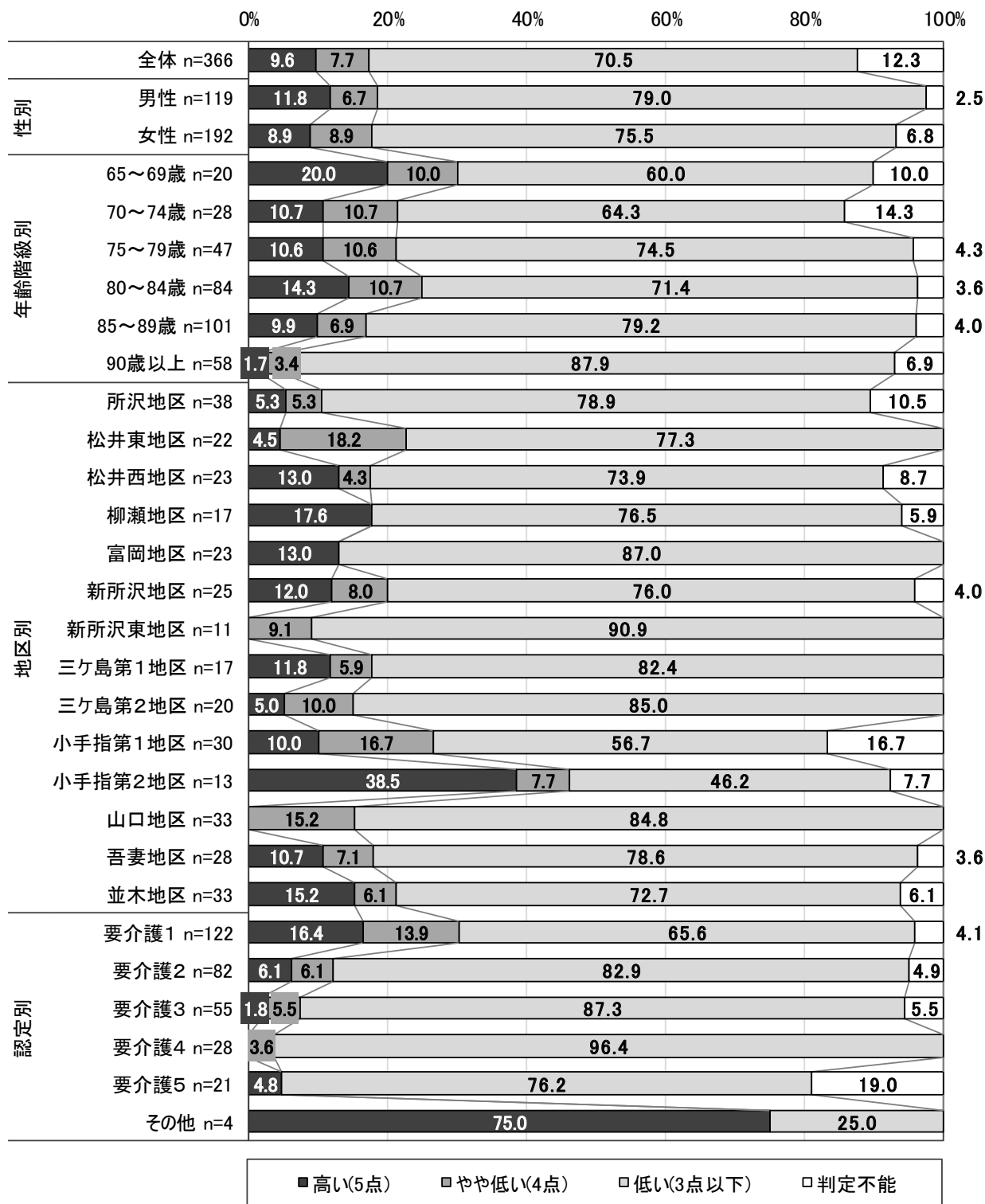
性別では、男性が59.7%、女性が57.8%で、男性が1.9ポイント上回っています。



⑥手段的自立度（IADL）の評価結果

手段的自立度（IADL）についてみると、手段的自立度が「高い」と判定された方は、全体で9.6%となっています。

性別では、男性が11.8%、女性が8.9%と、男性が2.9ポイント上回っています。



第3章 要介護高齢者 クロス集計でみる傾向

1. 地区別の傾向

①家族構成について

・問3 選択肢：1人暮らし

	1人暮らしの割合が高い傾向にある地区	1人暮らしの割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	山口地区
2位	新所沢東地区	柳瀬地区／三ヶ島第1地区
3位	小手指第1地区	富岡地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
18.4%	22.7%	13.0%	5.9%	8.7%	16.0%	27.3%	5.9%	20.0%	23.3%	30.8%	3.0%	17.9%	12.1%
6	4	9	12	11	8	2	12	5	3	1	14	7	10

②経済状況について

・問6 選択肢：大変苦しい／やや苦しい(合計値)

	経済状況で苦しいと感じている割合が高い傾向にある地区	経済状況で苦しいと感じている割合が低い傾向にある地区
1位	松井東地区	三ヶ島第1地区
2位	小手指第2地区	三ヶ島第2地区
3位	並木地区	松井西地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
42.2%	59.1%	26.0%	41.1%	39.1%	40.0%	45.5%	23.5%	25.0%	33.4%	53.8%	30.3%	35.7%	51.6%
5	1	12	6	8	7	4	14	13	10	2	11	9	3

③外出の状況について

・問 15 選択肢：はい（外出を控えている）

	外出を控えている割合が高い傾向にある地区	外出を控えている割合が低い傾向にある地区
1位	新所沢東地区	新所沢地区
2位	富岡地区	小手指第2地区
3位	所沢地区	吾妻地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
60.5%	54.5%	52.2%	52.9%	65.2%	40.0%	72.7%	58.8%	55.0%	53.3%	46.2%	57.6%	50.0%	51.5%
3	7	10	9	2	14	1	4	6	8	13	5	12	11

④外出時の移動手段について

・移動手段別の上位3位（黒の塗りつぶし／白抜き文字）

単位：%

	所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n 値	38	22	23	17	23	25	11	17	20	30	13	33	28	33
徒歩	21.1	13.6	30.4	41.2	21.7	24.0	36.4	23.5	45.0	26.7	61.5	24.2	17.9	36.4
自転車	2.6	4.5	0.0	5.9	0.0	4.0	0.0	5.9	5.0	6.7	15.4	3.0	0.0	0.0
バイク	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
自動車(自分で運転)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	3.6	3.0
自動車(人に乗せてもらう)	44.7	54.5	73.9	41.2	82.6	44.0	45.5	76.5	60.0	43.3	53.8	63.6	46.4	45.5
電車	7.9	9.1	8.7	11.8	4.3	8.0	0.0	0.0	15.0	10.0	30.8	12.1	3.6	12.1
路線バス	5.3	9.1	8.7	23.5	8.7	4.0	0.0	0.0	5.0	10.0	23.1	12.1	14.3	21.2
病院や施設のバス	18.4	18.2	13.0	47.1	21.7	44.0	36.4	47.1	25.0	13.3	23.1	15.2	25.0	39.4
車いす	21.1	18.2	4.3	23.5	8.7	28.0	18.2	11.8	20.0	23.3	23.1	18.2	25.0	18.2
電動車いす(カート)	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.6	0.0
歩行器・シルバーカー	13.2	13.6	30.4	5.9	13.0	8.0	18.2	11.8	10.0	13.3	7.7	9.1	14.3	12.1
タクシー	23.7	40.9	26.1	23.5	30.4	20.0	18.2	35.3	30.0	20.0	23.1	51.5	32.1	42.4
その他	5.3	9.1	0.0	5.9	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	3.3	0.0	3.0	7.1	3.0
無回答	13.2	4.5	0.0	5.9	8.7	8.0	0.0	0.0	5.0	20.0	0.0	3.0	7.1	9.1

※「バイク」「自動車(自分で運転)」「電動車いす(カート)」「その他」については、割合が低いため地区別順位の色付けはしていません。

⑤地域との関係に対する考え方

・問 32 選択肢：かかわりあいをもたないで、自分なりに生活していきたい

	自分なりに生活していきたいと考える割合が 高い傾向にある地区	自分なりに生活していきたいと考える割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	
2位	新所沢地区	
3位	柳瀬地区	

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
5.3%	4.5%	13.0%	23.5%	8.7%	24.0%	0.0%	29.4%	15.0%	16.7%	0.0%	21.2%	10.7%	9.1%
11	12	7	3	10	2	13	1	6	5	13	4	8	9

⑥健康状態について

・問 37 選択肢：あまりよくない/よくない(合計値)

	健康状態がよくないと感じている割合が 高い傾向にある地区	健康状態がよくないと感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	三ヶ島第1地区	新所沢地区
2位	山口地区	富岡地区
3位	並木地区	柳瀬地区

(構成比/地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
36.8%	54.5%	52.2%	35.3%	34.8%	32.0%	54.6%	64.7%	50.0%	50.0%	38.5%	60.6%	42.9%	57.6%
11	5	6	12	13	14	4	1	7	7	10	2	9	3

⑦幸福感について

・問 38 選択肢：8点／9点／10点（合計値）

	幸福感を感じている割合が 高い傾向にある地区	幸福感を感じている割合が 低い傾向にある地区
1位	松井西地区	小手指第2地区
2位	松井東地区	新所沢地区
3位	吾妻地区	富岡地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
31.6%	40.9%	47.7%	29.5%	17.3%	16.0%	27.3%	29.4%	25.0%	30.0%	15.4%	18.1%	32.1%	24.3%
4	2	1	6	12	13	8	7	9	5	14	11	3	10

⑧運動機能について

・運動機能に低下の傾向がみられる割合

	運動機能に低下の傾向がみられる割合が 高い傾向にある地区	運動機能に低下の傾向がみられる割合が 低い傾向にある地区
1位	山口地区	小手指第2地区
2位	吾妻地区	柳瀬地区
3位	三ヶ島第1地区	松井西地区

（構成比／地区別順位）

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
73.7%	81.8%	65.2%	64.7%	73.9%	80.0%	72.7%	82.4%	80.0%	73.3%	53.8%	87.9%	85.7%	72.7%
8	4	12	13	7	5	10	3	5	9	14	1	2	10

⑨手段的自立度（IADL）について

・手段的自立度（IADL）が高い割合

	手段的自立度（IADL）の高い割合が高い傾向にある地区	手段的自立度（IADL）の高い割合が低い傾向にある地区
1位	小手指第2地区	新所沢東地区／山口地区
2位	柳瀬地区	松井東地区
3位	並木地区	三ヶ島第2地区

(構成比／地区別順位)

所沢地区	松井東地区	松井西地区	柳瀬地区	富岡地区	新所沢地区	新所沢東地区	三ヶ島第1地区	三ヶ島第2地区	小手指第1地区	小手指第2地区	山口地区	吾妻地区	並木地区
n=38	n=22	n=23	n=17	n=23	n=25	n=11	n=17	n=20	n=30	n=13	n=33	n=28	n=33
5.3%	4.5%	13.0%	17.6%	13.0%	12.0%	0.0%	11.8%	5.0%	10.0%	38.5%	0.0%	10.7%	15.2%
10	12	4	2	4	6	13	7	11	9	1	13	8	3

2. 個別クロス集計の結果

①外出頻度×外出する際の移動手段

外出頻度による外出する際の移動手段については、外出頻度が多いほど、「徒歩」の割合が高い傾向にあります。

また、ほとんど外出しない、週1回では、「タクシー」の割合が、他の区分に比べて高い傾向にあります。

	ほとんど外出しない n=90	週1回 n=39	週2～4回 n=147	週5回以上 n=48
徒歩	14.4%	25.6%	28.6%	62.5%
自転車	1.1%	2.6%	2.7%	10.4%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	0.0%	0.0%	1.4%	2.1%
自動車(人に乗せてもらう)	47.8%	66.7%	60.5%	52.1%
電車	5.6%	7.7%	9.5%	22.9%
路線バス	3.3%	7.7%	12.9%	25.0%
病院や施設のバス	16.7%	28.2%	32.0%	25.0%
車いす	31.1%	15.4%	16.3%	10.4%
電動車いす(カート)	2.2%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	8.9%	17.9%	16.3%	6.3%
タクシー	35.6%	35.9%	29.9%	18.8%
その他	3.3%	2.6%	3.4%	4.2%
無回答	13.3%	2.6%	3.4%	0.0%

②主な外出先×外出する際の移動手段

主な外出先への移動手段について回答者が多い項目をみると、「買い物をする場所」では、『自動車（人に乗せてもらう）』が61.9%で最も高く、次いで『徒歩』が58.3%、『タクシー』が29.8%となっています。

「病院、診療所」では、『自動車（人に乗せてもらう）』が63.9%で最も高く、次いで『徒歩』が36.1%、『病院や施設のバス』が35.2%となっています。

「デイサービスなどの通所施設」では、『自動車（人に乗せてもらう）』が59.8%で最も高く、次いで『病院や施設のバス』が36.0%、『タクシー』が26.8%となっています。

	買い物をする 場所 n=84	会合・サークル活動・学習 のための施設 n=5	体操等、地域の 通いの場 n=8	病院、診療所 n=108	飲食店 n=21	公園、遊歩道 n=20
徒歩	58.3%	60.0%	50.0%	36.1%	57.1%	70.0%
自転車	9.5%	20.0%	12.5%	3.7%	4.8%	5.0%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車 (自分で運転)	3.6%	0.0%	0.0%	1.9%	9.5%	0.0%
自動車 (人に乗せてもらう)	61.9%	100.0%	75.0%	63.9%	57.1%	75.0%
電車	25.0%	20.0%	50.0%	15.7%	14.3%	15.0%
路線バス	26.2%	40.0%	37.5%	21.3%	19.0%	20.0%
病院や施設のバス	22.6%	60.0%	0.0%	35.2%	9.5%	25.0%
車いす	7.1%	0.0%	0.0%	13.0%	23.8%	10.0%
電動車いす (カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・ シルバーカー	15.5%	0.0%	0.0%	14.8%	0.0%	15.0%
タクシー	29.8%	60.0%	25.0%	34.3%	23.8%	25.0%
その他	2.4%	0.0%	12.5%	1.9%	0.0%	0.0%
無回答	1.2%	0.0%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%

	家族・親戚や友人・知人の家 n=14	文化・娯楽施設 n=1	行楽地、観光地 n=1	スポーツ施設 n=1	宗教的な施設・場所 n=3
徒歩	42.9%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%
自転車	7.1%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(人に乗せてもらう)	71.4%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
電車	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
路線バス	28.6%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
病院や施設のバス	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
車いす	14.3%	0.0%	100.0%	0.0%	33.3%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	21.4%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
タクシー	28.6%	100.0%	100.0%	0.0%	33.3%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	農園 n=2	職場 n=1	入浴施設 n=2	デイサービスな どの通所施設 n=164	その他 n=13
徒歩	50.0%	0.0%	0.0%	26.2%	53.8%
自転車	0.0%	0.0%	50.0%	3.7%	0.0%
バイク	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
自動車(自分で運転)	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%
自動車(人に乗せてもらう)	100.0%	0.0%	0.0%	59.8%	76.9%
電車	50.0%	100.0%	0.0%	7.3%	7.7%
路線バス	50.0%	0.0%	0.0%	9.1%	7.7%
病院や施設のバス	50.0%	0.0%	50.0%	36.0%	23.1%
車いす	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	15.4%
電動車いす(カート)	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
歩行器・シルバーカー	0.0%	0.0%	0.0%	17.1%	0.0%
タクシー	0.0%	0.0%	0.0%	26.8%	30.8%
その他	0.0%	0.0%	0.0%	4.3%	7.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%

③生活機能総合評価／介護度×地域活動へ参加者として参加する意向

生活機能総合評価による地域活動への参加意向については、生活機能総合評価が高い方は、地域活動へ参加者として「参加してもよい」の割合が高い傾向にあります。

また、生活機能総合評価の低い方は、地域活動へ参加者として「参加したくない」の割合が高い傾向にあります。

介護度別にみると、すべての介護度において地域活動へ参加者として「参加したくない」が5割を超え、要介護1から要介護3では「参加してもよい」が2割を超えています。

	高い n=35	やや低い n=28	低い n=258	判定不能 n=45
是非参加したい	0.0%	3.6%	1.6%	2.2%
参加してもよい	57.1%	25.0%	19.8%	2.2%
参加したくない	34.3%	53.6%	62.0%	8.9%
既に参加している	2.9%	7.1%	1.6%	2.2%
無回答	5.7%	10.7%	15.1%	84.4%

	要介護1 n=122	要介護2 n=82	要介護3 n=55	要介護4 n=28	要介護5 n=21	その他 n=4
是非参加したい	0.8%	3.7%	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
参加してもよい	24.6%	20.7%	25.5%	7.1%	9.5%	100.0%
参加したくない	60.7%	61.0%	50.9%	67.9%	57.1%	0.0%
既に参加している	2.5%	0.0%	1.8%	7.1%	0.0%	0.0%
無回答	11.5%	14.6%	18.2%	17.9%	33.3%	0.0%

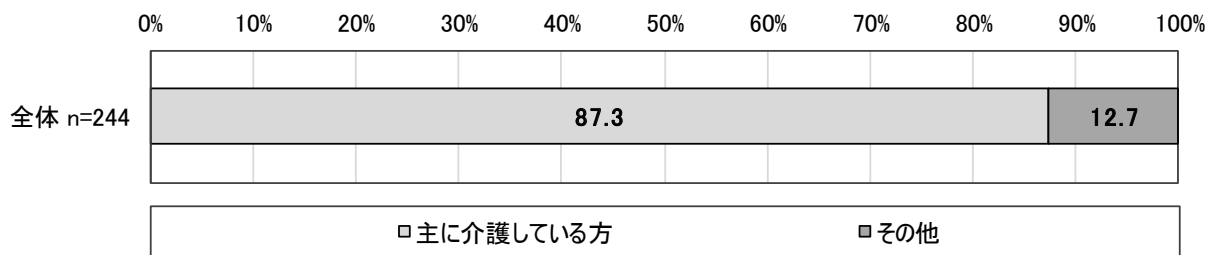
第4章 要介護高齢者(介護者) 調査結果

本調査は、調査対象者を介護している方の生活状況などを把握するために設けられた調査項目となります。

調査結果については、各設問にご回答いただいた方を母数として構成比を算出しています。

1. 調査票を記入される方について

調査票を記入される方については、「主に介護している方」が87.3%、「その他」が12.7%となっています。



2. 介護をしている方について

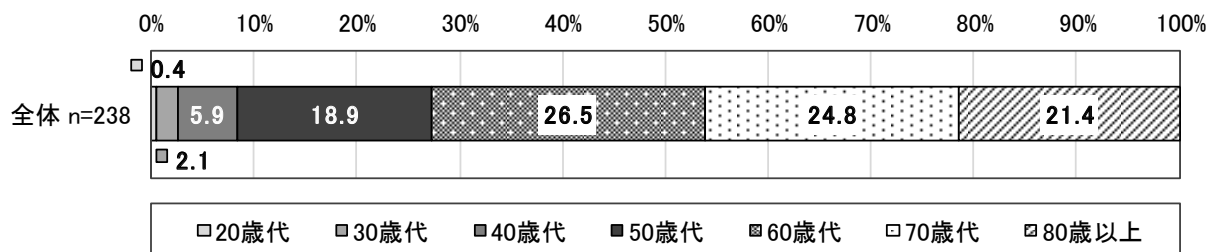
「2. 介護をしている方について」は、回答者の属性、介護の期間、介護者の要介護認定状況を把握するための項目となっています。

問1. 以下は主に介護をしている方についてお答えください。(令和2年1月1日現在) ★

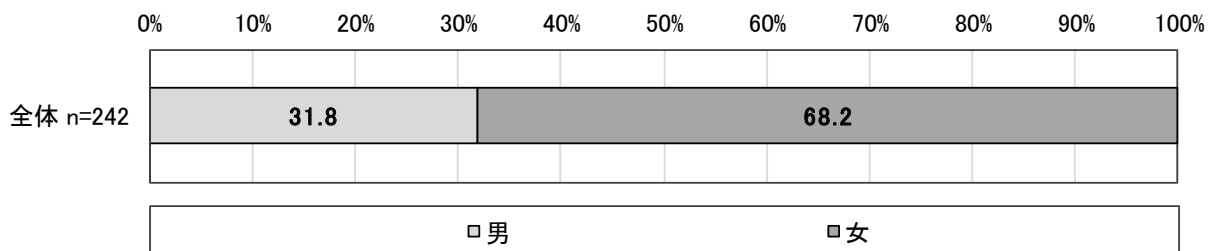
年齢については、「60歳代」が26.5%で最も高く、次いで「70歳代」が24.8%、「80歳以上」が21.4%となっています。

性別については、「男」が31.8%、「女」が68.2%となっています。

【年齢】

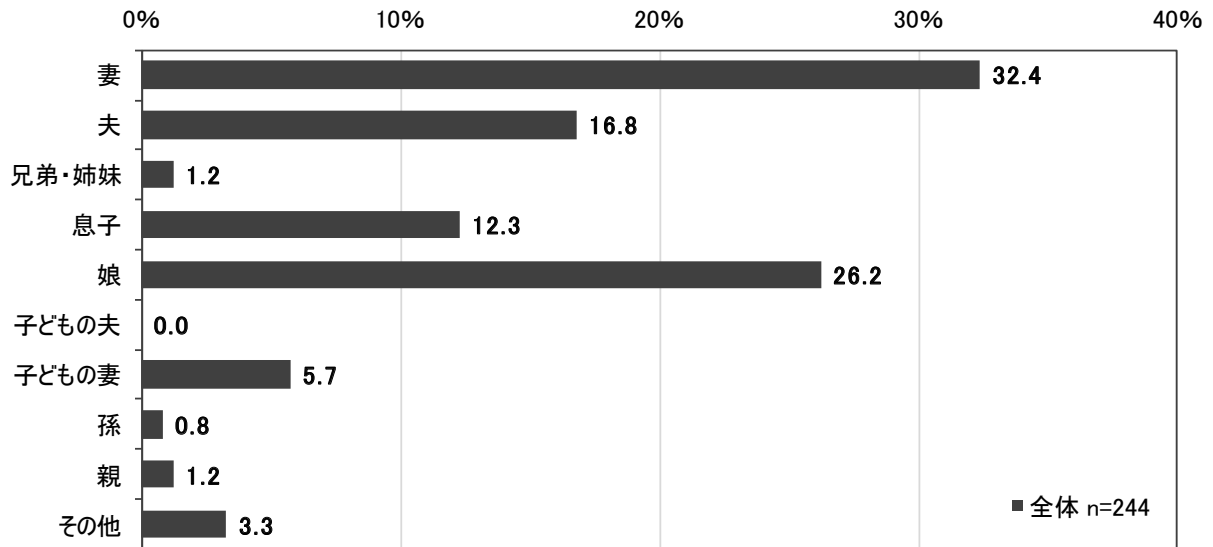


【性別】



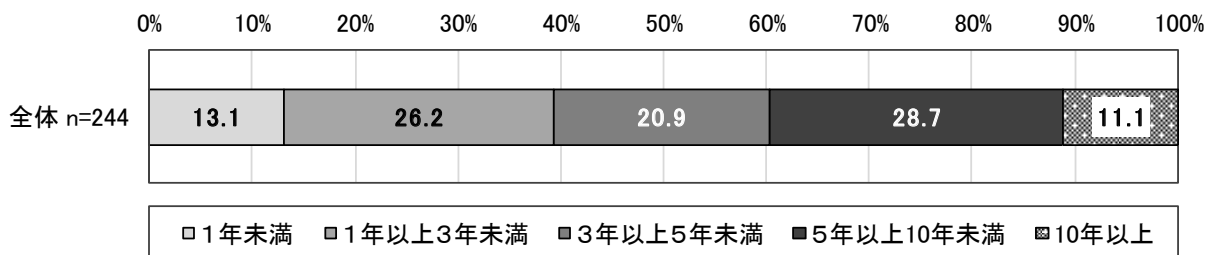
問2. 介護を受けている方からみたあなたの続柄をお答えください。(回答は1つ)

介護を受けている方からみたあなたの続柄については、「妻」が32.4%で最も高く、次いで「娘」が26.2%、「夫」が16.8%となっています。



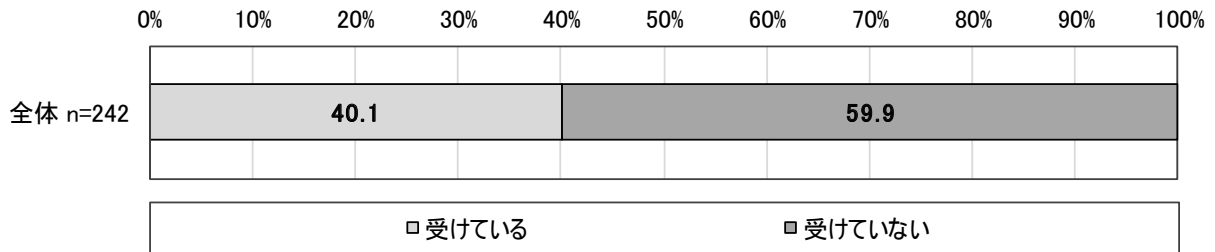
問3. どのくらいの期間、介護をしていますか。(回答は1つ)

介護をしている期間については、「5年以上10年未満」が28.7%で最も高く、次いで「1年以上3年未満」が26.2%、「3年以上5年未満」が20.9%となっています。



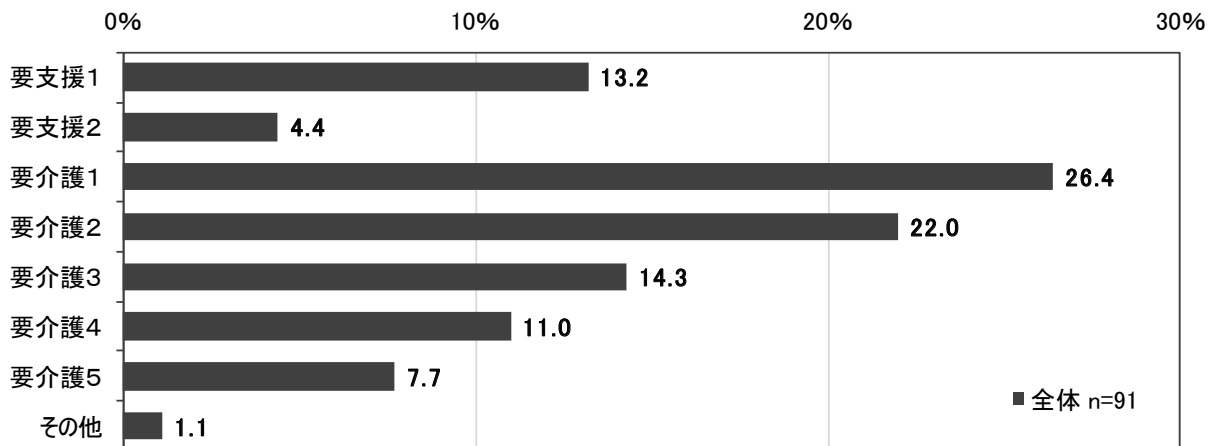
問4. あなた（介護している方）は、要介護認定を受けていますか。（回答は1つ）

介護認定の状況については、「受けている」が40.1%、「受けていない」が59.9%で、「受けていない」が19.8ポイント上回っています。



**問4-1. 【問4で「受けている」と回答した方におたずねします。】
あなた（介護している方）の要介護度についてお答えください。（回答は1つ）**

要介護度については、「要介護1」が26.4%で最も高く、次いで「要介護2」が22.0%、「要介護3」が14.3%となっています。

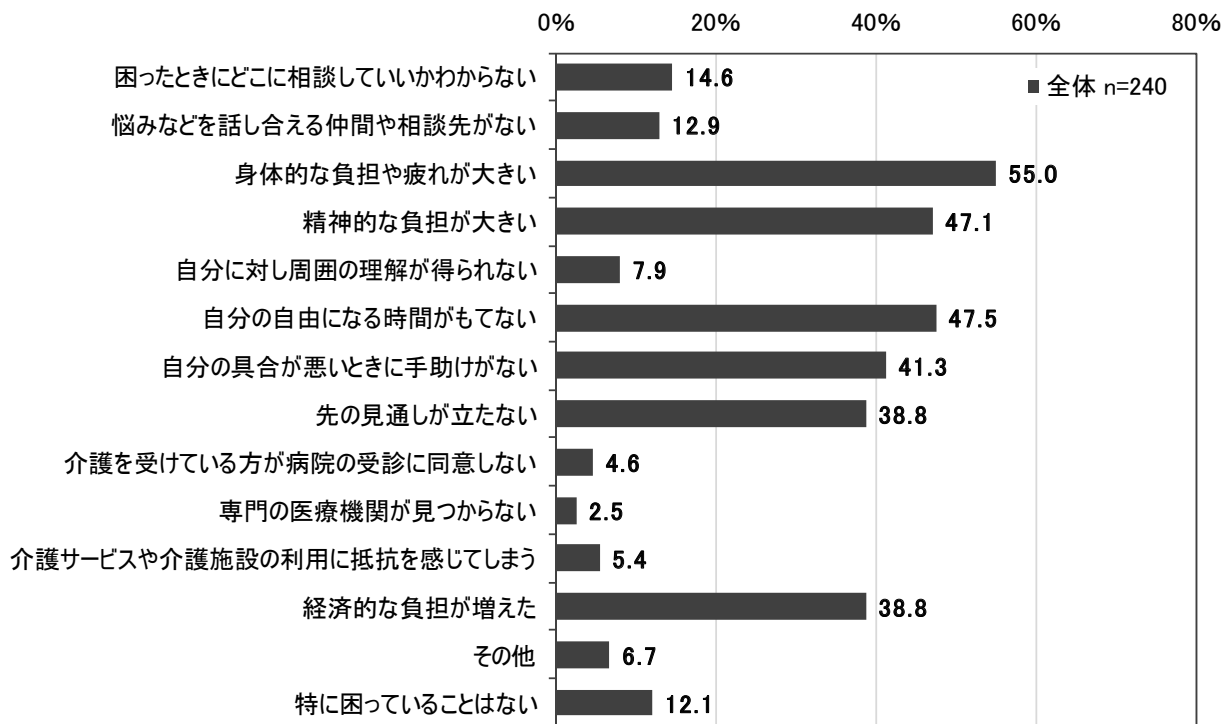


3. 主に介護している方の生活状況について

「3. 主に介護している方の生活状況について」は、介護をするうえで困っていること、介護に対する相談相手、今後の生活で心配なこと、現在の生活を継続するうえで不安に感じることに、介護への負担感、介護を行ううえでの必要な支援、家族会への参加状況等を把握するための項目となっています。

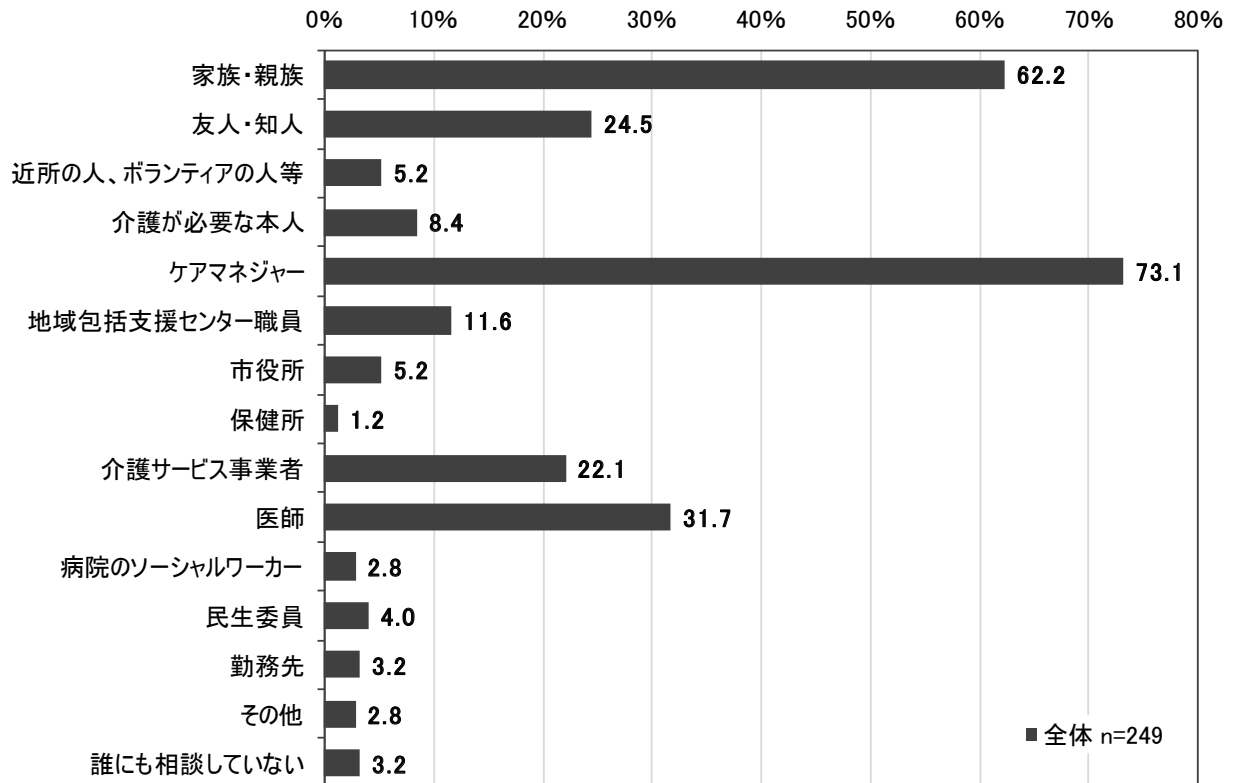
問5. 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護をするうえで困っていることについては、「身体的な負担や疲れが大きい」が55.0%で最も高く、次いで「自分の自由になる時間がもてない」が47.5%、「精神的な負担が大きい」が47.1%となっています。



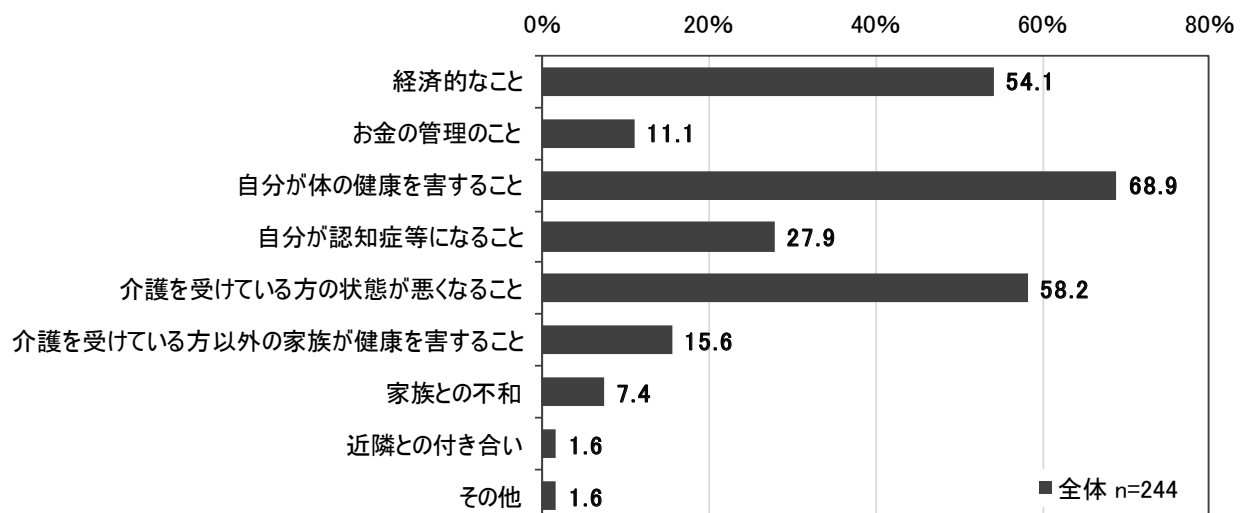
問6. あなたは、介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

介護の相談相手については、「ケアマネジャー」が73.1%で最も高く、次いで「家族・親族」が62.2%、「医師」が31.7%となっています。



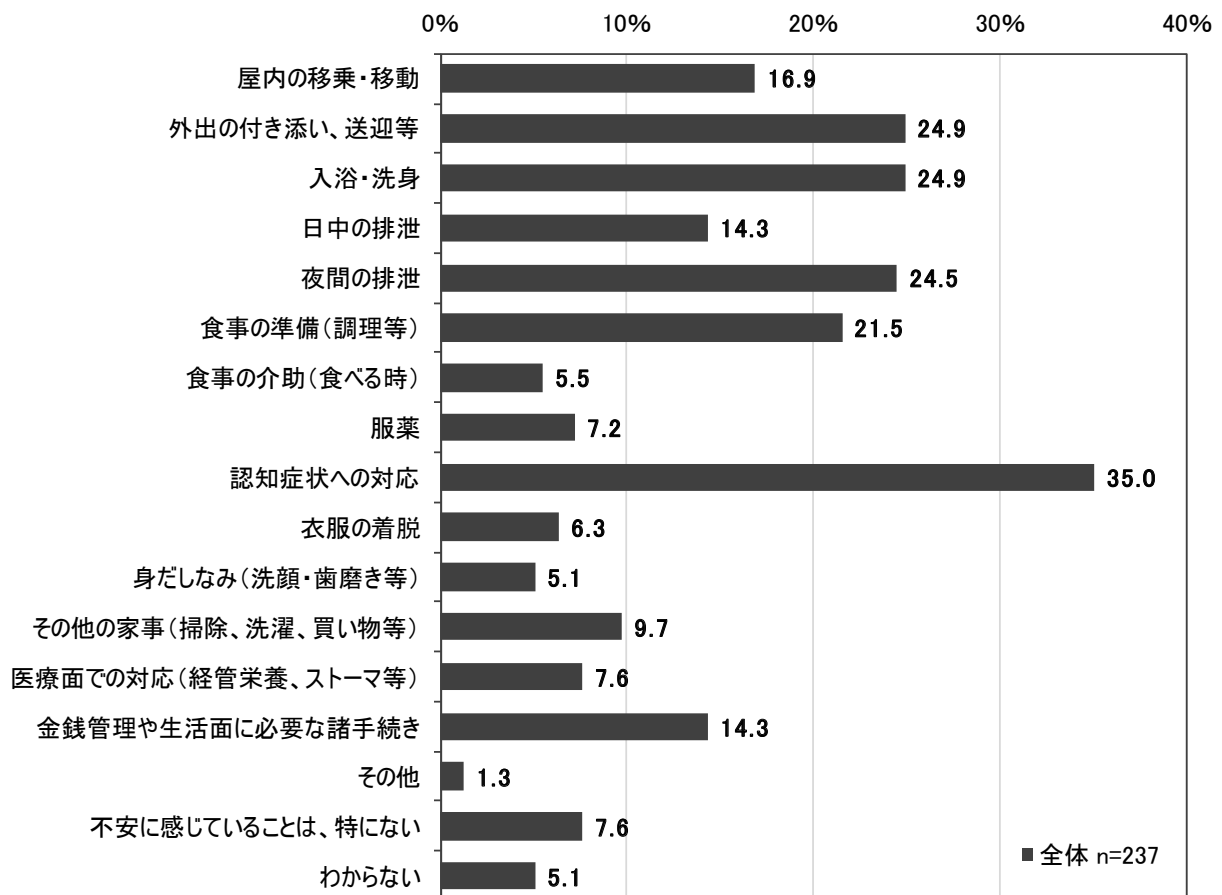
問7. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分が体の健康を害すること」が68.9%で最も高く、次いで「介護を受けている方の状態が悪くなること」が58.2%、「経済的なこと」が54.1%となっています。



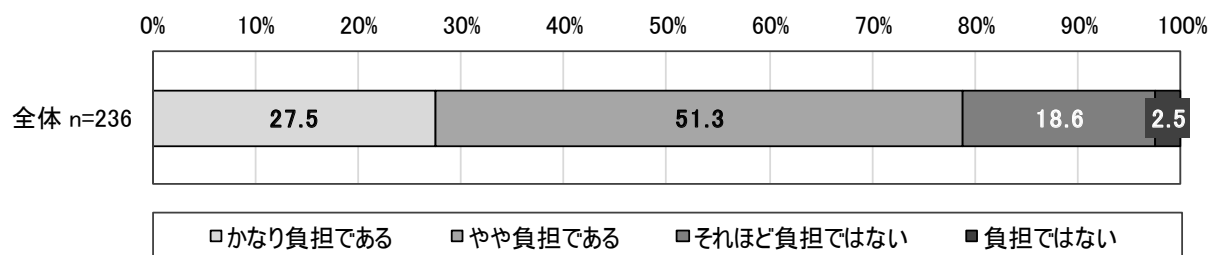
問8. 現在の生活を継続していくにあたって、不安を感じる介護等についてお答えください。
 (回答は3つまで) ★

現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等については、「認知症状への対応」が35.0%で最も高く、次いで「外出の付き添い、送迎等」「入浴・洗身」がともに24.9%、「夜間の排泄」が24.5%となっています。



問9. あなたが感じている介護の負担感はどの程度ですか。(回答は1つ)

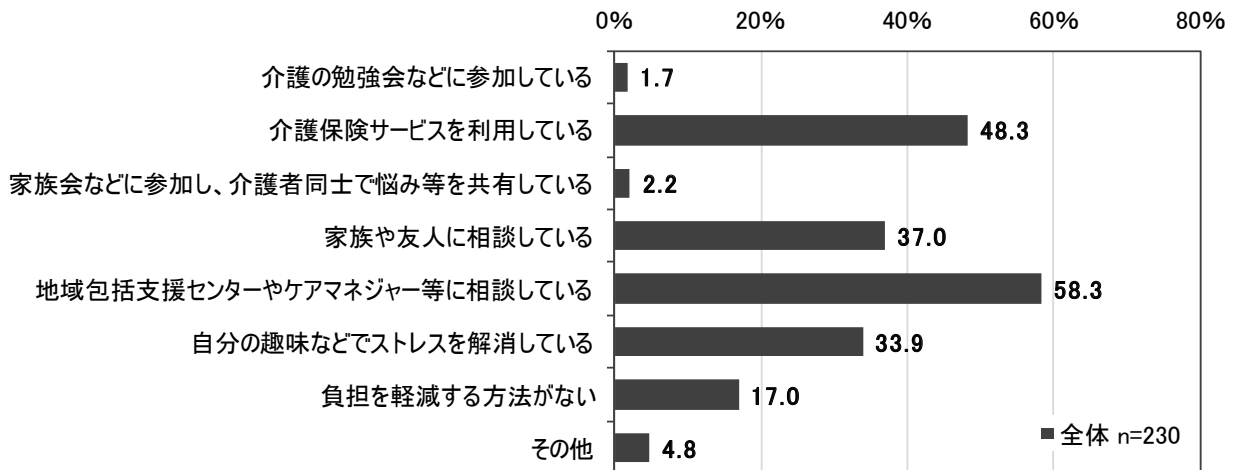
介護の負担感については、「やや負担である」が51.3%で最も高く、次いで「かなり負担である」が27.5%、「それほど負担ではない」が18.6%となっています。



問9-1.【問9で「かなり負担である」、「やや負担である」、「それほど負担ではない」と回答した方におたずねします。】

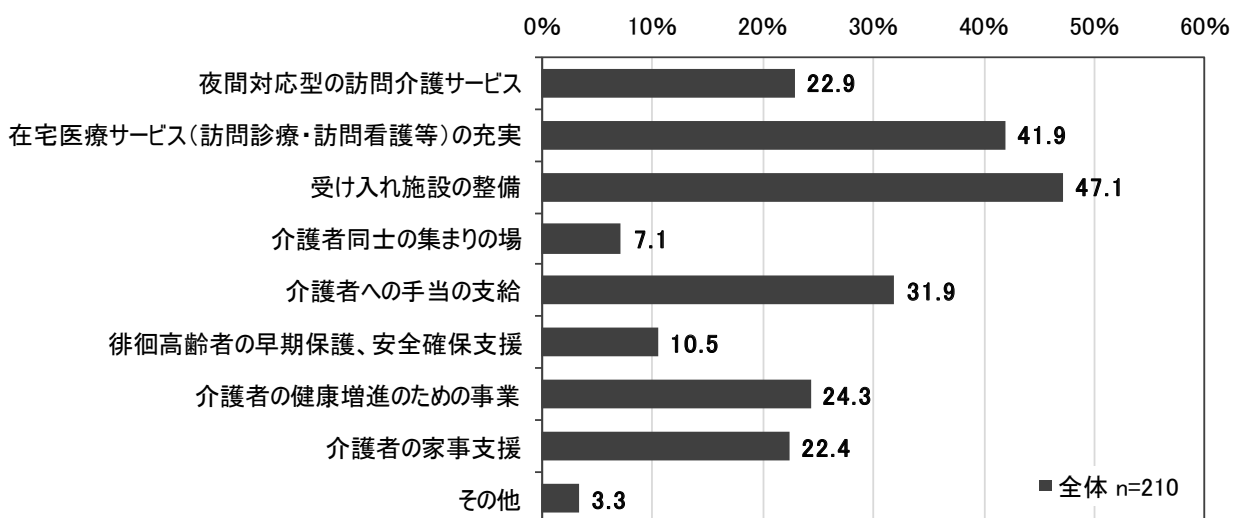
介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

介護の負担を軽減するための取組については、「地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している」が58.3%で最も高く、次いで「介護保険サービスを利用している」が48.3%、「家族や友人に相談している」が37.0%となっています。



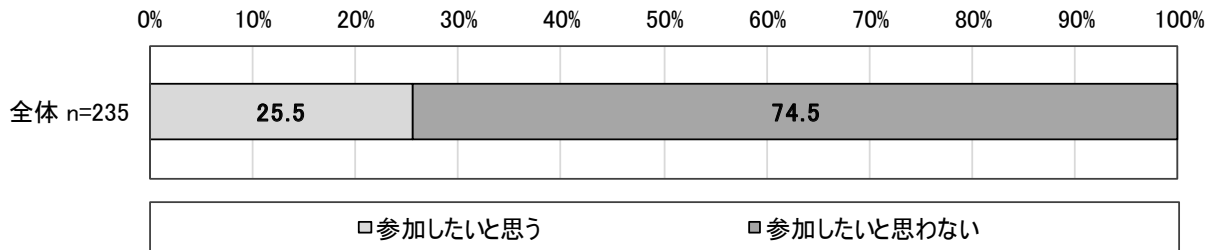
問10. 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思いますか。(回答は3つまで)

介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思うかについては、「受け入れ施設の整備」が47.1%で最も高く、次いで「在宅医療サービス（訪問診療・訪問看護等）の充実」が41.9%、「介護者への手当の支給」が31.9%となっています。



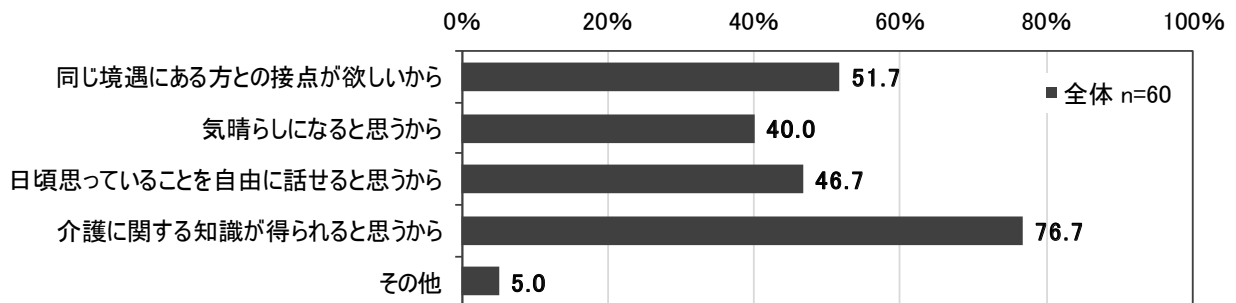
問 11. 家族会など（介護者の集いや認知症カフェなど）、同じ立場の人たちの集まりに参加したいと思いますか。（回答は1つ）

家族会などへの参加意向については、「参加したいと思う」が 25.5%、「参加したいと思わない」が 74.5%で、「参加したいと思わない」が 49.0 ポイント上回っています。



**問 11-1. 【問 11 で「参加したいと思う」と回答した方におたずねします。】
参加したいと思う理由は何ですか。（あてはまるものすべてに回答）**

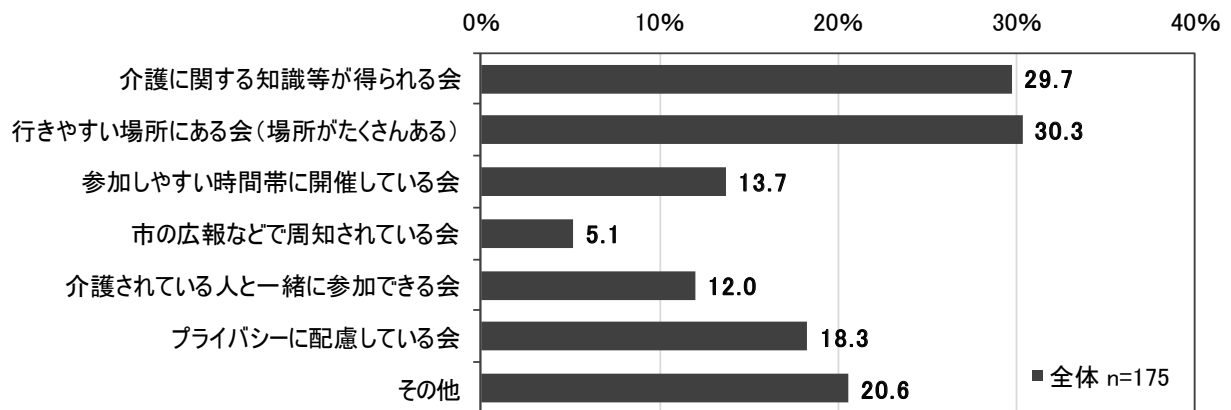
参加したいと思う理由については、「介護に関する知識が得られると思うから」が 76.7%で最も高く、次いで「同じ境遇にある方との接点が欲しいから」が 51.7%、「日頃思っていることを自由に話せると思うから」が 46.7%となっています。



問 11-2.【問 11 で「参加したいと思わない」と回答した方におたずねします。】

どのような会であれば参加したいと思いますか。(あてはまるものすべてに回答)

どのような会であれば参加したいと思うかについては、「行きやすい場所にある会（場所がたくさんある）」が 30.3%で最も高く、次いで「介護に関する知識等が得られる会」が 29.7%、「その他」が 20.6%となっています。

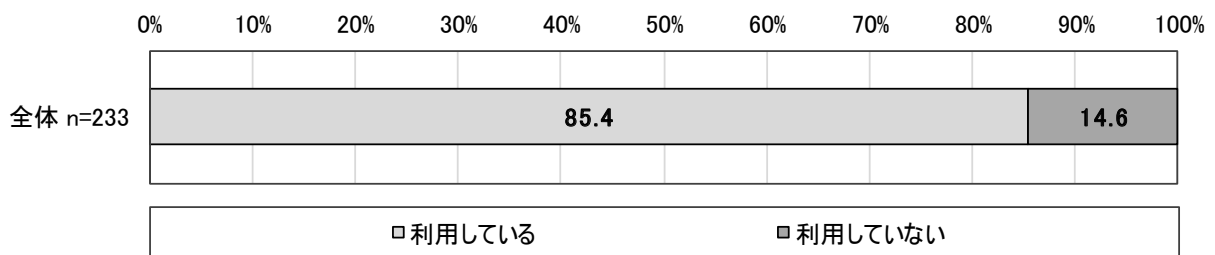


4. 介護保険サービスについて

「4. 介護保険サービスについて」は、介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスを利用した結果による状況、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス、今後の介護に対する考え方、終末期に対する考え方を把握するための項目となっています。

問 12. 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ) ★

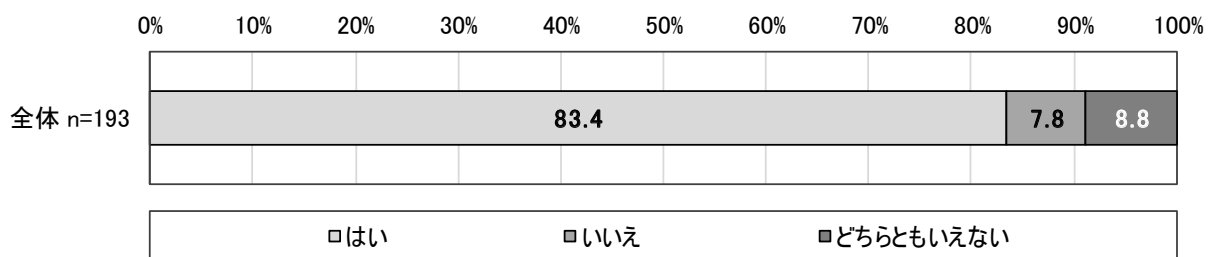
介護を受けている方の介護保険サービスの利用状況については、「利用している」が85.4%、「利用していない」が14.6%で、「利用している」が70.8ポイント上回っています。



問 12-1. 【問 12で「利用している」と回答した方におたずねします。】 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。 (回答はそれぞれの項目で1つ)

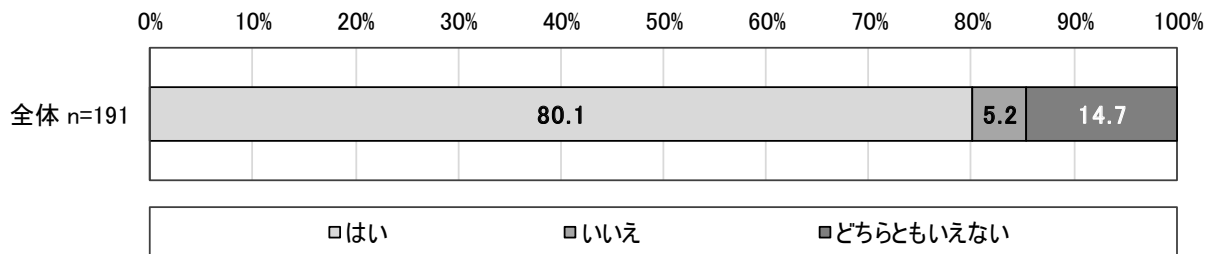
①サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか

サービス事業者や施設を選択できることを知っているかについては、「はい」が83.4%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が8.8%、「いいえ」が7.8%となっています。



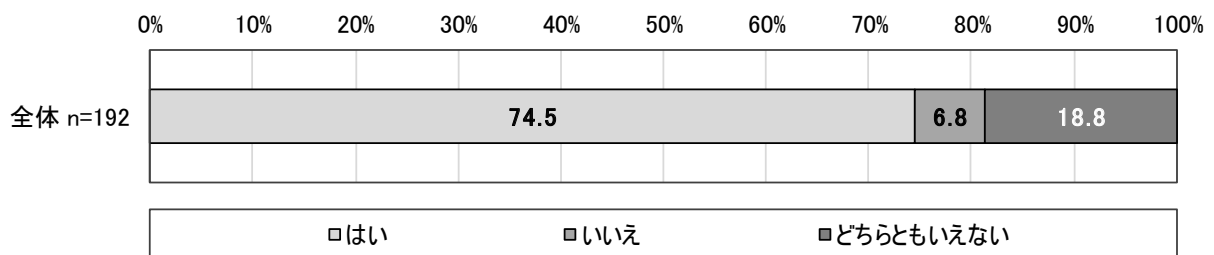
②介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思うかについては、「はい」が80.1%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が14.7%、「いいえ」が5.2%となっています。



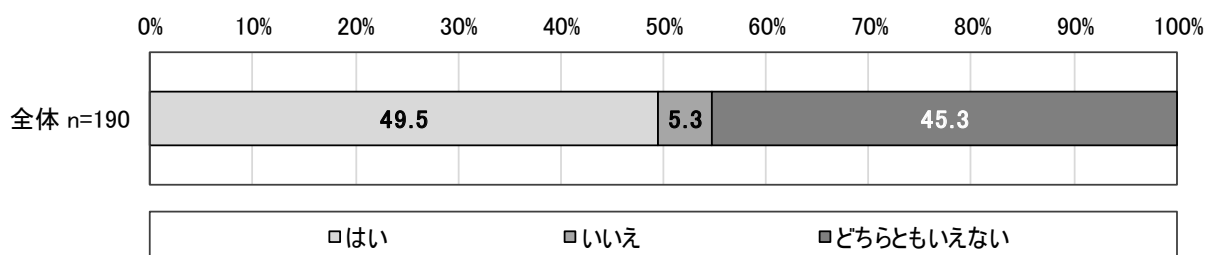
③介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思いますか

介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思うかについては、「はい」が74.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が18.8%、「いいえ」が6.8%となっています。



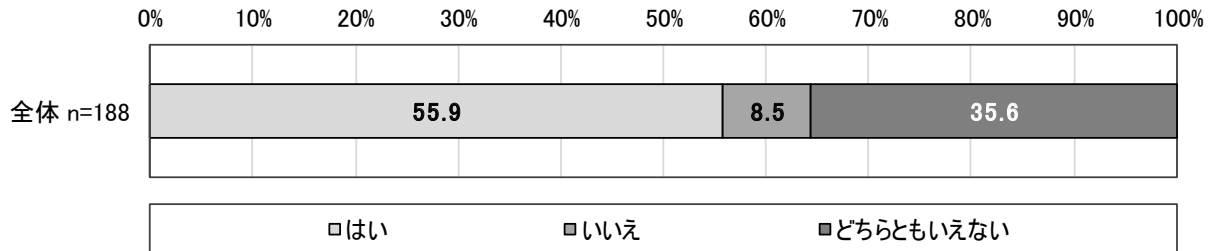
④介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか

介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善したかについては、「はい」が49.5%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が45.3%、「いいえ」が5.3%となっています。



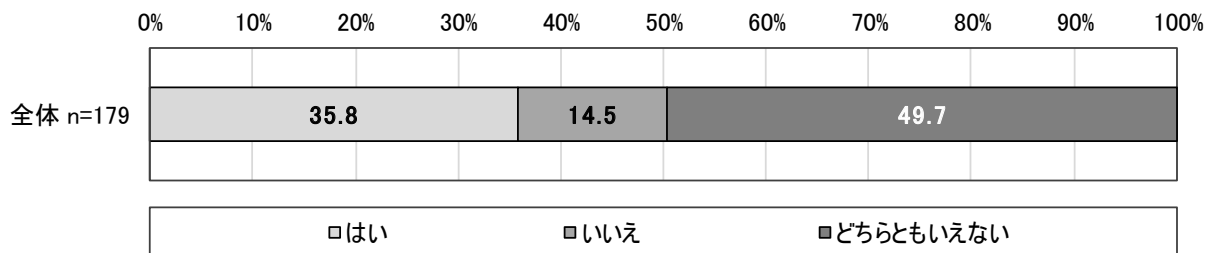
⑤介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか

介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減ったかについては、「はい」が55.9%で最も高く、次いで「どちらともいえない」が35.6%、「いいえ」が8.5%となっています。



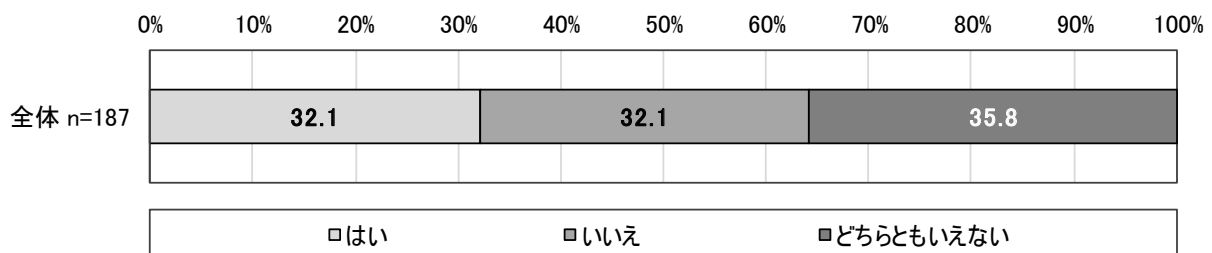
⑥仕事や家事と両立できるようになったと思いますか

仕事や家事と両立できるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が49.7%で最も高く、次いで「はい」が35.8%、「いいえ」が14.5%となっています。



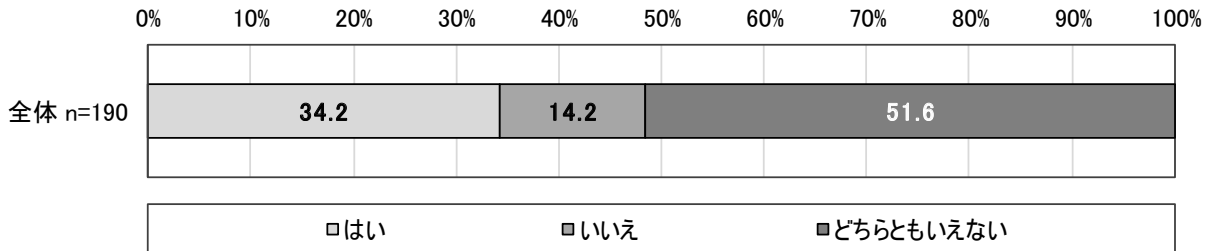
⑦外出する機会が増えたと思いますか

外出する機会が増えたと思うかについては、「どちらともいえない」が35.8%で最も高く、次いで「はい」「いいえ」がともに32.1%となっています。



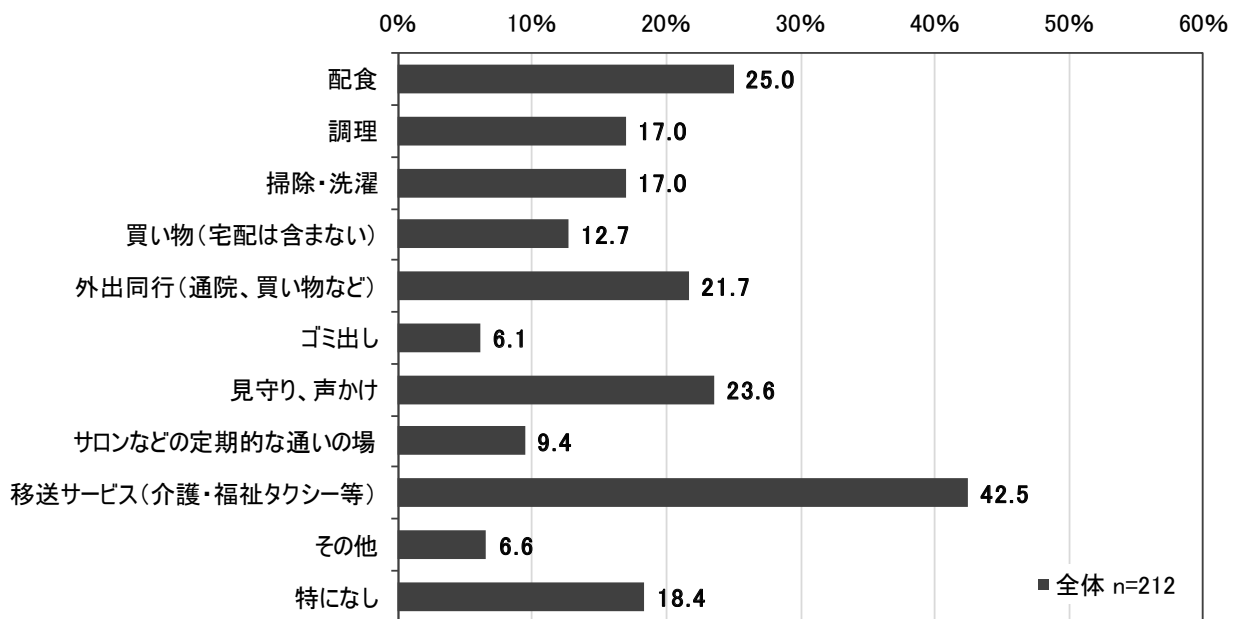
⑧介護の方法がわかるようになったと思いますか

介護の方法がわかるようになったと思うかについては、「どちらともいえない」が51.6%で最も高く、次いで「はい」が34.2%、「いいえ」が14.2%となっています。



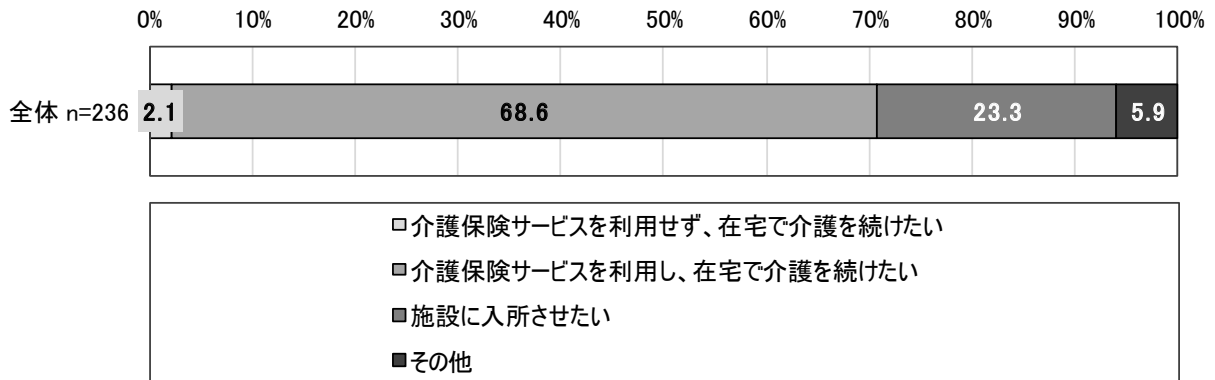
問 13. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）についてお答えください。（回答は3つまで） ★

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスについては、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が42.5%で最も高く、次いで「配食」が25.0%、「見守り、声かけ」が23.6%となっています。



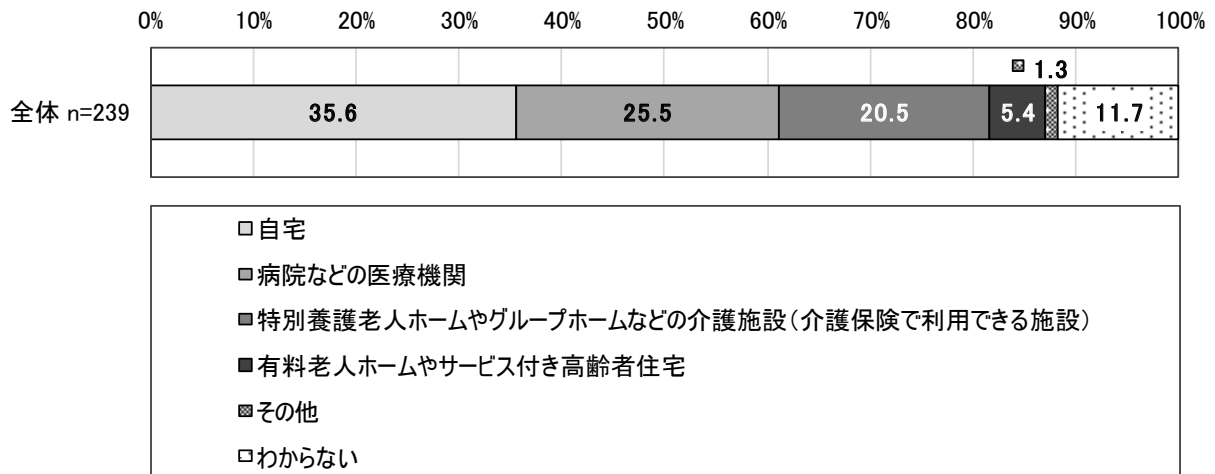
問 14. 今後の介護について、お考えをお答えください。(回答は1つ)

今後の介護についての考えについては、「介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたい」が68.6%で最も高く、次いで「施設に入所させたい」が23.3%、「その他」が5.9%となっています。



問 15. ご家族が終末期（治療や回復の見込みのない状態となった場合）を迎えたときに過ごしてほしい場所はどこですか。(回答は1つ)

終末期を迎えたときに過ごしてほしい場所については、「自宅」が35.6%で最も高く、次いで「病院などの医療機関」が25.5%、「特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設（介護保険で利用できる施設）」が20.5%となっています。

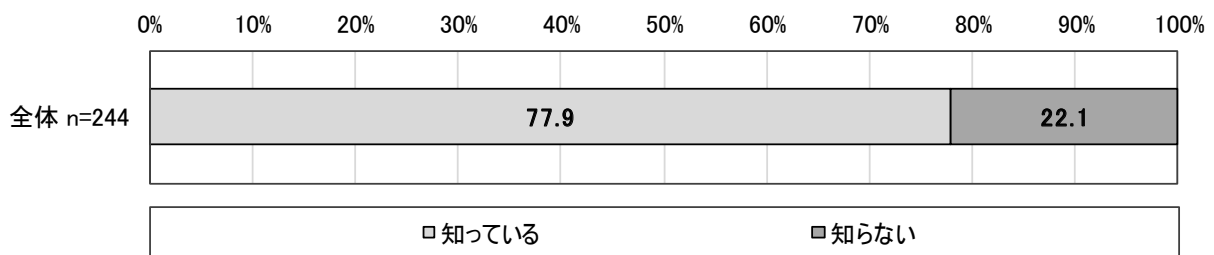


5. 市の施策・事業について

「5. 市の施策・事業について」は、成年後見制度の認知度、避難行動要支援者支援事業の認知度、市の独自制度に対する意向、介護保険施設への意向、高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要なサービスを把握するための項目となっています。

問 16. あなたは、「成年後見制度」をご存知ですか。(回答は1つ)

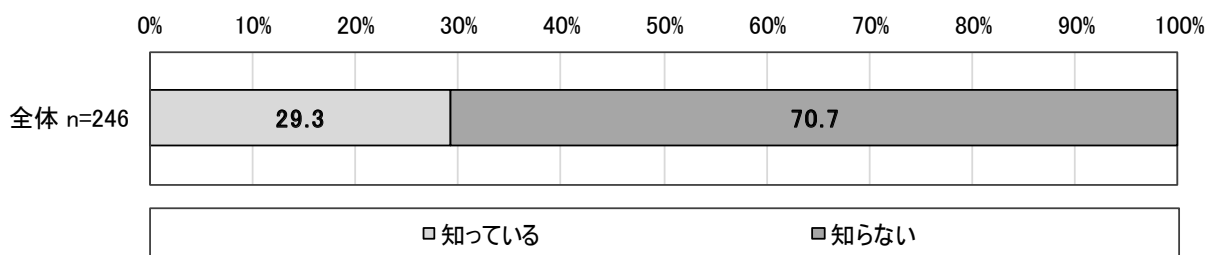
成年後見制度の認知度については、「知っている」が77.9%、「知らない」が22.1%で、「知っている」が55.8ポイント上回っています。



問 17. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

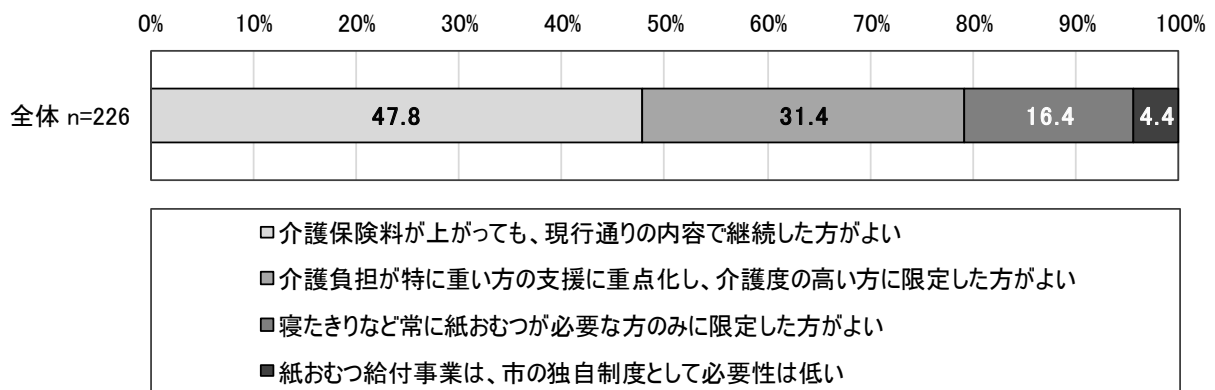
あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

避難行動要支援者支援事業の認知度については、「知っている」が29.3%、「知らない」が70.7%で、「知らない」が41.4ポイント上回っています。



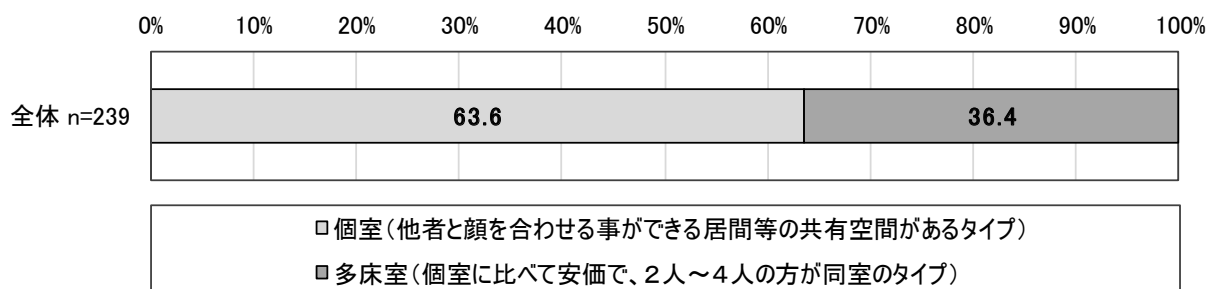
問 18. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。
 平成30年8月より、軽度認定者（介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方）については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。
 今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。（回答は1つ）

紙おむつ給付事業の見直しを行う場合に、どのようなことに重点を置くべきだと思うかについては、「介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい」が47.8%で最も高く、次いで「介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい」が31.4%、「寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみ限定した方がよい」が16.4%となっています。



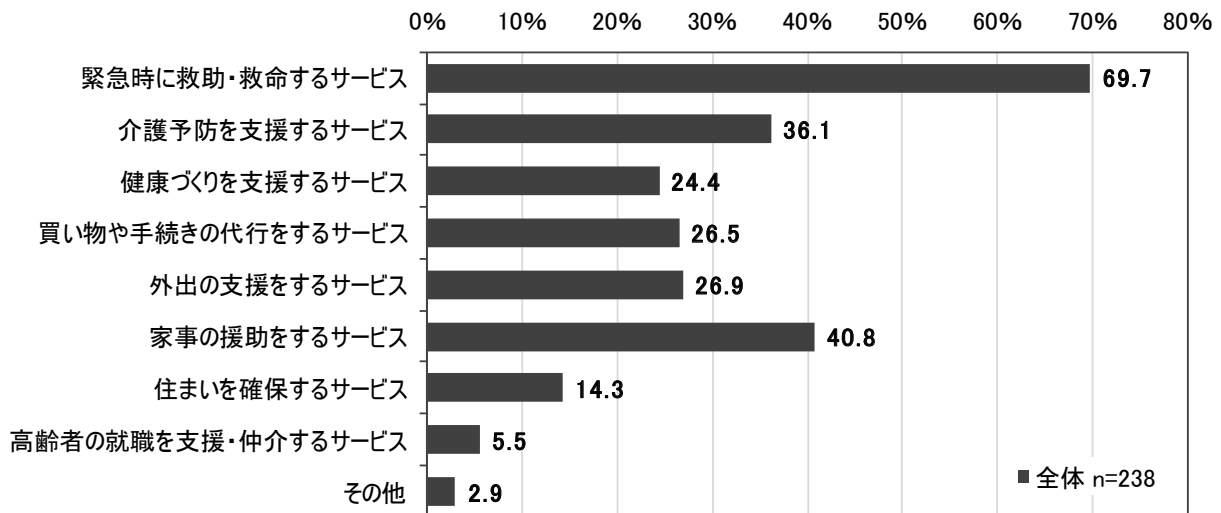
問 19. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。
 （回答は1つ）

家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合のタイプの希望については、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が63.6%、「多床室（個室に比べて安価で、2人～4人の方が同室のタイプ）」が36.4%で、「個室（他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ）」が27.2ポイント上回っています。



問 20. 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要だと思うサービスについては、「緊急時に救助・救命するサービス」が69.7%で最も高く、次いで「家事の援助をするサービス」が40.8%、「介護予防を支援するサービス」が36.1%となっています。



第5章 要介護高齢者 調査結果のまとめ

【1. 本人について】

回答者の構成において、年齢階級では、後期高齢者の割合が79.2%と非常に高い状況であります。性別では、男性が32.5%、女性が52.5%と、女性からの回答が多い状況であります。

介護度では、要介護1が33.3%、要介護2が22.4%、要介護3が15.0%、要介護4が7.7%、要介護5が5.7%と、要介護1と要介護2の回答で約6割を占めています。

【2. 家族や生活状況について】

家族構成においては、1人暮らしの割合は13.9%と約7人に1人の割合と、高齢者一般及び要支援認定者と比べて低い割合となっています。普段の生活において、現在、何らかの介護を受けているは74.6%と、約7割の方が日常生活を送るために介護を受けており、主に介護をしている方は、配偶者、娘、介護サービスのヘルパーが上位に挙げられています。

介護者が行っている介護等は、その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）、外出の付き添い、送迎等、食事の準備（料理等）、金銭管理や生活面に必要な諸手続きが上位に挙げられており、介護を必要とする方が日常生活を送るうえで欠かせない支援の割合が高い状況であります。

介護・介助が必要となった主な原因では、認知症（アルツハイマー病等）、高齢による衰弱、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）が上位に挙げられており、身体機能の低下や認知症、病気など、様々な原因により介護が必要な状況となっています。

介護を受けている頻度では、ほぼ毎日あるが54.9%と、約2人に1人は毎日の介護が必要な状況となっています。

経済状況では、苦しい（大変苦しい、やや苦しい）と感じている割合は35.5%と約3人に1人の割合となっています。

普段の生活において、紙おむつの利用状況をみると、利用していない方が約3割となっていますが、念のため使用している、昼用と夜用を使い分けて使用しているなど、紙おむつを利用している割合は約5割と、多くの方が利用している状況であります。

【3. からだを動かすことについて】

日常生活状況から判定する運動器の評価では、全体の70.5%が該当者と判定され、多くの方に運動機能の低下がみられる状況であります。また、閉じこもりの傾向をみる評価では、全体の35.2%が該当者と判定され、約3人に1人が該当している状況であります。

週に1回以上外出している方の主な外出先は、買い物をする場所、病院、診療所、デイサービスなどの通所施設の割合が高く、その他の項目に対する回答は少数となっていることから、外出先が限定的になっている方が多い状況であります。

現在、外出を控えていると回答した方の外出を控えている理由については、身体的な理由である足腰などの痛みが約5割という結果が出ており、外出をする上で、自身の身体機能が維持されていることが重要であるということがうかがえます。また、トイレの心配（失禁など）についても約3割と、外出時の軽失禁への対策も外出をする上で重要であることがうかがえます。

外出をする際の主な移動手段は、自動車（人に乗せてもらう）、病院や施設のバス、タクシーなど、誰かに付き添われ移動する手段の割合が高くなる傾向がみられます。

【4. 食べることについて】

自身の身長と体重から肥満度を図る指数であるBMIでは、肥満と判定される「BMI=25.0以上」の割合は14.5%と約7人に1人の状況であります。

だれかと食事をする機会においては、日常的に機会（毎日ある、週に何度かある）がある割合は、64.5%と高い結果となっている一方で、機会が少ない（年に何度かある、ほとんどない）は16.4%と、約6人に1人は日常的に1人で食事をしている状況であります。

【5. 毎日の生活について】

毎日の生活において、物忘れが多いと感じている（認知機能該当）割合は66.4%と、運動機能の該当割合と同様に高くなっています。

毎日の生活状況から判定する手段的自立度（IADL）は、70.5%が低いと判定されていることから、日頃の生活において、やはり何らかの介護・介助が必要であることがうかがえます。

日常生活の中で困ったことについては、日常生活全般に関わる項目が高くなっていることから、日常生活を送る上で様々なことに対して困難を感じている状況がうかがえます。

今後の生活で心配なことについては、自分の健康に関することが49.2%と、約2人に1人は自分の健康に対して心配している状況となっており、その他、経済的なこと、自分が認知症になることが上位に挙げられています。

【6. 地域の活動について】

地域の活動への参加状況では、活動全般において参加している割合は低く、高齢者一般及び要支援認定者でも割合が高かった趣味関係のグループにおいても1割未満の状況であります。

地域との関係に対する意向は、何かしらの関わりをもちながら地域と関わっていきたいと考える割合は約7割を占めている一方で、少数ではあるものの地域との関わりをもたずに、自分なりに生活していきたいと回答している方もみられます。また、地域との関わりに対して回答できない無回答が約2割となっています。

【7. たすけあいについて】

心配事や愚痴を聞いてくれる人では、配偶者、別居の子どもが上位に挙げられ、聞いてあげる人では、配偶者が上位に挙げられています。また、聞いてあげる人では、そのような人はいないが約2割となっています。

病気で数日間寝込んだとき、看病や世話をしてくれる人では、配偶者、同居の子どもが上位に挙げられ、看病や世話をしあげる人では、配偶者が上位に挙げられています。また、そのような人はいないが約3割となっています。

【8. 健康について】

現在の健康状態では、よい（とてもよい、まあよい）と感じている割合は44.0%、よくない（あまりよくない、よくない）と感じている割合は43.1%と、両項目とも同様の割合となっています。

うつ傾向をみる評価では、全体の53.8%が該当と判定され、運動機能、認知機能と同様に高い該当率となっています。

現在、治療中または後遺症のある病気では、高血圧、脳卒中（脳出血・脳梗塞等）、筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症等）、認知症（アルツハイマー病等）が上位に挙げられています。

【9. 認知症施策について】

認知症に対する認識については、認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いと知っている割合が約6割と、高齢者一般及び要支援高齢者と比べると低い割合となっています。

【10. 市の施策・事業、介護保険制度について】

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知らないが約7割と、多くの方が本事業について認知していない状況であります。

施設等への入所・入居の検討状況では、検討していないが約6割、検討しているが約1割の状況であります。

介護保険料への負担感では、負担と感じている割合は約3割の状況であり、高齢者一般に比べて負担と感じている割合は減少しています。また、介護保険サービスと介護保険料の関係については、どちらともいえないと回答している方が約5割と、介護保険サービスと介護保険料の関係について、明確な考えを出すことが難しい状況がうかがえます。

現在利用している介護保険サービス以外の支援・サービスでは、各項目で約1割前後となっています。また、利用していないが約5割となっています。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが29.5%とやや低い割合で、見直しを必要とする意見の割合のほうが高く、介護度の高い方や寝たきりの方などに限定した方がよいと考えている割合が約4割を占めています。今後、何らかの見直しが必要であると考えている方が多い傾向にあります。

低所得者助成金制度では、今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思うが47.5%と、高い傾向にある一方で、見直しが必要であると思うが14.2%で、見直しが必要であると思うと回答した方の見直しの観点としては、対象となるサービスを限定したほうがよいが約4割を占めています。

第6章 要介護高齢者(介護者) 調査結果のまとめ

【1. 調査票への記入者について】

調査票への記入者は、主に介護している方が 87.3%、その他が 12.7%となっています。

【2. 介護をしている方について】

介護者の年齢については、60歳代が 26.5%で最も高く、次いで 70歳代が 24.8%、80歳以上が 21.4%と、60歳以上で約7割を占めています。

性別では、男性が 31.8%、女性が 68.2%と、女性からの回答が多い状況であり、介護を受けている方からみる介護者の続柄は、妻と娘の割合が高くなっています。

介護をしている期間では、3年未満が約4割を占めている状況であり、10年以上の回答は約1割となっています。

【3. 主に介護している方の生活状況について】

介護をするうえで困っていることでは、身体的な負担や疲れが大きい、精神的な負担が大きい、自分の自由になる時間がもてないが上位に挙げられており、介護者自身の健康面に関する困りごとや介護により自分の自由になる時間がとれないことに対して困っている方が多い状況であります。また、特に困っていることはないは約1割と、要支援高齢者の介護者の約4割を下回ることから、要介護高齢者を介護している方は、何かしらの困りごとを抱えている傾向が高いことがうかがえます。

介護についての相談先では、ケアマネジャーが最も高い割合を占め、次いで家族・親族となっています。ケアマネジャーは介護を必要としている方の状況を専門的な知見から、どのような支援が必要であるかなど、介護を必要とする方、介護者、また家族に寄り添いながら進めていくことが、ケアマネジャーに対する信頼がこの結果に表れていると考えられます。

現在の生活を継続していくうえで、不安を感じる介護等では、認知症状への対応、外出の付き添い、送迎等、入浴・洗身、夜間の排泄が上位に挙げられています。日常的な介護に対する不安を抱える介護者が多い状況がうかがえるとともに、認知症状への対応に不安を抱える介護者が多く、認知症状によりコミュニケーションが取りにくくなることも不安になる大きな要因と考えられます。

介護の負担感では、負担ではないは1割未満と、9割以上の方は負担感を感じている状況であります。また、負担感を解消するための取組としては、地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談しているが最も高く、次いで介護保険サービスを利用しているとなっています。要支援高齢者の介護者では、家族や友人に相談する、自分の趣味などでストレスを解消する項目が上位に挙げられており、要支援高齢者の介護者と要介護高齢者の介護者では異なる傾向がみられます。要介護高齢者では、相談先の状況と同様に、専門的な知見からの支援を必要としている状況がうかがえます。

家族会への参加意向では、参加したいと思うが 25.5%、参加したいと思わないが 74.5%と、参加したいと思わない方が約7割となっています。参加したいと思わない方がどのような会であれば参加したいと思うかでは、介護に関する知識等が得られる会、行きやすい場所にある会が上位に挙げられ、身近なところで介護に関する知識が得られればと考えている介護者が多い状況であります。

【4. 介護保険サービスについて】

今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスでは、移送サービスが42.5%と、他の項目を大きく上回り、移動手段の支援が求められている状況がうかがえます。

今後の介護に対する考えでは、介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたいとの回答が約7割を占め、多くの方が現在の生活を続けていきたいと考えている一方で、施設に入所させたいと回答している方は約2割と、介護への負担感などが影響していると考えられます。

【5. 市の施策・事業について】

成年後見制度の認知度では、知っているが77.9%と、認知している割合が高い傾向にあります。

避難行動要支援者支援事業の認知度では、知っているが29.3%と、認知している割合が低い傾向にあるものの、要支援高齢者の介護者の割合は上回っています。

紙おむつ給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいが47.8%と継続を求める割合が約5割、見直しを必要とする意見の割合も約5割となっています。

高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するために必要なサービスでは、緊急時に救助・救命するサービスが69.7%と、他の項目を大きく上回り、介護者の立場として、緊急時に対する不安が大きいことがうかがえます。

第VI部 施設入所高齢者

第1章 施設入所高齢者 調査結果

1. 調査の対象となった方について

「1. 調査の対象となった方について」は、回答者の属性、現在入所している施設、施設へ入所するまでの期間を把握するための項目となっています。

問1. 以下は調査の対象となった方についてお答えください。(令和2年1月1日現在)

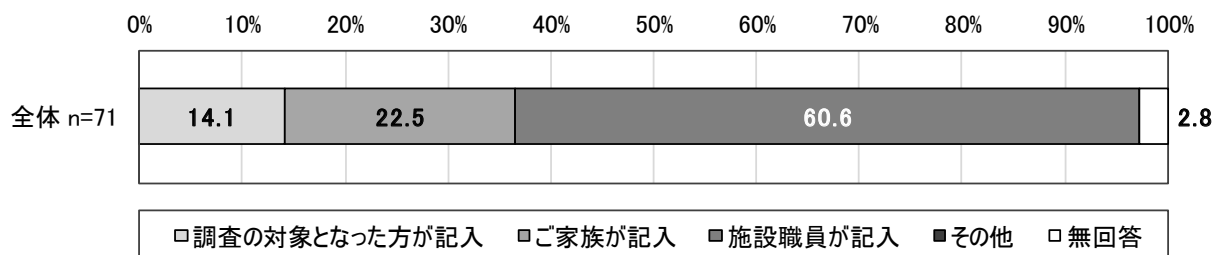
調査票を記入された方については、「施設職員が記入」が60.6%で最も高く、次いで「ご家族が記入」が22.5%、「調査の対象となった方が記入」が14.1%となっています。

年齢については、「85～89歳」が31.0%で最も高く、次いで「80～84歳」が22.5%、「95歳以上」が14.1%となっています。

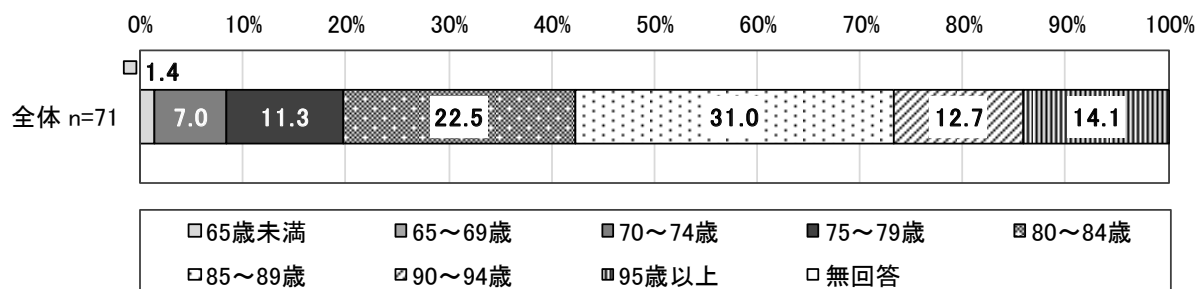
性別については、「男」が28.2%、「女」が67.6%となっています。

介護度については、「要介護3」「要介護4」がともに29.6%で最も高く、次いで「要介護5」が14.1%、「要介護2」が12.7%となっています。

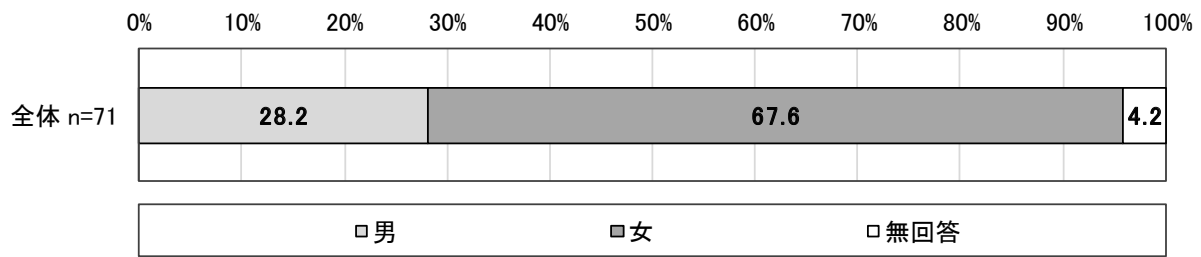
【調査票を記入された方について】



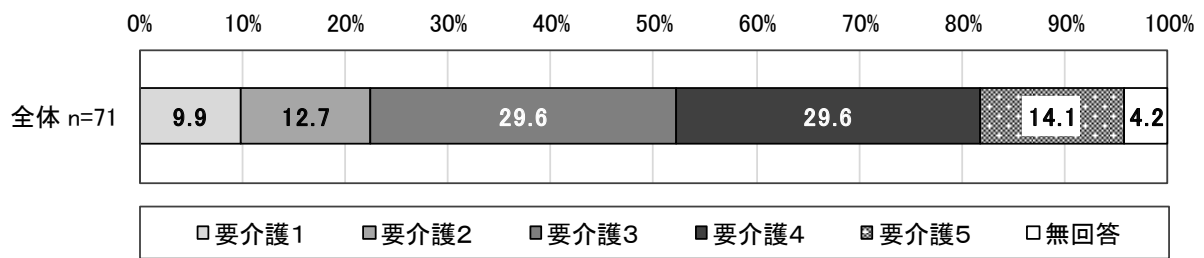
【年齢】



【性別】

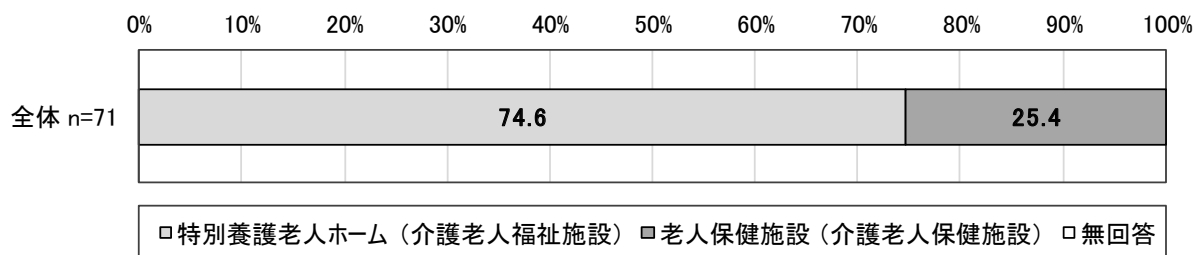


【介護度】



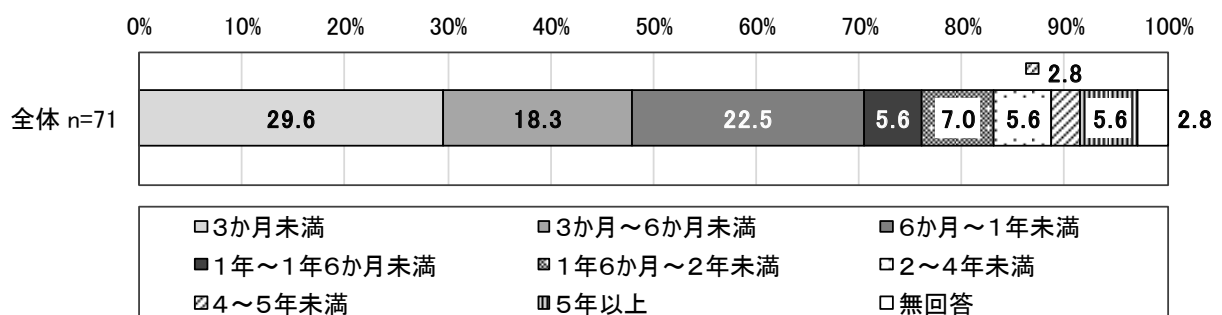
問2. 現在入所している施設は、次のどれですか。(回答は1つ)

現在入所している施設については、「特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）」が 74.6%、「老人保健施設（介護老人保健施設）」が 25.4%となっています。



問3. 現在の施設へ入所するまで、申込みからどのくらいの期間待ちましたか。(回答は1つ)

現在の施設へ入所するまで、申込みからどのくらいの期間待ったかについては、「3か月未満」が 29.6%で最も高く、次いで「6か月～1年未満」が 22.5%、「3か月～6か月未満」が 18.3%となっています。

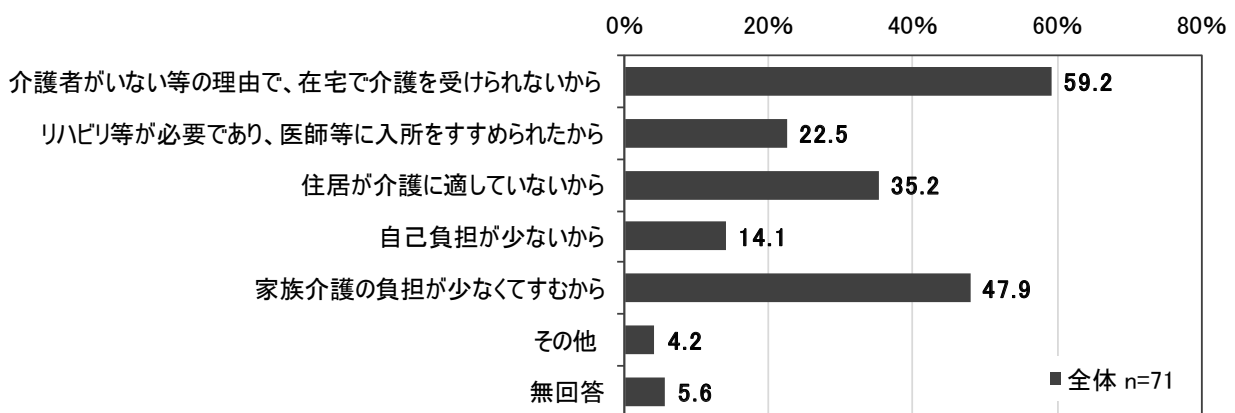


2. 介護保険施設での生活について

「2. 介護保険施設での生活について」は、介護保険施設へ入所した理由、施設への満足感、施設のサービスに対して望むこと、自宅と施設の状況、介護相談員の認知度及び利用の有無等、今後の生活の希望及び心配なことを把握するための項目となっています。

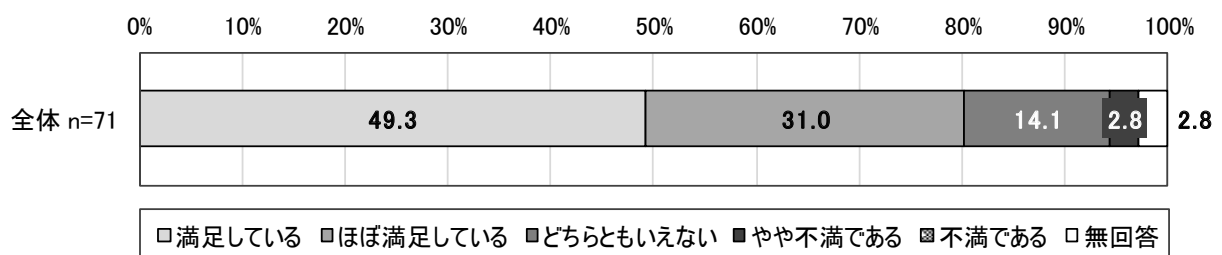
問4. 介護保険施設に入所した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

介護保険施設に入所した理由については、「介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられないから」が59.2%で最も高く、次いで「家族介護の負担が少なくすむから」が47.9%、「住居が介護に適していないから」が35.2%となっています。



問5. 現在入所している施設のサービスに満足していますか。(回答は1つ)

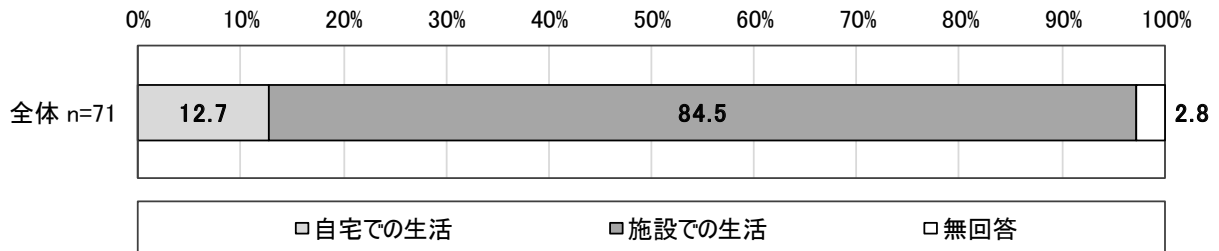
現在入所している施設のサービスに満足しているかについては、「満足している」が49.3%で最も高く、次いで「ほぼ満足している」が31.0%、「どちらともいえない」が14.1%となっています。



問6. 以下の項目について、「自宅での生活」と「施設での生活」において、『生活の質』という視点で考えた際、どちらのほうが良いと感じますか。（それぞれ回答は1つ）

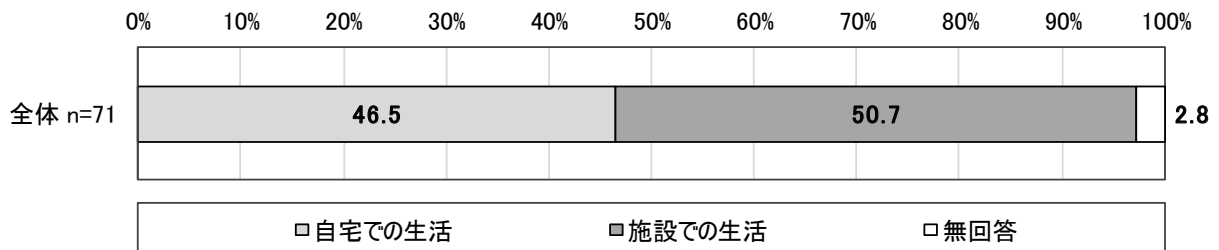
①日常生活における動作（動きやすさ、生活のしやすさ等）

日常生活における動作については、「自宅での生活」が 12.7%、「施設での生活」が 84.5%で、「施設での生活」が 71.8 ポイント上回っています。



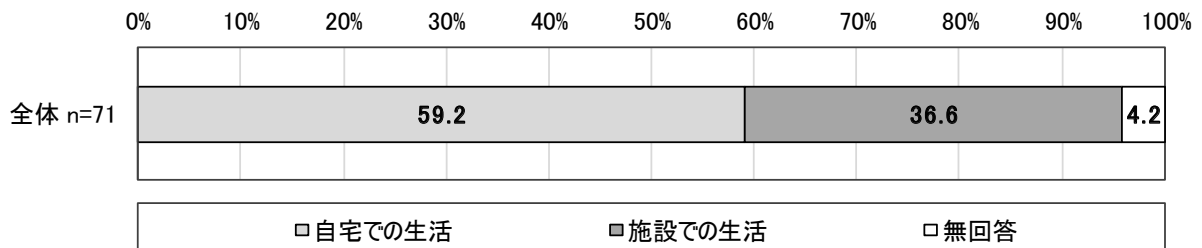
②楽しみ・生きがい

楽しみ・生きがいについては、「自宅での生活」が 46.5%、「施設での生活」が 50.7%で、「施設での生活」が 4.2 ポイント上回っています。



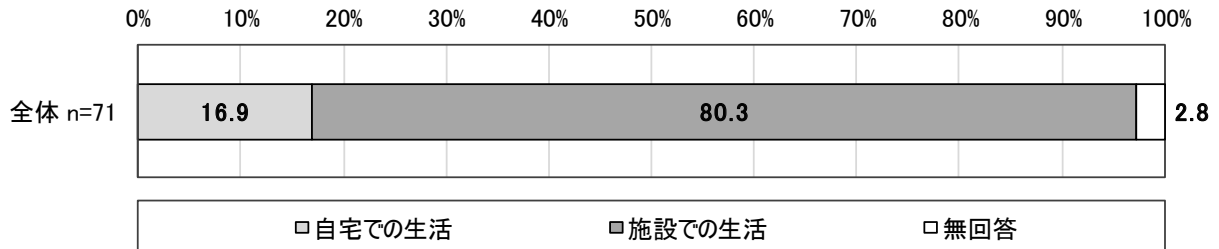
③家族・親族との関わり

家族・親族との関わりについては、「自宅での生活」が 59.2%、「施設での生活」が 36.6%で、「自宅での生活」が 22.6 ポイント上回っています。



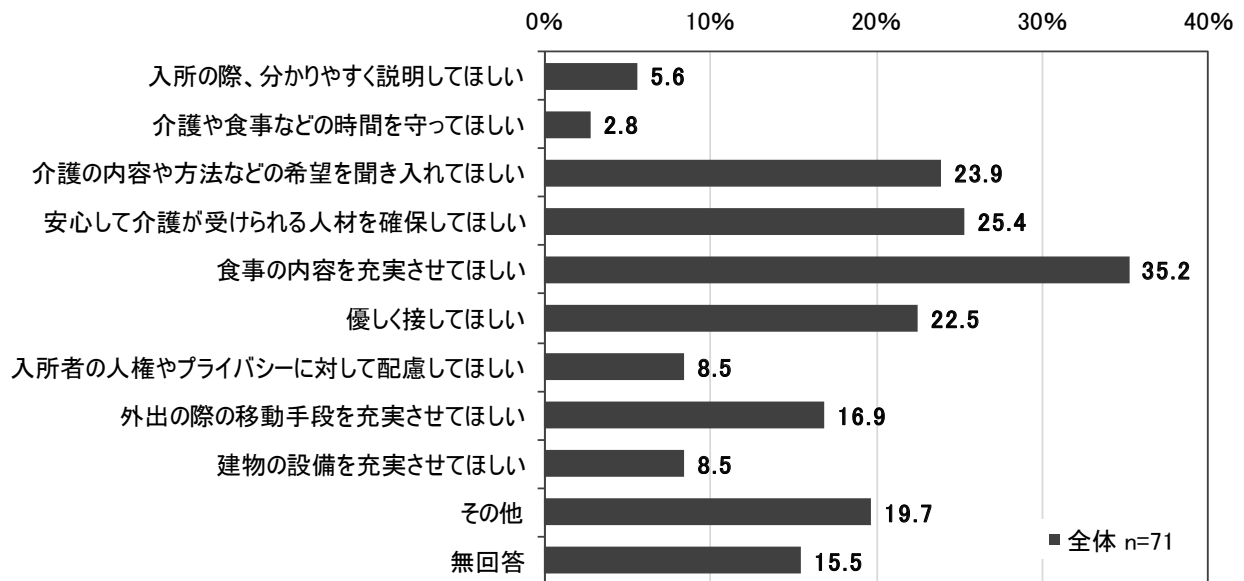
④人と人との関わり（人とのコミュニケーション）

人と人との関わりについては、「自宅での生活」が16.9%、「施設での生活」が80.3%で、「施設での生活」が63.4ポイント上回っています。



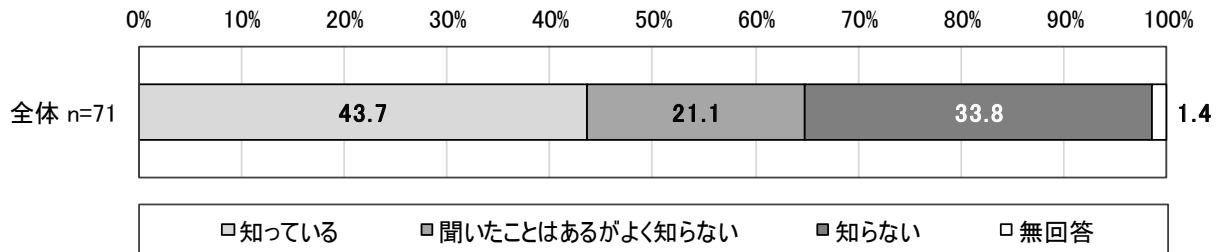
問7. 施設のサービスに対して、望むことは何ですか。（回答は3つまで）

施設のサービスに対して、望むことについては、「食事の内容を充実させてほしい」が35.2%で最も高く、次いで「安心して介護が受けられる人材を確保してほしい」が25.4%、「介護の内容や方法などの希望を聞き入れてほしい」が23.9%となっています。



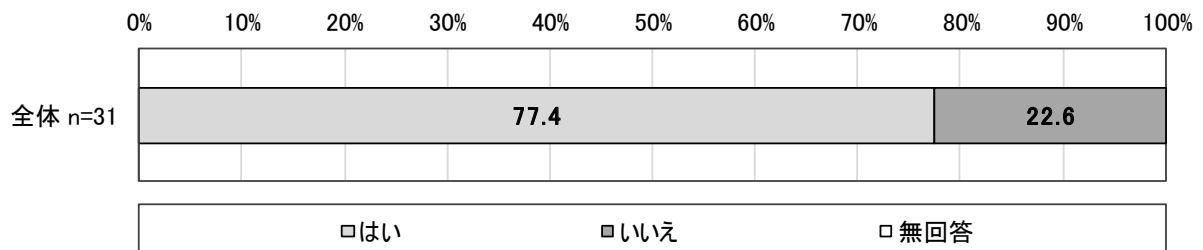
問8. 介護相談員を知っていますか。(回答は1つ)

介護相談員の認知度については、「知っている」が43.7%で最も高く、次いで「知らない」が33.8%、「聞いたことはあるがよく知らない」が21.1%となっています。



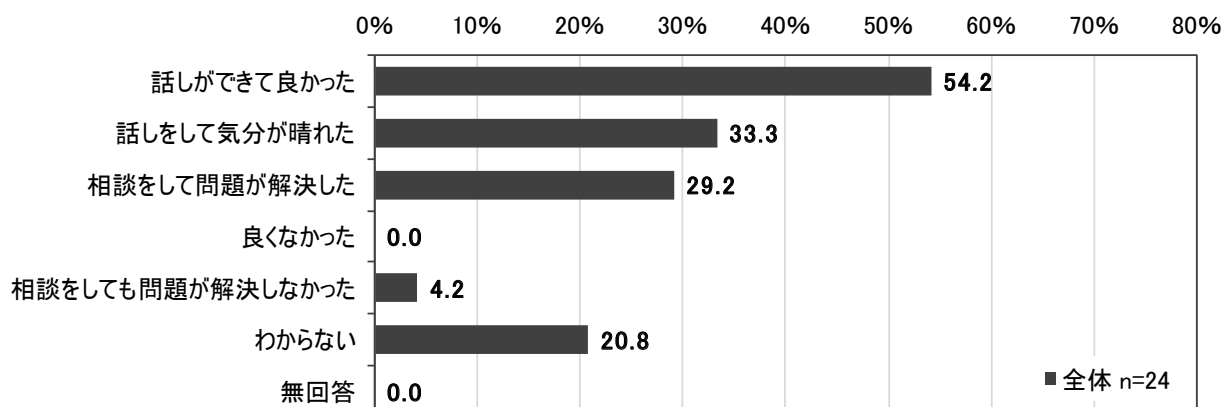
**問8-1. 【問8で「知っている」と回答した方におたずねします。】
介護相談員と話をしたり、心配事等を相談したことがありますか。(回答は1つ)**

介護相談員と話をしたり、相談をしたことがあるかについては、「はい」が77.4%、「いいえ」が22.6%で、「はい」が54.8ポイント上回っています。



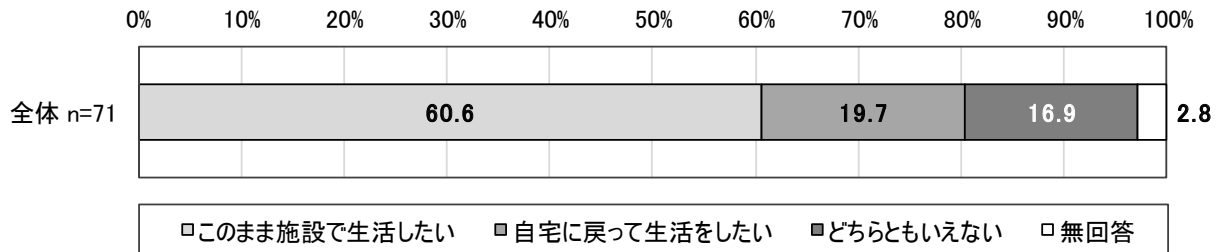
**問8-2. 【問8-1で「はい」と回答した方におたずねします。】
介護相談員と話をしてどう思いましたか。(あてはまるものすべてに回答)**

介護相談員と話をしてどう思ったかについては、「話しができて良かった」が54.2%で最も高く、次いで「話しをして気分が晴れた」が33.3%、「相談をして問題が解決した」が29.2%となっています。



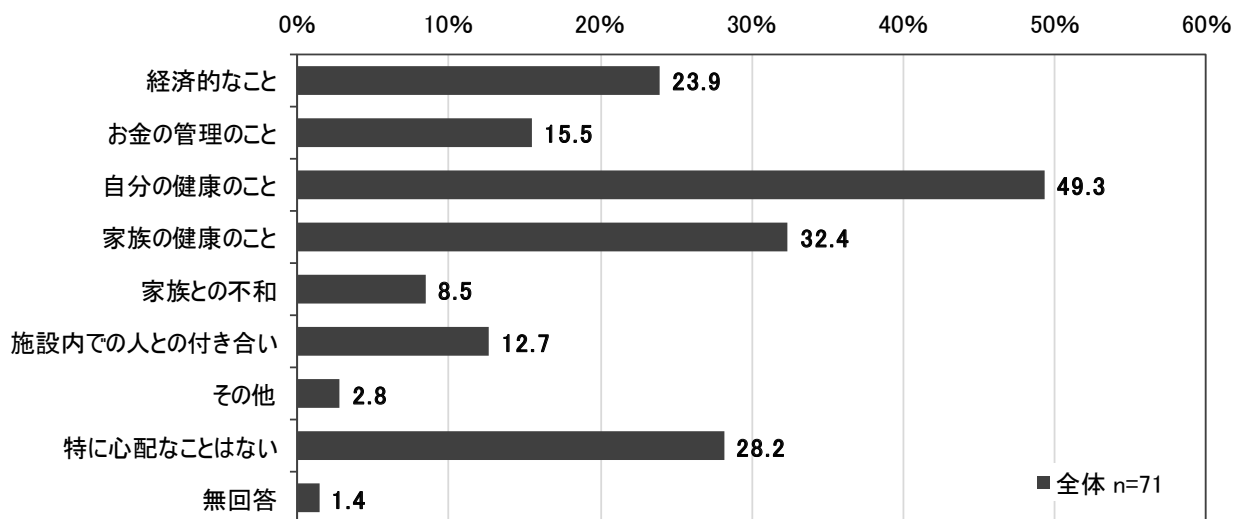
問9. 今後の生活の希望をお答えください。(回答は1つ)

今後の生活の希望については、「このまま施設で生活したい」が60.6%で最も高く、次いで「自宅に戻って生活をしたい」が19.7%、「どちらともいえない」が16.9%となっています。



問10. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

今後の生活で心配なことについては、「自分の健康のこと」が49.3%で最も高く、次いで「家族の健康のこと」が32.4%、「特に心配なことはない」が28.2%となっています。



第2章 施設入所高齢者 調査結果のまとめ

【1. 調査の対象となった方について】

回答者の構成において、年齢階級では、後期高齢者の割合が 91.6%と非常に高い状況であります。性別では、男性が 28.2%、女性が 67.6%と、女性からの回答が多い状況であります。

介護度では、要介護 1 が 9.9%、要介護 2 が 12.7%、要介護 3 が 29.6%、要介護 4 が 29.6%、要介護 5 が 14.1%と、要介護 3 と要介護 4 からの回答で約 6 割を占めています。

入所している施設では、特別養護老人ホームが 74.6%、老人保健施設が 25.4%と、特別養護老人ホームが大きく上回っています。また、申込みから入所までの期間では、3 か月未満が約 3 割を占め、1 年未満では約 7 割の状況となっています。

【2. 介護保険施設での生活について】

介護保険施設に入所した理由では、介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられないからと家族介護の負担が少なくてすむからが上位に挙げられており、家族の状況により入所に至るケースが多い傾向にあると考えられます。

入所している施設への満足度では、満足しているとほぼ満足しているの合計値が約 8 割を占め、多くの方が現在の施設に満足している状況であり、不満であるとの回答はなく、やや不満であるが 2.8% の状況であります。

自宅での生活と施設での生活における生活の質については、日常生活における動作、人と人との関わりでは、施設での生活が約 8 割を占め、自宅での生活より施設での生活のほうが、生活の質が高いと感じている方が多い状況がみられます。また、楽しみや生きがいでは、自宅での生活と施設での生活はともに約 5 割となっています。家族・親族との関わりでは、自宅での生活が約 6 割、施設での生活が約 4 割と、自宅での生活が上回る結果となっています。

今後の生活の希望では、このまま施設で生活したいが 60.6%、自宅に戻って生活をしたいが 19.7%と、施設での生活を希望する割合が高く、先ほどの生活の質の結果からも、家族・親族との関わりを除き、施設での生活のほうが生活の質という視点では高いことが、今後の生活の希望にも影響していると考えられます。

今後の生活で心配なことでは、自分の健康のこと、家族の健康のことが上位に挙げられており、健康に対する心配事を抱えている方が多い状況となっています。

第Ⅶ部 ケアマネジャー

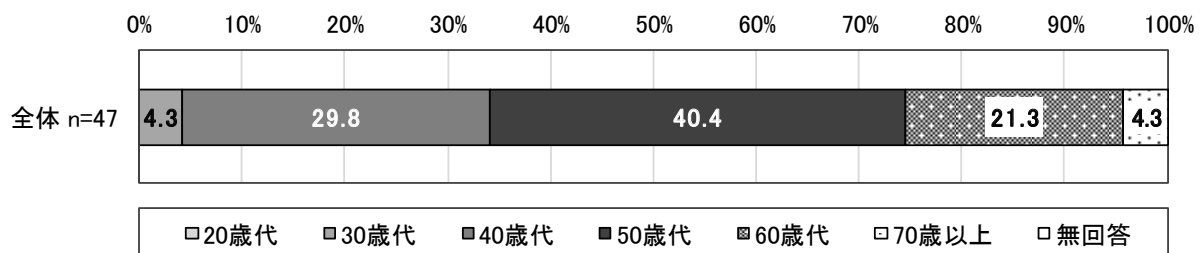
第1章 ケアマネジャー 調査結果

1. あなた自身について

「1. あなた自身について」は、回答者の属性、ケアマネジャーの通算年数を把握するための項目となっています。

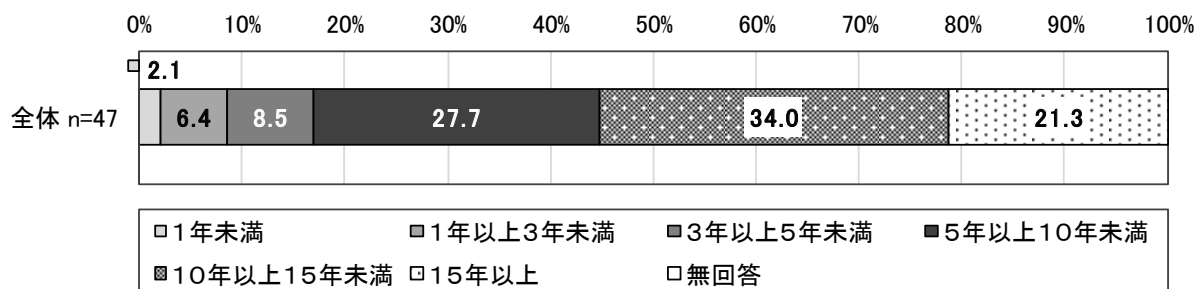
問1. 令和2年1月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(回答は1つ)

年齢については、「50歳代」が40.4%で最も高く、次いで「40歳代」が29.8%、「60歳代」が21.3%となっています。



問2. ケアマネジャーの仕事をはじめて通算何年(他事業所含む)になりますか。(回答は1つ)

ケアマネジャーの仕事の通算年数については、「10年以上15年未満」が34.0%で最も高く、次いで「5年以上10年未満」が27.7%、「15年以上」が21.3%となっています。

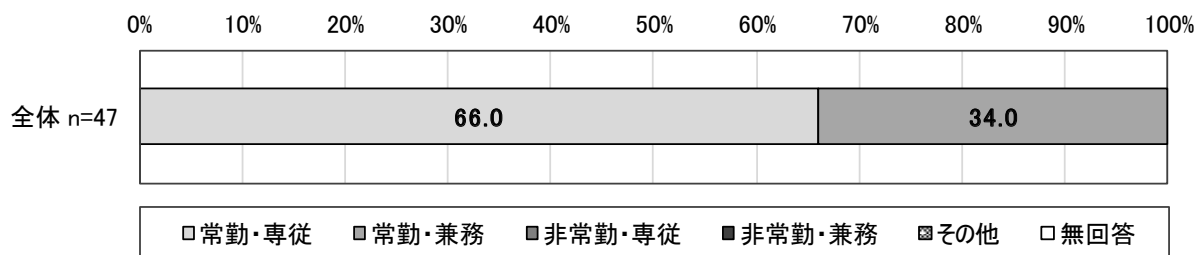


2. 業務の状況について

「2. 業務の状況について」は、勤務形態、担当する居宅のケアプラン作成人数、現在の業務量への負担感、地域ケア個別会議で得られていること、医療関係者との連絡手段、医療関係者との連携を充実させるために必要なことを把握するための項目となっています。

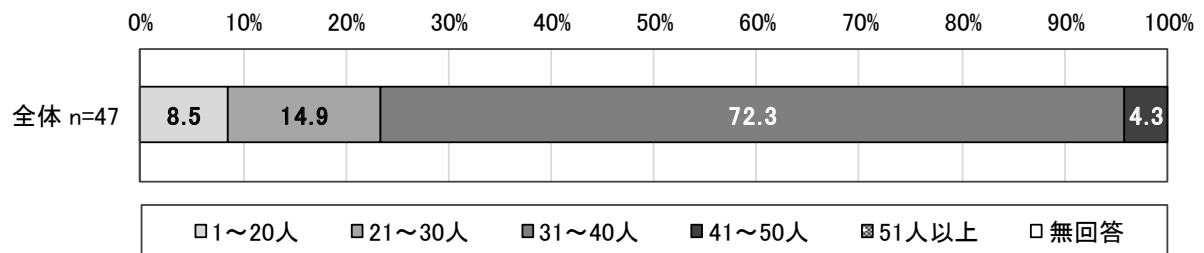
問3. あなたの勤務形態をお答えください。(回答は1つ)

勤務形態については、「常勤・専従」が66.0%、「常勤・兼務」が34.0%となっています。



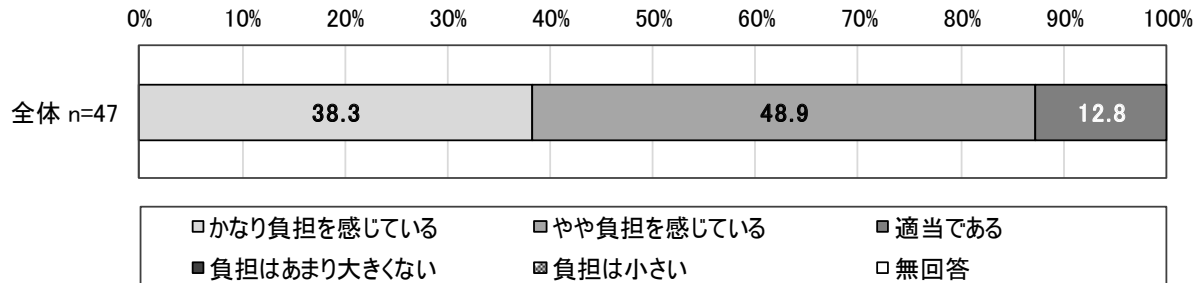
問4. あなたが担当する居宅のケアプラン作成人数をお答えください。(令和元年12月利用分) (回答は1つ)

1か月のケアプラン作成人数については、「31~40人」が72.3%で最も高く、次いで「21~30人」が14.9%、「1~20人」が8.5%となっています。



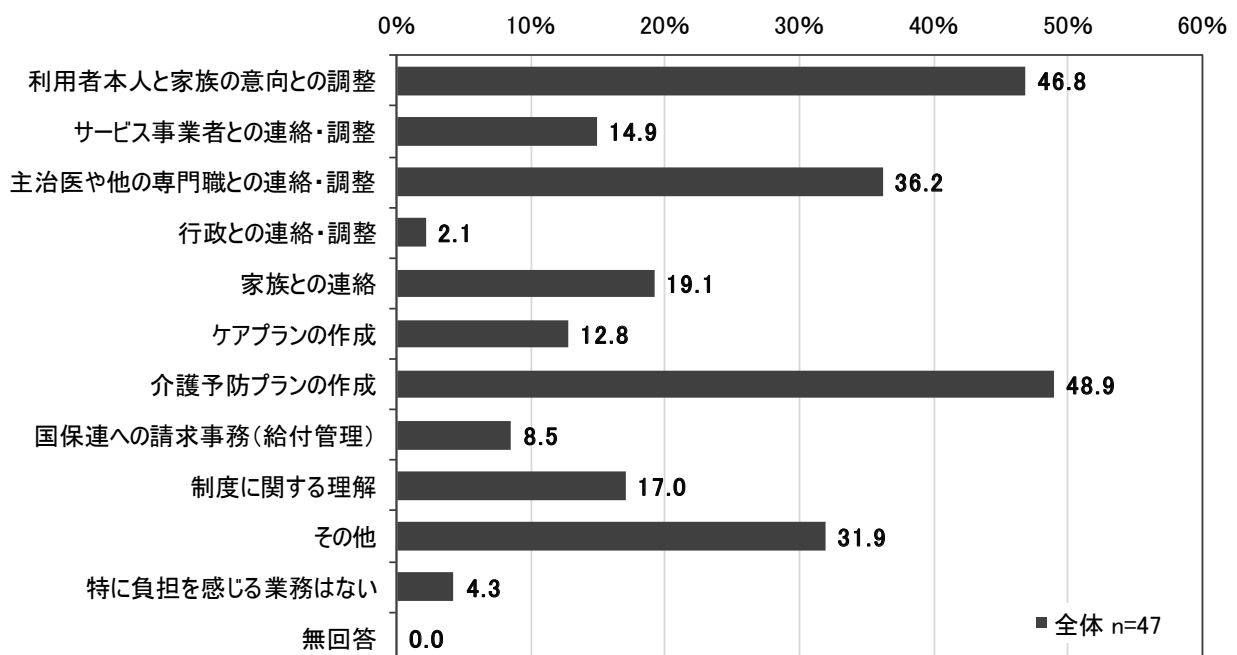
問5. 現在の業務量についてどのように思いますか。(回答は1つ)

現在の業務量についてどう思っているかについては、「やや負担を感じている」が48.9%で最も高く、次いで「かなり負担を感じている」が38.3%、「適当である」が12.8%となっています。



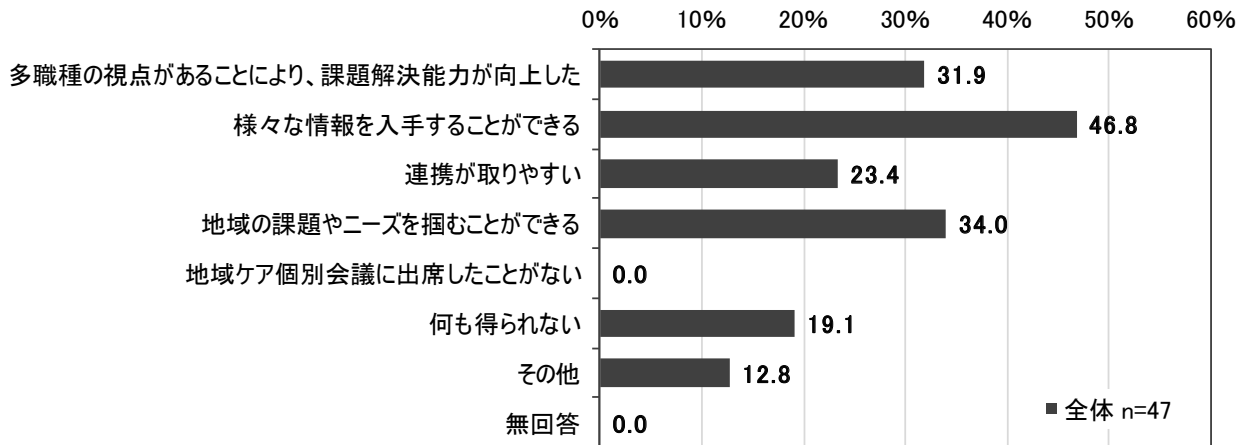
問6. どの業務に特に負担を感じますか。(回答は3つまで)

特に負担を感じる業務については、「介護予防プランの作成」が48.9%で最も高く、次いで「利用者本人と家族の意向との調整」が46.8%、「主治医や他の専門職との連絡・調整」が36.2%となっています。



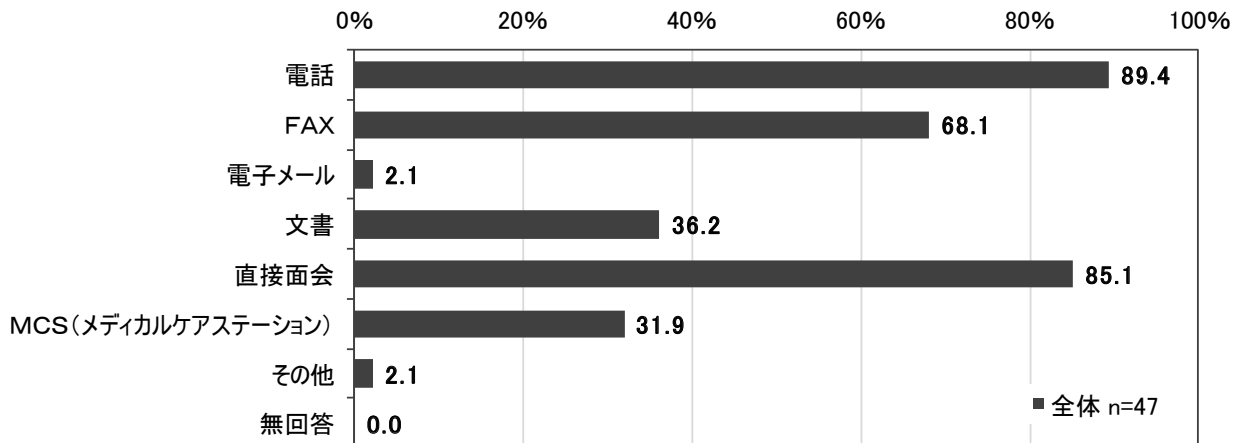
**問7. 地域ケア個別会議において、得られていると感じていることをお答えください。
(あてはまるものすべてに回答)**

地域ケア個別会議において、得られていると感じていることについては、「様々な情報を入手することができる」が46.8%で最も高く、次いで「地域の課題やニーズを掴むことができる」が34.0%、「多職種の視点があることにより、課題解決能力が向上した」が31.9%となっています。



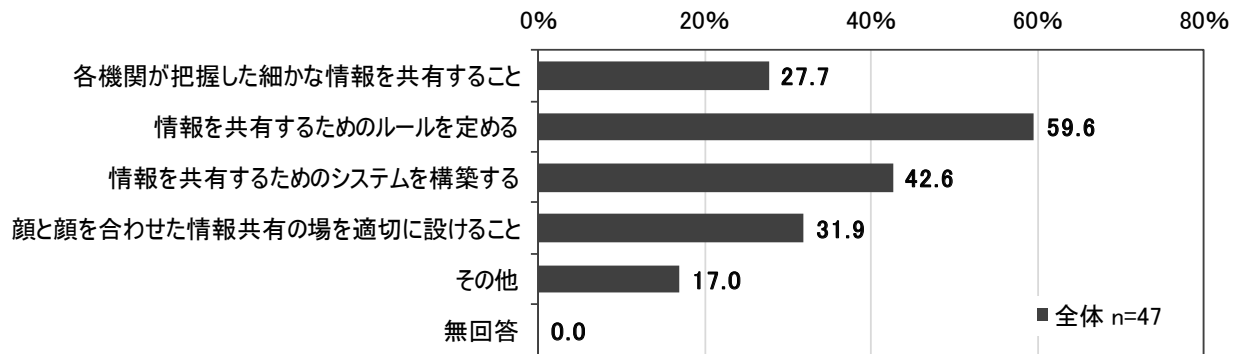
問8. 医療関係者との現在の連絡手段をお答えください。(あてはまるものすべてに回答)

医療関係者との連絡手段については、「電話」が89.4%で最も高く、次いで「直接面会」が85.1%、「FAX」が68.1%となっています。



問9. 今後、医療関係者との連携を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに回答)

今後、医療関係者との連携を充実させるために必要だと思うことについては、「情報を共有するためのルールを定める」が59.6%で最も高く、次いで「情報を共有するためのシステムを構築する」が42.6%、「顔と顔を合わせた情報共有の場を適切に設けること」が31.9%となっています。

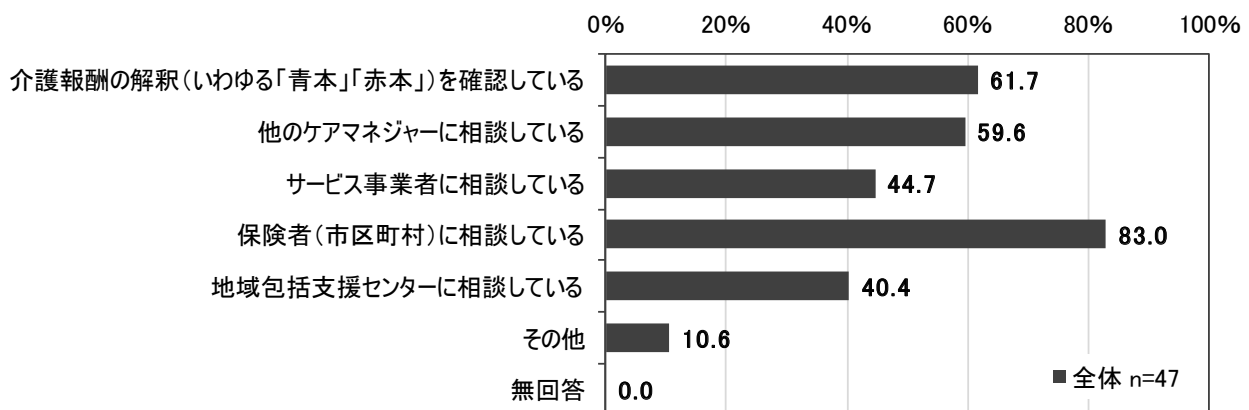


3. ケアプランについて

「3. ケアプランについて」は、ケアプラン作成や給付管理などで悩んだときの対応、介護保険外の公的福祉サービスの活用状況、インフォーマルサービスの活用状況、インフォーマルサービスで必要だと思うサービス、利用者からの苦情を把握するための項目となっています。

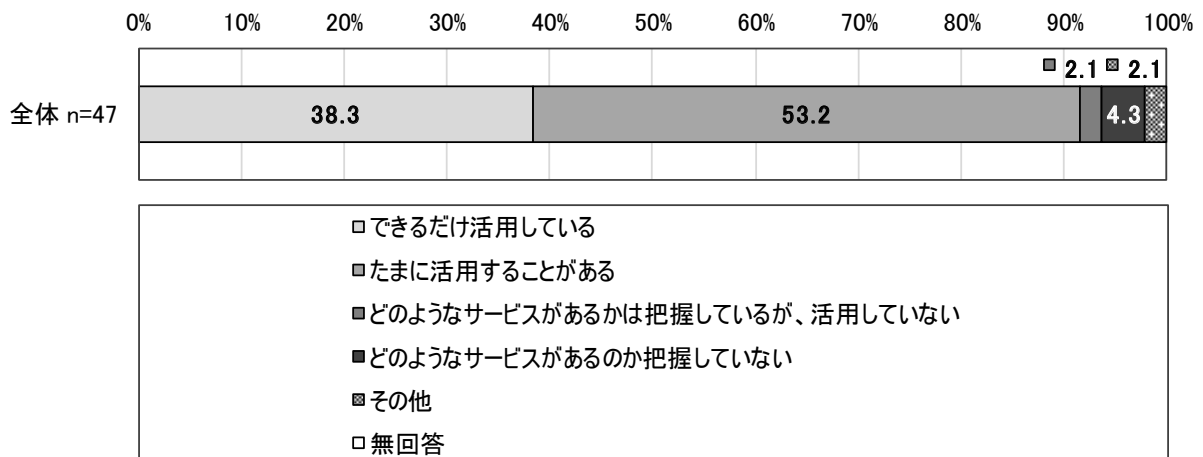
問 10. ケアプランの作成や給付管理など、業務上で判断に悩んだ場合はどうしていますか。
 (あてはまるものすべてに回答)

業務上で判断に悩んだ場合の対応については、「保険者（市区町村）に相談している」が 83.0%で最も高く、次いで「介護報酬の解釈（いわゆる「青本」「赤本」）を確認している」が 61.7%、「他のケアマネジャーに相談している」が 59.6%となっています。



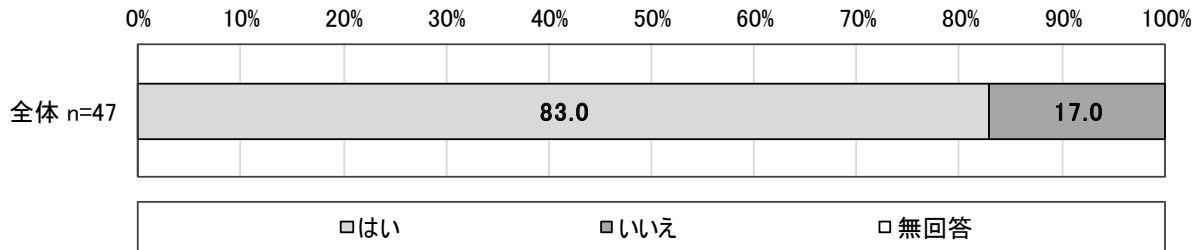
問 11. ケアプランを作成する際に、介護保険外の公的福祉サービスを活用していますか。
 (回答は1つ)

ケアプランを作成する際に、介護保険外の公的福祉サービスを活用しているかについては、「たまに活用することがある」が 53.2%で最も高く、次いで「できるだけ活用している」が 38.3%、「どのようなサービスがあるのか把握していない」が 4.3%となっています。



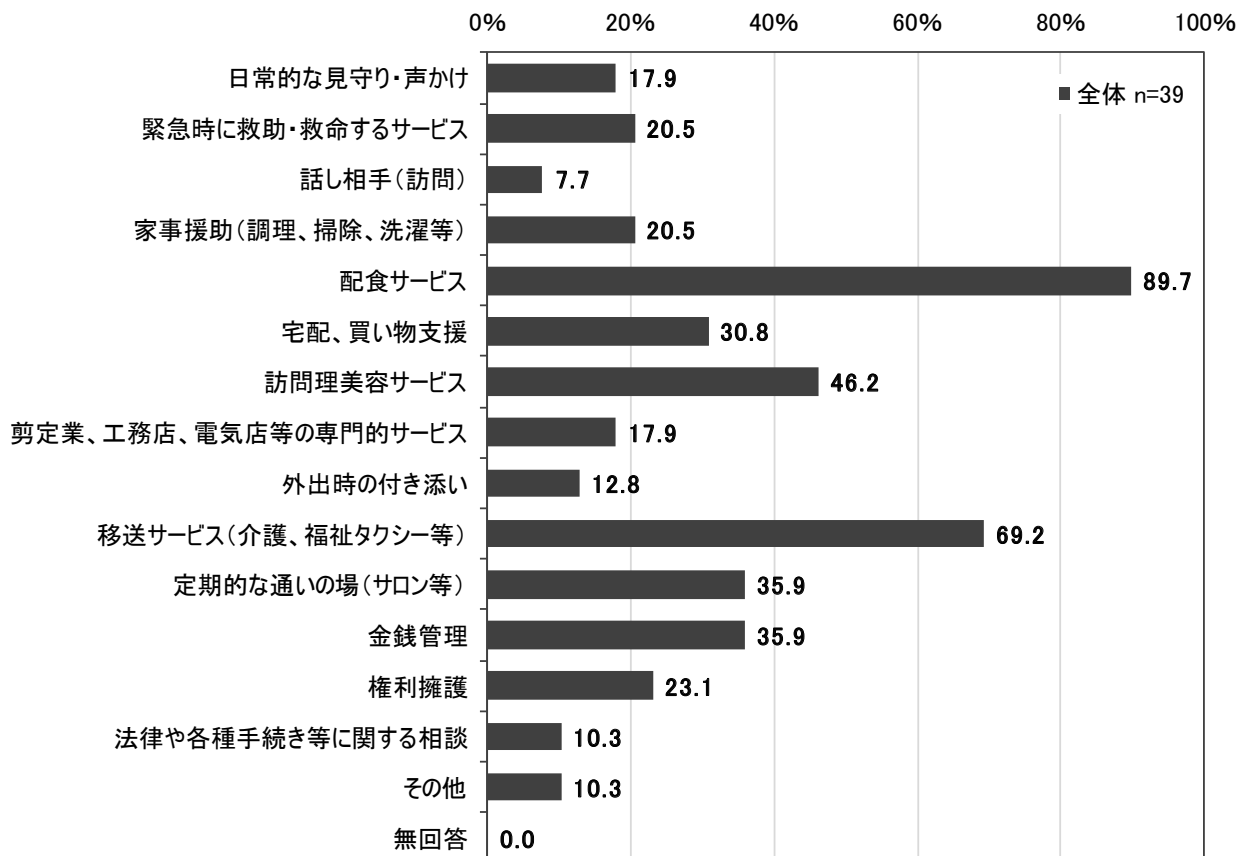
問 12. ケアプランを作成する際に、インフォーマルサービス（住民主体の通いの場や民間の家事援助サービス等）を活用していますか。（回答は1つ）

ケアプランを作成する際に、インフォーマルサービスを活用しているかについては、「はい」が83.0%、「いいえ」が17.0%で、「はい」が66.0ポイント上回っています。



**問 12-1. 【問 12で「はい」と回答した方におたずねします。】
活用したのはどのようなインフォーマルサービスですか。（あてはまるものすべてに回答）**

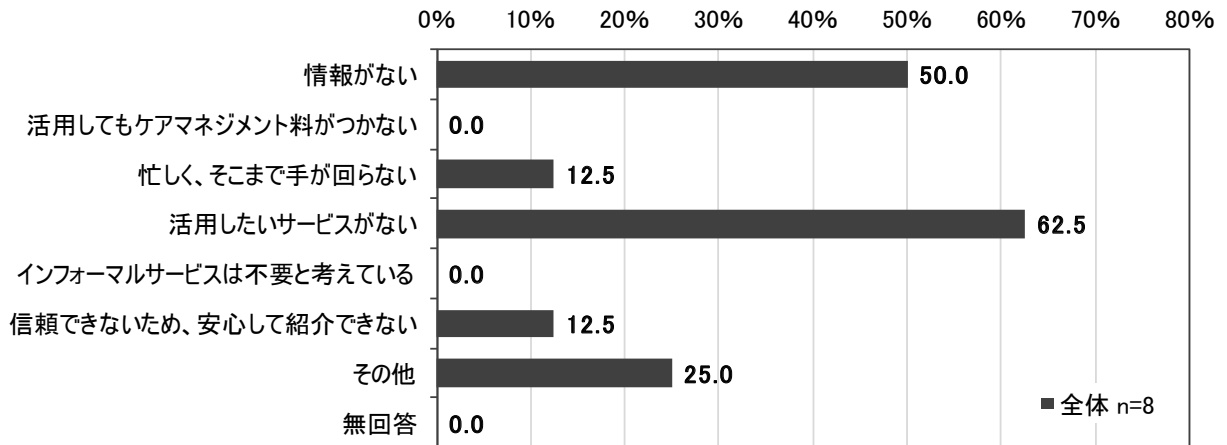
活用したインフォーマルサービスについては、「配食サービス」が89.7%で最も高く、次いで「移送サービス（介護、福祉タクシー等）」が69.2%、「訪問理美容サービス」が46.2%となっています。



問 12-2.【問 12で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

インフォーマルサービスを活用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

インフォーマルサービスを活用していない理由については、「活用したいサービスがない」が62.5%で最も高く、次いで「情報がない」が50.0%、「その他」が25.0%となっています。



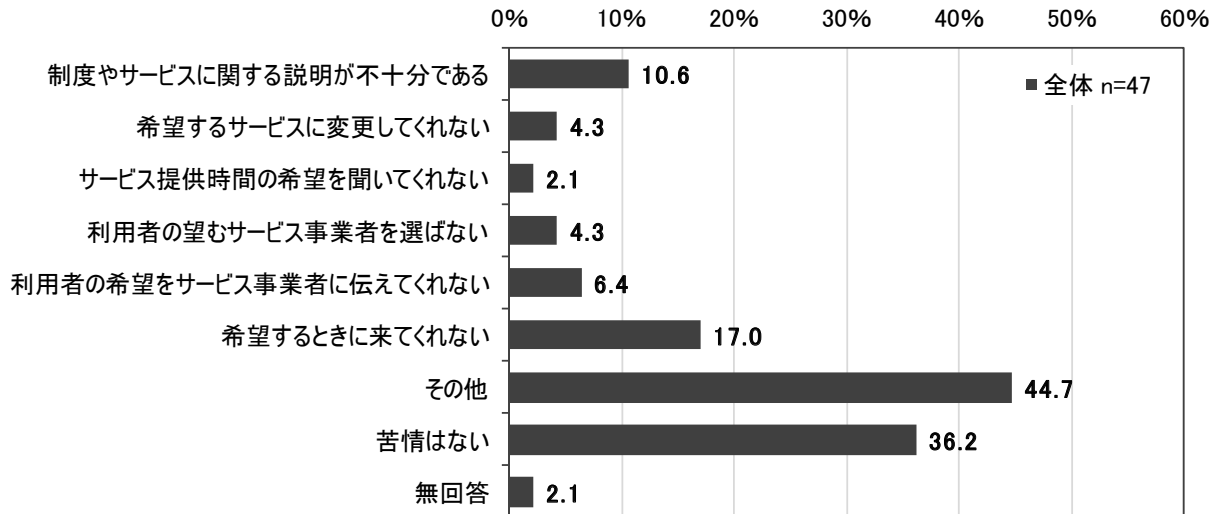
問 13. インフォーマルサービスで必要だと思うサービスがあれば、ご記入ください。

インフォーマルサービスで必要だと思うサービスについて
病院への送迎の充実（タクシーなど）
インフォーマルサービスの相談員
電球替えなどヘルパーができないサービス（ワンコインでの支援）
移送サービス、家事支援（電球替えなど）
患者会の情報提供
独居高齢者の見守り
服薬確認、通院介助、買い物支援、単身者の安否確認
介護保険サービスの情報提供
家事援助、通院介助
移送と病院内の付き添いを組み合わせたサービス、あんしんサポートの充実
低価格の家事援助
移送サービス
移動支援
公民館活動への参加の誘い・同行、各種手続き支援・代行、ペットの世話、緊急時の対応サポート（人手）
低価格の家事援助サービスと移送サービス
介護保険で対応できない支援（不定期、単発）、適価な生活支援（雪かき等）、院内付き添い
送迎（サロンなど）
送迎
短時間対応の見守りサービス（訪問）等、低料金で受けられるサービス
外出の際の交通手段
金銭管理の適任者、通院入院時の付き添い
生活援助や通院の付き添いボランティア
認知症や精神疾患のある独居の方の見守り、声掛け

問 14. これまでに、利用者からの苦情はどのようなものがありましたか。
(あてはまるものすべてに回答)

利用者からの苦情内容については、「その他」が 44.7%で最も高く、次いで「苦情はない」が 36.2%、「希望するときに来てくれない」が 17.0%となっています。

その他の回答としては、『職員の説明不足』『相性が合わない』『サービスの導入が遅い』『利用したサービスが気に入らなかった』などの回答がみられます。



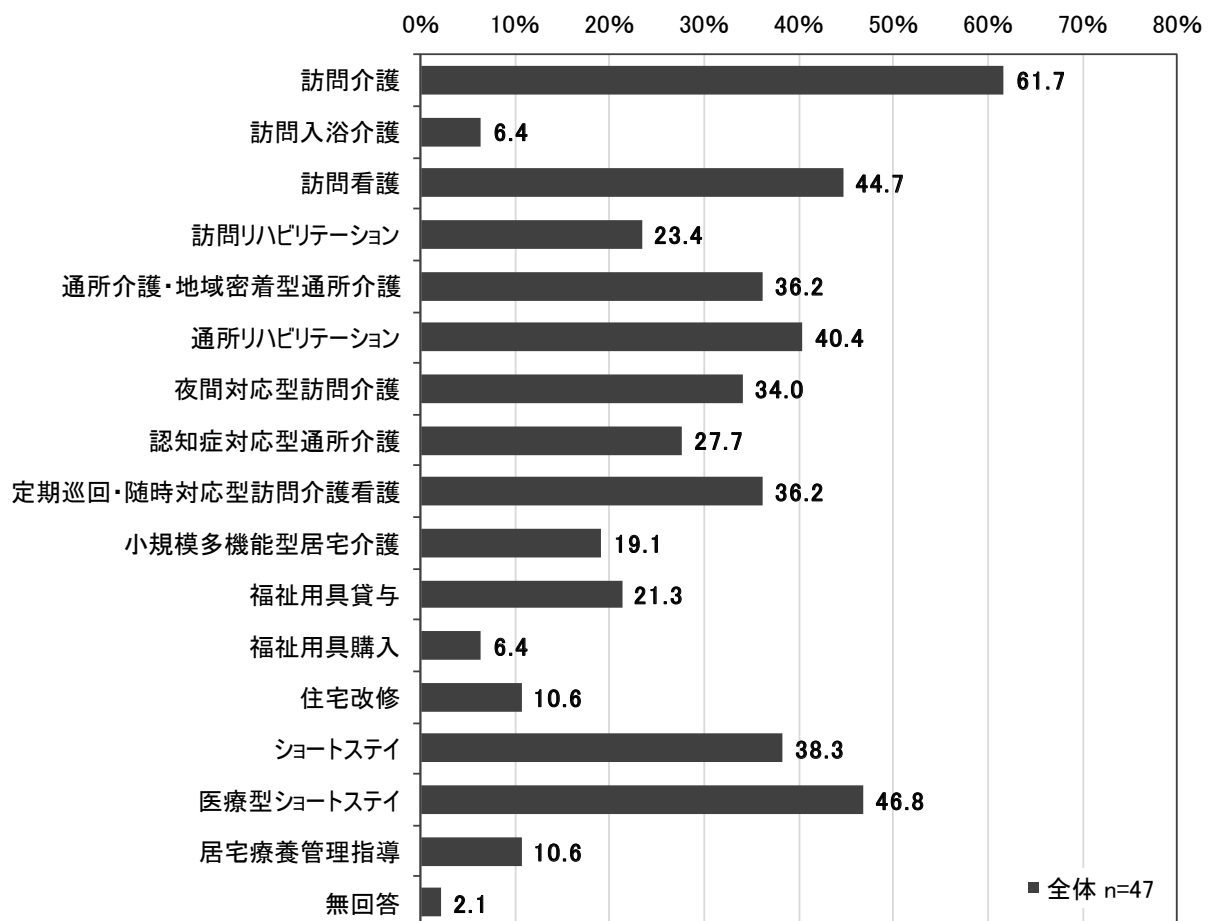
4. 介護保険サービスについて

「4. 介護保険サービスについて」は、居宅介護・介護予防で充実させるべきと感じるサービス、定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスに対するイメージ、小規模多機能型居宅介護サービスに対するイメージ、高齢者虐待の事例の有無及びその後の対応を把握するための項目となっています。

問 15. 居宅介護サービス計画書（介護予防サービス計画書）の作成または見直し時に、あなたが充実させるべきと感じるサービスについて、「ア 居宅介護」「イ 介護予防」のそれぞれ5つ選んで、番号を記入してください。

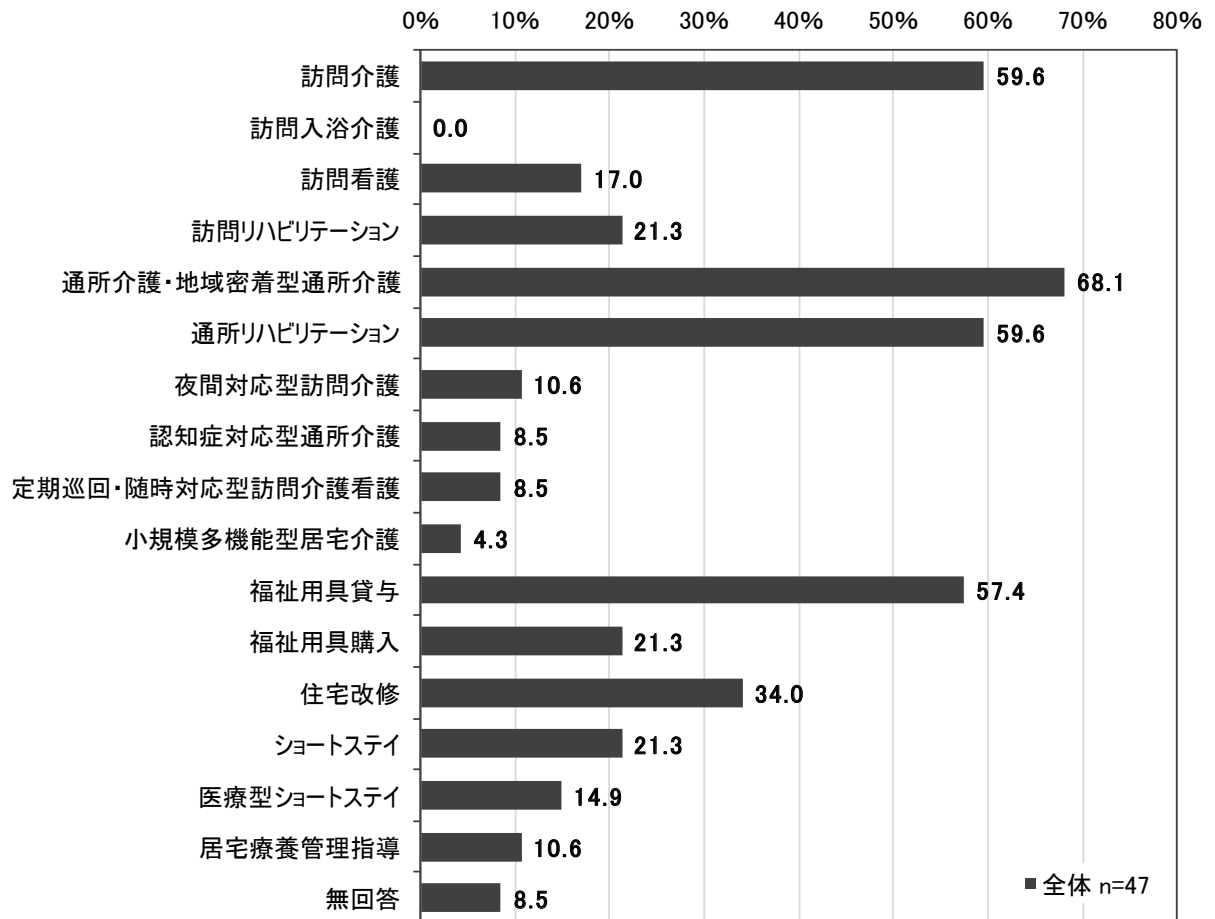
ア 居宅介護

居宅介護において、充実させるべきと感じるサービスについては、「訪問介護」が 61.7%で最も高く、次いで「医療型ショートステイ」が 46.8%、「訪問看護」が 44.7%となっています。



イ 介護予防

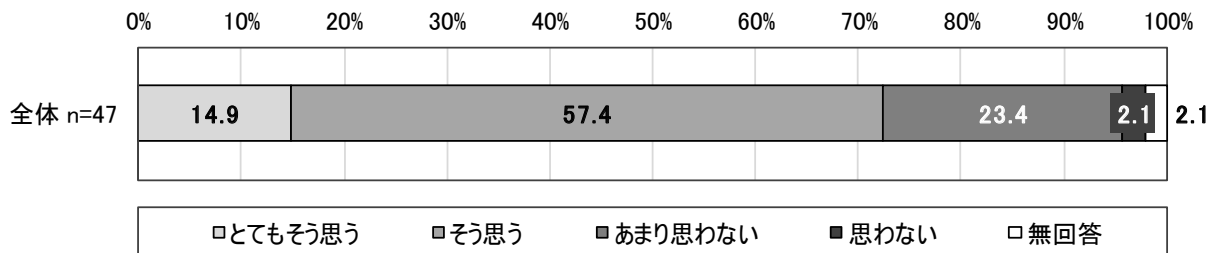
介護予防において、充実させるべきと感じるサービスについては、「通所介護・地域密着型通所介護」が68.1%で最も高く、次いで「訪問介護」「通所リハビリテーション」がともに59.6%、「福祉用具貸与」が57.4%となっています。



問 16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスについて、どのようなイメージをお持ちですか。
(あてはまるものすべてに回答)

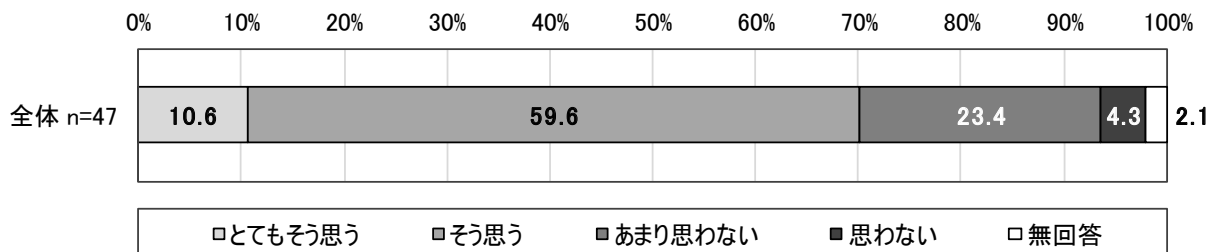
①重度の要介護者向けのサービスである

重度の要介護者向けのサービスであるに対しては、「そう思う」が57.4%で最も高く、次いで「あまり思わない」が23.4%、「とてもそう思う」が14.9%となっています。



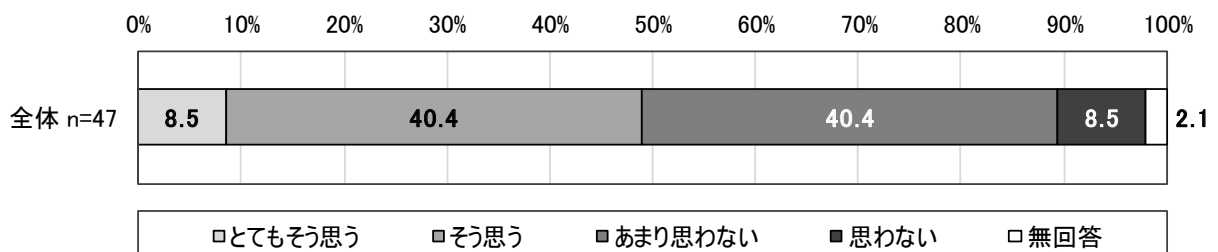
②医療対応が必要な方向けのサービスである

医療対応が必要な方向けのサービスであるに対しては、「そう思う」が59.6%で最も高く、次いで「あまり思わない」が23.4%、「とてもそう思う」が10.6%となっています。



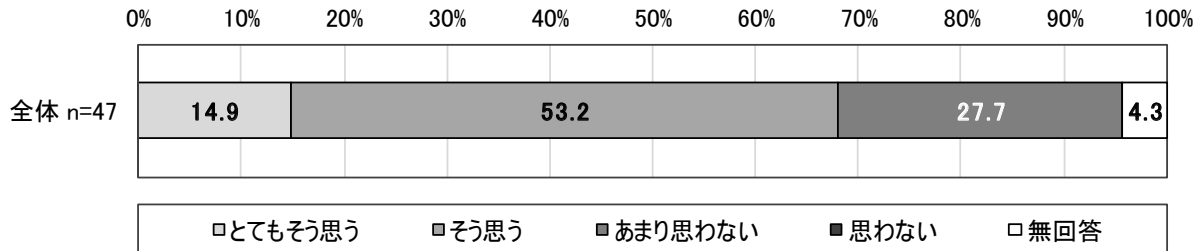
③夜間・深夜の対応が中心のサービスである

夜間・深夜の対応が中心のサービスであるに対しては、「そう思う」「あまり思わない」がともに40.4%で最も高く、次いで「とてもそう思う」「思わない」がともに8.5%となっています。



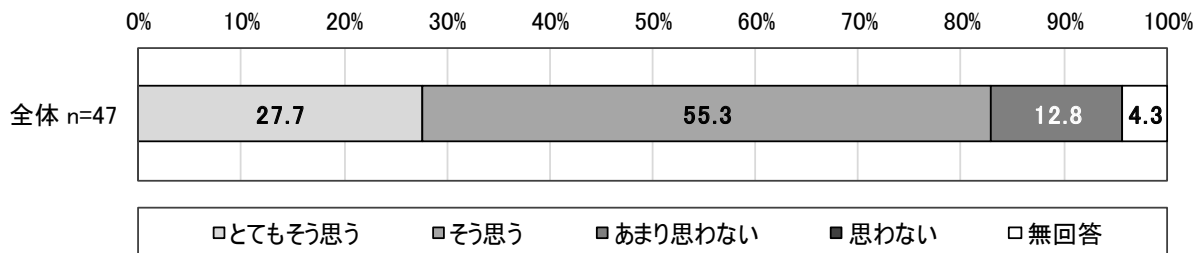
④介護報酬が定額なので状況に応じて柔軟な利用が可能なサービスである

介護報酬が定額なので状況に応じて柔軟な利用が可能なサービスであるに対しては、「そう思う」が53.2%で最も高く、次いで「あまり思わない」が27.7%、「とてもそう思う」が14.9%となっています。



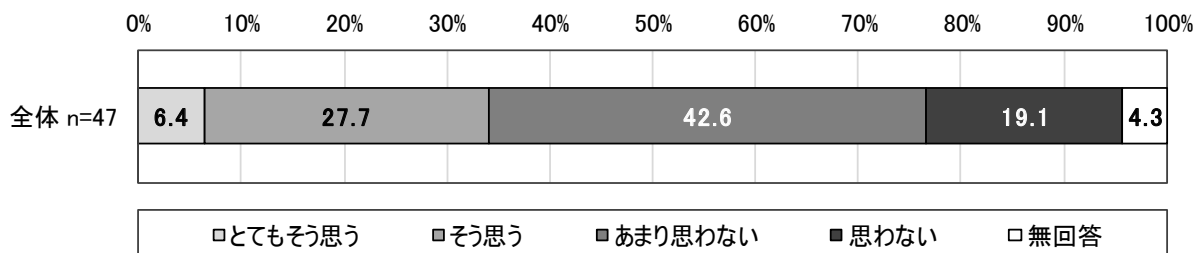
⑤短時間で頻回の利用が可能である

短時間で頻回の利用が可能であるに対しては、「そう思う」が55.3%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が27.7%、「あまり思わない」が12.8%となっています。



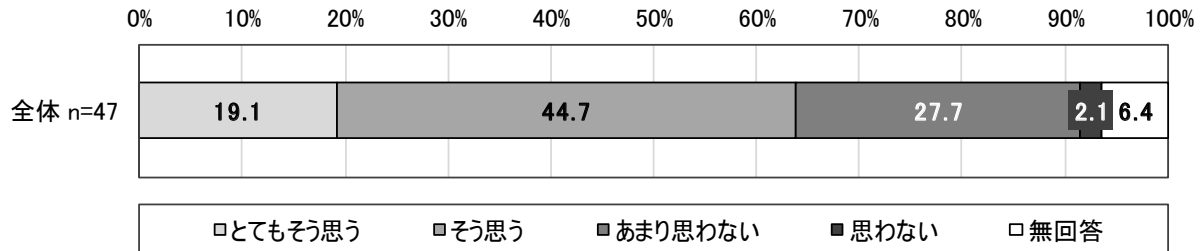
⑥どのような状態像に適したサービスなのかうまくイメージできない

どのような状態像に適したサービスなのかうまくイメージできないに対しては、「あまり思わない」が42.6%で最も高く、次いで「そう思う」が27.7%、「思わない」が19.1%となっています。



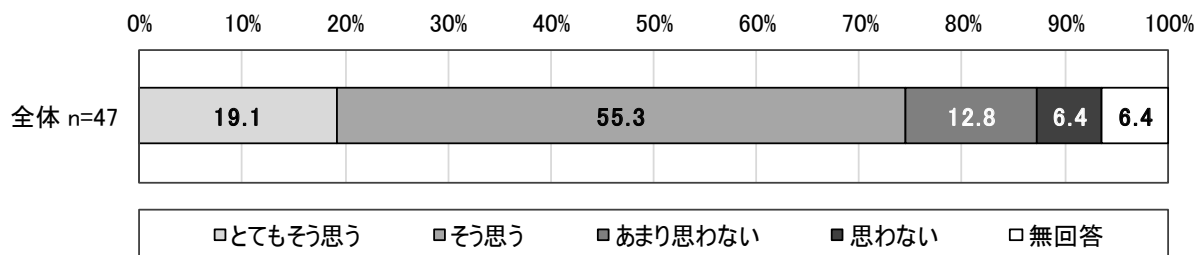
⑦単位数が高い、利用料が高い

単位数が高い、利用料が高いに対しては、「そう思う」が44.7%で最も高く、次いで「あまり思わない」が27.7%、「とてもそう思う」が19.1%となっています。



⑧介護報酬の算定が複雑

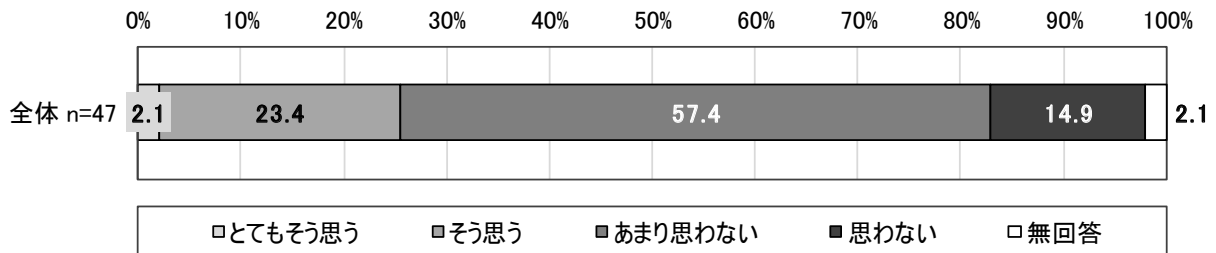
介護報酬の算定が複雑に対しては、「そう思う」が55.3%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が19.1%、「あまり思わない」が12.8%となっています。



問 17. 小規模多機能型居宅介護サービスについて、どのようなイメージをお持ちですか。
 (あてはまるものすべてに回答)

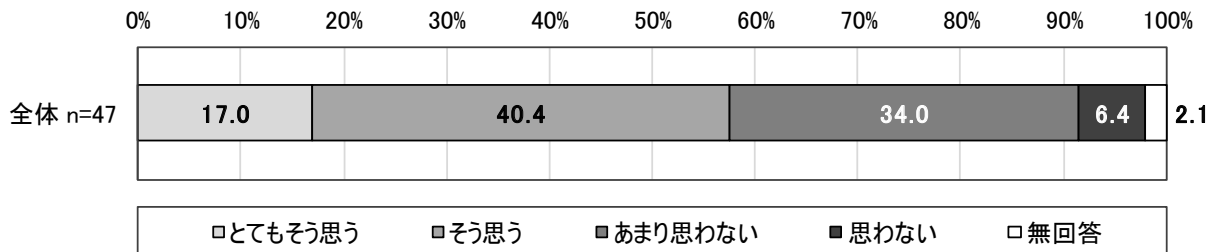
①重度の要介護者向けのサービスである

重度の要介護者向けのサービスであるに対しては、「あまり思わない」が57.4%で最も高く、次いで「そう思う」が23.4%、「思わない」が14.9%となっています。



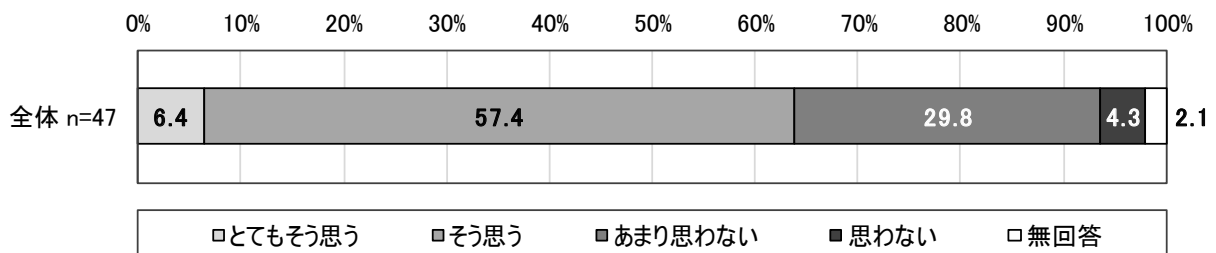
②認知症の方向けのサービスである

認知症の方向けのサービスであるに対しては、「そう思う」が40.4%で最も高く、次いで「あまり思わない」が34.0%、「とてもそう思う」が17.0%となっています。



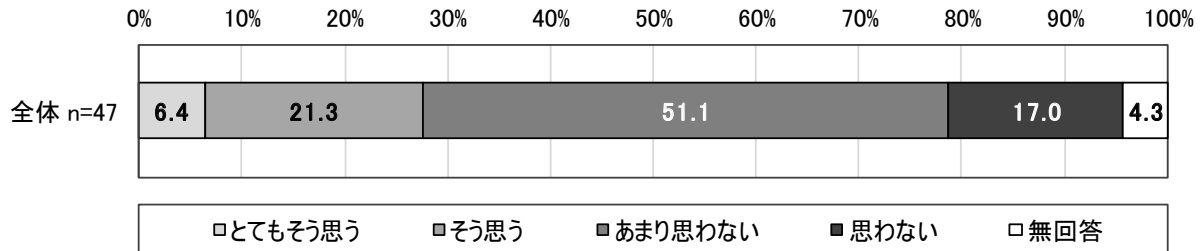
③介護報酬が定額なので利用者の状態に応じて柔軟な利用が可能なサービスである

介護報酬が定額なので利用者の状態に応じて柔軟な利用が可能なサービスであるに対しては、「そう思う」が57.4%で最も高く、次いで「あまり思わない」が29.8%、「とてもそう思う」が6.4%となっています。



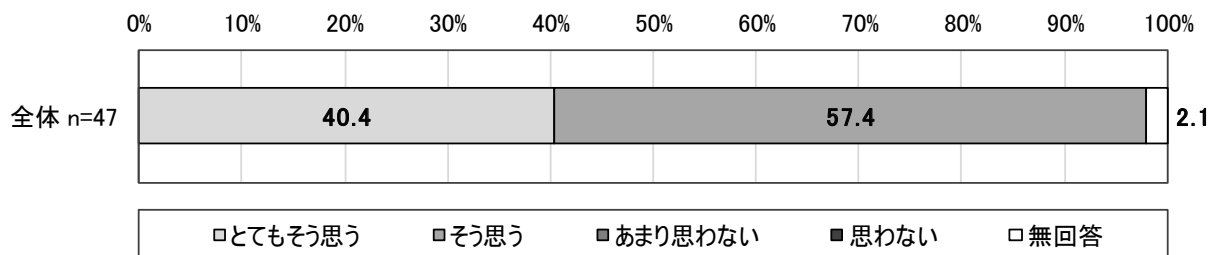
④どのような状態像に適したサービスなのかうまくイメージできない

どのような状態像に適したサービスなのかうまくイメージできないに対しては、「あまり思わない」が51.1%で最も高く、次いで「そう思う」が21.3%、「思わない」が17.0%となっています。



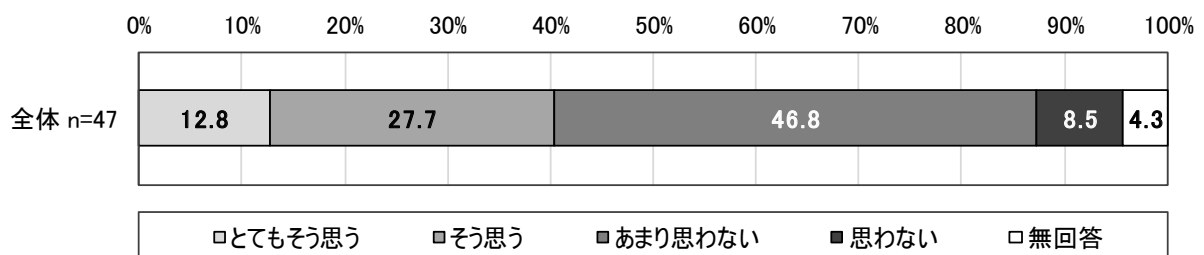
⑤利用者や家族にあまり知られていない

利用者や家族にあまり知られていないに対しては、「そう思う」が57.4%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が40.4%となっています。



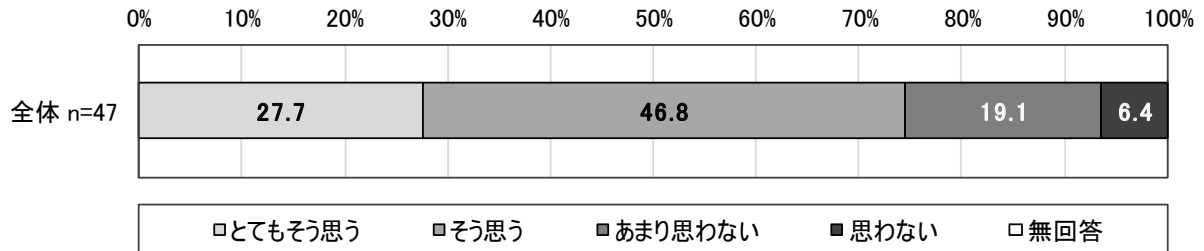
⑥利用料が高い

利用料が高いに対しては、「あまり思わない」が46.8%で最も高く、次いで「そう思う」が27.7%、「とてもそう思う」が12.8%となっています。



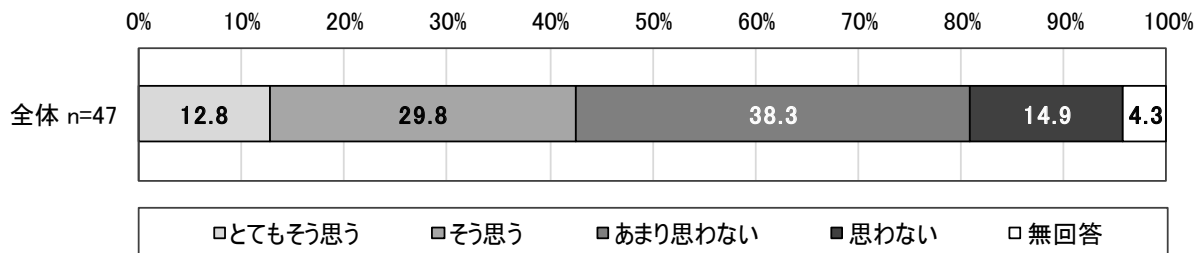
⑦他の事業所を利用できなくなるので、利用につながりにくい

他の事業所を利用できなくなるので、利用につながりにくいに対しては、「そう思う」が46.8%で最も高く、次いで「とてもそう思う」が27.7%、「あまり思わない」が19.1%となっています。



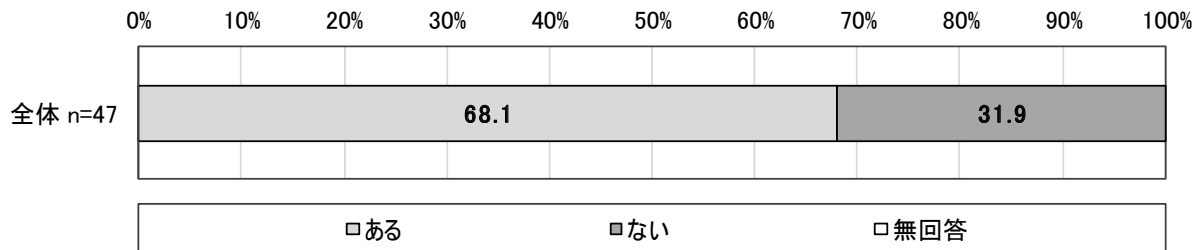
⑧ケアマネジメントを引き継がなければならないので、利用につながりにくい

ケアマネジメントを引き継がなければならないので、利用につながりにくいに対しては、「あまり思わない」が38.3%で最も高く、次いで「そう思う」が29.8%、「思わない」が14.9%となっています。



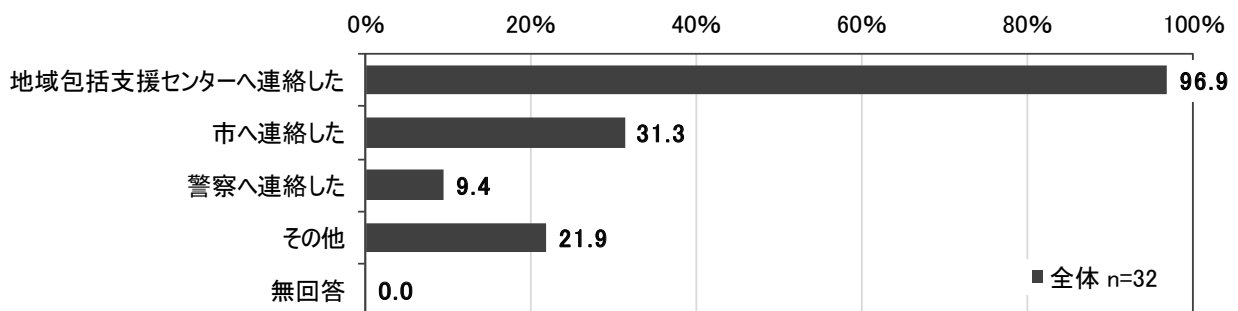
問 18. これまで、高齢者虐待が疑われるような事例を経験したことがありますか。
(回答は1つ)

高齢者虐待が疑われるような事例を経験したことがあるかについては、「ある」が 68.1%、「ない」が 31.9%で、「ある」が 36.2 ポイント上回っています。



問 18-1. 【問 18で「ある」と回答した方におたずねします。】
虐待が疑われる状態に気づいた後、どこへ通報しましたか。(あてはまるものすべてに回答)

虐待が疑われる状態に気づいた後の対応については、「地域包括支援センターへ連絡した」が 96.9%で最も高く、次いで「市へ連絡した」が 31.3%、「その他」が 21.9%となっています。



第2章 ケアマネジャー 調査結果のまとめ

【1. あなた自身について】

回答者の構成において、年齢階級では、30歳代が4.3%、40歳代が29.8%、50歳代が40.4%、60歳代が21.3%、70歳以上が4.3%となっています。

ケアマネジャーの仕事の通算年数では、10年以上が約6割を占め、3年未満が約1割となっています。

【2. 業務の状況について】

担当する居宅ケアプランの作成人数では、31人～40人が約7割を占めています。

現在の業務量に対する負担感では、負担を感じているのが約9割を占め、多くのケアマネジャーが負担を感じながら業務を行っている状況であります。

負担を感じている業務では、介護予防プランの作成、利用者本人と家族の意向との調整、主治医や他の専門職との連絡・調整が上位に挙げられており、介護をするうえで、介護予防プランの作成や家族や専門職との連携に対して負担を感じている状況であります。

今後、医療関係者との連携を充実させるためでは、情報を共有するためのルールを定めるが最も高い割合を占めています。負担を感じる業務において、主治医や専門職との連絡・調整が上位に挙げられていることから、情報共有のルールを定めることで、負担が減ると考えられている結果が表れていると考えられます。

【3. ケアプランについて】

ケアプラン作成時など、業務上で判断に悩んだ場合の対応では、保険者に相談しているのが約8割と、多くのケアマネジャーが判断に悩んだ場合、保険者に相談している状況となっています。

ケアプラン作成時のインフォーマルサービスの活用状況では、活用しているのが約8割と、多くのケアマネジャーがインフォーマルサービスを活用しており、活用しているインフォーマルサービスでは、配食サービス、移送サービス（介護、福祉タクシー等）が上位に挙げられています。

【4. 介護保険サービスについて】

居宅介護サービス計画書の作成または見直し時に、充実させるべきと感じるサービスとして上位に挙げられている項目では、居宅介護については、訪問介護、医療型ショートステイ、訪問看護、通所リハビリテーション、介護予防については、通所介護・地域密着型通所介護、訪問看護、通所リハビリテーション、福祉用具貸与となっています。

定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスへのイメージでは、どのような状態像に適したサービスなのかイメージできないは約3割と、サービスへのイメージを持っているケアマネジャーが多く、重度の要介護向けのサービス、医療対応が必要な方向へのサービスとして認識されている傾向がみられます。また、介護報酬の算定が複雑だと感じている割合は約7割となっています。

小規模多機能型居宅介護サービスへのイメージでは、利用者や家族にあまり知られていないが9割を超え、非常に高い割合となっています。どのような状態像に適したサービスなのかイメージできないは約3割と、サービスへのイメージを持っているケアマネジャーが多く、認知症の方向へのサービス、介護報酬が定額なので利用者の状態に応じて柔軟な利用が可能なサービスであると認識されてい

る傾向がみられます。また、他の事業所を利用できなくなるので、利用につながりにくいと感じている割合が約7割となっています。

高齢者虐待が疑われる事例を経験したことがあるかでは、あるが約7割と半数を超えており、虐待が疑われる状態に気づいたときの通報先は、地域包括支援センターへ連絡したが9割を超える結果となっています。

第VIII部 高齢者福祉・介護実態調査結果のまとめ

第1章 高齢者福祉・介護実態調査結果のまとめ

本調査は、高齢者一般、要支援高齢者、要介護高齢者、施設入所高齢者、ケアマネジャーの5区分で実施し、全体の回収率は73.1%となっています。

調査区分ごとの高齢者を対象とした調査では、回答者の年齢構成として、高齢者一般では後期高齢者の割合が約4割に対して、要支援高齢者が約9割、要介護高齢者が約8割と、高齢者一般を大きく上回り、後期高齢者になるほど、要介護認定を受ける状況が高くなることが影響した結果であると考えられます。

また、回答者の性別をみると、高齢者一般では男性が女性を上回る回答率に対して、要支援高齢者及び要介護高齢者では、女性が男性を上回る回答率となっています。

家族構成における1人暮らしの割合をみると、高齢者一般が23.5%、要支援高齢者が37.0%、要介護高齢者が13.9%と、要支援高齢者の1人暮らしの割合が他の区分に比べて高い傾向がみられました。

介護・介助の状況として、現在、何らかの介護を受けているでは、介護度があがるにつれて割合は増加し、要支援高齢者では約4割、要介護高齢者では約7割と、要介護高齢者が大きく上回る状況となっています。

要介護高齢者では、運動機能の低下の傾向がみられた割合が約7割、手段的自立度(IADL)の評価で低いと判定された割合が約7割と、高齢者一般(運動機能の低下の傾向がみられた割合が1割未満/手段的自立度(IADL)の評価で低い)及び要支援高齢者(運動機能の低下の傾向がみられた割合が約5割/手段的自立度(IADL)の評価で低い)が約3割)と比べて高い割合を示していることから、日常生活の中の困りごとにおいても、多くの項目で割合が高くなっています。

外出を控えている状況をみると、高齢者一般では約1割であるのに対して、要支援高齢者では約4割、要介護高齢者では約5割と、介護度があがるにつれて外出を控える傾向がみられました。また、主な外出先をみても、高齢者一般では様々な項目に対して回答がみられたものの、要支援高齢者、要介護高齢者では主な外出先が限定的になる傾向がみられ、買い物をする場所、病院、診療所、デイサービスなどの通所施設が主な外出先として挙げられています。外出先が限定的になる要因としては、高齢者一般では徒歩、自転車、自動車(自分で運転)、電車、路線バスなど、様々な移動手段を活用し外出している状況がみられましたが、要支援高齢者、要介護高齢者では自動車(人に乗せてもらう)、病院や施設のバス、タクシーなどを活用し移動している状況がみられたことから、誰かに頼る移動手段を活用していることが影響していると考えられます。そのため、要支援高齢者、要介護高齢者では、今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービスにおいても、移送サービス(介護、福祉タクシー等)の割合が高くなる傾向がみられました。

介護度があがるにつれて、運動機能が低下し、外出時の移動手段は限られてくる状況がみられ、外出先も限定的となり、外出を控える傾向も高くなることから、自身の身体機能を維持しながら日常生活を送ることができるかが重要となってくると考えられます。高齢者一般における介護予防への取組状況では、意識して取り組んでいるが約5割と、高齢者一般の約5割は取り組んでいない状況であり、きっかけがあれば取り組みたい、具体的な取り組み方がわからないなど、介護予防に取り組むことへの意識はあるものの、取り組み自体につながっていない現状がみられました。一方で、要支援高齢者では介護予防の取組状況として、取り組んでいないは約1割と、何かしらの取り組みを行っていることから、自身の健康に対する意識は高齢者一般に比べて高いことがうかがえます。

介護予防へ取り組み始めた年齢をみると、40～64歳から取り組み始めたとの回答が多くみられたことから、その頃から自身の健康に対して意識をし始める方が多いのではないかと考えられます。

介護予防のための通いの場(トコロん元気百歳体操、お達者倶楽部など)への参加状況としては、高齢者一般では参加している割合が1割未満であるのに対して、要支援高齢者では約2割と、高齢者一般を上回る結果となっています。このような場へ、高齢者一般の方の参加を促していくことも重要と考えられます。その際には、やはり自宅からの距離という点も重要であり、参加したい移動時間としては、高齢者一般では徒歩・自転車で10分以内及び徒歩・自転車で30分以内が約6割を占めることから、身近な地域において、介護予防のための通いの場を充実させていくことが重要であるとともに、活動をしているという情報発信も併せて必要なことであると考えられます。

認知機能の評価において認知機能に低下の傾向がみられたと判定された割合は、高齢者一般が40.1%、要支援高齢者が52.4%、要介護高齢者が66.4%と、介護度があがるにつれて割合も増加しています。今後の生活での心配ごととしては、自分が認知症になることが上位に挙げられており、認知症に対する意識は高い状況がうかがえます。高齢者一般でも認知機能に低下の傾向がみられた割合が約4割と、他の評価項目と比べると高い割合を示していることから、認知症に対する正しい知識や早期発見、早期受診の重要性について周知し、認知症の傾向がみられた場合には円滑に相談機関や医療機関等へとつながる取組が重要であると考えられます。

地域の活動への参加状況では、趣味関係のグループへの参加率が最も高く、今後希望する社会参加においても趣味関係のグループの割合が高く、趣味を通じて交流している高齢者、趣味を通じた交流を望んでいる高齢者が多い状況がうかがえることから、趣味関係のグループの情報を発信することで、地域の活動への参加が促せるのではないかと考えられます。

紙おむつの給付事業では、介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよいと回答している割合は、高齢者一般が19.6%、要支援高齢者が24.3%、要介護高齢者が29.5%と、介護度があがるにつれて継続を求める割合が高くなるが、継続を求める割合より介護度の高い方に限定した方がよい、常に紙おむつが必要な方にのみ限定した方がよいとの見直しを求める割合のほうが高く、今後、何かしらの見直しが必要であると考えている方が多い結果となっています。

低所得者助成金制度では、今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思うと回答している割合は、高齢者一般が52.0%、要支援高齢者が51.3%、要介護高齢者が47.5%と、それぞれ約5割が継続の必要があると回答している一方で、見直しが必要との回答もみられ、見直しの観点としては、対象となるサービスを限定した方がよいとの回答が多くみられました。

要支援高齢者の介護者及び要介護高齢者の介護者の結果をみると、両調査とも介護をしている性別は女性のほうが多く、主に妻、娘が介護をしている状況がみられました。

介護をするうえでの困りごととしては、介護者自身の健康面(身体的な負担、精神的な負担)に関する困りごとが多い状況がみられ、介護度が高くなるにつれて、介護に費やす時間も多くなる状況がうかがえます。

介護についての相談先は、要支援高齢者の介護者では家族・親族の割合が最も高いのに対して、要介護

高齢者の介護者ではケアマネジャーの割合が最も高くなり、要支援高齢者の介護者と要介護高齢者の介護者とは、介護の相談先に異なる傾向がみられました。介護度があがるにつれて、ケアマネジャーとの関わりも深くなり、介護を継続していくうえで欠かせない存在となっていることが結果からもうかがえます。

介護者が不安を感じる介護等では、要支援高齢者の介護者では、外出の付き添い、送迎等、入浴・洗身、食事の準備(調理等)など日常的な介護に不安を感じる傾向がみられましたが、要介護高齢者の介護者では、認知症状への対応が不安と回答している方が、他の項目に比べて多くなっています。認知症状を不安と感じる要因として、コミュニケーションの課題も考えられることから、介護者や家族が認知症状や特性を理解することが重要であると考えられます。

介護の負担感について負担と感じている割合は、要支援高齢者の介護者では約8割、要介護高齢者の介護者では9割を超えている状況ではあるものの、今後の介護について在宅で介護を続けたいは、要支援高齢者の介護者が約8割、要介護高齢者の介護者が約7割と、介護への負担感を感じているが在宅での生活を望んでいる介護者が多い状況となっている一方で、施設に入所させたいと回答している割合は両介護者ともに約2割となっています。介護を受けている本人の状況や介護者、家族の状況などを踏まえて、適切な介護保険サービスへとつなげていくことが、介護者、家族にとって重要なことであると考えられます。

施設入所高齢者の結果をみると、入所施設については、特別養護老人ホームが74.6%、老人保険施設が25.4%となっており、施設入所の申込から入所までの期間としては、3か月未満が約3割、1年未満が約7割となっています。

施設への入所理由としては、介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられない、家族介護の負担が少なくすむからが上位にあげられており、在宅で生活を続けるためには、介護者、家族の存在が必要不可欠である状況がうかがえます。

自宅での生活と施設での生活での生活の質という視点で考えた際、どちらのほうが良いと感じるかでは、家族・親族との関わりについては、自宅での生活の割合が高いものの、日常生活における動作や人と人との関わりについては、施設での生活の割合が自宅での生活の割合を大きく上回っています。生活の質という視点では、施設での生活のほうが良い面があるという結果ではないかと考えられます。施設へ入所すること、入所させることに対して否定的な考えをもつ方もいることから、施設での生活についても正しく周知していく必要があると考えられます。

ケアマネジャーの業務量は、負担と感じている割合は約9割を占め、負担と感じている業務には、利用者本人と家族の意向との調整、主治医や他の専門職との連絡・調整、介護予防プランの作成が上位に挙げられています。利用者本人と家族の意向との調整については、それぞれの家庭環境により異なるため、一概に業務量を減らす解決策としては見出しづらい部分があると考えられますが、主治医や他の専門職との連絡・調整については、連携システムの構築により、スムーズな連絡・調整を図れるようにすることで業務量を減らせる部分があるのではないかと考えられます。

最後に、超高齢社会を迎え、1人暮らしの増加や共働き世帯の増加など、高齢者を取り巻く家庭環境は変化しています。高齢者施策のみならず、住み慣れた地域で安全・安心な生活を送るためには、社会全体で支え合う視点が重要であり、高齢者施策分野においては、地域の特性に応じた地域包括ケアシステムの構築を推進かつ充実させることにより、様々なニーズに応えられる支援体制を確立することが重要であると考えられます。

また、介護保険サービスや介護予防への取組、インフォーマルサービスなど、高齢者を支えるサービスは多種多様化していますが、これらを認知している高齢者は少ないのではないかと考えられます。いつかは皆、高齢者となることから、年齢が若いうちから介護保険サービスや介護予防の重要性などに関する情報を発信し、すべての人が安心して高齢者を迎えられる社会を構築していくことが重要ではないかと考えられます。

第IX部 資料編(使用した調査票)

〇高齡者一役 調査票

所沢市高齢者福祉・介護実態調査 ご協力をお願い
(65歳以上の方)

市民の皆さまには、日ごろより市政発展のため、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

所沢市では、「第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)※」を策定するにあたり、皆さまの生活実態やご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査の対象となる方につきましては、所沢市にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の皆さまの中から、3,260名を無作為に選ばせていただきました。ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、他の目的に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年1月

所沢市長 藤本 正人

※ この計画は、高齢者に関する福祉施策や認知症施策を定めるとともに、令和3年度からの介護保険料を決めるための介護保険サービス見込量を定める重要なものです。所沢市の実態に合った計画を作成するため、皆さまのご協力をお願いいたします。

【この調査票のご記入にあたって】

- この調査は、無記名です。
- この調査は、令和2年1月1日現在の状況でお答えください。
- あて名の方ご本人おひとりの回答が必ず正しい場合はご家族の方がお手伝いいただくか、あて名の方の意見を聞いたうえでご家族の方が代わりにご記入ください。
- ご回答は、あてはまる回答に☑をつけてください。質問によっては、「回答は1つ」「あてはまるものすべてに回答」など、☑をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- あて名の方が何らかの事情により調査できない場合には、下のいずれかにチェックをつけてご返送ください。

医療機関に入院中 市外に転居 その他()

- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて**1月31日(金)**までにご返送いただきますよう、お願い申し上げます。

この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

所沢市福祉部	高齢者支援課	電話	04(2998)9120
		FAX	04(2998)9138
所沢市福祉部	介護保険課	電話	04(2998)9420
		FAX	04(2998)9410

【調査の目的及び活用目的について】

◆ この調査は、効果的な介護予防政策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、所沢市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、所沢市で適切に管理いたします。

◆ ただし、高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定時および効果評価時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理する所沢市外のデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。なお、集計・分析のために登録する本情報は無記名であり、個人を特定するものではありません。

◆ 本調査により得られた結果につきましては、以下の方法で公開することを予定しています。
公開方法：市ホームページ、市政情報センター
公開時期：令和2年5月以降(予定)

あて名のご本人について

問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。
(令和2年1月1日現在でお答えください)

年 齢	<input type="checkbox"/> 65～69 歳	<input type="checkbox"/> 75～79 歳	<input type="checkbox"/> 85～89 歳
	<input type="checkbox"/> 70～74 歳	<input type="checkbox"/> 80～84 歳	<input type="checkbox"/> 90 歳以上
性 別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	

問2. お住まいの地区についてお答えください。

<input type="checkbox"/> 所沢地区	(宮本町、西所沢、金山町、喜多町、有楽町、北有楽町、日吉町、東町、寿町、元町、御幸町、旭町、星の宮、くすのき台1～2丁目)
<input type="checkbox"/> 松井東地区	(下安松、松郷、東所沢和田)
<input type="checkbox"/> 松井西地区	(上安松、牛沼、東新井町、西新井町)
<input type="checkbox"/> 柳瀬地区	(東所沢、本郷、南永井、日比田、亀ヶ谷、城、坂之下、新郷)
<input type="checkbox"/> 高岡地区	(北中、岩岡町、北岩岡、所沢新町、中富、中富南、下富、神米金)
<input type="checkbox"/> 新所沢地区	(緑町、櫻町、泉町、青葉台、けやき台、向陽町)
<input type="checkbox"/> 新所沢東地区	(松葉町、弥生町、美原町、北所沢町、花園)
<input type="checkbox"/> 三ヶ島第1地区	(三ヶ島、堀之内、菟谷、林、和ヶ原、西狭山ヶ丘)
<input type="checkbox"/> 三ヶ島第2地区	(東狭山ヶ丘、狭山ヶ丘、若狭)
<input type="checkbox"/> 小手指第1地区	(上新井、北野、北野新町、北野南、小手指南、小手指元町、小手指5丁目、小手指台)
<input type="checkbox"/> 小手指第2地区	(小手指町1～4丁目)
<input type="checkbox"/> 山口地区	(山口、上山口)
<input type="checkbox"/> 吾妻地区	(東住吉、西住吉、南住吉、久米、北秋津、松が丘、荒幡、くすのき台3丁目)
<input type="checkbox"/> 並木地区	(並木、若松町、こぶし町、北原町、中新井、下新井)

◆あなたのご家族や生活状況について

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 1人暮らし	→問3-1△	<input type="checkbox"/> 息子・娘との2世帯	→問4△
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	→問4△	<input type="checkbox"/> その他	→問4△
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	→問4△	()	

問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方にお答えください。】

市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> はい	→問3-2△	<input type="checkbox"/> いいえ	→問4△
-----------------------------	--------	------------------------------	------

問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方にお答えください。】

それはどなたですか。(あてはまるものすべてに回答)

<input type="checkbox"/> 配偶者 (夫・妻)	<input type="checkbox"/> 孫・ひ孫
<input type="checkbox"/> 息子	<input type="checkbox"/> あなたや配偶者の兄弟・姉妹
<input type="checkbox"/> 娘	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 子の配偶者	

問4. あなたは、普段の生活でとれたかの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 介護・介助は必要ない	} 問5△
<input type="checkbox"/> 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	
<input type="checkbox"/> 現在、何らかの介護を受けている	

問4-1. 【問4で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方にお答えください。】

介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

<input type="checkbox"/> 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等)	<input type="checkbox"/> 腎疾患 (透析)
<input type="checkbox"/> 心臓病	<input type="checkbox"/> 視覚・聴覚障害
<input type="checkbox"/> がん (悪性新生物)	<input type="checkbox"/> 骨折・転倒
<input type="checkbox"/> 呼吸器の病気 (肺炎腫・肺炎等)	<input type="checkbox"/> 脊椎損傷
<input type="checkbox"/> 関節の病気 (リウマチ等)	<input type="checkbox"/> 高齢による衰弱
<input type="checkbox"/> 認知症 (アルツハイマー病等)	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> パーキンソン病	<input type="checkbox"/> 不明
<input type="checkbox"/> 糖尿病	

問4-2. 【問4で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
主にご自分の介護を受けていますか。(回答は1つ)

- 配偶者(夫・妻) 子の配偶者 介護サービスのヘルパー
 息子 孫 その他
 娘 ()
 兄弟・姉妹

問5. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ)

- 大変苦しい ややゆとりがある
 やや苦しい 大変ゆとりがある
 ふつう

問6. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ)

- 持家(一戸建て) 民間賃貸住宅(集合住宅)
 持家(集合住宅) 借間
 公営賃貸住宅 その他()
 民間賃貸住宅(一戸建て)

※UR賃貸住宅は「民間賃貸住宅(集合住宅)」を選択してください。

【本人用紙おむつの利用状況についておたずねします。】

問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

- 現在、紙おむつは利用していない
 念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)
 寝ている間だけ、使用している
 寝たきり状態であり、常時使用している
 昼間と夜間を使い分けて、常時使用している
 その他()

◆からだを動かすことについて

問8. 階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるだけしていない できない

問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるだけしていない できない

問10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるだけしていない できない

問11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ)

- 何度もある 1度ある ない

問12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ)

- とても不安である あまり不安でない
 やや不安である 不安でない

問13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ)

- ほとんど外出しない →問14△ 週2~4回 →問13-1△
 週1回 →問13-1△ 週5回以上 →問13-1△

問13-1. 【問13で「週1回」「週2~4回」「週5回以上」と回答した方におたずねします。】
外出をする際の主な行き先は、次のどれですか。(回答は3つまで)

- 買い物をする場所 行楽地、観光地
 会合・サークル活動・学習のための施設 スポーツ施設
 体操等、地域の通いの場 宗教的な施設・場所
 病院、診療所 農園
 飲食店 職場
 公園、遊歩道 入浴施設
 家族・親戚や友人・知人の家 その他()
 文化・娯楽施設

問14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ)

- とても減っている あまり減っていない
 減っている 減っていない

問15. 外出を控えていますか。(回答は1つ)

- はい →問15-1△ いいえ →問16△

問 15-1. 【問 15 で「はい」と回答した方におたずねします。】

外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 病氣
- 障害 (脳卒中の後遺症など)
- 足腰などの痛み
- トイレの心配 (失禁など)
- 耳の障害(聞こえの問題など)
- 目の障害
- 外での楽しみがない
- 経済的に出られない
- 交通手段がない
- その他 ()

問 16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 徒歩
- 自転車
- バイク
- 自動車 (自分で運転)
- 自動車 (人に乗せてもらう)
- 電車
- 路線バス
- 病院や施設のバス
- 車いす
- 電動車いす (カート)
- 歩行器・シルバーカー
- タクシー
- その他 ()

◆食べることについて

問 17. 身長・体重を記入してください。

身長: _____ cm 体重: _____ kg

問 18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(回答は1つ)

- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問 20. どなたかと食事をとる機会がありますか。(回答は1つ)

- 毎日ある
- 月に何度かある
- 年に何度かある
- ほとんどない
- 月に何度かある
- 年に何度かある

◆毎日の生活について

問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可)(回答は1つ)

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している
- できるけどしていない
- できない

問 27. 年金などの書類(役所や病院などに出す書類)が書けますか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 28. 新聞を読んでいますか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 29. 本や雑誌を読んでいますか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 30. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 31. 友人の家を訪ねていますか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問32. 家族や友人の相談にのっていますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問33. 病人を見舞うことができますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問34. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問35. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 税金の支払いや公共機関の手続き
- 洗濯
- 財産やお金の管理
- 食事の準備
- 近くに買い物をする場所がない
- 外出の際の移動手段
- 買い物に行くのが困難(行けない)
- 電化製品の扱い方
- 日々のゴミ出し
- ペットの世話
- 日常の力仕事(家具の移動等)
- その他()
- 庭の手入れ
- 特に困っていることはない
- 掃除

問36. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

- 経済的なこと
- 近所との付き合い
- お金の管理のこと
- 将来、一人で生活することになったときのこと
- 自分の健康に関すること
- 何かあったときにどこへ相談していいかわからない
- 自分が認知症になること
- 住まいに関すること
- 家族の健康に関すること
- その他()
- 家族が認知症になること
- 特に心配していることはない
- 家族との不和

◆地域の活動について

問37. 以下のような会・グループ等にとのくらの頻度で参加していますか。

※①から⑧それぞれに回答してください。

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回	月1 ~3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループや クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場 (トコロん元氣百歳体操、 お遊者倶楽部など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 長生クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 町内会・自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問38. あなたが、今後、希望する社会参加(すでに参加しているものを除く)をお答えください。
(あてはまるものすべてに回答)

- ボランティアのグループ
- 長生クラブ
- スポーツ関係のグループやクラブ
- 町内会・自治会
- 趣味関係のグループ
- 収入のある仕事
- 学習・教養サークル
- 特に何もしたくない →問38-1△
- 介護予防のための通いの場
(トコロん元氣百歳体操、お遊者倶楽部など)

問38-1. 【問38で「特に何もしたくない」と回答した方にお応えします。】

その理由は何か。(あてはまるものすべてに回答)

- 各活動の情報が無い
- 個人的な活動が忙しいため
- 魅力的な活動が無い
- 自身の身体機能が低下しているため

◆**たすけあい**について (あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

問 44. あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問 45. 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問 46. あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問 47. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問 39. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。(回答は1つ)

是非参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問 40. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思えますか。(回答は1つ)

是非参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問 41. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

お互いに緊密なかわりを持ち、支えあえる関係をもちたい
 いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかわりをもっておきたい
 お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいをしたい
 かわわりあいをもちたないで、自分なりに生活していきたい

問 42. あなたがお住まいになられている地域において、手助け等が必要な高齢者に対して、どのようなボランティア活動ができますか。(あてはまるものすべてに回答)

ゴミ出し 高齢者宅の補木の剪定や草刈り等
 話し相手 買い物や通院等の外出時の付き添い
 声かけ(みまもり活動) 特になし
 家事の手伝い(掃除、料理等) その他()

問 43. 現在、介護の現場では介護人材の確保が課題となっています。介護の現場で、あなたの生活状況に応じた働き方ができるとしたら、どのように思えますか。(回答は1つ)

すでに働いている →問 44△
 資格を取得し本格的に働いてみたい ※1 →問 43-1△
 資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい ※2 →問 43-1△
 働きたくない →問 44△

※1 資格を取得した場合の仕事の例：入浴、排せつ、食事などの身体介護
 ※2 資格を取得しない場合の仕事の例：調理や洗濯、掃除などの家事援助

問 43-1. 【問 43 で「資格を取得し本格的に働いてみたい」、「資格は取得せず、簡単な研修を受講し気軽に働いてみたい」と回答した方におたずねします。】
 どのような現場で働いてみたいですか。(回答は1つ)

老人ホームなどの入所施設 ホームヘルパー
 ティサービスなどの通所施設

◆健康について

問48. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ)

- とてもよい まあよい あまりよくない よくない

問49. 過去1年間に健診(健康診断や健康診査)、人間ドックを受けましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問50. あなたは、現在のどの程度幸せですか。

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、回答してください。

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問51. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問52. この1か月間、どうしても物事にに対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問53. タバコは吸っていますか。(回答は1つ)

- ほぼ毎日吸っている 吸っていたがやめた
 時々吸っている もともと吸っていない

問54. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- ない 外傷(転倒・骨折等)
 高血圧 がん(悪性新生物)
 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 血液・免疫の病気
 心臓病 うつ病
 糖尿病 認知症(アルツハイマー病等)
 高脂血症(脂質異常) パーキンソン病
 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 目の病気
 胃腸・肝臓・胆のうの病気 耳の病気
 腎臓・前立腺の病気 その他()
 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)

【かかりつけの医療機関についておたずねします。】

問55. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

項目	はい	いいえ
①かかりつけの医師はいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②かかりつけの歯科医はいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③かかりつけの薬局はありますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問56. あなた自身が介護を必要とする状態となった場合に、どのようにしたいですか。(回答は1つ)

- 自宅で家族の介護を中心に受けながら生活したい
 自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら生活したい
 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所したい
 安否確認や生活相談等のサービスが付いた高齢者向けの住まいに入居したい
 病院等の医療機関に入院したい
 わからない

◆介護予防・認知症施策について

問 60. 寝たきりや認知症など、介護を必要とする状態にならないよう、介護予防に取り組んでいますか。(あてはまるものすべてに回答)

意識して取り組んでいる →問 60-1 △
 きっかけがあれば取り組みたい(きっかけ)
 体力が落ちてきたら取り組みたい
 もう少し歳をとってから取り組みたい
 興味があるが、具体的な取り組み方がわからない
 興味・関心がない
 その他()

問 60-1. 【問 60 で「意識して取り組んでいる」と回答した方におたずねします。】
 介護予防として、どのようなことに取り組んでいますか。また、取り組んでいる項目について、意識して取り組み始めた年齢をご記入ください。
 (あてはまるものすべてに回答、該当する口内に数字をご記入ください)

取り組みしている項目	取り組み始めた年齢
<input type="checkbox"/> ウォーキングや体操(ストレッチ)など、定期的な体を動かしている	<input type="text"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている	<input type="text"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 口の中の健康を保つよう心がけている	<input type="text"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 人と話すようにしている	<input type="text"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="text"/> 歳頃から

問 61. 介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思いますか。(回答は1つ)

徒歩・自転車で10分以内
 徒歩・自転車で30分以内
 徒歩・自転車で1時間以内
 交通機関(自家用車・バス・電車等)を利用して10分以内
 交通機関(自家用車・バス・電車等)を利用して30分以内
 交通機関(自家用車・バス・電車等)を利用して1時間以内
 移動時間はどれだけかかっても参加したい
 参加したくない

問 57. ご家族が介護を必要とする状態になった場合に、どのようにしたいですか。(回答は1つ)

自宅で家族介護を中心に介護したい
 自宅で介護保険等の公的サービスを利用しながら介護したい
 特別養護老人ホームなどの介護施設に入所させたい
 安否確認や生活相談等のサービスが付いた高齢者向けの住まいに入居させたい
 病院等の医療機関に入院させたい
 わからない

問 58. あなたは、終末期(治療や回復の見込みのない状態となった場合)をどこで過ごしたいと思いますか。(回答は1つ)

自宅
 医療機関(病院や診療所)
 特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設
 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
 その他()
 わからない

問 59. 終末期の在宅での生活について、どのようなことに不安を感じますか。
 (あてはまるものすべてに回答)

自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配
 医師の訪問診療や往診を受けられるか心配
 急要などがあつた場合の対応体制が心配
 経済的な負担が心配
 家族の介護等の負担が心配
 その他()
 特に不安は感じない

問 62. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)

項 目	知っている	知らない
① 自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 認知症の方が入所する介護施設があること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 消費者被害に関する相談窓口があること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 「成年後見制度」 認知症等により判断能力が十分でない方に代わって、法的に権限が与えられた代理人(成年後見人等)が財産管理や身上保護を行う制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 「みんなのカフェ(認知症カフェ)」 認知症の方や家族、地域の方などが集まるカフェ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 「認知症サポーター」 講座を通じて認知症についての正しい知識やつきあい方を理解し、自分でできる範囲で認知症の方や家族を応援するもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨ 「GPSの貸出」 行方不明となった高齢者をGPSと携帯電話の通信網を活用して早期に発見する事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩ 「もの忘れ相談医」 地域の専門外の医師である「かかりつけ医」も認知症患者の診療を行い、専門医療機関につなげることで早期発見、早期治療を進める取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 63. あなたは、認知症サポーター養成講座を受けてみたいと思いますか。(回答は1つ)

既に受けたことがある 特に受けてみたいとは思わない

受けてみたい わからない

問 64. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいいますか。
(回答は1つ)

はい いいえ

問 65. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ)

はい いいえ

※認知症に関する相談は、医療機関や地域包括支援センター等へご相談ください。

◆市の施策・事業、介護保険制度について

問 66. 高齢者の総合相談窓口である「地域包括支援センター」をご存知ですか。(回答は1つ)

相談や介護予防教室などでセンターを利用したことがある

センターを利用したことはないが、事業内容を知っている

事業内容は知らないが、センターがあることは知っている

センターがあることを知らない

問 67. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。
あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

知っている 知らない

問 68. 健康や福祉について心配になったときの主な相談先はありますか。(回答は1つ)

はい いいえ

問 69. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合は、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

個室(他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ)

多床室(個室に比べて安価で、2人～4人の方が個室のタイプ)

問 70. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合は、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

個室(他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ)

多床室(個室に比べて安価で、2人～4人の方が個室のタイプ)

問 71. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

- 第1段階 (年額 22,300円)
- 第2段階 (年額 31,300円)
- 第3段階 (年額 43,200円)
- 第4段階 (年額 52,500円)
- 第5段階 (年額 59,600円)
- 第6段階 (年額 68,600円)
- 第7段階 (年額 74,500円)
- 第8段階 (年額 89,500円)
- 第9段階 (年額 101,400円)
- 第10段階 (年額 110,400円)
- 第11段階 (年額 116,300円)
- 第12段階 (年額 122,300円)
- 第13段階 (年額 128,300円)
- わからない

問 72. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

- 負担とは感じない
- それほど負担とは感じない
- 多少負担を感じる
- 負担と感ずる
- どちらともいえない
- わからない

問 73. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

- 介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方がよい
- 介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方がよい
- どちらともいえない

問 74. 介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

項目	はい	いいえ	どちらとも いえない
①介護保険の仕組みを知っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②要介護の状態によって、さまざまなサービスを利用できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 75. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者(介護度の軽い) 要支援1・2及び要介護1の方に ついては支給要件の厳格化を行いましたが、紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国庫等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(回答は1つ)

- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい (軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない)
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い

問 76. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用してしている住民非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後この助成金制度が必要だと思いますか。(回答は1つ)

- 今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う →P19△
- 助成金制度の見直しを行う必要があると思う →問 76-1△
- 税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う →P19△
- その他 () →P19△

問 76-1. 【問76で「助成金制度の見直しを行う必要がある」と思う」と回答した方にのみお答えします。

- どのような観点から見直しが必要だと思いますか。(回答は1つ)
- 対象者(住民非課税世帯)をさらに限定したほうがよい
 - 対象となるサービス限定したほうがよい(現在：介護保険のすべてのサービスが対象)
 - 一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい(現在：負担額の要件はなし)

あて名のご本人について

問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。
(令和2年1月1日現在でお答えください)

年 齢	<input type="checkbox"/> 65～69 歳	<input type="checkbox"/> 75～79 歳	<input type="checkbox"/> 85～89 歳
	<input type="checkbox"/> 70～74 歳	<input type="checkbox"/> 80～84 歳	<input type="checkbox"/> 90 歳以上
性 別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	
要介護度	<input type="checkbox"/> 要支援1	<input type="checkbox"/> 要支援2	<input type="checkbox"/> その他 ()

問2. お住まいの地区についてお答えください。

<input type="checkbox"/> 所沢地区	(宮本町、西所沢、金山町、喜多町、有楽町、北有楽町、日吉町、東町、寿町、元町、御幸町、旭町、星の宮、くすのき台1～2丁目)
<input type="checkbox"/> 松井東地区	(下安松、松郷、東所沢和田)
<input type="checkbox"/> 松井西地区	(上安松、牛沼、東新井町、西新井町)
<input type="checkbox"/> 柳瀬地区	(東所沢、本郷、南永井、日比田、亀ヶ谷、城、坂之下、新郷)
<input type="checkbox"/> 雷岡地区	(北中、岩岡町、北岩岡、所沢新町、中富、中富南、下富、神米金)
<input type="checkbox"/> 新所沢地区	(緑町、櫻町、泉町、青葉台、けやき台、向陽町)
<input type="checkbox"/> 新所沢東地区	(松葉町、弥生町、美原町、北所沢町、花園)
<input type="checkbox"/> 三ヶ島第1地区	(三ヶ島、堀之内、糞谷、林、和ヶ原、西狭山ヶ丘)
<input type="checkbox"/> 三ヶ島第2地区	(東狭山ヶ丘、狭山ヶ丘、若狭)
<input type="checkbox"/> 小手指第1地区	(上新井、北野、北野新町、北野南、小手指南、小手指元町、小手指5丁目、小手指台)
<input type="checkbox"/> 小手指第2地区	(小手指1～4丁目)
<input type="checkbox"/> 山口地区	(山口、上山口)
<input type="checkbox"/> 吾妻地区	(東住吉、西住吉、南住吉、久米、北秋津、松が丘、荒幡、くすのき台3丁目)
<input type="checkbox"/> 並木地区	(並木、若松町、こぶし町、北原町、中新井、下新井)

◆あなたのご家族や生活状況について

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 1人暮らし	→問3-1△	<input type="checkbox"/> 息子・娘との2世帯	→問4△
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	→問4△	<input type="checkbox"/> その他	→問4△
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	→問4△	()	

問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> はい	→問3-2△	<input type="checkbox"/> いいえ	→問4△
-----------------------------	--------	------------------------------	------

問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】

それはどなたですか。(あてはまるものすべてに回答)

<input type="checkbox"/> 配偶者 (夫・妻)	<input type="checkbox"/> 孫・ひ孫
<input type="checkbox"/> 息子	<input type="checkbox"/> あなたや配偶者の兄弟・姉妹
<input type="checkbox"/> 娘	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 子の配偶者	

問4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 持家 (一戸建て)	<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅 (集合住宅)
<input type="checkbox"/> 持家 (集合住宅)	<input type="checkbox"/> 借間
<input type="checkbox"/> 公営賃貸住宅	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅 (一戸建て)	

※UR賃貸住宅は「民間賃貸住宅(集合住宅)」を選択してください。

問5. あなたは、普段の生活でとなりの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 介護・介助は必要ない	→問5-1△
<input type="checkbox"/> 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	→問5-2△
<input type="checkbox"/> 現在、何らかの介護を受けている	→問5-3～問5-6△ (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問5-1. 【問5で「介護・介助は必要ない」と回答した方におたずねします。】
要介護認定の申請をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 介護・介助は必要ない方が一のため申請した
- 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため申請した
- 以前は介護・介助が必要だったため申請した
- 親族等、周囲に勧められたため申請した
- その他 ()

問5-2. 【問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」と回答した方におたずねします。】
介護保険サービスを利用されていない理由は何か。(あてはまるものすべてに回答)

- 利用したいサービスがない
- 以前、利用していたサービスに不満があった
- 利用料を支払うのが難しい
- 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
- その他 ()

問5-3. 【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
主にご自分の介護を受けていますか。(回答は1つ)

- 配偶者(夫・妻) 子の配偶者 介護サービスのヘルパー
- 息子 孫 その他
- 娘 兄弟・姉妹 ()

問5-4. 【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください。
(あてはまるものすべてに回答)

- 日中の排泄 服薬
- 夜間の排泄 認知症への対応
- 食事の介助(食べる時) 医薬面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 入浴・洗身 食事の準備(調理等)
- 身だしなみ(洗顔・歯磨き等) その他の家事(掃除、洗濯、洗い物等)
- 衣服の着脱 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- 屋内の移乗・移動 その他 ()
- 外出の付き添い、送迎等 わからない

問5-5. 【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 腎疾患(透析)
- 心臓病 視覚・聴覚障害
- がん(悪性新生物) 骨折・転倒
- 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等) 脊椎損傷
- 関節の病気(リウマチ等) 高齢による衰弱
- 認知症(アルツハイマー病等) その他 ()
- パーキンソン病 不明
- 糖尿病

問5-6. 【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(回答は1つ)

- ない 週に3~4日ある
- たまにある(月に数回) ほぼ毎日ある
- 週に1~2日ある

問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ)

- 大変苦しい ややゆとりがある
- やや苦しい 大変ゆとりがある
- かつう

【大人用紙おむつの利用状況についておたずねします。】

問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

- 現在、紙おむつは利用していない
- 念のため、使用している(間に合わない時や外出時)
- 寝ている間だけ、使用している
- 寝たきり状態であり、常時使用している
- 昼用と夜用を使い分けて、常時使用している
- その他 ()

◆からだを動かすことについて

問8. 階段を手すりや壁をつたわらずに昇っていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ)

- 何度もある 1度ある ない

問12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ)

- とても不安である あまり不安でない
- やや不安である 不安でない

問13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ)

- ほとんど外出しない →問14△ 週2～4回 →問13-1△
- 週1回 →問13-1△ 週5回以上 →問13-1△

問13-1. [問13で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。]

外出をする際の主な行先は次のどちらですか。(回答は3つまで)

- 買い物をする場所 行楽地、観光地
- 会合・サークル活動・学習のための施設 スポーツ施設
- 体操等、地域の通いの場 宗教的な施設・場所
- 病院、診療所 農園
- 飲食店 職場
- 公園、遊歩道 入浴施設
- 家族・親戚や友人・知人の家 デイサービスなどの通所施設
- 文化・娯楽施設 その他()

問14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ)

- とても減っている あまり減っていない
- 減っている 減っていない

問15. 外出を控えていますか。(回答は1つ)

- はい →問15-1△ いいえ →問16△

問15-1. [問15で「はい」と回答した方におたずねします。]

外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 病气 目の障害
- 障害 (脳卒中の後遺症など) 外での楽しみがない
- 足腰などの痛み 経済的に出られない
- トイレの心配 (失禁など) 交通手段がない
- 耳の障害(聞こえの問題など) その他()

問16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 徒歩 病院や施設のバス
- 自転車 車いす
- バイク 電動車いす(カート)
- 自動車(自分で運転) 歩行者・シルバーカー
- 自動車(人に乗せてもらう) タクシー
- 電車 その他()
- 路線バス

◆食べることについて

問17. 身長・体重を記入してください。

身長: _____ cm 体重: _____ kg

問18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えください。

(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)(回答は1つ)

- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問 20. どなたかと食事をとる機会がありますか。(回答は1つ)

- 毎日ある 月に何度かある ほとんどない
- 週に何度かある 年に何度かある

◆毎日の生活について

問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可)(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 27. 年金などの書類(住所や病院など)に出す書類が書けますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 28. 新聞を読んでいますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 29. 本や雑誌を読んでいますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 30. 健康についての記事や番組に関心がありますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 31. 友人の家を訪ねていますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 32. 家族や友人の相談のついでにしていますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 33. 病人を見舞うことができますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 34. 若い人に自分から話しかけることがありますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 35. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 税金の支払いや公共機関の手続き 洗濯
- 財産やお金の管理 食事の準備
- 近くに買い物をする場所がない 外出の際の移動手段
- 買い物に行くのが困難(行けない) 電化製品の扱い方
- 日々のゴミ出し ペットの世話
- 日常の力仕事(家具の移動等) その他()
- 庭の手入れ 特に困っていることはない
- 掃除

問36. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

- 経済的なこと
- お金の管理のこと
- 将来、一人で生活することになったときのこと
- 自分の健康に関すること
- 何かあったときにどこへ相談していいかわからない
- 自分が認知症になること
- 住まいに関すること
- 家族の健康に関すること
- その他()
- 家族が認知症になること
- 特に心配していることはない
- 家族との不和

◆地域の活動について

問37. 以下のような会・グループ等にとどのくらいの頻度で参加していますか。

※①から⑧それぞれに回答してください。

	週4回以上		週2回～3回		週1回		月に1～3回		年に数回		参加していない	
	週4回以上	週2回～3回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回	週1回
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループやクラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場 (トコロろ元氣百歳体操、お通者倶楽部など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 長生クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 町内会・自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問38. あなたが、今後、希望する社会参加(すでに参加しているものを除く)をお答えください。
(あてはまるものすべてに回答)

- | | | | |
|--|----------------------------------|---|------|
| <input type="checkbox"/> ボランティアのグループ | <input type="checkbox"/> 長生クラブ | } | 問39△ |
| <input type="checkbox"/> スポーツ関係のグループやクラブ | <input type="checkbox"/> 町内会・自治会 | | |
| <input type="checkbox"/> 趣味関係のグループ | <input type="checkbox"/> 収入のある仕事 | } | 問39△ |
| <input type="checkbox"/> 学習・教養サークル | <input type="checkbox"/> 特になし | | |
| <input type="checkbox"/> 介護予防のための通いの場
(トコロろ元氣百歳体操、お通者倶楽部など) | <input type="checkbox"/> 特になし | | |

問38-1. 【問38で「特になし」と回答した方におたずねします。】

その理由は何かですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 各活動の情報が無い
- 個人的な活動が忙しいため
- 魅力的な活動が無い
- 自身の身体機能が低下しているため

問39. 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思えますか。(回答は1つ)

- 是非参加したい
- 参加してもよい
- 参加したくない
- 既に参加している

問40. 地域住民の有志によって、健康づくりの活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思えますか。(回答は1つ)

- 是非参加したい
- 参加してもよい
- 参加したくない
- 既に参加している

問41. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

- お互いに緊密なかかわりを持ち、支えあえる関係をもちたい
- いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい
- お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいをしたい
- かかわりあいをもちたないで、自分なりに生活していきたい

問42. あなたがお住まいになられている地域において、手助け等が必要な高齢者に対して、どのようなボランティア活動ができますか。(あてはまるものすべてに回答)

- ゴミ出し
- 話し相手
- 声かけ(みまもり活動)
- 家事の手伝い(掃除、料理等)
- 高齢者宅の植木の剪定や草刈り等
- 買い物や通院等の外出時の付き添い
- 特になし
- その他()

◆健康について

問 47. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ)

- とてもよい まあよい あまりよくない よくない

問 48. あなたは、現在のどの程度幸せですか。
※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、回答してください。

とても不幸	0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 49. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 50. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 51. タバコは吸っていますか。(回答は1つ)

- ほほ毎日吸っている 吸っていたがやめた
 時々吸っている もともと吸っていない

◆たすけあいについて (あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

問 43. あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、どのような人ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人ははいない

問 44. 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、どのような人ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人ははいない

問 45. あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人ははいない

問 46. 反対に、あなたが看病や世話をしてあげる人は、どのような人ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
 同居の子ども 友人
 別居の子ども その他()
 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人ははいない

問52. 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- ない
- 外傷(転倒・骨折等)
- 高血圧
- がん(悪性新生物)
- 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 血液・免疫の病気
- 心臓病
- うつ病
- 糖尿病
- 認知症(アルツハイマー病等)
- 高脂血症(脂質異常)
- パーキンソン病
- 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等)
- 目の病気
- 胃腸・肝臓・胆のうの病気
- 耳の病気
- 腎臓・前立腺の病気
- その他()
- 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)

問53. 現在、訪問診療を利用していますか。(回答は1つ)

- 利用している
- 利用していない

【かかりつけの医療機関についておたずねします。】

問54. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

項目	はい	いいえ
①かかりつけの医師はいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②かかりつけの歯科医はいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③かかりつけの薬局はありますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問55. あなたは、終末期(治療や回復の見込みのない状態となった場合)をどこで過ごしたいと願いますか。(回答は1つ)

- 自宅
- 医療機関(病院や診療所)
- 特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設
- 有料老人ホームやサームサービス付き高齢者向け住宅
- その他()
- わからない

問56. 終末期について、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配
- 医師の訪問診療や往診を受けられるか心配
- 急変などがあった場合の対応体制が心配
- 経済的な負担が心配
- 家族の介護等の負担が心配
- その他()
- 特に不安は感じない

◆介護予防・認知症施策について

問57. 介護保険サービス以外で、介護予防としての取り組みに取組んでいますか。また、取り組んでいる項目について、意識して取り組始めた年齢をご記入ください。(あてはまるものすべてに回答、該当する口内に数字をご記入ください)

取り組んでいる項目	取り組み始めた年齢
<input type="checkbox"/> ウォーキングや体操(ストレッチ)など、定期的な体を動かしている	<input type="checkbox"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 食事の回数や量、栄養バランスに気をつけている	<input type="checkbox"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 口の中の健康を保つよう心がけている	<input type="checkbox"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 人と話すようにしている	<input type="checkbox"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> その他()	<input type="checkbox"/> 歳頃から
<input type="checkbox"/> 取り組んでいない	

問 58. 介護予防や健康づくりに関する活動について、自宅からどの程度の移動時間であれば参加したいと思いますか。(回答は1つ)

- 徒歩・自転車ですら10分以内
- 徒歩・自転車ですら30分以内
- 徒歩・自転車ですら1時間以内
- 交通機関(自家用車・バス・電車等)を利用して10分以内
- 交通機関(自家用車・バス・電車等)を利用して30分以内
- 交通機関(自家用車・バス・電車等)を利用して1時間以内
- 移動時間はどれだけかかっても参加したい
- 参加したくない

問 59. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

項目	知っている	知らない
①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③認知症の方が入所する介護施設があること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤消費者被害に関する相談窓口があること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥「成年後見制度」 認知症等により判断能力が十分でない方に代わって、法的に権限を与えられた代理人(成年後見人等)が財産管理や身上保護を行う制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦「みんなのカフェ(認知症カフェ)」 認知症の方や家族、地域の方などが集まるカフェ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧「認知症サポーター」 講座を通じて認知症についての正しい知識やつきあい方を理解し、自分でできる範囲で認知症の方や家族を応援するもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨「GPSの貸出」 行方不明となった高齢者をGPSと携帯電話の通信網を活用して早期に発見する事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩「もの忘れ相談医」 地域の専門外の医師である「かかりつけ医」も認知症患者の診療を行い、専門医療機関につなげることで早期発見、早期治療を進める取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 60. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいませんか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

問 61. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ)

- はい
- いいえ

※認知症に関する相談は、医療機関や地域包括支援センター等へご相談ください。

◆市の施策・事業、介護保険制度について

問 62. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 知らない

問 63. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてお答えください。(回答は1つ)

- 入所・入居は検討していない
- 入所・入居を検討している
- すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 64. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合は、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

- 個室(他者と顔を合わせることが出来る居間等の共有空間があるタイプ)
- 多床室(個室に比べて安価で、2人～4人の方が個室のタイプ)

問 65. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合は、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

- 個室(他者と顔を合わせることが出来る居間等の共有空間があるタイプ)
- 多床室(個室に比べて安価で、2人～4人の方が個室のタイプ)

問 66. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

- 第1段階 (年額 22,300円)
- 第2段階 (年額 31,300円)
- 第3段階 (年額 43,200円)
- 第4段階 (年額 52,500円)
- 第5段階 (年額 59,600円)
- 第6段階 (年額 68,600円)
- 第7段階 (年額 74,500円)
- 第8段階 (年額 89,500円)
- 第9段階 (年額 101,400円)
- 第10段階 (年額 110,400円)
- 第11段階 (年額 116,300円)
- 第12段階 (年額 122,300円)
- 第13段階 (年額 128,300円)
- わからない

問 67. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

- 負担とは感じない
- 負担と感ずる
- それほど負担とは感じない
- どちらともいえない
- 多少負担を感じる
- わからない

問 68. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。

介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。

介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

- 介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方がよい
- 介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方がよい
- どちらともいえない

問 69. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(あてはまるものすべてに回答)

- 配食
- 調理
- 掃除・洗濯
- 買い物 (宅配は含まない)
- 外出同行 (通院、買い物など)
- ゴミ出し
- 見守り、声かけ
- サロンなどの定期的な通いの場
- 移送サービス (介護、福祉タクシー等)
- その他 ()
- 利用していない

問 70. 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス (現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む) についてお答えください。(回答は3つまで)

- 配食
- 調理
- 掃除・洗濯
- 買い物 (宅配は含まない)
- 外出同行 (通院、買い物など)
- ゴミ出し
- 見守り、声かけ
- サロンなどの定期的な通いの場
- 移送サービス (介護、福祉タクシー等)
- その他 ()
- 特になし

問 71. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者(介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方)については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(回答は1つ)

- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい (軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない)
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみ限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い

問 72. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用している住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後もこの助成金制度が必要だと感じますか。(回答は1つ)

- 今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う →P19△
- 助成金制度の見直しを行う必要があると思う →問72-1△
- 税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う →P19△
- その他 () →P19△

問 72-1. 【問72で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】

どのような観点から見直しが必要だと思いますか。(回答は1つ)

- 対象者 (住民税非課税世帯) をさらに限定したほうがよい
- 対象となるサービスを限定したほうがよい (現在：介護保険のすべてのサービスが対象)
- 一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい (現在：負担額の要件はなし)

◆主に介護している方の生活状況について

問5. 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 困ったときにどこに相談していいかわからない
- 悩みなどを話し合える仲間や相談先がない
- 身体的な負担や疲れが大きい
- 精神的な負担が大きい(悩みなどを人に話せない、言動が気になり目が離せないなど)
- 自分に対し周囲の理解が得られない
- 自分の自由になる時間がもてない
- 自分の具合が悪いときに手助けがない
- 先の見通しが立たない
- 介護を受けている方が病院の受診に同意しない
- 専門的医療機関が見つからない
- 介護サービスや介護施設の利用に抵抗を感じてしまう
- 経済的な負担が増えた
- その他 ()
- 特に困っていることはない

問6. あなたは、介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 家族・親族
- 友人・知人
- 近所の人、ボランティアの人等
- 介護が必要な本人
- ケアマネジャー
- 地域包括支援センター職員
- 市役所
- 保健所
- 介護サービス事業者
- 医師
- 病院のソーシャルワーカー
- 民生委員
- 勤務先
- その他 ()
- 誰にも相談していない

問7. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

- 経済的なこと
- お金の管理のこと
- 自分が体の健康を害すること
- 自分が認知症等になること
- 介護を受けている方の状態が悪くなること
- 介護を受けている方以外の家族が健康を害すること
- 家族との不和
- 近隣との付き合い
- その他 ()

問8. 現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護等についてお答えください。(回答は3つまで)

- 屋内の移乗・移動
- 外出の付き添い、送迎等
- 入浴・洗身
- 日中の排泄
- 夜間の排泄
- 食事の準備(調理等)
- 食事の介助(食べる時)
- 服薬
- 認知症状への対応
- 衣服の着脱
- 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
- その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
- 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- その他 ()
- 不安に感じていることは、特にならない
- わからない

問9. あなたが感じている介護の負担感ほどの程度ですか。(回答は1つ)

- かなり負担である
- やや負担である
- それほど負担ではない
- 負担ではない →問10へ

問9-1. 【問9で「かなり負担である」、「やや負担である」、「それほど負担ではない」と回答した方におたずねします。】

介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 介護の勉強会などに参加している
- 介護保険サービスを利用している
- 家族会などに参加し、介護者同士で悩み等を共有している
- 家族や友人に相談している
- 地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している
- 自分の趣味などでストレスを解消している
- 負担を軽減する方法がない
- その他 ()

問10. 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思いますか。(回答は3つまで)

- 夜間対応型の訪問介護サービス
- 在宅医療サービス (訪問診療・訪問看護等) の充実
- 受け入れ施設の整備
- 介護者同士の集まりの場
- 介護者への手当の支給
- 徘徊高齢者の早期保護、安全確保支援
- 介護者の健康増進のための事業 (健康相談、はり・きゅう・マッサージ等)
- 介護者の家事支援
- その他 ()

問11. 家族会など(介護者の集いや認知症カフェなど)、同じ立場の人たちの集まりに参加したいと思いますか。(回答は1つ)

- 参加したいと思う →問11-1△
- 参加したいと思わない →問11-2△

問11-1. 【問11で「参加したいと思う」と回答した方におたずねします。】
参加したいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 同じ境遇にある方との接点が欲しいから
- 気晴らしになると思うから
- 日頃思っていることを自由に話せると思うから
- 介護に関する知識が得られると思うから
- その他 ()

問11-2. 【問11で「参加したいと思わない」と回答した方におたずねします。】
どのような会であれば参加したいと思えますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 介護に関する知識等が得られる会
- 行きやすい場所にある会 (場所がたくさんある)
- 参加しやすい時間帯に開催している会 (参加しやすい時間帯: _____ 時ごろ)
- 市の広報などで周知されている会
- 介護されている人と一緒に参加できる会
- プライバシーに配慮している会
- その他 ()

◆介護保険サービスについて

問12. 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ)

- 利用している →問12-1△
- 利用していない →問13△

問12-1. 【問12で「利用している」と回答した方におたずねします。】
介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(回答はそれぞれの項目で1つ)

	はい	いいえ	どちらとも いえない
1. サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 仕事や家事と両立できるようになったと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 外出する機会が増えたと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 介護の方法がわかるようになったと思いますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 13. 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)についてお答えください。(回答は3つまで)

- 配食
- 調理
- 掃除・洗濯
- 買い物(宅配は含まない)
- 外出同行(通院、買い物など)
- ゴミ出し
- 見守り、声かけ
- サロンなどの定期的な通いの場
- 移送サービス(介護、福祉タクシー等)
- その他()
- 特になし

問 14. 今後の介護について、お答えをお答えください。(回答は1つ)

- 介護保険サービスを利用せず、在宅で介護を続けたい
- 介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたい
- 施設に入所させたい
- その他()

問 15. ご家族が終末期(治療や回復の見込みのない状態)となった場合(迎えたときに通してほしい場所はどこですか。(回答は1つ)

- 自宅
- 病院などの医療機関
- 特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設(介護保険で利用できる施設)
- 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅
- その他()
- わからない

◆市の施策・事業について

問 16. あなたは、「成年後見制度」をご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 知らない

※成年後見制度とは、認知症等により判断能力が十分でない方に代わって、法的に権限が与えられた代理人(成年後見人等)が、財産管理や身上保護を行い、本人が安心して生活できるように支援する民法に基づく制度です。

問 17. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 知らない

問 18. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者(介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方)については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(回答は1つ)

- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい(軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない)
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い

問 19. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

- 個室(他者と顔を合わせることのできる居間等の共有空間があるタイプ)
- 多床室(個室に比べて安面で、2人~4人の方が個室のタイプ)

問 20. 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

- 緊急時に救助・救命するサービス
- 緊急時に救助・救命するサービス
- 介護予防を支援するサービス
- 健康づくりを支援するサービス
- 買い物や手続きの代行をするサービス
- 外出の支援をするサービス
- 家事の援助をするサービス
- 住まいを確保するサービス
- 高齢者の就職を支援・仲介するサービス
- その他()

あて名のご本人について

問1. 以下はあて名のご本人についてお答えください。
(令和2年1月1日現在でお答えください)

年 齢	<input type="checkbox"/> 65～69 歳	<input type="checkbox"/> 75～79 歳	<input type="checkbox"/> 85～89 歳
	<input type="checkbox"/> 70～74 歳	<input type="checkbox"/> 80～84 歳	<input type="checkbox"/> 90 歳以上
性 別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	
要 介 護 度	<input type="checkbox"/> 要介護1	<input type="checkbox"/> 要介護3	<input type="checkbox"/> 要介護5
	<input type="checkbox"/> 要介護2	<input type="checkbox"/> 要介護4	<input type="checkbox"/> その他 ()

問2. お住まいの地区についてお答えください。

<input type="checkbox"/> 所沢地区	(宮本町、西所沢、金山町、喜多町、有楽町、北有楽町、日吉町、東町、寿町、元町、御幸町、旭町、星の宮、くすのき台1～2丁目)
<input type="checkbox"/> 松井東地区	(下安松、松郷、東所沢和田)
<input type="checkbox"/> 松井西地区	(上安松、牛沼、東新井町、西新井町)
<input type="checkbox"/> 柳瀬地区	(東所沢、本郷、南永井、日比田、亀ヶ谷、城、坂之下、新郷)
<input type="checkbox"/> 富岡地区	(北中、岩岡町、北岩岡、所沢新町、中富、中富南、下富、神米金)
<input type="checkbox"/> 新所沢地区	(緑町、榎町、泉町、青葉台、けやき台、向陽町)
<input type="checkbox"/> 新所沢東地区	(松葉町、弥生町、美原町、北所沢町、花園)
<input type="checkbox"/> 三ヶ島第1地区	(三ヶ島、堀之内、糞谷、林、和ヶ原、西狭山ヶ丘)
<input type="checkbox"/> 三ヶ島第2地区	(東狭山ヶ丘、狭山ヶ丘、若狭)
<input type="checkbox"/> 小手指第1地区	(上新井、北野、北野新町、北野南、小手指南、小手指元町、小手指町5丁目、小手指台)
<input type="checkbox"/> 小手指第2地区	(小手指町1～4丁目)
<input type="checkbox"/> 山口地区	(山口、上山口)
<input type="checkbox"/> 吾妻地区	(東住吉、西住吉、南住吉、久米、北秋津、松が丘、荒幡、くすのき台3丁目)
<input type="checkbox"/> 並木地区	(並木、若松町、こぶし町、北原町、中新井、下新井)

◆あなたのご家族や生活状況について

問3. 家族構成を教えてください。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 1人暮らし	→問3-1△	<input type="checkbox"/> 息子・娘との2世帯	→問4△
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	→問4△	<input type="checkbox"/> その他	→問4△
<input type="checkbox"/> 夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	→問4△	()	

問3-1. 【問3で「1人暮らし」と回答した方におたずねします。】

市内又はお住まいの近く(30分以内程度)に、ご家族はいますか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> はい	→問3-2△	<input type="checkbox"/> いいえ	→問4△
-----------------------------	--------	------------------------------	------

問3-2. 【問3-1で「はい」と回答した方におたずねします。】

それはどなたですか。(あてはまるものをすべてに回答)

<input type="checkbox"/> 配偶者 (夫・妻)	<input type="checkbox"/> 孫・ひ孫
<input type="checkbox"/> 息子	<input type="checkbox"/> あなたや配偶者の兄弟・姉妹
<input type="checkbox"/> 娘	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 子の配偶者	

問4. お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 持家 (一戸建て)	<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅 (集合住宅)
<input type="checkbox"/> 持家 (集合住宅)	<input type="checkbox"/> 借間
<input type="checkbox"/> 公営賃貸住宅	<input type="checkbox"/> その他 ()
<input type="checkbox"/> 民間賃貸住宅 (一戸建て)	

※UR賃貸住宅は「民間賃貸住宅(集合住宅)」を選択してください。

問5. あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか。(回答は1つ)

<input type="checkbox"/> 介護・介助は必要ない	→問5-1△
<input type="checkbox"/> 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	→問5-2△
<input type="checkbox"/> 現在、何らかの介護を受けている	→問5-3～問5-6△

(介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)

問5-1.【問5で「介護・介助は必要ない」と回答した方におたずねします。】
要介護認定の申請をした理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 介護が必要ない方が一のため申請した
- 住宅改修、福祉用具貸与・購入のみを利用するため申請した
- 以前は介護・介助が必要だったため申請した
- 親族等、周囲に勧められたため申請した
- その他 ()

問5-2.【問5で「何らかの介護・介助は必要だが、現在は必要でない」と回答した方におたずねします。】
介護保険サービスを利用されていない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 利用したいサービスがない
- 以前、利用していたサービスに不満があった
- 利用料を支払うのが難しい
- 利用したいサービスが利用できない、身近にない
- サービスを受けたいが手続きや利用方法がわからない
- その他 ()

問5-3.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
主にどなたの介護を受けていますか。(回答は1つ)

- 配偶者(夫・妻) 子の配偶者 介護サービスのヘルパー
- 息子 孫 その他
- 娘 兄弟・姉妹 ()

問5-4.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
主な介護者の方が行っている介護等について、お答えください。
(あてはまるものすべてに回答)

- 日中の排泄
- 夜間の排泄
- 食事の介助(食べる時)
- 入浴・洗身
- 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
- 衣服の着脱
- 屋内の移乗・移動
- 外出の付き添い、送迎等
- 服薬
- 認知症状への対応
- 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 食事の準備(調理等)
- その他の家事(掃除、洗濯、洗濯、買い物等)
- 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- その他 ()
- わからない

問5-5.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
介護・介助が必要となった主な原因は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 脳卒中(脳出血・脳梗塞等)
- 心臓病
- がん(悪性新生物)
- 呼吸器の病気(肺炎腫・肺炎等)
- 関節の病気(リウマチ等)
- 認知症(アルツハイマー病等)
- パーキンソン病
- 糖尿病
- 腎疾患(透析)
- 視覚・聴覚障害
- 骨折・転倒
- 脊椎損傷
- 高齢による衰弱
- その他 ()
- 不明

問5-6.【問5で「現在、何らかの介護を受けている」と回答した方におたずねします。】
ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか。
(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)(回答は1つ)

- ない
- たまにある(月に数回)
- 週に1~2日ある
- 週に3~4日ある
- ほぼ毎日ある

問6. 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(回答は1つ)

- 大変苦しい
- やや苦しい
- ふつう
- ややゆとりがある
- 大変ゆとりがある

【大人用紙おむつの利用状況についておたずねします。】

問7. 現在、大人用紙おむつを利用されていますか。(回答は1つ)

- 現在、紙おむつは利用していない
- 念のため、使用している(間に合わない時や外出時用)
- 寝ている間だけ、使用している
- 寝たきり状態であり、常時使用している
- 昼用と夜用を使い分けて、常時使用している
- その他 ()

◆からだを動かすことについて

問8. 階段をすすりや壁をつたわらずに昇っていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問9. 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問10. 15分位続けて歩いていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問11. 過去1年間に転んだ経験がありますか。(回答は1つ)

- 何度もある 1度ある ない

問12. 転倒に対する不安は大きいですか。(回答は1つ)

- とても不安である あまり不安でない
- やや不安である 不安でない

問13. 週に1回以上は外出していますか。(回答は1つ)

- ほとんど外出しない →問14△ 週2～4回 →問13-1△
- 週1回 →問13-1△ 週5回以上 →問13-1△

問13-1. 【問13で「週1回」、「週2～4回」、「週5回以上」と回答した方におたずねします。】

外出をする際の主な行先は次のどちらですか。(回答は3つまで)

- 買い物をする場所 行楽地、観光地
- 集合・サークル活動・学習のための施設 スポーツ施設
- 体操等、地域の通いの場 宗教的な施設・場所
- 病院、診療所 農園
- 飲食店 職場
- 公園、遊歩道 入浴施設
- 家族・親戚や友人・知人の家 デイサービスなどの通所施設
- 文化・娯楽施設 その他()

問14. 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(回答は1つ)

- とても減っている あまり減っていない
- 減っている 減っていない

問15. 外出を控えていますか。(回答は1つ)

- はい →問15-1△ いいえ →問16△

問15-1. 【問15で「はい」と回答した方におたずねします。】

外出を控えている理由は、次のどれですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 病気 目の障害
- 障害 (脳卒中の後遺症など) 外での楽しみがない
- 足腰などの痛み 経済的に出られない
- トイレの心配 (失禁など) 交通手段がない
- 耳の障害(聞こえの問題など) その他()

問16. 外出する際の移動手段は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 徒歩 病院や施設のバス
- 自転車 車いす
- バイク 電動車いす (カート)
- 自動車 (自分で運転) 歩行者・シルバーカー
- 自動車 (人に乗せてもらう) タクシー
- 電車 その他()
- 路線バス

◆食べることについて

問17. 身長・体重を記入してください。

身長: _____ cm 体重: _____ kg

問18. 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 19. 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。

(成人の歯の歯本数は、親知らずを含めて32本です) (回答は1つ)

- 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
- 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用
- 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

問 20. どなたかと食事をとにもする機会がありますか。(回答は1つ)

- 毎日ある 月に何度かある ほとんどない
- 週に何度かある 年に何度かある

◆毎日の生活について

問 21. 物忘れが多いと感じますか。(回答は1つ)

- はい いいえ

問 22. バスや電車を使って、1人で外出していますか。(自家用車でも可) (回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 23. 自分で食品・日用品の買い物をしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 24. 自分で食事の用意をしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 25. 自分で請求書の支払いをしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 26. 自分で預貯金の出し入れをしていますか。(回答は1つ)

- できるし、している できるけどしていない できない

問 27. 日常生活の中で困ったことがありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 税金の支払いや公共機関の手続き 洗濯
- 財産やお金の管理 食事の準備
- 近くに買い物をする場所がない 外出の際の移動手段
- 買い物に行くのが困難(行けない) 電化製品の扱い方
- 日々のゴミ出し ペットの世話
- 日常の力仕事(家具の移動等) その他()
- 庭の手入れ 特に困っていることはない
- 掃除

問 28. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

- 経済的なこと 近所との付き合い
- お金の管理のこと 将来、一人で生活することになったときのこと
- 自分の健康に関すること 何かあったときにどこへ相談していいかわからない
- 自分が認知症になること 住まいに関すること
- 家族の健康に関すること その他()
- 家族が認知症になること 特に心配していることはない
- 家族との不和

◆地域の活動について

問29. 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①から⑧それぞれに回答してください。

	週4回 以上	週2 ~3回	週1回 ~3回	月に 1回	年に 数回	参加し ていない
① ボランティアのグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② スポーツ関係のグループや クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 趣味関係のグループ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 学習・教養サークル	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 介護予防のための通いの場 (トコロん元氣百歳体操、 お通者倶楽部など)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 長生クラブ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 町内会・自治会	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 収入のある仕事	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問30. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいき
した地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと
思いますか。(回答は1つ)

是非参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問31. 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいき
した地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として
参加してみたいと思えますか。(回答は1つ)

是非参加したい 参加してもよい 参加したくない 既に参加している

問32. 地域との関係について、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(回答は1つ)

- お互いに緊密なかかわりを持ち、支えあえる関係をもちたい
- いざというときだけ助け合えるよう、ある程度のかかわりをもっておきたい
- お互いに干渉しないで、必要最小限のつきあいをしたい
- かかわりあいをもちたないで、自分なりに生活していきたい

◆たすけあいについて (あなたとまわりの人の「たすけあい」についてお伺いします。)

問33. あなたの心配事や愚痴(ぐち)を聞いてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
- 同居の子ども 友人
- 別居の子ども その他()
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問34. 反対に、あなたが心配事や愚痴(ぐち)を聞いてあげる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
- 同居の子ども 友人
- 別居の子ども その他()
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問35. あなたが病気で数日間入院したときに、看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
- 同居の子ども 友人
- 別居の子ども その他()
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

問36. 反対に、あなたが看病や世話をしてくれる人は、どのような人ですか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 配偶者 近隣
- 同居の子ども 友人
- 別居の子ども その他()
- 兄弟姉妹・親戚・親・孫 そのような人はいない

◆健康について

問37. 現在のあなたの健康状態はいかがですか。(回答は1つ)

- とてもよい まあよい あまりよくない よくない

問 38. あなたは、現在のどの程度幸せですか。

※「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、回答してください。

とても不幸	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	とても幸せ
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 39. この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか。(回答は1つ)

はい いいえ いいえ

問 40. この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しみを感じがよくありましたか。(回答は1つ)

はい いいえ いいえ

問 41. タバコは吸っていますか。(回答は1つ)

ほぼ毎日吸っている 吸っていたがやめた
 時々吸っている もともと吸っていない

問 42. 現在治療中、または後遺症のある病気がありますか。(あてはまるものすべてに回答)

ない 外傷(転倒・骨折等)
 高血圧 がん(悪性新生物)
 脳卒中(脳出血・脳梗塞等) 血液・免疫の病気
 心臓病 うつ病
 糖尿病 認知症(アルツハイマー病等)
 高脂血症(脂質異常) パーキンソン病
 呼吸器の病気(肺炎や気管支炎等) 目の病気
 胃腸・肝臓・胆のうの病気 耳の病気
 腎臓・前立腺の病気 その他()
 筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)

問 43. 現在、訪問診療を利用していますか。(回答は1つ)

利用している 利用していない

【かかりつけの医療機関についておたずねします。】

問 44. かかりつけの医療機関について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(それぞれ回答は1つ)

項目	はい	いいえ
① かかりつけの医師はいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② かかりつけの歯科医はいますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ かかりつけの薬局はありますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 45. あなたは、終末期(治療や回復の見込みのない状態となった場合)をどこで過ごしたいか思いますか。(回答は1つ)

自宅
 医療機関(病院や診療所)
 特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設
 有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅
 その他()
 わからない

問 46. 終末期について、どのようなことに不安を感じますか。(あてはまるものすべてに回答)

自宅で十分な介護サービスを受けられるか心配
 医師の訪問診療や往診を受けられるか心配
 急変などがあった場合の対応体制が心配
 経済的な負担が心配
 家族の介護等の負担が心配
 その他()
 特に不安は感じない

◆認知症施策について

問 47. 認知症について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。
(それぞれ回答は1つ)

項目	知っている	知らない
①自分の心がけや取り組みで発症を遅らせることができること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②認知症かもしれないと思ったらなるべく早く医師等に相談したほうが良いこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③認知症の方が入所する介護施設があること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④家族が症状や特性を理解することで自宅での生活も可能なこと	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤消費者被害に関する相談窓口があること	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥「成年後見制度」 認知症等により判断能力が十分でない方に代わって、法的に権限を与えられた代理人(成年後見人等)が財産管理や身上保護を行う制度	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦「みんなのカフェ(認知症カフェ)」 認知症の方や家族、地域の方などが集まるカフェ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧「認知症サポーター」 講座を通じて認知症についての正しい知識やつきあい方を理解し、自分でできる範囲で認知症の方や家族を応援するもの	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑨「GPSの貸出」 行方不明となった高齢者をGPSと携帯電話の通信網を活用して早期に見つける事業	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑩「もの忘れ相談医」 地域の専門外の医師である「かかりつけ医」も認知症患者の診療を行い、専門医療機関につなげることで早期発見、早期治療を進める取組	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 48. あなたは、認知症の症状がありますか。又はご家族に認知症の症状がある人はいませんか。
(回答は1つ)

はい いいえ

問 49. 認知症に関する相談窓口をご存知ですか。(回答は1つ)

はい いいえ

※認知症に関する相談は、医療機関や地域包括支援センター等へご相談ください。

◆市の施策・事業、介護保険制度について

問 50. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

知っている 知らない

問 51. 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況についてお答えください。(回答は1つ)

入所・入居は検討していない
 入所・入居を検討している
 すでに入所・入居申し込みをしている

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設(有料老人ホーム等)、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームを指します。

問 52. あなた自身が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

個室(他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ)
 多床室(個室に比べて安価で、2人~4人の方が個室のタイプ)

問 53. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

個室(他者と顔を合わせる事ができる居間等の共有空間があるタイプ)
 多床室(個室に比べて安価で、2人~4人の方が個室のタイプ)

問 54. 介護保険料の段階を教えてください。(回答は1つ)

第1段階(年額 22,300円) 第8段階(年額 89,500円)
 第2段階(年額 31,300円) 第9段階(年額 101,400円)
 第3段階(年額 43,200円) 第10段階(年額 110,400円)
 第4段階(年額 52,500円) 第11段階(年額 116,300円)
 第5段階(年額 59,600円) 第12段階(年額 122,300円)
 第6段階(年額 68,600円) 第13段階(年額 128,300円)
 第7段階(年額 74,500円) わからない

問 55. 介護保険料についてどのように感じていますか。(回答は1つ)

- 負担とは感じない 負担と感じる
- それほど負担とは感じない どちらともいえない
- 多少負担を感じる わからない

問 56. 介護保険料は、市全体の介護保険サービスの利用状況等から、3年ごとに決定されます。

介護保険サービスを拡大・充実させると介護保険料は高くなります。
介護保険サービスと介護保険料について、どのようにお考えですか。(回答は1つ)

- 介護保険料が高くても、介護保険サービスが充実している方が良い
- 介護保険サービスを抑えても、介護保険料の上り幅を抑えた方が良い
- どちらともいえない

問 57. 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、お答えください。(あてはまるものすべてに回答)

- 配食 見守り、声かけ
- 調理 サロンなどの定期的な通いの場
- 掃除・洗濯 移送サービス(介護、福祉タクシー等)
- 買い物(宅配は含まない) その他()
- 外出同行(通院、買い物など) 利用していない
- ゴミ出し

問 58. 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスをきむ)についてお答えください。(回答は3つまで)

- 配食 見守り、声かけ
- 調理 サロンなどの定期的な通いの場
- 掃除・洗濯 移送サービス(介護、福祉タクシー等)
- 買い物(宅配は含まない) その他()
- 外出同行(通院、買い物など) 特になし
- ゴミ出し

問 59. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者(介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方)については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(回答は1つ)

- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい(軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない)
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い

問 60. 現在、市では「独自制度」として、介護保険を利用してしている住民税非課税世帯の方を対象に、介護保険の自己負担額を一部助成する「低所得者助成金制度」を実施しています。これは市の財源から助成を行っておりますが、今後この助成金制度が必要だと思いますか。(回答は1つ)

- 今まで通りの助成金制度を継続する必要があると思う →P17△
- 助成金制度の見直しを行う必要があると思う →問 60-1△
- 税金の使い道として助成金制度は必要ないと思う →P17△
- その他() →P17△

問 60-1. 【問 60 で「助成金制度の見直しを行う必要があると思う」と回答した方におたずねします。】

どのような観点から見直しが必要だと思いますか。(回答は1つ)

- 対象者(住民税非課税世帯)をさらに限定したほうがよい
- 対象となるサービスを限定したほうがよい(現在：介護保険のすべてのサービスが対象)
- 一定額以上の負担額がある方に限定したほうがよい(現在：負担額の要件はなし)

◆主に介護している方の生活状況について

問5. 介護をするうえで困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 困ったときにどこに相談していいかわからない
- 悩みなどを話し合える仲間や相談先がない
- 身体的な負担や疲れが大きい
- 精神的な負担が大きい(悩みなどを人に話せない、言動が気になり目が離せないなど)
- 自分に対し周囲の理解が得られない
- 自分の自由になる時間がもてない
- 自分の具合が悪いときに手助けがない
- 先の見通しが立たない
- 介護を受けている方が病院の受診に同意しない
- 専門的医療機関が見つからない
- 介護サービスや介護施設の利用に抵抗を感じてしまう
- 経済的な負担が増えた
- その他 ()
- 特に困っていることはない

問6. あなたは、介護について誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 家族・親族
- 友人・知人
- 近所の人、ボランティアの人等
- 介護が必要な本人
- ケアマネジャー
- 地域包括支援センター職員
- 市役所
- 保健所
- 介護サービス事業者
- 医師
- 病院のソーシャルワーカー
- 民生委員
- 勤務先
- その他 ()
- 誰にも相談していない

問7. 今後の生活で心配なことはありますか。(回答は3つまで)

- 経済的なこと
- お金の管理のこと
- 自分が体の健康を害すること
- 自分が認知症等になること
- 介護を受けている方の状態が悪くなること
- 介護を受けている方以外の家族が健康を害すること
- 家族との不和
- 近隣との付き合い
- その他 ()

問8. 現在の生活を継続していくにあたって、不安に感じる介護等についてお答えください。(回答は3つまで)

- 屋内の移乗・移動
- 外出の付き添い、送迎等
- 入浴・洗身
- 日中の排泄
- 夜間の排泄
- 食事の準備(調理等)
- 食事の介助(食べる時)
- 服薬
- 認知症状への対応
- 衣服の着脱
- 身だしなみ(洗顔・歯磨き等)
- その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)
- 医療面での対応(経管栄養、ストーマ等)
- 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
- その他 ()
- 不安に感じていることは、特にならない
- わからない

問9. あなたが感じている介護の負担感ほどの程度ですか。(回答は1つ)

- かなり負担である
- やや負担である
- それほど負担ではない
- 負担ではない →問10へ

問9-1. 【問9で「かなり負担である」、「やや負担である」、「それほど負担ではありません」と回答した方におたずねします。】

介護の負担を軽減するために、普段どのようなことをされていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 介護の勉強会などに参加している
- 介護保険サービスを利用している
- 家族会などに参加し、介護者同士で悩み等を共有している
- 家族や友人に相談している
- 地域包括支援センターやケアマネジャー等に相談している
- 自分の趣味などでストレスを解消している
- 負担を軽減する方法がない
- その他 ()

問10. 介護を行ううえで、どのような支援があると良いと思えますか。(回答は3つまで)

- 夜間対応型の訪問介護サービス
- 在宅医療サービス (訪問診療・訪問看護等) の充実
- 受け入れ施設の整備
- 介護者同士の集まりの場
- 介護者への手当の支給
- 徘徊高齢者の早期保護、安全確保支援
- 介護者の健康増進のための事業 (健康相談、はり・きゅう・マッサージ等)
- 介護者の家事支援
- その他 ()

問11. 家族会など(介護者の集いや認知症カフェなど)、同じ立場の人たちの集まりに参加したいと思えますか。(回答は1つ)

- 参加したいと思う →問11-1△
- 参加したいと思わない →問11-2△

問11-1. 【問11で「参加したいと思う」と回答した方におたずねします。】

参加したいと思う理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 同じ境遇にある方との接点が欲しいから
- 気晴らしになると思うから
- 日頃思っていることを自由に話せると思うから
- 介護に関する知識が得られると思うから
- その他 ()

問11-2. 【問11で「参加したいと思わない」と回答した方におたずねします。】
どのような会であれば参加したいと思えますか。(あてはまるものすべてに回答)

- 介護に関する知識等が得られる会
- 行きやすい場所にある会 (場所がたくさんある)
- 参加しやすい時間帯に開催している会 (参加しやすい時間帯: _____ 時ごろ)
- 市の広報などで周知されている会
- 介護されている人と一緒に参加できる会
- プライバシーに配慮している会
- その他 ()

◆介護保険サービスについて

問12. 介護を受けている方は、介護保険サービスを利用していますか。(回答は1つ)

- 利用している →問12-1△
- 利用していない →問13△

問12-1. 【問12で「利用している」と回答した方におたずねします。】

介護保険制度について、それぞれの項目においてあてはまる回答にチェックを付けてください。(回答はそれぞれの項目で1つ)

	はい	いいえ	どちらとも いえない
1. サービス事業者や施設を選択できることを知っていますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2. 介護サービスを利用した結果、家族や介護者の精神的負担が減ったと思えますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3. 介護サービスを利用した結果、家族や介護者の身体的負担が減ったと思えますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
4. 介護サービスを利用した結果、介護を受けている方の身体状況は改善しましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
5. 介護サービスを利用した結果、介護に対する不安が減りましたか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
6. 仕事や家事と両立できるようになったと思えますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
7. 外出する機会が増えたと思えますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
8. 介護の方法がわかるようになったと思えますか	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 13. 今後の在宅生活の継続に必要なと感じる支援・サービス(現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む)についてお答えください。(回答は3つまで)

- 配食
- 調理
- 掃除・洗濯
- 買い物(宅配は含まない)
- 外出同行(通院、買い物など)
- ゴミ出し
- 見守り、声かけ
- サロンなどの定期的な通いの場
- 移送サービス(介護、福祉タクシー等)
- その他()
- 特になし

問 14. 今後の介護について、お答えをお答えください。(回答は1つ)

- 介護保険サービスを利用せず、在宅で介護を続けたい
- 介護保険サービスを利用し、在宅で介護を続けたい
- 施設に入所させたい
- その他()

問 15. ご家族が終末期(治療や回復の見込みのない状態)となった場合(迎えたときに通してほしい場所はどこですか。(回答は1つ)

- 自宅
- 病院などの医療機関
- 特別養護老人ホームやグループホームなどの介護施設(介護保険で利用できる施設)
- 有料老人ホームやサービス付き高齢者住宅
- その他()
- わからない

◆市の施策・事業について

問 16. あなたは、「成年後見制度」をご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 知らない

※成年後見制度とは、認知症等により判断能力が十分でない方に代わって、法的に権限が与えられた代理人(成年後見人等)が、財産管理や身上保護を行い、本人が安心して生活できるように支援する民法に基づく制度です。

問 17. 本市では、災害が発生した際、自ら避難することが困難な方を対象に、避難を支援する「避難行動要支援者支援事業」を行っています。

あなたは、「避難行動要支援者支援事業」をご存知ですか。(回答は1つ)

- 知っている
- 知らない

問 18. 現在、市では「独自制度」として、要支援・要介護認定を受けている在宅の方を対象に、紙おむつ給付事業を実施しています。

平成30年8月より、軽度認定者(介護度の軽い、要支援1・2及び要介護1の方)については支給要件の厳格化を行いました。紙おむつ給付事業の支給額は増加しており、また、国県等による補助がなくなる可能性があり、介護保険料が高くなる見込みです。今後、紙おむつ給付事業について見直しを行うとすれば、どのようなことに重点を置くべきだと思いますか。(回答は1つ)

- 介護保険料が上がっても、現行通りの内容で継続した方がよい
- 介護負担が特に重い方の支援に重点化し、介護度の高い方に限定した方がよい(軽度認定者は利用できなくてもやむを得ない)
- 寝たきりなど常に紙おむつが必要な方のみに限定した方がよい
- 紙おむつ給付事業は、市の独自制度として必要性は低い

問 19. ご家族が特別養護老人ホームなどの介護施設に入所する場合、どちらのタイプを希望しますか。(回答は1つ)

- 個室(他者と顔を合わせることのできる居間等の共有空間があるタイプ)
- 多床室(個室に比べて安面で、2人~4人の方が個室のタイプ)

問 20. 高齢者にとって住みやすい生活環境を整備するためにはどのようなサービスが必要だと思いますか。(回答は3つまで)

- 緊急時に救助・救命するサービス
- 緊急時に救助・救命するサービス
- 介護予防を支援するサービス
- 健康づくりを支援するサービス
- 買い物や手続きの代行をするサービス
- 外出の支援をするサービス
- 家事の援助をするサービス
- 住まいを確保するサービス
- 高齢者の就職を支援・仲介するサービス
- その他()

○施設入所高齢者 調査票

**所沢市高齢者福祉・介護実態調査 ご協力をお願い
(介護保険施設で生活している方)**

市民の皆さまには、日ごろより市政発展のため、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

所沢市では、「第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)※」を策定するにあたり、皆さまの生活実態やご意見をお聞かせいただくため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査の対象となる方につきましては、介護保険の施設サービス(特別養護老人ホームと介護老人保健施設)を利用されている方の中から、100名を無作為に選ばせていただきました。ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、他の目的に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年1月

所沢市長 藤本 正人

※ この計画は、高齢者に関する福祉施策や認知症施策を定めるとともに、令和3年度からの介護保険料を決めるための介護保険サービス負担率を定める重要なものです。所沢市の実態に合った計画を作成するため、皆さまのご協力をお願いいたします。

【この調査票のご記入にあたって】

- この調査は、無記名です。
- この調査は、令和2年1月1日現在の状況でお答えください。
- 調査の対象となった方おひとりでの回答がむずかしい場合はご家族や施設職員の方がお手伝いいただくか、調査の対象となった方の意見を聞いたうえでご家族もしくは施設職員の方が代わりにご記入ください。
- ご回答は、あてはまる回答に☑をつけてください。質問によっては、「回答は1つ」「あてはまるものすべてに回答」など、☑をつける数が異なりますので、ご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒にて、もしくは施設にて取りまとめの上、**1月31日(金)**までにご送付いただきますよう、お願い申し上げます。

この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

所沢市福祉部	高齢者支援課	電話	04(2998)9120
		FAX	04(2998)9138
所沢市福祉部	介護保険課	電話	04(2998)9420
		FAX	04(2998)9410

【調査の目的及び活用目的について】

◆この調査は、第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料とするために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、所沢市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、所沢市で適切に管理いたします。

◆本調査により得られた結果につきましては、以下の方法で公開することを予定しています。

公開方法：市ホームページ、市政情報センター

公開時期：令和2年5月以降(予定)

◆調査票を記入されるのはどなたですか。(回答は1つ)

- 調査の対象となった方が記入
- ご家族が記入
(調査の対象となった方からみた続柄)
- 施設職員が記入
- その他 ()

◆調査の対象となった方について

問1. 以下は調査の対象となった方についてお答えください。
(令和2年1月1日現在でお答えください)

年齢	<input type="checkbox"/> 65歳未満	<input type="checkbox"/> 75~79歳	<input type="checkbox"/> 90~94歳
	<input type="checkbox"/> 65~69歳	<input type="checkbox"/> 80~84歳	<input type="checkbox"/> 95歳以上
	<input type="checkbox"/> 70~74歳	<input type="checkbox"/> 85~89歳	
性別	<input type="checkbox"/> 男	<input type="checkbox"/> 女	
要介護度	<input type="checkbox"/> 要介護1	<input type="checkbox"/> 要介護3	<input type="checkbox"/> 要介護5
	<input type="checkbox"/> 要介護2	<input type="checkbox"/> 要介護4	

問2. 現在入所している施設は、次のどれですか。(回答は1つ)

- 特別養護老人ホーム (介護老人福祉施設)
- 老人保健施設 (介護老人保健施設)

問3. 現在の施設へ入所するまで、申込みからどのくらいの期間待ちましたか。(回答は1つ)

- 3か月未満
- 3か月~6か月未満
- 6か月~1年未満
- 1年~1年6か月未満
- 1年6か月~2年未満
- 2~4年未満
- 4~5年未満
- 5年以上

◆介護保険施設での生活について

問4. 介護保険施設に入所した理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 介護者がいない等の理由で、在宅で介護を受けられないから
- リハビリ等が必要であり、医師等に入所をすすめられたから
- 住居が介護に適していないから
- 自己負担が少ないから
- 家族介護の負担が少なくてすむから
- その他 ()

問5. 現在入所している施設のサービスに満足していますか。(回答は1つ)

- 満足している
- ほぼ満足している
- どちらともいえない
- やや不満である
- 不満である

問6. 以下の項目について、「自営での生活」と「施設での生活」において、「生活の質」という視点で考えたら、どちらのほうが良いと感じますか。(それぞれ回答は1つ)

項目	自営での生活	施設での生活
①日常生活における動作 (動きやすさ、生活のしやすさ等)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
②楽しみ・生きがい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③家族・親族との関わり	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④人と人との関わり (人とのコミュニケーション)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

○ケアマネジャー 調査票

所沢市高齢者福祉・介護実態調査 ご協力をお願い
(ケアマネジャーの方)

市民の皆さまには、日ごろより市政発展のため、ご理解とご協力いただき厚くお礼申し上げます。

所沢市では、「第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画(令和3年度～令和5年度)※」を策定するにあたり、高齢者の生活実態やケアマネジャーの方の活動実態、ご意見を聞かせたいため、アンケート調査を行うことといたしました。

この調査の対象となる方につきましては、所沢市内の居宅介護支援事業所に勤務するケアマネジャーの皆さまの中から、50名の方を無作為に選ばせていただきました。ご回答いただいた内容はすべて統計的に処理し、他の目的に使用することはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、調査の趣旨にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

令和2年1月

所沢市長 藤本 正人

※ この計画は、高齢者に関する福祉施策や認知症施策を定めるとともに、令和3年度からの介護保険料を決めるための介護保険サービス見込量を定める重要なものです。所沢市の実態に合った計画を作成するため、皆さまのご協力をお願いいたします。

【この調査票のご記入にあたって】

- この調査は、無記名です。
- この調査は、令和2年1月1日現在の状況でお答えください。
- 設問は「事業所」としてではなく、「介護支援専門員個人」としてお答えください。
- ご回答は、あてはまる回答に☑をつけてください。質問によっては、「回答は1つ」「あてはまるものすべてに回答」など、☑をつける数が増えますので、ご注意ください。
- ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒へ封入の上、事業所ごとに取りまとめ、**1月31日(金)**までにご返送いただきますよう、お願い申し上げます。

この調査票についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

所沢市福祉部	介護保険課	電話	04(2998)9420
		FAX	04(2998)9410
所沢市福祉部	高齢者支援課	電話	04(2998)9120
		FAX	04(2998)9138

【調査の目的及び活用目的について】

◆ この調査は、第8期所沢市高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定のための基礎資料とするために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、所沢市による高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定と効果評価の目的以外には利用いたしません。また、当該情報については、所沢市で適切に管理いたします。

◆ 本調査により得られた結果につきましては、以下の方法で公開することを予定しています。

公開方法：市ホームページ、市政情報センター

公開時期：令和2年5月以降(予定)

◆あなた自身について

問1. 令和2年1月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(回答は1つ)

- 20歳代 50歳代
 30歳代 60歳代
 40歳代 70歳以上

問2. ケアマネジャーの仕事をはじめて通算何年(他事業所含む)になりますか。
 (回答は1つ)

- 1年未満 5年以上10年未満
 1年以上3年未満 10年以上15年未満
 3年以上5年未満 15年以上

◆業務の状況について

問3. あなたの勤務形態をお答えください。(回答は1つ)

- 常勤・専従 非常勤・業務
 常勤・兼務 その他()
 非常勤・専従

問4. あなたが担当する居宅のケアプラン作成人数をお答えください。(令和元年12月利用分)
 (回答は1つ)

- 1~20人 21~30人 31~40人 41~50人 51人以上

問5. 現在の業務量についてどのように思われますか。(回答は1つ)

- かなり負担を感じている 負担はあまり大きくない
 やや負担を感じている 負担は小さい
 適当である

問6. どの業務に特に負担を感じますか。(回答は3つまで)

- 利用者本人と家族の意向との調整 介護予防プランの作成
 サービス事業者との連絡・調整 国保連への請求事務(給付管理)
 主治医や他の専門職との連絡・調整 制度に関する理解
 行政との連絡・調整 その他()
 家族との連絡 特に負担を感じる業務はない
 ケアプランの作成

問7. 地域ケア個別会議において、得られていると感じていることをお答えください。
 (あてはまるものすべてに回答)

- 多職種の間での視点が揃うことにより、課題解決能力が向上した
 様々な情報が入りやすくなる
 連携が取りやすい
 地域の課題やニーズを掴むことができる
 地域ケア個別会議に出席したことがない
 何も得られない
 その他()

問8. 医療関係者との現在の連絡手段をお答えください。(あてはまるものすべてに回答)

- 電話 直接面会
 FAX MCS(メディカルケアステーション)
 電子メール その他()
 文書

問9. 今後、医療関係者との連携を充実させるためには、どのようなことが必要だと思いますか。
 (あてはまるものすべてに回答)

- 各機関が把握した細かな情報を共有すること
 情報を共有するためのルールを定める(連絡手段、時間帯、書式等)
 情報を共有するためのシステムを構築する
 顔と顔を合わせた情報共有の場を適切に設けること
 その他()

◆ケアプランについて

問 10. ケアプランの作成や給付管理など、業務上で判断に悩んだ場合はどうしていますか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 介護報酬の解釈(いわゆる「青本」「赤本)」を確認している
- 他のケアマネジャーに相談している
- サービス事業者に相談している
- 保険者(市区町村)に相談している
- 地域包括支援センターに相談している
- その他()

問 11. ケアプランを作成する際に、介護保険外の公的福祉サービスを活用していますか。
(回答は1つ)

- できるだけ活用している
- たまに活用することがある
- どのようなサービスがあるかは把握しているが、活用していない
- どのようなサービスがあるのか把握していない
- その他()

問 12. ケアプランを作成する際に、インフォーマルサービス(住民主体の通いの場や民間の家事
援助サービス等)を活用していますか。(回答は1つ)

- はい →問 12-1△
- いいえ →問 12-2△

問 12-1. 【問 12 で「はい」と回答した方におたずねします。】
活用したのどのようなインフォーマルサービスですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 日常的な見守り・声かけ
- 緊急時に救助・救命するサービス
- 話し相手(訪問)
- 家事援助(調理、掃除、洗濯等)
- 配食サービス
- 宅配、買い物支援
- 訪問美容サービス
- 剪定業、工務店、電気店等の専門的サービス
- 外出時の付き添い
- 移送サービス(介護、福祉タクシー等)
- 定期的な通いの場(サロン等)
- 金銭管理
- 権利擁護
- 法律や各種手続き等に関する相談
- その他()

問 12-2. 【問 12 で「いいえ」と回答した方におたずねします。】

インフォーマルサービスを活用していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに回答)

- 情報がない
- 活用してもケアマネジメント料がつかない
- 忙しく、そこまで手が回らない
- 活用したいサービスがない
- インフォーマルサービスは不要と考えている
- 信頼できないため、安心して紹介できない
- その他()

問 13. インフォーマルサービスで必要だと感じるサービスがあれば、ご記入ください。

【自由回答】

問 14. これまでに、利用者からの苦情はどのようなものがありましたか。
(あてはまるものすべてに回答)

- 制度やサービスに関する説明が不十分である
- 希望するサービスに変更してくれない
- サービス提供時間の希望を聞いてくれない
- 利用者の望むサービス事業者を選ばない
- 利用者の希望をサービス業者に伝えてくれない
- 希望するときに来てくれない
- その他()
- 苦情はない

◆介護保険サービスについて

問 15. 居宅介護サービス計画書（介護予防サービス計画書）の作成または見直し時に、あなたが充実させるべきと感じるサービスについて、「ア 居宅介護」「イ 介護予防」のそれぞれ5つ選んで、番号を記入してください。

- 1. 訪問介護
- 2. 訪問入浴介護
- 3. 訪問看護
- 4. 訪問リハビリテーション
- 5. 通所介護・地域密着型通所介護
- 6. 通所リハビリテーション
- 7. 夜間対応型訪問介護
- 8. 認知症対応型通所介護
- 9. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護
- 10. 小規模多機能型居宅介護
- 11. 福祉用具貸与
- 12. 福祉用具購入
- 13. 住宅改修
- 14. ショートステイ
- 15. 医療型ショートステイ
- 16. 居宅療養管理指導

あなたが充実させるべきと感じるサービス
ア 居宅介護

1	2	3	4	5

イ 介護予防

1	2	3	4	5

問 16. 定期巡回・随時対応型訪問介護看護サービスについて、どのようなイメージをお持ちですか。
(あてはまるものすべてに回答)

項目	とても そう思う	あまり 思わない
① 重度の要介護者向けのサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 医療対応が必要な方向けのサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 夜間・深夜の対応が中心のサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ 介護報酬が定額なので状況に応じて柔軟な利用が可能なサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 短時間で頻回の利用が可能である	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ どのような状態像に適したサービスなのかうまくイメージできない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 単位数が高い、利用料が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ 介護報酬の算定が複雑	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 17. 小規模多機能型居宅介護サービスについて、どのようなイメージをお持ちですか。
(あてはまるものすべてに回答)

項目	とても そう思う	あまり 思わない
① 重度の要介護者向けのサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
② 認知症の方向けのサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
③ 介護報酬が定額なので利用者の状態に応じて柔軟な利用が可能なサービスである	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
④ どのような状態像に適したサービスなのかうまくイメージできない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑤ 利用者や家族にあまり知られていない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑥ 利用料が高い	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑦ 他の事業所を利用できなくなるので、利用につなぐのがりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
⑧ ケアマネジメントを引き継がなければならないので、利用につなぐのがりにくい	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

問 18. これまで、高齢者虐待が疑われるような事例を経験したことがありますか。
(回答は1つ)

ある →問 18-1△ ない →自由記入欄△

問 18-1. [ある]と回答した方におたずねします。
虐待が疑われる状態に気づいた後、どこへ通報しましたか。
(あてはまるものをすべてに回答)

地域包括支援センターへ連絡した 警察へ連絡した
 市へ連絡した その他 ()

◆介護保険制度や高齢者福祉サービスなどについて、ご意見・ご要望などが
ございましたら、ご自由にお書きください。

【自由記入欄】

質問は以上になります。
お忙しい中、ご協力ありがとうございました。
同封の返信用封筒にこの調査票のみを入れて、
1月31日(金)までに投函してください。

所沢市高齢者福祉・介護実態調査

【結果報告書】

令和2年3月

発行：所沢市 福祉部 高齢者支援課
介護保険課

〒359-8501 埼玉県所沢市並木一丁目1番地の1

高齢者支援課 TEL：04-2998-9120

介護保険課 TEL：04-2998-9420